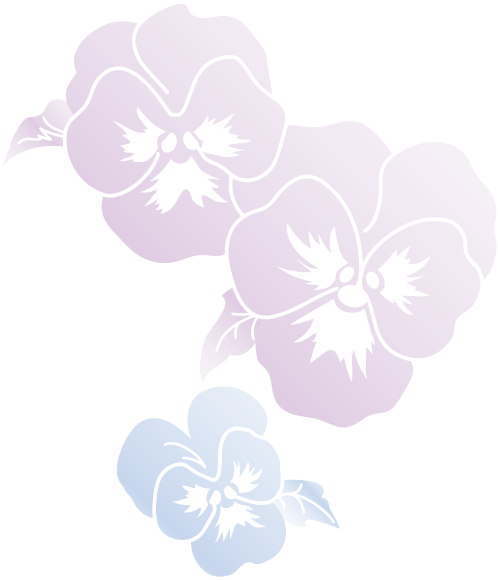


brother



刺しゅうPRO^{プロ} Ver. 7

PC 刺しゅうデータ作成機

ES913シリーズ

マニュアル



●ご使用になる前に必ずマニュアルをお読みにり正しくお使いください。

目次

マニュアルの使い方 1	
画面の設定..... 1	
操作ボタン..... 1	
サポートメニューの使用法..... 1	
タイトルメニューと説明ページの使い方..... 2	
印刷する..... 3	
検索機能の使い方..... 3	
関連 Web ページを表示する..... 3	
本アプリケーションソフトの特長 4	
「刺しゅう PRO」でできること..... 4	
画像を自動的に刺しゅうデータにできます..... 4	
写真を自動的に刺しゅうデータにできます..... 4	
オリジナルフォントを簡単に作成できます..... 5	
図形や文字を入力して組み合わせることができます..... 5	
4つのアプリケーションソフトで刺しゅうデータを 作成します..... 6	
新機能の説明 7	
操作の流れ 9	
サポート/サービス 10	
ユーザーインフォメーション..... 10	
オンライン登録..... 10	
最新のプログラムにアップデートする..... 11	
アプリケーションを起動する/終了する 13	
レイアウトセンターを起動する..... 13	
デザインセンターを起動する..... 13	
フォントクリエイターを起動する..... 14	
ステッチクリエイターを起動する..... 14	
デザインデータベースを起動する..... 15	
アプリケーションを終了する..... 15	
画面とツールについて 16	
レイアウトセンター画面..... 16	
デザインセンター画面..... 17	
フォントクリエイター画面..... 18	
ステッチクリエイター画面..... 19	
デザインデータベース画面..... 20	
使ってみましょう 21	
画像を刺しゅうデータに自動変換する (オートパンチ機能)..... 21	
ステップ1 レイアウトセンターに画像データ を取り込む..... 21	
ステップ2 画像を刺しゅうデータに自動変換 する..... 22	
ステップ3 刺しゅうデータをプレビューする... 23	
ステップ4 刺しゅうデータを保存する..... 23	
ステップ5 オリジナルカードへ刺しゅうデータ を書き込む..... 24	
画像を刺しゅうデータに自動変換する (クロスステッチ機能)..... 25	
ステップ1 レイアウトセンターに画像データ を取り込む..... 25	
ステップ2 画像を刺しゅうデータに自動変換 する(クロスステッチ機能)..... 26	
ステップ3 刺しゅうデータをプレビューする... 27	
ステップ4 刺しゅうデータを保存する..... 28	
ステップ5 オリジナルカードへ刺しゅうデータ を書き込む..... 28	
写真を自動的に刺しゅうデータに変換する (フォトステッチ機能) 30	
ステップ1 レイアウトセンターに写真データ を取り込む..... 30	
ステップ2 画像を刺しゅうデータに自動変換 する..... 31	
ステップ3 刺しゅうデータをプレビューする... 33	
ステップ4 刺しゅうデータを保存する..... 34	
ステップ5 オリジナルカードへ刺しゅうデータ を書き込む..... 34	
原画から刺しゅうデータを作成する (デザインセンター) 36	
ステップ1 原画データを取り込む (原画ステージ)..... 36	
ステップ2 色の選択による原画の輪郭の抽出... 37	
ステップ3 輪郭線画を編集する (輪郭線画ステージ)..... 38	
ステップ4 縫い方を設定する (縫い方設定ステージ)..... 41	
ステップ5 刺しゅうデータをプレビューする... 44	
ステップ6 刺しゅうデータを保存する..... 45	
ステップ7 オリジナルカードへ刺しゅうデータ を書き込む..... 45	
刺しゅうデータを配置する (レイアウトセンター) 48	
ステップ1 デザインセンターから刺しゅうデータ を取り込む..... 49	
ステップ2 文字を加える..... 50	
ステップ3 図形を描く..... 54	
ステップ4 刺しゅうデータをプレビューする... 61	
ステップ5 刺しゅうデータを保存する..... 62	
ステップ6 オリジナルカードへ刺しゅうデータ を書き込む..... 62	
刺しゅうデザインファイルの管理 (デザインデータベース) 64	
ステップ1 刺しゅうファイルを確認する..... 64	
ステップ2 レイアウトセンターで 刺しゅうファイルを開く..... 66	
例1 刺しゅうファイルの一覧を印刷する... 66	
例2 刺しゅうファイルを検索する..... 67	
モノグラムを作成する (レイアウトセンター) 69	
ステップ1 モノグラムを作成する..... 69	
ステップ2 文字の書体とサイズを変更する..... 70	
ステップ3 糸色と縫い方を変更する..... 71	

ステップ4 装飾模様のサイズや位置を調整する	72	刺しゅうデータをステッチデータに変換する	114
ステップ5 刺しゅうデータを保存する	73	ステッチデータの針落ち点を編集する	114
ステップ6 オリジナルカードへ刺しゅうデータ を書き込む	73	ステッチデータの糸色を変更する	116
アップリケを作成する	75	ステッチデータをブロックに変換する (STB 機能)	116
ステップ1 アップリケデータを作成する	75	ステッチデータの一部を切り取る	117
ステップ2 刺しゅうデータを保存する	77	図形を描く	119
ステップ3 オリジナルカードへ刺しゅうデータ を書き込む	77	円・円弧について	119
画像データの刺しゅうデータへの自動変換 (レイアウトセンター/ステッチウィザード)...	79	円または楕円を描く	119
画像データを取り込む	79	円弧を描く	119
画像/写真データを取り込み	79	扇形を描く	120
スキャナまたはデジタルカメラから画像データ を取り込む	79	円弧と弦を描く	120
似顔絵を作る	80	円/円弧の種類を設定する	121
クリップボードから画像データを取り込む	81	長方形を描く	121
画像の各設定の変更	82	四角形の角の丸みを設定する	122
画像の表示設定を変更する	82	各種の図形を描く	122
画像のサイズや位置を調整する	82	直線と曲線について	123
画像データを刺しゅうデータへ自動変換する (ステッチウィザード)	83	直線と曲線を描く	123
原画を刺しゅうデータに自動変換する (オートパンチ)	84	両端の処理を設定する	124
写真を刺しゅうデータに自動変換する (フォトステッチ 1/フォトステッチ 2)	85	マニュアルパンチングデータを作成する	125
原画をクロスステッチの刺しゅうデータに自動 変換する (クロスステッチ)	93	文字を加える	127
刺しゅうデータを編集する (レイアウトセンター)	95	文字を入力する	127
刺しゅうデータを開く/取り込む	95	文字属性を選択する	129
新規デザインページを作成する	95	文字を編集する	131
レイアウトセンターファイルを開く	95	文字を選択する	132
ファイルから刺しゅうデータを取り込む	96	文字属性を設定する	133
刺しゅうカードから刺しゅうデータを取り込む	98	文字サイズと文字の属性を変更する	134
デザインセンターから刺しゅうデータを取り込む	99	文字配列を設定する	135
デザインページのサイズと色を設定する	100	文字を変形する	137
画像データを保存する	101	TrueType の属性を設定する	137
刺しゅうデータを編集する	102	文字データを図形データに変換する	138
刺しゅうデータを選択する	102	ミニサイズ文字を入力する	138
刺しゅうデータを移動する	102	モノグラムを作成する	141
刺しゅうデータを拡大・縮小する	104	モノグラム属性を指定する	142
刺しゅうデータを上下または左右に反転する	105	スタンプを設定・編集する	145
刺しゅうデータを回転する	105	スタンプを設定する	145
刺しゅうデータをグループ化する	106	スタンプを編集する	146
刺しゅうデータを変形する	107	線と面に糸色と縫い方を設定する	148
ポイントを選択する	107	糸色と縫い方を設定する	149
ポイントを移動する	107	縫い方の詳細設定をする	152
ポイントを挿入する	108	グラデーションを作成する	164
ポイントを削除する	109	ユーザー糸リストを作成・編集する	164
直線を曲線に、または曲線を直線に変える	109	よく使う縫い方を保存する	167
尖った曲線の角をとる	110	面縫いの二重縫いを防止する (ドーナツ縫い)	168
曲線ハンドルを対称化する	110	アップリケを作成する (アップリケウィザード)	169
曲線を尖らせる	111	表示方法を切り替える	171
縫い始終点/中心点を移動する	111	ズームインを行う	171
ステッチデータを編集する	114	ズームアウトを行う	171
		原寸で表示する	171
		選択したデータを画面全体に表示する	171
		デザインページ全体を表示する	171
		刺しゅうファイルを確認する	172
		2点間の距離を測る	172
		縫製範囲を設定する	172
		縫い順/糸色を確認・変更する	173
		縫製イメージをプレビューする	175
		ステッチを確認する	176

刺しゅうデータ情報を確認する.....	177	フォントファイルを開く.....	238
刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで 見る.....	178	下絵を開く.....	239
保存・印刷する	180	デザインページのガイドライン.....	240
保存する.....	180	作成する文字を選択する	242
印刷する.....	183	フォントデータを作成する	243
ソフトウェア設定を変更する	185	フォントデータを編集する	245
グリッドの設定を変更する.....	185	フォントデータを選択する.....	245
長さの単位を変更する.....	185	フォントデータを移動する.....	245
大型刺しゅうの作成	186	フォントデータを拡大・縮小する.....	246
大型枠用のデータを作成する.....	186	フォントデータを削除する.....	246
分割模様を刺しゅうする	191	フォントデータを切り取る.....	246
分割模様の刺しゅうデータを縫製する (カスタムサイズ).....	191	フォントデータをコピーする.....	246
刺しゅうデータの原画からの作成 (デザインセンター)	195	フォントデータを複製する.....	247
デザインセンターの基本操作手順	195	フォントデータを貼り付ける.....	247
原画ステージ	196	フォントデータを上下に反転する.....	247
ウィザードを使用する.....	196	フォントデータを左右に反転する.....	247
TWAIN 機器から画像データを取り込む.....	197	フォントデータを回転する.....	248
輪郭線画ステージ	198	フォントデータのポイントを編集する	249
画像の輪郭を抽出する.....	198	ポイントを移動する.....	249
輪郭線画ステージで新規デザインページを作成 する.....	199	ポイントを挿入する.....	249
輪郭線の描画と消去のしかた.....	200	ポイントを削除する.....	250
輪郭データステージ	201	ポイントを編集する.....	250
輪郭線変換の設定を指定する.....	201	作成したフォントデータを確認する	251
下絵の表示のしかたを変更する.....	202	縫い順を確認・変更する.....	251
下絵の位置やサイズを調整する.....	202	フォントデータをプレビューする.....	252
デザインページのサイズを設定する.....	203	作成した文字一覧を確認する.....	252
輪郭データステージで新規デザインページを 作成する.....	204	表示方法を切り替える	253
輪郭データを編集する.....	204	ズームインを行う.....	253
輪郭データのポイントを編集する.....	207	ズームアウトを行う.....	253
直線を描く.....	209	特定のフォントデータだけをズームする.....	253
刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで 見る.....	209	デザインページ全体を表示する.....	253
縫い方設定ステージ	211	フォントファイルを保存する	254
表示色を指定する.....	211	上書き保存する.....	254
線と面に縫い方を設定する.....	211	新しい名前を付けて保存する.....	254
縫い方バーの使い方.....	215	各設定を変更する	255
よく使う縫い方を保存する.....	227	描画モードを変更する.....	255
スタンプを設定・編集する.....	229	下絵の表示設定を変更する.....	255
縫い順を確認・変更する.....	231	グリッドの設定を変更する.....	256
ステッチを確認する.....	232	パターンの作成 (ステッチクリエイター)	257
縫製イメージをプレビューする.....	233	ファイルを開く	257
刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで 見る.....	234	下絵を開く.....	258
刺しゅうデータを保存する.....	235	新規パターンを作成する	259
レイアウトセンターに刺しゅうデータを送る.....	236	作成するパターンを選択する.....	259
ソフトウェアの設定を変更する.....	237	作成中にパターンの模様イメージを確認する	261
オリジナルフォントの作成 (フォントクリエイター)	238	プログラムタタミ/スタンプモードでパターン を作成する	262
フォントクリエイターを起動する	238	プログラムタタミ/スタンプモードでパターン を編集する	263
ファイルを開く	238	パターンを選択する.....	263
新しいフォントを作成する.....	238	パターンを移動する.....	263
		パターンを拡大・縮小する.....	263
		パターンを削除する.....	264
		パターンを切り取る.....	264
		パターンをコピーする.....	264
		パターンを複製する.....	264

パターンを貼り付ける.....	264
パターンを上下に反転する.....	264
パターンを左右に反転する.....	265
パターンを回転する.....	265
プログラムタタミ/スタンプモードでパターンを編集する(ポイントの編集).....	266
ポイントを移動する.....	266
ポイントを挿入する.....	266
ポイントを削除する.....	267
面の縫い方を設定する.....	268
モチーフモードでモチーフパターンを作成する.....	269
モチーフモードでパターンを編集する.....	270
複数のポイントを一度に移動・削除する.....	270
パターンを拡大・縮小する.....	270
パターンを上下または左右に反転する.....	270
パターンを保存する.....	272
上書き保存する.....	272
新しい名前を付けて保存する.....	272
各設定を変更する.....	273
下絵の表示設定を変更する.....	273
グリッドの設定を変更する.....	273
刺しゅうファイルの管理(デザインデータベース).....	274
デザインデータベースを起動する.....	274
刺しゅうファイルを整理する.....	274
新規フォルダを作成する.....	274
刺しゅうファイルを別のフォルダに移動・コピーする.....	275
刺しゅうファイルの名前を変更する.....	275
刺しゅうファイルを削除する.....	275
コンテンツビューの表示のしかたを変更する.....	276
刺しゅうファイルを開く.....	277
レイアウトセンターで刺しゅうファイルを開く.....	277
レイアウトセンターで刺しゅうファイルを取り込む.....	277
刺しゅうファイルを確認する.....	278
刺しゅうファイルをプレビューする.....	278
刺しゅうファイルの情報を確認する.....	278
刺しゅうファイルを検索する.....	280
刺しゅうファイルを別の形式に変換する.....	282
刺しゅうファイルをオリジナルカードへ書き込む.....	284
一覧(刺しゅう見本)を出力する.....	287
印刷する.....	287
HTML ファイルを出力する.....	287
CSV ファイルを出力する.....	288
使ってみましょう(上級編).....	289
写真を自動的に刺しゅうデータに変換する(フォトステッチ機能).....	289
ステップ1 レイアウトセンターに写真データを取り込む.....	289
ステップ2 画像を刺しゅうデータに自動変換する.....	290
ステップ3 糸色の設定.....	292
ステップ4 刺しゅうデータをプレビューする.....	293
ステップ5 刺しゅうデータを保存する.....	294
ステップ6 オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む.....	294
オリジナルフォントをマニュアルで作成する(フォントクリエイター).....	296
ステップ1 下絵を準備する.....	296
ステップ2 下絵を開く.....	296
ステップ3 フォントデータを作成する.....	298
ステップ4 他の文字のデータを作成する.....	301
ステップ5 作成したフォントを使用して刺しゅうデータを作成する.....	305
パターンの作成(ステッチクリエイター).....	307
ステップ1 プログラムタタミのパターンファイルを開く.....	307
ステップ2 [例1] 線を描いてパターンを編集する.....	308
ステップ2 [例2] 縫い沈め/浮き上がり効果を設定する(プログラムタタミ/スタンプモード).....	309
ステップ2 [例3] 線を編集してパターンを作成する(モチーフモード).....	311
ステップ3 編集したパターンを保存する.....	312
分割模様の刺しゅうデータを作成する.....	313
ステップ1 レイアウトセンターでデザインページのサイズを設定する.....	313
ステップ2 刺しゅうデータを作成する.....	314
ステップ3 縫い順を確認する.....	314
ステップ4 刺しゅうデータを保存する.....	315
ステップ5 オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む.....	315
ヒントとテクニック.....	317
縫い方の種類.....	317
刺しゅうデータの拡大・縮小について.....	319
縫い方向.....	319
縫い順.....	319
広い範囲を縫うときは.....	319
デザインセンターに原画を取り込む際のヒント.....	320
ステッチデータの一部を切り取る(ステッチ分割ツールを使用する).....	321
美しい写真刺しゅうを作成する.....	321
刺しゅうに適した書体.....	322
抜き文字を作成する(図形データに変換した文字を使用する).....	323
アルファベット以外の文字(中国語、韓国語など)を刺しゅうデータに変換する.....	324
メニュー/ツール.....	325
レイアウトセンター.....	325
ツールボックスボタン一覧.....	325
メニュー一覧.....	326
デザインセンター.....	335
ツールボックスボタン一覧.....	335
メニュー一覧.....	338

フォントクリエイター	343
ツールボックスボタン一覧	343
メニュー一覧	343
ステッチクリエイター	348
ツールボックスボタン一覧	348
メニュー一覧	348
デザインデータベース	352
メニュー一覧	352
困ったときは	355
索引	356

マニュアルの使い方

画面の設定



このマニュアルは、操作ボタン、サポートメニュー、タイトルメニュー、説明ページの4つで構成されています。文字のサイズを変更する場合は、**表示メニュー**の**文字のサイズ**をクリックします。

操作ボタン

操作ボタンをクリックすると、画面の切り替え、テキストの印刷などを行えます。



- ホーム** マニュアルの最初の画面を表示します。
- 戻る** 直前に表示していた画面に戻ります。
- 次へ** **戻る** ボタンをクリックする前に表示していたページを再度表示します。
- 印刷** 表示されているページを印刷します。(詳しくは、P.3を参照してください。)
- 検索** マニュアルのテキストから用語や用語の一部(文字列)を検索できます。(詳しくは、P.3を参照してください。)

サポートメニューの使用法

サポートメニューのボタンをクリックすると、マニュアルやアプリケーションに関する情報を確認できます。



表示される内容は、次のとおりです。

- マニュアルの使い方** 本マニュアルの画面表示と操作方法について
- 本アプリケーションソフトの特性** 刺しゅうPROの機能について
- 新機能の説明** バージョン7.0の新機能と、バージョン6.0からの変更点について
- 操作の流れ** 各アプリケーションソフトの操作の流れとの関係について

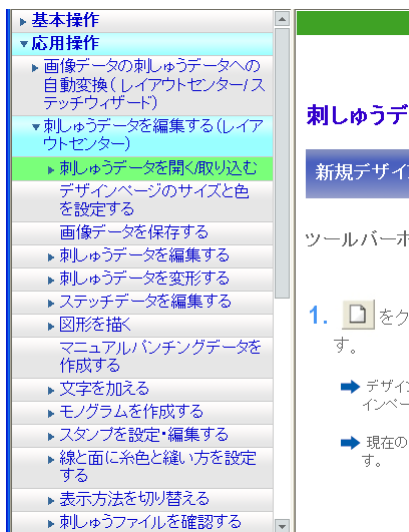
サポートサービス アプリケーションソフトのサポートサービス情報と、Web 上のサポートページについて

メモ：

サポート情報にアクセスするには、インターネットに接続できる環境が必要です。

サイトマップ 本マニュアルのサイトマップ
マニュアルのすべての項目を一覧表示しています。

タイトルメニューと説明ページの使い方



■ タイトルメニューの操作

ここでは、読みたい項目を選択します。

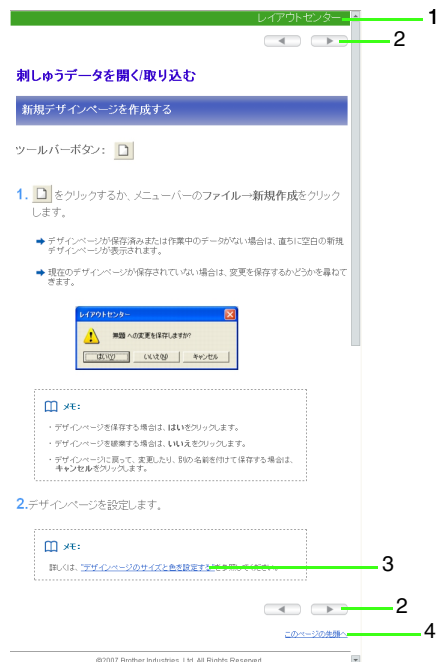
左側に ▶ が付いているタイトルは、クリックすると、そのタイトルの下に下位階層のタイトルが表示され、▶ は ▼ に変わります。

タイトルをもう一度クリックすると、下位階層のタイトルは非表示に戻ります。

▶ が付いていないタイトルは、その下に階層はありません。タイトルをクリックすると、その説明ページが表示されます。

▲ と ▼ をクリックすると、タイトルメニューがスクロールし、画面に表示されていないタイトルを表示できます。

■ 説明ページの表示方法



1. 表示されている説明で使用するアプリケーションソフトが表示されます。
2. ◀ をクリックすると前のページに戻り、▶ をクリックすると次のページに進みます。
3. クリックすると、関連するページが表示されます。
4. クリックすると、そのページの最初の画面に戻ります。

右端の ▲ と ▼ をクリックすると、説明ページがスクロールし、画面に表示されていない説明を表示できます。

印刷する

本マニュアルを印刷するには、プリンタが必要です。プリンタによっては、図や画面が画面に表示されたおりに印刷できないことがあります。

メモ：

画面に表示されているとおりに印刷するには、背景も印刷する設定にします。印刷の設定は、ご使用のオペレーティングシステムの手順に従ってください。

Windows XP および Windows Vista の場合

スタート→コントロールパネル→ネットワークとインターネット接続→インターネットオプションをクリックします。

詳細設定タブをクリックします。

背景の色とイメージを印刷するをクリックしてチェックマークを付け、適用、OK の順にクリックします。


Windows 2000 の場合

スタート→設定→コントロールパネル→インターネットオプションをクリックします。


詳細設定をクリックします。

背景の色とイメージを印刷するをクリックしてチェックマークを付け、適用、OK の順にクリックします。

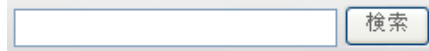
■ 説明画面の内容を印刷する


1. 印刷するページを表示します。
2.  をクリックします。
3. プリンタなどを確認し、印刷をクリックします。

メモ：

表示しているページの一部を印刷したいときは、印刷したい部分を選択して（反転表示にします）から  をクリックし、印刷ダイアログボックスで選択した部分を選択します。


検索機能の使い方



1. テキストボックスに、検索したい文字列を入力します。
2.  をクリックします。

→ 検索文字列が見つかったページのタイトルと検索したテキスト部分が、説明ページ領域に表示されます。



3. 表示したいページのタイトルをクリックします。
→ 選択した説明画面が表示されます。検索結果の画面に戻るときは、 をクリックします。

関連 Web ページを表示する



メモ：

Web ページにアクセスするには、インターネットに接続できる環境が必要です。

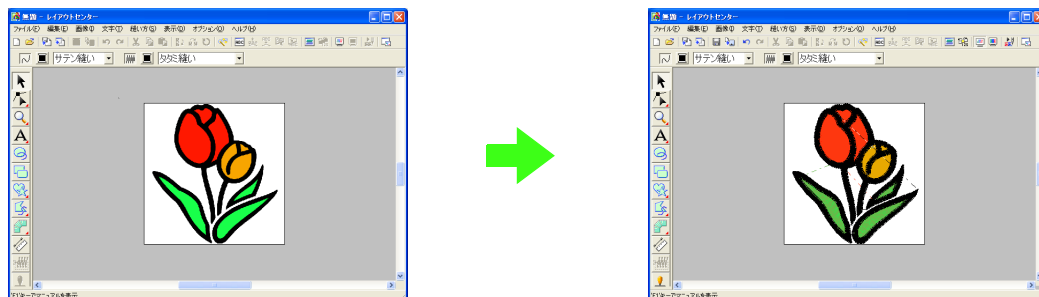
1. ブラウザホームページを表示します。


本アプリケーションソフトの特長

「刺しゅうPRO」でできること

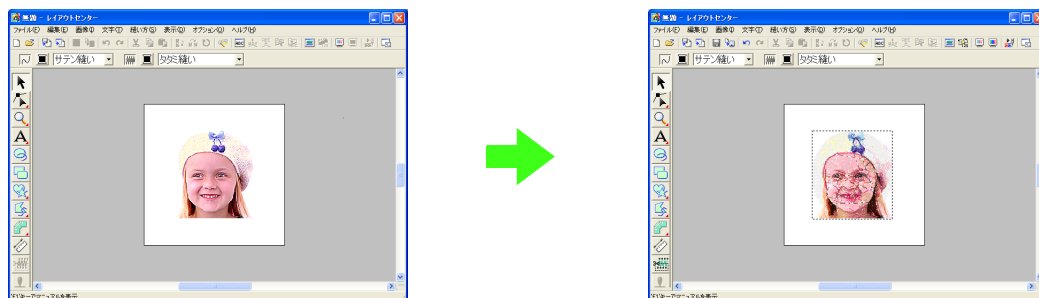
「刺しゅうPRO」の多彩な編集機能により、自由にあなただけの刺しゅうデータを作成できます。イラストや写真、文字を簡単にオリジナル刺しゅうデータに変えることができます。


画像を自動的に刺しゅうデータにできます



 詳しくは、P.21の「画像を刺しゅうデータに自動変換する（オートパンチ機能）」を参照してください。

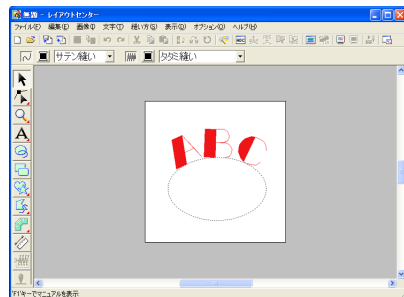
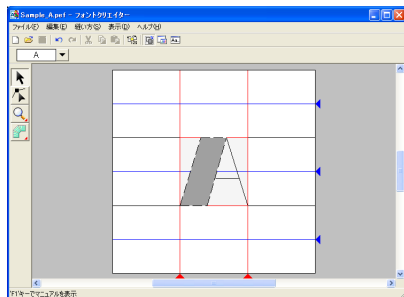
写真を自動的に刺しゅうデータにできます




 詳しくは、P.30の「写真を自動的に刺しゅうデータに変換する（フォトステッチ機能）」とP.289の「写真を自動的に刺しゅうデータに変換する（フォトステッチ機能）」を参照してください。

オリジナルフォントを簡単に作成できます

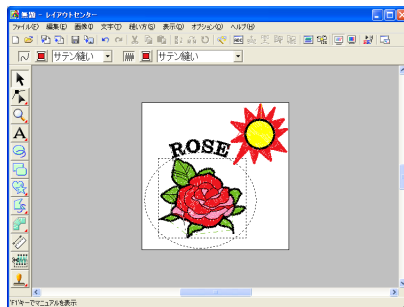
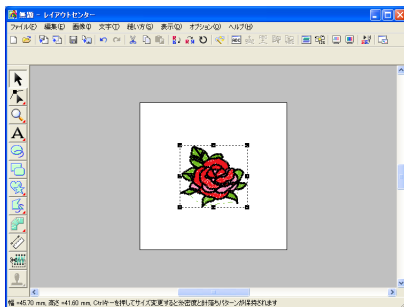
フォントクリエイターを使用すると、オリジナルフォントを作成できます。文字データの書体にオリジナルフォントを指定して、レイアウトセンターで使用できます。




 詳しくは、P.296の「オリジナルフォントをマニュアルで作成する（フォントクリエイター）」を参照してください。

図形や文字を入力して組み合わせることができます

パソコン上で描いた図形や文字に縫い方を設定したり、刺しゅうデータを組み合わせたりすることができます。さらに、いろいろな縫い方を使って、様々な刺しゅうデータをデザインできます。



 詳しくは、P.48の「刺しゅうデータを配置する（レイアウトセンター）」を参照してください。

刺しゅう文字について




ミニサイズ文字以外の刺しゅう文字は書体によってあまり小さいサイズを設定すると、きれいに縫製できない場合があります。

1文字のサイズは、日本語書体は15 mm以上、欧文書体（アルファベット等）は10 mm以上での設定をおすすめします。



また、True Type フォントを使用する場合は、フォントのデザインによってきれいに刺しゅうデータに変換されない場合があります。均一な太めのラインでデザインされた True Type フォントをお選びください。

4つのアプリケーションソフトで刺しゅうデータを作成します



■ レイアウトセンター

-  P.21の「画像を刺しゅうデータに自動変換する（オートパンチ機能）」を参照してください。
-  P.48の「刺しゅうデータを配置する（レイアウトセンター）」を参照してください。
-  詳しくは、P.79からP.194を参照してください。



■ デザインセンター

-  P.36の「原画から刺しゅうデータを作成する（デザインセンター）」を参照してください。
-  詳しくは、P.195からP.237を参照してください。

■ フォントクリエイター

-  P.296の「オリジナルフォントをマニュアルで作成する（フォントクリエイター）」を参照してください。
-  詳しくは、P.238からP.256を参照してください。

■ ステッチクリエイター

-  P.307の「パターンの作成（ステッチクリエイター）」を参照してください。
-  詳しくは、P.257からP.273を参照してください。

新機能の説明

バージョン7の新機能

■ 縫い方の設定

- 線の縫い方に、「3重縫い」が追加されました。(P.151、P.154、P.219)
- 面の縫い方に、「ステッピング」が追加されました。(P.151、P.162、P.225)
- 下打ちの種類が増えました。
 - 面の縫い方の設定に新しい下打ちの種類を追加しました。(P.156、P.157、P.159、P.220、P.221、P.222)
 - 下打ちは、サテン縫い、マニュアルパンチング、文字にも設定できるようになりました。(P.154、P.159、P.219)
- マニュアルパンチングにモチーフ縫いを設定できるようになりました。(P.151)
- 面にパイピング縫いを設定できるようになりました。(P.151)
- サテン縫いの角のタイプを選べるようになりました。
 - 角のタイプは2種類あります。(P.154、P.219)
- モチーフ縫いの縫い方設定が拡充されました。
 - モチーフの縦と横のスペースを指定できます。「スペース」(P.155)、「スペース横」と「スペース縦」(P.161、P.224)
 - モチーフのサイズを100×100mmまで指定できます。(P.155、P.161、P.224)

■ 編集機能とソフトウェアの設定

- 矢印キーを押し続けると、矢印の方向に移動し続ける機能が追加されました。(P.102、P.107、P.204、P.207)
- よく使う縫い方を保存できるようになりました。(P.167、P.227)

レイアウトセンター

- 新規作成したオリジナルフォントをレイアウトセンターで使えるようになりました。(フォントクリエイターで作成) (P.305)
- ミニサイズ文字が追加されました。(最小文字サイズ3.0mm) (P.138)
- True Type フォントを使用して、アルファベット以外の文字(中国語、韓国語など)からも刺しゅうデータを作成できるようになりました。(P.324)
- モノグラム機能の飾り模様の種類が増えました。また、モノグラム文字の部分に、内蔵フォント、True Type フォント、およびフォントクリエイターで作成したオリジナルフォントを使えるようになりました。(P.69、P.141)
- テキストの個々の文字をドラッグして編集できるようになりました。文字間、サイズ、回転、基準線からのオフセットの変更は、個々の文字をドラッグして実行できるようになりました。文字の変形もドラッグしてできるようになりました。(P.134、P.137)
- オートパンチ機能で、曲線の輪郭を作成できるようになりました。(P.84)
- 曲線の形の編集機能が向上しました。(P.110、P.110、P.111)
- ツールボックスに図形ツールが追加され、24種類の図形が簡単に描画できるようになりました。(P.122)
- 取り込み・書き出しができる刺しゅうデータのファイル形式が6種類増えました。次の形式をサポートしています。 .pec、.pes、.dst、.exp、.pcs、.hus、.vip、.shv、.jef、.sew、.csd、.xxx、.phc (.pecと.phcは取り込みのみ) (P.96、P.277)
- 画像表示のしかたで、画像表示の濃さを選択できるようになりました。(P.82)
- レイアウトセンターで、画像ファイル、.pesファイル、刺しゅうデータファイルをドラッグアンドドロップで開いたり、取り込んだりできるようになりました。(P.79、P.96、P.97)
- フォトステッチ機能が向上しました。
 - 写真から刺しゅうデータをより簡単に作成できるようになりました。(P.30、P.85、P.88、P.289)
 - 処理速度と色の選択機能が向上しました。(P.30、P.85、P.289)
- 刺しゅう枠より大きなサイズの刺しゅうを作成できるようになりました。(P.191、P.313)。

デザインセンター

- 「輪郭線の選択」ダイアログボックスで色と色の境界線を抽出できるようになりました。(P.198、P.199)
- 輪郭データステージのポイント編集に、線の接続と切断の機能が追加されました。(P.208)
- 縫い方設定ステージで、輪郭線の一部の糸色を変えることができるようになりました。(P.213)
- 縫い方設定ステージのツールバーに、レイアウトセンターで縫い方設定ステージの刺しゅうデータを取り込むボタンが追加されました。(P.45、P.236)
- 元に戻す/やり直しが、輪郭線画ステージでは5回、輪郭データステージと縫い方ステージでは20回までできるようになりました。(P.207)
- 輪郭データステージに下絵を、また、縫い方設定ステージのリファレンスウィンドウで原画を表示できるようになりました。(P.202、P.210)

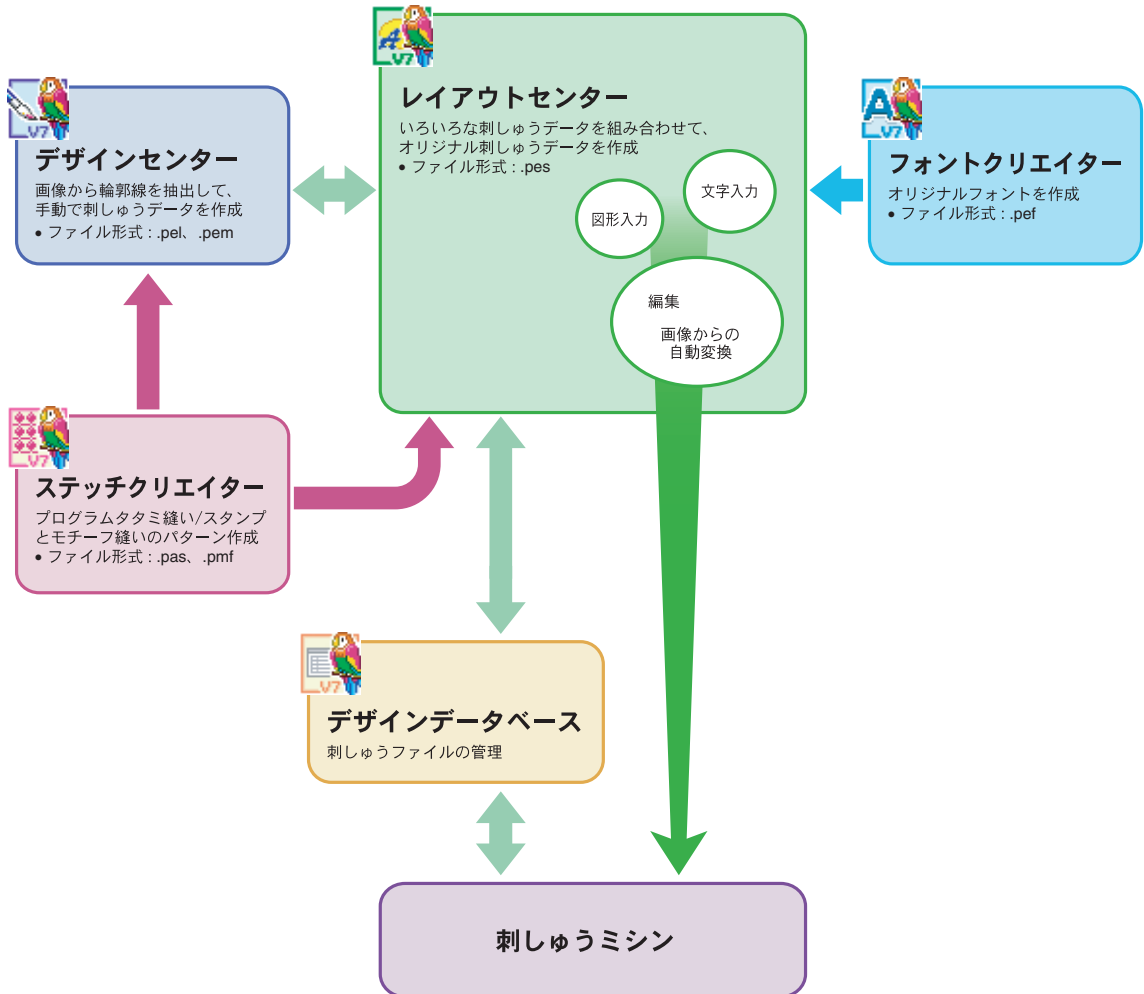
デザインデータベース

- デザインデータベースからレイアウトセンターに、刺しゅうファイルをドラッグアンドドロップで開いたり取り込んだりできるようになりました。(P.277、P.277)
- デザインデータベースからオリジナルカードに刺しゅうデータの書き込みできるようになりました。(P.284)
- 印刷、CSV ファイル出力、またはファイルプロパティ表示の情報を、糸番号が追加されました。(P.66、P.67、P.278、P.287、P.288)

■ 全般

- オリジナルフォントを作成するためのフォントクリエイターが新しく追加されました。(P.238、P.296)
- プログラムの最新バージョンを自動的にチェックして更新できるようになりました。(P.11)
- 画像や刺しゅうデータのサンプルファイルが新たに追加されました。

操作の流れ



ユーザーインフォメーション

本製品についての、使い方やアフターサービスについてご不明な場合はお買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」までお問い合わせください。

お客様相談室（ミシン 119 番） 0120 - 340 - 233

〒 467-8577 愛知県名古屋市長区瑞穂区苗代町 15-1

お客様相談室（ミシン 119 番）

TEL: 0120 - 340 - 233 FAX: 052 - 824 - 3031

営業時間：月曜日～金曜日 9:00～17:30 土曜日 9:00～12:00 13:00～17:00

（祝祭日、ブラザー販売（株）休日を除く）

本製品のサポート情報については、下記アドレスの弊社 Web サイトをご覧ください。

ブラザーソリューションセンター (<http://solutions.brother.co.jp/>)



注意：

ユーザーインフォメーションにお問い合わせいただく前に、次の情報をお手元にご用意ください。

- パソコンのモデル名と Windows® オペレーティングシステム。（システム要件については、クイックスタートガイドを参照してください。）
- 表示されるエラーメッセージ。この情報は、ご質問に迅速に回答するために役立ちます。

オンライン登録

アップグレード等のご連絡や、今後の製品開発・改良の貴重な資料とさせていただくため、本製品は登録手続きを短時間で行えるようにオンラインでユーザー登録できるようになっております。

レイアウトセンターのヘルプメニューの**オンライン登録**をクリックすると、ブラウザが起動し弊社のホームページ「オンラインユーザー登録」のページが開きます。

最新のプログラムにアップデートする

お使いの刺しゅうPRO Ver.7 を最新のプログラムにするには以下の2つの方法があります。

メモ：

Windows Vista をお使いのお客様には、方法1によるアップデートを推奨します。

注意：

最新のプログラムにアップデートする場合は、Administrator の権限のついたユーザーアカウントでログオンしてください。Administrator の権限のついたユーザーアカウントでのログオンについて詳しくは Windows の取扱説明書を参照してください。

方法1：刺しゅうPRO Ver.7 のホームページからアップデートプログラムをダウンロードしてインストールする

1. 刺しゅうPRO Ver.7 のホームページを開く

レイアウトセンターのヘルプ→刺しゅうPRO WEB ページをクリックします。

注意：

インターネットに接続していないパソコンではこの機能は使用できません。

2. アップデートプログラムをダウンロードしてインストールする

ホームページに最新のアップデートプログラムの情報が表示されます。ページ上に表示されるダウンロードの方法とアップデートの方法に従って操作します。

方法2：レイアウトセンターのソフトウェアの更新確認機能を使用する

レイアウトセンターのソフトウェアの更新確認機能を使用して、最新のプログラムになっているか自動的にチェックし、アップデートします。

注意：

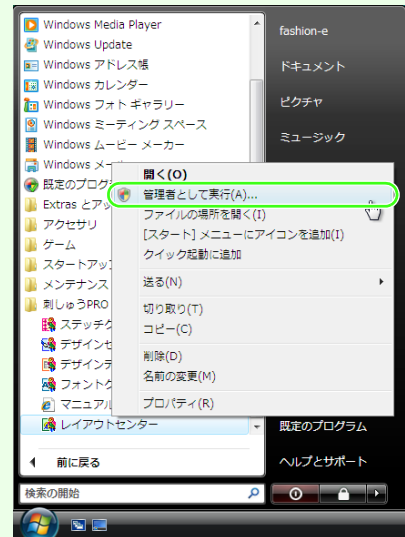
インターネットに接続していないパソコンではこの機能は使用できません。

1. レイアウトセンターを起動します。

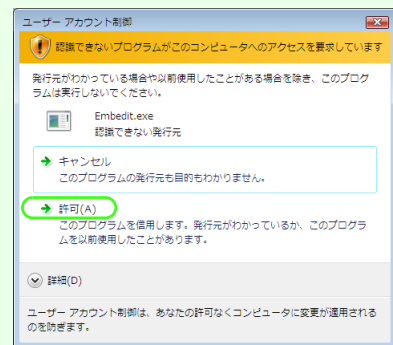
注意：

Windows Vista の場合は、以下の手順でレイアウトセンターを起動してください。

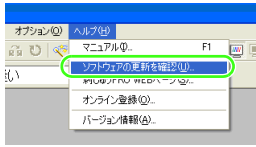
1.メニューでレイアウトセンターをポイントし、右クリックすると、下図のようなポップアップメニューが表示されます。**管理者として実行**をクリックしてください。



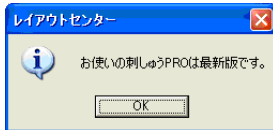
2.ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されるので、**許可**をクリックしてください。



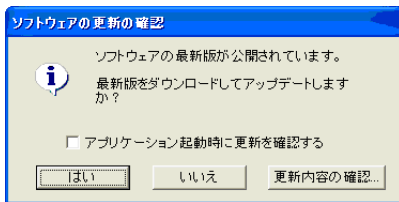
2. レイアウトセンターのヘルプ→ソフトウェアの更新を確認をクリックします。



→ 以下のメッセージが表示された場合は、プログラムは最新になっています。



→ 以下のメッセージが表示された場合は、プログラムは最新になっていません。**はい**をクリックすると、Web から最新のプログラムがダウンロードされます。



📖 メモ：

アプリケーション起動時に更新を確認するをチェックすると、プログラムの起動時に毎回最新のプログラムになっているかチェックします。
更新内容の確認をクリックすると、変更内容が表示されます。

3. ダウンロードが終了したら、レイアウトセンターおよび他の刺しゅうPRO のアプリケーションを全て終了してください。

4. レイアウトセンターを再起動します。

💡 注意：

Windows Vistaの場合は、レイアウトセンターを再起動するときも、P.11の「注意」と同様に**管理者として実行**をクリックしてください。

以上でアップデート作業は完了です。

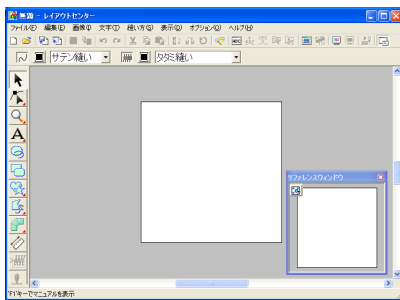
アプリケーションを起動する / 終了する

レイアウトセンターを起動する

レイアウトセンターでは、原画から刺しゅうデータを自動的に作成したり、図形データや文字データを作成、編集し、それらを組み合わせて刺しゅうデータを作成したりできます。

1. **スタート** をクリックし、**すべてのプログラム→刺しゅうPRO Ver.7→レイアウトセンター**を選択すると、**レイアウトセンター**画面が開きます。

→ レイアウトセンター画面が表示されます。



メモ:

- ディスプレイ画面全体にレイアウトセンター画面を表示するには、タイトルバーの右端の最大化ボタンをクリックします。
- デザインページの設定を変更できます。メニューバーの**オプション→デザインページの設定**をクリックします。(詳しくは、P.100を参照してください。) デザインページの標準サイズは100×100mmです。
- アプリケーションで使う長さの単位は、mmまたはインチから選択できます。詳しくは、P.185の「長さの単位を変更する」を参照してください。

デザインセンターを起動する

デザインセンターでは、4つのステージを踏むことにより原画から刺しゅうデータを作成できます。


1. **スタート** をクリックし、**すべてのプログラム→刺しゅうPRO Ver.7→デザインセンター**を選択すると、**デザインセンター**画面が開きます。

→ **どのように刺しゅうを作りますか**ダイアログボックスとデザインセンター画面が表示されます。

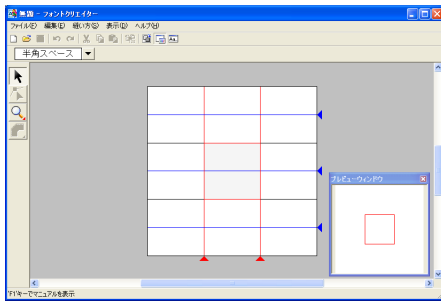


フォントクリエイターを起動する

フォントクリエイターでは、オリジナルフォントのフォントデータを作成できます。


1.  をクリックし、**すべてのプログラム→刺しゅうPRO Ver.7→フォントクリエイター**を選択すると、**フォントクリエイター**画面が開きます。

→フォントクリエイター画面が表示されます。

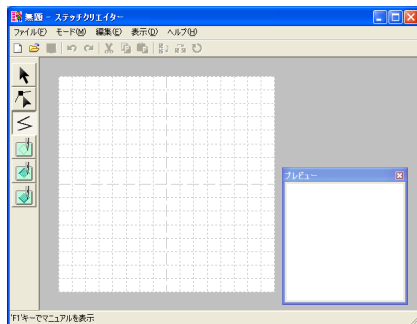


ステッチクリエイターを起動する

ステッチクリエイターでは、プログラムタタミ縫いとモチーフ縫いのパターンを作成、編集、保存ができます。そのパターンは、プログラムタタミ縫いまたはモチーフ縫いの他、縫い方が設定された面に設定するスタンプに利用できます。

1.  をクリックし、**すべてのプログラム→刺しゅうPRO Ver.7→ステッチクリエイター**を選択すると、**ステッチクリエイター**画面が開きます。

→ステッチクリエイター画面が表示されます。

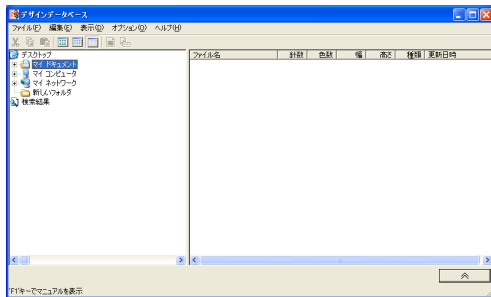


デザインデータベースを起動する

デザインデータベースでは、パソコン上の刺しゅうファイルの検索やプレビューができ、ファイルを整理したり、見つけ出したりすることが簡単にできます。

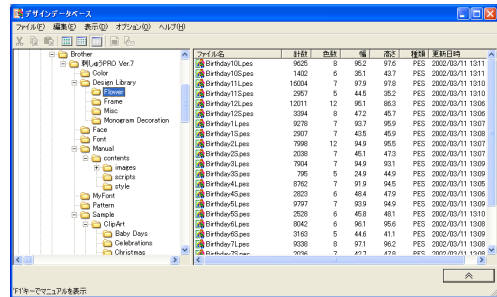
1. **スタート** をクリックし、**すべてのプログラム**→**刺しゅうPRO Ver.7**→**デザインデータベース**を選択すると、**デザインデータベース**画面が開きます。

→デザインデータベース画面が表示されます。



2. フォルダビュー内のフォルダをクリックします。

→フォルダ内のすべての刺しゅうファイルがコンテンツビューに表示されます。



メモ:

次の拡張子のファイルのみが表示されます。

.pes .dst .exp .pcs .hus .vip .shv .jef
.sew .csd .xxx .phc .pen

アプリケーションを終了する

作業が完了したら、アプリケーションを終了します。

1. メニューバーの**ファイル**→**終了**をクリックします。

→画面が閉じます。

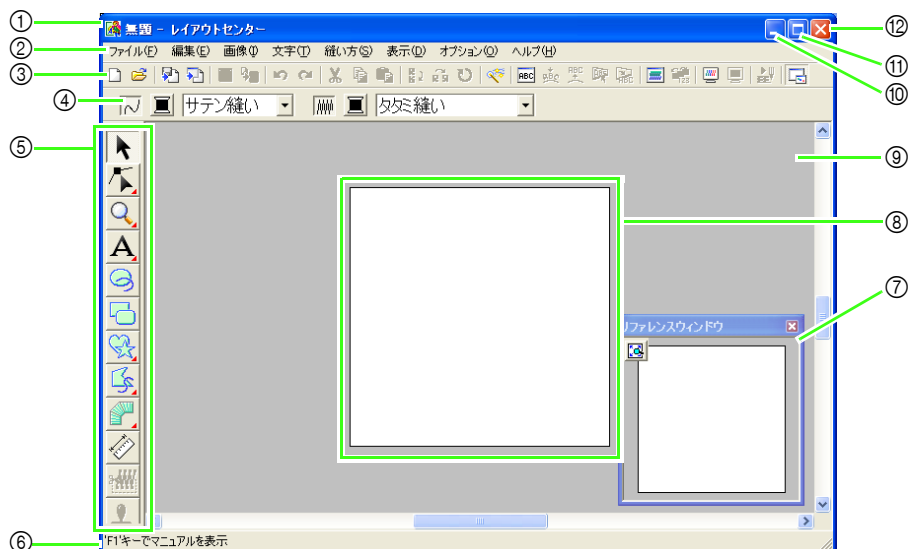
メモ:

タイトルバーの右端の閉じるボタンをクリックしても、アプリケーションを終了できます。

画面とツールについて

レイアウトセンター画面

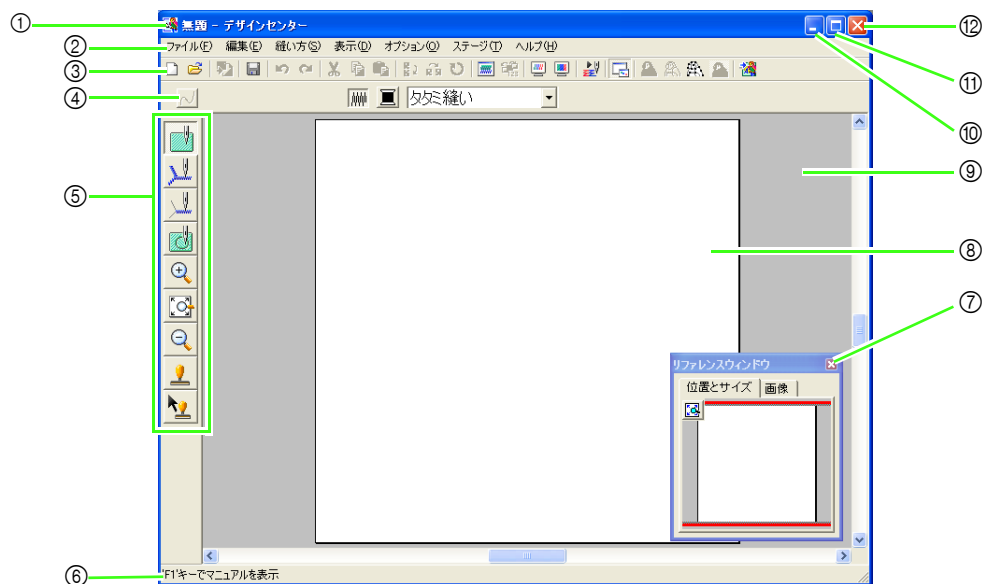
初期設定で表示されるデザインページのサイズは 100 × 100mm です。



- ① タイトルバー
- ② メニューバー
各機能を実行します。
- ③ ツールバー
各メニュー機能へのショートカットです。
- ④ 縫い方バー
刺しゅうデータの縫い方（糸色、縫い方の種類）等を設定します。
- ⑤ ツールボックス
刺しゅうデータの作成、選択、編集に使用します。
- ⑥ ステータスバー
簡単な情報を表示します。
- ⑦ リファレンスウィンドウ
リファレンスウィンドウには、常にデザインページ全体または刺しゅうデータ全体が表示され、デザインページをズームイン表示にしても、全体のどの部分が表示されているかを確認できます。（詳しくは、P.178の「刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで見る」を参照してください。）
- ⑧ デザインページ
この領域内で、刺しゅうデータを作成します。
- ⑨ 作業領域
- ⑩ 最小化ボタン
- ⑪ 最大化ボタン
- ⑫ 閉じるボタン

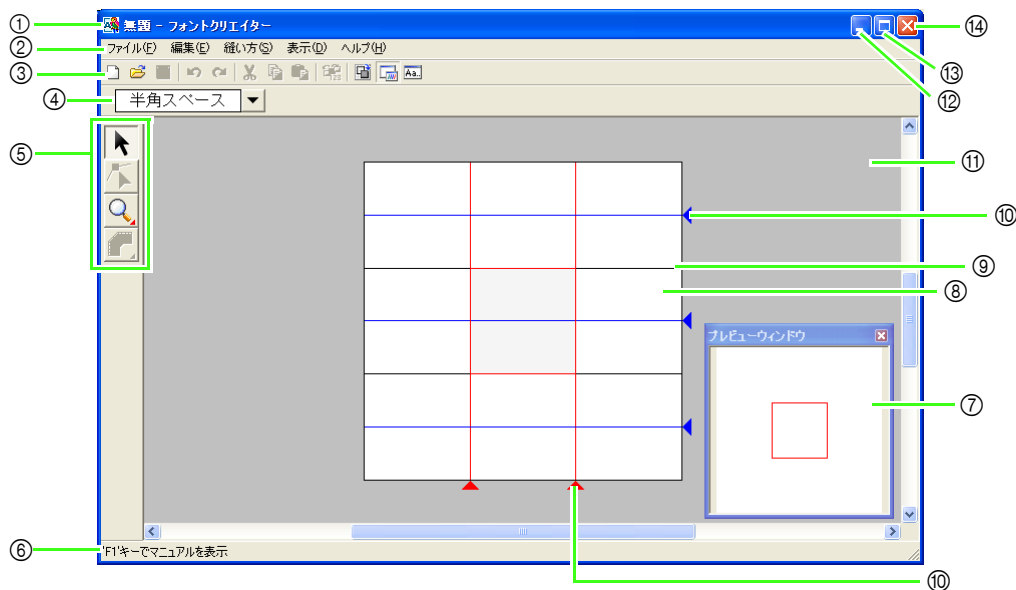
デザインセンター画面

初期設定で表示されるデザインページのサイズは 100 × 100mm です。



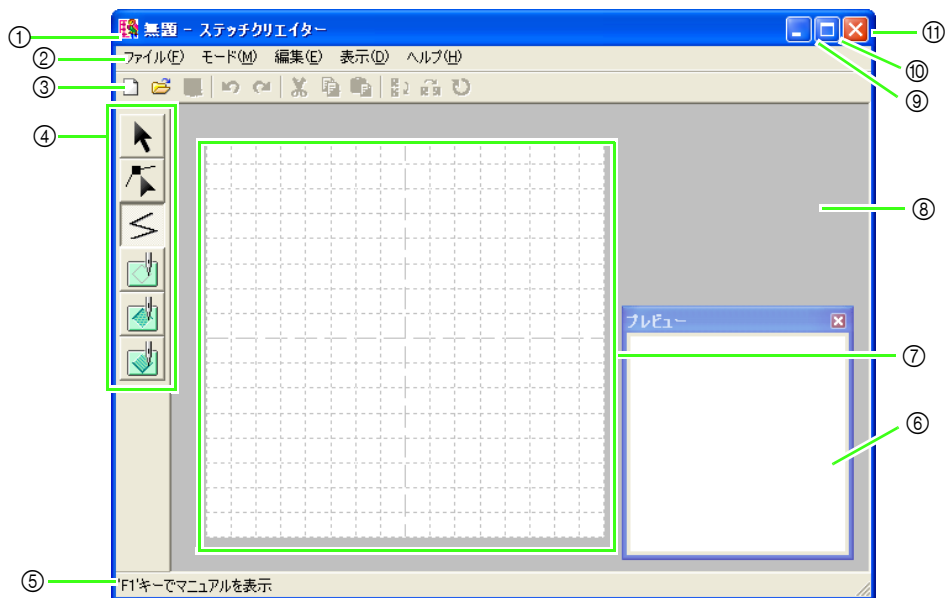
- ① タイトルバー
- ② メニューバー
各機能を実行します。
- ③ ツールバー
各メニュー機能へのショートカットです。
- ④ 縫い方バー
刺しゅうデータの縫い方（糸色、縫い方）を設定します。（縫い方設定ステージのみ）
- ⑤ ツールボックス
画像や刺しゅうデータを選択、編集に使用します。原画ステージにはありません。他のステージでは、それぞれ異なったツールボックスが表示されます。（上の画面は、縫い方設定ステージの画面です。）
- ⑥ ステータスバー
簡単な情報を表示します。
- ⑦ リファレンスウィンドウ
リファレンスウィンドウには、常に輪郭データまたは刺しゅうデータ全体が表示され、デザインページをズームイン表示にしても、全体のどの部分が表示されているかを確認できます。（詳しくは、P.209 の「刺しゅうデータを リファレンスウィンドウで見る」を参照してください。）
- ⑧ デザインページ
この領域内で、刺しゅうデータを作成します。
- ⑨ 作業領域
- ⑩ 最小化ボタン
- ⑪ 最大化ボタン
- ⑫ 閉じるボタン

フォントクリエイター画面



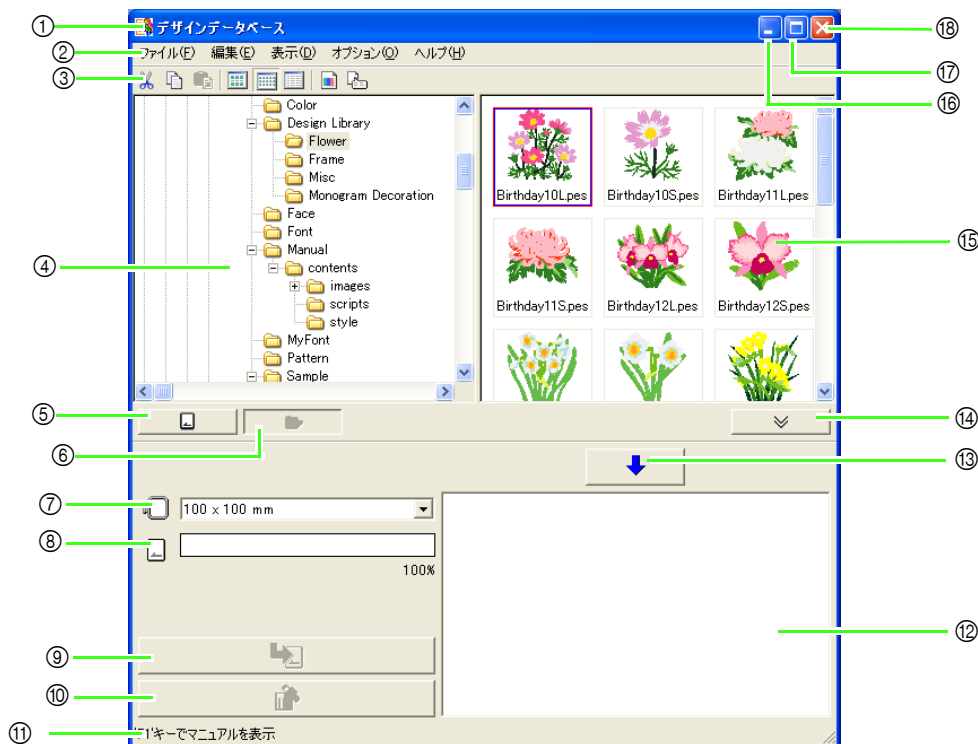
- ① タイトルバー
- ② メニューバー
各機能を実行します。
- ③ ツールバー
各メニュー機能へのショートカットです。
- ④ 文字の選択バー
作成、編集する文字を選択します。
- ⑤ ツールボックス
フォントデータの作成、選択、編集に使用します。
- ⑥ ステータスバー
簡単な情報を表示します。
- ⑦ プレビュー画面
フォントデータをプレビューできます。どのような縫い目になるか確認できます。
- ⑧ デザインページ
この領域内で、フォントデータを作成します。
- ⑨ ガイドライン (固定)
2本のガイドラインの間隔が、文字の高さの基準になります。
- ⑩ ガイドライン (移動可能)
このガイド線は、文字の形に応じて移動できます。2本の赤いガイドラインの間隔が、文字の幅の基準になります。3本の青いガイドラインは、上から、アルファベット文字のアクセントの位置、小文字の上端、小文字の下端になります。
- ⑪ 作業領域
- ⑫ 最小化ボタン
- ⑬ 最大化ボタン
- ⑭ 閉じるボタン

ステッチクリエイター画面



- ① タイトルバー
- ② メニューバー
各機能を実行します。
- ③ ツールバー
各メニュー機能へのショートカットです。
- ④ ツールボックス
パターンの作成、選択、編集に使用します。
(下の4つのボタンは、モチーフモードでは表示されません。)
- ⑤ ステータスバー
簡単な情報を表示します。
- ⑥ プレビュー画面
パターンがいくつか並べられてプレビュー表示されます。どのような縫い目になるか確認できます。
- ⑦ デザインページ
この領域内で、パターンを作成します。
- ⑧ 作業領域
- ⑨ 最小化ボタン
- ⑩ 最大化ボタン
- ⑪ 閉じるボタン

デザインデータベース画面



- ① タイトルバー
- ② メニューバー
各機能を実行します。
- ③ ツールバー
各メニュー機能へのショートカットです。
- ④ フォルダビュー
パソコン上のフォルダ階層や、実行された検索の結果を表示します。
- ⑤ カード読み込みボタン
オリジナルカードを読み込みます。
- ⑥ フォルダ内容表示ボタン
フォルダビューとコンテンツビューを、パソコンのフォルダ内容に切り替えます。
- ⑦ 刺しゅう枠セレクト
オリジナルカードに刺しゅうデータを書き込むときに、枠サイズを選択します。
- ⑧ カード容量インジケータ
オリジナルカードの容量に対する、選択した刺しゅうデータ（書き込み候補リストに追加したデータ）の容量が表示されます。
- ⑨ 書き込みボタン
書き込み候補リストに表示されている刺しゅうデータを、オリジナルカードに書き込みます。
- ⑩ 削除ボタン
選択されたデータを書き込み候補リストから削除します。
- ⑪ ステータスバー
簡単な情報を表示します。
- ⑫ 書き込み候補リスト
オリジナルカードに書き込む刺しゅうデータが表示されます。
- ⑬ 追加ボタン
コンテンツビューで選択した刺しゅうデータを、書き込み候補リストに追加します。
- ⑭ カード書き込みビューの表示/非表示ボタン
刺しゅうデータをオリジナルカードへ書き込むときにクリックします。カード書き込みビューの表示/非表示を切り替えます。
- ⑮ コンテンツビュー
選択したフォルダにあるすべての刺しゅうデータの一覧、またはサムネイル（アイコン）を表示します。
- ⑯ 最小化ボタン
- ⑰ 最大化ボタン
- ⑱ 閉じるボタン

使ってみましょう

画像を刺しゅうデータに自動変換する (オートパンチ機能)

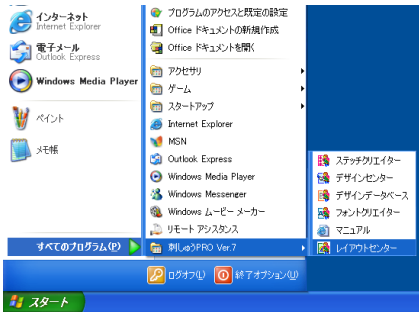
ここでは、オートパンチ機能を使って自動的に画像から刺しゅうデータを作成します。
この手順は、次のような操作の流れになっています。

ステップ1	レイアウトセンターに画像データを取り込む
ステップ2	画像を刺しゅうデータに自動変換する
ステップ3	刺しゅうデータをプレビューする
ステップ4	刺しゅうデータを保存する
ステップ5	オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

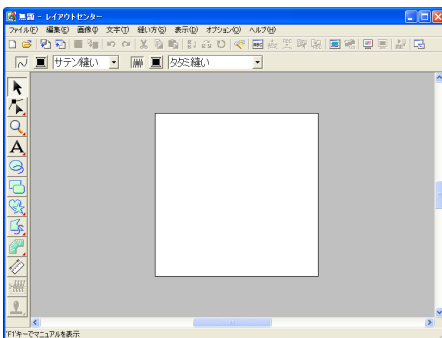
ステップ1 レイアウトセンターに 画像データを取り込む

まず、刺しゅうデータに変換する画像（原画）を取り込みます。
ここでは、アプリケーションに付属しているチューリップの画像（tulip.bmp）を使用します。

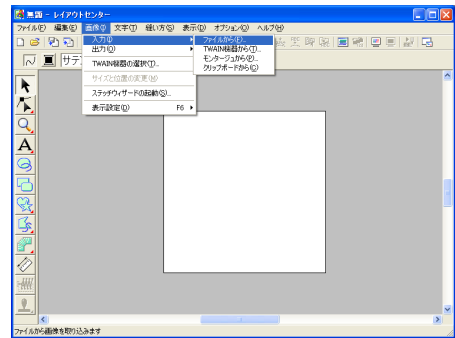
1 レイアウトセンターを起動します。



スタート をクリックし、**すべてのプログラム** → **刺しゅうPRO Ver.7** → **レイアウトセンター** を選択します。



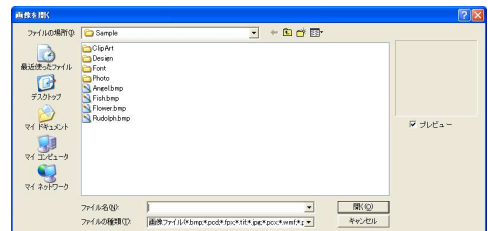
2 画像を取り込みます。



メニューバーの**画像** → **入力** → **ファイル** からをクリックします。

メモ：

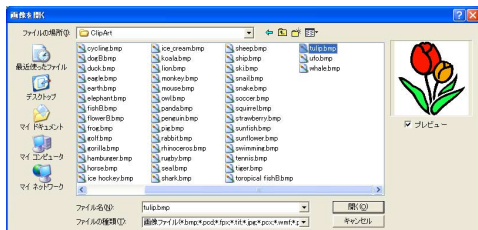
デザインページの標準サイズは、100 × 100mm です。



ClipArt フォルダをダブルクリックして開きます。

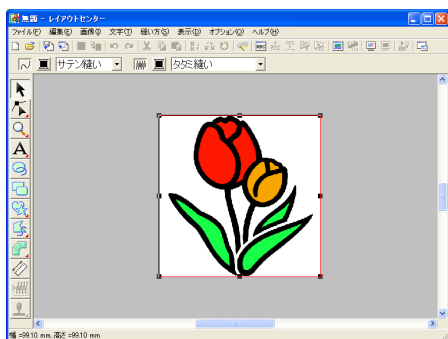
メモ：

Sample フォルダは %Program Files%\Brother\刺しゅうPRO Ver.7\Sample にあります。

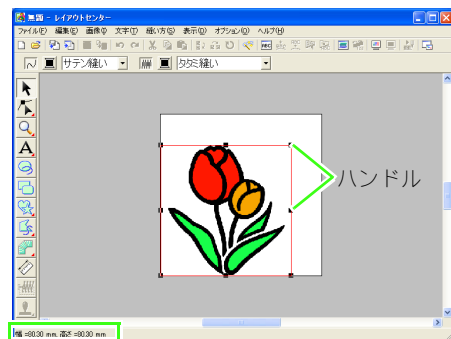


サンプルファイル **tulip.bmp** を選択し、**開く** をクリックするか、ファイルのアイコンをダブルクリックします。

→ 画像が作業領域に表示されます。



3 画像のサイズや位置を調整します。

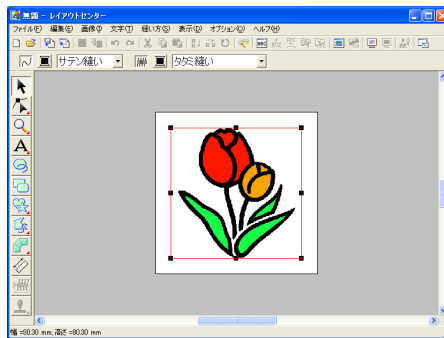


ステータスバーに画像のサイズが表示されます。

ハンドルをドラッグして、画像のサイズを調整します。

メモ：

ハンドルが見えなくなった場合は、画像を右クリックして表示されたメニューから**画像のサイズと位置**をクリックします。

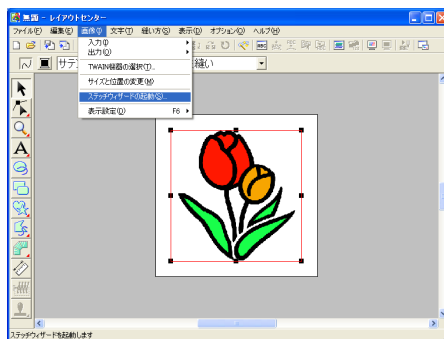


画像の上にカーソルを移動し、希望する位置までドラッグします。

ステップ2 画像を刺しゅうデータに自動変換する

次に、画像を自動的に刺しゅうデータに変換します。

1 変換方法を選択します。

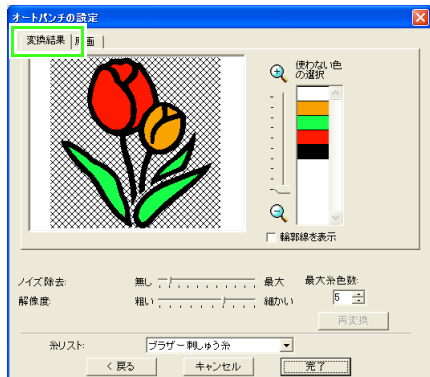


メニューバーの**画像→ステッチウィザードの起動**をクリックします。

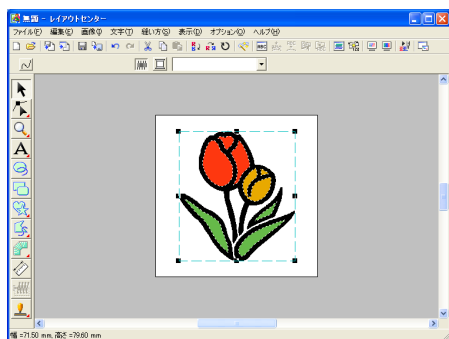


オートパンチを選択し、**次へ**をクリックします。

2 画像を刺しゅうデータに自動変換します。

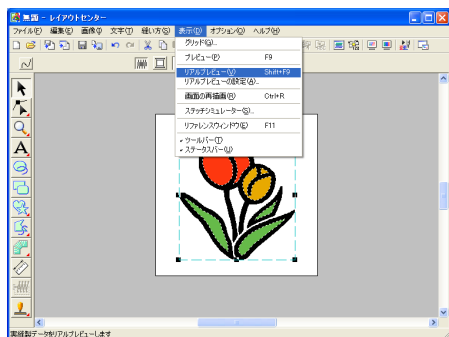


変換結果を確認して、**完了**をクリックします。
 → 変換された刺しゅうデータが、デザインページに表示されます。

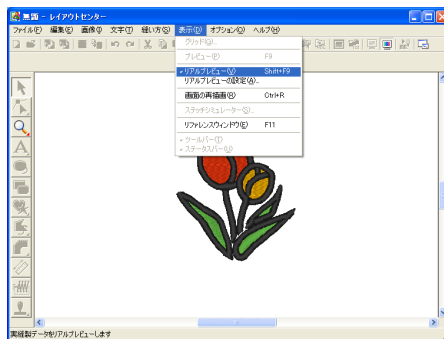
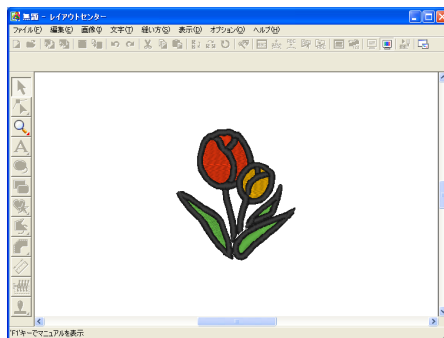


ステップ3 刺しゅうデータをプレビューする

完成した刺しゅうデータをプレビューします。



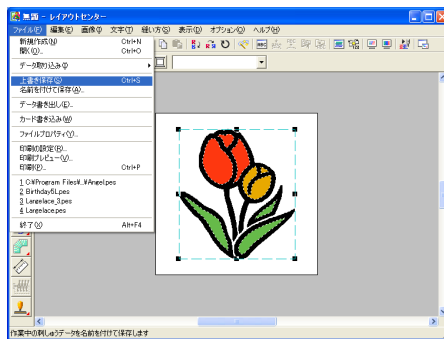
メニューバーの**表示→リアルプレビュー**をクリックします。



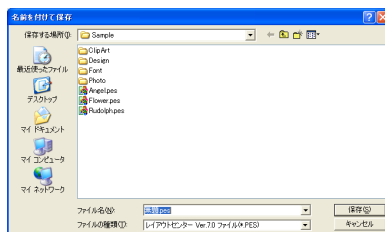
通常表示に戻すには、**表示→リアルプレビュー**をクリックするか、**Esc**キーを押します。

ステップ4 刺しゅうデータを保存する

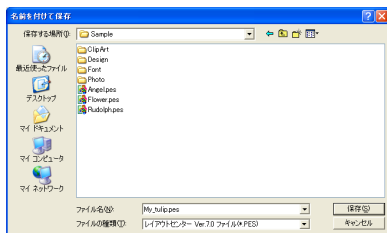
刺しゅうデータが完成したら、後で呼び出せるように保存できます。



ファイル→上書き保存をクリックします。



ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。



保存をクリックします。

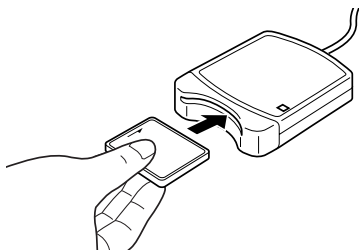
ステップ5 オリジナルカードへ 刺しゅうデータを書き込む

刺しゅうデータをミシンへ転送して、はじめて実際に縫うことができます。ミシンへ転送するには、お使いのミシンで使用できるメディアを使います。ここでは、オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込んでみましょう。

メモ：

他に、ミシンで使用できるメディアとして、フロッピーディスク、コンパクトフラッシュカード、USBメモリなどのメディアが使えます。使用できるメディアは、ミシンの取扱説明書を参照してください。

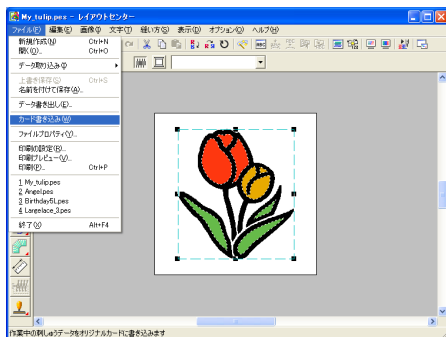
1 オリジナルカードをカードライターに挿入します。



注意：

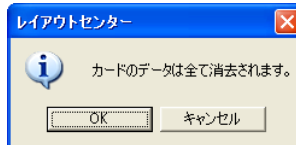
オリジナルカードを正しく挿入すると、カチッという音がします。

2 刺しゅうデータを転送します。



ファイル→カード書き込みをクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。

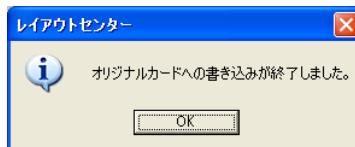


OKをクリックします。

注意：

データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他の記録媒体などに保存し（P.98の「刺しゅうカードから刺しゅうデータを取り込む」参照）、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。

→ 次のメッセージが表示されます。

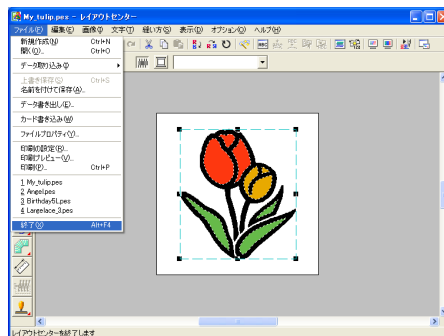


OKをクリックします。

注意：

- カードライターが正しく接続されていないため、ランプが点灯していない場合は、「カードライターが接続されていません。カードライターを正しく接続して下さい。」というエラーメッセージが表示されます。
- オリジナルカードが挿入されていない場合は「オリジナルカードが入っていません。カードライターにオリジナルカードを入れてください。」というエラーメッセージが表示されます。

3 レイアウトセンターを終了します。



メニューバーのファイル→終了をクリックします。

画像を刺しゅうデータに自動変換する (クロスステッチ機能)

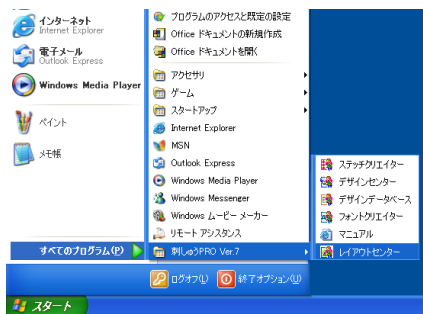
ここでは、クロスステッチ機能を使って、自動的に画像からクロスステッチの刺しゅうデータを作ります。この手順は、次のような操作の流れになっています。

ステップ1	レイアウトセンターに画像データを取り込む
ステップ2	画像を刺しゅうデータに自動変換する (クロスステッチ機能)
ステップ3	刺しゅうデータをプレビューする
ステップ4	刺しゅうデータを保存する
ステップ5	オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

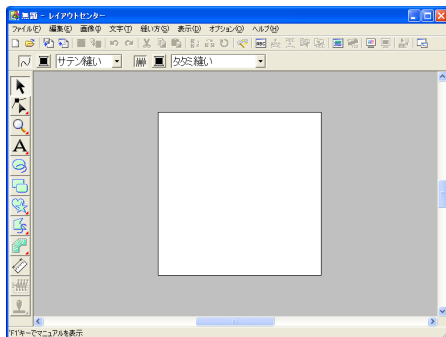
ステップ1 レイアウトセンターに 画像データを取り込む

まず、刺しゅうデータに変換する画像（原画）を取り込みます。ここでは、アプリケーションに付属しているチューリップの画像（tulip.bmp）を使用します。

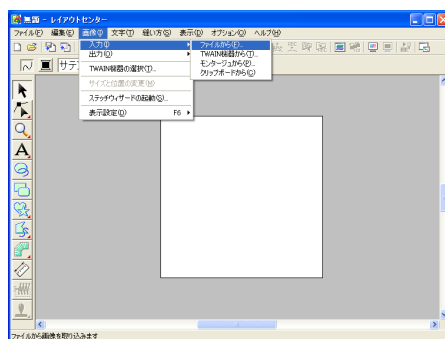
① レイアウトセンターを起動します。



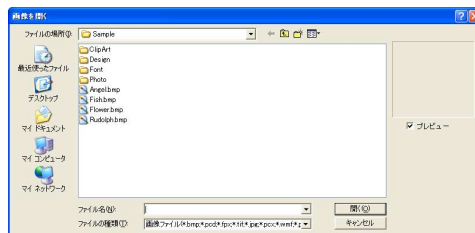
スタート をクリックし、**すべてのプログラム** → **刺しゅうPRO Ver.7** → **レイアウトセンター** を選択します。



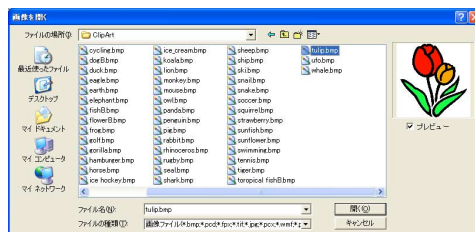
② 画像を取り込みます。



メニューバーの**画像** → **入力** → **ファイル** からをクリックします。

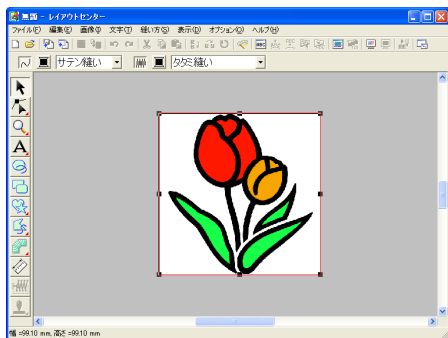


ClipArt フォルダをダブルクリックして開きます。

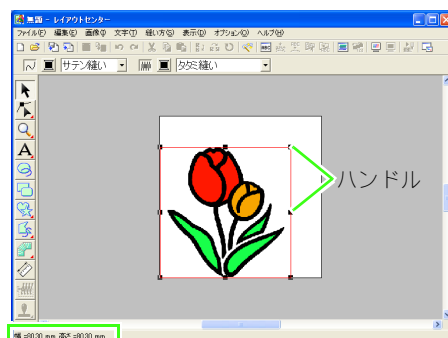


サンプルファイル **tulip.bmp** を選択し、**開く** をクリックするか、ファイルのアイコンをダブルクリックします。

→ 画像が作業領域に表示されます。



3 画像のサイズや位置を調整します。

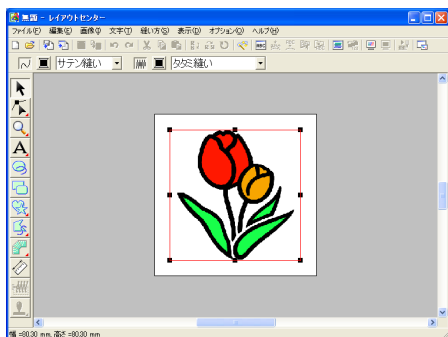


ステータスバーに画像のサイズが表示されます。

ハンドルをドラッグして、画像のサイズを調整します。

メモ:

ハンドルが見えなくなった場合は、画像を右クリックして表示されたメニューから**画像のサイズと位置**をクリックします。

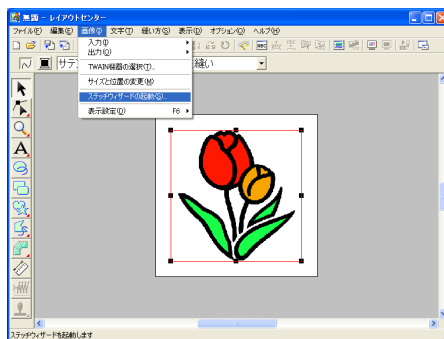


画像の上にカーソルを移動し、希望する位置までドラッグします。

ステップ2 画像を刺しゅうデータに自動変換する (クロスステッチ機能)

次に、画像を自動的に刺しゅうデータに変換します。

1 変換方法を選択します。

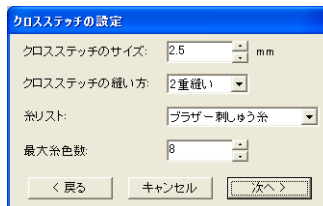


メニューバーの**画像**→**ステッチウィザード**の**起動**をクリックします。



クロスステッチを選択し、**次へ**をクリックします。

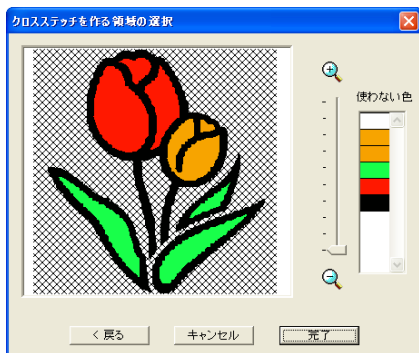
2 画像を刺しゅうデータに自動変換します。



刺しゅうデータ作成のための設定を行って、**次へ**をクリックします。ここでは、標準設定をそのまま使います。

メモ：

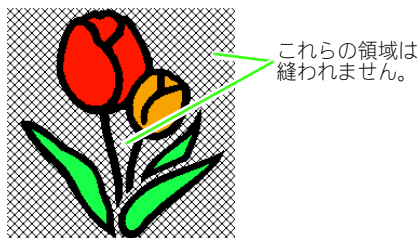
画像を刺しゅうデータに自動変換する場合、さまざまな設定を使用できます。(詳しくは、P.93の「クロスステッチを選択した場合」を参照してください。)



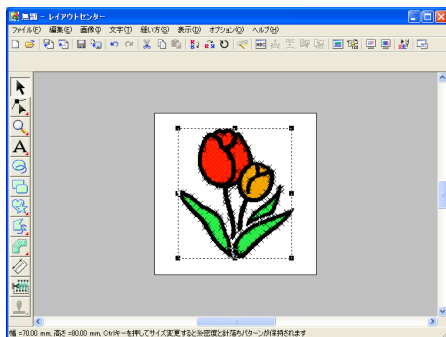
変換結果を確認して、**完了**をクリックします。

メモ：

刺しゅうデータに変換されない領域は、Xマークで埋められて表示されます。変換される領域は、変更することができます。(詳しくは、P.93の「クロスステッチを選択した場合」を参照してください。)

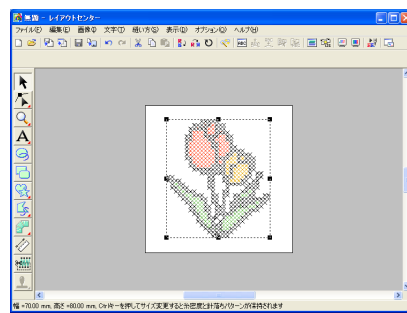


→ 変換された刺しゅうデータが、デザインページに表示されます。



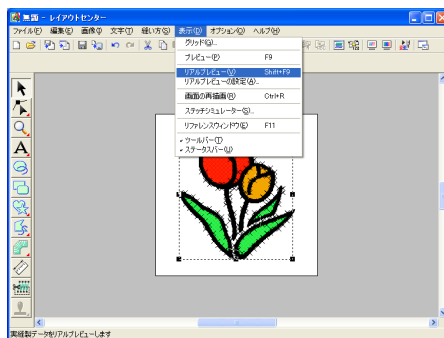
メモ：

原画を非表示にするには、**画像→表示設定→表示しない**をクリックします。

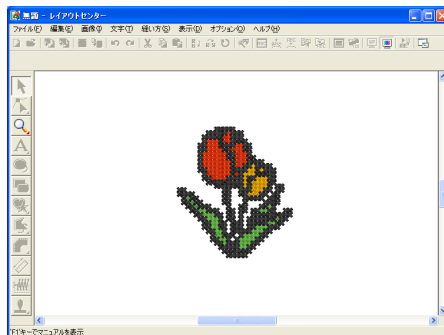


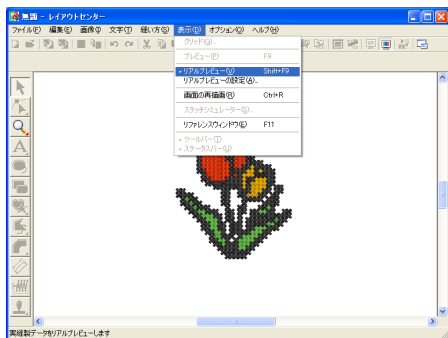
ステップ3 刺しゅうデータをプレビューする

完成した刺しゅうデータをプレビューします。



メニューバーの**表示→リアルプレビュー**をクリックします。

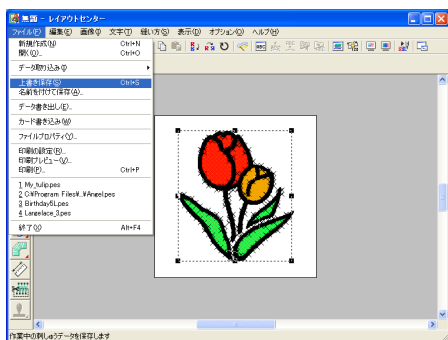




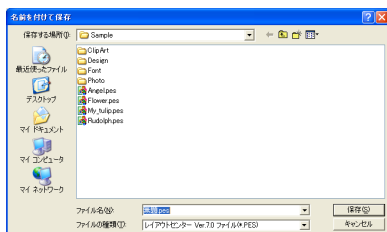
通常表示に戻すには、**表示→リアルプレビュー**をクリックするか、**(Esc)**キーを押します。

ステップ4 刺しゅうデータを保存する

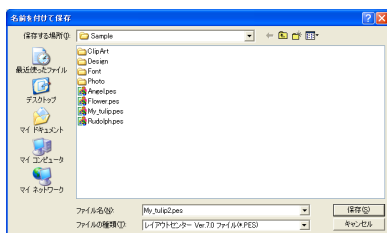
刺しゅうデータが完成したら、後で呼び出せるように保存できます。



ファイル→上書き保存をクリックします。



ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。



保存をクリックします。

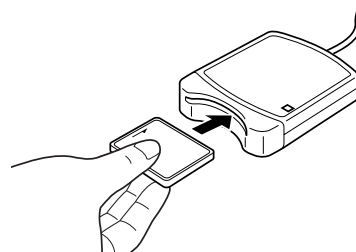
ステップ5 オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

刺しゅうデータをミシンへ転送して、はじめて実際に縫うことができます。ミシンへ転送するには、お使いのミシンで使用できるメディアを使います。ここでは、オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込んでみましょう。

メモ：

他に、ミシンで使用できるメディアとして、フロッピーディスク、コンパクトフラッシュカード、USBメモリなどのメディアが使えます。使用できるメディアは、ミシンの取扱説明書を参照してください。

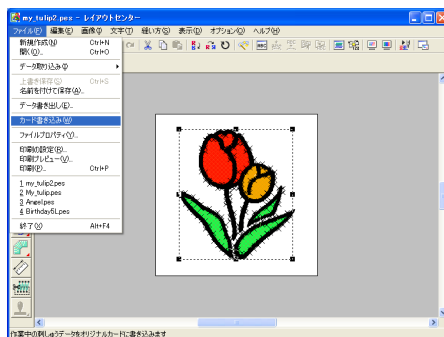
1 オリジナルカードをカードライターに挿入します。



注意：

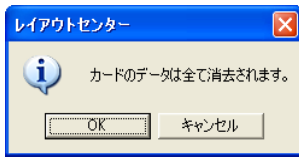
オリジナルカードを正しく挿入すると、カチッという音がします。

2 刺しゅうデータを転送します。



ファイル→カード書き込みをクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。

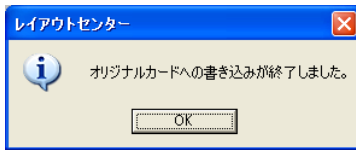


OK をクリックします。

注意：

データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他の記録媒体などに保存し (P.98 の「刺しゅうカードから刺しゅうデータを取り込む」参照)、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。

→ 次のメッセージが表示されます。

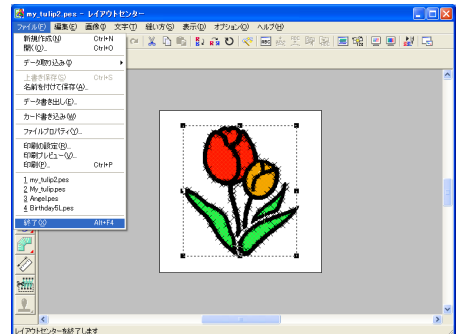


OK をクリックします。

注意：

- カードライターが正しく接続されていないため、ランプが点灯していない場合は、「カードライターが接続されていません。カードライターを正しく接続して下さい。」というエラーメッセージが表示されます。
- オリジナルカードが挿入されていない場合は「オリジナルカードが入っていません。カードライターにオリジナルカードを入れてください。」というエラーメッセージが表示されます。

3 レイアウトセンターを終了します。



メニューバーの**ファイル**→**終了**をクリックします。

写真を自動的に刺しゅうデータに変換する (フォトステッチ機能)

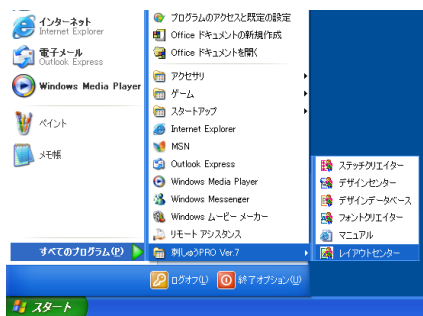
ここでは、フォトステッチ機能を使って、自動的に写真から刺しゅうデータを作ります。この手順は、次のような操作の流れになっています。自動補正された「候補」から最適なプレビューを選択する方法で設定を行い、自動的に刺しゅうデータに変換します。

ステップ1	レイアウトセンターに写真データを取り込む
ステップ2	画像を刺しゅうデータに自動変換する
ステップ3	刺しゅうデータをプレビューする
ステップ4	刺しゅうデータを保存する
ステップ5	オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

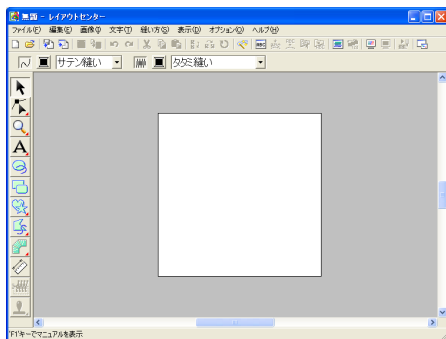
ステップ1 レイアウトセンターに 写真データを取り込む

まず、刺しゅうデータに変換する画像（原画）を取り込みます。ここでは、アプリケーションに付属している少女の写真（girl-face.bmp）を使用します。

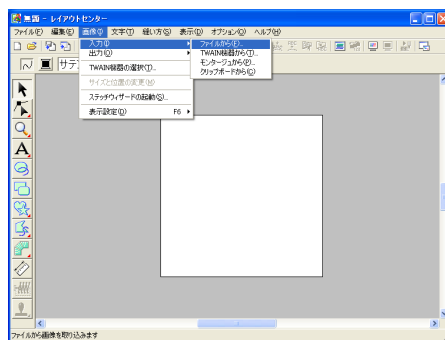
① レイアウトセンターを起動します。



スタート をクリックし、**すべてのプログラム** → **刺しゅうPRO Ver.7** → **レイアウトセンター** を選択します。



② 画像を取り込みます。



メニューバーの**画像** → **入力** → **ファイル** からをクリックします。

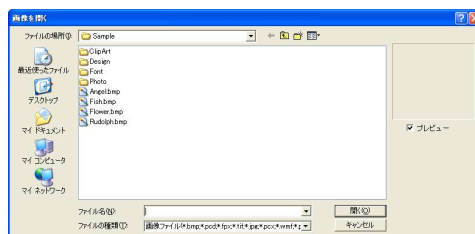
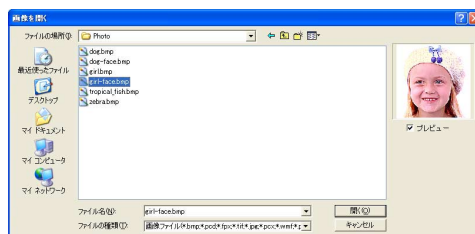
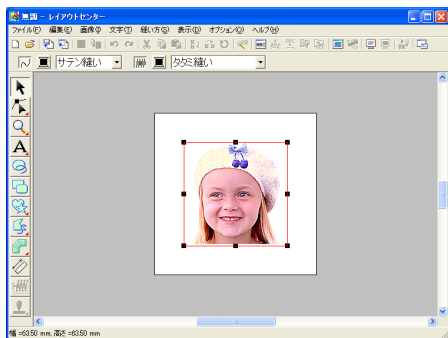


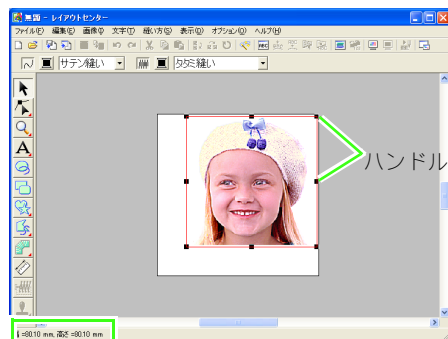
Photo フォルダをダブルクリックして開きます。



サンプルファイル **girl-face.bmp** を選択し、**開く** をクリックするか、ファイルのアイコンをダブルクリックします。



3 画像のサイズや位置を調整します。

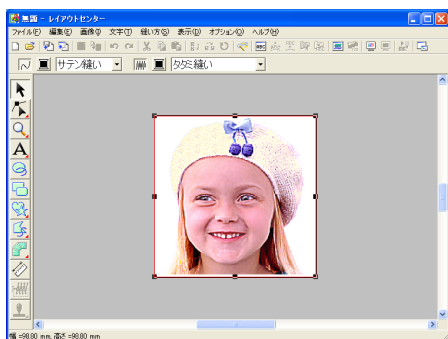


ステータスバーに画像のサイズが表示されます

ハンドルをドラッグして、画像のサイズを調整します。

メモ:

ハンドルが見えなくなった場合は、画像を右クリックして表示されたメニューから**画像のサイズと位置**をクリックします。

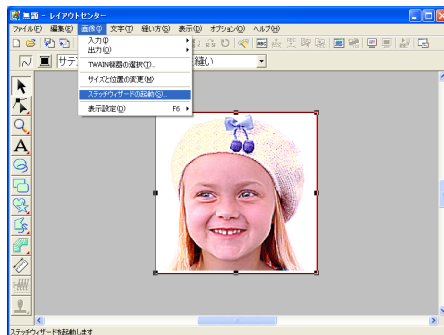


画像の上にカーソルを移動し、希望する位置までドラッグします。

ステップ2 画像を刺しゅうデータに自動変換する

次に、画像を自動的に刺しゅうデータに変換します。

1 変換方法を選択します。

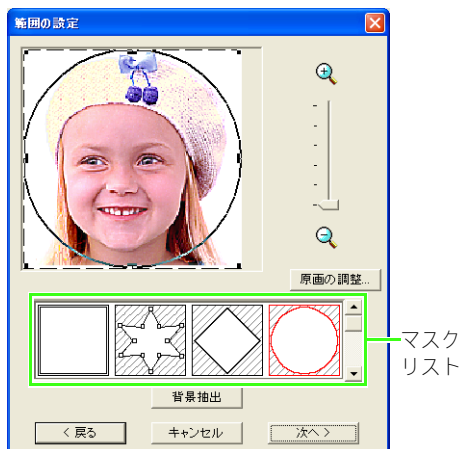


メニューバーの**画像→ステッチウィザードの起動**をクリックします。

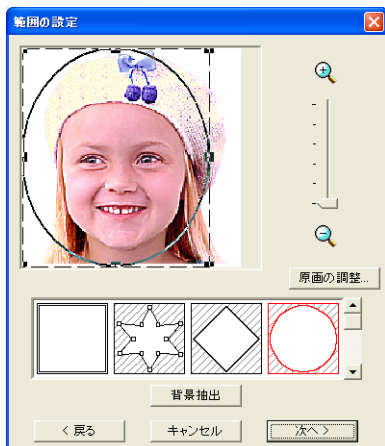


フォトステッチ1を選択し、**カラー**を選択してから、**次へ**をクリックします。

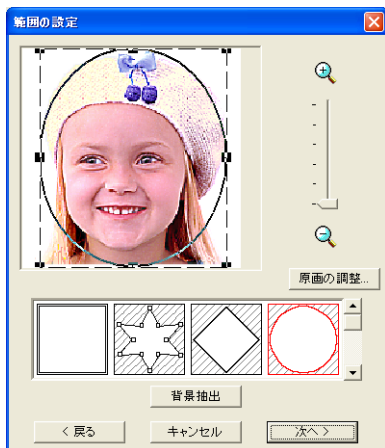
2 刺しゅうデータに変換する写真の領域(マスクの形状と位置)を調整します。



マスクの形状を選択します。



ハンドルをドラッグして、マスクのサイズを調整します。



マスクの内側にカーソルを移動し、マスクの位置を調整して、**次へ**をクリックします。

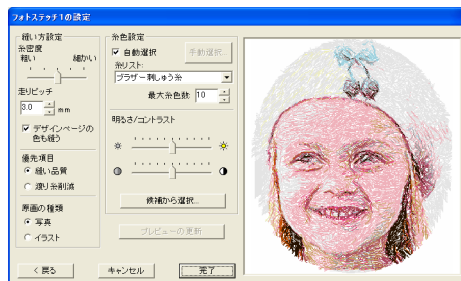


変換する領域のプレビューを確認して、**次へ**をクリックします。

メモ：

刺しゅうデータが作成されない部分は、X マークで埋められます。

3 画像を刺しゅうデータに自動変換します。



候補から選択をクリックします。

メモ：

画像を刺しゅうデータに変換するときに、変換のパラメータの設定をそれぞれ変更できます。(詳しくは、P.87 を参照してください。)

→ オリジナルの画像を基準として、明るさとコントラストが自動補正された6種類のプレビューが、**候補から選択**ダイアログボックスに表示されます。選択されているプレビューが、現在の設定のプレビューです。



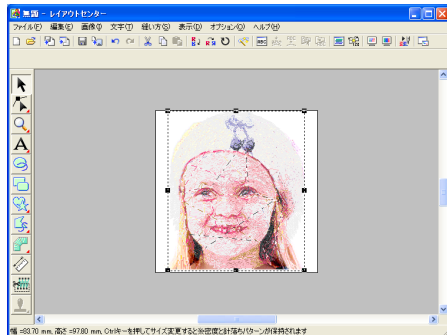
設定したい候補を選択し、**OK**をクリックします。

→ 選択したプレビューがプレビュー画面に表示されます。



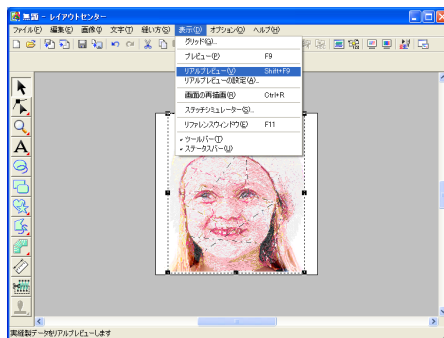
プレビューを確認して、**完了**をクリックします。

→ 変換された刺しゅうデータが、デザインページに表示されます。

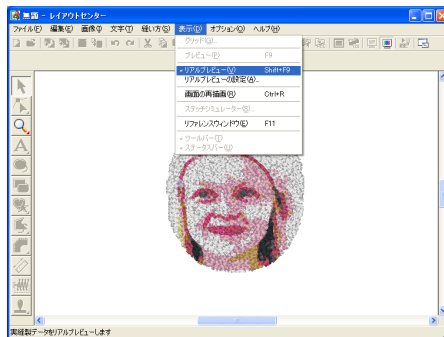
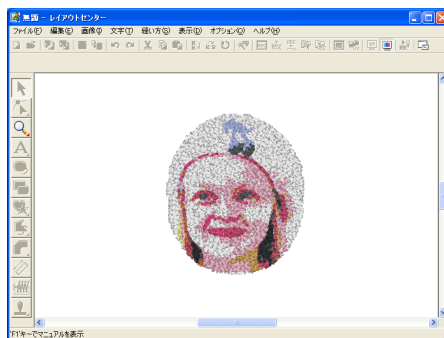


ステップ3 刺しゅうデータをプレビューする

完成した刺しゅうデータをプレビューします。



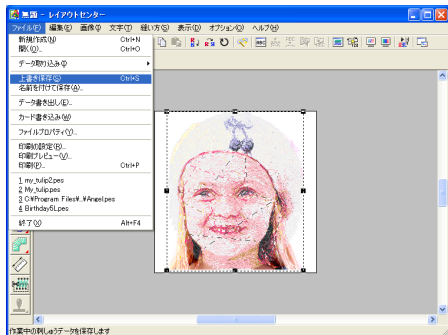
メニューバーの**表示**→**リアルプレビュー**をクリックします。



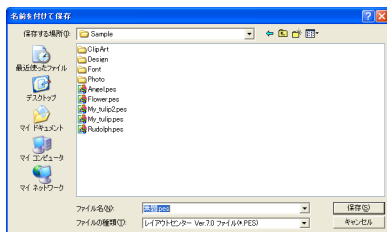
通常表示に戻すには、**表示**→**リアルプレビュー**をクリックするか、**(Esc)**キーを押します。

ステップ4 刺しゅうデータを保存する

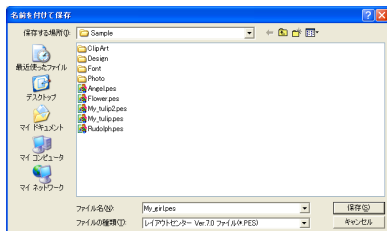
刺しゅうデータが完成したら、後で呼び出せるように保存できます。



ファイル→上書き保存をクリックします。



ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。



保存をクリックします。

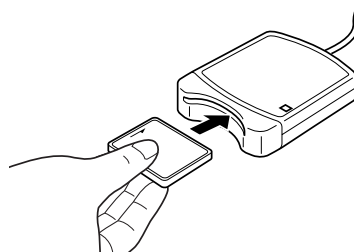
ステップ5 オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

刺しゅうデータをミシンへ転送して、はじめて実際に縫うことができます。ミシンへ転送するには、お使いのミシンで使用できるメディアを使います。ここでは、オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込んでみましょう。

メモ：

他に、ミシンで使用できるメディアとして、フロッピーディスク、コンパクトフラッシュカード、USBメモリなどのメディアが使えます。使用できるメディアは、ミシンの取扱説明書を参照してください。

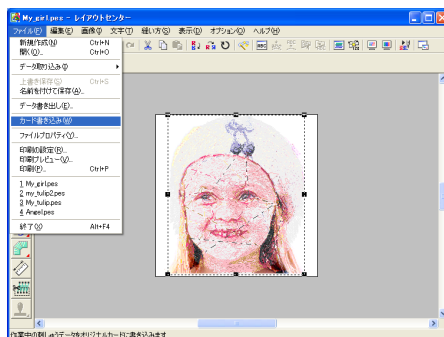
- 1 オリジナルカードをカードライターに挿入します。



注意：

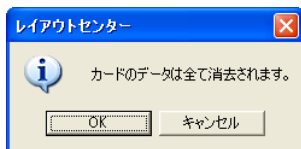
オリジナルカードを正しく挿入すると、カチッという音がします。

- 2 刺しゅうデータを転送します。



ファイル→カード書き込みをクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。

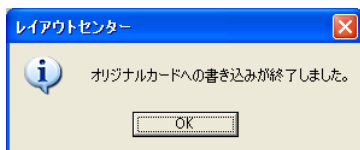


OK をクリックします。

⚠ 注意：

データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他の記録媒体などに保存し (P.98 の「刺しゅうカードから刺しゅうデータを取り込む」参照)、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。

→ 次のメッセージが表示されます。

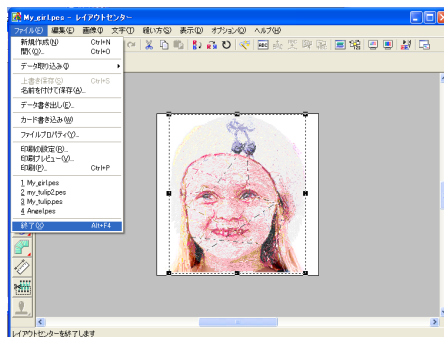


OK をクリックします。

⚠ 注意：

- カードライターが正しく接続されていないため、ランプが点灯していない場合は、「カードライターが接続されていません。カードライターを正しく接続して下さい。」というエラーメッセージが表示されます。
- オリジナルカードが挿入されていない場合は「オリジナルカードが入っていません。カードライターにオリジナルカードを入れてください。」というエラーメッセージが表示されます。

3 レイアウトセンターを終了します。



メニューバーの**ファイル**→**終了**をクリックします。

原画から刺しゅうデータを作成する (デザインセンター)

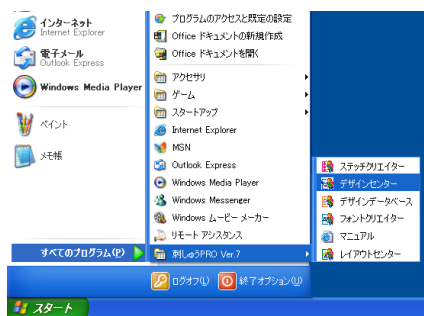
マニュアルで原画から刺しゅうデータを作ってみましょう。
この手順は、次のような操作の流れになっています。

ステップ1	原画データを取り込む (原画ステージ)
ステップ2	色の選択による原画の輪郭の抽出
ステップ3	輪郭線画を編集する (輪郭線画ステージ)
ステップ4	縫い方を設定する (縫い方設定ステージ)
ステップ5	刺しゅうデータをプレビューする
ステップ6	刺しゅうデータを保存する
ステップ7	オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

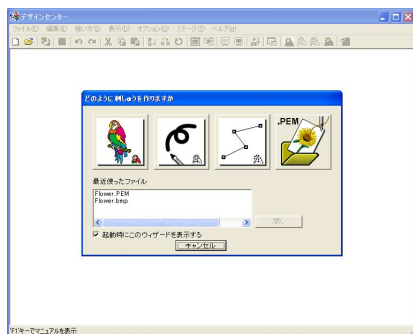
ステップ1 原画データを取り込む (原画ステージ)

まず、刺しゅうデータに変換する原画を取り込みます。
ここでは、アプリケーションに付属している花の画像 (Flower.bmp) を使用します。

1 デザインセンターを起動します。



スタート をクリックし、**すべてのプログラム**
→**刺しゅうPRO Ver.7**→**デザインセンター**を選
択します。

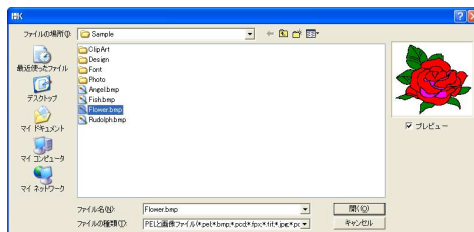


をクリックします。

2 原画ファイルを開きます。



をクリックします。

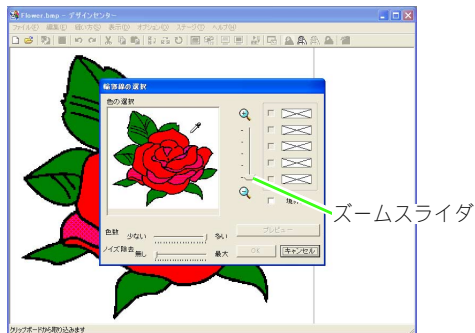



サンプルファイル **Flower.bmp** を選択し、**開く**
をクリックするか、ファイルのアイコンをダブル
クリックしてファイルを開きます。

→ 原画 (画像ファイル) が、デザインページ
と **輪郭線の選択** ダイアログボックスに表
示されます。

ステップ2 色の選択による原画の輪郭の抽出

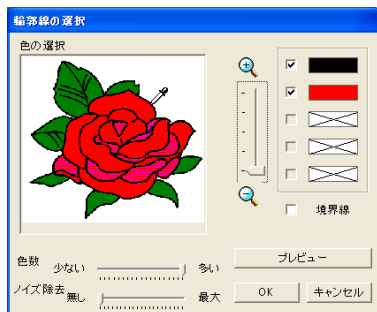
原画（画像ファイル）を開いたら、輪郭線（刺しゅうの輪郭線）に使用する色を選択する輪郭線画ステージに移動します。



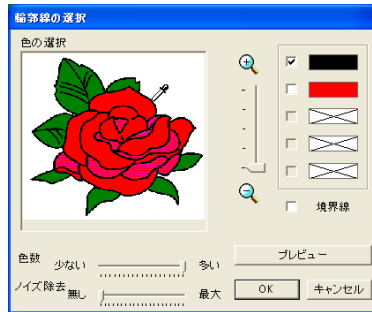
カーソルを原画上に移動します。
→ カーソルの形が  に変わります。

メモ：

ズームスライダを上下に動かすと、原画の表示倍率を調整できます。拡大表示されているときは、スクロールすると別の部分を表示できます。

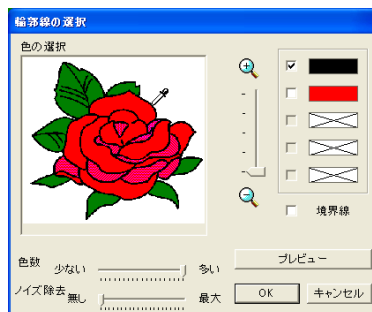


輪郭線をクリックします。
→ クリックした部分の色が右側のボックスに表示されます。チェックボックスに が表示されてその色が選択されたことを示します。

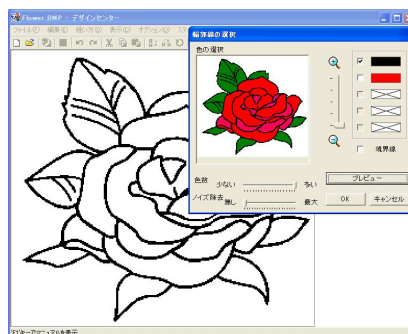


メモ：

輪郭線以外の色を選択してしまった場合は、その色の横にあるチェックボックスのチェックを外すと、選択が解除されます。



プレビューをクリックして、輪郭線画のプレビューを確認します。

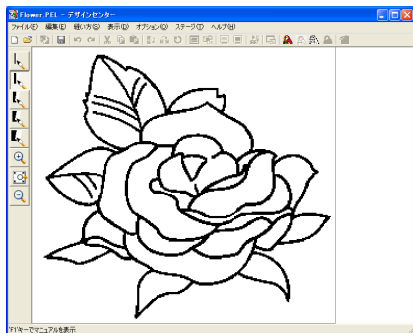


プレビューが思い通りの輪郭線画で表示されたら、**OK**をクリックします。

メモ：

プレビューがダイアログボックスに隠れて見えない場合は、タイトルバーにカーソルを置き、ダイアログボックスをドラッグして、ダイアログボックスを使いやすい位置に移動してください。

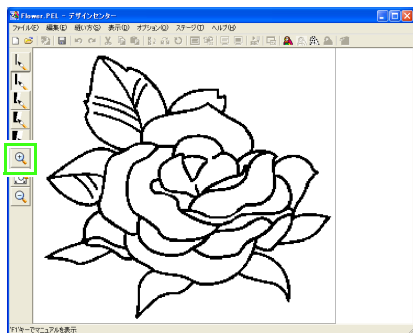
→ 輪郭線画がデザインページに表示されます。





ステップ3 輪郭線画を編集する (輪郭線画ステージ)

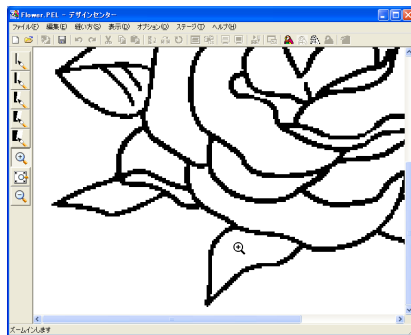
輪郭線画の線の修正が必要になることがあります。面部は、線や交差する線によって囲まれていることを確認してください。ここでは、葉脈を追加し、葉を取り除きます。輪郭線画の編集が終わったら、輪郭データステージに移動して、線画を輪郭データに変換します。

1 葉脈を追加します。




 をクリックします。

→ 作業領域にカーソルを移動すると、カーソルの形が  に変わります。





葉脈を追加する葉をクリックします。

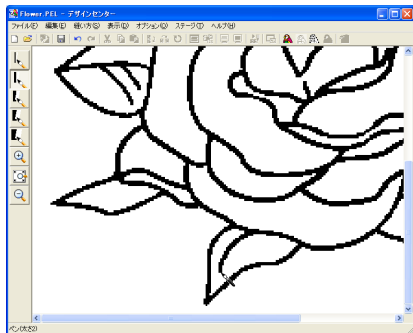
メモ：

- 輪郭線画をさらにズームインするには、線画を繰り返しクリックします。
- 特定の部分をズームインするには、目的の場所を囲むようにドラッグします。ドラッグすると点線の四角形が表示され、マウスボタンを放すと選択した領域がズームインされます。
- ズームアウトするには、 をクリックしてから線画をクリックします。



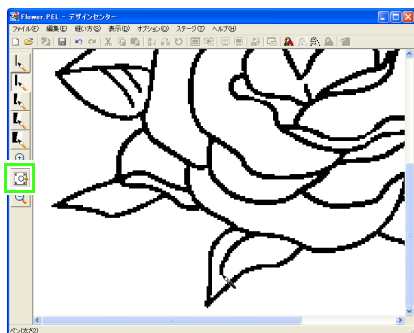
 をクリックします。


→ 作業領域にカーソルを移動すると、カーソルの形が  に変わります。



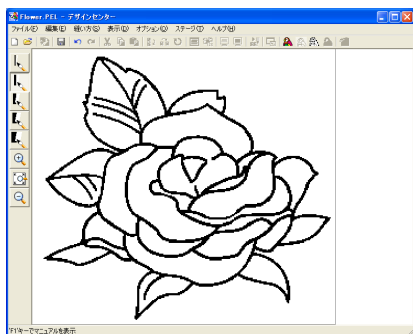
左マウスボタンを押したまま、カーソルをドラッグして葉脈を描きます。


2 葉を取り除きます。




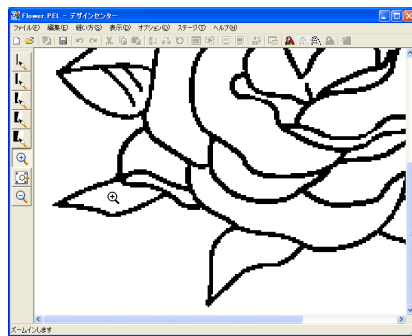
 をクリックして、輪郭線画全体のプレビューを表示します。

→ デザインページがデザインセンター画面いっぱいに表示されます。




 をクリックします。


→ 作業領域にカーソルを移動すると、カーソルの形が  に変わります。

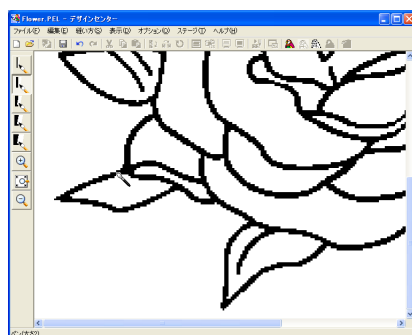


取り除きたい葉をクリックします。




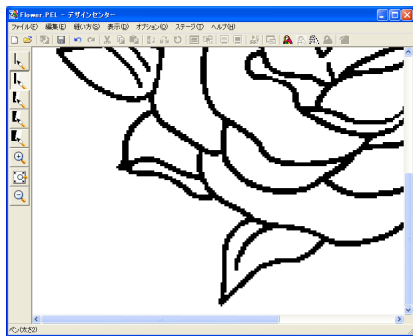
 をクリックします。

→ カーソルを作業領域に移動すると、カーソルの形が  に変わります。




カーソルを取り除く葉の上に置いて、マウスの右ボタンを押します。

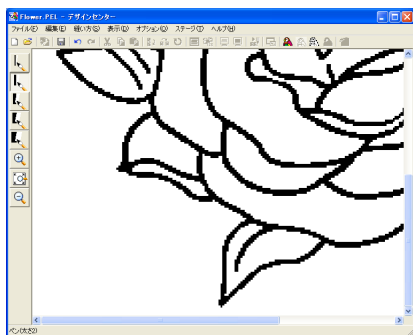
→ カーソルの形が  に変わります。




マウスのボタンを押したまま、カーソルを慎重にドラッグして線を消去します。

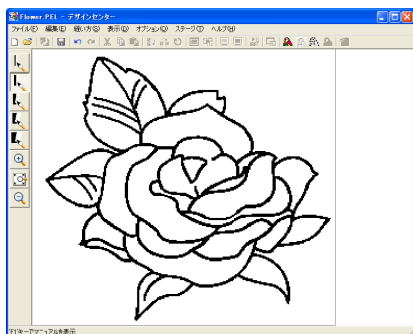
メモ:

まちがって線を消してしまった場合は、**編集→元に戻す**をクリックするか、または**元に戻す**ボタンをクリックすると、直前の操作を取り消すことができます。輪郭線画ステージでは、5回まで元に戻すことができます。

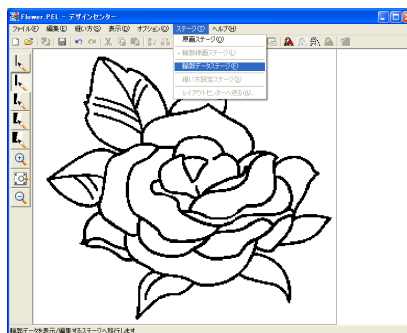



をクリックして、輪郭線画全体のプレビューを表示します。

→デザインページがデザインセンター画面いっぱいに表示されます。



3 輪郭線画を輪郭データに変換します。



メニューバーの**ステージ→輪郭データステージ**をクリックするか、をクリックします。

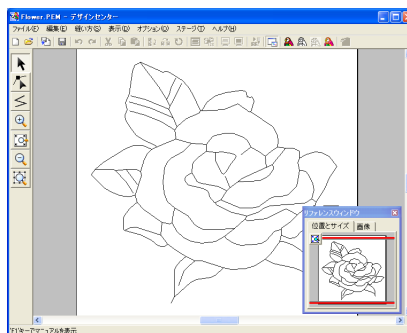


ここでは、標準設定をそのまま使用します。**OK**をクリックします。

メモ:

輪郭線画を輪郭データに変換するときに、各設定を変更できます。(詳しくは、P.201の「輪郭線変換の設定を指定する」を参照してください。)

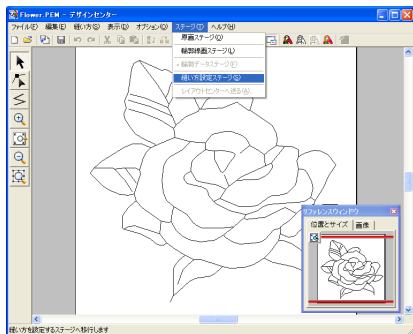
→輪郭線画が、輪郭データに変換されます。



ステップ4 縫い方を設定する (縫い方設定ステージ)

刺しゅうデータの各部分に縫い方を設定します。


- 1 輪郭データを刺しゅうデータに変換します。




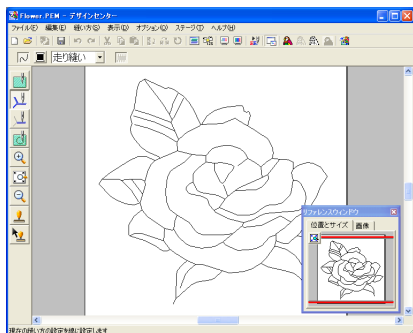
メニューバーの**ステージ**→**縫い方設定ステージ**をクリックするか、 をクリックします。


- 2 輪郭線の縫い方を設定します。



 をクリックします。

→カーソルの形が に変わり、縫い方バーが次のように表示されます。

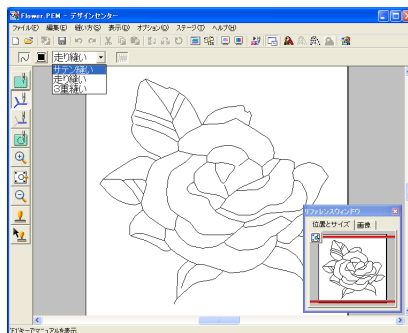


輪郭線の色を変更するには、 をクリックし、**クロ**を選択してから**閉じる**をクリックします。(ここでは、初期設定の**クロ**を使用します。)

メモ：

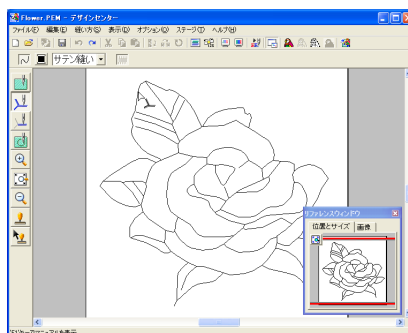
タイトルバーにカーソルを置き、ダイアログボックスをドラッグすると、ダイアログボックスを使いやすい位置に移動できます。

→ 選択された色で、 が表示されます。



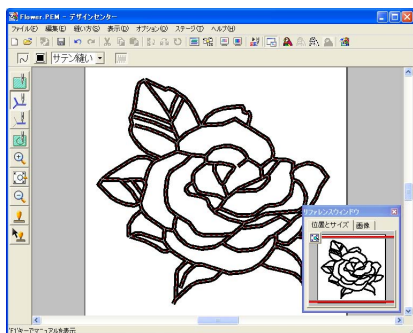
走り縫い
サテン縫い
走り縫い

→**サテン縫い**をクリックして、縫い方をサテン縫いに変更します。



輪郭線をクリックし、縫い方をサテン縫いに設定します。

→ 次のように、輪郭線が赤い破線で表示されます。





メモ:

輪郭線の幅が太すぎる場合は、**縫い方→縫い方の設定**をクリックして、縫い方の設定ダイアログで**サテン幅**を変更し、輪郭線をクリックして変更を設定します。


3 面の縫い方を設定します。



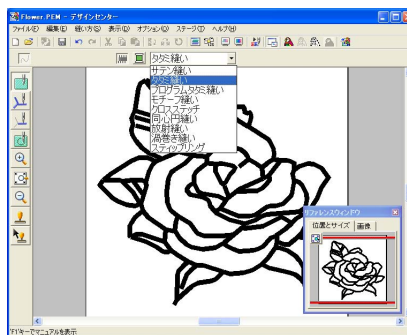
 をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わり、縫い方の設定バーが次のように表示されます。

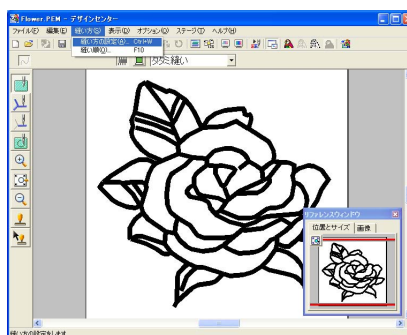


葉の面の色を設定するには、 をクリックして**キミドリ**を選択し、次に**閉じる**をクリックします。

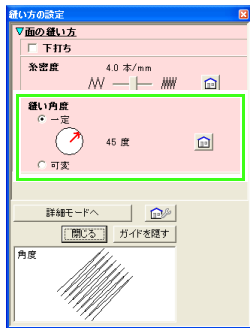
→ 選択された色で、 が表示されます。



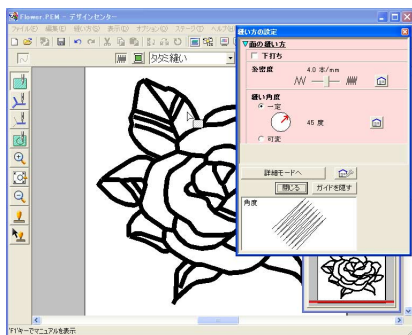
葉の面の縫い方を設定します。ここでは、初期設定の**タタミ縫い**にします。



タタミ縫いの縫い方を設定します。メニューバーの**縫い方→縫い方の設定**をクリックします。

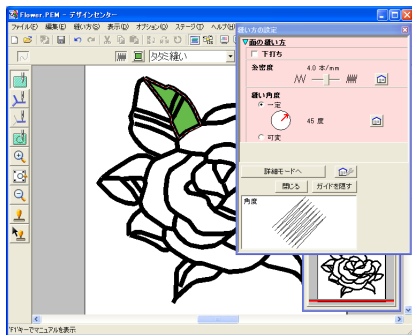


タタミ縫いの縫い角度を変更します。**一定**をクリックし、カーソルを下の赤い矢印上に移動し、その矢印をドラッグして角度を設定します。



設定する葉の面をクリックします。

→ 選択した面を囲む線が赤い破線で表示されます。



同様にして、すべての葉の面の縫い方を設定します。

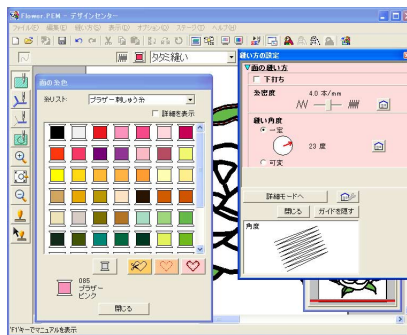
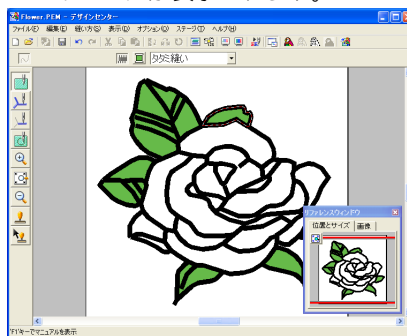
注意：

下図のように、閉じていない（線で完全に囲まれていない）面は縫い方を設定できません。

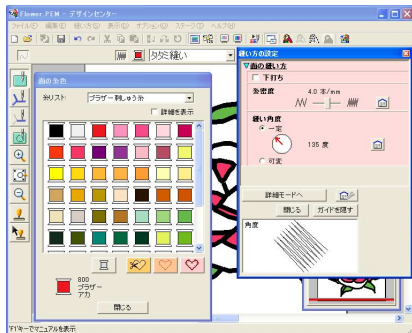


面に縫い方が設定できない場合は、輪郭データステージに戻り、面を囲む線を閉じてください。ポイント編集ツールを使って、繋がっていない線を編集します。（詳しくは、P.207の「輪郭データのポイントを編集する」を参照してください。）

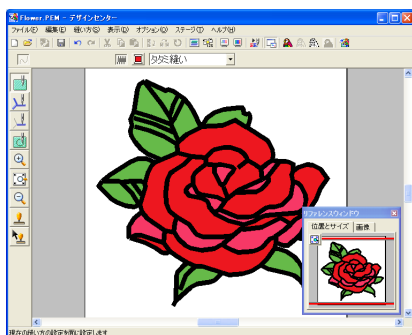
→ 葉の面に縫い方を設定すると、次のようなイメージが表示されます。



葉の場合と同様に、花の部分に縫い方を設定します。葉の設定と同様の手順で、**ピンク**を選択し、縫い角度をいろいろな角度に設定してから、設定する面をクリックします。



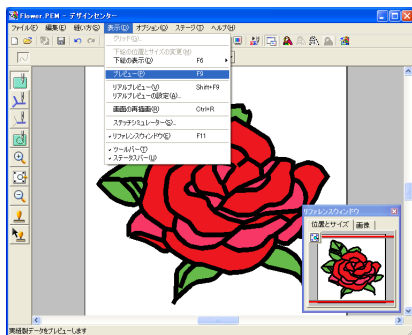
花の残りの面の縫い方を設定します。**アカ**を選択し、縫い角度を設定してから、設定する面をクリックします。



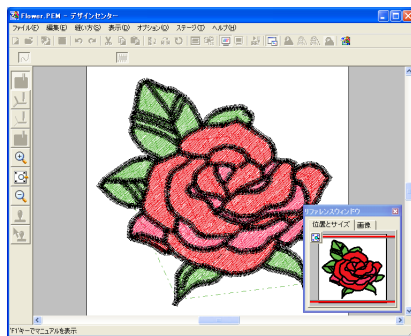
ステップ5 刺しゅうデータをプレビューする

完成した刺しゅうデータをプレビューします。

1 プレビューで縫い方を確認します。

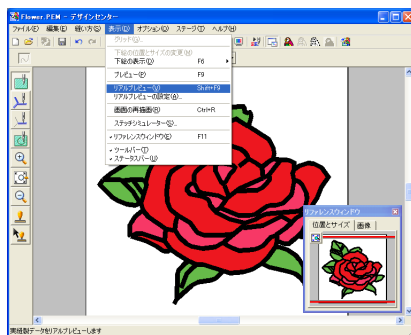


メニューバーの**表示**→**プレビュー**をクリックします。

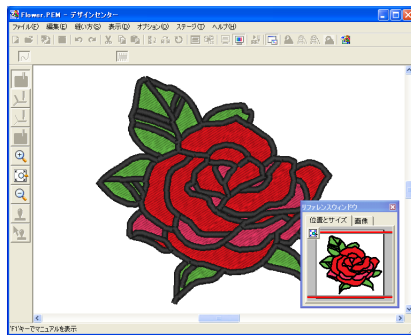


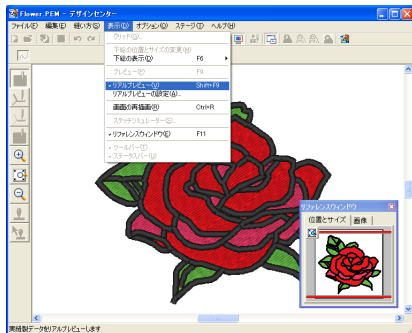
通常表示に戻すには、**表示**→**プレビュー**をクリックするか、**(Esc)**キーを押します。

2 リアルプレビューで仕上がりを確認します。



メニューバーの**表示**→**リアルプレビュー**をクリックします。

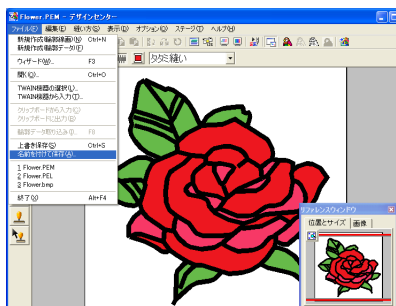




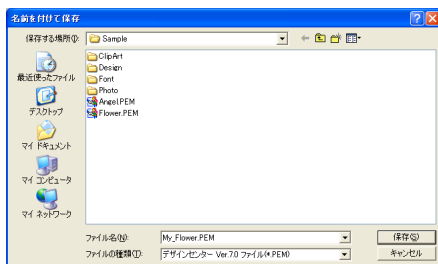
通常表示に戻すには、**表示→リアルプレビュー**をクリックするか、**(Esc)**キーを押します。

ステップ6 刺しゅうデータを保存する

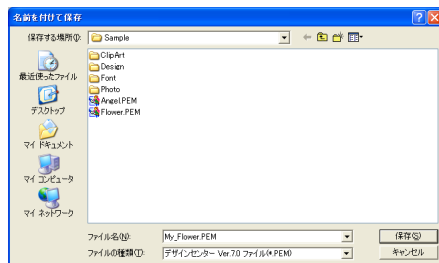
作成した刺しゅうデータは保存しておくことができます。



ファイル→名前を付けて保存をクリックします。



ファイル名を入力します。



必要に応じて、ドライブとフォルダを変更してください。
保存をクリックします。

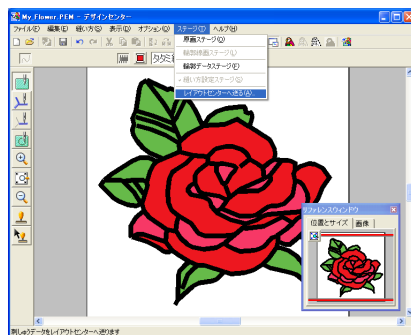
ステップ7 オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む


刺しゅうデータをミシンへ転送して、はじめて実際に縫うことができます。ミシンへ転送するには、お使いのミシンで使用できるメディアを使います。ここでは、オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込んでみましょう。

メモ：

他に、ミシンで使用できるメディアとして、フロッピーディスク、コンパクトフラッシュカード、USB メモリなどのメディアが使えます。使用できるメディアは、ミシンの取扱説明書を参照してください。

① レイアウトセンターに刺しゅうデータを取り込みます。

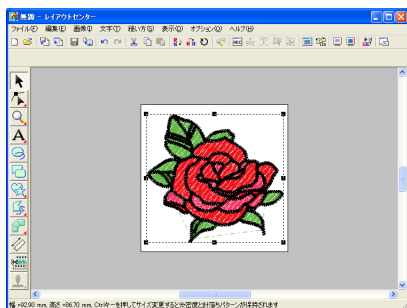


ステージ→レイアウトセンターへ送るをクリックするか、 をクリックします。
→レイアウトセンターが起動します。

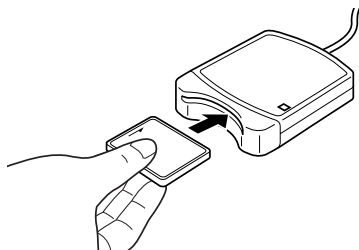


取り込みをクリックします。

→ デザインセンターで作成した刺しゅうデータがレイアウトセンターに取り込まれます。



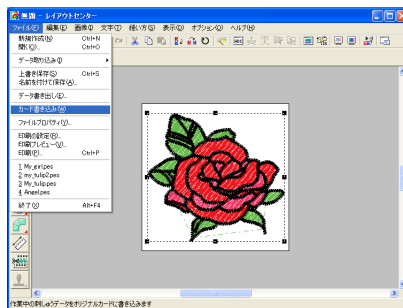
2 オリジナルカードをカードライターに挿入します。



注意：

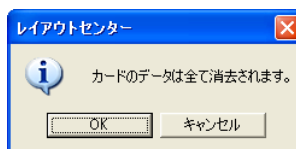
オリジナルカードを正しく挿入すると、カチッという音がします。

3 刺しゅうデータを転送します。



ファイル→**カード書き込み**をクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。

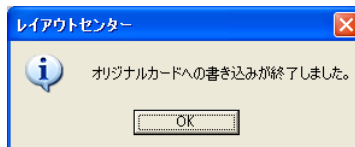


OKをクリックします。

注意：

データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他の記録媒体などに保存し (P.98の「刺しゅうカードから刺しゅうデータを取り込む」参照)、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。

→ 次のメッセージが表示されます。

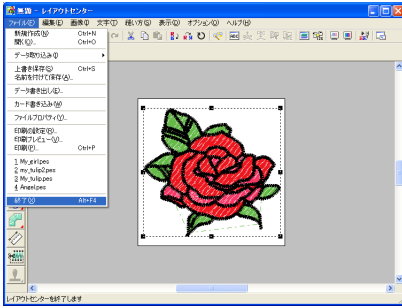


OKをクリックします。

注意：

- カードライターが正しく接続されていないため、ランプが点灯していない場合は、「カードライターが接続されていません。カードライターを正しく接続して下さい。」というエラーメッセージが表示されます。
- オリジナルカードが挿入されていない場合は「オリジナルカードが入っていません。カードライターにオリジナルカードを入れてください。」というエラーメッセージが表示されます。

4 レイアウトセンターを終了します。

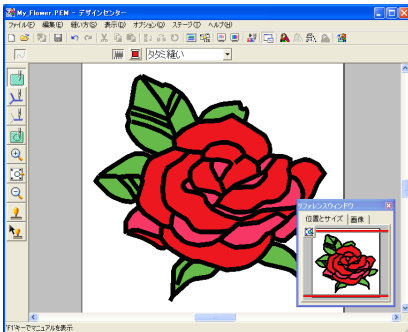


メニューバーの**ファイル**→**終了**をクリックします。

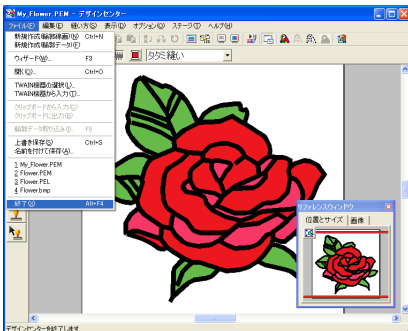
メモ：

レイアウトセンターでは、刺しゅうデータは .pes ファイル形式で保存されます。
刺しゅうデータを保存するには、レイアウトセンターで**ファイル**→**名前を付けて保存**をクリックします。

5 デザインセンターを終了します。



デザインセンター画面を表示します。



メニューバーの**ファイル**→**終了**をクリックします。

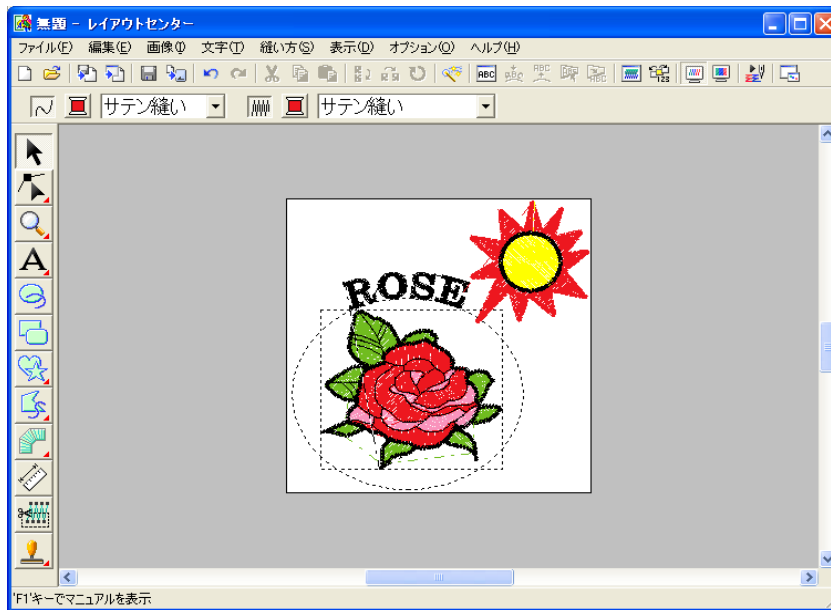
刺しゅうデータを配置する (レイアウトセンター)

ここでは、デザインセンターで作成した刺しゅうデータを取り込んで、それをレイアウトセンターで他の刺しゅうデータと組み合わせます。

この手順は、次のような操作の流れになっています。

ステップ1	デザインセンターから刺しゅうデータを取り込む
ステップ2	文字を加える
ステップ3	図形を描く
ステップ4	刺しゅうデータをプレビューする
ステップ5	刺しゅうデータを保存する
ステップ6	オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

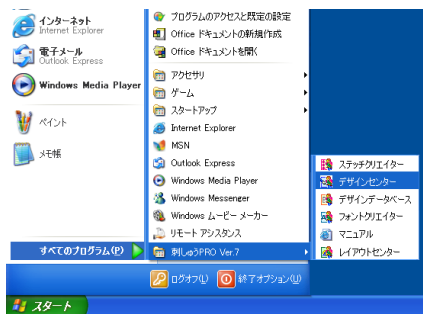
最終的には次のような刺しゅうデータができあがります。



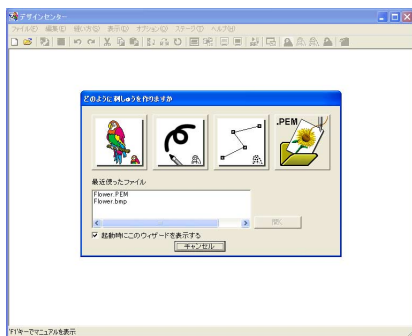
ステップ1 デザインセンターから 刺しゅうデータを取り込む

ここでは、「原画から刺しゅうデータを作成する(デザインセンター)」の項で、デザインセンターを使って作成した刺しゅうデータ (Flower.pem) を取り込みます。

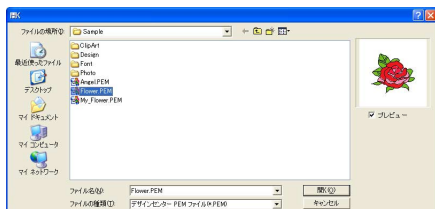
1 デザインセンターで刺しゅうファイルを開きます。



スタート をクリックし、**すべてのプログラム** → **刺しゅうPRO Ver.7** → **デザインセンター** を選択します。

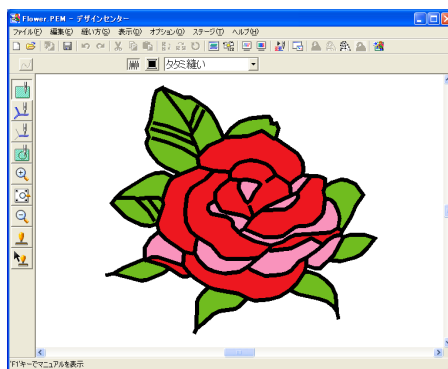


をクリックします。

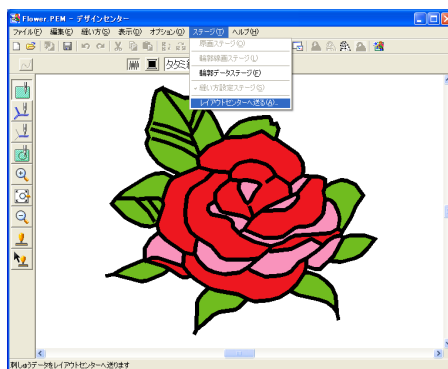


サンプルファイル **Flower.pem** を選択し、**開く** をクリックするか、ファイルのアイコンをダブルクリックします。

→ 刺しゅうデータがデザインセンターのデザインページに表示されます。



2 レイアウトセンターに刺しゅうデータを 送ります。



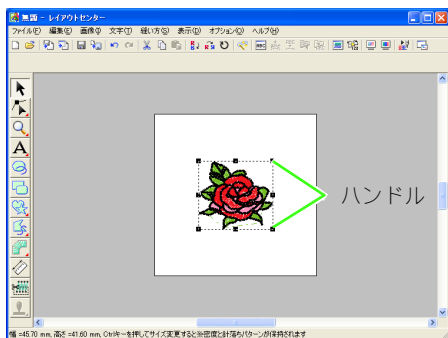
ステージ→レイアウトセンターへ送る をクリックするか、 をクリックします。

→ レイアウトセンターが起動し**取り込みサイズ**ダイアログボックスが表示されます。



取り込み倍率で、**70%**と入力または選択し、**取り込み**をクリックします。

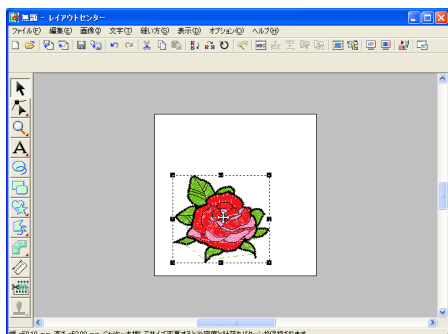
→ 刺しゅうデータがレイアウトセンターのデザインページに取り込まれます。



メモ:

- 刺しゅうデータの周囲にハンドルが表示され、その刺しゅうデータが選択されていることを示します。
- ステータスバーに選択されている刺しゅうデータのサイズ (幅と高さ) が表示されます。

3 刺しゅうデータの位置を調整します。

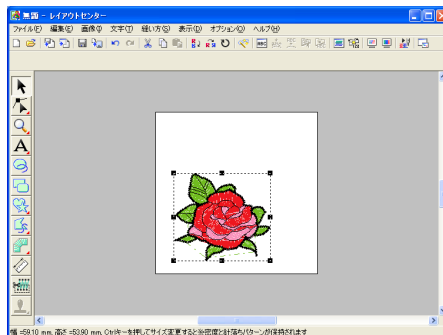



刺しゅうデータの上にカーソルを移動し、ドラッグして移動します。


ステップ2 文字を加える

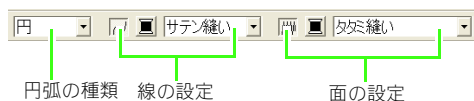
まず、文字のガイドとして使用する円を描きます。次に、その円上に文字を配置します。

1 描く図形を選択します。



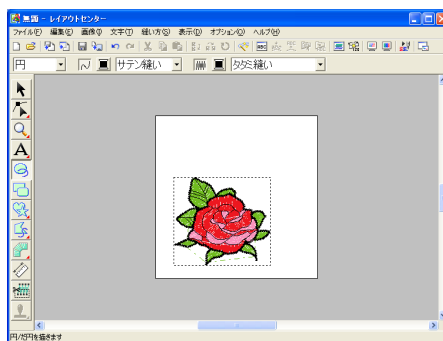
 をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わり、縫い方の設定バーが次のように表示されます。



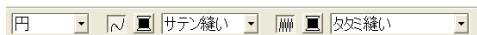
メモ:


カーソルを縫い方バーのボタンまたはセレクト上に置くと、そのボタンやセレクトの機能を示すラベルが表示されます。



ここでは、初期設定の**円**を使用します。


- 2 この円は文字のガイドとして使用するの
で、縫製しないように設定します。



 をクリックして、線縫いをしないように設定します。

→ **線の色**ボタンと**線の縫い方**セクタが非表示になります。

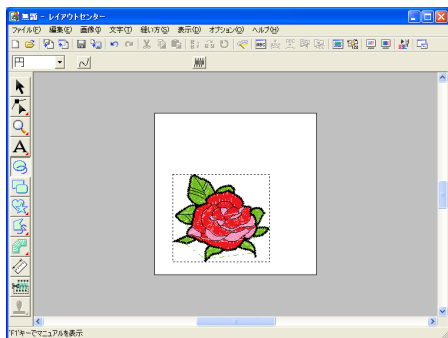


 をクリックして、面縫いをしないように設定します。

→ **面の色**ボタンと**面の縫い方**セクタが非表示になります。

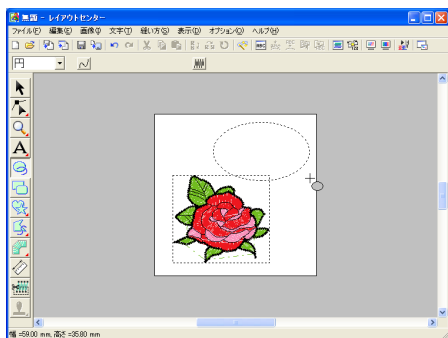


- 3 円を描きます。

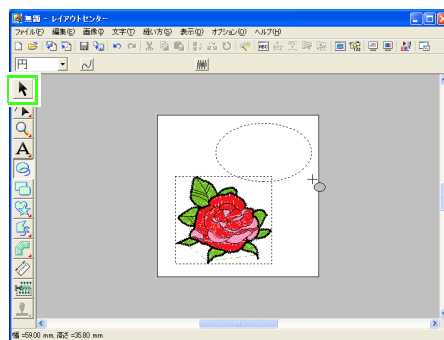


カーソルをドラッグします。

→ マウスボタンを離すと、円（輪郭線と内部）が描画されます。

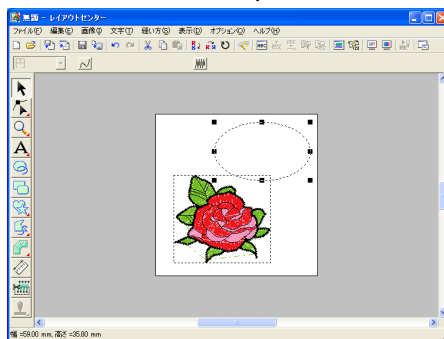


- 4 円のサイズと位置を調整します。

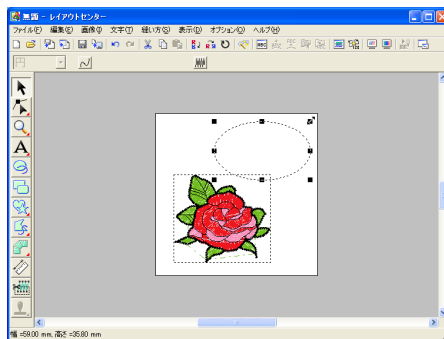


 をクリックします。

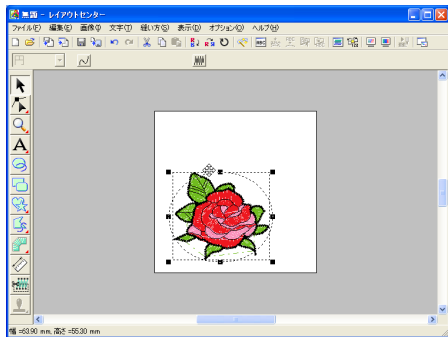
→ カーソルの形が  に変わります。



円をクリックして選択します。

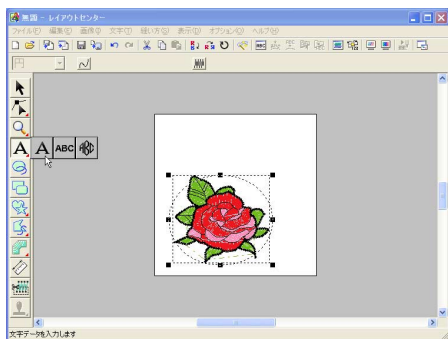


ハンドルをドラッグして、円のサイズを調整します。




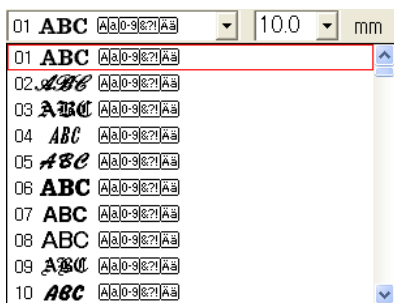
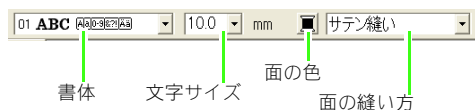
円の上にカーソルを置き、花の刺しゅうデータが円の中心になるように円をドラッグします。

5 文字を追加します。

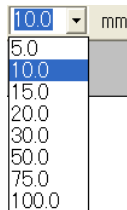


A → **A** をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わり、縫い方の設定バーが次のように表示されます。



書体を選択します。ここでは、**01** を使用します。



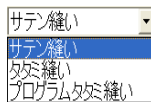
文字サイズを設定します。ここでは、**10.0mm** を使用します。

メモ:

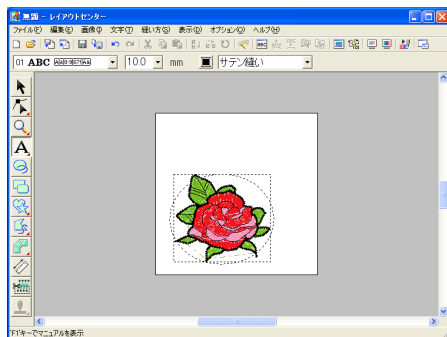
設定値は、文字の高さを示します。



色を選択します。ここでは、初期設定の**クロ**を使用します。

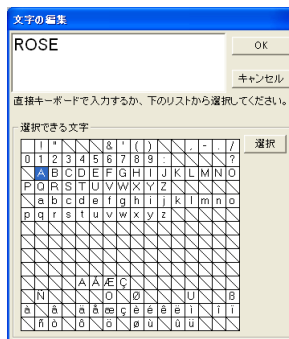


縫い方の種類を選択します。ここでは、初期設定の**サテン縫い**を使用します。



文字を入力します。デザインページをクリックします。

→ **文字の編集**ダイアログボックスが表示されます。

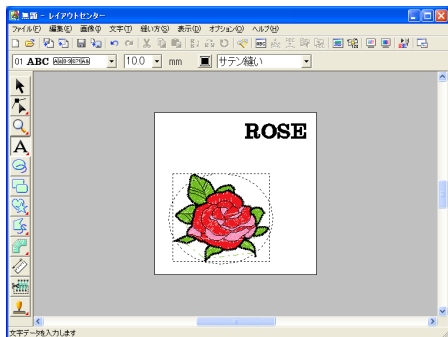


「ROSE」と入力して、**OK** をクリックします。



メモ:

選択できる文字から文字をクリックして選択をクリックするか、文字をダブルクリックして入力します。

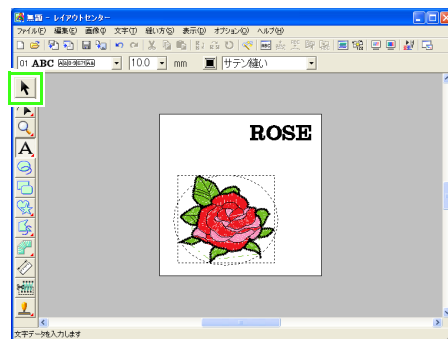
→ デザインページに文字が表示されます。




メモ:

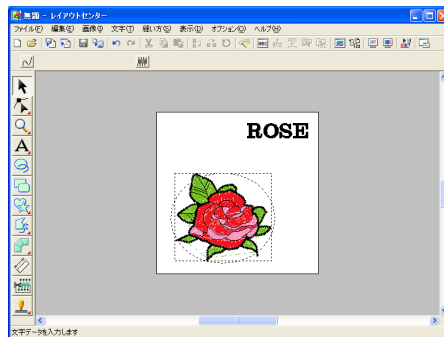
- 入力した文字を編集するには、ツールボックスの  をクリックし、文字をクリックして選択してから、メニューコマンドの**文字→文字の編集**をクリックします。表示された**文字の編集**ダイアログボックスで、文字を編集します。
- 文字を消去する場合は、文字を選択してから、**Delete** キーを押します。
- 文字を入力した後で文字の色、書体、その他の設定を変更する場合は、ツールボックスの  をクリックし文字をクリックで選択してから、縫い方バーの設定を変更します。

6 文字を調整します。



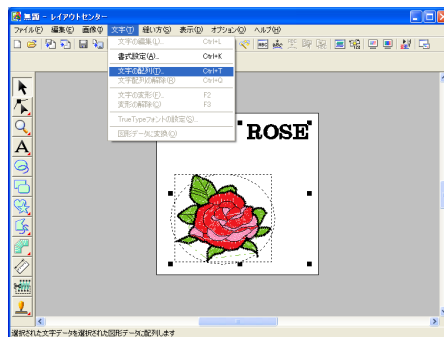
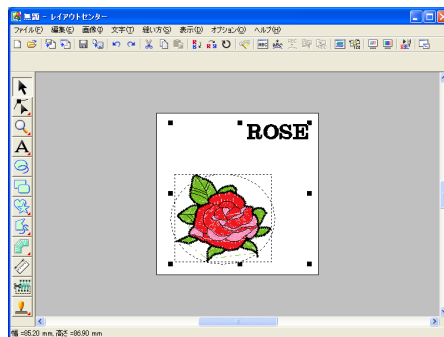
 をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

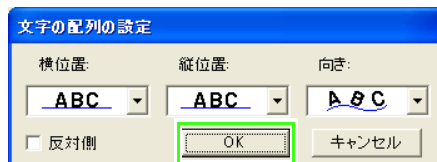


文字 **ROSE** をクリックし、**(Ctrl)** キーを押しながら円をクリックします。

→ 円と文字の両方が選択されます。

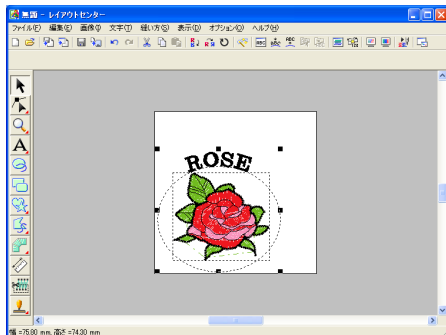


文字→文字の配列メニューをクリックします。



ここでは標準設定を使用するので、**OK** をクリックします。

→ 文字が円に沿って配列されます。



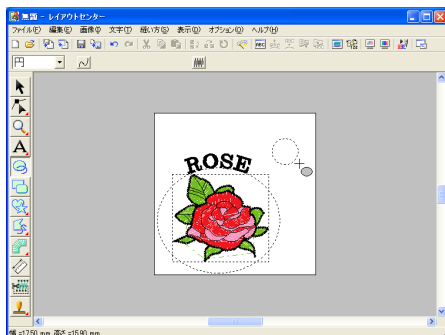
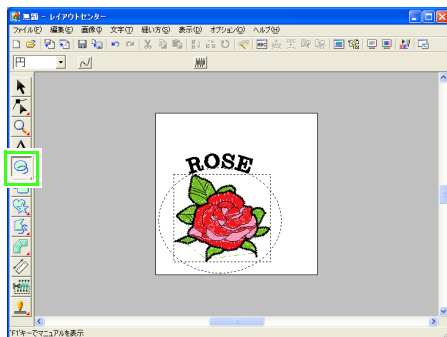
メモ：

文字が円に沿って配列されると、同じグループとなり、1つの刺しゅうデータとして扱われますので、別々に移動することはできません。ただし、円に沿って文字の位置を移動することはできます。

ステップ3 図形を描く

次に太陽の刺しゅうデータを追加します。まず円を描き、次に輪郭線の色、縫い方、サテン幅と内側の色、縫い方を設定します。

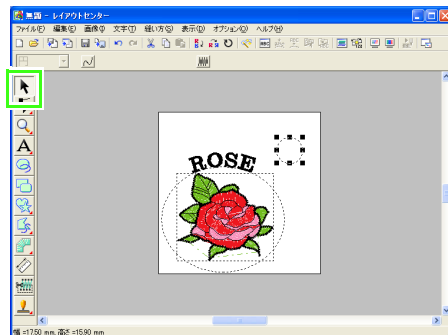
1 太陽の中心の円を描きます。




 をクリックし、**(Shift)** キーを押しながら、カーソルをドラッグします。

注意：

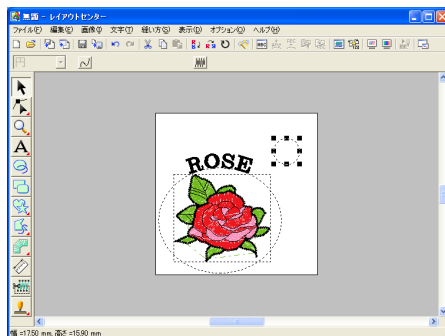
Shift キーを押したまま描くと、真円が描けません。




 をクリックし、次に円をクリックして選択します。

メモ：

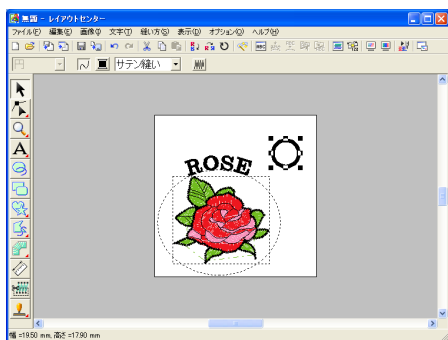
円のサイズを変更したいときは、円を選択してから角にあるハンドル の 1 つをドラッグします。



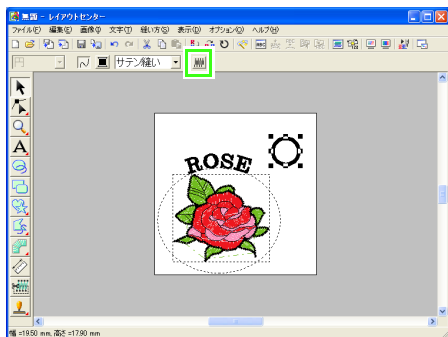
• 輪郭線の色と縫い方を変更するには、 をクリックします。


使ってみましょう

→ 次のように刺しゅうデータが表示されます。

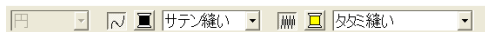
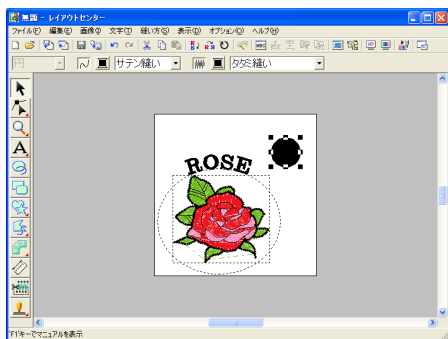


ここでは、初期設定のクロとサテン縫いを使用します。



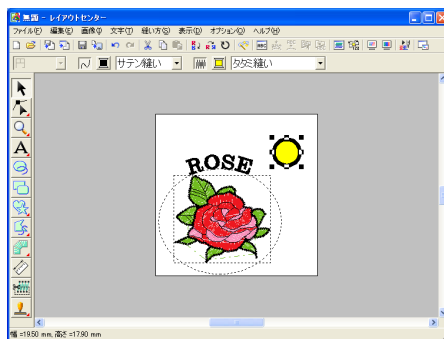
• 面の糸色を変えるには、 をクリックします。

→ 次のように刺しゅうデータが表示されます。

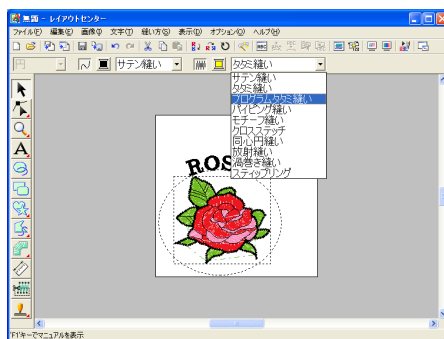



ここでは、**キイロ**を選択します。

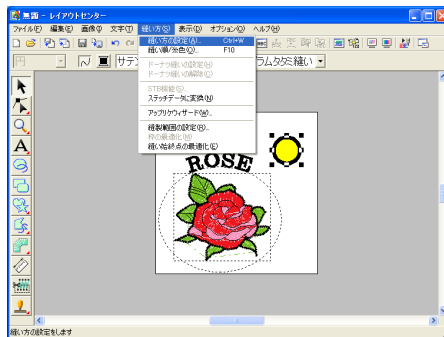
→ 次のように刺しゅうデータが表示されます。



② 面の縫い方に、プログラムタタミ縫いを設定します。

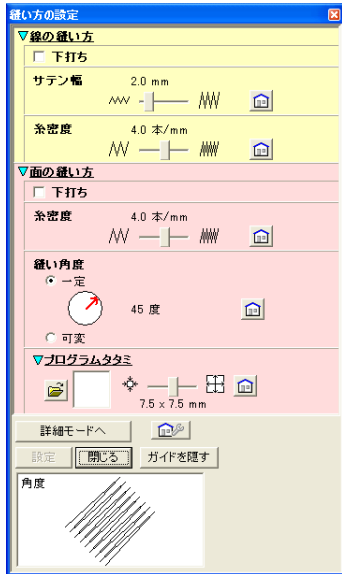



 をクリックし、次に**プログラムタタミ縫い**を選択します。



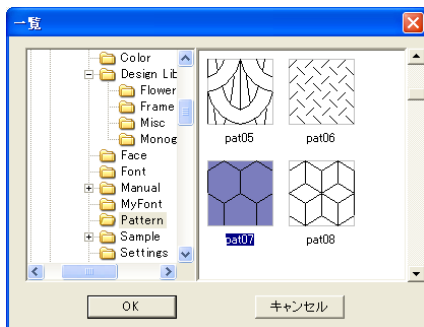
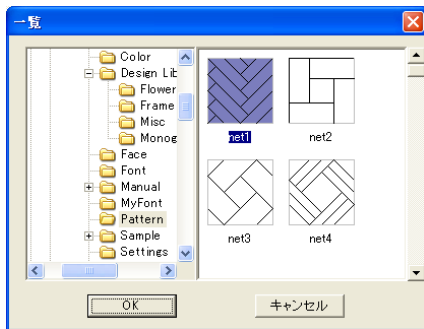
縫い方→縫い方の設定メニューをクリックします。

使ってみましょう



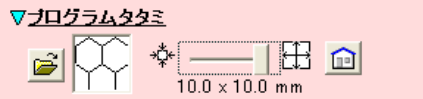
プログラマタタミの下のをクリックします。

→ 一覧ダイアログボックスが表示されます。既存のプログラマタタミ用パターンの一覧で見ることができます。



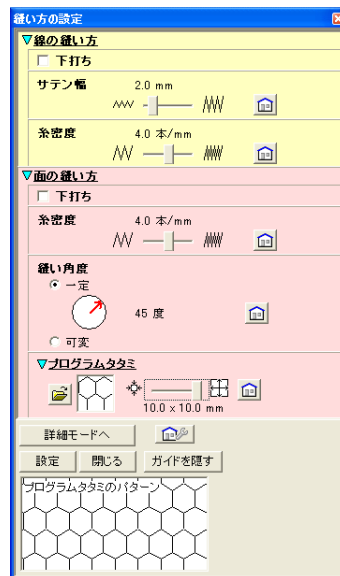
pat07 を選択し、OK をクリックします。

→ ダイアログボックスが閉じ、選択したパターンのプレビューが縫い方の設定ダイアログボックスの下部に表示されます。



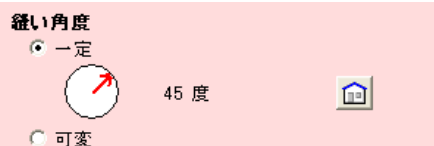
10.0 × 10.0mm が表示されるまでスライダを右に動かして、サイズを変更します。

→ 縫い方の設定ダイアログボックスは、次のように表示されます。



メモ:

- 設定を変更すると、それとともにダイアログボックス下部のガイド画面のパターンのプレビューも変わります。変更後の実際の変化をここで確認できます。
- パターンの幅と高さは、別々に変更できます。(詳しくは、P.159 の「プログラマタタミ縫い」を参照してください。)



タタミ縫いの縫い角度を変更します。一定をクリックし、カーソルを下の赤い矢印上に移動し、矢印をドラッグして角度を 340 度 に設定します。

→ **縫い方の設定** ダイアログボックスは、次のように表示されます。



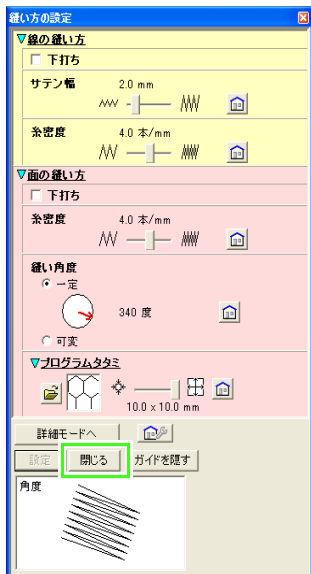
設定をクリックします。

→ 設定を変更したプログラムタタミ縫いが、選択されている円の内部に設定されます。



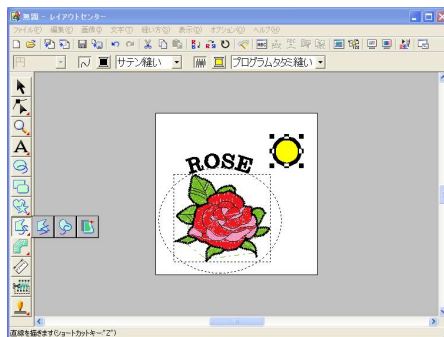
注意：



縫い方の設定は、設定を変更しないかぎり、これから新しく描かれるすべてのパターンに適用されます。




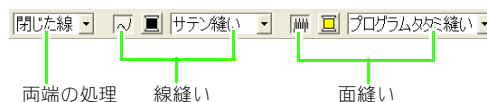
閉じるをクリックします。

3 **線描画ツール**を使って、太陽の光線を描きます。



 →  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わり、縫い方の設定バーが次のように表示されます。



注意：

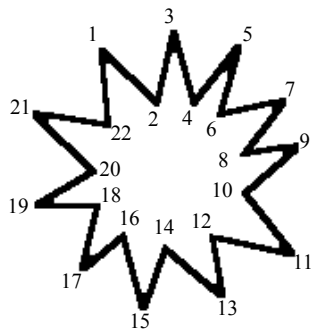
必ず、**両端の処理**セレクトで**閉じた線**を選択します。**閉じた線**を選択すると、始点と終点が自動的に結ばれて面ができます。**開いた線**を選択すると、面は作成されないため、縫い方を設定できるのは線だけになります。線を描く場合は、**開いた線**を選択します。



輪郭線の色と縫い方を選択します。ここでは、色は**アカ**、縫い方は**サテン縫い**を設定します。



面の色を選択します。ここでは、色は**アカ**、縫い方は**タタミ縫い**を設定します。

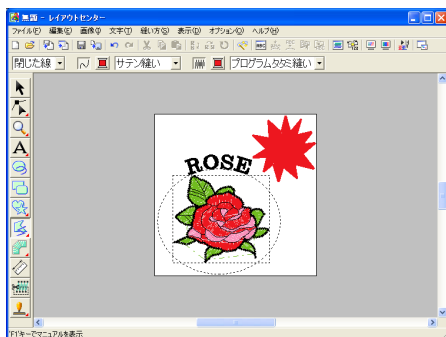


円を目安に太陽の周りに陽光を描きます。始点(1)でクリックし、各角(2～21)でクリックします。最後の点(22)でダブルクリックします。

メモ:

ダブルクリックする前にマウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。

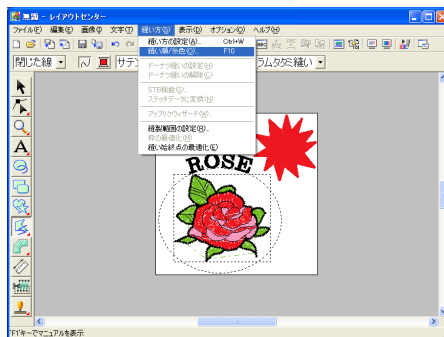
→ 次のように刺しゅうデータが表示されます。



メモ:

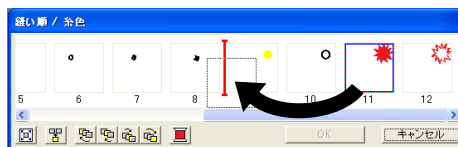
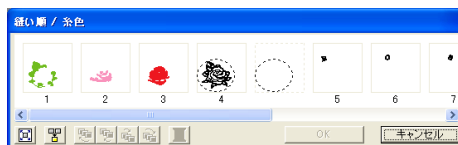
- 刺しゅうデータを消去する場合は、ツールボックスの をクリックし刺しゅうデータをクリックで選択してから、**Delete** キーを押すか、メニューバーの**編集**→**削除**を選択します。
- 刺しゅうデータを描いた後でその両端処理や色、縫い方などを変更する場合は、ツールボックスの をクリックし変更する刺しゅうデータをクリックで選択してから、縫い方バーまたは**縫い方の設定**ダイアログボックスで設定を変更します。

4 太陽の陽光の上に円が縫製されるように縫い順を変更します。



メニューバーの**縫い方**→**縫い順/糸色**をクリックします。

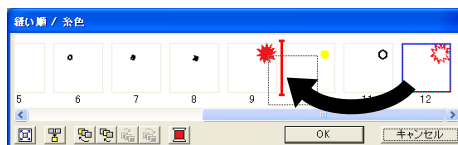
→ **縫い順/糸色**ダイアログボックスが表示されます。



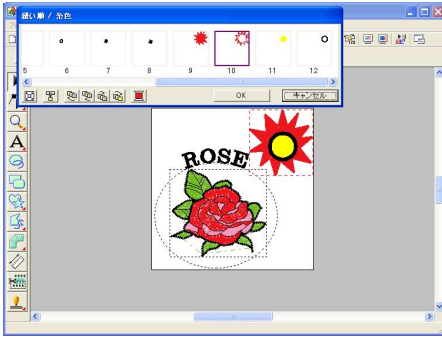
陽光の面のコマをクリックして選択し、太陽の円の面の左にドラッグします。(陽光の面を先に縫います。)

メモ:

縫い順/糸色ダイアログボックス内のコマを選択すると、下部にあるボタンを使用できるようになります。これらのボタンを使用して、選択したコマの縫い順を変更することもできます。(詳しくは、P.174の「縫い順を変更する」を参照してください。)

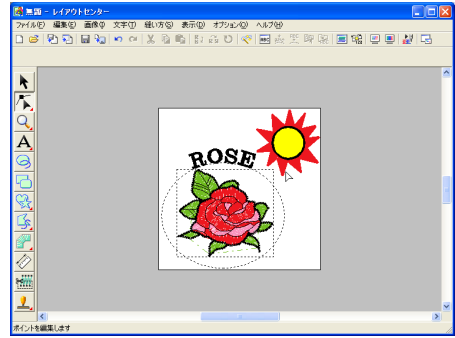


陽光の線のコマをクリックして選択し、陽光の面と太陽の円の間にドラッグします。



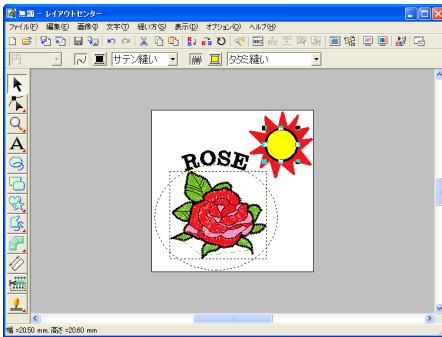
OK をクリックします。

→ 太陽（円）より先に陽光が縫われるように、縫い順が変更されました。

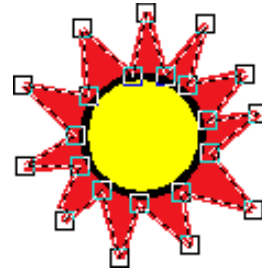


陽光をクリックして選択します。

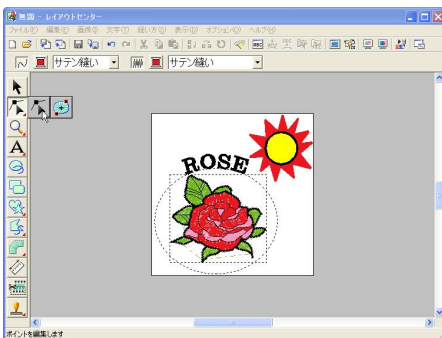
→ 既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。






必要に応じて、太陽の円が陽光の中央に見えるように、円を選択しドラッグして移動してください。



5 陽光の形を調整します。

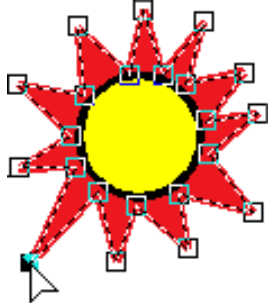
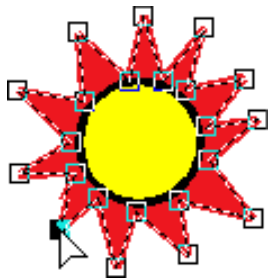
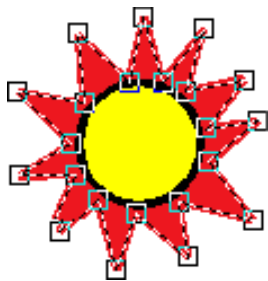


 →  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

移動するポイントをクリックします。

→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。

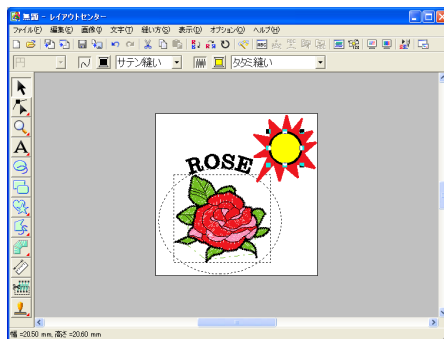


ポイントを移動したい場所にドラッグします。

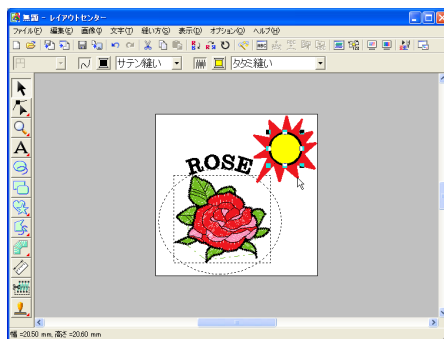
メモ:

ポイントは、追加または削除できます。(詳しくは、P.108の「ポイントを挿入する」とP.109の「ポイントを削除する」を参照してください。)

6 陽光にドーナツ縫いを設定して、太陽(円)の部分が2回縫製されないようにします。

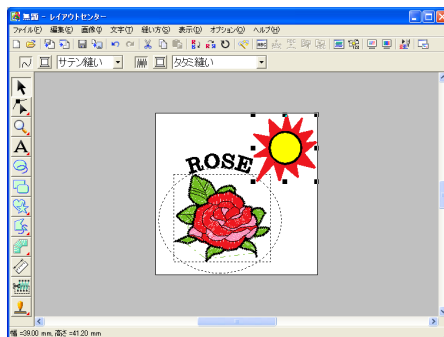


ツールボックスの  をクリックし、太陽の円をクリックして選択します。



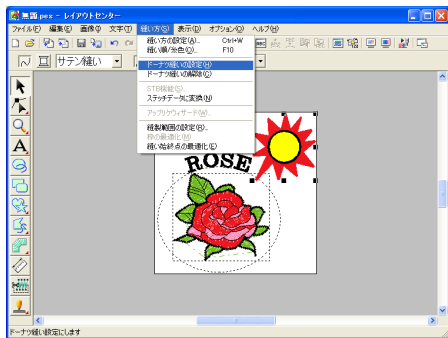
(Ctrl) キーを押しながら、陽光部分をクリックします。

→ 円と折れ線が両方選択されます。



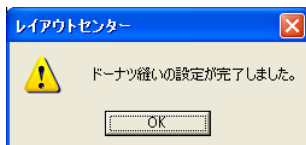
メモ:

2つのデータの選択が難しい場合は、データ周りに枠を描くようにカーソルをドラッグします。



メニューバーの**縫い方**→**ドーナツ縫い**の設定をクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。




注意：

ドーナツ縫いは、一対の刺しゅうデータの一方が他方の内側に完全に囲まれていないと設定できません。

OK をクリックします。

注意：

ドーナツ縫いが設定された一対のデータは別々に移動できません。それぞれの位置を単独で調整する場合は、ツールボックスの

 をクリックしていずれかのデータを選択してから、メニューバーの**縫い方**→**ドーナツ縫いの解除**を選択し、ドーナツ縫いを解除してください。

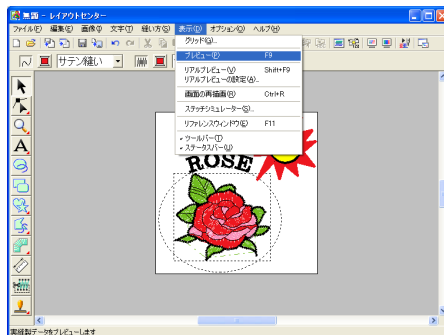
メモ：

同じ面を2回縫わないように設定する方法については、P.168の「面縫いの二重縫いを防止する(ドーナツ縫い)」を参照してください。

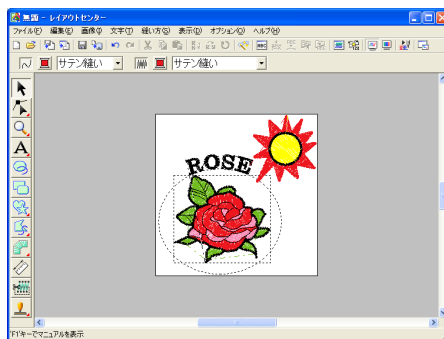
ステップ4 刺しゅうデータをプレビューする

完成した刺しゅうデータをプレビューします。

1 プレビューで縫い方を確認します。

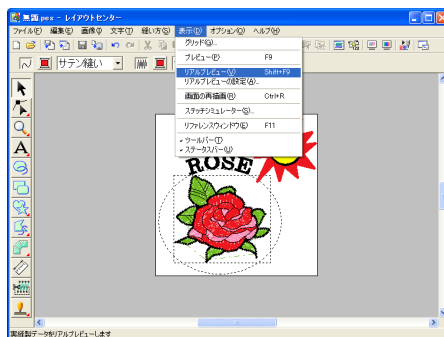


メニューバーの**表示**→**リアルプレビュー**をクリックします。

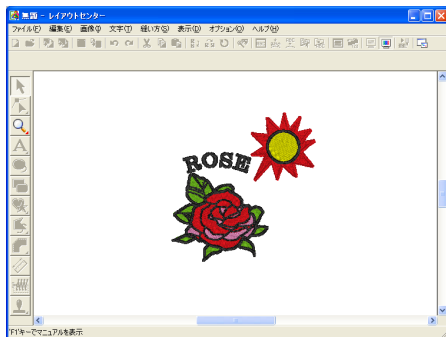


通常表示に戻すには、**表示**→**リアルプレビュー**をクリックするか、**(Esc)** キーを押します。


2 リアルプレビューで仕上がりを確認します。



メニューバーの**表示**→**リアルプレビュー**をクリックします。



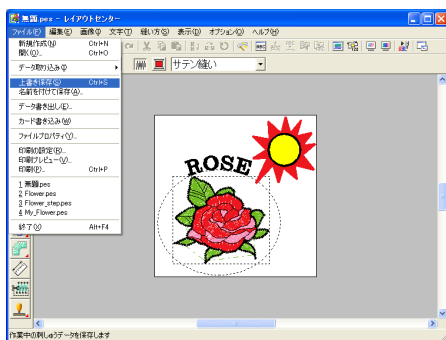
メモ：

特定の刺しゅうデータの仕上がりをプレビューするには、 をクリックして刺しゅうデータを選択してから、メニューバーの**表示**→**リアルプレビュー**をクリックします。

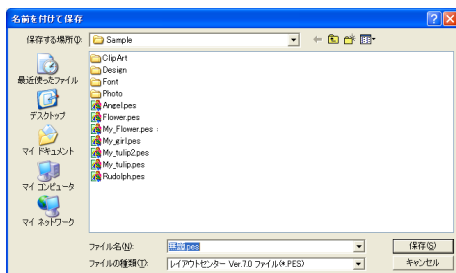
通常表示に戻すには、**表示**→**リアルプレビュー**をクリックするか、**(Esc)**キーを押します。

ステップ5 刺しゅうデータを保存する

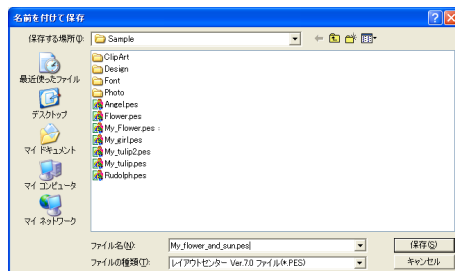
刺しゅうデータが完成したら、後で呼び出せるように保存できます。



ファイル→**上書き保存**をクリックします。



ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。



保存をクリックします。

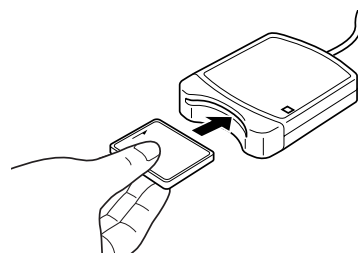
ステップ6 オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

刺しゅうデータをミシンへ転送して、はじめて実際に縫うことができます。ミシンへ転送するには、お使いのミシンで使用できるメディアを使います。ここでは、オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込んでみましょう。

メモ：

他に、ミシンで使用できるメディアとして、フロッピーディスク、コンパクトフラッシュカード、USBメモリなどのメディアが使えます。使用できるメディアは、ミシンの取扱説明書を参照してください。

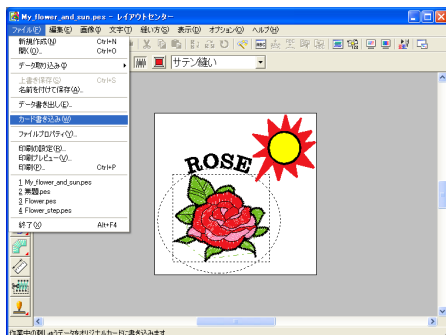
1 オリジナルカードをカードライターに挿入します。



注意：

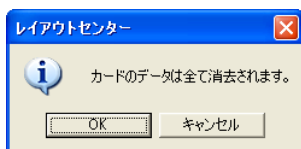
オリジナルカードを正しく挿入すると、カチッという音がします。

2 刺しゅうデータを転送します。



ファイル→カード書き込みをクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。

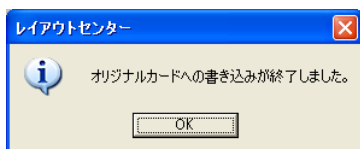


OK をクリックします。

注意：

データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他の記録媒体などに保存し (P.98 の「刺しゅうカードから刺しゅうデータを取り込む」参照)、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。

→ 次のメッセージが表示されます。

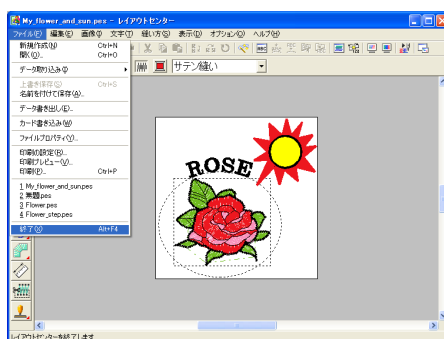


OK をクリックします。

注意：

- カードライターが正しく接続されていないため、ランプが点灯していない場合は、「カードライターが接続されていません。カードライターを正しく接続して下さい。」というエラーメッセージが表示されます。
- オリジナルカードが挿入されていない場合は「オリジナルカードが入っていません。カードライターにオリジナルカードを入れてください。」というエラーメッセージが表示されます。

3 レイアウトセンターを終了します。



メニューバーのファイル→終了をクリックします。

刺しゅうデザインファイルの管理 (デザインデータベース)

デザインデータベースを使って刺しゅうファイルを管理すると、刺しゅうデータのファイル情報を簡単に確認できます。

ここでは、刺しゅうファイルを開いてレイアウトセンターを起動するという基本的な操作を練習します。また、便利な機能として、刺しゅうファイルの一覧を印刷する方法（例 1）と、刺しゅうファイルを検索する方法（例 2）についても説明します。

ステップ1	刺しゅうファイルを確認する
ステップ2	レイアウトセンターで刺しゅうファイルを開く

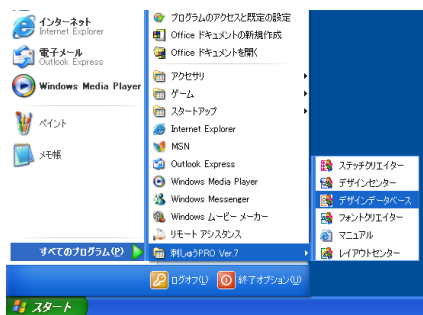
例1	刺しゅうファイルの一覧を印刷する
----	------------------

例2	刺しゅうファイルを検索する
----	---------------

ステップ1 刺しゅうファイルを確認する

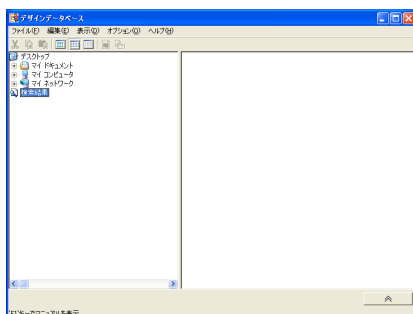
刺しゅうファイルは、コンテンツビューで確認できます。大きいサムネイル、小さいサムネイル、詳細表示に切り替えることができます。

1 デザインデータベースを起動します。

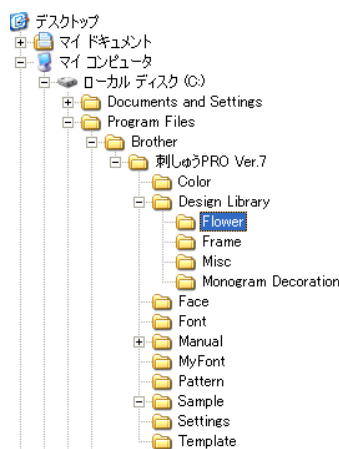


スタート をクリックし、すべてのプログラム → 刺しゅうPRO Ver.7 → デザインデータベース を選択します。

→ デザインデータベース画面が表示されます。

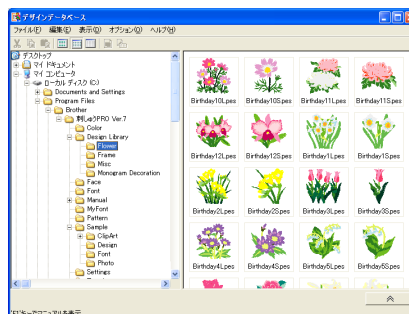


2 フォルダを選択します。



アプリケーションがインストールされているドライブ名の前にある [+] をクリックし、次に Program Files → Brother → 刺しゅうPRO Ver.7 を選択して、確認したい刺しゅうファイルが含まれているフォルダをクリックします。

→ フォルダ内のすべての刺しゅうファイルがコンテンツビューに表示されます。

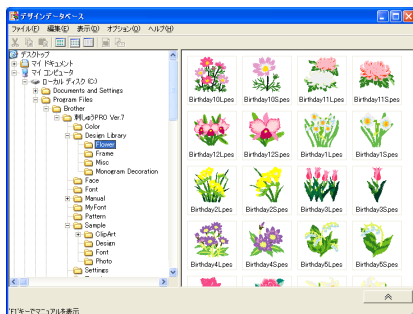


メモ:

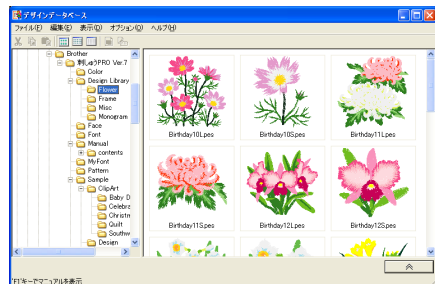
次の拡張子のファイルのみが表示されます。

.pes .phc .dst .exp .pcs .hus .vip
.shv .jef .sew .csd .xxx .pen

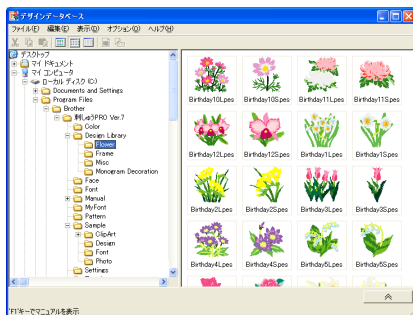
3 コンテンツビューの表示を切り替えて、ファイルを確認します。



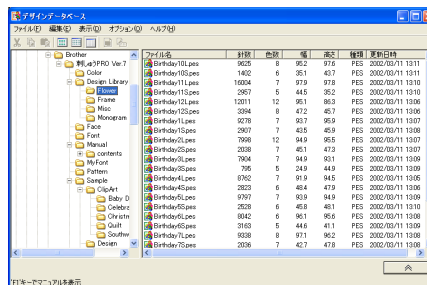
表示をクリックしてから、サムネイル大またはサムネイル小、詳細をクリックするか、ツールバーの または 、 をクリックします。



サムネイル大

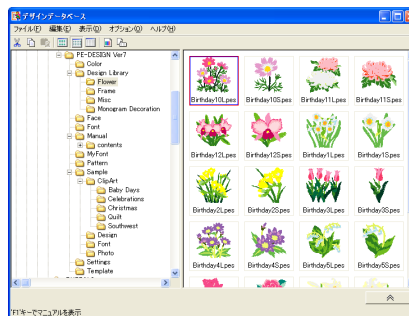


サムネイル小

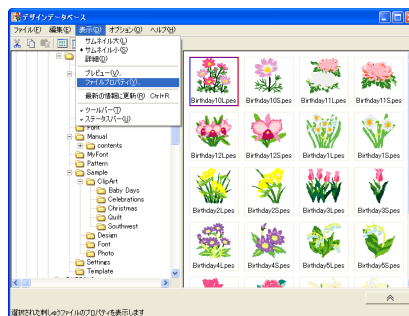


詳細

4 必要に応じて、縫い方の情報を確認します。



刺しゅうファイルを選択します。

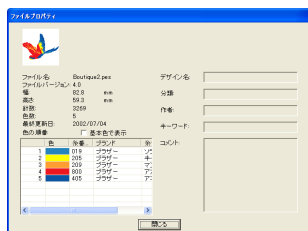


表示→ファイルプロパティをクリックするか、 をクリックします。

PES 以外のファイル
および PES ファイル
バージョン 3.0 以前



PES ファイル
(バージョン 4.0 以降)



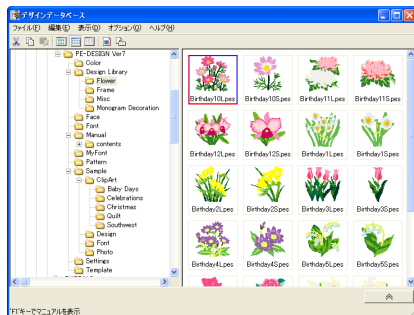
情報を確認し終えたら、**閉じる**をクリックします。

メモ:

- 色糸名表示を基本色に切り替えるには、**基本色で表示**チェックボックスを選択します。

ステップ2 レイアウトセンターで刺しゅうファイルを開く

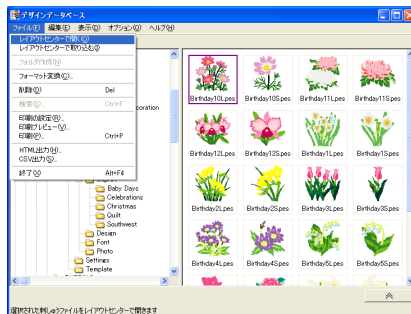
選択した .pes ファイルを、簡単にレイアウトセンターで開くことができます。



開きたい刺しゅうファイルを選択します。

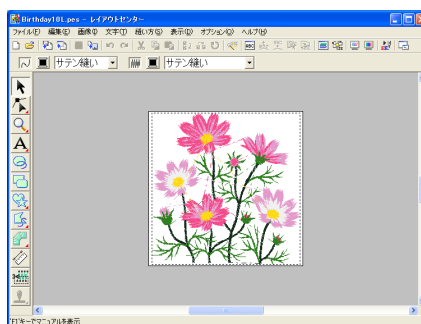
注意:

必ず .pes ファイルの入っているフォルダを選択してください。



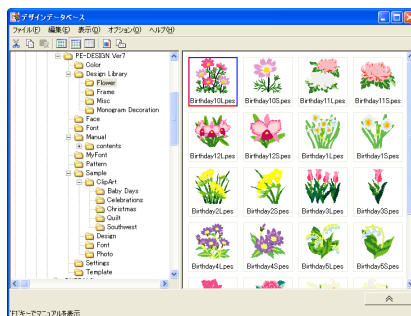
メニューバーの**ファイル**→**レイアウトセンター**で**開く**をクリックします。

→ 選択された刺しゅうデータが、レイアウトセンター画面の新しいデザインページに表示されます。

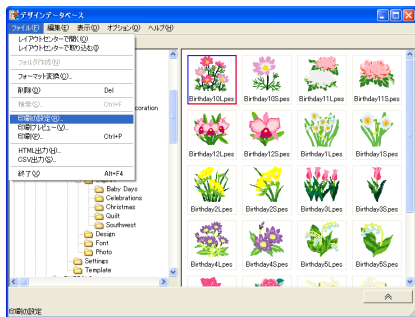


例1 刺しゅうファイルの一覧を印刷する

フォルダ内の刺しゅうデータの画像とファイルサイズ、針数、糸色などの情報を一覧にして印刷できます。

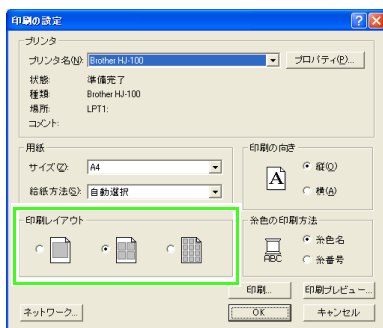


一覧にしたい刺しゅうデータが含まれているフォルダを選択します。

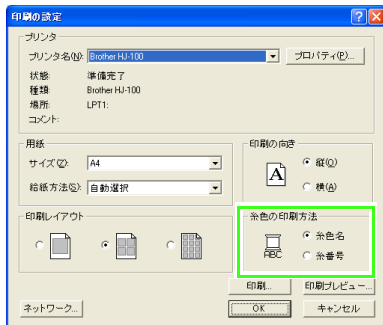


印刷するファイルを選択してから、メニューバーの**ファイル**→**印刷の設定**をクリックします。

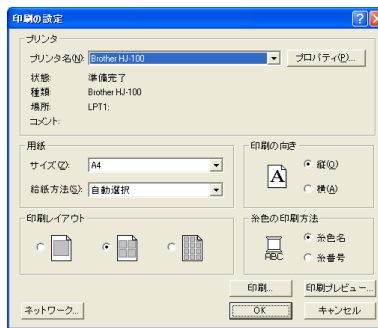
→ 次のような**印刷の設定**ダイアログボックスが表示されます。



各ページに印刷したい刺しゅうの数(1個、4個、12個)を選択します。



糸色の印刷方法で、糸色を色名で表示するか、ブランドと糸番号で表示するかを選択します。



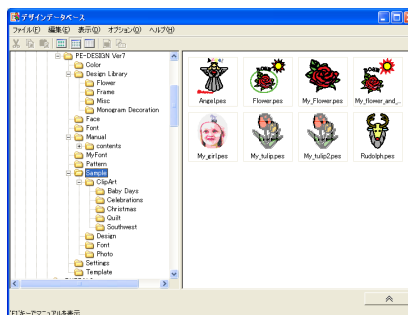
印刷をクリックします。

→ 選択した刺しゅうの画像が印刷されます。

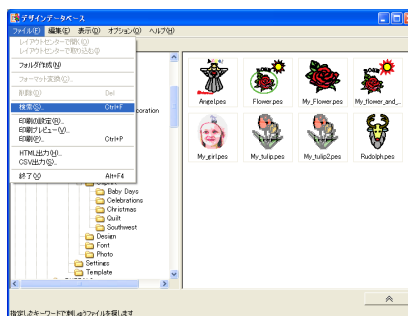
例2 刺しゅうファイルを 検索する

検索機能を使うと、1つまたは複数の検索条件を指定することで、フォルダ内の希望の刺しゅうデータ(.pes、.phc、.dst、.exp、.pcs、.hus、.vip、.shv、.jef、.sew、.csd、.xxxまたは.penファイル)を、すばやく検索することができます。

ここでは、ファイル名とファイル形式を指定して、.pesファイル(angel.pes)を検索します。



検索したいフォルダを選択します。



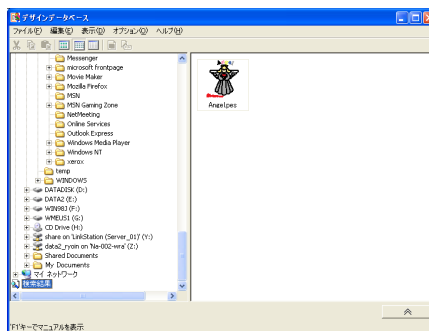
メニューバーの**ファイル**→**検索**をクリックします。

使ってみましょう



ファイル名チェックボックスをチェックして、「angel」と入力します。

→ 指定した検索条件に一致するファイルの一覧が表示されます。



対象フォーマットチェックボックスをチェックして、PES チェックボックスをチェックします。

メモ:

- サブフォルダ（選択したフォルダ内のフォルダ）も検索する場合は、**サブフォルダも検索**チェックボックスをチェックします。
- 検索条件をリセットするには、**検索条件のクリア**をクリックします。
- このダイアログボックスでの設定については、P.280の「刺しゅうファイルを検索する」を参照してください。



検索をクリックします。

モノグラムを作成する (レイアウトセンター)

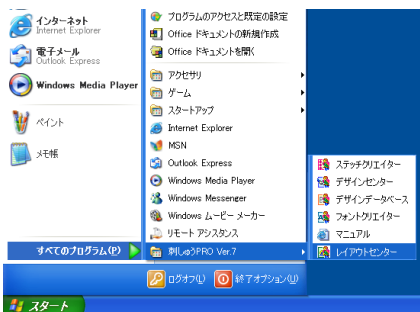
モノグラム機能を使用すると、装飾的な飾り文字を作成できます。
この手順は、次のような操作の流れになっています。

ステップ1	モノグラムを作成する
ステップ2	文字の書体とサイズを変更する
ステップ3	糸色と縫い方を変更する
ステップ4	装飾模様のサイズや位置を調整する
ステップ5	刺しゅうデータを保存する
ステップ6	オリジナルカードへ 刺しゅうデータを書き込む

ステップ1 モノグラムを作成する

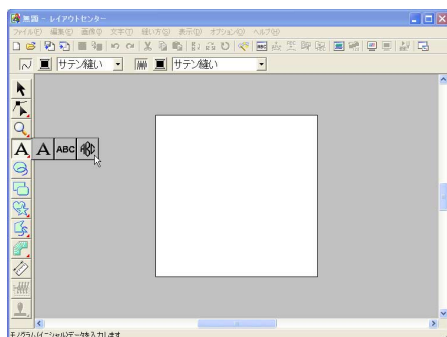
ここでは、例として「ABC」文字に装飾を加えたモノグラムを作成します。

1 レイアウトセンターを起動します。



スタート をクリックし、**すべてのプログラム** → **刺しゅうPRO Ver.7** → **レイアウトセンター** を選択します。

2 モノグラムツールを選択します。



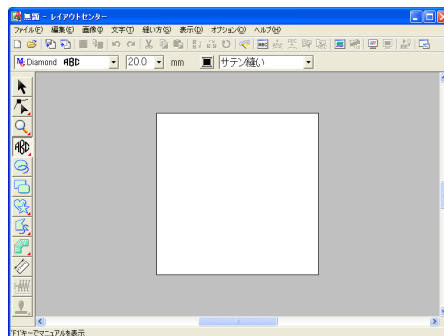
A → **ABC** をクリックします。



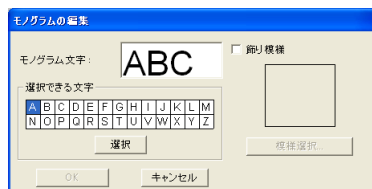
Diamond と Script は、モノグラム専用の書体です。他の内蔵フォントや True Type フォントも使用できます。

画面の上に表示されるセレクトで書体、サイズ、縫い方を設定できます。

3 文字を入力します。



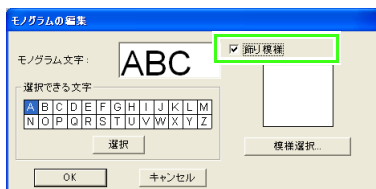
モノグラムを入力したい位置でクリックします。



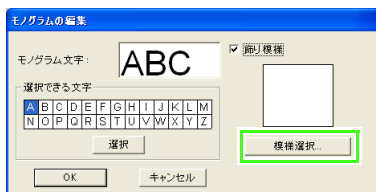
キーボードで「ABC」と入力します。

注意：

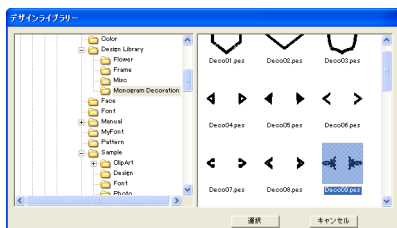
- **選択できる文字**の文字をクリックして**選択**をクリックするか、文字をダブルクリックしても入力できます。
- 改行はできません。**Enter**キーを押すと、ダイアログボックスは閉じ、デザインページにモノグラムデータが表示されます。



モノグラム文字の周囲や両サイドに装飾を加えるときは、**飾り模様**チェックボックスをチェックします。



模様選択をクリックします。



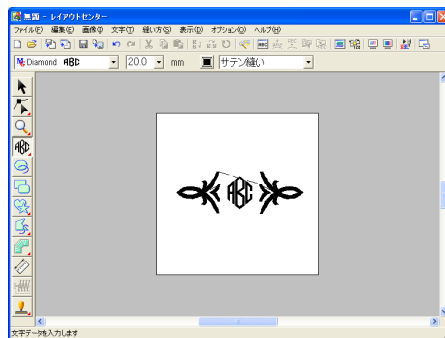
装飾模様をクリックして選択し、**選択**をクリックします。

- **モノグラムの編集**ダイアログボックスのプレビューボックスに、選択した飾り模様が表示されます。



OK をクリックします。

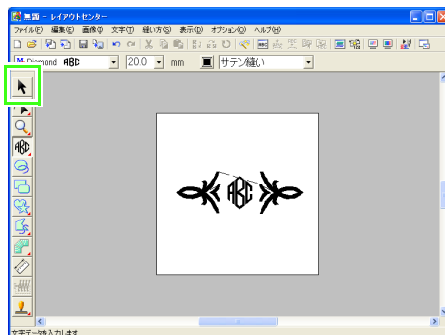
- デザインページに選択した装飾でモノグラムデータが表示されます。



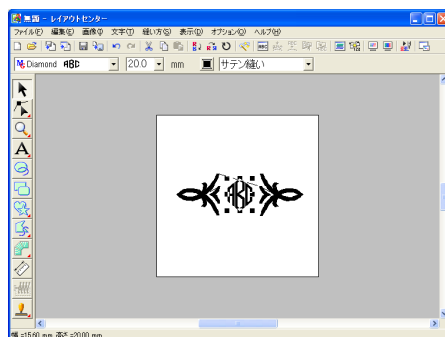
ステップ2 文字の書体とサイズを変更する

モノグラム文字の書体とサイズを変更します。

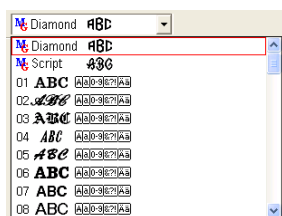
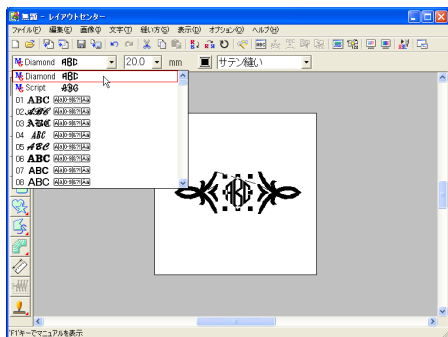
- 1 **編集するモノグラム文字を選択します。**



編集 をクリックし、モノグラム文字をクリックします。



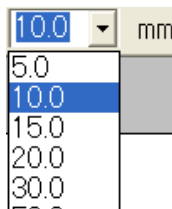
- 2 モノグラム書体セレクトで、書体を選択します。



メモ:

Diamond と Script は、モノグラム専用のフォントです。内蔵フォントや True Type フォントも使用できます。(詳しくは、P.141 の「モノグラムを作成する」を参照してください。)

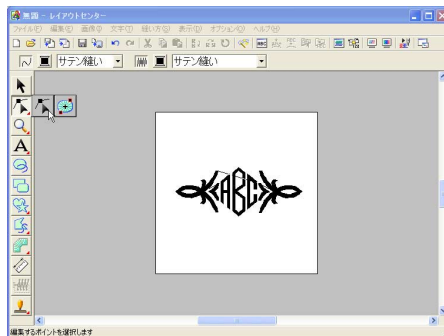
- 3 モノグラムサイズセレクトで、文字サイズを変更します。





ステップ3 糸色と縫い方を変更する

モノグラムデータの糸色と縫い方を変更できます。

- 1 編集するモノグラムデータを選択します。



 →  をクリックします。

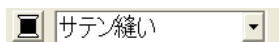
次にモノグラムデータをクリックします。




選択したい文字のポイントをクリックします。

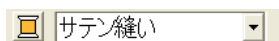


2 縫い方の設定を変更します。



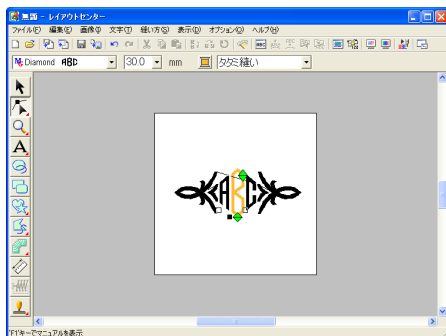
 をクリックして、糸色を選択します。

→ 選択されているモノグラムデータの糸色
が変更されます。



右側のプルダウン矢印をクリックしてから、縫い方を選択します。

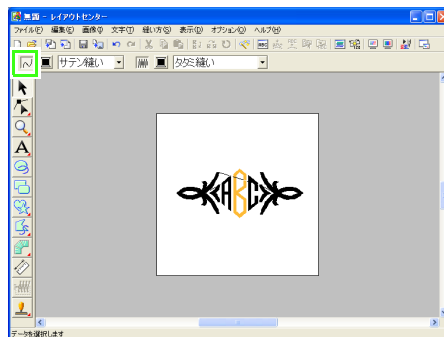
→ 選択されているモノグラムデータの縫い方
が変更されます。




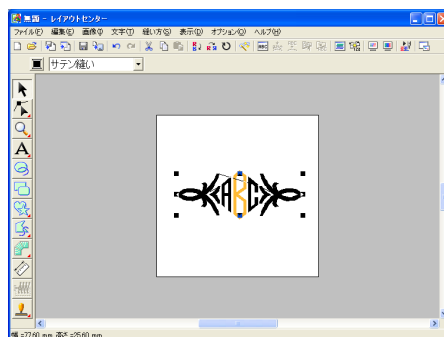
ステップ4 装飾模様のサイズや位置を調整する

装飾模様のサイズや位置を調整できます。

1 編集したい装飾模様を選択します。

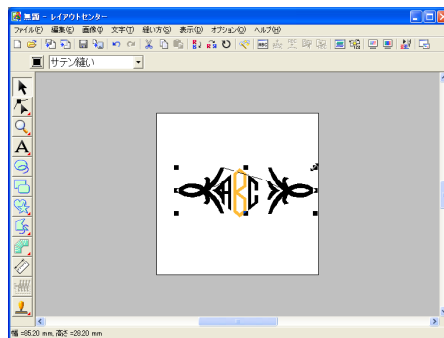


 をクリックし、装飾模様をクリックします。



2 サイズを調整します。

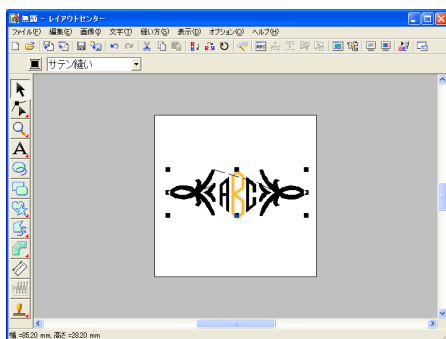
カーソルを装飾模様のハンドル上に置きます。




ハンドルをドラッグして、サイズを調整します。

3 位置を調整します。

移動したい装飾模様の上にカーソルを置きます。
ドラッグして配置します。

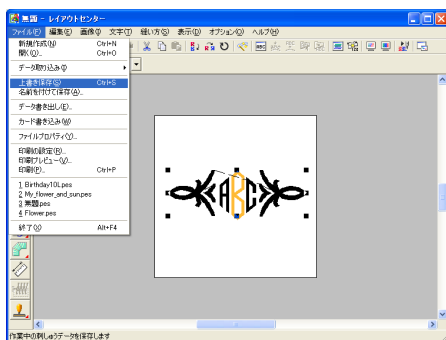


メモ：

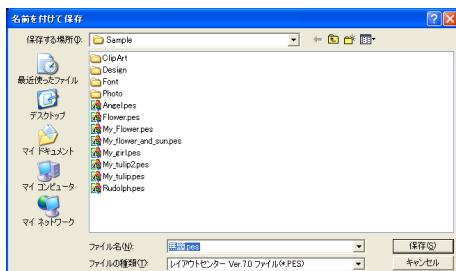
移動するときは、カーソルの形が  に変わります。

ステップ5 刺しゅうデータを保存する

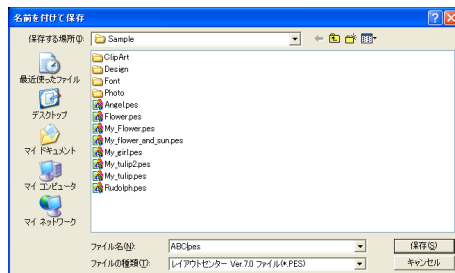
刺しゅうデータが完成したら、後で呼び出せるように保存できます。



ファイル→**上書き保存**をクリックします。



ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。



保存をクリックします。

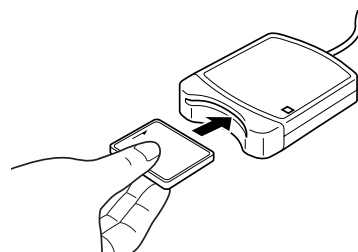
ステップ6 オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

刺しゅうデータをミシンへ転送して、はじめて実際に縫うことができます。ミシンへ転送するには、お使いのミシンで使用できるメディアを使います。ここでは、オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込んでみましょう。

メモ：

他に、ミシンで使用できるメディアとして、フロッピーディスク、コンパクトフラッシュカード、USB メモリなどのメディアが使えます。使用できるメディアは、ミシンの取扱説明書を参照してください。

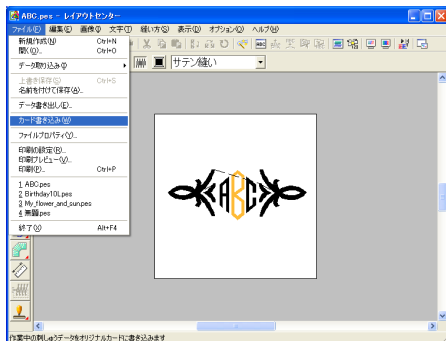
1 オリジナルカードをカードライターに挿入します。



注意：

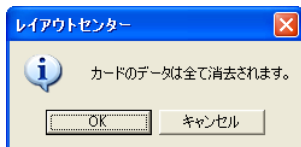
オリジナルカードを正しく挿入すると、カチッという音がします。

2 刺しゅうデータを転送します。



ファイル→カード書き込みをクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。

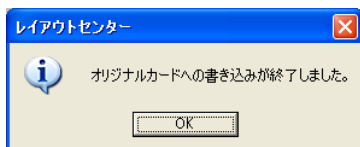


OK をクリックします。

注意：

データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他の記録媒体などに保存し (P.98 の「刺しゅうカードから刺しゅうデータを取り込む」参照)、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。

→ 次のメッセージが表示されます。

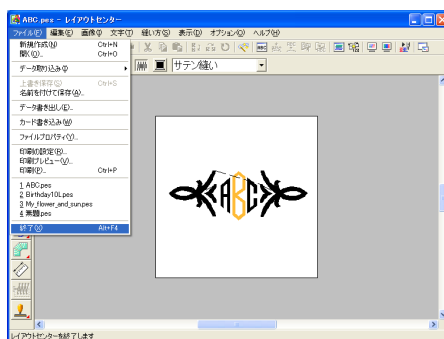


OK をクリックします。

注意：

- カードライターが正しく接続されていないため、ランプが点灯していない場合は、「カードライターが接続されていません。カードライターを正しく接続して下さい。」というエラーメッセージが表示されます。
- オリジナルカードが挿入されていない場合は「オリジナルカードが入っていません。カードライターにオリジナルカードを入れてください。」というエラーメッセージが表示されます。

3 レイアウトセンターを終了します。



メニューバーのファイル→終了をクリックします。

アプリケーションを作成する

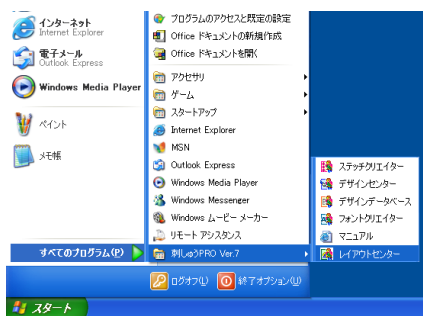
アプリケーションウィザードを使用すると、簡単にアプリケーションデータを作成できます。この手順は、次のような操作の流れになっています。

ステップ1	アプリケーションデータを作成する
ステップ2	刺しゅうデータを保存する
ステップ3	オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

ステップ1 アプリケーションデータを作成する

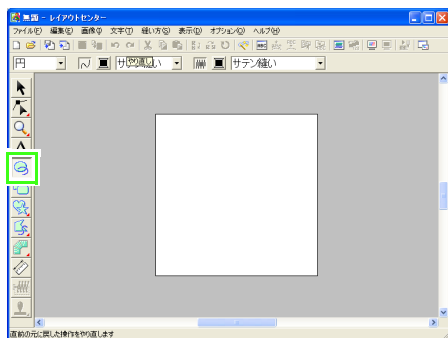
様々な図形からアプリケーションデータを作成できます。ここでは、円を描いてアプリケーションデータを作成します。


1 レイアウトセンターを起動します。

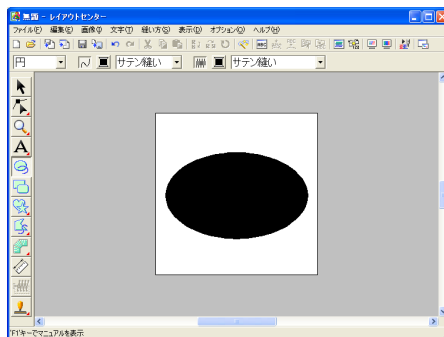


スタート をクリックし、**すべてのプログラム** → **刺しゅうPRO Ver.7** → **レイアウトセンター** を選択します。

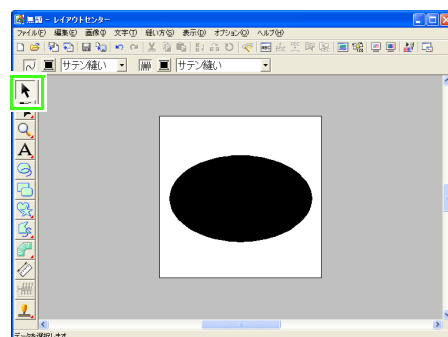
2 円を描きます。




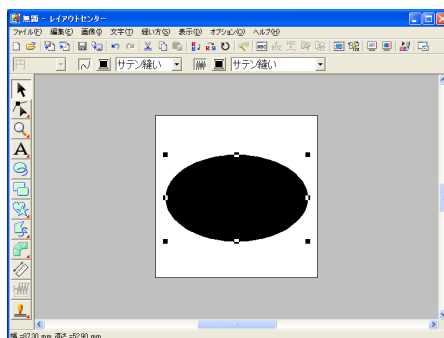
 をクリックして円を描きます。



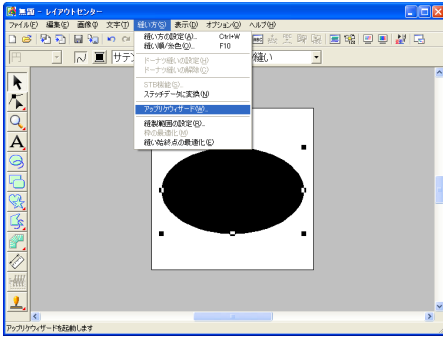
3 アプリケーションデータを作成します。



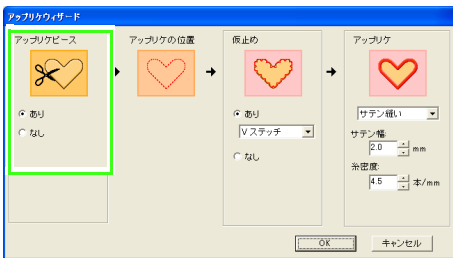
 をクリックし、アプリケーションデータにする円データを選択します。



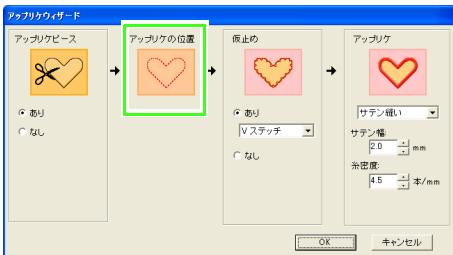
使ってみましょう



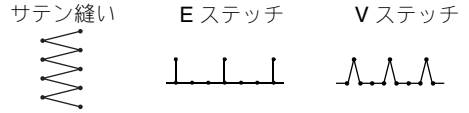
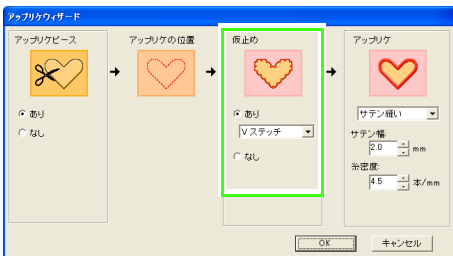
メニューバーの縫い方→アップリケウィザードをクリックします。



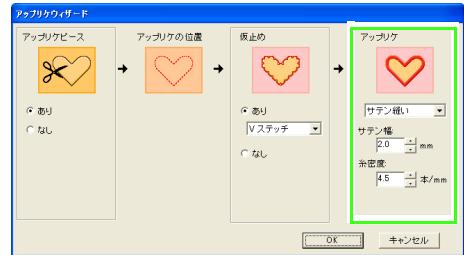
アップリケベースで、アップリケの切り取り線を縫製する(あり) / しない(なし)を選択します。



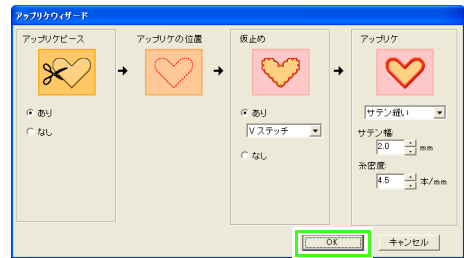
アップリケの位置(アップリケを縫い付けるためのガイド線)が、自動的に縫製されるように設定されます。



仮止めの縫製をする場合は、**仮止めの下のあり**を、仮止めをしない場合は**なし**を選択します。**あり**を選択した場合は、セレクトから縫い目の種類を選択します。仮止めには、サテン縫い、Eステッチ、Vステッチを選択できます。

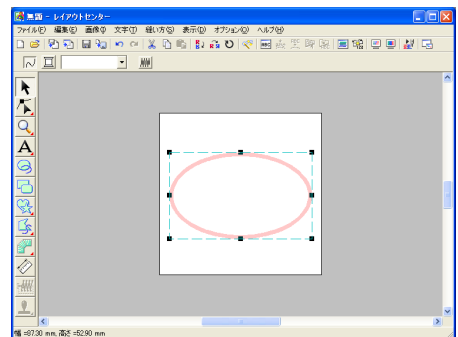


アップリケ縫いの縫い方の種類、各設定を指定します。**アップリケ**の下のセレクトまたはスピコンボタンをクリックして、設定します。



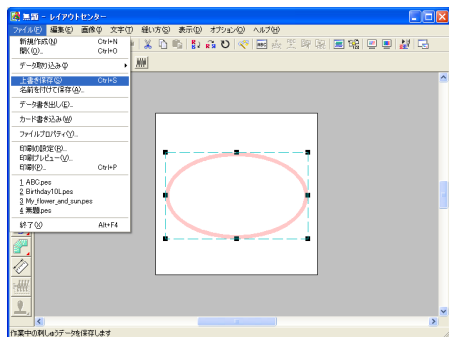
OKをクリックして、アップリケウィザードを終了します。デザインページにアップリケデータが表示されます。

→ 変換されたアップリケデータがデザインページに表示されます。

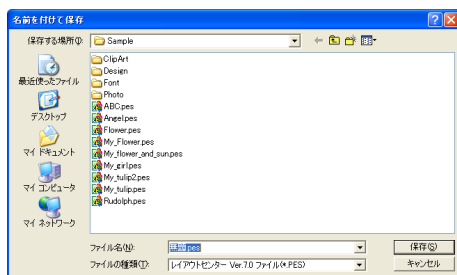


ステップ2 刺しゅうデータを保存する

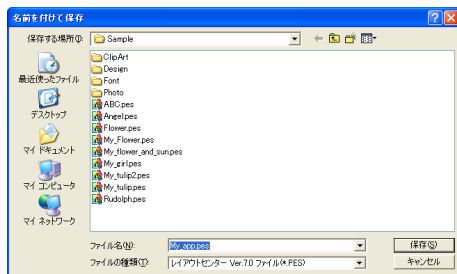
アップリケデータが完成したら、保存します。



ファイル→上書き保存をクリックします。



ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。



保存をクリックします。

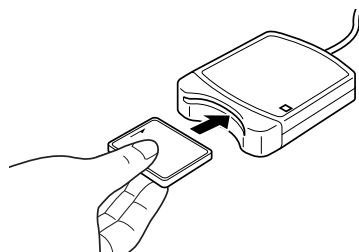
ステップ3 オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

刺しゅうデータをミシンへ転送して、はじめて実際に縫うことができます。ミシンへ転送するには、お使いのミシンで使用できるメディアを使います。ここでは、オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込んでみましょう。

メモ：

他に、ミシンで使用できるメディアとして、フロッピーディスク、コンパクトフラッシュカード、USBメモリなどのメディアが使えます。使用できるメディアは、ミシンの取扱説明書を参照してください。

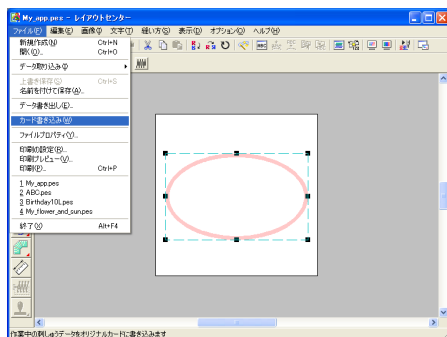
- 1 オリジナルカードをカードライターに挿入します。



注意：

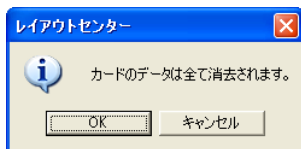
オリジナルカードを正しく挿入すると、カチッという音がします。

- 2 刺しゅうデータを転送します。



ファイル→カード書き込みをクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。



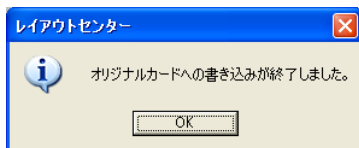
OK をクリックします。



注意：

データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他の記録媒体などに保存し (P.98 の「刺しゅうカードから刺しゅうデータを取り込む」参照)、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。

→ 次のメッセージが表示されます。



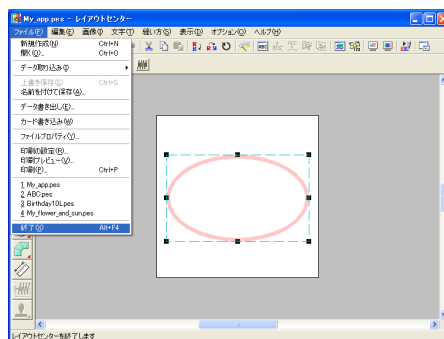
OK をクリックします。



注意：

- カードライターが正しく接続されていないため、ランプが点灯していない場合は、「カードライターが接続されていません。カードライターを正しく接続して下さい。」というエラーメッセージが表示されます。
- オリジナルカードが挿入されていない場合は「オリジナルカードが入っていません。オリジナルカードを入れてください。」というエラーメッセージが表示されます。

3 レイアウトセンターを終了します。



メニューバーの**ファイル**→**終了**をクリックします。

画像データの刺しゅうデータへの自動変換 (レイアウトセンター/ステッチウィザード)

画像データを取り込む

画像 / 写真データの取り込み

様々な種類のクリップアートや写真をレイアウトセンターに取り込んで刺しゅうデータを作成できます。

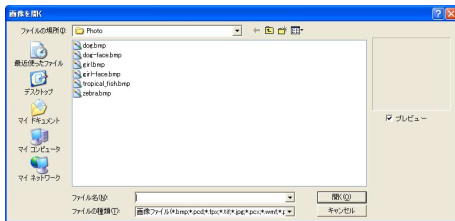
次の形式のファイルを取り込むことができます。

Windows ビットマップ (*.bmp)
Exif (*.tif, *.jpg)
ZSoftPCX (*.pcx)
Windows メタファイル (*.wmf)
Portable Network Graphics (*.png)
Encapsulated PostScript (*.eps)
Kodac PhotoCD (*.pcd)
FlashPix (*.fpx)
JPEG2000 (*.j2k)

取り込むクリップアートや写真は、輪郭がくっきりしたものや色の境界がはっきりしたものを使うと、きれいな刺しゅうに仕上がります。

1. メニューバーの**画像→入力→ファイル**からをクリックします。

→ 次のような**画像を開く**ダイアログボックスが表示されます。



2. ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。

メモ:

プレビューチェックボックスがチェックされていると、選択したファイルの内容が**プレビュー**領域に表示されます。

3. **開く**をクリックしてファイルを開きます。

→ 原画 (画像ファイル) が作業領域に表示されます。

メモ:

- ファイル名をダブルクリックしてもファイルが開きません。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。
- 画像データに解像度が記録されている場合は、その解像度に応じたサイズで表示されます。
- デザインページに作業中の画像があり、その画像が保存されていない場合は、画像を保存するかどうかを尋ねられます。
- メニューバーの**画像→表示設定**をクリックすると、画像の表示のしかたを選べます。
- エクスプローラに表示された画像ファイルのアイコンを、レイアウトセンターの画面にドラッグして開くこともできます。

注意:

- 複数のページがある .pcd ファイルと .fpx ファイルは、最初のページのみを開くことができます。LZW で圧縮された Tiff ファイルは開くことができません。
- 取り込んだ画像のサイズと位置を変更して、それらの情報を .pes ファイルに保存できます。保存された .pes ファイルに同じ画像を取り込むと、メッセージが表示され、以前保存された位置とサイズか、オリジナルの位置 (デザインページ中央) のどちらを反映させるかを尋ねられます。
- 作業領域に取り込める画像は、1 つです。別の画像を取り込むと、それまで表示されていた画像はデザインページから削除されます。

スキャナまたはデジタルカメラから画像データを取り込む

TWAIN 規格対応のスキャナ等の機器を操作し、画像をデザインページに取り込み、刺しゅうデータ作成の下絵や原画として使うことができます。

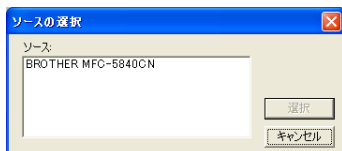
メモ:

TWAIN とは、スキャナ等を制御するソフトウェアのためのアプリケーションインターフェイス (API) の標準規格です。

1. スキャナ等の TWAIN 機器が、パソコンに正しく接続されているかを確認します。

2. メニューバーの**画像**→**TWAIN機器の選択**をクリックします。

→ 次のような**ソースの選択**ダイアログボックスが表示されます。



3. ソースリストから、使用する機器を選択してクリックします。

注意：

TWAIN 機器のドライバがインストールされていない場合、**ソース**リストには何も表示されません。使用する TWAIN 機器のドライバソフトウェアをインストールしてください。

4. デバイスをクリックし反転表示して、**選択**をクリックします。

メモ：

操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

5. メニューバーの**画像**→**入力**→**TWAIN機器から**をクリックします。

→ **ソースの選択**ダイアログボックスで選択した機器のドライバインターフェイスが表示されます。

6. 画像の取り込みに必要な設定を指定し、画像を取り込みます。

注意：

ドライバインターフェイスの使い方については、インターフェイスのヘルプマニュアルをご覧になるか、インターフェイスのメーカーにお問い合わせください。

→ TWAIN 機器とドライバ間の画像転送が完了すると、取り込んだ画像が貼り付けられます。

メモ：

- デザインページに作業中の画像があり、その画像が保存されていない場合は、画像を保存するかどうかを尋ねられます。
- メニューバーの**画像**→**表示設定**をクリックすると、画像の表示のしかたを選べます。

注意：

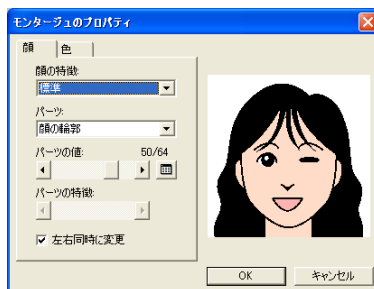
作業領域に取り込める画像は、1つです。別の画像を取り込むと、それまで表示されていた画像はデザインページから削除されます。

似顔絵を作る

髪型、目、鼻、口などのパーツを組み合わせることで独自の似顔絵を作成し、その画像を取り込みます。

1. メニューバーの**画像**→**入力**→**モンタージュから**をクリックします。

→ **モンタージュのプロパティ**ダイアログボックスが表示されます。



2. **顔の特徴**から、似顔絵の全体的なイメージ(雰囲気)を選択します。細め、太め、子供などがあります。

メモ：

右のサンプルイメージが、選択した特長の似顔絵に変わります。


3. **パーツ**から、変更する顔のパーツを選択します。

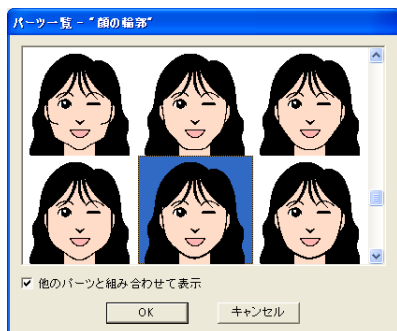
メモ：

サンプルイメージの各パーツ部分をクリックしても選択できます。

4. パーツの値スライダを動かして、パーツの形を選択します。

メモ：

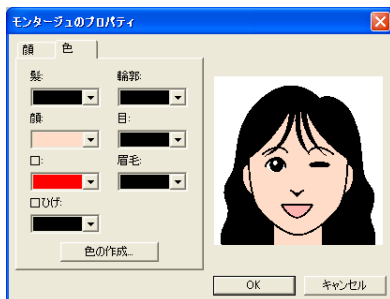
- **左右同時に変更** チェックボックスをチェックすると、目、耳は左右が同じパーツになります。
- スライダを動かすごとに、サンプルイメージの選択したパーツの形が変わります。
-  をクリックすると、選択したパーツの一覧が表示されます。



- **他のパーツと組み合わせて表示** チェックボックスをチェックすると、他のパーツと組み合わせた形で、チェックを外すとそのパーツが単独で、一覧表示されます。
- 目的のパーツをクリックし**OK**をクリックするか、ダブルクリックして選択します。

5. パーツの特徴スライダを動かして、**パーツの特徴** (標準 / やや大 / やや小 / 横長 / 縦長) を選択します。

6. **色タブ**をクリックすると、パーツの色を選択できます。変更したいパーツの色をクリックし、色を選択します。



7. 似顔絵ができたら、**OK**をクリックします。

→ デザインページに、似顔絵の画像が表示されます。

メモ：

- デザインページに作業中の画像があり、その画像が保存されていない場合は、画像を保存するかどうかを尋ねられます。
- メニューバーの**画像→表示設定**をクリックすると、画像の表示のしかたを選べます。

注意：

作業領域に取り込める画像は、1つです。別の画像を取り込むと、それまで表示されていた画像はデザインページから削除されます。

クリップボードから画像データを取り込む

クリップボードにコピーされている画像を、デザインページに取り込むことができます。別のアプリケーションソフトで表示した画像を、ファイルに保存しなくても、クリップボードに一時コピーすることでその画像を取り込めます。

1. メニューバーの**画像→入力→クリップボードから**をクリックします。

注意：

この機能は、クリップボードに画像がコピーされていないときは使用できません。

→ デザインページに画像が表示されます。

メモ：

- 画像は解像度 100dpi (高さ、幅とも) で表示されます。
- デザインページに作業中の画像があり、その画像が保存されていない場合は、画像を保存するかどうかを尋ねられます。

画像の各設定の変更

画像の表示設定を変更する

作業領域の画像の表示のしかたを選択できます。

1. メニューバーの**画像→表示設定**をクリックし、設定を選択します。

下絵を表示する場合は、**表示 (100%)** をクリックします。

下絵を薄く表示する場合は、使用する濃さ (**75%、50% または 25%**) をクリックします。

下絵を表示しない場合は、**表示しない** をクリックします。

メモ：

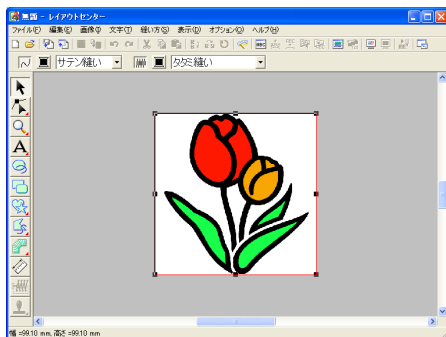
- 作業領域に取り込まれている下絵の画像がない場合は、この機能は使えません。
- **(F6)** キーを押すと、**表示 (100%)**、**75%**、**50%**、**25%** および**表示しない**を切り替えることができます。

画像のサイズや位置を調整する

画像のサイズや位置を調整します。

1. メニューバーの**画像→サイズと位置の変更**をクリックします。


→ 画像の周囲に赤い線とハンドルが表示されます。







メモ：

- ステータスバーに、画像のサイズ (幅と高さ) が表示されます。





画像データを移動する

1. カーソルを画像上に移動します。
→ カーソルの形が  に変わります。
2. ドラッグして、移動します。

画像データを拡大・縮小する

1. カーソルをハンドルの上に移動します。
→ 接しているハンドルによって、カーソルの形が、、、 または  に変わります。

メモ：

-  は、幅を拡大・縮小します。
-  は、高さを拡大・縮小します。
-  と  は、幅と高さを同時に拡大、縮小します。(幅と高さの比率が保たれます。)
- **(Shift)** キーを押しながらハンドルをドラッグすると、画像の中心から拡大・縮小されます。

2. ハンドルをドラッグして、画像のサイズを調整します。


画像データを削除する


1. **(Delete)** キーを押すか、メニューバーの**編集→削除**をクリックします。

→ 画像データはデザインページから削除されます。

画像データを刺しゅうデータへ自動変換する (ステッチウィザード)

ステッチウィザードに従って、画像データを刺しゅうデータに変換します。

ツールバーボタン: 

1. デザインページに画像が表示されていない場合は、メニューバーの**画像→入力**を使い、刺しゅうデータを作成する原画を用意します。
2. メニューバーの**画像→サイズと位置の変更**を使い、原画を作成する刺しゅうデータの大きさ、位置に調整します。
3.  をクリックするか、メニューバーの**画像→ステッチウィザードの起動**をクリックします。
→ 次のダイアログボックスが表示されます。



注意:

デザインページに画像が表示されていないと、**画像の変換方法の選択**ダイアログボックスは表示されません。**画像を開く**ダイアログボックスが表示されます。

4. 作成する刺しゅうのラジオボタンをクリックし、**次へ**をクリックします。

オートパンチ:

オートパンチ機能を使用し、自動的に画像の境界を抽出して、刺しゅうデータを作成します。**(「オートパンチを選択した場合」に進みます。)**

フォトステッチ 1:

写実風の写真刺しゅうデータを作成します。色は**カラー**と**モノクロ**が選択できます。**(「フォトステッチ 1 (カラー) を選択した場合」または「フォトステッチ 1 (モノクロ) を選択した場合」に進みます。)**

フォトステッチ 2:

写真を4色 (**カラー**) または1色 (**モノクロ**) で表現する刺しゅうデータを作成します。**(「フォトステッチ 2 (カラー) を選択した場合」または「フォトステッチ 2 (モノクロ) を選択した場合」に進みます。)**

クロスステッチ:

クロスステッチの刺しゅうデータを作成します。**(「クロスステッチを選択した場合」に進みます。)**

デザインセンター:

デザインセンターを起動して、デザインセンターのデザインページに画像が取り込まれます。

→ 詳しくは、P.195の「刺しゅうデータの原画からの作成 (デザインセンター)」を参照してください。

メモ:

操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

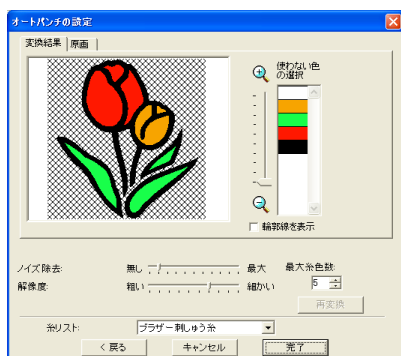
注意:

デザインページのサイズは1000 × 1000mmまで指定できますが、大きな画像をフォトステッチ機能で変換しようとする、「画像が大きすぎて変換できません。」というメッセージが表示されます。メッセージを閉じると、自動的に画像が選択された状態になります。画像のサイズを500 × 500mm以下に調整してください。

原画を刺しゅうデータに自動変換する (オートパンチ)

■ オートパンチを選択した場合

→ 原画の特徴を解析し、しばらくすると次のような**オートパンチの設定**ダイアログボックスが表示されます。



1. 設定を選択します。

変換結果タブをクリックすると、解析された結果の画像が表示されます。刺しゅうデータは、この画像を使用して作成されます。

画像の表示倍率を調整するには、 と の間でスライダを動かします。画像解析して抽出された輪郭線を表示するには、**輪郭線を表示**チェックボックスを選択します。

画像解析の設定を変更するには、次のスライダを使用します。

ノイズ除去：原画に含まれるゴミ (歪み) を除去する程度を設定します。

解像度：画像解析する際の解像度を設定します。

最大糸色数：使用する糸色の数を設定します。

糸リストセレクトで糸色リストを選択します。選択した糸リストから最適な糸色が選択されます。ユーザー糸リストも選択できます。

原画タブをクリックすると、原画が表示されます。

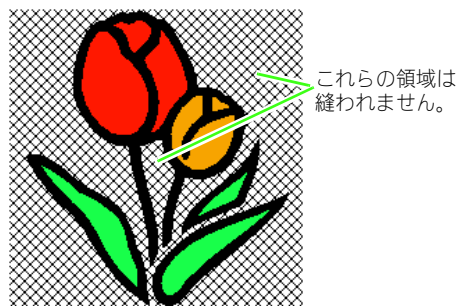
📖 メモ：

- 設定を変更したら、**再変換**をクリックして新しい設定で解析し直します。**再変換**をクリックしないと、新しい設定は適用されません。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。
- **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログボックスに戻ります。

2. 縫う領域を決定します。**変換結果**タブの画像の部分をクリックし、その部分を縫うかどうかを選択します。

📖 メモ：

縫製しない部分は X マークで埋められます。



3. 必要に応じて、**使わない色の選択**リストから、色をクリックし、色単位で面縫いのオン/オフを選択します。



📖 メモ：

X マークが付いた色は、その色のすべての領域の面縫いがオフ (縫わない) に設定されていることを示しています。

4. 必要な設定を選択したら、**完了**をクリックします。

→ 画像から解析されたイメージに、最適な糸色、縫い方が設定された刺しゅうデータが作成され、デザインページに表示されます。

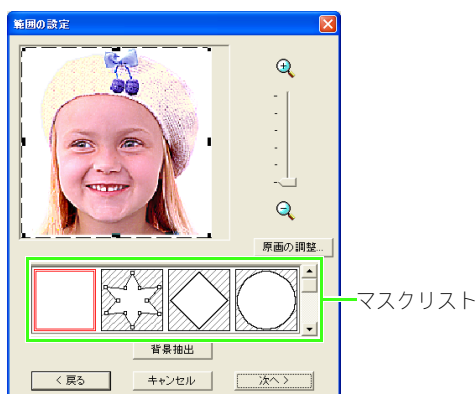
メモ:

作成された刺しゅうデータは、他の刺しゅうデータと同様に、後から糸色や縫い方の設定を変更することができます。

写真を刺しゅうデータに自動変換する (フォトステッチ1/フォトステッチ2)

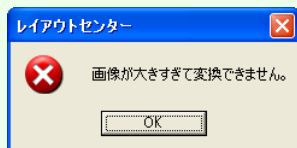
■ フォトステッチ1 (カラー) を選択した場合

→ 次のような**範囲の設定**ダイアログボックスが表示されます。



注意:

画像の幅または高さのどちらか一方が500mmを超えた場合、次のメッセージが表示されます。このようなときは、画像のサイズを調整してください。





メモ:

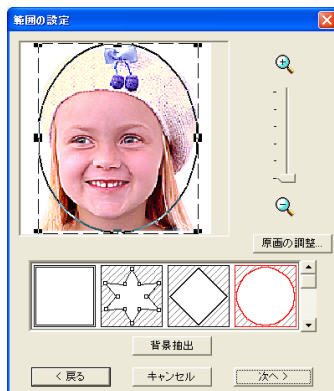
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。
- **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログボックスに戻ります。

1. ダイアログボックスの下のマスクリストから、画像をトリミングする形状 (マスク) を選択しクリックします。

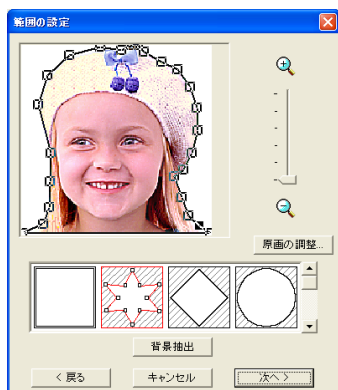
2. プレビュー領域で、マスクの形状と位置を調整します。マスクのハンドルを移動して、刺しゅうデータに変換する画像部分を囲みます。

メモ:

- **原画の調整**をクリックすると、**原画の調整**ダイアログボックスが表示され、画像の調整ができます。
- **ズームスライダ**を上下に動かすと、画像の表示倍率を調整できます。
- 初期設定では、四角形のマスクが選択されています。
- 任意の形のマスクを作成するには、を選択し、ポイントを移動、挿入、削除してマスクの形を調整します。マスクの輪郭線をクリックすると、ポイントを挿入できます。ポイントを削除するには、ポイントを選択して、**Delete** キーを押します。
- **背景抽出**をクリックすると、が選択されマスクが自動的に作成されます。このマスクのポイントも移動、追加、削除できます。
- 背景が1色の場合は、**背景抽出**をクリックすると、自動的に画像の輪郭が検出されます。ポイントを移動または削除することで、マスクの輪郭線を調整できます。



丸いマスクで編集した場合



調整可能なマスクで編集した場合

注意：

原画が小さい場合、マスクのサイズを小さくできないことがあります。

メモ：

原画の調整

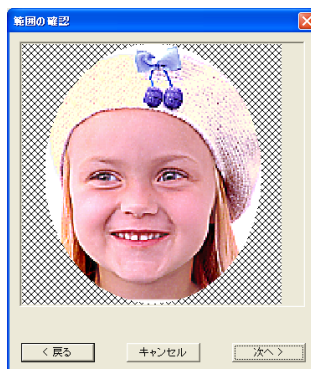
- **範囲の設定** ダイアログボックスで**原画の調整**をクリックすると、次のような**原画の調整**ダイアログボックスが表示されます。



- 画像表示領域に画像処理結果が表示されません。
- **原画 - 輪郭強調**スライダを使用して、原画の輪郭を強調する割合を調整します。**輪郭強調**に近く設定するほど、明るい部分と暗い部分の境界が明確になります。
- **暗い - 明るい**スライダで、原画の明るさを調整します。
- **コントラスト低 - コントラスト高**スライダで、原画のコントラストを調整します。
- **OK** をクリックすると、画像処理が実行されて、**範囲の設定**ダイアログボックスに戻ります。
- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

3. 範囲の設定ダイアログボックスの**次へ**をクリックします。

→ 画像が解析され、**範囲の確認**ダイアログボックスが表示されます。

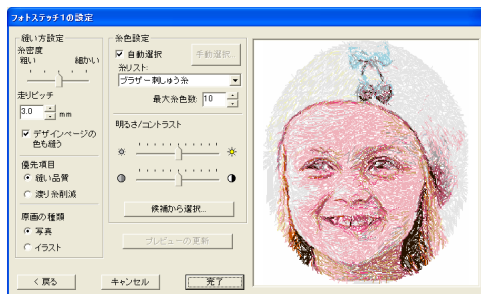


メモ：

刺しゅうデータが作成されない部分は、X マークで埋められます。

4. 次へをクリックします。

→ **フォトステッチ1の設定**ダイアログボックスが表示されます。



5. 刺しゅうデータ作成のための設定を行います。

メモ：

- **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

縫い方設定

糸密度	作成する刺しゅうデータの細かさを設定します。 細かい に設定するほど、細かい表現が可能となりますが、ステッチ数は多くなります。(ステッチが重なります)
走りピッチ	縫いピッチを設定します。この設定値を最低の長さとしてデータを作成します。値を低くすると、縫いピッチが短くなり、より細かい刺しゅうになります。 範囲：2.0～10.0mm 標準：3.0mm
デザインページの色も縫う	この項目にチェックを入れると、デザインページと同色の部分に縫い目データを作成します。布地の色をそのまま生かすときはチェックを外してください。 初期設定：選択されている
優先項目	刺しゅうデータに変換する際の優先項目を選択します。 縫い品質 ：縫い上がりの品質を優先してデータを作成します。ただし、渡り糸が多く発生します。 渡り糸削減 ：縫製時のわずらわしさを低減するため、渡り糸が少なくなるようにデータを作成します。ただし、縫い上がり時の品質が若干落ちることがあります。
原画の種類	写真 を選択すると、糸色を混ぜ合わせ、より自然なデータを作成します。 イラスト を選択すると、糸色を混ぜ合わせないで、データを作成します。 写真などの画像データは 写真 を、イラストなどの画像データには イラスト を選択します。

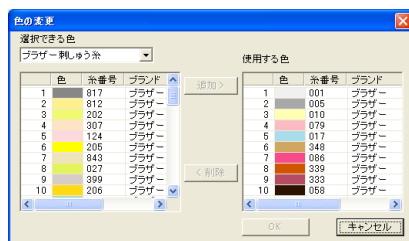
糸色設定

自動選択	糸色を自動で選択する場合は、このチェックボックスを選択します。 標準では、このチェックボックスが選択されています。 このチェックボックスの選択が解除されている場合は、手動で糸を選択します。
手動選択	自動選択 チェックボックスが選択されていないときに表示されます。 このボタンをクリックして 手動選択 ダイアログボックスを開き、刺しゅうデータ作成用に選択された糸色を手動で設定します。(P.88 左の「メモ」参照)
糸リスト	自動選択により糸色を選択する際の、糸リストを選択します。 選択した糸リストから最適な糸色が選択されます。 ユーザー糸リストも選択できます。
最大糸色数	自動設定で選び出す色数の値を設定します。 範囲：1～50 標準：10

明るさ / コントラスト	上のスライダは、明るさを調整するために使用します。スライダを右に動かすと明るくなり、左に動かすと暗くなります。下のスライダは、コントラストを調整するために使用します。スライダを右に動かすとコントラストが強くなり、左に動かすと弱くなります。 プレビューの更新 をクリックして、プレビューを確認します。
候補から選択	候補から選択 ダイアログボックスを開く場合に、このボタンをクリックします。明るさとコントラストが自動補正された6種類のプレビューが表示されます。この中から1つを選んで OK をクリックすると、その明るさとコントラストの設定が適用され、プレビューも更新されます。
プレビューの更新	設定を変更した後に、このボタンをクリックすると、プレビューが更新されます。

メモ:

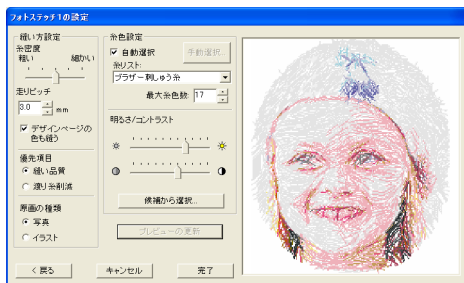
手動選択ボタンをクリックすると、以下の色の**変更**ダイアログが起動します。



- **選択できる色**リストで選択した色を、**使用する色**リストに追加するには、**追加**をクリックします。色が選択されていない場合や、すでに50色が**使用する色**リストに追加されている場合は、このボタンはクリックできません。
- **使用する色**リストから色を削除するには、**削除**をクリックします。**使用する色**リストで色が選択されていない場合は、このボタンはクリックできません。
- **選択できる色**リストと**使用する色**リストは、糸色の明度が高い順に並んでいます。この順番が縫い順となり、変更はできません。
- **使用する色**リストに追加可能な最大糸色数は50色です。
- **使用する色**リストに表示されている糸色は、**選択できる色**リストには表示されません。
- 複数の色を選ぶには、隣り合った色は **(Shift)** キーを、隣り合っていない色は **(Ctrl)** キーを押しながら、色を選びます。
- **OK** をクリックし、変更を確定してダイアログボックスを閉じます。**フォトステッチ1の設定**ダイアログボックスに戻り、選択した糸色が適用されたプレビューが表示されます。**使用する色**がない場合は、**OK** ボタンをクリックできません。
- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

6. フォトステッチ1の設定ダイアログボックスのプレビューの更新をクリックします。

→ プレビューが更新されます。

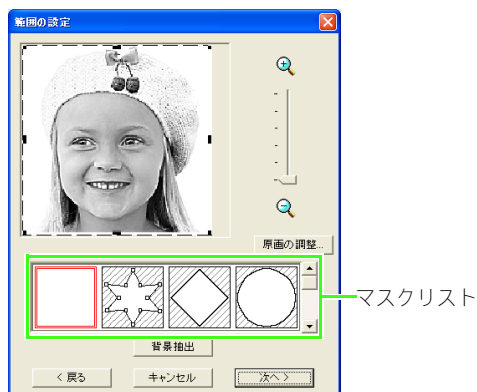


7. 完了をクリックします。

→ 作成された刺しゅうデータが、デザインページに表示されます。

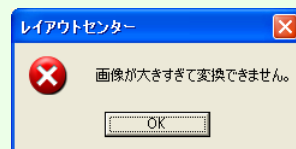
■ フォトステッチ1 (モノクロ) を選択した場合

→ 次のような**範囲の設定**ダイアログボックスが表示されます。



注意:

画像の幅または高さのどちらか一方が500mmを超えた場合、次のメッセージが表示されます。このようなときは、画像のサイズを調整してください。



1. ダイアログボックスの下の**マスクリスト**から、画像をトリミングする形状（マスク）を選択しクリックします。
2. プレビュー領域で、マスクの形状と位置を調整します。マスクのハンドルを移動して、刺しゅうデータに変換する画像部分を囲みます。

このダイアログボックスでの設定については、P.85を参照してください。

3. 範囲の設定ダイアログボックスの次へをクリックします。

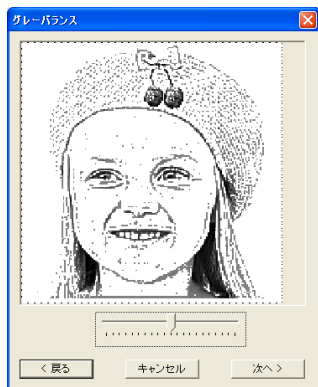
→ 次のような**グレーバランス**ダイアログボックスが表示されます。



メモ:

刺しゅうデータが作成されない部分は、Xマークで埋められます。

4. スライダーを操作して、どの部分を刺しゅうデータにするか設定します。

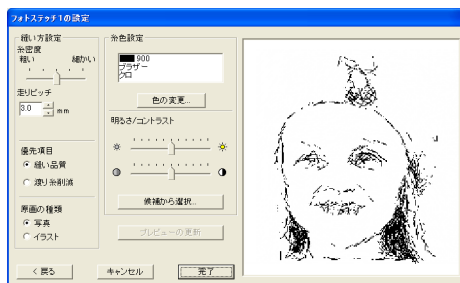


メモ:

- 黒く残っていると刺しゅうデータが作成されます。
- **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

5. グレーバランスダイアログボックスの次へをクリックします。

→ **フォトステッチ1の設定**ダイアログボックスが表示されます。



6. 刺しゅうデータ作成のための設定を行います。

メモ:

- **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

縫い方設定

糸密度	作成する刺しゅうデータの細かさを設定します。 細かい に設定するほど、細かい表現が可能となりますが、ステッチ数は多くなります。(ステッチが重なります)
走りピッチ	縫いピッチを設定します。この設定値を最低の長さとしてデータを作成します。値を低くすると、縫いピッチが短くなり、より細かい刺しゅうになります。 範囲：2.0～10.0mm 標準：3.0mm
優先項目	刺しゅうデータに変換する際の優先項目を選択します。 縫い品質 ：縫い上がりの品質を優先してデータを作成します。ただし、渡り糸が多く発生します。 渡り糸削減 ：縫製時のわずらわしさを低減するため、渡り糸が少なくなるようにデータを作成します。ただし、縫い上がり時の品質が若干落ちることがあります。
原画の種類	写真 を選択すると、糸色を混ぜ合わせ、より自然なデータを作成します。 イラスト を選択すると、糸色を混ぜ合わせないで、データを作成します。 写真などの画像データは 写真 を、イラストなどの画像データには イラスト を選択します。

糸色設定

色の変更	使用する糸色を変更したい場合は、 色の変更 ボタンをクリックして、 糸色 ダイアログボックスを開きます。また、縫製に使う糸のブランドも変更できます。色を選択して、 OK をクリックし、色の変更を確定します。
明るさ/コントラスト	上のスライダは、明るさを調整するために使用します。スライダを右に動かすと明るくなり、左に動かすと暗くなります。下のスライダは、コントラストを調整するために使用します。スライダを右に動かすとコントラストが強くなり、左に動かすと弱くなります。 プレビューの更新 をクリックして、プレビューを確認します。
候補から選択	候補から選択 ダイアログボックスを開く場合に、このボタンをクリックします。明るさとコントラストが自動補正された6種類のプレビューが表示されます。この中から1つを選んで OK をクリックすると、その明るさとコントラストの設定が適用され、プレビューも更新されます。
プレビューの更新	設定を変更した後に、このボタンをクリックすると、プレビューが更新されます。

7. フォトステッチ 1 の設定ダイアログボックスのプレビューの更新をクリックします。

→ プレビューが更新されます。

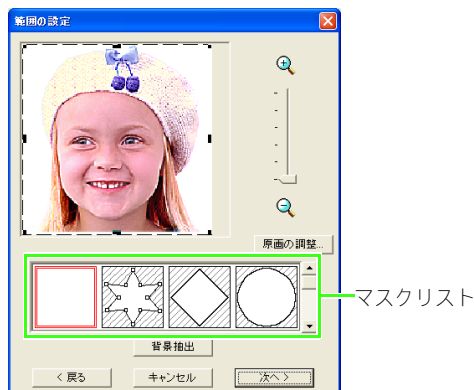


8. 完了をクリックします。

→ 作成された刺しゅうデータが、デザインページに表示されます。

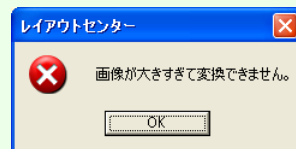
■ フォトステッチ 2 (カラー) を選択した場合

→ 次のような**範囲の設定**ダイアログボックスが表示されます。




注意：

画像の幅または高さのどちらか一方が500mmを超えた場合、次のメッセージが表示されます。このようなときは、画像のサイズを調整してください。

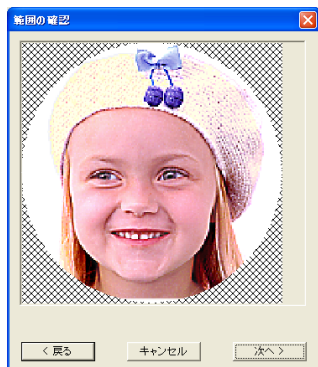


1. ダイアログボックスの下のマスクリストから、画像をトリミングする形状（マスク）を選択しクリックします。
2. プレビュー領域で、マスクの形状と位置を調整します。マスクのハンドルを移動して、刺しゅうデータに変換する画像部分を囲みます。

 このダイアログボックスでの設定については、P.85、P.86を参照してください。

3. 範囲の設定ダイアログボックスの次へをクリックします。

→ 画像が解析され、**範囲の確認**ダイアログボックスが表示されます。

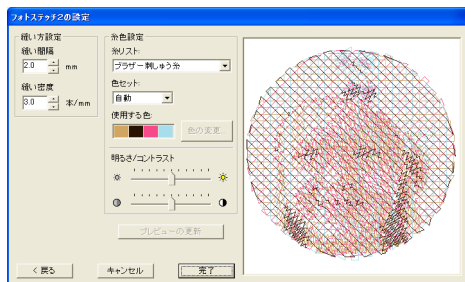


メモ:

刺しゅうデータが作成されない部分は、Xマークで埋められます。

4. 次へをクリックします。

→ **フォトステッチ2の設定**ダイアログボックスが表示されます。



5. 刺しゅうデータ作成のための設定を行います。

メモ:

- **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

縫い方設定

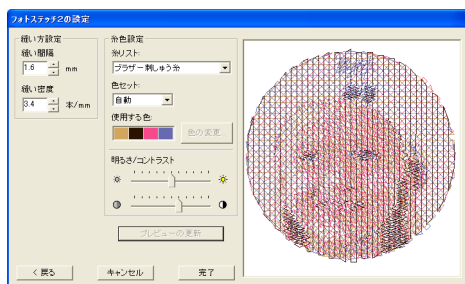
縫い間隔	刺しゅうデータを作成する平行線の間隔を設定します。 範囲：1.2 ~ 5.0mm 標準：2.0mm
縫い密度	サテン縫いで縫製する刺しゅうデータの領域の最大密度を設定します。刺しゅうデータは、ここで設定した密度より細かい密度で作成されます。 範囲：2.5 ~ 5.0 本/mm 標準：3.0 本/mm

糸色設定

糸リスト	自動選択により糸色を選択する際の、糸リストを選択します。選択した糸リストから最適な糸色が選択されます。ユーザー糸リストも選択できます。
糸セット	自動 を選択すると、最も適した4色が自動的に選択されます。または、刺しゅうデータの作成に用いる4色の組合せを選択します。 選択肢の色は、C (シアン)、M (マゼンタ)、Y (イエロー)、K (ブラック)、R (レッド)、G (グリーン)、B (ブルー)です。原画でよく使われている色を次の組合せの中から選択します。 糸の組合せ：CMYK、RGBK、CRYK、BMYK
使用する色	選択された4つの糸色を表示します。
色の変更	使用する糸色を変更したい場合は、 使用する色 の変更したい色をクリックし、 色の変更 をクリックして、糸色ダイアログボックスを開きます。色を選択し、 OK をクリックします。 フォトステッチ2の設定 ダイアログボックスに戻り、選択した糸色が適用されたプレビューが表示されます。
明るさ/コントラスト	上のスライダは、明るさを調整するために使用します。スライダを右に動かすと明るくなり、左に動かすと暗くなります。下のスライダは、コントラストを調整するために使用します。スライダを右に動かすとコントラストが強くなり、左に動かすと弱くなります。 プレビューの更新 をクリックして、プレビューを確認します。
プレビューの更新	設定を変更した後に、このボタンをクリックすると、プレビューが更新されます。

6. フォトステッチ 2 の設定ダイアログボックスのプレビューの更新をクリックします。

→ プレビューが更新されます。

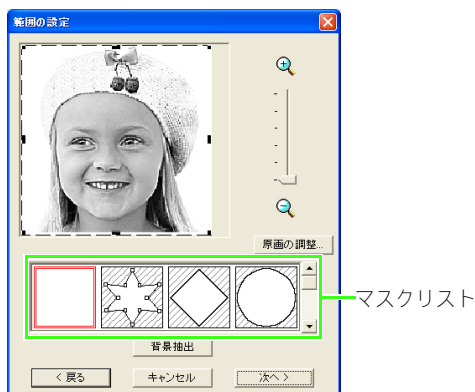


7. 完了をクリックします。

→ 作成された刺しゅうデータが、デザインページに表示されます。

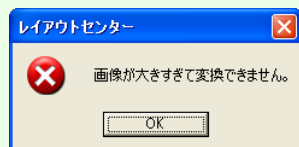
■ フォトステッチ 2 (モノクロ) を選択した場合

→ 次のような**範囲の設定**ダイアログボックスが表示されます。



💡 注意:

画像の幅または高さのどちらか一方が 500mm を超えた場合、次のメッセージが表示されます。このようなときは、画像のサイズを調整してください。



1. ダイアログボックスの下のマスクリストから、画像をトリミングする形状 (マスク) を選択しクリックします。

2. プレビュー領域で、マスクの形状と位置を調整します。マスクのハンドルを移動して、刺しゅうデータに変換する画像部分を囲みます。

このダイアログボックスでの設定については、P.85 を参照してください。

3. **範囲の設定**ダイアログボックスの次へをクリックします。

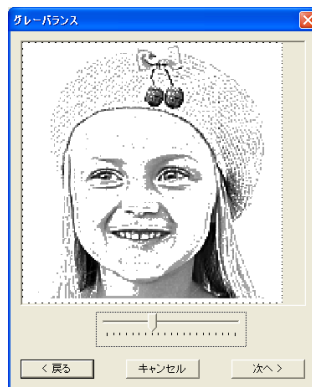
→ 次のような**グレイバランス**ダイアログボックスが表示されます。



📖 メモ:

刺しゅうデータが作成されない部分は、X マークで埋められます。

4. スライダーを操作して、どの部分を刺しゅうデータにするか設定します。



📖 メモ:

- 黒く残っている部分に刺しゅうデータが作成されます。
- **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

5. グレーバランスダイアログボックスの次へをクリックします。

→ **フォトステッチ2の設定**ダイアログボックスが表示されます。




6. 刺しゅうデータ作成のための設定を行います。

メモ:

- **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

縫い方設定

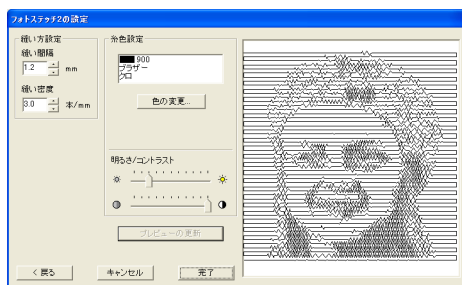
縫い間隔	刺しゅうデータを作成する平行線の間隔を設定します。 範囲：1.2～5.0mm 標準：2.0mm 
縫い密度	サテン縫いで縫製する刺しゅうデータの領域の最大密度を設定します。刺しゅうデータは、ここで設定した密度より細かい密度で作成されます。 範囲：2.5～5.0本/mm 標準：3.0本/mm

糸色設定

色の変更	使用する糸色を変更したい場合は、 色の変更 ボタンをクリックして、 糸色 ダイアログボックスを開きます。また、糸リストも変更できます。色を選択して、 OK をクリックし、色の変更を確認します。
明るさ/コントラスト	上のスライダは、明るさを調整するために使用します。スライダを右に動かすと明るくなり、左に動かすと暗くなります。下のスライダは、コントラストを調整するために使用します。スライダを右に動かすとコントラストが強くなり、左に動かすと弱くなります。 プレビューの更新 をクリックして、プレビューを確認します。
プレビューの更新	設定を変更した後に、このボタンをクリックすると、プレビューが更新されます。

7. フォトステッチ 2 の設定ダイアログボックスのプレビューの更新をクリックします。

→ プレビューが更新されます。



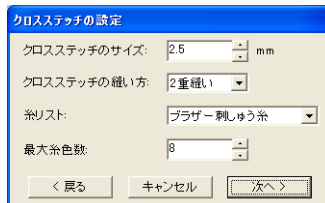
8. 完了をクリックします。

→ 作成された刺しゅうデータが、デザインページに表示されます。

原画をクロスステッチの刺しゅうデータに自動変換する (クロスステッチ)

■ クロスステッチを選択した場合

→ **クロスステッチの設定**ダイアログボックスが表示されます。



1. 刺しゅうデータ作成のための設定を行います。

メモ:

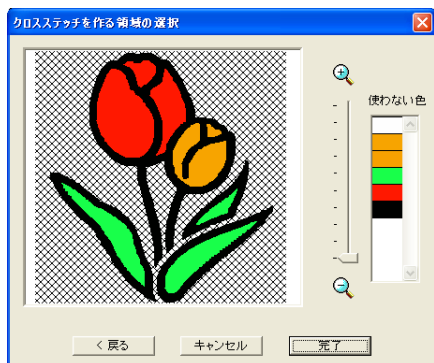
- **戻る**をクリックすると、1つ前のダイアログボックスに戻ります。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

クロスステッチのサイズ	格子の縦横のサイズを設定します。 範囲：1.5～5.0mm 標準：2.5mm
クロスステッチの縫い方	縫い回数を設定します。 範囲：2重縫い、4重縫い、6重縫い 標準：2重縫い

糸リスト	糸色を選択する際の、糸リストを選択します。選択した糸リストから最適な糸色が選択されます。ユーザー糸リストも選択できます。
最大糸色数	作成するデータに使用する色数を設定します。 設定された色数内で刺しゅうデータを作成します。 範囲：2～50 標準：8

2. 次へをクリックします。

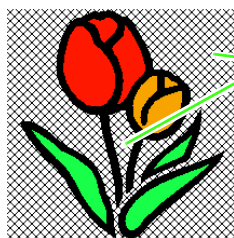
→ 次のようなクロスステッチを作る領域の選択ダイアログボックスが表示されます。



3. 縫う領域を決定します。ダイアログボックスの画像の部分をクリックし、その部分を縫うかどうかを選択します。

メモ：

- 縫製しない部分は X マークで埋められます。



- ズームスライダを と の間で動かすと、画像の表示倍率を調整できます。
- **戻る** をクリックすると、1 つ前のダイアログボックスに戻ります。

4. 必要に応じて、使わない色リストから、色をクリックし、色単位での面縫いのオン/オフを選択します。



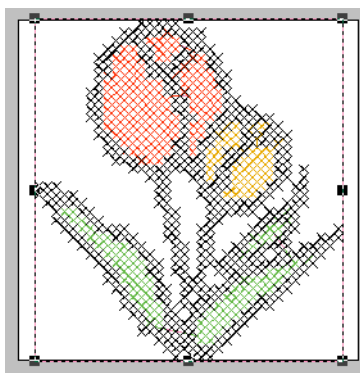
メモ：

X マークが付いた色は、その色のすべての領域の面縫いがオフ (縫わない) に設定されていることを示しています。

5. 必要な設定を選択したら、完了をクリックします。

→ 作成されたクロスステッチデータが、デザインページに表示されます。

下の画面は、下絵の表示設定を**表示しない**に設定してあります。




■ デザインセンターを選択した場合


→ デザインセンターが起動し、画像が取り込まれたデザインページが表示されます。詳しくは、P.195 の「刺しゅうデータの原画からの作成 (デザインセンター)」を参照してください。

刺しゅうデータを編集する（レイアウトセンター）

刺しゅうデータを開く / 取り込む

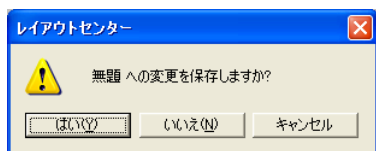
新規デザインページを作成する

ツールバーボタン： 

1.  をクリックするか、メニューバーの **ファイル**→**新規作成** をクリックします。

→ デザインページが保存済み、または作業中のデータがない場合は、直ちに空白の新規デザインページが表示されます。

→ 現在のデザインページが保存されていない場合は、変更を保存するかどうかを尋ねられます。



メモ：

- デザインページを保存する場合は、**はい** をクリックします。
- デザインページを保存しない場合は、**いいえ** をクリックします。
- デザインページに戻って、変更したり、別の名前を付けて保存する場合は、**キャンセル** をクリックします。


2. デザインページを設定します。


メモ：

詳しくは、P.100 の「デザインページのサイズと色を設定する」を参照してください。

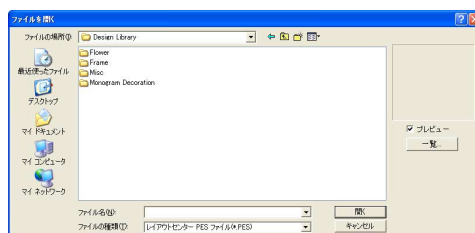
レイアウトセンターファイルを開く

以前に保存したレイアウトセンターのファイル (.pes ファイル) を開きます。

ツールバーボタン： 

1. ツールバーの  か、メニューバーの **ファイル**→**開く** をクリックします。

→ 次のような **ファイルを開く** ダイアログボックスが表示されます。



2. ドライブ、フォルダを選択します。

メモ：

- **プレビュー** チェックボックスがチェックされていると、選択したファイルの内容が **プレビュー** 領域に表示されます。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。

注意：

- 必ず .pes ファイルの入っているフォルダを選択してください。
- デザインページからはみ出た刺しゅうデータや、針数や色数がデザインページの制限を越えた刺しゅうデータの .pes ファイルは、プレビューは表示されません。

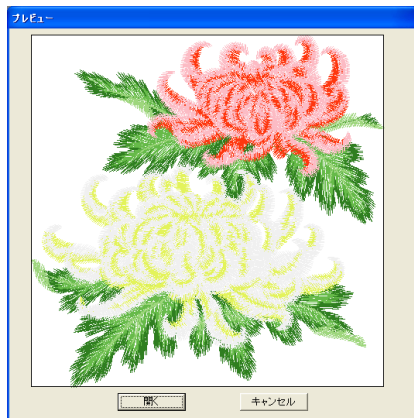
3. フォルダ内の .pes ファイルをアイコンで確認する場合は、**一覧**をクリックします。

→ 次のような**一覧**ダイアログボックスが表示されます。



メモ：

- **ファイルを開く**ダイアログボックスに戻るときは、**キャンセル**をクリックします。
- 刺しゅうデータの詳細を見るには、ファイルを選択して**データ確認**をクリックします。次のような**プレビュー**ダイアログボックスが表示されます。



- 表示されているファイルを開くときは、**開く**をクリックします。
- **一覧**ダイアログボックスに戻るときは、**キャンセル**をクリックします。

注意：

デザインページからはみ出た刺しゅうデータや、針数や色数がデザインページの制限を越えた刺しゅうデータの .pes ファイルは、プレビューは表示されません。

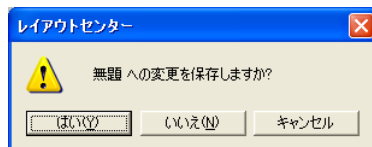
4. **開く**をクリックするか、アイコンをダブルクリックしてファイルを開きます。

→ デザインページのデータが保存済み、または作業中のデータがない場合は、選択されたファイルがデザインページに表示されます。

メモ：

エクスプローラに表示された刺しゅうデータのアイコンを、レイアウトセンターの画面にドラッグして開くこともできます。

→ 現在のデザインページのデータが保存されていない場合は、変更を保存するかどうかを尋ねられます。



メモ：


- デザインページのデータを保存する場合は、**はい**をクリックします。
- デザインページのデータを保存しない場合は、**いいえ**をクリックします。
- デザインページに戻って、変更したり、別の名前を付けて保存する場合は、**キャンセル**をクリックします。


P.180 の「保存する」

ファイルから刺しゅうデータを取り込む

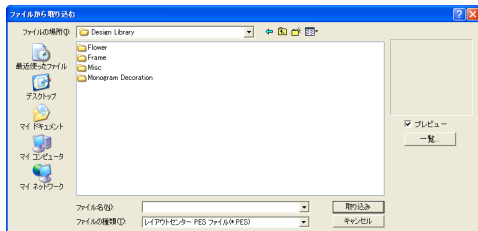
刺しゅうPRO Ver.4以前で刺しゅうカードから読み込んだファイル (.pec)、タジマ (.dst)、メルコ (.exp)、パフ (.pcs)、ハスクバーナ (hus, .vip, .shv)、ジャンメ (.jef, .sew)、シンガー (.csd, .xxx) の各形式で作成されたファイル、および、ブラザー刺しゅうミシンで作成されたファイル (.phc) を取り込み、それを作業中のデザインページに加えます。

また、.pes ファイルを追加して、このアプリケーションで作成した複数のファイルを組み合わせることもできます。

ツールバーボタン： 

1.  をクリックするか、メニューバーの **ファイル→データ取り込み→ファイルから** をクリックします。

→ 次のような **ファイルから取り込む** ダイアログボックスが表示されます。



注意：

必ず**ファイルの種類**のリストボックスからファイル形式を選択してください。

2. ドライブ、フォルダを選択します。



メモ：

- **プレビュー**チェックボックスがチェックされていると、選択したファイルの内容が**プレビュー**領域に表示されます。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

3. フォルダ内のファイルをアイコンで確認する場合は、**一覧**をクリックします。

→ 次のような**一覧**ダイアログボックスが表示されます。



メモ：

- フォルダの内容を見やすくするために、**一覧**ダイアログボックスの大きさを変更することができます。**一覧**ダイアログボックスの大きさは、変更するまで維持されます。
- **ファイルから取り込む**ダイアログボックスに戻るときは、**キャンセル**をクリックします。
- **データ確認**をクリックすると、詳細なイメージを見ることができます。次のような**プレビュー**ダイアログボックスが表示されます。



- 表示されているファイルを取り込むときは、**取り込み**をクリックします。
- **一覧**ダイアログボックスに戻るときは、**キャンセル**をクリックします。
- エクスプローラに表示された1つまたは複数の刺しゅうデータのアイコンを、**(Ctrl)**キーを押しながらレイアウトセンターの画面にドラッグして取り込むこともできます。

4. 取り込みをクリックするか、アイコンをダブルクリックしてファイルを取り込みます。

→ 刺しゅうデータがデザインページに表示されます。

注意：

- 他社の市販データから刺しゅうデータを取り込むときは、サイズがデザインページに合っているかを確認してください。
- .dst、.exp、.pcs、.hus、.vip、.shv、.jef、.sew、.csd、.xxx、.phc ファイルから取り込んだデータは、糸色がわずかに変化することがあります。このような場合は、メニューバーの**縫い方→縫い順 / 糸色**を選択して、糸色を変更してください。

メモ：

- .pec ファイルを取り込むときに、**取り込みサイズ**ダイアログボックスが表示される場合があります。そのときは、取り込みサイズを選択し、**OK**をクリックします。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

刺しゅうカードから刺しゅうデータを取り込む

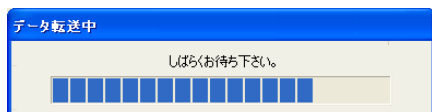
カードライターに挿入された刺しゅうカードから、刺しゅうデータをデザインページに取り込みます。

注意：

著作権法上、この機能は使用できない刺しゅうカードがあります。

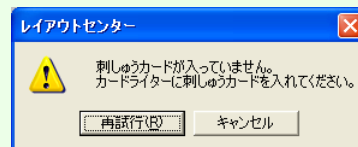
1. メニューバーの**ファイル→データ取り込み→カードから**をクリックします。

→ カードライターを接続し、刺しゅうカードを挿入しているときは、次のようなメッセージが表示され、刺しゅうデータを刺しゅうカードから読み込みます。



注意：

カードライターが接続されていて、刺しゅうカードを挿入していないときは、次のメッセージが表示されます。



- 刺しゅうカードを挿入し、**再試行**をクリックします。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

2. カードの読み込みが終了すると、次のようなダイアログボックスが表示されます。



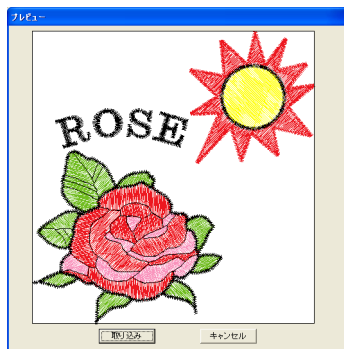
メモ：

内容を見やすくするために、ダイアログボックスの大きさを変えることができます。ダイアログボックスのサイズは、次に変更するまで現在の設定が保持されます。

3. 刺しゅうデータをクリックして、選択します。

メモ：

- **データ確認**をクリックすると、詳細なイメージを見ることができます。次のような**プレビュー**ダイアログボックスが表示されます。



- 表示されている刺しゅうデータを取り込むときは、**取り込み**をクリックします。
- **データ取り込み**ダイアログボックスに戻るときは、**キャンセル**をクリックします。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

4. **取り込み**をクリックするか、刺しゅうデータをダブルクリックして取り込みます。

メモ：

刺しゅうカードから刺しゅうデータを取り込むときに、**取り込みサイズ**ダイアログボックスが表示される場合があります。そのときは、取り込みサイズを選択して、**OK**をクリックすると、刺しゅうデータが取り込まれます。

デザインセンターから刺しゅうデータを取り込む

デザインセンターの刺しゅうデータを、直接デザインページに取り込みます。

ツールバーボタン：

1. デザインセンターを起動し、レイアウトセンターに取り込みたいファイルを開きます。

2. をクリックするか、メニューバーの**ファイル→データ取り込み→デザインセンターから**をクリックします。

→ **取り込みサイズ**ダイアログボックスが表示されます。



3. **取り込み倍率**で倍率を入力するか、**スピン**ボタンで倍率を変更します。

注意：

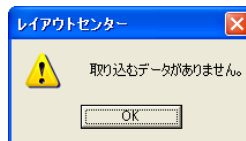
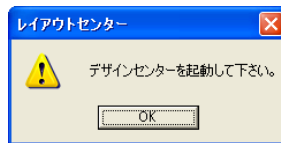
- デザインページのサイズより大きなサイズになる倍率を指定することはできません。
- 取り込み倍率は 24% 以下は設定できません。

4. **方向**で取り込む方向を選択します。

5. **取り込み**をクリックして、刺しゅうデータを取り込みます。

メモ：

- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。
- デザインセンターが起動していない、.pem ファイルが開かれていない、デザインセンターが縫い方設定ステージではない、などの場合は、次のいずれかのメッセージが表示されます。



OK をクリックして、デザインセンターを起動し、.pem ファイルを開きます。

P.195 の「刺しゅうデータの原画からの作成（デザインセンター）」

デザインページのサイズと色を設定する

デザインページの色とサイズ、および背景色を変更できます。デザインページのサイズはお使いの刺しゅう枠のサイズに合わせて選択できます。複数のパーツに分割して縫製する分割模様の刺しゅうデータ用に、カスタムサイズを設定することもできます。

1. メニューバーのオプション→デザインページの設定をクリックします。

→ **デザインページの設定** ダイアログボックスが表示されます。



2. デザインページのサイズを指定します。

デザインページサイズ セレクタで、ご使用の刺しゅう枠のサイズを選択します。必要に応じて、向き（縦/横）を選択します。

分割模様用のカスタムサイズを設定する場合は、**カスタムサイズ** を選択し、デザインページの幅と高さ（分割模様の実寸）を選択します。（設定できる範囲は、100～1000mmです。）

次に、**パーツのサイズ（使用する枠サイズ）** セレクタから分割する枠のサイズを選択します。この**パーツのサイズ**は、通常の刺しゅう枠より10mm 小さくなっています。（カスタムサイズは、大型枠用ではありません。大型枠について詳しくは、P.186の「デザインページのサイズを設定する」を参照してください。）

メモ：

- 変更結果がプレビュー領域に表示されます。
- **枠サイズ** が選択されている場合、ミシンの絵が、ミシン上のデザインページ（枠）の方向を示します。

3. デザインページセレクタでデザインページの色を選択します。

4. 背景セレクタで背景の色を選択します。

5. OK をクリックします。

メモ：

- 標準設定（100 × 100mm）に戻すには、**標準** をクリックします。
- カスタムサイズのデザインページで作成した刺しゅうデータは、保存またはオリジナルカードに書き込む前に、自動的に走り縫いが追加されます。縫製時に、この走り縫いの線を目安にして、枠パーツの位置合わせをすることができます。この縫い目は、**空白（未定義）** 色として表示され、編集することはできません。（詳しくは、P.193の「縫製する」を参照してください。）
- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。

注意：

- **枠サイズ** の130 × 300mmと100 × 172mmには、数字の前に「*」が付いています。これは、3ヶ所でミシンに取り付ける特殊な刺しゅう枠（大型枠）に使われる刺しゅうデータに使用します。ご使用のミシンで、大型枠を使い、大型模様の刺しゅうデータを縫製できることを確認してから選択してください。
- ご使用のミシンの最大刺しゅう縫製範囲を越えるサイズを選択しないでください。
- デザインページがカスタムサイズに設定されているデータは、バージョン7より前の .pes には保存できません。
- デザインページのサイズは1000 × 1000mmまで指定できますが、大きな画像をフォトステッチ機能で変換しようとする、「画像が大きすぎて変換できません。」というメッセージが表示されます。メッセージを閉じると、自動的に画像が選択された状態になります。画像のサイズを500 × 500mm以下に調整してください。

🔗 P.313の「レイアウトセンターで デザインページのサイズを設定する」およびP.185の「長さの単位を変更する」

メモ：

アプリケーションで使う長さの単位を、mmまたはインチから選択できます。詳しくは、P.185の「長さの単位を変更する」を参照してください。

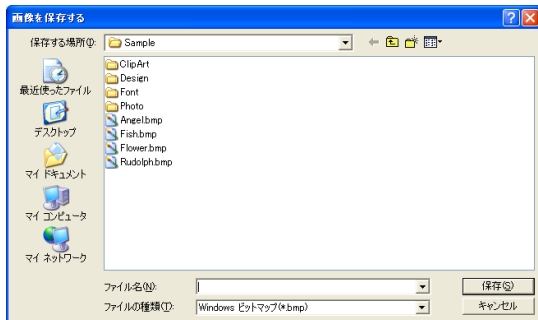
画像データを保存する

画像データをファイルとして保存するか、クリップボードに出力します。

■ ファイルとして保存する

1. メニューバーの**画像→出力→ファイル**をクリックします。

→ 次のようなダイアログボックスが表示されます。



2. ドライブ、フォルダ、保存したいファイルの種類を選択します。
3. ファイル名を入力します。

📖 メモ：

- 拡張子は自動的に付けられます。
- 画像データは、Windows ビットマップ (*.bmp) または JPEG (*.jpg) のどちらかで保存できます。

4. **保存**をクリックして、データを保存します。

📖 メモ：

操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

■ クリップボードに出力する

1. メニューバーの**画像→出力→クリップボード**をクリックします。

→ デザインページの画像データがクリップボードにコピーされます。

刺しゅうデータを編集する

刺しゅうデータを選択する

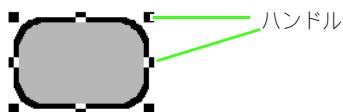
既存の刺しゅうデータに変更を加えるには、まずその刺しゅうデータを選択します。選択ツールは、1個または複数の刺しゅうデータを選択するときに使います。選択した刺しゅうデータは、移動、拡大・縮小、回転または反転などの変更をすることができます。

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. 選択したい刺しゅうデータをクリックします。

→ 刺しゅうデータの周りにハンドルが表示されます。



メモ：


- ステータスバーに、刺しゅうデータのサイズ（幅と高さ）が表示されます。
- 刺しゅうデータの選択を解除するには、他の刺しゅうデータを選択するか、刺しゅうデータが無い部分をクリックするか、ツールボックスのズームツール以外の別のボタンをクリックします。

3. 複数の刺しゅうデータを選択するには、**Ctrl** キーを押しながら刺しゅうデータをクリックします。

メモ：

- 選択したい刺しゅうデータを囲むようにカーソルをドラッグしても選択できます。カーソルをドラッグすると、点線の長方形が表示されます。マウスボタンを離すと、その長方形と重なるすべての刺しゅうデータが選択されます。
- 選択したくない刺しゅうデータまで選択してしまったときは、刺しゅうデータの無い部分をクリックしてすべての選択を解除し、選択し直します。

■ 刺しゅうデータを入力順で選択する


 が選択されているときに、**Tab** キーを押すと、入力順で刺しゅうデータを選択できます。**Shift** キーを押しながら **Tab** キーを押すと、入力順の逆順で刺しゅうデータが選択されます。

Tab キー（または、**Shift** と **Tab** キー）を押した場合に：

- 刺しゅうデータが何も選択されていないときは、最初（または最後）に入力した刺しゅうデータが選択されます。
- 複数の刺しゅうデータが選択されているときは、その中で一番最初（または一番最後）に入力した刺しゅうデータが選択されます。
- 最後（または最初）に入力した刺しゅうデータが選択されているときは、最初（または最後）の刺しゅうデータが選択されます。


■ すべての刺しゅうデータを選択する

デザインページのすべての刺しゅうデータを一度に選択することができます。

1. ツールボックスの  をクリックします。
2. メニューバーの **編集** → **すべて選択** をクリックします。

刺しゅうデータを移動する

1. 選択した刺しゅうデータ上にカーソルを移動します。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. ドラッグして、移動します。

📖 メモ：

- **Shift** キーを押しながらドラッグすると、刺しゅうデータは水平方向または垂直方向に移動します。
- 矢印キーを押すと、選択した刺しゅうデータを矢印キーの方向に 0.5mm ずつ移動できます。矢印キーを押し続けると、矢印キーの方向に刺しゅうデータが移動し続けます。
- **グリッドに固定** が設定されているときは、矢印キーを押すと矢印の方向に1グリッドずつ移動できます。
- 図形データ上に配列された文字を線に沿って移動するとき、矢印キーでは移動できません。

■ 刺しゅうデータを中央へ移動する

選択された刺しゅうデータを簡単にデザインページの中央へ移動できます。

1. 1つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。
2. メニューバーの**編集→中央へ移動**をクリックします。

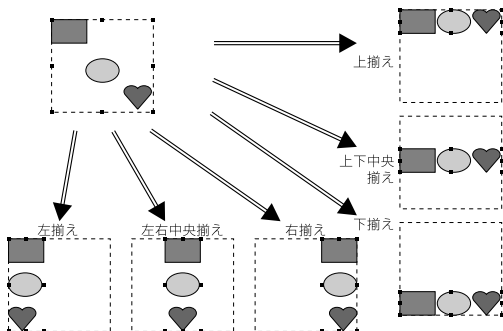
→ 選択された刺しゅうデータ全体がデザインページの中央へ移動します。

■ 刺しゅうデータを配列する

選択された刺しゅうデータを指定する方法で揃えます。

1. 配列する複数の刺しゅうデータを選択します。
2. メニューバーの**編集→整列**をクリックし、**左揃え**、**左右中央揃え**、**右揃え**、**上揃え**、**上下中央揃え**、**下揃え**のいずれかを選択します。

→ 選択された刺しゅうデータは、次のように整列します。

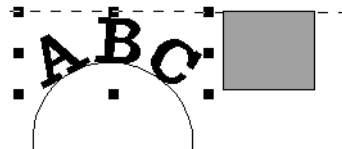


📖 メモ：

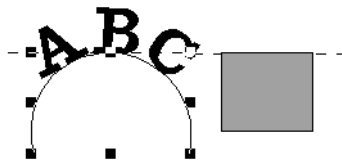
整列方法を選択し直したいときは、メニューバーの**編集→元に戻す**をクリックし、**2.**の操作を繰り返します。

図形データ上の文字列

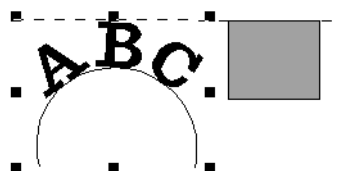
図形データ上に配列された文字データの選択の仕方は次の3通りがあります。選択された刺しゅうデータの外形を基準にして整列します。



1. 文字データが選択されている



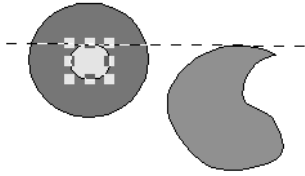
2. 図形データが選択されている



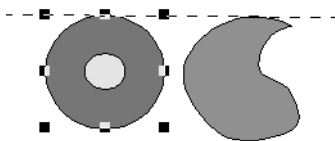
3. 文字データと図形データが共に選択されている

ドーナツ縫いが設定されている刺しゅうデータ

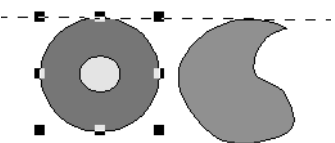
内側の刺しゅうデータのみ選択されている場合は内側の刺しゅうデータの外形を基準にします。外側の刺しゅうデータも共に選択されている場合は外側の刺しゅうデータの外形を基準にして、配列します。



1. 内側の刺しゅうデータが選択されている



2. 外側の刺しゅうデータが選択されている



3. 内側と外側の刺しゅうデータが共に選択されている

刺しゅうデータを拡大・縮小する

■ 拡大・縮小する

1. サイズを変更したい刺しゅうデータを選択します。
2. 選択した刺しゅうデータのハンドル上にカーソルを移動します。

→ 接しているハンドルによって、カーソルの形が、、、 または に変わります。

📖 メモ：

- は、幅を拡大・縮小します。
- は、高さを拡大・縮小します。
- と は、幅と高さを同時に拡大、縮小します。（幅と高さの比率は保たれます。）
- **(Shift)** キーを押しながらハンドルをドラッグすると、刺しゅうデータの中心から拡大・縮小されます。

3. ハンドルをドラッグして、刺しゅうデータのサイズを調整します。

📖 メモ：

- ハンドルをドラッグするとき、ステータスバーでサイズが確認できます。
- より正確なサイズ変更をする場合は、メニューバーの **編集** → **数値設定** → **サイズ** をクリックします。

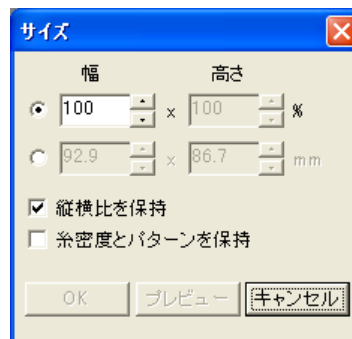
💡 注意：

- スタンプは、設定された面が拡大・縮小されても、パターンの大きさ・位置は変わりません。スタンプが設定された刺しゅうデータのサイズを変更するときは、変更後にスタンプの位置などを確認してください。
- 刺しゅうカードから読み込んだ刺しゅうデータには、拡大・縮小できないものがありますのでご注意ください。
- ステッチデータをそのまま拡大・縮小すると、針数は変わらないので刺しゅう品質が落ちることがあります。**(Ctrl)** キーを押しながら拡大・縮小の操作を行うと、刺しゅうの品質が保持できます。

■ サイズを指定して拡大・縮小する

1. サイズを変更したい刺しゅうデータを選択します。
2. メニューバーの **編集** → **数値設定** → **サイズ** をクリックします。

→ **サイズ** ダイアログボックスが表示されます。



3. 縦横比を固定して幅と高さを変更する場合は、**縦横比を保持** チェックボックスをチェックします。

- 指定のしかたを選びます。比率 (%) またはサイズ (mm またはインチ) のどちらかのラジオボタンをクリックします。
- 幅と高さの数値を入力するか、スピンボタンで値を変更します。

📖 メモ：

- **100%** を選択すると、サイズは変更されません。
- **縦横比を保持** チェックボックスを選択すると、幅と高さの比が固定され、一方の数値を変更するともう一方も自動的に変更されます。

- 糸密度やタタミ縫いの品質を維持したまま刺しゅうデータのサイズを変更したいときは、**糸密度とパターンを保持**をチェックします。

📖 メモ：



糸密度とパターンを保持はステッチデータが選択されているときのみチェックできます。

- OK をクリックします。

📖 メモ：

- **プレビュー** をクリックすると、変更後のサイズをデザインページ上で確認できます。
- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。

刺しゅうデータを上下または左右に反転する



- 上下または左右に反転したい刺しゅうデータを選択します。
- 刺しゅうデータを上下に反転するには、**編集→反転→上下** をクリックするか、ツールバーの  をクリックします。
刺しゅうデータを左右に反転するには、**編集→反転→左右** をクリックするか、ツールバーの  をクリックします。

💡 注意：

刺しゅうカードから読み込んだ刺しゅうデータには、反転できないものがありますのでご注意ください。

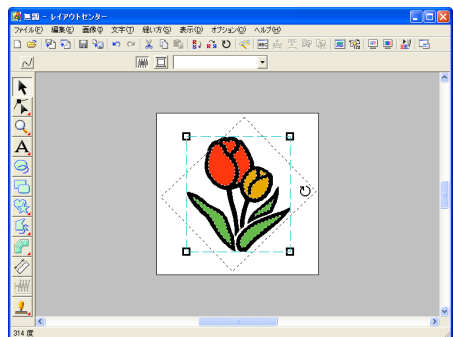
刺しゅうデータを回転する

■ 回転する

- 回転したい刺しゅうデータをクリックします。
- メニューバーの**編集→回転**をクリックするか、ツールバーの  をクリックします。
→ 選択した刺しゅうデータの四隅のハンドルが、白い四角に変わります。
- カーソルをハンドルの1つに移動します。
→ カーソルの形が  に変わります。
- ハンドルをドラッグすると、1度単位で回転します。

📖 メモ：

Shift キーを押しながらドラッグすると、15度単位で回転します。




■ 角度を指定して回転する

1. 角度を指定して回転したい刺しゅうデータをクリックします。
2. メニューバーの**編集**→**数値設定**→**回転**をクリックします。
→ **回転**ダイアログボックスが表示されます。



3. 回転角度の数値を入力するか、スピンドットで値を変更します。

📖 メモ：

- 赤い矢印をドラッグしても指定できます。カーソルを赤い矢印上に移動すると、形が  に変わります。
- **0度**を選択すると、回転しません。

4. OK をクリックします。

📖 メモ：

- **プレビュー**をクリックすると、変更後の刺しゅうデータの角度をデザインページ上で確認できます。
- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

💡 注意：

入力可能な数値の範囲は、0～359度までで、1度単位で入力できます。

刺しゅうデータをグループ化する

複数の刺しゅうデータをグループ化して1つの刺しゅうデータにします。グループ化された刺しゅうデータは、編集する際に1つの刺しゅうデータとして処理されます。また、個別に編集することもできます。

1. 複数の刺しゅうデータを選択します。
2. メニューバーの**編集**→**グループ化**をクリックします。

→ 選択した刺しゅうデータがグループ化されます。

📖 メモ：

- 図形データ（直線や曲線など）とそれに配列されている文字のいずれかが選択されている場合は、その両方がグループ化されます。
- ドーナツ縫いが設定されている刺しゅうデータの一部分が選択されている場合は、ドーナツ縫い設定がされているすべての刺しゅうデータがグループ化されます。
- グループ化を解除するときは、グループを選択し、ツールバーの**編集**→**グループ化解除**をクリックします。

■ グループ化された刺しゅうデータを個別に編集する

刺しゅうデータをグループ化した後も個別に編集ができます。

1. グループ内の個別の刺しゅうデータを選択するには、**(Alt)**キーを押しながら刺しゅうデータをクリックします。グループ内の複数の個別データを選択する場合は、**(Alt)**キーと**(Ctrl)**キーを押しながら刺しゅうデータをクリックします。

📖 メモ：

グループ化された刺しゅうデータ全体またはグループ内の個別データを選択すると、周りに水色の枠が表示され、グループ化された刺しゅうデータであることが示されます。


2. 刺しゅうデータを編集します。

📖 メモ：


グループ内の刺しゅうデータを削除してグループを構成する刺しゅうデータが1つになると、グループ化は解除されます。


刺しゅうデータを変形する

ポイントを選択する

1. ツールボックスの  をクリックします。

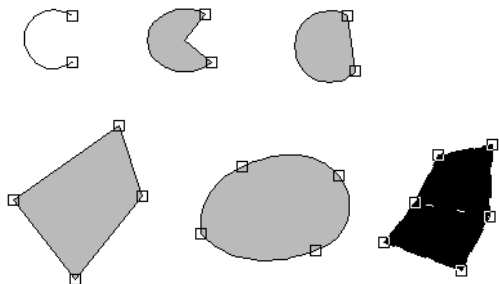
→ 2つのボタン  が表示されます。

2.  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

3. 編集したい刺しゅうデータをクリックします。

→ 刺しゅうデータの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。



メモ：

直線、曲線、円弧、扇形、円弧と弦、マニュアルパンチングデータやステッチデータを選択できます。

4. 選択したいポイントをクリックします。

複数のポイントを選択するには、**Ctrl** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

Shift キーを押しながらクリックすると、先に選択したポイントと今回選択したポイントにはさまれたポイントがすべて選択されます。

Shift キーを押しながら **→** キーまたは **↓** キーを押すと、矢印キーを押すごとに終点の方向へポイントが 1 つずつ追加選択されます。

Shift キーを押しながら **←** キーまたは **↑** キーを押すと、矢印キーを押すごとに始点の方向へポイントが 1 つずつ追加選択されます。

Shift キーを押しながら反対方向の矢印キーを押すと、ポイントの選択が解除されます。


現在のポイントの選択を解除し、終点の方向にある次のポイントを選択するには、**Ctrl** キーを押しながら **→** キーまたは **↓** キーを押します。現在のポイントの選択を解除し、始点の方向にある次のポイントを選択するには、**Ctrl** キーを押しながら **←** キーまたは **↑** キーを押します。

→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。


注意：


刺しゅうデータの中にはポイントの選択ができないものもあります。

ポイントを移動する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ 2つのボタン  が表示されます。

2.  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

3. 編集したい刺しゅうデータをクリックします。

→ 刺しゅうデータの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。

メモ：

直線、曲線、円弧、扇形、円弧と弦、マニュアルパンチングデータやステッチデータを選択できます。

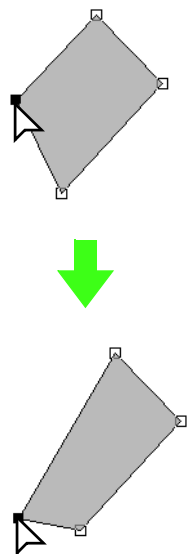
4. 移動するポイントをクリックします。

→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。

注意：

刺しゅうデータの線上でクリックすると、新しいポイントが挿入されます。

5. ポイントを移動したい場所にドラッグします。



注意：


このとき、必ず、選択したポイントをドラッグしてください。他の場所をドラッグすると、新たなポイントが挿入されたり、選択したポイントの選択が解除されます。

メモ：


- 選択されたすべてのポイントが同じ方向に移動します。
- **Shift** キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、選択したポイントを矢印キーの方向に **0.5mm** ずつ移動できます。矢印キーを押し続けると、矢印キーの方向に移動し続けます。
- **グリッドに固定** が設定されているときは、矢印キーを押すと矢印キーの方向に1グリッドずつ移動できます。
- 円弧・扇形・円弧と弦の場合、端点の移動に矢印キーを使うことはできません。
- ドーナツ縫いが設定された刺しゅうデータのポイントも移動できます。ただし、内側の刺しゅうデータのポイントを外側の刺しゅうデータを越えて外側に移動することはできません。移動したい場合は、ドーナツ縫いを解除してください。


ポイントを挿入する

刺しゅうデータの形を変更するために、新しくポイントを挿入します。曲線の新たなポイントは、ハンドルを使って接線方向を変えることもできます。

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ 2つのボタン   が表示されます。

2.  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

3. 編集したい刺しゅうデータをクリックします。

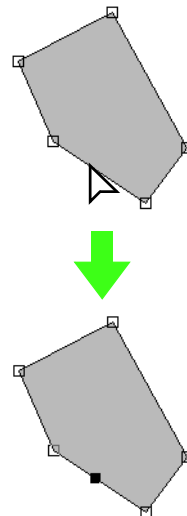
→ 刺しゅうデータの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。

メモ：

直線、曲線、マニュアルパンチングデータ、ステッチデータを選択できます。

4. ポイントを挿入したい輪郭線上をクリックします。







→ 新しいポイントが追加されます。追加されたポイントは選択された状態（小さい黒い四角）で表示されます。曲線の場合は、ハンドルも表示されます。



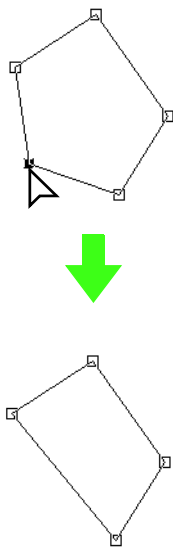
メモ：

マニュアルパンチングのブロックツールで作成された刺しゅうデータでは一対の新たなポイントが挿入されます。

ポイントを削除する

1. ツールボックスの  をクリックします。
→ 2つのボタン   が表示されます。
 2.  をクリックします。
→ カーソルの形が  に変わります。
 3. 編集したい刺しゅうデータをクリックします。
-  **メモ：**
直線、曲線、マニュアルパンチングデータ、ステッチデータを選択できます。






→ 刺しゅうデータの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。
4. 削除したいポイントをクリックします。
→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。
 5. **Delete** キーを押すか、メニューバーの **編集** → **削除** をクリックします。



メモ：

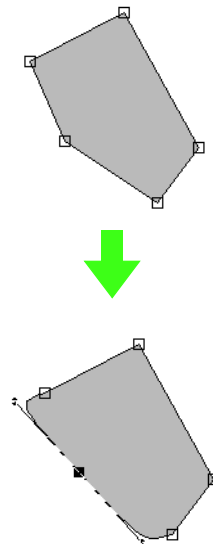
マニュアルパンチングのブロックツールで作成された刺しゅうデータでは一対のポイントが削除されます。

直線を曲線に、または曲線を直線に変える

1. ツールボックスの  をクリックします。
→ 2つのボタン   が表示されます。
2.  をクリックします。
→ カーソルの形が  に変わります。
3. 編集したい刺しゅうデータをクリックします。
→ 刺しゅうデータの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。
4. 変更したいポイントをクリックします。
→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。
5. 直線を曲線に変えるにはメニューバーの **編集** → **ポイント** → **曲線化** をクリックするか、ポイントを右クリックして、表示されたメニューから **曲線化** をクリックします。

曲線を直線に変えるにはメニューバーの **編集** → **ポイント** → **直線化** をクリックするか、ポイントを右クリックして、表示されたメニューから **直線化** をクリックします。






→ 曲線のポイントは角に、角は曲線に変わります。

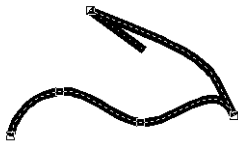


📖 メモ：

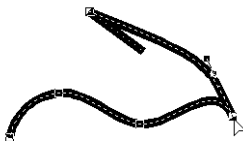
曲線上のポイントの場合、ハンドルを使って接線方向を変えることもできます。

尖った曲線の角をとる

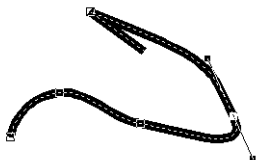
1. ツールボックスの  をクリックします。
→ 2つのボタン   が表示されます。
2.  をクリックします。
→ カーソルの形が  に変わります。
3. 編集したい刺しゅうデータをクリックします。
→ 刺しゅうデータの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。



4. 平らにしたい線のポイントをクリックします。
→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。








5. 表示されたメニューで、**編集→ポイント→スムーズ化**をクリックするか、ポイントを右クリックして表示されたメニューから**スムーズ化**を選択します。
→ 選択されたポイントの角は、曲線になります。
→ 2本の曲線ハンドルは、個別に調整できます。



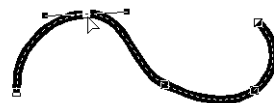
6. 曲線ハンドルをドラッグして、曲線を調整します。

曲線ハンドルを対称化する

1. ツールボックスの  をクリックします。
→ 2つのボタン   が表示されます。
2.  をクリックします。
→ カーソルの形が  に変わります。
3. 編集したい刺しゅうデータをクリックします。
→ 刺しゅうデータの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。



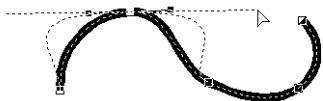
4. 曲線ハンドルを対称化したいのポイントをクリックします。
→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。




5. 表示されたメニューで、**編集→ポイント→対称化**をクリックするか、ポイントを右クリックして表示されたメニューから**対称化**を選択します。
→ 選択されたポイントの角は、曲線になります。
→ 2本の曲線ハンドルが、同じ長さになります。

6. 曲線ハンドルをドラッグして、曲線を調整します。


→ 2本の曲線ハンドルは、常に同じ長さで動きます。




曲線を尖らせる

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ 2つのボタン   が表示されます。

2.  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

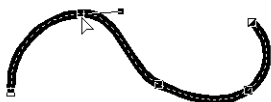
3. 編集したい刺しゅうデータをクリックします。

→ 刺しゅうデータの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。



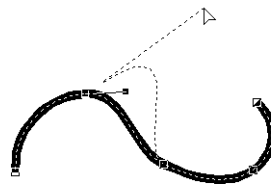
4. 曲線の尖らせたいところのポイントをクリックします。

→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。



5. 表示されたメニューで、**編集**→**ポイント**→**尖化**をクリックするか、ポイントを右クリックして表示されたメニューから**尖化**を選択します。

→ 2本の曲線ハンドルの長さや角度を、個別に調整できるようになります。




6. 曲線ハンドルをドラッグして、角度を調整します。


縫い始終点/中心点を移動する


■ 始点 / 終点を移動する

ツールボックスのツールを使って作成された刺しゅうデータの縫い始終点の位置を調整できます。

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ 2つのボタン   が表示されます。

2.  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

💡 注意：

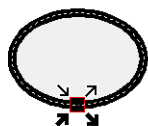
縫いの始終点が最適化されていると（メニューバーの**縫い方**→**縫い始終点の最適化**がチェックされている場合）、縫いの始終点の編集はできません。このツールで縫いの始終点を編集するときは、メニューバーの**縫い方**→**縫い始終点の最適化**を選択し、設定をオフにしてください。

3. 編集したい刺しゅうデータをクリックします。

→ 刺しゅうデータの始終点が表示されます。

メモ：

同心円縫いや放射縫いが設定されている場合は、中心点も表示されます。（中心点の移動について、詳しくは P.112 の「中心点を移動する」を参照してください。）



注意：

ステッチデータ、文字データ、マニュアルパンチングデータの始終点は編集できません。

これは、輪郭線の縫い始めの点です。前のデータからこの位置へ接続されます。

これは、輪郭線の縫い終わりの点です。この位置から次のデータへ接続されます。

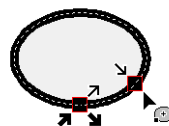
これは、面縫いの縫い始めの点です。前のデータからこの位置へ接続されます。

これは、面縫いの縫い終わりの点です。この位置から次のデータへ接続されます。

メモ：

縫い設定がオフになっている面部や線部は、その始終点は表示されません。

4. 矢印マークを移動したい場所にドラッグすると、アウトラインに沿って移動します。



注意：

- 円・円弧描画ツール、長方形描画ツール、線描画ツールで描かれた刺しゅうデータのみ縫い始終点の編集ができます。マニュアルパンチングデータや文字入力ツールを使って作成された刺しゅうデータやステッチデータは編集できません。
- メニューバーの縫い方→縫い始終点の最適化でモードをオンにすると、それまでの始終点の編集内容は破棄され、自動的に最適化されます。

■ 中心点を移動する

同心円縫いや放射縫いを設定された面縫いは、中心点を変更して装飾効果を調整できます。

1. ツールボックスの をクリックします。

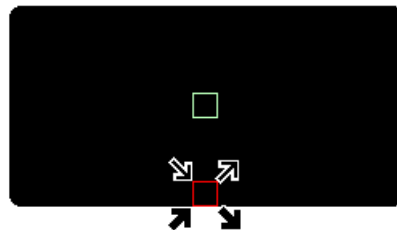
→ 2つのボタン が表示されます。

2. をクリックします。

→ カーソルの形が に変わります。

3. 編集したい同心円縫いや放射縫いに設定された面をクリックします。

→ 刺しゅうデータの中心点と縫い始終点が表示されます。



4. 中心点をドラッグして、プレビュー画面で確認しながら模様を調整します。

■ 縫い始終点を最適化する

縫い始終点の位置を自動調整して最適化します。

1. メニューバーの縫い方→縫い始終点の最適化を選択します。

チェックマークが表示され、縫い始終点の最適化が行われます。（オンに設定されます。）

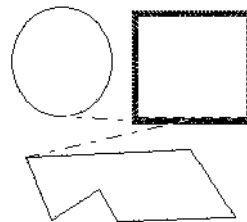
最適化をオフ設定にする場合は、もう 1 度メニューバーの縫い方→縫い始終点の最適化を選んでチェックを解除します。

→ チェックマークが縫い始終点の最適化の横に表示されている場合は、連続する同色のオブジェクトについて、縫いデータの始点、終点を最短距離で結ぶように、最適化します。

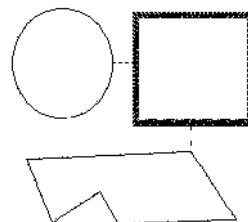
💡 注意：

- 円・円弧描画ツール、長方形描画ツール、線描画ツールで描かれた刺しゅうデータのみ縫い始終点の最適化ができます。
- メニューバーの縫い方→縫い始終点の最適化でモードをオンにすると、ポイント編集ツールで始終点の編集はできません。

→ 始終点の最適化の横にチェックマークが表示されていないときは、始終点は最適化されません。始終点の最適化をオンからオフに変更しても、設定された始終点の位置は保持されます。ただし、ポイント編集ツールで始終点を自由に編集することはできません。



縫い始終点の最適化が選択されていない



縫い始終点の最適化が選択されている

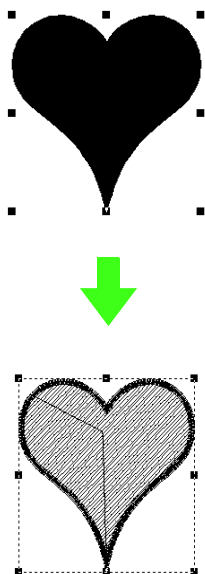
ステッチデータを編集する

刺しゅうデータをステッチデータに変換する

レイアウトセンターのツールで描かれた刺しゅうデータをステッチデータに変換し、編集を加えることができます。

1. 変換したい刺しゅうデータを選択します。
2. メニューバーの縫い方→ステッチデータに変換をクリックします。

選択されていたデータが、ステッチデータに変換されます。








→ 変換されたデータの周囲の点線は、そのデータがステッチデータであることを示します。変換されたデータは、ポイント編集ツールで針落ち点の編集ができます。

メモ：

- グループ化された刺しゅうデータ、図形データ上に配列された文字列やドーナツ縫いが設定されている刺しゅうデータは、刺しゅうデータのどこか一部が選択されると、組み合わせられているすべての刺しゅうデータがステッチデータに変換されます。
- 縫い方が設定されていない刺しゅうデータは、ステッチデータに変換すると削除されます。
- ここでの刺しゅうデータとは、図形ツール、文字ツール、マニュアルパンチングで作成されたデータを指します。

ステッチデータの針落ち点を編集する

1. ツールボックスの  をクリックします。
→ 2つのボタン   が表示されます。
2.  をクリックします。
→ カーソルの形が  に変わります。
3. 編集したいステッチデータをクリックします。
→ ステッチデータの針落ち点が白い四角で表示されます。

注意：

ステッチデータは、点線の四角で囲まれて表示されます。
点線の四角で囲まれていない場合は、そのままでは編集できません。メニューバーの縫い方→ステッチデータに変換を選択して、刺しゅうデータをステッチデータに変換します。

4. 選択したい白い四角をクリックします。
→ 選択された針落ち点は黒い四角で表示されます。

メモ：

渡り糸（データ間を結ぶステッチデータ：画面上では点線で表示されます）をクリックすると、その両端の針落ち点を選択されます。

針落ち点を複数選択するには、**Ctrl** キーを押しながら針落ち点をクリックするか、ポイントを開くようにドラッグします。

📖 メモ：

- **Shift** キーを押しながら次の針落ち点をクリックすると、先に選択した針落ち点と今回選択した針落ち点にはさまれた針落ち点がすべて選択されます。
- **Shift** キーを押しながら → キーまたは ↓ キーを押すと、矢印キーを押すごとに終点の方向へポイントが1つずつ追加選択されます。**Shift** キーを押しながら ← キーまたは ↓ キーを押すと、矢印キーを押すごとに逆の方向へポイントが1つずつ追加選択されます。**Shift** キーを押しながら反対方向の矢印キーを押すと、ポイントの選択が解除されます。
- 現在のポイントの選択を解除し、終点の方向にある次のポイントを選択するには、**Ctrl** キーを押しながら → キーまたは ↑ キーを押します。現在のポイントの選択を解除し、縫い方向の反対側にある次のポイントを選択するには、**Ctrl** キーを押しながら ← キーまたは ↑ キーを押します。
- 次の糸色ですべてのポイントを選択するには、**Tab** キーを押します。前の糸色ですべてのポイントを選択するには、**Shift** キーを押しながら **Tab** キーを押します。

→ 選択された針落ち点は小さな黒い四角で表示されます。

💡 注意：

針落ち点を選択するときは、デザインページの空白部分ではなく針落ち点（白い四角）をクリックしてください。空白部分をクリックすると、選択された針落ち点がすべて選択解除されます。

■ 針落ち点を移動する

1. 選択した針落ち点を移動したい場所にドラッグします。

📖 メモ：

- **Shift** キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、選択した針落ち点を矢印キーの方向に 0.1mm ずつ移動できます。
- **グリッドに固定**が設定されているときは、矢印キーを押すと矢印の方向に1グリッドずつ移動できます。

■ 針落ち点と渡り糸を挿入する

1. 針落ち点と針落ち点の間の線上でクリックすると、その場所に新たな針落ち点が挿入されます。

📖 メモ：

- 針落ち点を挿入して、渡り糸に変更するには、**Ctrl** と **Shift** キーを押しながら線をクリックします。






■ 針落ち点を削除する

1. **Delete** キーを押すと、選択された針落ち点が削除されます。

📖 メモ：

- 渡り糸ステッチの終点を削除した場合は、その渡り糸ステッチは削除され、その前後のステッチがつながります。

■ ステッチデータの各色の始終点を編集する

1. ツールボックスの  をクリックします。
→ 2つのボタン   が表示されます。
2.  をクリックします。
→ カーソルの形が  に変わります。
3. 編集したいステッチデータをクリックします。
→ 刺しゅうデータの針落ち点が白い四角で表示されます。
4. **Ctrl** と **Home** キーを押すと、最初の糸色の始点を選択されます。


Ctrl と **End** キーを押すと、最後の糸色の終点を選択されます。


任意の色の始点を選択するには、その色の針落ち点を選択し **Home** キーを押します。

任意の色の終点を選択するには、その色の針落ち点を選択し **End** キーを押します。

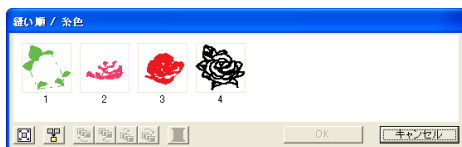
ステッチデータの糸色を変更する

取り込まれたステッチデータ、文字データや図形データなどから変換されたステッチデータの色は、次のように変更できます。


ツールバーボタン： 

1.  をクリックするか、メニューバーの **縫い方**→**縫い順/糸色** をクリックします。

→ 色単位でコマ分けされた **縫い順/糸色** ダイアログボックスが表示されます。



2. 糸色を変更したいコマを選択し、クリックします。

3.  をクリックします。

→ **糸色** ダイアログボックスが表示されます。



4. 設定したい色をクリックし、**OK** をクリックします。

→ デザインページと **縫い順/糸色** ダイアログボックスに、刺しゅうデータが新しい色で表示されます。

5. 2. から 4. を、変更したい色ごとに繰り返します。

6. **OK** をクリックします。

→ 刺しゅうデータが新しい色で表示されま
す。

メモ：

変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。

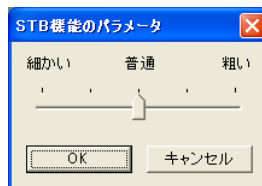
ステッチデータをブロックに変換する（STB 機能）

取り込まれたステッチデータや、文字データや図形データなどから変換されたステッチデータを、STB (Stitch to Block) 機能でブロック（マニュアルパンチングデータ）に変換すると、縫い方の設定を変更したり拡大・縮小したりしても、刺しゅう品質を保持できるようになります。

1. 設定したいステッチデータを選択します。

2. メニューバーの **縫い方**→**STB機能** をクリックします。

→ **STB機能のパラメータ** ダイアログボックスが表示されます。



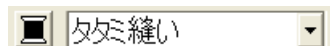
3. スライダをドラッグして、感度を調整します。

メモ：

通常は**普通**に設定します。ステッチデータの複雑さにより、必要に応じて**粗い**または**細かい**を設定します。

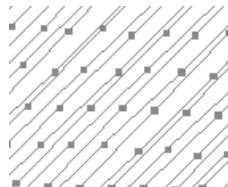
4. **OK** をクリックします。

→ ブロックのデータはグループ化され、設定を変更するとグループ全体に適用されま
す。縫い方バーは、次のように表示されま
す。

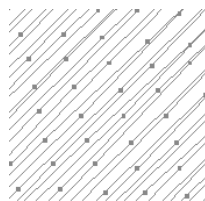


📖 メモ：

- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。
- 刺しゅうデータ内で同一色のブロックの色糸や縫い方を一括変更できます。**(Alt)** キーを押しながら、糸色や縫い方変更したいブロックを選択します。(または、メニューバーの**編集→グループ化解除**を選んで、グループ化を一旦解除して選択することもできます。)ズームツールで刺しゅうデータを拡大すると、簡単に色を選択できます。目的のブロックをすべて選択すると、ブロックの色と縫い方が縫い方設定バーに表示されます。
- 選択カーソルでブロックを拡大または縮小すると、糸密度とパターンが維持されるので元の縫製品質が維持できます。



STB 機能なし



STB 機能あり

💡 注意：

- 刺しゅうカードから取り込んだステッチデータには、**STB 機能**を使えないものがあります。
- **STB 機能**を設定してから拡大・縮小すると、一部のタタミ縫いが失われることがあります。**STB 機能**を使わずにステッチデータに対して**(Ctrl)** キーを押しながら拡大・縮小するか、メニューバーの**編集→数値設定→サイズ**を選択し、糸密度とパターンを保持チェックボックスをチェックしてサイズを変更することをお勧めします。

📖 メモ：

- 選択された各色のブロックは個別に移動または拡大・縮小することができます。グループ化を解除した刺しゅうデータ全体を一度に移動したいときは、必ず、メニューバーの**編集→グループ化**を選択して各色の刺しゅうデータをグループ化してください。
- **ポイント編集ツール**で編集できます。

👁️ P.152の「縫い方の詳細設定をする」、P.104の「刺しゅうデータを拡大・縮小する」、およびP.107の「ポイントを選択する」

ステッチデータの一部を切り取る


ステッチ分割ツールを使って切り取りたい部分の囲み、ステッチデータの一部を切り取ることができます。切り取った部分を削除したり、移動して配置し直したり、他の刺しゅうデータと組み合わせたりできます。

📖 メモ：

この機能は、ステッチデータにのみ使うことができます。文字データ、図形データ、マニュアルパンチングデータには使えません。


💡 注意：

レイアウトセンターの描画ツールや文字入力ツールを使って作成された刺しゅうデータは、ステッチデータに変換すると、ステッチ分割機能を使うことができます。

1. ツールボックスの  をクリックします。
2. 切り取りたいステッチデータをクリックします。

📖 メモ：

または、ステッチデータを選択してから、ステッチ分割ツールをクリックします。

→ 選択したステッチデータ以外のデータは画面から消去され、カーソルの形が  に変わります。

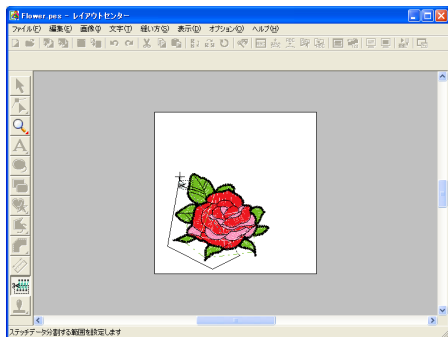
3. 切り取り部分の始点をクリックします。

📖 メモ：

ツールボックス内で使えるツールは、ズームツールのみになります。拡大表示は可能です。

4. クリックして次の角（ポイント）を指定します。

→ カーソルを動かすと切り取り線が点線が表示され、角（ポイント）をクリック（入力）すると実線に変わります。

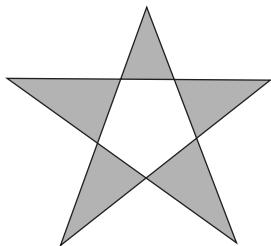


💡 注意：

- 切り取る部分を指定できるのは、1回の操作で1箇所だけです。切り取る部分の数だけ、この手順を繰り返してください。
- 切り取るごとにその部分の縫い順は、最後へ送られます。切り取り部分内の糸色の縫い順は、元の刺しゅうデータの糸色の縫い順が保持されます。

📖 メモ：

- マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。右クリックするごとに、入力した逆の順序で1つつポイントが削除できます。
- ステッチデータを囲んでいない切り取り線は無効になります。この場合、エラーメッセージが表示され、切り取り線は削除されます。
- 複雑な形状の切り取り線では、同じ面部分が重複して囲まれるごとに選択、選択解除が繰り返されます。例えば次の星型の場合、中央部分は2回囲まれるので、角だけが選択され内側の面部は選択されません。



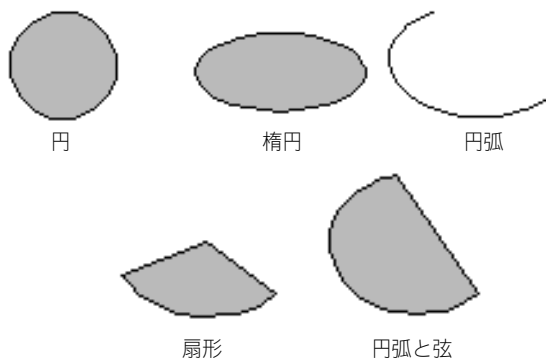
5. 切り取り部分の多角形ができれば、ダブルクリックします。

6. 切り取った部分を編集します。

図形を描く

円・円弧描画ツールでは、真円、楕円、円弧、扇形、円弧と弦などを描画できます。

円・円弧について





円弧以外のデータにはすべて、輪郭線と面部があり、それぞれに縫い方を設定できます。円弧は輪郭線のみとなります。

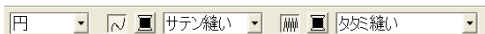
注意：

このツールで図形を描く場合は、形を選択してから描画します。たとえば、円を描いてから、それを円弧に変えることはできません。円弧の種類セレクタは、設定を変更するまで、現在の設定が保持されます。

円または楕円を描く

1. ツールボックスの  をクリックします。

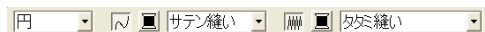
→カーソルの形が  に変わり、縫い方バーが次のように表示されます。



メモ：

- 図形を描く前と後に、糸色と縫い方の種類を変更できます。これらの設定を変更する方法については、P.150の「糸色」とP.151の「縫い方の種類」を参照してください。
- その他の設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。（詳しくは、P.152の「縫い方の詳細設定をする」を参照してください。）縫い方の設定は変更しないかぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定は、いつでも変更できます。

2. **円弧の種類**セレクタをクリックし、**円**を選択します。




3. カーソルをドラッグします。


→ドラッグした始点と終点を結ぶ線を対角線とした長方形に内接する楕円が作成されます。（長い方の辺は、楕円の長い方の直径になり、短い方の辺は、楕円の短い方の直径になります。）

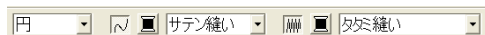
メモ：

Shift キーを押しながらカーソルをドラッグすると、真円が描けます。

円弧を描く

1. ツールボックスの  をクリックします。

→カーソルの形が  に変わり、縫い方バーが次のように表示されます。



メモ：

- 図形を描く前と後に、糸色と縫い方の種類を変更できます。これらの設定を変更する方法については、P.150の「糸色」とP.151の「縫い方の種類」を参照してください。
- その他の設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。（詳しくは、P.152の「縫い方の詳細設定をする」を参照してください。）縫い方の設定は変更しないかぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定は、いつでも変更できます。

2. **円弧の種類**セレクタをクリックし、**円弧**を選択します。



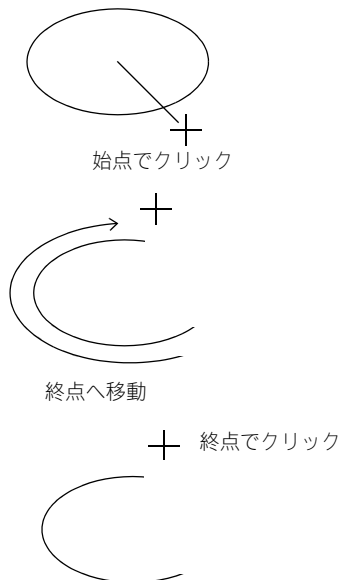
3. 「円または楕円を描く」と同様の方法で円を描きます。

→マウスボタンを離すと円上に放射状の線が表示されます。


4. 弧の始点にカーソルを移動し、クリックします。


→ 放射状の線が消えます。

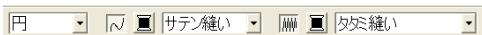
5. 円弧の終点にカーソルを移動し、クリックします。



扇形を描く

1. ツールボックスの  をクリックします。

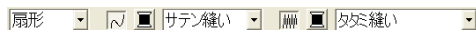
→ カーソルの形が  に変わり、縫い方が次のように表示されます。



メモ:

- 図形を描く前と後に、糸色と縫い方の種類を変更できます。これらの設定を変更する方法については、P.150 の「糸色」と P.151 の「縫い方の種類」を参照してください。
- その他の設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。（詳しくは、P.152 の「縫い方の詳細設定をする」を参照してください。）縫い方の設定は変更しないかぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定は、いつでも変更できます。

2. **円弧の種類**セクタをクリックし、**扇形**を選択します。



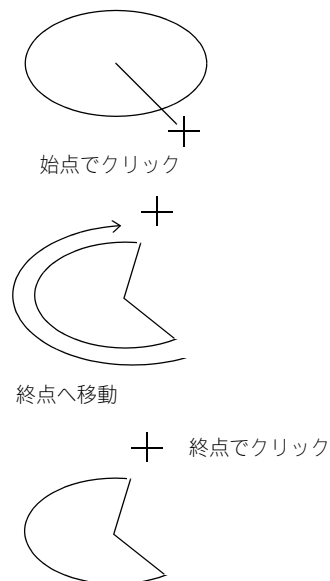
3. 「円または楕円を描く」と同様の方法で円を描きます。

→ マウスボタンを離すと円上に放射状の線が表示されます。


4. 扇形の始点にカーソルを移動し、クリックします。


→ 放射状の線が消えます。

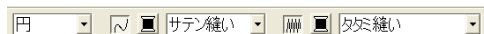
5. 扇形の終点にカーソルを移動し、クリックします。



円弧と弦を描く

1. ツールボックスの  をクリックします。

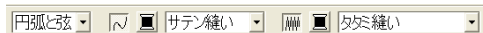
→ カーソルの形が  に変わり、縫い方が次のように表示されます。



📖 メモ：

- 図形を描く前と後に、糸色と縫い方の種類を変更できます。これらの設定を変更する方法については、P.150 の「糸色」と P.151 の「縫い方の種類」を参照してください。
- その他の設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。（詳しくは、P.152 の「縫い方の詳細設定をする」を参照してください。）縫い方の設定は変更しないかぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定は、いつでも変更できます。

2. 円弧の種類セクタをクリックし、円弧と弦を選択します。



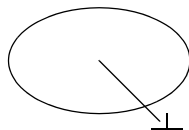
3. 「円または楕円を描く」と同様の方法で円を描きます。

→ マウスボタンを離すと円上に放射状の線が表示されます。

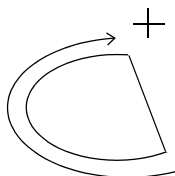
4. 弧の始点にカーソルを移動し、クリックします。

→ 放射状の線が消えます。

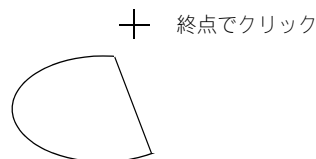
5. 弧の終点にカーソルを移動し、クリックします。



始点でクリック



終点へ移動




終点でクリック

円 / 円弧の種類を設定する

■ 円弧の種類

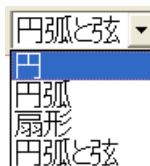
円弧の種類を設定します。

📖 メモ：

円弧の種類セクタは、ツールボックスの  を選択すると縫い方バーに表示されます。

1. 円弧の種類セクタをクリックします。

→ 次の設定が表示されます。




2. 種類を選択します。

→ 円弧の種類セクタは、設定を変更するまで、現在の設定が保持されます。

長方形を描く

長方形描画ツールでは、長方形、正方形、角の丸い長方形などを描画できます。データには、輪郭線と面部があり、それぞれに縫い方を設定できます。

1. ツールボックスの をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わり、縫い方バーが次のように表示されます。



メモ：

- 図形を描く前と後に、角の丸み、糸色、縫い方の種類を変更できます。これらの設定を変更する方法については、本ページの「角の丸み」、P.150の「糸色」、およびP.151の「縫い方の種類」を参照してください。
- その他の縫い方の設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。（詳しくは、P.152の「縫い方の詳細設定をする」を参照してください。）縫い方の設定は変更しなにかぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定は、いつでも変更できます。

2. カーソルをドラッグします。

→ ドラッグをした始点と終点を結ぶ線対角線とした長方形が作成されます。

メモ：


(Shift) キーを押しながらカーソルをドラッグすると、正方形が描けます。

四角形の角の丸みを設定する

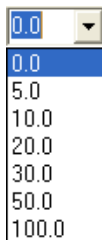
■ **角の丸み** 0.0 mm

長方形の角を丸める大きさを選択します。

メモ：

角の丸みセレクトは、ツールボックスのを選択すると縫い方バーに表示されます。また、長方形データを選択しても表示されます。

1. 角の丸みセレクトをクリックします。



2. 数値(0.0～100mm)を入力して**(Enter)**キーを押すか、角の丸みセレクトから数値を選択します。

→ 設定を変更するまで、長方形描画ツールで今後作成する図形データに、この設定が適用されます。

→ 長方形データが選択されていると、そのデータにも設定が適用されます。

例1
角の丸み：0.0mm



例2
角の丸み：20.0mm

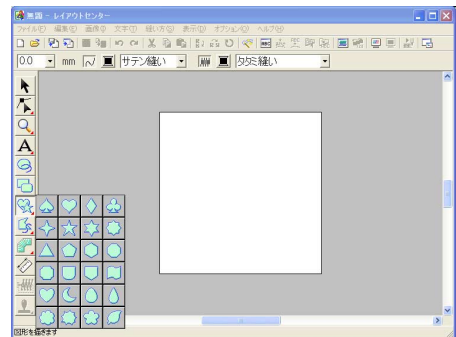


各種の図形を描く

図形ツールを使用すると、ハート型、星型、多角形など、24種類の図形を描画できます。これらの図形には、輪郭線と面部があり、それぞれに縫い方を設定できます。

1. ツールボックスのをクリックします。

→ 24種類の図形ボタンが表示されます。



2. 描きたい図形のボタンをクリックします。

→ カーソルの形が選択した図形の形に変わります。

メモ：

- 図形を描く前と後に、糸色と縫い方の種類を変更できます。これらの設定を変更する方法については、P.150の「糸色」とP.151の「縫い方の種類」を参照してください。
- その他の縫い方の設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。（詳しくは、P.152の「縫い方の詳細設定をする」を参照してください。）縫い方の設定は変更しなにかぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定は、いつでも変更できます。

3. カーソルをドラッグします。

→ドラッグした始点と終点を結ぶ線を対角線とした長方形に内接する図形が作成されます。

📖 メモ：

正三角形や正六角形など正方形に内接する図形（図形ボタンのアイコンと同じ縦横比の図形）を描くには、**Shift** キーを押しながらポイントをドラッグします。

直線と曲線について

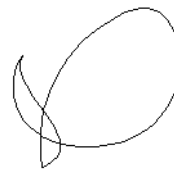
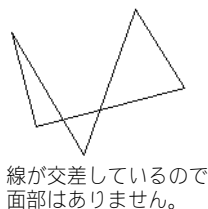
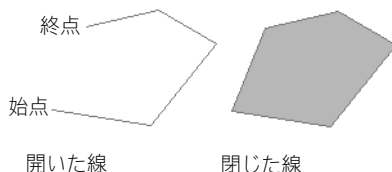
線描画ツールでは、直線、曲線でデータを作成することができます。

線が**開いた線**に設定されていると、データは最後の入力点で終了します。この刺しゅうデータは面がないので、糸色と縫い方の設定は輪郭線のみに適用されます。

線が**閉じた線**に設定されていると、最後の入力点と最初の入力点が自動的に繋がります。この刺しゅうデータは輪郭線と面ができます。それぞれの部分に縫い方と色の設定ができます。**ただし、線が途中で交差していると面の設定はできません。面を作る場合は線を交差させないようにしてください。**


刺しゅうデータの作成中は、直線と曲線とは自由に切り替えができ、また、描画後に相互に変更することもできます。

この他、画像を下絵として用いる場合は、画像の境界を自動的に抽出するセミアート機能を使って曲線を描くこともできます。





線が交差しているので 面はありません。


直線と曲線を描く

1. ツールボックスの  をクリックします。




→ 3 つのボタン    が表示されます。

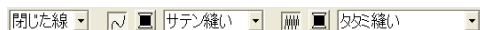
 : 直線を描きます。
(ショートカットキー：**Z**)

 : 曲線を描きます。
(ショートカットキー：**X**)

 : セミアートを使って曲線を描きます。
(ショートカットキー：**C**)

2. 描きたい線のボタンをクリックします。

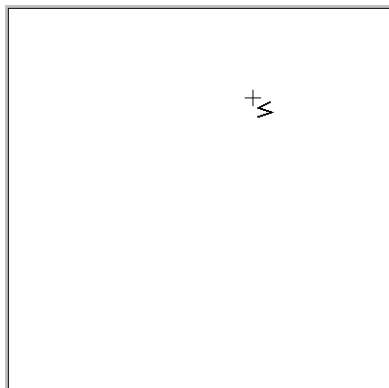
→カーソルの形が 、、 のいずれかに変わり、縫い方バーが次のように表示されます。



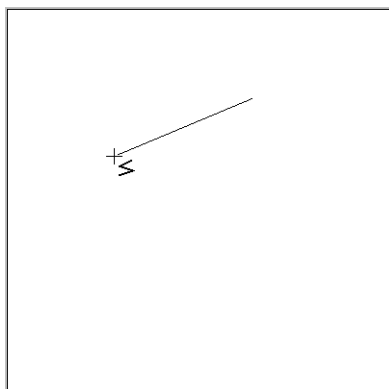
📖 メモ：

- 図形を描く前と後に、両端の処理、糸色、縫い方の種類を変更できます。これらの設定を変更する方法については、P.124の「両端の処理」、P.150の「糸色」、およびP.151の「縫い方の種類」を参照してください。
- その他の設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。（詳しくは、P.152の「縫い方の詳細設定をする」を参照してください。）縫い方の設定は変更しないかぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定は、いつでも変更できます。

3. 始点にカーソルを移動し、クリックします。



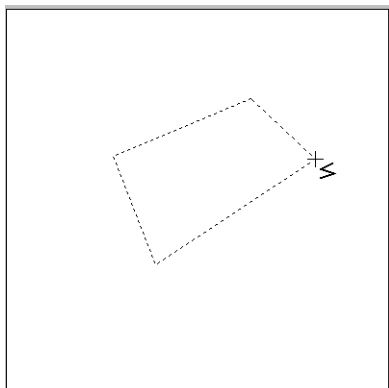
4. 次の点にカーソルを移動し、クリックします。



メモ：

マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。

5. 各ポイントをクリックしながらカーソルを移動し、終点でダブルクリックします。



注意：


- 描画中は、自由に線の種類を変えることができます。ボタンを選び直すか、ショートカットキーを押します。
- 刺しゅうデータを描いてから、直線を曲線に、また、その逆に変換できます。詳しくは、P.109の「直線を曲線に、または曲線を直線に変える」を参照してください。
- **閉じた線**に設定されている場合、ダブルクリックすると、最後の入力点と最初の入力点が自動的に繋がります。
- 直線を描画中に **Shift** キーを押しながらカーソルを移動すると、水平または垂直方向に線が描けます。
- セミオートを選択して描画する場合は、下絵となる画像が必要です。画像がない場合は、直線と同じ動作になります。

両端の処理を設定する

■ 両端の処理

直線と曲線を開いた線にするか、閉じた線にするかを設定します。

メモ：

両端の処理セレクトは、ツールボックスの  を選択すると縫い方バーに表示されます。また、デザインページで線描画ツールで描いた線または曲線を選択しても表示されます。

1. **両端の処理**セレクトをクリックします。

→ 次の設定が表示されます。

2. 設定を選択します。

→ 設定を変更するまで、線描画ツールで今後作成する図形データに、この設定が適用されます。

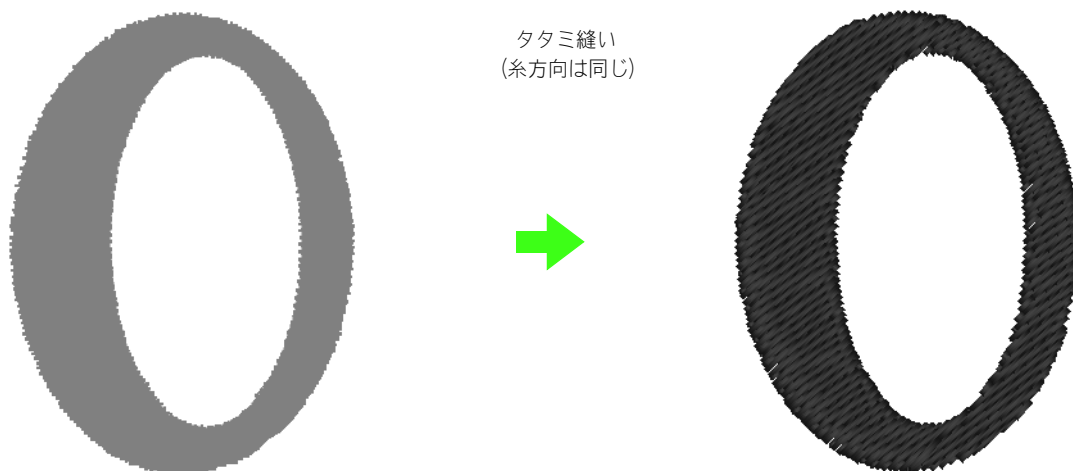
→ 直線または曲線データが選択されていると、そのデータにも設定が適用されます。

マニュアルパンチングデータを作成する

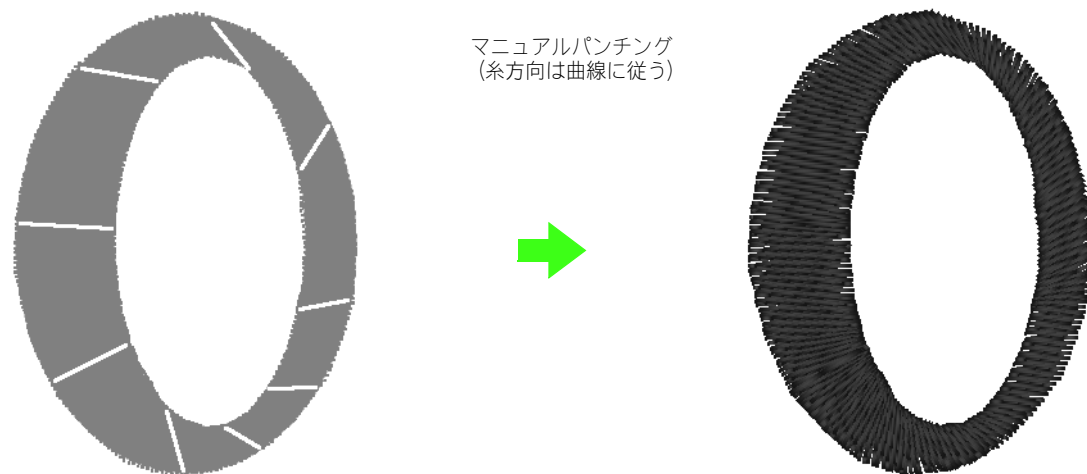
マニュアルパンチングは、手縫い刺しゅうのような外観の刺しゅうデータを作成するときに使用します。面縫いに標準的なタタミ縫いやサテン縫いを設定すると、面全体の縫い角度は同一方向になってしまいます。しかし、形によっては、刺しゅうデータの中心から放射方向に縫い角度を設定すると、通常とは違う風合いに仕上がることがあります。マニュアルパンチングでは、自由に縫い角度を設定できます。

ご自分でデザインした文字などは、マニュアルパンチングツールを使うと、同じ形でも縫い目によってバリエーションが広がります。以下に示す図は、「O」の文字の2種の縫い方のプレビューを示しています。

下の文字は輪郭線を縫わないように設定した2個の同心円を使ってデザインしたもので、大きな円にはタタミ縫いを使い、小さな円の面部を縫わない設定にしたものです。さらに、この刺しゅうデータにはドーナツ縫いの設定がされています。



下の文字はマニュアルパンチングツールを使って描いたものです。上の文字を複製し、それぞれの円の面部を縫わない設定に変更し、それぞれの円の輪郭線をガイドに利用して、マニュアルパンチングデータを作成したものです。ガイドとして利用した2つの円はその後削除してあります。




この例ではその違いがプレビュー画面でよりはっきりするよう、糸密度は低く設定されています。


マニュアルパンチングで刺しゅうデータを作成するときは、目安になるガイドを使用すると作業が簡単になります。上の例では、2つの円を使用し、マニュアルパンチングデータが完成した後に削除しました。


刺しゅうデータを編集する（レイアウトセンター）


下絵として画像を取り込み、マニュアルパンチングデータを描画する方法もあります。この方法では、自由に縫い角度を設定できます。


1. ガイドとして使う原画を開くか、データを用意します。（詳しくは、P.79 の「画像データを取り込む」を参照してください。）
2. ツールボックスの  をクリックします。


→ 5 つのボタン  が表示されます。

 : 直線のブロック型パンチングデータの作成に使用します。
(ショートカットキー: **(Z)**)

 : 曲線のブロック型パンチングデータの作成に使用します。
(ショートカットキー: **(X)**)


 : セミアートをを使った直線ブロック型パンチングデータの作成に使用します。
(ショートカットキー: **(C)**)


 : 走り型パンチングデータの作成に使用します。
(ショートカットキー: **(V)**)


 : 送り型パンチングデータの作成に使用します。
(ショートカットキー: **(B)**)

マニュアルパンチングデータを作成中、上記の種類を変更できます。例えば、ブロック型データから開始し、後から走り型に切り替えてブロック型の周囲に輪郭線を描き、さらに送り型に切り替えて次のブロック型データに移行できます。異なるものからなるデータ全体が、単一の刺しゅうデータ（すべての部分が同じ縫い方と同じ糸色）とみなされます。

次の例では、直線のブロック型データで開始し、送り型を使ってカーソルを移動し、走り型データを作成しました。

3.  をクリックし、直線のブロック型データの作成を開始します。

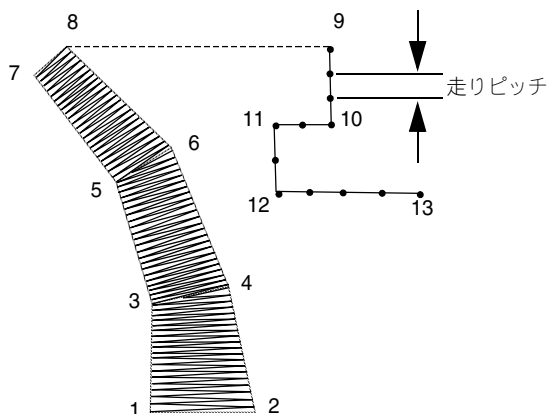
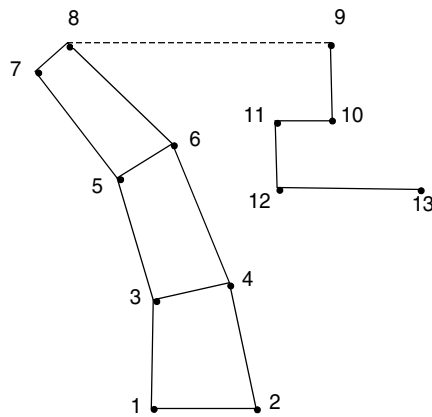
→ カーソルの形が  に変わり、縫い方が次のように表示されます。

 サテン縫い

メモ:



- 刺しゅうデータを作成した後も、糸色と縫い方の種類を変更できます。これらの設定を変更する方法については、P.150 の「糸色」と P.151 の「縫い方の種類」を参照してください。
- その他の縫い方の設定は、**縫い方の設定** ダイアログボックスで行います。（詳しくは、P.152 の「縫い方の詳細設定をする」を参照してください。）縫い方の設定は変更しなにかぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定は、いつでも変更できます。

4. ポイント 1（始点）をクリックします。
5. 下の図を参考に、ポイント 2～8 をクリックします。



📖 メモ：

マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。

- ポイント 8（ブロック型データの最終ポイント）をクリックした後、（送り型パンチング）をクリックし、ポイント 9（走り型データの始点）でクリックします。
-  をクリックして走り型パンチングを選択し、上の図のようにポイント 10、11、12 をクリックします。





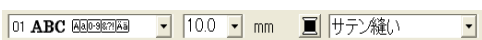
- ポイント 13（データの最終点）でダブルクリックしてデータを完成させます。

📖 メモ：

- 入力中は、ショートカットキーで自由にパンチングの種類を変えることができます。
- セミオートを選択して描画する場合は、下絵となる画像が必要です。画像がない場合は、直線のブロック型パンチングデータと同じ動作になります。
- 刺しゅうデータを描いた後に直線を曲線に、また、その逆に変換できます。詳しくは、P.109 の「直線を曲線に、または曲線を直線に変える」を参照してください。

文字を加える

文字を入力する

- ツールボックスの  をクリックします。
→ 3つのボタン  が表示されます。
-  をクリックします。
→ カーソルの形が  に変わり、縫い方が次のように表示されます。

- 書体、サイズ、糸色、縫い方の種類、その他縫い方の設定を指定します。

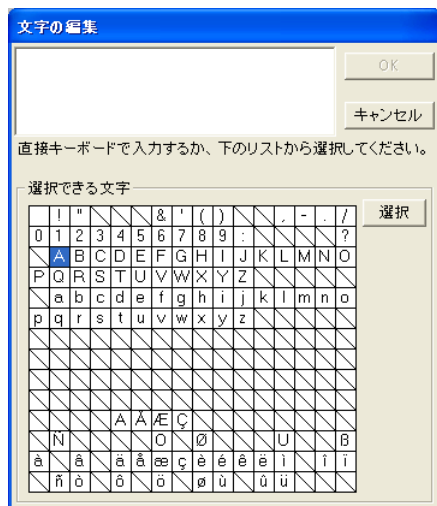
📖 メモ：

- 文字を作成した後でも、文字のサイズ、糸色、縫い方の種類を変更できます。これらの設定を変更する方法については、P.129 の「書体」、P.131 の「文字サイズ」、P.150 の「糸色」、および P.151 の「縫い方の種類」を参照してください。
- その他の文字の設定は、**縫い方の設定** ダイアログボックスと **書式設定** ダイアログボックスで行います。（詳しくは、P.152 の「縫い方の詳細設定をする」と P.133 の「文字属性を設定する」を参照してください。）縫い方の設定は変更しなにかぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定は、いつでも変更できます。

💡 注意：

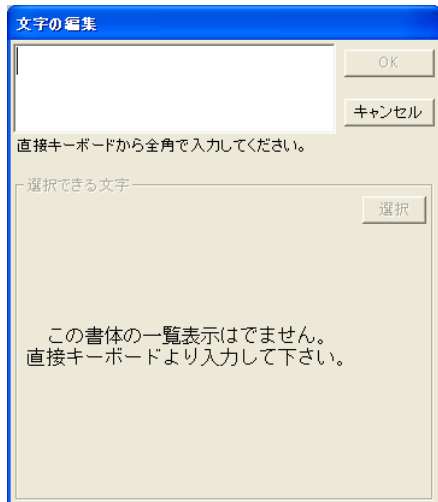
アプリケーションに内蔵されている書体（書体番号 01 ~ 35、行書、楷書）、またはオリジナルフォントの書体を選択されているときは、線の縫い方は設定できません。

- 文字データを入力したい位置でクリックします。
→ **文字の編集** ダイアログボックスが表示され、選択された書体で入力可能な **選択できる文字** 一覧が表示されます。



刺しゅうデータを編集する（レイアウトセンター）

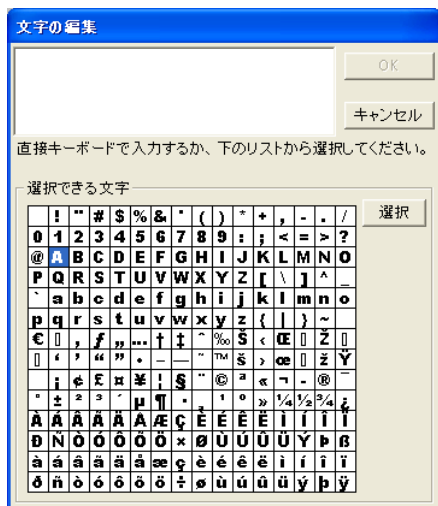
楷書、行書の場合



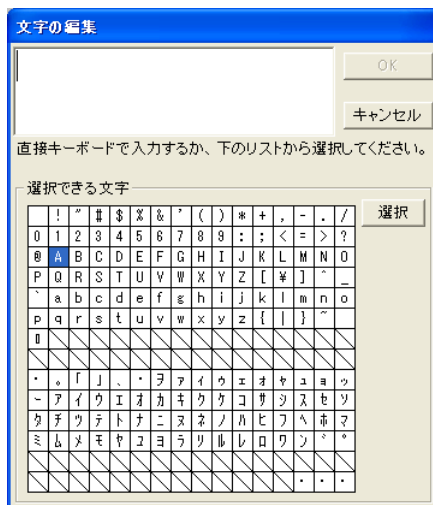
TrueType フォントが選択されている場合は、次のようなダイアログボックスが表示されます。

欧文フォントの場合、選択できる文字欄には、選択されているフォントのイメージで文字等が表示されます。入力、または選択された文字は、選択されているフォントのイメージで上欄部分に表示されます。

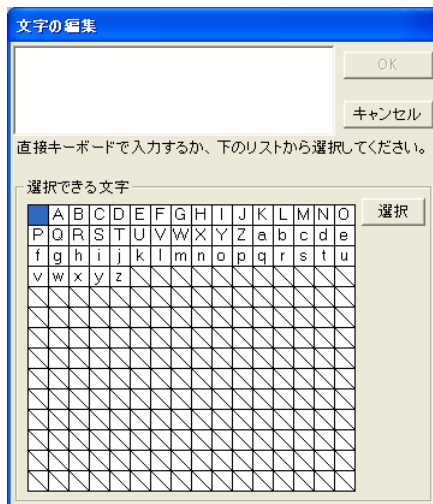
欧文フォントの場合



日本語フォントの場合



オリジナルフォントの場合



注意：

TrueType フォントの中には、フォーマットやデザインの形状により、きれいに刺しゅうデータに変換できないもの、また縫い上がりがきれいにならないものがあります。実際に縫う前に、試し縫いを行ってください。

(例：明朝体、教科書体等のフォントは、文字の線が非常に細い部分がありますので、刺しゅうの模様には適しません。ゴシック体のような、すべての線がある程度太い書体をお選びください。)

TrueType のフォントの中には刺しゅうデータに変換できないものがあります。この場合、変換された文字は疑問符 (?) に置き換えられるか、エラーメッセージが表示されません。

5. 希望の文字をキーボードで入力します。

📖 メモ：

- **(Enter)** キーを押すと、改行します。
- 01～35のアルファベット書体は、英数半角で入力してください。また、楷書、行書の書体を選択したときは、全角で入力してください。半角文字は受け付けません。
- **選択できる文字**の文字をクリックして**選択**をクリックするか、文字をダブルクリックして入力します。楷書、行書は、**選択できる文字**一覧が表示されません。キーボードから直接入力してください。
- **選択できる文字**一覧の文字の上にカーソルを移動すると、その文字の拡大画像が表示されます。

6. OKをクリックします。

→ デザインページに文字が表示されます。

📖 メモ：

- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。
- 入力した文字を編集するには、文字を選択してからメニューバーの**文字**→**文字の編集**をクリックします。表示された**文字の編集**ダイアログボックスで、文字を編集します。（詳しくは、P.131の「文字を編集する」を参照してください。）

💡 注意：

入力した文字が、選択されている書体がない場合は、エラーメッセージが表示されます。ダイアログボックスの**OK**をクリックして、**文字の編集**ダイアログボックスに戻り、入力し直してください。

文字属性を選択する

■ **書体** 01 ABC [Aa]0-9[&?] [Aa]

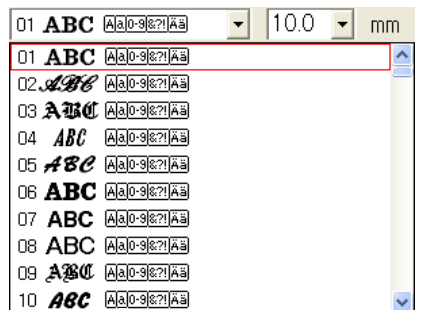
文字の書体を選択します。

📖 メモ：

ツールバーの**A**を選択すると、**書体**セレクトが表示されます。また、デザインページで文字を選択しても表示されます。

1. 書体セレクトをクリックします。

→ 右側のメニュー矢印をクリックすると、書体のリストが表示されます。



使用できる文字の種類
書体見本
書体番号

2. 書体を選択します。

→ 設定を変更するまで、文字入力ツールで今後作成するすべての文字データに、この設定が適用されます。

→ 文字データ、または文字データ内の文字が選択されていると、その文字にも設定が適用されます。

使用できる書体と各書体で使用できる文字の種類は、次の通りです。

・内蔵フォント

01	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
02	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
03	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
04	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
05	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
06	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
07	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
08	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
09	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
10	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
11	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
12	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
13	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
14	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
15	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
16	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]
17	ABC	[Aa]0-9[&?] [Aa]

18	A B C	A
19	A B C	A
20	A B C	A a 0-9 & ? !
21	A B C	A
22	A B C	A a
23	A . B . C .	A
24	A B C	A
25	A B C	A
26	A B C	A
27	A B C	A
28	A B C	A
29	A B C	A 0-9
30	A B C	A a 0-9 & ? ! A a
31	A B C	A a 0-9 & ? ! A a
32	A B C	A a 0-9 & ? ! A a
33	A B C	A a 0-9 & ? ! A a
34	A B C	A a 0-9 & ? ! A a
35	A B C	A a 0-9 & ? ! A a
	楷書	あ力漢
	行書	あ力漢

使用できる文字の種類の意味

- A アルファベットの大文字
- a アルファベットの小文字
- 0-9 数字
- & ? ! ピリオド、括弧、その他の記号
- Ä ä アクセント記号付きアルファベット
- あ ひらがな
- カ カタカナ
- 漢 漢字

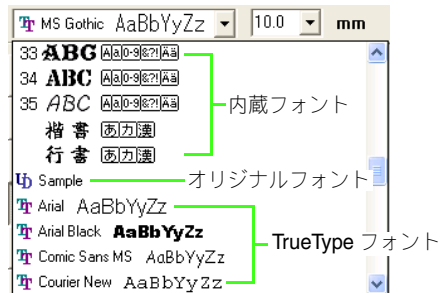
• オリジナルフォント



フォントクリエイターで作成した PEF ファイルは、書体セレクトの書体リストに内蔵フォントの次に表示されます。フォントデータは、刺しゅう PRO Ver.7 フォルダの **MyFont** フォルダに保存されています。オリジナルフォントには、UD アイコンが付けられます。

• True Type フォント

オリジナルフォントの次に、システムにインストールされている TrueType フォントの書体名が、その書体の表示例とともに表示されます。



メモ：

TrueType フォントの詳細設定は、メニューバーの**文字**→**TrueTypeフォントの設定**を選択すると表示される**TrueTypeフォントの設定**ダイアログボックスで変更できます。詳しくは、P.137 の「TrueType の属性を設定する」を参照してください。

注意：

TrueType フォントの中には、フォーマットやデザインの形状により、きれいな刺しゅうデータに変換できないもの、また縫いあがりがかきれいにならないものがあります。実際に縫う前に、試し縫いを行ってください。(例：明朝体、教科書体等のフォントは、文字の線が非常に細い部分がありますので、刺しゅうの様には適しません。ゴシック体のような、すべての線がある程度太い書体をお選びください。)



P.127 の「文字を入力する」、P.107 の「刺しゅうデータを変形する」、および P.137 の「TrueType の属性を設定する」

■ 文字サイズ mm

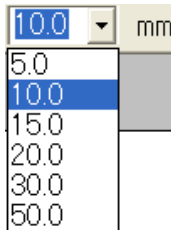
文字サイズを選択します。



メモ：

文字サイズセクタは、ツールボックスの **A** を選択すると縫い方バーに表示されます。また、デザインページで文字を選択しても表示されます。

1. 文字サイズセクタをクリックします。



2. 高さ（5～100mm）を入力して **(Enter)** キーを押すか、**文字サイズ**セクタで数値を選択します。

→ 設定を変更するまで、文字入力ツールで今後作成する文字データに、この設定が適用されます。

→ 文字データ、または文字データ内の文字が選択されていると、その文字にも設定が適用されます。



P.127の「文字を入力する」およびP.107の「刺しゅうデータを変形する」

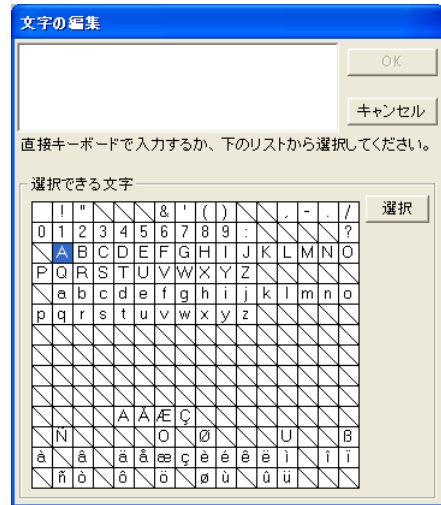
文字を編集する

入力した文字を編集します。

1. 編集したい文字を選択します。

2. メニューバーの**文字**→**文字の編集**をクリックします。

→ **文字の編集**ダイアログボックスが表示されます。



注意：

1回の操作で、複数の文字データを編集することはできません。複数の文字データを選択している場合は、この機能は使えません。

3. 選択した文字が文字入力領域に表示されます。

4. 文字を編集します。



メモ：

- **(Enter)** を押しと、改行します。
- 01～35のアルファベット書体は、英数半角で入力してください。また、楷書、行書の書体を選択したときは、全角で入力してください。半角文字は受け付けません。
- **選択できる文字**の文字をクリックして**選択**をクリックするか、文字をダブルクリックして入力します。楷書、行書、日本語フォントは、**選択できる文字**一覧が表示されません。キーボードから直接入力してください。
- **選択できる文字**一覧の文字の上にカーソルを移動すると、その文字の拡大画像が表示されます。

5. OK をクリックします。

→ デザインページに、編集された文字が表示されます。

📖 メモ：


- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。
- TrueType フォントから変換された文字が選択されている場合、表示される文字リストはカーソルの位置の文字に設定されている文字フォントになります。

💡 注意：


入力した文字が、選択されている書体でない場合は、エラーメッセージが表示されます。ダイアログボックスの **OK** をクリックして、**文字の編集** ダイアログボックスに戻り、入力し直してください。


🔍 P.127 の「文字を入力する」

文字を選択する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ 2つのボタン  が表示されます。

2.  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

3. 編集したい文字データをクリックします。

→ 各文字の左下に既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。

4. 選択したい文字のポイントをクリックします。

複数の文字を選択するには、**(Ctrl)** キーを押しながら各文字のポイントをクリックするか、選択したい文字のポイントを囲むようにドラッグします。

→ 選択された文字のポイントは小さな黒い四角で表示されます。

📖 メモ：

- **(Shift)** キーを押しながらクリックすると、先に選択した文字と今回選択した文字にはさまれた文字がすべて選択されます。
- **(Shift)** キーを押しながら→キーまたは↓キーを押すと、矢印キーを押すごとに最後の文字の方向へ文字が1つずつ追加選択されます。**(Shift)** キーを押しながら←キーまたは↑キーを押すと、矢印キーを押すごとに最初の文字の方向へ文字が1つずつ追加選択されます。**(Shift)** キーを押しながら反対方向の矢印キーを押すと、文字の選択が解除されます。
- 現在の文字の選択を解除し、最後の文字の方向にある次の文字を選択するには、**(Ctrl)** キーを押しながら→キーまたは↓キーを押します。現在の文字の選択を解除し、最初の文字の方向にある次の文字を選択するには、**(Ctrl)** キーを押しながら←キーまたは↑キーを押します。

5. 書体、サイズ、糸色、縫い方の種類、その他の設定を変更します。

ABCDEF



ABCDEF



ABCDEF




ABCDEF


📖 メモ：

True Type フォントの輪郭線は、線縫いがオンの場合に、糸色や縫い方の種類の設定を行えます。

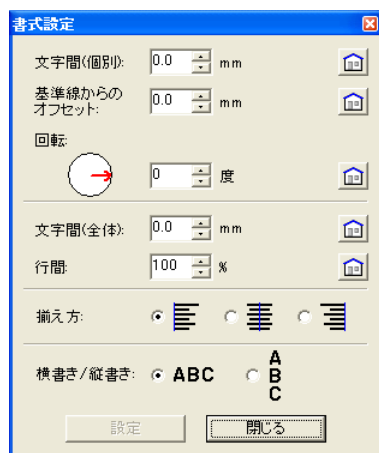
文字属性を設定する

書式設定ダイアログボックスで様々な文字属性を設定できます。

ツールバーボタン：


1. 編集したい文字を選択します。
2.  をクリックするか、メニューバーの **文字**→**書式設定** をクリックします。

→ **書式設定**ダイアログボックスが表示されます。



3. 必要に応じて、設定を変更します。

メモ：

各設定の右側の  をクリックすると、標準設定に戻すことができます。

4. **設定** をクリックして、設定します。

メモ：


設定を変更しないで書式設定ダイアログボックスを閉じるときは、**閉じる** をクリックします。

文字間 (個別)	文字間隔を設定します。1文字単位で設定できます。 範囲：-100～100mm 標準：0	0.0mm Abcdef
		5.0mm (A と b の間) A bcdef

基準線からの オフセット	文字の基準線からの位置を設定します。1文字単位で設定できます。 範囲：-100～100mm 標準：0	0.0mm Abcdef
		2.0mm Abcdef
回転	文字を回転します。1文字単位で設定できます。 範囲：0～359度 標準：0	0度 Abcdef
		20度 Abcdef
文字間 (全体)	選択した文字列すべての文字間隔を設定します。 範囲：-100～100mm 標準：0	0.0mm Abcdef
		2.0mm A bcdef
行間	選択した文字列すべての行間隔を文字の高さとの比率で設定します。 範囲：0～1000% 標準：100%	100% A b c d e f g h i j k l
		150% A b c d e f g h i j k l
揃え方	文字列を左、中央、右に揃えます。	左揃え A b c d e f g h i j k l
		中央 A b c d e f g h i j k l
		右揃え A b c d e f g h i j k l
横書き / 縦書き	横書き / 縦書きの設定をします。	横書き A B C
		縦書き A B C


メモ：

- 縦書きでは、一部の文字で完全に縦書きに対応していない文字があります。
- **文字間 (個別)** と **文字間 (全体)** は、ともに文字の間隔を設定します。この2つの違いは、**文字間 (全体)** は、常に文字データ全体に適用されるのに対し、**文字間 (個別)** は、個々の文字に適用される点です。データ全体に**文字間 (個別)** を適用すると、**文字間 (全体)** と全く同じように機能します。文字データの個別書体選択については、P.132 の「文字を選択する」を参照してください。


 次の「文字配列を設定する」および P.137 の「文字を変形する」

文字サイズと文字の属性を変更する

文字、ミニサイズ文字、モノグラム文字については、ドラッグするだけで、文字のサイズと属性（文字間（個別）、基準線からのオフセット、回転）を簡単に変更できます。

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ 2つのボタン   が表示されます。

2.  をクリックします。

メモ：

詳しくは、P.132 の「文字を選択する」を参照してください。


3. 選択したい文字のポイントをクリックします。




→ 文字の周りに    ハンドルが表示されます。



■ サイズを変更する

1. カーソルを  ハンドルの上に移動します。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. ハンドルをドラッグします。

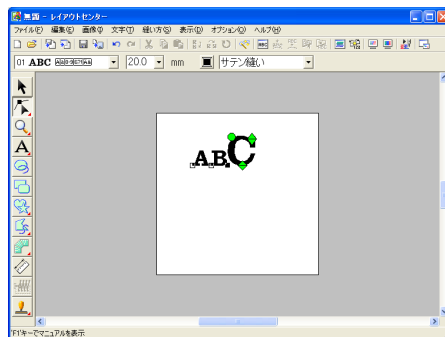


→ 文字の輪郭線が点線で表示され、サイズを調整できます。






3. マウスボタンを放します。文字のサイズが変更されます。

→ 新しいサイズが、縫い方設定バーに表示されます。



■ 文字間（個別）を変更する

1.    ハンドル以外の文字本体にカーソルを置き、文字を横にドラッグします。



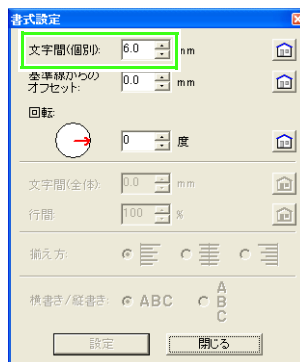
→ 文字の輪郭線が点線で表示され、水平に移動できます。




2. マウスボタンを放します。文字間（個別）が変更されます。




→ **書式設定** ダイアログボックスが開いている場合は、新しい間隔が表示されます。



■ 基準線からのオフセットを変更する

1. カーソルを  ハンドルの上に移動します。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. ハンドルを縦にドラッグします。



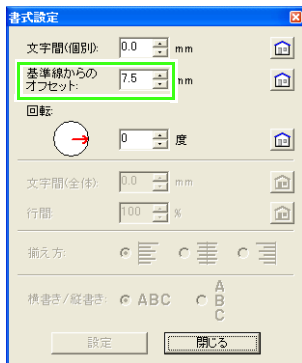
→ 文字の輪郭線が点線で表示され、上下に移動できます。



3. マウスボタンを放します。文字の基準線からのオフセット（位置）が変更されます。




→ **書式設定** ダイアログボックスが開いている場合は、新しい基準線からのオフセット値が表示されます。




■ 文字を回転する

メモ：

モノグラム文字は回転できません。

1. カーソルを  ハンドルの上に移動します。

→ カーソルの形が  に変わります。



2. ハンドルをドラッグします。

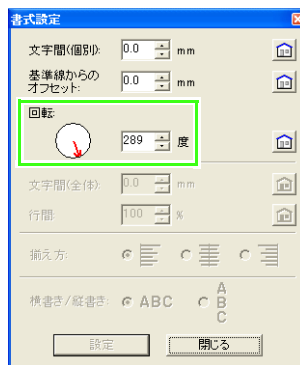
→ 文字の輪郭線が点線で表示され、回転できます。



3. マウスボタンを放します。文字の角度が変更されます。




→ **書式設定** ダイアログボックスが開いている場合は、新しい回転角度が表示されます。

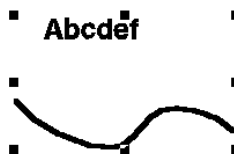



文字配列を設定する

図形データ（曲線、直線データなど）に沿って文字データを配列できます。

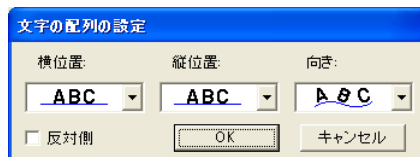
ツールバーボタン： 

1. 文字データと図形データを選択します。



2.  をクリックするか、メニューバーの **文字** → **文字の配列** をクリックします。

→ **文字の配列の設定** ダイアログボックスが表示されます。



3. 横位置、縦位置、向きセレクトをクリックして、どのように配置するか選択します。

メモ：

文字データを図形データの反対側に配置する場合は、**反対側**をチェックします。

4. OK をクリックして設定します。

メモ：

操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意：


文字の配列を行った場合、文字の変形は解除されます。1つの図形データに対して配列できる文字データは1つだけです。


<p>横位置</p>	<p>線に沿うときの文字の分布を設定します。</p>	
<p>縦位置</p>	<p>文字と線との間隔を設定します。</p>	
<p>向き</p>	<p>線に対する文字の傾きを設定します。</p>	
<p>反対側</p>	<p>配列を反対側にします。</p>	

 本ページの「文字配列を解除する」


■ 文字配列を解除する

図形データに沿って配列した文字データを切り離します。

ツールバーボタン： 


1. 図形データ上に配列された文字データを選択します。
2.  をクリックするか、メニューバーの **文字→文字配列の解除** をクリックします。




 P.135 の「文字配列を設定する」

文字を変形する

内蔵されている変形用の図形を文字に設定できます。



ツールバーボタン： 

1. 変形したい文字データを選択します。
2.  をクリックするか、メニューバーの **文字→文字の変形** をクリックします。

→ **文字の変形** ダイアログボックスが表示されます。



3. 使用したい変形ボタンをクリックしてOK をクリックするか、変形ボタンをダブルクリックします。

→ 選択した文字の形に応じて、文字の周りに点線と  または  が表示されます。





メモ：

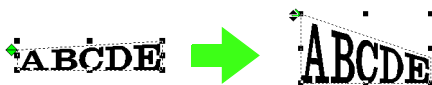
操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。

注意：



TrueType フォントから変換した文字データには線縫いと面縫いの両方のデータが含まれていますので、この機能を使用すると、TrueType フォントの形状によっては、文字の輪郭線と面部にわずかな隙間が生じることがあります。

 次の「文字の変形を解除する」

4.  をドラッグして、文字を変形させます。





メモ：

-  は、縦にのみドラッグできます。
-  は、横にのみドラッグできます。

■ 文字の変形を解除する

変形した文字データを元の形に戻します。

ツールバーボタン： 

1. 変形した文字データを選択します。
2.  をクリックするか、メニューバーの **文字→変形の解除** をクリックします。



TrueType の属性を設定する

刺しゅうデータに変換される TrueType フォントの属性（スタイル等）を設定できます。

1. 編集したい文字データを選択します。
2. メニューバーの **文字→TrueTypeフォントの設定** をクリックします。

→ 次のようなダイアログボックスが表示されます。TrueType フォントから変換した文字が選択されている場合は、選択された文字の属性が表示されます。



メモ：

- **フォント名**は、選択されている書体名を示します。
- **サンプル**ボックスは、選択されている書体のサンプルを示します。

3. **スタイル**で、希望の字体を選択します。
4. **書体の種類**で、希望の書体を選択します。
5. **OK** をクリックすると、設定を確定し、ダイアログボックスを閉じます。

→ 設定を変更するまで、今後 TrueType フォントから変換されて作成される文字データに、この設定が適用されます。


→ TrueType フォントから変換された文字データが選択されていると、その文字にも設定が適用されます。

メモ：

変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意：

- **スタイル**と**書体の種類**の内容は、選択された TrueType フォントによって異なります。
 - 複数の TrueType フォントで作成されている文字列が選択されると、このダイアログボックスは表示されません。
- さらに、同じフォントでもスタイルが書体の種類が異なる文字列が選択されると、文字列の最初の文字の属性設定がダイアログボックスに表示されます。どちらの場合も、1文字のみを選択している場合は、ダイアログボックスにその文字に設定されている属性が表示されます。

 P.127 の「文字を入力する」および P.133 の「文字属性を設定する」

文字データを図形データに変換する

TrueType フォントから変換された文字データを図形データに変換します。

1. TrueType フォントから変換された文字データを選択します。
2. メニューバーの**文字→図形データに変換**をクリックします。


→ 選択されていた文字データが、図形データに変換されます。



変換された図形データは、縫い方が設定されていないため、点線で表示されます。目的に応じて、縫い方を設定してください。


メモ：

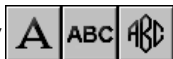
グループ化やドーナツ縫いを設定すると、形状崩れを防ぐことができます。

 P.323 の「抜き文字を作成する（図形データに変換した文字を使用する）」


ミニサイズ文字を入力する

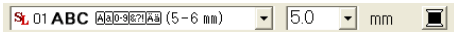
ミニサイズ文字ツールを使用すると、6mm 以下の小さい文字でも縫い崩れを発生しない文字刺しゅうを作成できます。7つの書体を使用できます。

1. ツールボックスの  をクリックします。

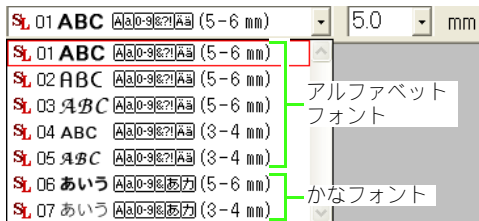
→ 3つのボタン  が表示されます。

2. ABCをクリックします。

→カーソルの形が  に変わり、縫い方バーが次のように表示されます。



書体セクタをクリックすると、書体のリストが表示されます。



3. 必要に応じて、書体、サイズ、糸色、を指定します。

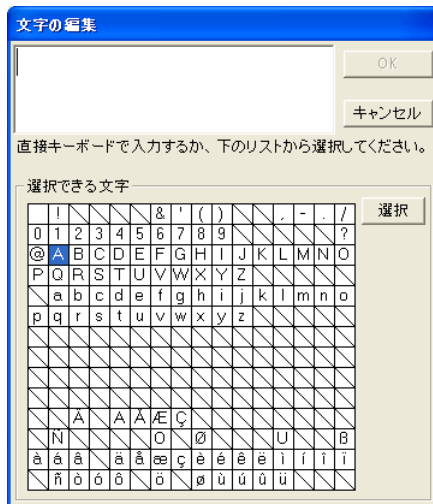
メモ：

- 文字を作成した後も、書体、文字のサイズ、糸色を変更できます。これらの設定を変更する方法については、P.129の「書体」、P.131の「文字サイズ」、P.150の「糸色」を参照してください。
- その他の書体の設定は、**書式設定**ダイアログボックスで行います。（詳しくは、P.133の「文字属性を設定する」を参照してください。）

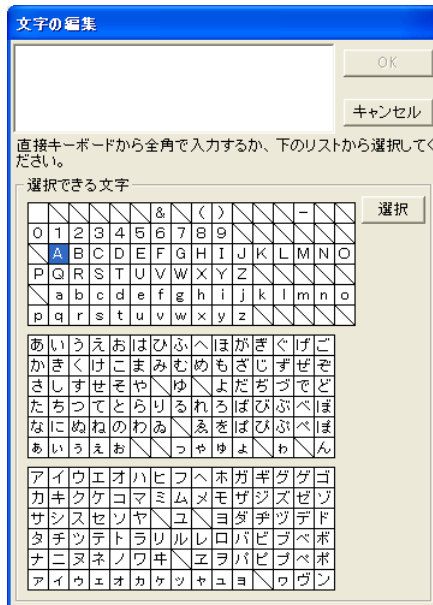
4. 文字データを入力したい位置でクリックします。

→ **文字の編集**ダイアログボックスが表示され、選択された書体で入力可能な**選択できる文字**一覧が表示されます。

アルファベットフォントの場合



かなフォントの場合



5. 希望の文字をキーボードで入力します。

メモ：

- **(Enter)** を押すと、改行します。
- **選択できる文字**の文字をクリックして**選択**をクリックするか、文字をダブルクリックしても入力できます。
- **選択できる文字**一覧の文字の上にカーソルを移動すると、その文字の拡大画像が表示されます。
- 01～05のアルファベットフォントは英数半角で入力してください。また、06～07のかなフォントを選択したときは、全角で入力してください。

6. OK をクリックします。

→ デザインページに文字が表示されます。

メモ：


- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。
- 入力した文字を編集する場合は、文字を選択してからメニューバーの**文字**→**文字の編集**をクリックします。表示された**文字の編集**ダイアログボックスで、文字を編集します。（詳しくは、P.131の「文字を編集する」を参照してください。）
- ミニサイズ文字ツールで作成する文字データは、文字間の渡り糸を切らなくてもよいように作成されます。


注意：


- 入力した文字が、選択されている書体でない場合は、エラーメッセージが表示されません。ダイアログボックスの**OK**をクリックして、**文字の編集**ダイアログボックスに戻り、入力し直してください。
- 縫製するときは、糸調子を通常の刺しゅうデータの場合より弱く、縫い速度を遅く設定するときれいに縫うことができます。（糸調子と縫い速度の調整については、ミシンの取扱説明書を参照してください。）
- 文字の間の渡り糸は、切らないように設定してください。（ミシンの糸切り設定については、ミシンの取扱説明書を参照してください。）


モノグラムを作成する

モノグラム機能を使うと、1～3文字の大文字アルファベットを変形し、周りに装飾を加えてモノグラム（イニシャル文字）を作成することができます。

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ 3 つのボタン  が表示されます。

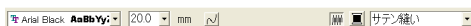
2.  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わり、縫い方が次のように表示されます。



メモ：

- **Diamond**と**Script**は、モノグラム専用のフォントです。内蔵フォント、True Type フォントおよびオリジナルフォントも使用できます。
- TrueType フォントを選択すると、縫い方が次のように表示され、線の糸色と縫い方を選択できます。



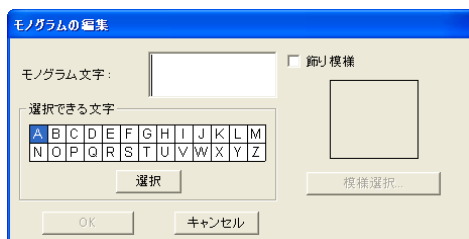
3. 書体、サイズ、糸色、縫い方の種類、その他縫い方の設定を指定します。

メモ：

- モノグラムを作成した後も、書体、サイズ、糸色、縫い方の種類を変更できます。これらの設定を変更する方法については、P.142の「モノグラムの書体」、P.142の「モノグラムのサイズ」、P.150の「糸色」、およびP.151の「縫い方の種類」を参照してください。
- その他のモノグラムの設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。（詳しくは、P.152の「縫い方の詳細設定をする」を参照してください。）縫い方の設定は変更しないかぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定は、いつでも変更できます。

4. モノグラムを入力したい位置でクリックします。

→ **モノグラムの編集**ダイアログボックスが表示されます。



5. 文字（大文字）をキーボードで入力します。

メモ：

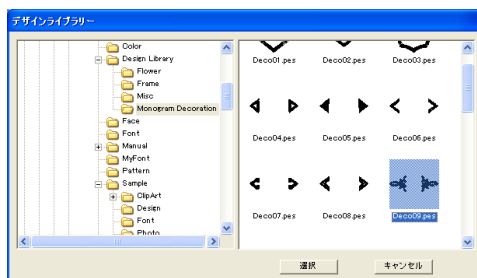
- **選択できる文字**の文字をクリックして**選択**をクリックするか、文字をダブルクリックしても入力できます。
- モノグラム機能で入力できる文字数は、3文字までです。

注意：

改行はできません。**Enter**キーを押すと、ダイアログボックスは閉じ、デザインページにモノグラムデータが表示されます。

6. モノグラム文字の周囲や両サイドに装飾を加えるときは、**飾り模様**チェックボックスをチェックして、**模様選択**をクリックします。

→ **デザインライブラリー**ダイアログボックスが表示されます。



7. 飾り模様をクリックして**選択**をクリックするか、飾り模様をダブルクリックして選択します。

→ **デザインライブラリー**ダイアログボックスは閉じ、選択した飾り模様が**モノグラム**の**編集**ダイアログボックスのプレビュー領域に表示されます。


8. **OK** をクリックします。

メモ：


操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

→ デザインページに選択した飾り模様とモノグラムデータが表示されます。



9. ツールボックスの  をクリックし、飾り模様を選択してから**サイズ**と**位置**を調整します。

メモ：

ハンドルをドラッグして、選択したデータのサイズを調整します。モノグラムのサイズの調整については、P.104 の「刺しゅうデータを拡大・縮小する」を参照してください。選択したデータを移動できるときは、カーソルの形が  に変わります。


10. 必要に応じて、**縫い方設定**バーで飾り模様とモノグラムの糸色と縫い方を変更します。

モノグラム属性を指定する

■モノグラムの書体

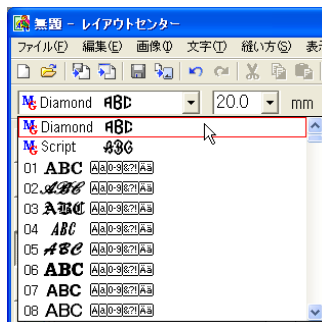
モノグラムのフォントを選択します。

メモ：

モノグラムの書体セレクトは、ツールボックスの  を選択すると縫い方バーに表示されます。また、デザインページでモノグラムのデータを選択しても表示されます。

1. **書体**セクタをクリックします。

→ モノグラムの書体一覧が表示されます。



注意：

モノグラムの書体には、モノグラム専用フォントの他に35個の標準書体、オリジナルフォント、または TrueType フォントを選択できます。

2. **書体**を選択します。


→ 設定を変更するまで、モノグラム文字入力ツールで今後作成するデータに、この設定が適用されます。

→ モノグラムデータが選択されていると、そのデータにも設定が適用されます。

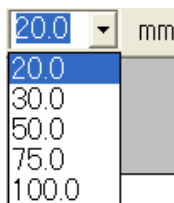
■モノグラムのサイズ

モノグラムのサイズを選択します。

メモ：

モノグラムサイズセレクトは、ツールボックスの  を選択すると縫い方バーに表示されます。また、デザインページでモノグラムのデータを選択しても表示されます。

1. **モノグラムサイズセクタをクリック**します。



2. 数値 (5.0～100mm) を入力して **Enter** キーを押すか、セクタから数値を選択します。

→ 設定を変更するまで、モノグラム文字入力ツールで今後作成するデータに、この設定が適用されます。

→ モノグラムデータが選択されていると、そのデータにも設定が適用されます。

■モノグラム文字を編集する

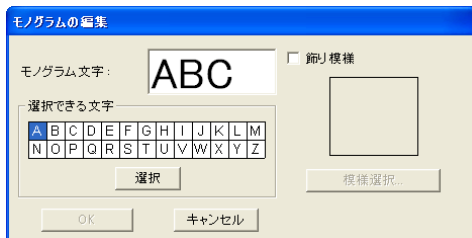
1. 編集したいモノグラムデータを選択します。

⚠ 注意：

1 回の操作で、複数のモノグラムデータを編集することはできません。複数のモノグラムデータを選択している場合は、この機能は使えません

2. **メニューバーの文字→文字の編集**をクリックします。

→ **モノグラムの編集**ダイアログボックスが表示され、選択されているモノグラムデータの文字が入力領域に表示されます。



3. 文字を編集します。

📖 メモ：

- **選択できる文字**の文字をクリックして**選択**をクリックするか、文字をダブルクリックして入力します。
- 飾り模様を変更するときは**模様選択**をクリックし、**デザインライブラリー**ダイアログボックスから選択します。デザインページに選択した飾り模様とモノグラムが表示されます。
- 飾り模様を削除するには、デザインページで選択して削除します。

💡 注意：

改行はできません。**Enter** キーを押すと、ダイアログボックスは閉じ、デザインページにモノグラムデータが表示されます。

4. **OK**をクリックします。

→ 編集されたモノグラムが表示されます。


📖 メモ：

変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。


🔗 P.141 の「モノグラムを作成する」


■モノグラムの1つの文字を編集する

モノグラムデータに使用する文字は、1文字ずつ糸色とサイズを設定できます。また、他の文字の属性（文字間（個別）と基準線からのオフセット）も設定できます。

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ 2つのボタン   が表示されます。

2.  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

3. 編集したいモノグラムデータをクリックします。

→ 文字の周りに  ハンドルが表示され
ます。

メモ：

ハンドルまたは文字の本体をドラッグすると、文字のサイズ、文字間（個別）、基準線からのオフセットを変更できます。詳しくは、P.134の「文字サイズと文字の属性を変更する」を参照してください。

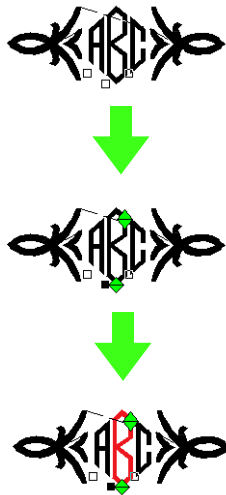
4. 選択したい文字のポイントをクリックします。

複数の文字を選択するには、**Ctrl** キーを押しながら各文字のポイントををクリックするか、選択したい文字のポイントを囲むようにドラッグします。

→ 選択された文字のポイントは小さな黒い四角で表示され、縫い方バーが次のように表示されます。

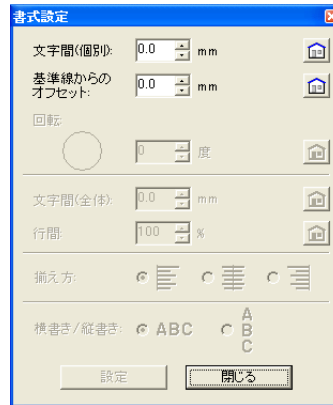


5. 糸色や縫い方の種類を変更します。

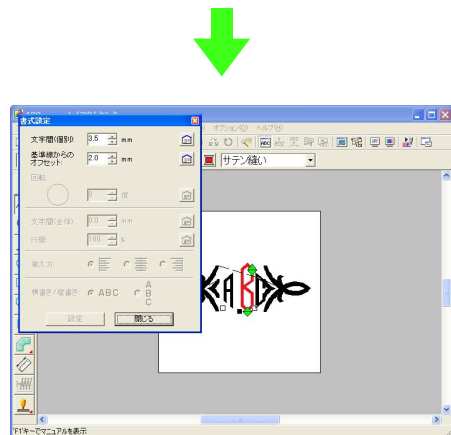
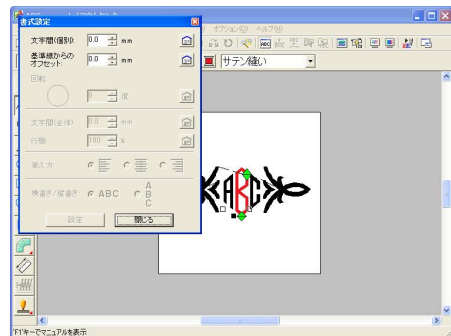


6. をクリックするか、メニューバーの文字→書式設定をクリックします。

→ **書式設定** ダイアログボックスが表示されます。




7. 書式設定を変更して、**設定**をクリックします。




スタンプを設定・編集する


円・円弧/長方形/直線描画ツールや文字ツール、マニュアルパンチングツールを使って描かれた刺しゅうデータにスタンプを設定します。プログラムタタミ/スタンプパターンは本アプリケーションに用意されていますが、ステッチクリエイターで、編集したり、新しく独自のパターンを作成したりできます。

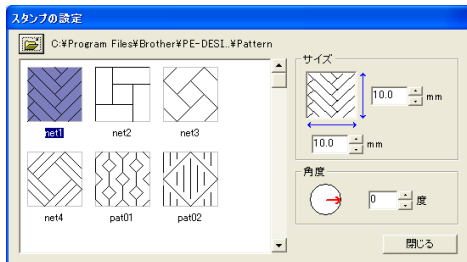
スタンプを設定する

1. ツールボックスの  をクリックします。


→ 2つのボタン  が表示されます。

2.  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わり、**スタンプの設定**ダイアログボックスが表示されます。




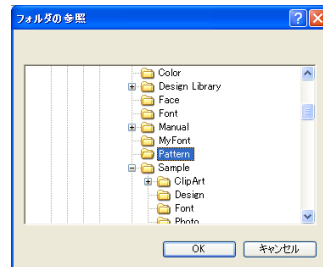
メモ:

ダイアログボックスの  の右側に、現在選択されているフォルダへのパスが表示されます。

3. プログラムタタミ/スタンプパターン (.pas ファイル) を選択し、クリックします。

メモ:


- プログラムタタミ/スタンプパターンの縫い沈め・浮き上がり効果が設定されている面は、それぞれ赤と青で表示されます。
- 別のフォルダを選択するには、 をクリックします。




表示された**フォルダの参照**ダイアログボックスで、フォルダを選択し **OK** をクリックするか、フォルダをダブルクリックします。**フォルダの参照**ダイアログボックスは閉じ、プレビュー領域に選択したフォルダのプログラムタタミ/スタンプパターンが表示されます。

4. スタンプの幅と高さを変更する場合は、**スタンプの設定**ダイアログボックスの**サイズ**に数値（1～100mm）を入力するか、スピントーンで値を変更します。
5. スタンプの角度を変更する場合は、**角度**の下の赤い矢印をドラッグして、角度を設定します。

メモ:

- スタンプツール選択中は、**スタンプの設定**ダイアログボックスは開いたままで作業ができます。スタンプのサイズと角度をいつでも調整できます。
- **スタンプの設定**ダイアログボックスを閉じるときは、**閉じる**をクリックします。
- 閉じた後でダイアログボックスを再度開くには、 をクリックします。

6. スタンプを設定したい面をクリックします。

→ クリックした面の輪郭線が、赤い破線で表示されます。カーソルを選択した面上に移動すると、形が  に変わります。

7. スタンプを設定したい位置をクリックします。

→ スタンプの形状が点線で表示されます。



メモ：


- スタンプの方が設定された面よりも大きい場合がありますが、面と重なっている部分のみが縫われます。
- スタンプは、円・円弧 / 長方形 / 直線の各描画ツールや文字ツール、マニュアルパンチングツールを使って作成された刺しゅうデータの、サテン縫い、タタミ縫い、またはプログラムタタミ縫いが設定された面のみに設定できます。
- 同じ面に複数のスタンプを設定するときは、必要な回数分、面をクリックし続けます。
- 選択した面にカーソルが入らないと、スタンプを設定することはできません。
- **スタンプの設定** ダイアログボックスは、スタンプツールを選択中のみ表示されます。

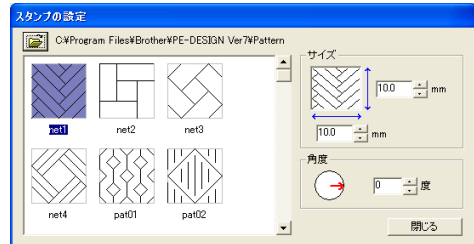
スタンプを編集する

1. ツールボックスの をクリックします。

→ 2つのボタン   が表示されます。

2. をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わり、**スタンプの設定** ダイアログボックスが表示され、面に設定されているスタンプが点線で表示されます。



メモ：

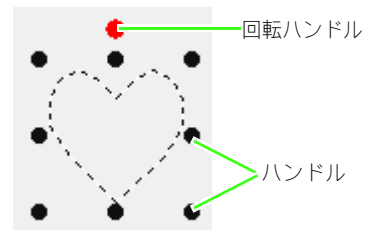
面が選択されている場合は、面の輪郭線が赤い破線で表示され、スタンプは点線で表示されません。

3. 編集するスタンプを設定した面をクリックします。

→ 選択した面の輪郭線が、赤い破線で表示されます。

4. 編集するスタンプをクリックします。

→ 丸いハンドルがスタンプの周囲に表示され、回転ハンドルがスタンプの上部に表示されます。



注意：

複数個のスタンプを一緒に選択することはできません。別のスタンプを選択すると、前に選択していたスタンプの選択は解除されます。

5. スタンプの形状を変更する場合は、**スタンプの設定**ダイアログボックスで別のスタンプを選択して、**設定**をクリックします。


スタンプのサイズと角度を変更する場合は、**スタンプの設定**ダイアログボックスでサイズと角度を指定するか、ハンドルまたは回転ハンドルをドラッグして調整します。

スタンプを移動する場合は、ドラッグします。面内にスタンプ全体または一部を配置します。

スタンプを削除する場合は、メニューバーの**編集**→**削除**を選択するか、**Delete** キーを押します。

メモ：

- スタンプを設定した刺しゅうデータを移動すると、スタンプも一緒に移動します。ただし、刺しゅうデータのサイズを変更したり回転しても、スタンプには適用されません。刺しゅうデータの形状を編集した場合は、スタンプも調整が必要かを確認してください。
- スタンプの形状はスタンプツールを選択中にのみ表示されます。
- スタンプは設定された面内でのみ縫われます。
- スタンプの設定ダイアログボックスを閉じるときは、**閉じる**をクリックします。

 P.104の「刺しゅうデータを拡大・縮小する」およびP.105の「刺しゅうデータを回転する」

線と面に糸色と縫い方を設定する

縫い方バーで、次のような刺しゅうデータの属性を設定できます。

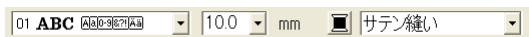
- 幾何学的属性（円弧の種類、角の丸み、両端の処理）
- 文字属性（書体、サイズ）
- 刺しゅう属性（糸色と縫い方、輪郭線と面部のオン/オフ）

使用できる設定は、選択されたツールと刺しゅうデータの種類によって異なります。

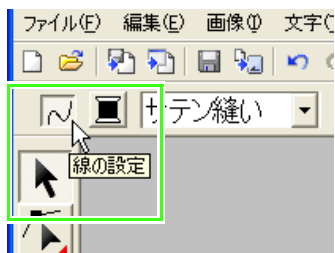
例 1： 選択ツールが選択されていて、刺しゅうデータが選択されていない場合



例 2： 文字が選択されている場合



カーソルを縫い方バーのボタンまたはセレクト上に置くと、そのボタンやセレクトの機能を示すラベルが表示されます。以下の説明では、縫い方バーの各構成要素を、これらのラベルに表示される名前で呼びます。



原則として、作成する刺しゅうデータに設定できる属性は、データ作成の直前またはデータ作成後に設定できます。例えば、長方形を描くときは、長方形描画ツールを選択後に、糸色と角の丸みを設定できます。長方形が作成されていれば、それを選択し、その属性を変更することもできます。

ただし、円・円弧描画ツールの場合は例外で、どのデータ（円、弧、その他）を作成するのかを、実際に作成する前に決めなければなりません。データを作成した後でデータの種類を変更することはできません。

幾何学的属性

	円弧の種類： 円・円弧の種類を選択します。（詳しくは、P.119の「図形を描く」を参照してください。）
	角の丸み： 長方形の角を丸める大きさを設定します。（詳しくは、P.122の「角の丸み」を参照してください。）
	両端の処理： 直線や曲線で描かれたデータを開いた線にするか、閉じた線にするかを設定します。（詳しくは、P.124の「両端の処理」を参照してください。）

文字属性

	書体： 文字の書体を選択します。（詳しくは、P.129の「書体」を参照してください。）
	文字サイズ： 文字サイズを選択します。（詳しくは、P.131の「文字サイズ」を参照してください。）

刺しゅう属性

	線の設定 ボタン：輪郭線縫いのオン/オフを切り替えます。線の設定がオフのときは、輪郭線の縫製は行われません。（糸色または縫い方の設定はできません。）（詳しくは、P.149の「線の設定」を参照してください。）
	面の設定 ボタン：面縫いのオン/オフを切り替えます。面の設定がオフのときは、面の縫製は行われません。（糸色または縫い方の設定はできません。）（詳しくは、P.149の「面の設定」を参照してください。）
	線の色、面の色、文字の色、パンチングの色： 輪郭線、面、文字、マニュアルパンチングデータの糸色を設定します。詳しくは、P.150の「糸色」を参照してください。 特別色（詳しくは、P.151の「特別色」を参照してください。）
	線の縫い方： 輪郭線の縫い方を設定します。（詳しくは、P.151の「縫い方の種類」を参照してください。）
	面の縫い方、モノグラムの縫い方： 面部、文字、モノグラム、マニュアルパンチングデータの縫い方を設定します。（詳しくは、P.151の「縫い方の種類」を参照してください。）

糸色と縫い方を設定する

刺しゅうデータに糸色と縫い方を設定します。輪郭線や面がある刺しゅうデータには、それぞれ異なる糸色と縫い方を設定できます。面にグラデーションを設定すると、異なる色を追加してブレンディングを行うことができます。（グラデーションについては、P.164の「グラデーションを作成する」を参照してください。）文字データには、1文字ごとに糸色と縫い方を設定できます。

輪郭線と面がある刺しゅうデータとは、TrueTypeフォントから変換された文字、円、扇形、円弧と弦、長方形、24種類の図形、閉じた直線、閉じた曲線のことです。これらの刺しゅうデータには、輪郭線と面部の縫う/縫わないの設定ができます。

円弧、開いた直線/曲線などの輪郭線だけの刺しゅうデータの場合、輪郭線を縫う/縫わないが設定できます。






ソフトウェア内蔵の書体やマニュアルパンチングデータで作成された刺しゅうデータは、面だけの輪郭線のないデータで、輪郭線部を縫う/縫わないは設定できません。

マニュアルパンチングデータでは、糸色と縫い方を設定できます。

■ 線の設定

輪郭線縫いのオン/オフを切り替えます。

メモ：

- **線の設定** ボタンは、選択ツールが選択されていて、刺しゅうデータが選択されていないとき、または、輪郭線（TrueTypeフォントから変換された文字、円弧、扇形、円弧と弦、長方形、24種類の図形、閉じられた直線と曲線）のある刺しゅうデータが選択されているとき、ツールボックスの 、、、、 を選択しているときに使用できます。
- 線縫いがオフのときは、線の縫製は行われません。（糸色または縫い方の設定はできません。）

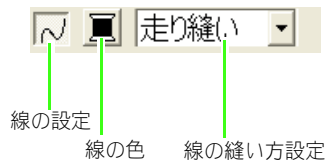
1. 線の設定ボタンをクリックします。

オン/オフにより、表示が変わります。

オン：**線の色** ボタンと**線の縫い方** セレクタが表示されます。

オフ：**線の色** ボタンと**線の縫い方** セレクタは表示されません。

ボタンをクリックするごとに、オン/オフが交互に切り替わります。

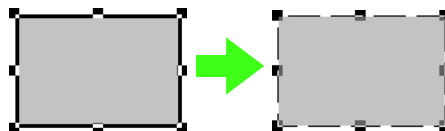


→ 設定を変更するまで、今後作成するすべての輪郭線に、この設定が適用されます。


→ 刺しゅうデータが選択されていると、その刺しゅうデータにも設定が適用されます。

線縫いオン：

線縫いオフ：








2. 輪郭線の設定をオンにするには、線の設定ボタンを再度クリックします。

 P.150の「糸色」およびP.151の「縫い方の種類」

■ 面の設定

面縫いのオン/オフを切り替えます。

メモ：

- **面の設定** ボタンは、選択ツールが選択されていて、刺しゅうデータが選択されていないとき、または、面（文字、円、扇形、円弧と弦、長方形、24種類の図形、閉じた直線、閉じた曲線）のある刺しゅうデータが選択されているとき、ツールボックスの 、、、、 を選択しているときに使用できます。
- オフのときは、縫製は行われず、その糸色や縫い方の設定はできません。

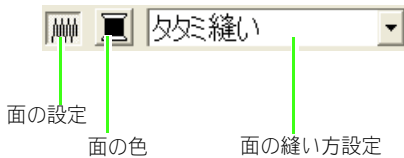
1. 面の設定ボタンをクリックします。

オン/オフにより、表示が変わります。

オン：**面の色**ボタンと**面の縫い方**セレクトが表示されます。

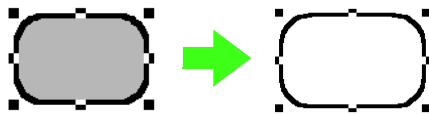
オフ：**面の色**ボタンと**面の縫い方**セレクトは表示されません。

ボタンをクリックするごとに、オン/オフが交互に切り替わります。




→ 設定を変更するまで、今後作成するすべての面に、この設定が適用されます。

→ 刺しゅうデータが選択されていると、その刺しゅうデータにも設定が適用されます。



2. 面の設定をオンにするには、面の設定ボタンを再度クリックします。

 P.150 の「糸色」および P.151 の「縫い方の種類」

注意：

データが直線または曲線ツールを使用して、閉じた線として描かれている場合でも、データの輪郭がそれ自体で交差していると、面縫いの属性を閉じた線の内側に設定することはできません。

■ 糸色

輪郭線や面部、文字データやマニュアルパンチングデータの糸色を設定します。

メモ：

- **線の色**と**面の色**ボタンは、選択ツールが選択され、刺しゅうデータが選択されていない場合に、縫い方バーに表示されます（**線の設定**や**面の設定**ボタンがオフになっていないとき）。
- 描画ツールの1つまたは文字入力ツールを選択したとき、または既存の刺しゅうデータを選択しているときに表示されます。

1. 糸色ボタンをクリックします。

→ 次のような**線の糸色**ダイアログボックスが表示されます。



メモ：

- **詳細の表示** チェックボックスが選択されていると、左側のダイアログボックスが表示されます。このチェックボックスが選択されていない場合は、右側のダイアログボックスが表示されます。
- 詳細の表示モードで、糸色リストを色調順（暖色から寒色へ）に表示するには、糸色リストの**色**をクリックします。もう一度**色**をクリックすると、表示順が逆になります（寒色から暖色へ）。リストを元に戻すには、**色**の左側の口部分をクリックします。

2. 糸リストセクタから、糸のブランドまたはユーザー糸リストを選択します。

3. 糸色リストから、希望する色をクリックします。

メモ：

- 糸色をダブルクリックしても選択できません。
- 糸色一覧の下の4つのボタンには特別な機能があります。詳しくは、P.151 の「特別色」を参照してください。

4. OK をクリックします。

メモ：

操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

→ 設定を変更するまで、今後作成するすべての刺しゅうデータに、この設定が適用されます。線と面の糸色ボタンが、現在の色を表示します。

→ 刺しゅうデータが選択されていると、その刺しゅうデータに設定が適用されます。

☞ ユーザー系リストの設定方法や、ミシンでの糸色の扱いについては、P.164の「ユーザー系リストを作成・編集する」を参照してください。

☞ P.149の「線の設定」およびP.149の「面の設定」

■ 特別色



- **空白 (未定義)**：糸色表示機能のあるミシンでは、自動的に指定された糸色を表示しますが、実際にミシンを使って縫製する際、そのときに応じて色を決めたいときに、「空白」を指定します。

- 次の3つの特別色を使って、アップリケを作成できます。

アップリケピース：アップリケにする布などを切り取るための輪郭線を縫います。

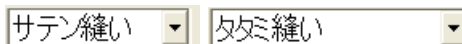
アップリケの位置：上記の作業で作成されたアップリケを縫い付ける布に、アップリケ位置のガイド線を縫います。

アップリケ：アップリケを縫い付けます。

📖 メモ：

アップリケウィザードを使って簡単にアップリケを作成することもできます。詳しくは、P.169の「アップリケを作成する（アップリケウィザード）」を参照してください。

■ 縫い方の種類



輪郭線、面、文字、マニュアルパンチングデータの縫い方を設定します。

📖 メモ：

- **線の縫い方と面の縫い方**セレクトは、選択ツールが選択されている場合に縫い方バーに表示されます（**線の設定**や**面の設定**ボタンでオフになっていないとき）。
- 描画ツールの1つを選択するか既存のデータを選択すると、そのデータの縫い方セレクトが表示されます。

1. 縫い方の種類セレクトをクリックします。

→ 縫い方の種類セレクト表示される、設定できる縫い方は選択した刺しゅうデータにより異なります。

刺しゅうデータの種類	線の縫い方設定	面の縫い方設定
文字 (内蔵フォント、オリジナルフォント、モノグラム)	なし	サテン縫い、タタミ縫い、プログラムタタミ縫い
文字 (TrueTypeフォント)	サテン縫い、走り縫い、3重縫い、モチーフ縫い、E/Vステッチ	サテン縫い、タタミ縫い、プログラムタタミ縫い、パイピング縫い、モチーフ縫い
ミニサイズ文字	なし	なし
マニュアルパンチングデータ	なし	サテン縫い、タタミ縫い、プログラムタタミ縫い、パイピング縫い、モチーフ縫い
その他	サテン縫い、走り縫い、3重縫い、モチーフ縫い、E/Vステッチ	サテン縫い、タタミ縫い、プログラムタタミ縫い、パイピング縫い、モチーフ縫い、クロスステッチ、同心円縫い、放射縫い、渦巻き縫い、スティップリング

2. 希望する縫い方の種類をクリックします。

→ 設定を変更するまで、今後作成するすべての刺しゅうデータに、この設定が適用されます。

→ 刺しゅうデータが選択されていると、その刺しゅうデータに設定が適用されます。


注意：


縫い方の詳細設定は**縫い方の設定**ダイアログボックスで行えます。
プログラムタタミ縫い、**モチーフ縫い**、**パイピング縫い**（モチーフ縫いチェックボックス選択時）を選択した場合は、**縫い方の設定**ダイアログボックスでパターンも選択してください。（パターンの初期設定はありません。）

📖 P.149の「線の設定」、P.149の「面の設定」、および次の「縫い方の詳細設定をする」

縫い方の詳細設定をする

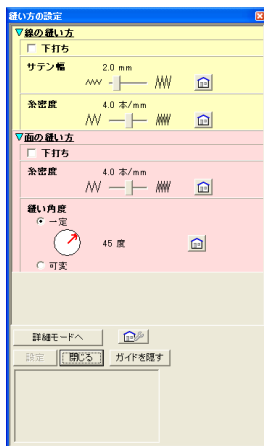
線と面に対する様々な縫い方の設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。

ツールバーボタン： 

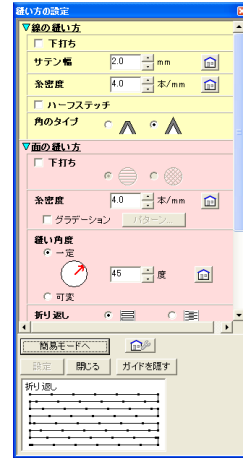
1. ツールボックスの描画ツールをクリックするか、既存の刺しゅうデータを選択します。
2. ツールバーの  をクリックします。

→ **縫い方の設定**ダイアログボックスが表示されます。

簡易モード：



詳細モード：



メモ：

- メニューバーの**縫い方**→**縫い方の設定**を選択しても、このダイアログボックスを表示できます。
- ダイアログボックスに表示される縫い方の設定内容は、選択されている縫い方の種類によって異なります。


3. 基本的な縫い方と簡単な設定のみを表示するには、**簡易モードへ**をクリックします。
 選択した縫い方に指定できるすべての設定を表示するには、**詳細モードへ**をクリックします。


メモ：

- 簡易モードで表示されない設定は、詳細モードでの設定値が保持されます。
- **ガイドを隠す**をクリックすると、ガイド表示領域が非表示になります。**ガイドを表示**をクリックすると、ガイド表示領域が表示されます。
ガイドを隠すボタンが表示されているときは、ガイド表示領域が表示され、カーソルを設定項目上に移動すると、縫い方のサンプルが表示されます。設定を変更するごとに、変更後の実際の変化をここで確認できます。

4. 必要に応じて、**線の縫い方**または**面の縫い方**の下に表示された各設定を変更します。

メモ：

- ダイアログボックスの大きさは、ダイアログボックスの端をドラッグすることで自由に変更できます。スクロールバーが表示されているときは、スクロールすることによりすべての設定を表示できます。
- 入力の方法は、表示モードによって異なります。詳細モードで数値を入力するには、直接数値を入力するか、スピンボタンで値を変更します。簡易モードでは、スライダを移動して設定を変更します。 ボタンをクリックすると標準設定に戻ります。

 縫い方の設定の各設定については、P.154 の「線の縫い方」と P.156 の「面の縫い方」を参照してください。
また、頻繁に使用する設定は保存できます。詳しくは、P.167 の「縫い方設定をリストに保存する」を参照してください。

注意：






縫い方の設定の各設定は、表示モードに関係なく、変更されるまで、現在設定されている内容が保持されます。

5. 新規設定を確定するには、ダイアログボックスの**設定**をクリックします。
6. **閉じる**をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

■ 線の縫い方

指定できる縫い方の設定は、選択した縫い方によって異なります。

サテン縫い

下打ち	下打ちのオン/オフを切り替えます。縫い縮みを防ぐために下打ちをします。 オン：下打ちを行います。 オフ：下打ちを行いません。 標準：オフ	
サテン幅	サテン幅を設定します。 範囲：1.0～10.0mm 標準：2.0mm	
糸密度	1mm当たりの糸数を設定します。 範囲：1.0～7.0本/mm 標準：4.0本/mm	
ハーフステッチ	ハーフステッチのオン/オフを切り替えます。 サテン縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、一定糸密度になるように自動的に調整されます。 描画ツールを使って作成した文字や図形に設定できます。 標準：オフ	オン：  オフ： 
角のタイプ	角をどのように縫うかを設定します。 標準： 	 




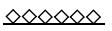
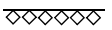
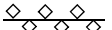
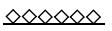
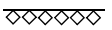
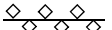
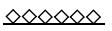
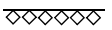
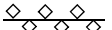


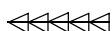


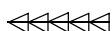


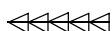


走り縫い

走りピッチ	線縫いの走りピッチを設定します。 範囲：1.0～10.0mm 標準：2.0mm
走り回数	輪郭として縫われる回数を設定します。 範囲：1～5回 標準：1回

3重縫い

走りピッチ	線縫いの走りピッチを設定します。 範囲：1.0～10.0mm 標準：2.0mm
-------	---

モチーフ縫い

走りピッチ	線縫いの走りピッチを設定します。 範囲：1.0 ～ 10.0mm 標準：10.0mm							
モチーフ		モチーフ縫いのパターンを選択します。  をクリックすると、 一覧 ダイアログボックスが表示されます。使用する .pmf ファイルがあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示してから OK をクリックしてパターンを選択します。						
	幅（横の長さ）	パターンの幅（線に沿った方向）を設定します。 範囲：2.0 ～ 100.0mm 標準：5.0mm						
	高さ（縦の長さ）	パターンの高さ（線と垂直の方向）を設定します。 範囲：2.0 ～ 100.0mm 標準：5.0mm						
	アレンジ1 （縦配列）	パターンの縦の配列を設定します。  のようなパターンでは、右図のような線に沿って配列されます。 <table border="0" data-bbox="1057 633 1232 749"> <tr> <td>標準:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>反転:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交互:</td> <td></td> </tr> </table>	標準:		反転:		交互:	
	標準:							
反転:								
交互:								
アレンジ2 （横配列）	パターンの横の配列を設定します。  のようなパターンでは、右図のような線に沿って配列されます。 <table border="0" data-bbox="1057 770 1232 886"> <tr> <td>標準:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>反転:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交互:</td> <td></td> </tr> </table>	標準:		反転:		交互:		
標準:								
反転:								
交互:								
スペース	パターンの間隔（線に沿った方向）を設定します。 最小：パターンによって異なります 最大：100.0mm 標準：0.0mm 							

E/V ステッチ

E ステッチ V ステッチ	E ステッチかV ステッチかを選択します。		
	間隔	ストロークの間隔を設定します。 範囲：1.0 ~ 20.0mm 標準：5.0mm	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>E ステッチ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>V ステッチ</p> </div> </div>
	ストローク幅	パターンの高さ（線と垂直の方向）を設定します。 範囲：1.0 ~ 10.0mm 標準：2.5mm	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>E ステッチ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>V ステッチ</p> </div> </div>
	走りピッチ	線縫いの走りピッチを設定します。 範囲：1.0 ~ 10.0mm 標準：2.0mm	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>E ステッチ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>V ステッチ</p> </div> </div>
	走り回数	線縫いの縫われる回数を設定します。V ステッチではストローク部分も走り回数に含まれます。 範囲：1, 3, 5 回 標準：1 回	
	ストローク回数	ストローク部分の縫われる回数を設定します。 E ステッチ が選択されているときのみ有効です。 範囲：1 ~ 3 回 標準：1 回	
ストロークの向き	ストロークの向きを設定します。	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>E ステッチ</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>V ステッチ</p> </div> </div>	







■ 面の縫い方

指定できる縫い方の設定は、選択した縫い方によって異なります。

サテン縫い

下打ち	<p>下打ちのオン/オフを切り替えます。縫い縮みを防ぐために下打ちをします。 オン：下打ちを行います。 オフ：下打ちを行いません。 標準：オフ</p> <p>[タイプ] 下打ちの縫い種類を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字とマニュアルパンチングデータの場合 <p>端：パターンの端を下打ちします。 サテン縫い：パターンをサテン縫いで下打ちします。 すべて：パターンを端とサテン縫いで下打ちします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他のパターンの場合 <p>1 重縫い：指定された縫い方向に対して垂直に縫います。 2 重縫い：指定された縫い角度に対して 45度および -45度 に縫います。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>端</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>サテン縫い</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>すべて</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>1 重縫い</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>2 重縫い</p> </div> </div>
糸密度	1mm 当たりの糸数を設定します。 範囲：1.0 ~ 7.0 本/mm 標準：4.0 本/mm	
グラデーション	糸密度のグラデーションのオン/オフを切り替えます。この設定は、マニュアルパンチングデータには設定できません。 縫い角度のタイプが 一定 に設定されている場合に設定できます。 パターン をクリックして、グラデーションのパターンを設定します。 標準：オフ この設定について詳しくは、P.164 の「グラデーションを作成する」を参照してください。	



刺しゅうデータを編集する（レイアウトセンター）

縫い角度	<p>[タイプ] 縫い方向の種類を設定します。この設定は、マニュアルパンチングデータには設定できません。</p> <p>一定：一定の角度で縫います。下記で角度を設定します。</p> <p>可変：面の形状に合わせて縫い方向を変えます。</p> <p>[角度] 縫い方向の角度を設定します。</p> <p>縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。</p> <p>範囲：0～359度 標準：45度</p>	
ハーフステッチ	<p>ハーフステッチのオン/オフを切り替えます。</p> <p>縫い角度のタイプが可変に設定されている場合に設定できます。</p> <p>サテン縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、一定糸密度になるように自動的に調整されます。</p> <p>標準：オフ</p>	<p>オン：</p> <p>オフ：</p>
内部走り経路	<p>面内部の走り縫いの経路を設定します。この設定は、マニュアルパンチングデータには設定できません。</p> <p>縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。</p> <p>指定できる設定：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面の内部（図形内部の最短経路） ・輪郭線沿い（図形の輪郭線の内側の線上の最短経路） ・輪郭線上（図形の輪郭線上の最短経路） <p>グラデーションがオフに設定されている場合にのみ、面の内部を設定できます。</p> <p>標準：面の内部</p>	<p>面の内部 </p> <p>輪郭線沿い </p> <p>輪郭線上 </p>
縮み補正	<p>縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。</p> <p>範囲：0.0～2.0mm 標準：0.0mm</p>	






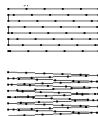







メモ：

マニュアルパンチングの詳細については、P.125 の「マニュアルパンチングデータを作成する」を参照してください。

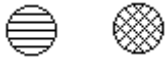

タタミ縫い

下打ち	<p>下打ちのオン/オフを切り替えます。縫い縮みを防ぐために下打ちをします。</p> <p>オン：下打ちを行います。</p> <p>オフ：下打ちを行いません。</p> <p>標準：オフ</p> <p>[タイプ] 下打ちの縫い種類を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字とマニュアルパンチングデータの場合 <p>端：パターンの端を下縫いします。</p> <p>サテン縫い：パターンをサテン縫いで下縫いします。</p> <p>すべて：パターンを端とサテン縫いで下縫いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のパターンの場合 <p>1 重縫い：指定された縫い方向に対して垂直に縫います。</p> <p>2 重縫い：指定された縫い角度に対して 45度および -45度 に縫います。</p>	<p>端 サテン縫い すべて</p>  <p>1 重縫い 2 重縫い</p> 
糸密度	<p>1mm 当たりの糸数を設定します。</p> <p>範囲：1.0～7.0本/mm 標準：4.0本/mm</p>	
グラデーション	<p>糸密度のグラデーションのオン/オフを切り替えます。この設定は、マニュアルパンチングデータには設定できません。</p> <p>縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。</p> <p>パターンをクリックして、グラデーションのパターンと密度を設定します。</p> <p>標準：オフ</p> <p>この設定について詳しくは、P.164 の「グラデーションを作成する」を参照してください。</p>	











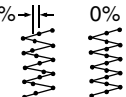
刺しゅうデータを編集する（レイアウトセンター）

<p>縫い角度</p>	<p>[タイプ] 縫い方向の種類を設定します。この設定は、マニュアルパンチングデータには設定できません。 一定：一定の角度で縫います。下記で角度を設定します。 可変：面の形状に合わせて縫い方向を変えます。 [角度] 縫い方向の角度を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 範囲：0～359度 標準：45度</p>	
<p>折り返し</p>	<p>ステッチの折り返しパターンを指定します。 指定できる設定：,  標準： (文字以外のすべての刺しゅうデータ)  (文字)</p>	
<p>ハーフステッチ</p>	<p>ハーフステッチのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが可変に設定されている場合に設定できます。 タタミ縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、一定糸密度になるように自動的に調整されます。 標準：オフ</p>	<p>オン： オフ：</p>
<p>内部走り経路</p>	<p>面内部の走り縫いの経路を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 指定できる設定： ・面の内部 (図形内部の最短経路) ・輪郭線沿い (図形の輪郭線の内側の線上の最短経路) ・輪郭線上 (図形の輪郭線上の最短経路) グラデーションがオフに設定されている場合にのみ、面の内部を設定できます。 標準：面の内部</p>	<p>面の内部  輪郭線沿い  輪郭線上 </p>
<p>縫いピッチ</p>	<p>縫いピッチを設定します。 範囲：1.0～10.0mm 標準：4.0mm</p>	<p>縫いピッチ </p>
<p>偏差</p>	<p>縫い目のずらし具合を設定します。 範囲：0～99% 標準：30%</p>	<p>30%  0% </p>
<p>縮み補正</p>	<p>縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。 範囲：0.0～2.0mm 標準：0.0mm</p>	


プログラムタタミ縫い

<p>下打ち</p>	<p>下打ちのオン/オフを切り替えます。縫い縮みを防ぐために下打ちをします。 オン：下打ちを行います。 オフ：下打ちを行いません。 標準：オフ [タイプ]下打ちの縫い種類を設定します。 ・文字とマニュアルパンチングデータの場合 端：パターンの端を下縫いします。 サテン縫い：パターンをサテン縫いで下縫いします。 すべて：パターンを端とサテン縫いで下縫いします。 ・他のパターンの場合 1 重縫い：指定された縫い方向に対して垂直に縫います。 2 重縫い：指定された縫い角度に対して45度および-45度に縫います。</p>	<p>端 サテン縫い すべて</p>  <p>1 重縫い 2 重縫い</p> 
<p>糸密度</p>	<p>1mm 当たりの糸数を設定します。 範囲：1.0 ～ 7.0 本/mm 標準：4.0 本/mm</p>	
<p>グラデーション</p>	<p>糸密度のグラデーションのオン/オフを切り替えます。この設定は、マニュアルパンチングデータには設定できません。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 パターンをクリックして、グラデーションのパターンと密度を設定します。 標準：オフ この設定について詳しくは、P.164 の「グラデーションを作成する」を参照してください。</p>	
<p>縫い角度</p>	<p>[タイプ]縫い方向の種類を設定します。この設定は、マニュアルパンチングデータには設定できません。 一定：一定の角度で縫います。下記で角度を設定します。 この角度は、角度の設定で指定します。 可変：面の形状に合わせて縫い方向を可変します。 [角度]縫い方向の角度を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 範囲：0 ～ 359 度 標準：45 度</p>	
<p>ハーフステッチ</p>	<p>ハーフステッチのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが可変に設定されている場合に設定できます。 タタミ縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、一定糸密度になるように自動的に調整されます。 標準：オフ</p>	<p>オン：</p> <p>オフ：</p>
<p>内部走り経路</p>	<p>面内部の走り縫いの経路を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 指定できる設定： ・面の内部（図形内部の最短経路） ・輪郭線沿い（図形の輪郭線の内側の線上の最短経路） ・輪郭線上（図形の輪郭線上の最短経路） グラデーションがオフに設定されている場合にのみ、面の内部を設定できます。 標準：面の内部</p>	<p>面の内部 </p> <p>輪郭線沿い </p> <p>輪郭線上 </p>
<p>縮み補正</p>	<p>縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。 範囲：2.0 ～ 10.0mm 標準：0.0mm</p>	

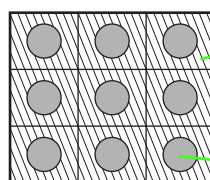
刺しゅうデータを編集する（レイアウトセンター）

プログラム タタミ		プログラムタタミのパターンを選択します。  をクリックすると、 一覧 ダイアログボックスが表示されます。使用する .pmf ファイルがあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示してから OK をクリックしてパターンを選択します。	
	幅（横の長さ）	プログラムタタミパターンの幅を設定します。 範囲：5.0～10.0mm 標準：7.5mm	
	高さ（縦の長さ）	プログラムタタミパターンの高さを設定します。 範囲：5.0～10.0mm 標準：7.5mm	
	縫い角度	プログラムタタミパターンの角度を回転できます。 範囲：0～359度 標準：0度 	
	オフセット	オフセット方向	パターン配列の 横 / 縦 のオフセット方向を設定します。 横  縦 
		オフセット値	パターン配列のオフセット（ずらし）量を設定します。 範囲：0～99% 標準：0%
	ベースの縫い方を指定します。	折り返し	ステッチの折り返しパターンを指定します。 ベースの縫い方 がオンに設定されている場合に設定できます。 指定できる設定：  ,  標準：  （文字以外のすべての刺しゅうデータ）  （文字）
		縫いピッチ	プログラムタタミ縫いのベースの縫い方に縫いピッチを設定します。 ベースの縫い方 がオンに設定されている場合に設定できます。 範囲：1.0～10.0mm 標準：4.0mm 
		偏差	プログラムタタミ縫いのベースの縫い方に、縫い目のずらし具合を設定します。 ベースの縫い方 がオンに設定されている場合に設定できます。 範囲：0～99% 標準：30% 

パターン





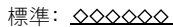








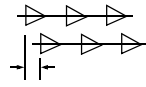
縫い沈め、または浮き上がり効果を設定した面



プログラムタタミ縫いのベースの縫い方（斜線で示したパターン以外の領域）で設定された縫い方で縫われます。

パターンファイルで設定された縫い方で縫われます。

モチーフ縫い

モチーフ	<p>モチーフ縫いにパターン1とパターン2のいずれを使うかを選択します。パターン1と2を選んだ場合は、各列で交互に縫製されるように設定されます。</p> <p>パターン1のみ：パターン1のみを使います。（標準）</p> <p>パターン2のみ：パターン2のみを使います。</p> <p>パターン1と2：パターン1と2を使います。</p>	
		<p>モチーフ縫いのパターンを選択します。</p> <p> をクリックすると、一覧ダイアログボックスが表示されます。使用する .pmf ファイルがあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示してから OK をクリックしてパターンを選択します。</p>
	幅 (横の長さ)	<p>モチーフパターンの幅 (線に沿った方向) を設定します。</p> <p>範囲：2.0 ~ 100.0mm 標準：5.0mm</p>
	高さ (縦の長さ)	<p>モチーフパターンの高さ (線と垂直の方向) を設定します。</p> <p>範囲：2.0 ~ 100.0mm 標準：5.0mm</p>
	パターン1 パターン2	<p>モチーフパターンの縦の配列を設定します。<input type="checkbox"/> のようなパターンでは、右図のような線に沿って配列されます。</p> <p>標準：</p> <p>反転：</p> <p>交互：</p>
	パターン1 パターン2	<p>モチーフパターンの横の配列を設定します。<input type="checkbox"/> のようなパターンでは、右図のような線に沿って配列されます。</p> <p>標準：</p> <p>反転：</p> <p>交互：</p>
	スペース横 (横の間隔)	<p>モチーフパターンの横の間隔を設定します。</p> <p>最小：パターンによって異なります 負の値も設定できます。</p> <p>最大：100.0mm 標準：0.0mm</p> <p>スペース横 </p>
	スペース縦 (縦の間隔)	<p>モチーフパターンの縦の間隔を設定します。</p> <p>最小：パターンによって異なります 負の値も設定できます。</p> <p>最大：100.0mm 標準：0.0mm</p> <p>スペース縦 </p>
	縫い角度	<p>モチーフ縫いの縫い角度を設定します。</p> <p>この設定は、マニュアルパンチングデータには設定できません。</p> <p>範囲：0 ~ 359度 標準：0度</p> <p></p>
	オフセット量	<p>パターン配列の各列のオフセット (ずらし) 量を設定します。</p> <p>範囲：0.0 ~ 100.0mm 標準：0.0mm</p> <p></p>
走りピッチ	<p>縫いピッチを設定します。</p> <p>範囲：1.0 ~ 10.0mm 標準：10.0mm</p>	

クロスステッチ

サイズ	格子の縦横のサイズを設定します。 詳細モードでは、単位として mm またはカウントで設定します。どちらの単位で設定しても、もう一方の単位も連動して設定されます。 範囲：1.5 ～ 5.0mm 標準：2.5mm または 10 カウント
縫い方	縫い回数を設定します。 範囲：2 重縫い、4 重縫い、6 重縫い 標準：2 重縫い

同心円縫い、放射縫い、渦巻き縫い

同心円縫いと放射縫いの中心点の移動について詳しくは、P.112 の「中心点を移動する」を参照してください。

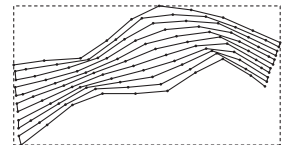
糸密度	1mm 当たりの糸数を設定します。 範囲：0.2 ～ 7.0 本 /mm 標準：2.0 本 /mm
走りピッチ	走りピッチを設定します。 範囲：1.0 ～ 10.0mm 標準：2.0mm

スティップリング

走りピッチ	縫いピッチを設定します。 範囲：1.0 ～ 10.0mm 標準：2.0mm
スペース	隣り合う線縫いの平均間隔を設定します。 範囲：2.0 ～ 50.0mm 標準：10.0mm

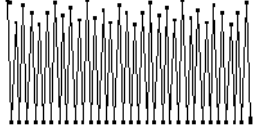


パイピング縫い

ブロックの進行方向に沿って縫い目を作成します。



縫い角度	縫い方向の角度を設定します。 マニュアルパンチングデータには使用できません。 設定された角度に縫製されます。 範囲：0 ～ 359 度 標準：0 度	
糸密度	1mm 当たりの糸数を設定します。 モチーフ縫い がオフのときに設定します。 範囲：0.1 ～ 5.0 本 /mm 標準：1.0 本 /mm	
走りピッチ	線縫いの走りピッチを設定します。 モチーフ縫い がオフのときに設定します。 範囲：1.0 ～ 10.0mm 標準：4.0mm	
偏差	縫い目のずらし具合を設定します。 モチーフ縫い がオフのときに設定します。 範囲：0 ～ 99% 標準：30%	
モチーフ縫い	モチーフ縫いのオン/オフを切り替えます。 オン：モチーフ縫いがオンになります。 オフ：モチーフ縫いがオフになります。 標準：オフ この設定について詳しくは、P.155 の「モチーフ縫い」を参照してください。（ただし、 角度 は使用できません。）	

マニュアルパンチング

ぼかし縫い	ぼかし縫いを縫い方向に対してどちら側に適用するかを設定します。 ブロックの縫い方がサテン縫い、タタミ縫い、プログラムタタミ縫いの ときに設定します。 上側：上側にぼかし縫いを行います。 下側：下側にぼかし縫いを行います。 マニュアルパンチングツールでデータを作成すると、構成点 1-3 が上側、 構成点 2-4 が下端になります。		上端にぼかし縫いを設定 した場合 
		ぼかし縫いのパターンを選択します。  をクリックすると、 一覧 ダイアログボックスが表示されます。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示してから OK をクリックしてパターンを選択します。	
	最大幅	ぼかし縫いの幅を設定します。 範囲：0.2 ~ 100.0mm 標準：3.0mm	

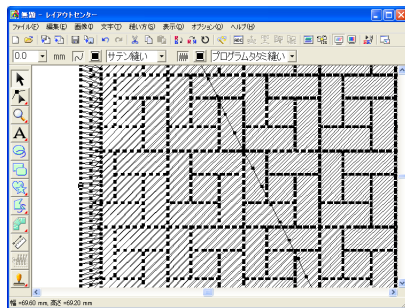
プログラムタタミ縫いとスタンプに関する注意

プログラムタタミ縫いやスタンプを設定する場合、縫い方とパターン角度によっては、パターンの効果が十分に現れない場合があります。これは、パターンのデータと縫いが交わる所に針落ちデータを作成するためです。

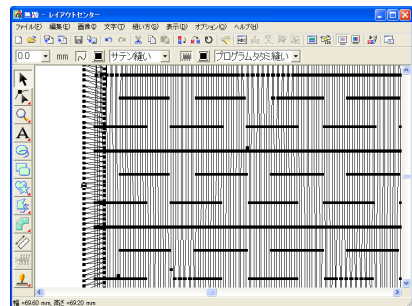
したがって、プログラムタタミ縫いやスタンプを設定する場合は、必ずプレビュー機能を使って縫い角度、パターン角度が正しいか確認してください。効果的な角度の値を得るため、別の縫い角度を試して比較してみてください。

プログラムタタミ縫いの例：

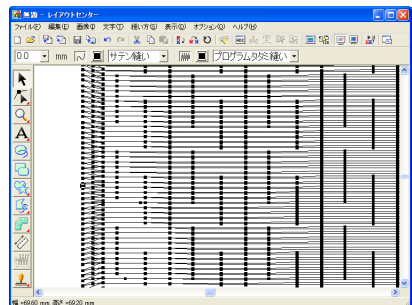
例 1
縫い角度：45 度（標準）




例 2
縫い角度：90 度



例 3
縫い角度：0 度

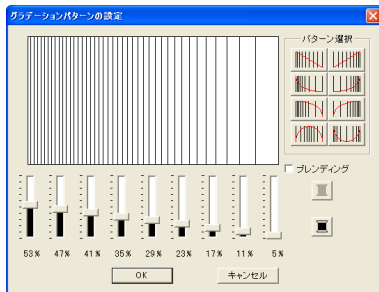



 P.175の「縫製イメージをプレビューする」およびP.257の「パターンの作成（ステッチクリエイター）」

グラデーションを作成する

1色または2色の糸密度を調整して、独自のグラデーションパターンを作成できます。


1. **縫い方の設定**ダイアログボックスの詳細モードで、**面の設定**の下の**グラデーション**チェックボックスをチェックします。
2. **パターン**をクリックします。
→ **グラデーションパターンの設定**ダイアログボックスが表示されます。



3. 糸色を変えるには、をクリックします。**糸色**ダイアログボックスから色を選択してOKをクリックします。
4. グラデーションのパターンを選びます。**パターン選択**から希望するボタンをクリックします。
5. グラデーションの糸密度を調節します。スライダを動かします。

メモ:

変更結果がプレビュー領域に表示されます。

6. 2色を混ぜる場合は、**ブレンディング**チェックボックスを選択し、**ブレンディング**の下のをクリックします。**糸色**ダイアログボックスから色を選択してOKをクリックします。
7. **OK**をクリックします。

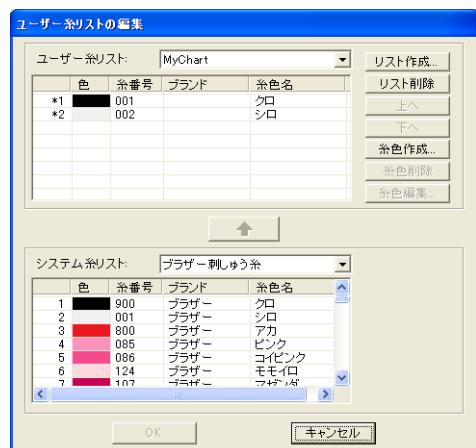
メモ:

- **ブレンディング**のチェックが外れている場合は、グラデーション設定では残りの色が適用されます。
- 設定を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

ユーザー糸リストを作成・編集する

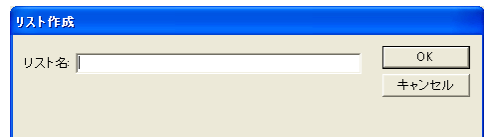
ユーザー糸リストとは、よく使う糸やお手持ちの糸を登録するなど独自に作成、編集することができるリストです。システム糸リストからの糸データを組み合わせたり、新規の糸データを作成することもできます。

1. **メニューバーのオプション**→**ユーザー糸リストの編集**をクリックします。
→ ユーザー糸リストの編集ダイアログボックスが表示されます。



■ 新しい糸リストを作成する

1. **リスト作成**をクリックします。
→ **リスト作成**ダイアログボックスが表示されます。



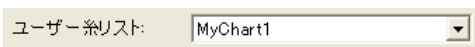
2. リスト名を入力し **OK** をクリックすると、その名前のリストが登録されます。

メモ:

登録されたリストは、**ユーザー糸リスト**のリストボックスから選択し、内容を編集することができます。

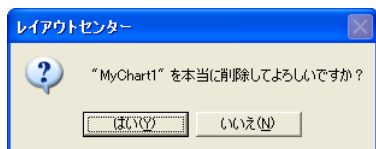
■ 糸リストを削除する

1. ユーザー糸リストのリストボックスから削除したいリストを選択します。



2. リスト削除をクリックします。

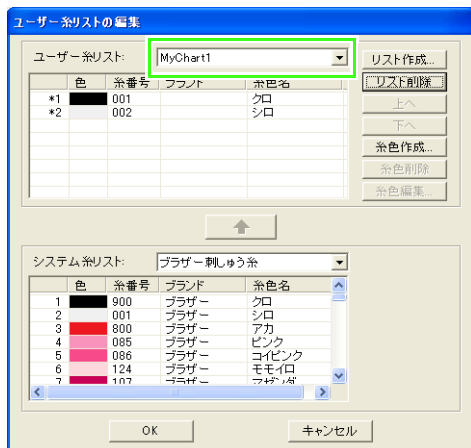
→ 次のメッセージが表示されます。



3. はいをクリックすると、そのリストが削除されます。

■ 糸リストを編集する

1. ユーザー糸リストのリストボックスから編集したいリストを選択します。



💡 注意：

ユーザー糸リストが何も選択されていない状態では編集作業は行えません。


■ システム糸リストから糸色を追加する

1. システム糸リストのリストボックスから追加したい糸のブランドを選択し、クリックします。

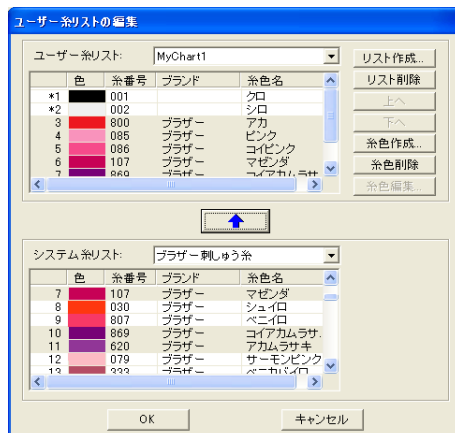
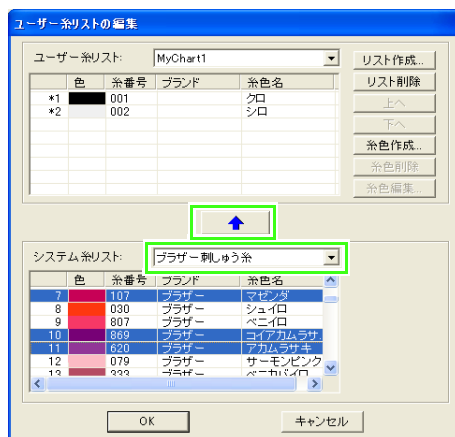
2. ダイアログボックスの下のリストから追加したい糸色をクリックします。

📖 メモ：

複数の色を選択するときは、**(Shift)** キーまたは **(Ctrl)** キーを押しながら糸色をクリックします。

3.  をクリックします。

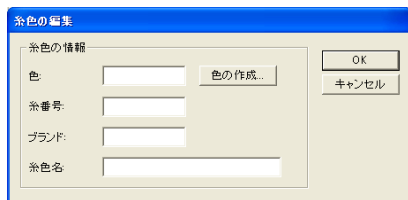
→ 選択した糸色がユーザー糸リストに追加されます。



■ 新しい糸色を追加する

1. 糸色作成をクリックします。

→ **糸色の編集**ダイアログボックスが表示されます。



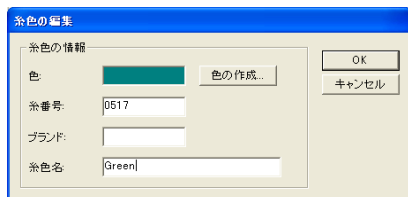
2. 色を登録します。色の作成をクリックします。

→ 次のようなダイアログボックスが表示されます。



3. 設定したい色を選択し、OKをクリックします。糸色の編集ダイアログボックスにその色が表示されます。

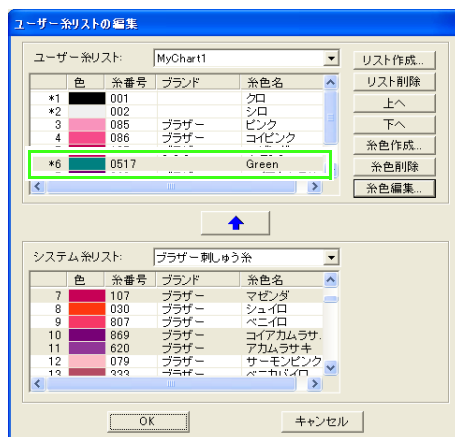
4. 必要に応じて、糸番号、ブランド、糸色名のボックスに、数字や文字を入力します。



メモ：

糸番号は、数字のみ入力できます。

5. OKをクリックすると、新しい糸色がユーザー糸リストに追加されます。



メモ：

新しく追加された糸色は、行の左端に（*）マークが付きます。

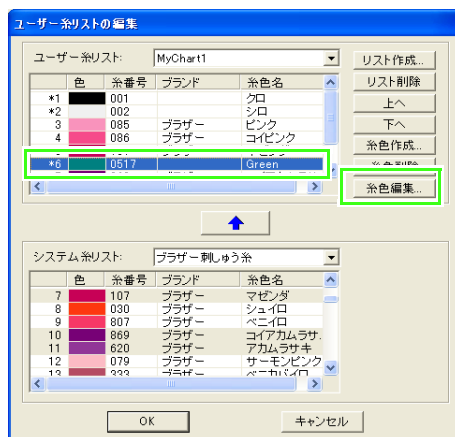
■ 糸色を削除する

ユーザー糸リストに登録されている糸色を削除する場合は、**ユーザー糸リスト**の糸色一覧の削除したい糸色をクリックし、**糸色削除**をクリックします。

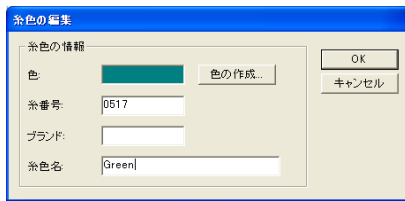
■ 糸色を編集する

ユーザー糸リストに登録されている糸色は、色や糸番号等を変更することができます。

1. ユーザー糸リストの糸色一覧の編集したい糸色をクリックし、糸色編集をクリックします。



→ 次のダイアログボックスが表示されます。



2. 新しい糸色の追加と同様に、糸色の情報を編集します。

メモ：

編集された糸色は、新しく追加された糸色と同様に、行の左端に（*）マークが付きます。

■ 糸色の順序を変更する

ユーザー系リストの糸色一覧の順序を変更したい糸色をクリックし、**上へ**または**下へ**をクリックします。

注意：

本プログラムで作成した刺しゅうデータをミシン上で扱う場合、ミシン上での糸色に関する表示は、ミシンにより異なります。

1. 糸色を表示する機能が無いミシン
設定された糸色の情報は、一切ミシンには表示されません。

2. 糸色を表示する機能があるミシン
各刺しゅうデータに設定された糸色の情報のうち、糸色のみがミシン上に表示されます。ただし、表示される糸色名はミシンが内蔵している糸色名に限られます。そのため、刺しゅうデータに設定された糸色に一番近い糸色をミシンに内蔵している糸色名から選択し、ミシンに表示されます。

3. データ糸色優先機能があるミシン
ミシンの中には、本ソフトウェアで設定された糸の情報を表示できる機種があります。そのミシンでは、刺しゅうデータに設定された糸情報のうち、糸色、糸色名、ブランド名、糸番号などが表示されます。ただし、編集もしくは追加した糸色（行の左端に*マークがついている糸色）は、糸番号のみが表示されます。

メモ：

編集したユーザー系リストは、別のパソコンで使うことができます。コピー元のパソコンの**刺しゅうPRO Ver.7** フォルダ（アプリケーションフォルダ）の **Color** フォルダから **chart2.btc** をコピーして、コピー先のパソコンの同じパスにある **Color** フォルダに貼り付けます。


よく使う縫い方を保存する

頻繁に使用する縫い方を保存し、縫い方を設定するときに呼び出すことができます。


メモ：

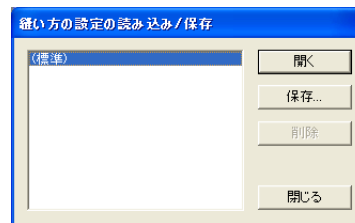
簡易モードと詳細モードのどちらの設定でも保存できます。

■ 縫い方の設定ダイアログボックスを表示する

1. ツールボックスの描画ツールをクリックするか、既存の刺しゅうデータを選択します。
2. ツールバーの  をクリックします。
→ **縫い方の設定**ダイアログボックスが表示されます。

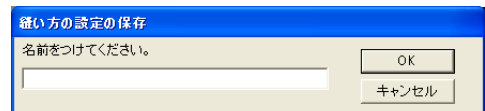
■ 縫い方設定をリストに保存する

1. 必要に応じて、**縫い方の設定**ダイアログボックスの設定を変更し、 をクリックします。
→ **縫い方の設定の読み込み/保存**ダイアログボックスが表示されます。



2. **保存**をクリックします。

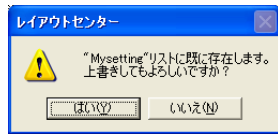
→ **縫い方の設定の保存**ダイアログボックスが表示されます。



3. 縫い方の設定に名前をつけ、その名前を入力し、OKをクリックします。**縫い方の設定の読み込み/保存**ダイアログボックスリストにその設定名が登録されます。

📖 メモ：

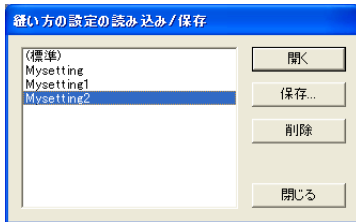
名前を付けて保存ダイアログボックスで入力した名前のファイルがすでに存在する場合は、次のメッセージが表示されます。



- 以前に登録した設定を上書きする場合は、**OK** をクリックします。
- 上書きしたくないときは、**いいえ** をクリックします。別の名前を入力して保存してください。

■ リストから設定を削除する

1. **縫い方の設定の読み込み/保存**ダイアログボックスで、削除する設定名を選択します。



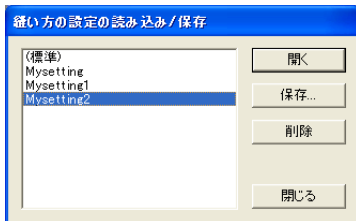
2. **削除**をクリックすると、選択した縫い方の設定がリストから削除されます。

📖 メモ：

(標準) は削除できません。

■ リストから縫い方の設定を呼び出す

1. **縫い方の設定の読み込み/保存**ダイアログボックスで、呼び出したい設定名を選択します。




📖 メモ：

複数の設定は選択できません。

2. **開く**をクリックします。

→ **縫い方の設定の読み込み/保存**ダイアログボックスが閉じられ、**縫い方の設定**ダイアログボックス内の設定が呼び出した設定に変わります。

📖 メモ：

保存した設定を変更して、その設定を保存するには、**縫い方の設定**ダイアログボックスで  をクリックし、次に**保存**を選択してから、設定名を変更しないで **OK** をクリックします。

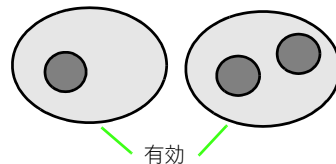
📖 メモ：

保存した設定は、別のパソコンで使うこともできます。コピー元のパソコンの**刺しゅうPRO Ver.7** フォルダ（アプリケーションフォルダ）の**settings** フォルダから **sastu.txt** をコピーして、コピー先のパソコンの同じパスにある **settings** フォルダに貼り付けます。

面縫いの二重縫いを防止する（ドーナツ縫い）

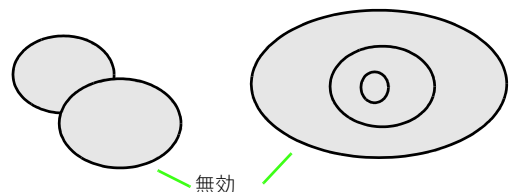
ドーナツ縫いを設定すると、重なった面の二重ぬいを防ぐことができます。ドーナツ縫いは、1つの面が他の面を完全に囲む場合にのみ設定できます。

1. 一对の刺しゅうデータを選択します。この例では、楕円が円を取り囲んでいます。



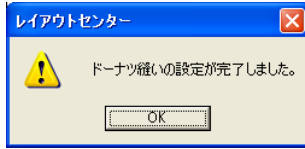
📖 メモ：

ドーナツ縫いは、1つの刺しゅうデータの内側に、別の刺しゅうデータが完全に囲まれて入っていないと設定できません。また文字データ、マニュアルパンチングデータ、ステッチデータには適用できません。

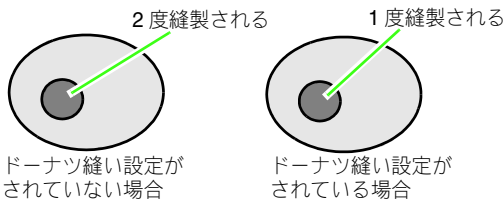
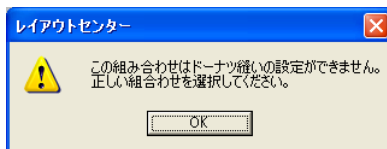


2. メニューバーの縫い方→ドーナツ縫いの設定をクリックします。

→ 選択された一対の刺しゅうデータにドーナツ縫いが設定されたときは、次のメッセージが表示されます。



→ 選択された一対の刺しゅうデータにドーナツ縫いが設定できないときは、次のメッセージが表示されます。



3. OK をクリックして、メッセージを閉じます。

メモ：

- 一対の刺しゅうデータにドーナツ縫いが設定されると、グループ化され、例えば 1 つの刺しゅうデータを動かすと、一対の刺しゅうデータが一緒に移動します。
- 3 つ以上のデータにドーナツ縫いを設定する場合は、まず 2 つのデータにドーナツ縫いを設定します。次に、グループ化した最初の 2 つのデータと次のデータを 1 つ選択して、ドーナツ縫いの設定を繰り返します。

注意：

ドーナツ縫いの設定の前と後でプレビューを表示すると、ドーナツ縫い設定で実際にどのように縫われるか確認できます。（詳しくは、P.175 の「縫製イメージをプレビューする」を参照してください。）

■ ドーナツ縫いを解除する

1. ドーナツ縫いが設定されている一対の刺しゅうデータを選択します。
2. メニューバーの縫い方→ドーナツ縫いの解除をクリックします。

この操作の後には、2 つの刺しゅうデータを別々に移動することができます。

アップリケを作成する（アップリケウィザード）

アップリケウィザードを使うと、アップリケデータを簡単に作成できます。

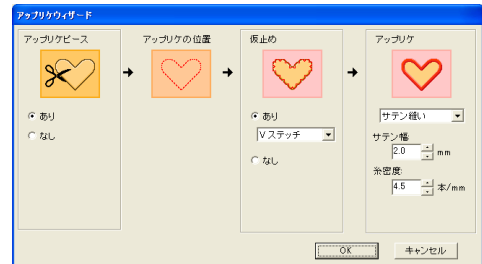
1. 円や正方形などの閉じた図形データを選択します。

メモ：

- 線が交差したデータは選択できません。
- アップリケウィザード終了後は、アップリケの作成用に使われた図形データは削除されます。

2. メニューバーの縫い方→アップリケウィザードをクリックします。

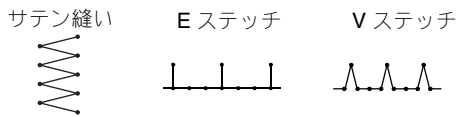
→ アップリケウィザードダイアログボックスが表示されます。



3. アップリケピースの切り取り線を縫製する / しないを選択します。縫製する場合はアップリケピースの下のありを、しない場合はなしをクリックします。

4. アップリケの位置 (アップリケを縫い付けるためのガイド線) が、自動的に縫製するように設定されます。

5. 仮止めの縫製をする場合は、**仮止め**の下の**あり**を、仮止めをしない場合は**なし**を選択します。**あり**を選択した場合は、セレクトから縫い目の種類を選択します。仮止めには、サテン縫い、Eステッチ、Vステッチを選択できます。



6. アププリケ縫いの縫い方の種類、各設定を指定します。**アププリケ**の下のセレクトまたはスピノボタンをクリックして、設定します。
7. **OK** をクリックして、アププリケウィザードを終了します。デザインページにアププリケデータが表示されます。





メモ：

操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。

表示方法を切り替える

刺しゅうデータをズームイン、ズームアウトして詳細部分や見えない部分を表示します。





ズームインを行う

1. ツールボックスの  をクリックします。
→ 5 つのボタン  が表示されます。
2.  をクリックします。
→ カーソルの形が  に変わります。
3. 拡大したい部分をクリックします。



メモ:

特定の部分を拡大するには、目的の場所を囲むようにドラッグします。


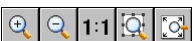

ズームアウトを行う

1. ツールボックスの  をクリックします。
→ 5 つのボタン  が表示されます。
2.  をクリックします。
→ カーソルの形が  に変わります。
3. 縮小したい部分をクリックします。




原寸で表示する

1. ツールボックスの  をクリックします。
→ 5 つのボタン  が表示されます。
2. **1:1** をクリックします。
→ デザインページがほぼ原寸で表示されます。

選択したデータを画面全体に表示する



1. ズームしたい 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。
2. ツールボックスの  をクリックします。
→ 5 つのボタン  が表示されます。
3.  をクリックします。
→ 選択した刺しゅうデータだけが、利用可能な画面スペースいっぱいに表示されます。

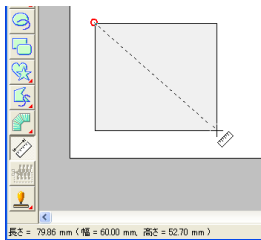
デザインページ全体を表示する

1. ツールボックスの  をクリックします。
→ 5 つのボタン  が表示されます。
2.  をクリックします。
→ デザインページが縮小または拡大され、デザインページ全体を表示します。

刺しゅうファイルを確認する

2点間の距離を測る

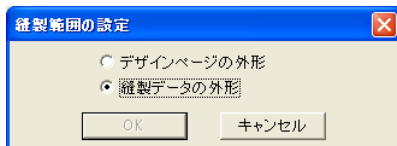
1. ツールボックスの  をクリックします。
→ カーソルの形が  に変わります。
2. 距離を測りたい刺しゅうデータの一方にカーソルを移動し、クリックします。
→ その場所に、測定の起点としての小さい丸が表示されます。
3. カーソルをドラッグすると、ステータスバーに測定値が表示されます。
長さは、始点と終点を結ぶ直線の長さを示します。
幅は、始点と終点を結ぶ直線の水平幅の長さを示します。
高さは、始点と終点を結ぶ直線の垂直高の長さを示します。



縫製範囲を設定する

縫製範囲を設定できます。

1. メニューバーの縫い方→縫製範囲の設定をクリックします。
→ 次のダイアログボックスが表示されます。



2. **デザインページの外形**または**縫製データの外形**を選択します。
3. **OK** をクリックします。

メモ：

操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

→ **デザインページの外形**を選択すると、縫製開始時に、針の位置が作業中のデザインページの中になるように、刺しゅうデータが作成されます。

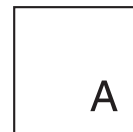
メモ：

デザインページの外形を選択すると、刺しゅうデータのサイズがデザインページの大きさになります。

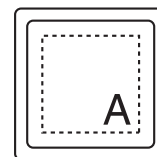
→ **縫製データの外形**を選択すると、縫製開始時に、針の位置が作業中の刺しゅうデータの中になるように、刺しゅうデータが作成されます。

メモ：

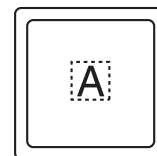
縫製データの外形では、実際の刺しゅうサイズの実寸が縫製範囲としてマシンに認識されるので、マシンのレイアウト機能がより発揮されます。



デザインページ (作業中画面)



縫製範囲 = デザインページの外形





縫製範囲 = 縫製データの外形

 P.100 の「デザインページのサイズと色を設定する」

縫い順 / 糸色を確認・変更する

刺しゅうデータの縫い順を確認、変更します。

ツールバーボタン: 


1.  をクリックするか、メニューバーの縫い方→縫い順 / 糸色をクリックします。


→ 次のような縫い順 / 糸色ダイアログボックスが表示されます。

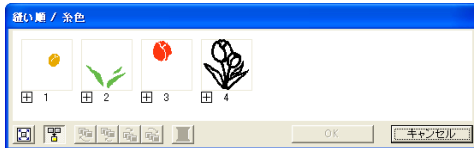


メモ:

このダイアログボックスは横方向に大きくすることができます。



 をクリックすると、それぞれの部分がコマいっぱいには拡大表示されます。

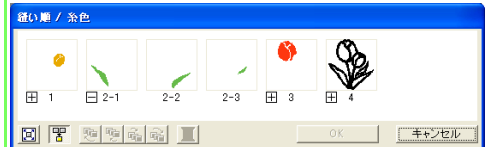
 を押すと、連続する同色の部分が組み合わされて1つのコマに表示されます。





2. OK をクリックすると、設定を確定し、ダイアログボックスは閉じます。

メモ:

- 同色の複数の部分を組み合わせる表示しているコマは、番号の左横に  が付きます。
 をクリックすると、部分ごとのコマが表示されます。



 は、連続する同色の部分の最初の部分であり、続いて同色の各部分が縫い順に表示されていることを示しています。

 をクリックすると、その色の部分を組み合わせた表示に戻ります。

- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。

刺しゅうデータを選択する

1. 縫い順 / 糸色ダイアログボックスで、コマを選択します。

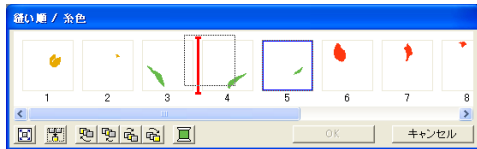
→ コマを選択すると、コマの枠がピンクになり、デザインページのそのコマの面の輪郭線が赤い破線が表示されます。

メモ:


- 複数のコマを選択するときは、**Shift** または **Ctrl** キーを押しながら、各コマをクリックします。または、選択するコマをすべて囲むようにドラッグします。
- 縫い順 / 糸色ダイアログボックス上で選択されているデータは、ダイアログボックスを閉じた後に選択状態になります。


縫い順を変更する


縫い順を変更するには、移動したい部分のコマを選択し、コマを新しい縫い順の位置にドラッグします。縦の赤い太い線が表示され、コマの移動先を示します。




ダイアログボックスの下のボタンをクリックしてもコマを動かすことができます。


 をクリックすると、縫い順を先頭に移動します。

 をクリックすると、縫い順が1つ前に移動されます。

 をクリックすると、縫い順が1つ後に移動されます。

 をクリックすると、縫い順が最後に移動されます。

メモ：

部分を組み合わせたコマを移動すると、部分ごとのコマで表示されます。その色の最初の部分の  をクリックすると、部分を組み合わせた表示に戻ります。部分を組み合わせたコマを、同色の部分を組み合わせたコマに連続する位置に移動すると、同色のコマはすべて部分ごとのコマで表示されます。

注意：

- ステッチ分割ツールで切り取った部分の縫い順は、最後へ送られます。切り取り部分の糸色の縫い順は、元の刺しゅうデータの糸色の縫い順と同じになりますが、他のデータと同様に編集できます。
- 別々のデータの縫い順は、編集できません。デザイン全体の縫い順によって自動的に決定されます。
- 線や面に縫い方が設定されていない刺しゅうデータのコマは点線が表示され、コマの下の縫い順番号は表示されません。


同じ色のデータを組み合わせる

縫い順 / 糸色 ダイアログボックスを使って、同じ色の刺しゅうデータをまとめます。同じ色の刺しゅうデータのコマの横にドラッグします。

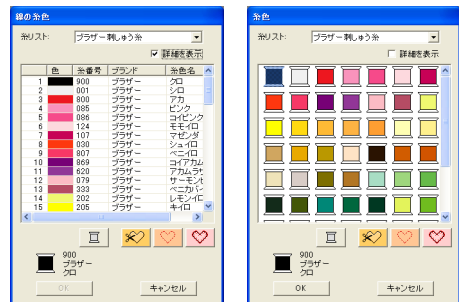
メモ：

縫い順を変更した後は、刺しゅうデータが重なっている部分の縫い順が正しいか縫われ方を確認してください。

色を変更する

1. 刺しゅうデータの糸色を変更したいコマをクリックし、 をクリックします。

→ **糸色** ダイアログボックスが表示されます。



メモ：

- **詳細の表示** チェックボックスが選択されていると、左側のダイアログボックスが表示されます。このチェックボックスが選択されていない場合は、右側のダイアログボックスが表示されます。
- 詳細の表示モードで、糸色リストを色調順（暖色から寒色へ）に表示するには、糸色リストの **色** をクリックします。もう一度 **色** をクリックすると、表示順が逆になります（寒色から暖色へ）。リストを元に戻すには、**色** の左側の口部分をクリックします。

2. 設定したい色をクリックし、**OK** をクリックします。

→ デザインページと **縫い順 / 糸色** ダイアログボックスに、刺しゅうデータが新しい色で表示されます。

3. **OK** をクリックします。

→ 刺しゅうデータが新しい色で表示されず。

メモ：

変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。

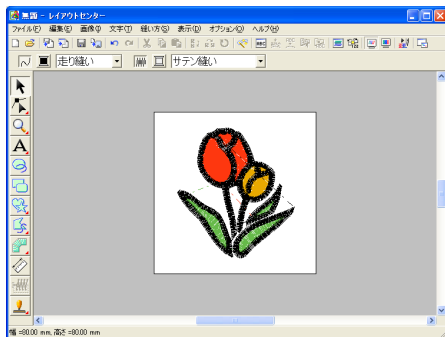
縫製イメージをプレビューする

刺しゅうデータを作成中や完成後に、そのデータの縫製イメージや仕上がりをプレビューできます。実際にどのように縫製されているかを確認できます。

1. 刺しゅうデータのプレビューを表示するには、メニューバーの**表示→プレビュー**をクリックします。
または、以下に示すツールバーボタンをクリックします。



→ 刺しゅうデータの縫製イメージが表示されます。



メモ：

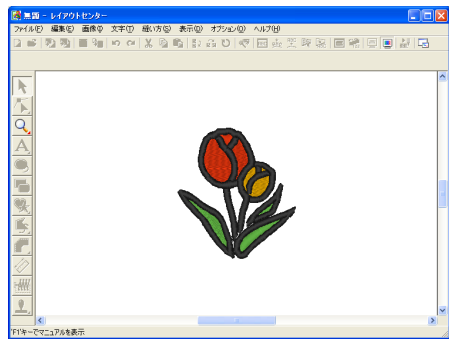
ズームツールで画面の表示倍率を変更できます。ズームイン（アウト）を行う場合はツールボックスの をクリックし、 () をクリックしてから、刺しゅうデータの見たい部分をクリックしてください。

2. 通常表示に戻るには、**1.** を繰り返すか、**(Esc)** キーを押します。

3. 刺しゅうデータのリアルプレビューを表示するには、メニューバーの**表示→リアルプレビュー**をクリックします。
または、以下に示すツールバーボタンをクリックします。



→ 刺しゅうデータの仕上がりがイメージが表示されます。



メモ：

ズームツールで画面の表示倍率を変更できます。ズームイン（アウト）を行う場合はツールボックスの をクリックし、 () をクリックしてから、刺しゅうデータの見たい部分をクリックしてください。

4. 通常表示に戻すには、**3.** を繰り返すか、**(Esc)** キーを押します。

注意：

リアルプレビュー画面では、刺しゅうデータの編集はできません

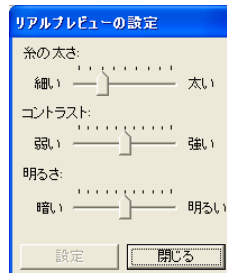
リアルプレビューの設定を変更する

リアルプレビュー設定を変更して、刺しゅうデータを見やすくできます。

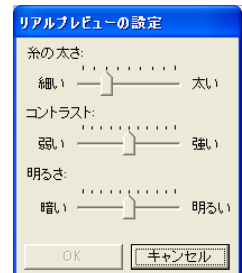
1. メニューバーの**表示→リアルプレビューの設定**をクリックします。

→ 次の**リアルプレビューの設定**ダイアログボックスが表示されます。

リアルプレビューが表示されているとき



リアルプレビューが表示されていないとき



2. **糸の太さ**スライダで、糸の太さを設定します。

3. **コントラスト**スライダで、コントラストを設定します。


4. **明るさ**スライダで、明るさを設定します。

5. リアルプレビューが表示されているときは、**設定**をクリックし、新たな設定でリアルプレビューを表示させます。

リアルプレビューが表示されていないときは、**OK**をクリックして、次回以降の表示のためにその設定を保存します。


メモ：


変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**閉じる**または**キャンセル**をクリックします。

 P.175の「縫製イメージをプレビューする」

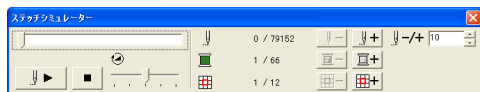
ステッチを確認する


ミシンでどのように縫われていくか、縫製の様子をステッチシミュレーターを使って確認できます。カスタムデザインページで作成したデータの場合は、部分ごとに表示されます。

ツールバーボタン： 




1.  をクリックするか、メニューバーの**表示**→**ステッチシミュレーター**をクリックします。


ステッチシミュレーターダイアログボックスが表示され、デザインページの刺しゅうデータの表示が消えます。




 をクリックして、シミュレーションを開始します。


メモ：

- シミュレーション中は、 は一時停止ボタン（）に切り替わります。
- シミュレーション中は、マーカー（）が縫製中の針位置を示します。
- ステッチを見やすく拡大表示するには、デザインページをズームインしてから**ステッチシミュレーター**ダイアログボックスを開きます。


 をクリックすると、前の色の縫い始めまで戻ります。


 をクリックすると、次の色の縫い始めまで進みます。


針数を指定してシミュレーションに戻すには、戻したい針数を入力または選択してから、

 をクリックします。



針数を指定してシミュレーションを進めるには、進めたい針数を入力または選択してから、


 をクリックします。

 をクリックすると、前の枠パーツ部の縫い始めまで戻ります。

 をクリックすると、次の枠パーツ部の縫い始めまで進みます。

メモ：

 と  は、カスタムサイズのデザインページで作成した分割模様の刺しゅうデータの場合にのみ表示されます。

 をクリックすると、シミュレーションを停止し、開始前の状態に戻ります。

メモ：


スライダはシミュレーションの進行状況を示しています。また、スライダをドラッグすると、シミュレーションを進めたり、戻したりすることができます。



のスライダをドラッグすると、シミュレーションの表示スピードを調整できます。

メモ：

- の数字は、描画中の針数 / 全体の針数を示しています。
- の数字は、描画中の糸色の縫い順 / 全体の色数を示しています。
- の数字は、描画中の枠パーツの縫い順 / 全体の枠パーツ数を示しています。このインジケータは、カスタムサイズのデザインページで作成した分割模様の刺しゅうデータの場合にのみ表示されます。

- ダイアログボックスの右上隅の  をクリックし、ダイアログボックスを閉じます。

メモ：

ステッチシミュレーターダイアログボックスを表示する前に、刺しゅうデータを選択すると、選択した刺しゅうデータのみシミュレーションできます。

刺しゅうデータ情報を確認する

刺しゅうの大きさ、針数、色数、色の順序などの縫い方情報を、**デザインのプロパティ**ダイアログボックスで確認します。

- メニューバーの**オプション**→**デザインのプロパティ**をクリックします。

→ **デザインのプロパティ**ダイアログボックスが表示されます。



メモ：

- 刺しゅうデータを構成する個々の刺しゅうデータを選択しデザインの**プロパティ**ダイアログボックスを表示すると、選択した刺しゅうデータの**プロパティ**を確認できます。刺しゅうデータが選択されていない場合は、デザインページ全体の情報が確認できます。
- 基本色で表示**チェックボックスをチェックすると、ミシンで表示される糸色名に切り替わります。
- このダイアログボックスは大きさを変えることができます。ダイアログボックスのサイズは、次に変更するまで現在の設定が保持されます。
- ダイアログボックスを閉じるときは、**閉じる**をクリックします。

デザインページに**大型枠**（100 × 172mm、130 × 300mm）が**選択**されている場合

刺しゅうデータが何も選択されていないと、次のような**デザインのプロパティ**ダイアログボックスが表示されます。



注意：

デザインページより大きい、またはデザインページからはみ出している刺しゅうデータがあるときは、このダイアログボックスの代わりに、「データのサイズか位置を変更してください。」というエラーメッセージが表示されます。エラーの表示後、エラーに該当する刺しゅうデータが**選択状態**になりますので、サイズまたはその位置を調整してください。（エラーに該当する刺しゅうデータが複数ある場合は、縫い順が最も早い刺しゅうデータが**選択状態**になります。）

📖 メモ：

- **デザインのプロパティ**ダイアログボックスが表示されると同時に、デザインページは自動的にページ全体表示に切り替わります。
- **枠の位置**は、枠の位置番号と、部分デザインシートの総取り付け位置数を表示しています。
- このとき、デザインページの表示では、ダイアログボックスに表示されている枠の位置番号に対応するデザインのみが表示され、また、対応する刺しゅう枠の取り付け位置の外形は赤線で囲まれて表示されます。
- **前**ボタンまたは**次**ボタンをクリックして、表示内容を現在表示されている取り付け位置から対応するデザインに切り替えます。

💡 注意：

前ボタンは、最初の刺しゅう枠に対応する刺しゅうデータが表示されているときは、クリックできません。また、**次**ボタンも、最後の刺しゅう枠に対応する刺しゅうデータがすでに表示されているときは、クリックできません。


刺しゅうデータを リファレンスウィンドウで見ると

デザインページのデータは、リファレンスウィンドウに表示されます。ズームインして作業をしているときに、デザインページ全体を確認できます。現在表示されている部分が赤い枠（表示領域枠）で表示され、全体のどの部分を作業しているかを確認できます。

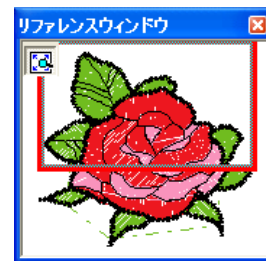
リファレンスウィンドウの表示と非表示は、**表示**→**リファレンスウィンドウ**をクリックするか、ショートカットキー（**F11**）をクリックして切り替えます。

■ 表示方法を切り替える

リファレンスウィンドウは、デザインページ全体を表示するか、刺しゅうデータ全体を表示するか、切り替えることができます。


1.  をクリックします。

→ リファレンスウィンドウの表示方法が切り替わります。



■ 表示領域枠を移動する

表示領域枠を移動して、作業領域に表示する部分を、リファレンスウィンドウで指定できます。

1. カーソルを表示領域枠の上に移動します。
→ カーソルの形が  に変わります。
2. 表示領域枠をドラッグして、デザインページの表示したい部分を囲むように移動します。
→ 表示領域枠で囲まれた部分が表示されます。

■ 表示領域枠を書き直す



枠を書き直して作業領域に表示する部分を、リファレンスウィンドウで指定できます。

1. リファレンスウィンドウの表示したい部分をクリックまたはドラッグします。
→ クリックした位置を中心とした表示領域枠が書き直され、表示領域枠で囲まれたデータ部分が表示されます。特定の部分を表示するには、目的の場所を囲むようにドラッグします。

■ 表示領域枠を拡大・縮小する

1. カーソルを表示領域枠の角に移動します。

→ 接している角によって、カーソルの形が

 または  に変わります。

 **メモ：**

 と  で、高さと幅を拡大・縮小します。


2. 角をドラッグし、表示領域枠のサイズを調節します。


保存・印刷する

保存する

■ 上書き保存する

1 度保存された刺しゅうデータは、次回からのデータの更新時には上書き保存されます。

ツールバーボタン： 

1.  をクリックするか、メニューバーの **ファイル**→**上書き保存** をクリックします。

→ 作業中の刺しゅうデータや画像を以前に1度以上保存したことがある場合は、ファイルは直ちに上書き保存されます。

→ ファイル名が無題のときや、ディスク上にファイルが見つからないときは、**名前を付けて保存** ダイアログボックスが表示されます。

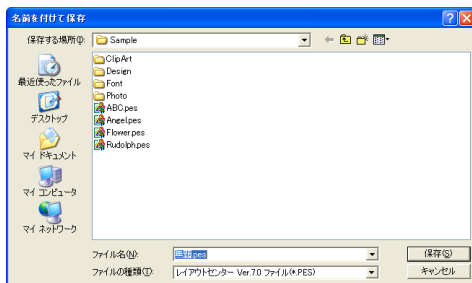
■ 新しい名前を付けて保存する

現在のファイルを別のファイル名で保存すると、元のファイルに変更を加えず、新規にデータを保存できます。

ファイルは .pes ファイルで保存されます。

1. メニューバーの **ファイル**→**名前を付けて保存** をクリックします。

→ 次のような **名前を付けて保存** ダイアログボックスが表示されます。



2. ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。

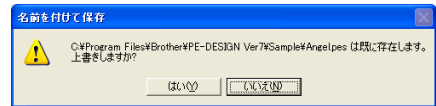
💡 注意：

- ファイルの種類で旧バージョンを選択すると、保存された .pes ファイルを旧バージョンのソフトウェアで開くことができます。ただし保存されたデータはすべてステッチデータに変換されます。
- デザインページがカスタムサイズに設定されているデータは、バージョン7より前の .pes には保存できません。

3. **保存** をクリックして、データを保存します。

📖 メモ：

- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。
- **名前を付けて保存** ダイアログボックスで入力した名前のファイルがすでに存在する場合は、次のメッセージが表示されます。



- ファイルを上書きするときは、**はい** をクリックします。
- 上書きしたくないときは、**いいえ** をクリックします。別のファイル名を入力して保存します。

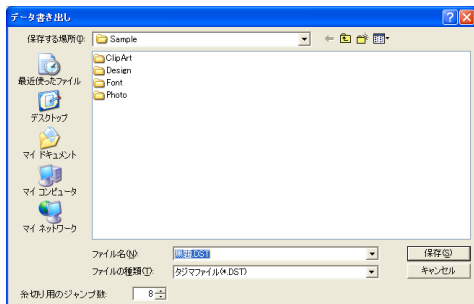
→ レイアウトセンターのタイトルバーに新しいファイル名が表示されます。

■ 刺しゅうデータを別の形式で出力する

デザインページに表示されているデータを、別のファイル形式 (.dst、.hus、.exp、.pcs、.vip、.sew、.jef、.csd、.xxx、.shv) に変換して出力します。

1. メニューバーの **ファイル**→**データ書き出し** をクリックします。

→ 次のようなダイアログボックスが表示されます。



2. ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。
3. **ファイルの種類**で出力したい形式（.dst、.hus、.exp、.pcs、.vip、.sew、.jef、.csd、.xxx、.shv）を選択します。

メモ：

DST 形式では、工業用刺しゅうミシンの自動糸切りを指示するためにジャンプコードが使用されており、自動糸切りのためのジャンプ回数はご使用のミシンによって異なります。変換時にジャンプ回数を指定できます。**糸切り用のジャンプ数**に数値を入力するか、スピンボタンで値を変更します。（この設定は DST 形式が選ばれている場合のみ有効です。）

注意：

- 別売の刺しゅうカードから読み込んだステッチデータには、出力できないものがありますのでご注意ください。
- 分割模様の刺しゅうデータは、単一のファイルとして書き出されます。

■ オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

作業中のデザインページの刺しゅうデータをオリジナルカードに保存して、ミシンに転送します。

メモ：

複数の刺しゅうデータのオリジナルカードへの書き込みについては、P.284 の「刺しゅうファイルをオリジナルカードへ書き込む」を参照してください。

ツールバーボタン：

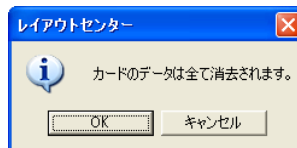
1. オリジナルカードをカードライターに挿入します。

注意：

- オリジナルカードを正しく挿入すると、カチッという音がします。
- ミシンからオリジナルカードを抜き差しするときは、ミシンの取扱説明書に従ってください。カードライターからオリジナルカードを抜き差しするときは、パソコンの電源を切る必要はありません。

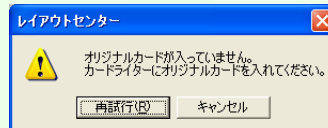
2. をクリックするか、メニューバーの **ファイル→カード書き込み** をクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。



注意：

- データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他の記録媒体などに保存し（P.98の「刺しゅうカードから刺しゅうデータを取り込む」参照）、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。
- オリジナルカードが挿入されていない場合は、次のメッセージが表示されます。

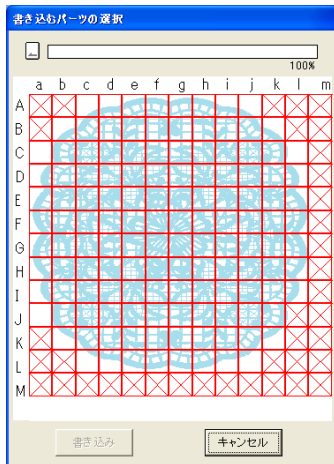


- 刺しゅうカードを挿入し、**再試行** をクリックします。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。
- デザインページからはみ出た刺しゅうデータや、針数や色数がデザインページの制限を越えた刺しゅうデータがある場合は、刺しゅうデータはオリジナルカードに保存できません。

📖 メモ：

カスタムサイズのデザインページで作成した分割模様の刺しゅうデータは、枠パーツごとに分けて書き込むことができます。枠パーツデータの合計サイズがオリジナルカードの空き容量を超えている場合や、パーツのサイズが 90 × 90cm で 80 個以上に分割されている場合は、刺しゅうデータを分けて複数のデザインカードに書き込んでください。

1 枚のカードに保存できないときは、**書き込むパーツの選択**ダイアログボックスが表示されます。書き込み可能容量がいっぱいになるまで枠パーツを選択します。

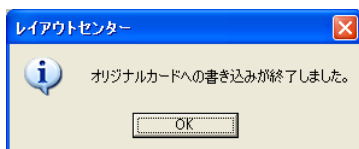


ダイアログボックス上部のカード容量インジケータで、枠パーツデータの容量（青色）とカードの空き容量（白色）を確認できます。枠パーツを選択すると、選択した枠パーツデータによって使用される容量が青色で表示され、選択することに加算されていきます。空き容量の上限を超えると、カード容量インジケータ全体が赤色になります。選択を解除する場合は、解除する枠パーツを再クリックします。

書き込みをクリックすると、選択した枠パーツデータがオリジナルカードに書き込まれます。（**書き込み**は、枠パーツが選択されており、選択したパーツを書き込むために十分な空き容量がカードにある場合にのみ表示されます。）

3. OK をクリックします。

→ データがオリジナルカードに転送されている間、書き込み中メッセージが表示され、その後次のメッセージが表示されません。



📖 メモ：

操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

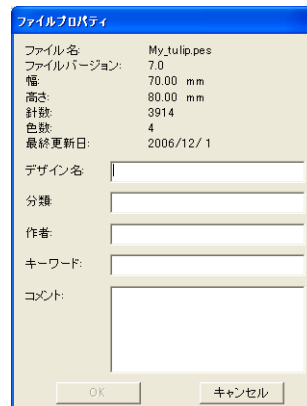
4. OK をクリックして、メッセージを閉じます。

■ pes ファイルにコメントを書く

.pes ファイルで保存された刺しゅうデータについての説明や情報を入力します。

1. メニューバーのファイル→ファイルプロパティをクリックします。

→ **ファイルプロパティ**ダイアログボックスが表示されます。



2. 情報を入力、または、変更します。

3. OK をクリックして入力した情報を保存します。

📖 メモ：

- 入力したデータは、次に保存するときにファイルに保存されます。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。
- ファイルは入力した情報に基づいてデザインデータベースで検索できます。

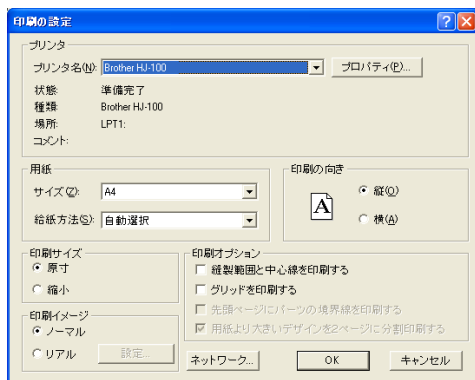
印刷する

■ 印刷の設定を変更する

印刷をする前に、印刷したい刺しゅうデータファイルの印刷設定の変更が必要な場合があります。

1. メニューバーの**ファイル**→**印刷の設定**をクリックします。

→ 次のような**印刷の設定**ダイアログボックスが表示されます。



2. **用紙と印刷の向き**を選択します。
3. **印刷サイズ、印刷オプション、印刷イメージ**で印刷の詳細を選択します。

印刷サイズ

原寸:刺しゅうデータのイメージを1ページ目に実寸で印刷します。2ページ目に縫い情報(刺しゅう寸法、刺しゅう色順、針数)が印刷されます。ファイル名は両方のページに印刷されます。刺しゅうデータのサイズが紙の寸法よりも大きい場合は、用紙からはみ出して印刷されます。ただし、**印刷オプション**の**用紙より大きいデザインを2ページに分割印刷する**を選択している場合は分割印刷されます。

縮小:刺しゅうデータの縮小イメージとファイル名、縫い情報(刺しゅう寸法、刺しゅう色順、針数)が、1ページに印刷されます。

印刷オプション

縫製範囲と中心線を印刷する: 選択すると、刺しゅうデータの最大外形 (P.172の「縫製範囲を設定する」参照) とその中心軸を黒色で印刷します。(この設定は、**原寸印刷**が選択されているときにのみ使用できます。)

グリッドを印刷する: 選択すると、刺しゅう枠に添付の刺しゅうシートに印刷されているグリッドと同様のグリッド線を緑色で印刷します。

先頭のページにパーツの境界線を印刷する: デザインページがカスタムサイズに設定されている刺しゅうデータのデザイン部分を印刷するには、このチェックボックスを選択します。パターンのパーツが赤色で印刷されます。

用紙より大きいデザインを2ページに分割印刷する: 選択すると、紙の寸法よりも大きい刺しゅうデータは、A4またはレターサイズの紙に半分ずつ印刷されます。(この設定は、**印刷の設定**ダイアログボックスで**原寸印刷**が選択されており、デザインページが大型枠サイズ [**刺しゅう枠のサイズ**: 300 × 200mm、200 × 300mm、180 × 300mm、300 × 180mm、**大型刺しゅう枠用のデータ**: 170 × 290mm (180 × 300mm)、または 290 × 190mm (300 × 200mm) に設定されている場合にのみ使用できます。) この分割印刷機能では、 / または / が紙の右下に印刷されて刺しゅうデータの半分であることを示します。

印刷イメージ

ノーマル:刺しゅうデータがプレビュー画面のイメージで印刷されます。

リアル:刺しゅうデータがリアルプレビュー画面のイメージで印刷されます。リアルの設定の詳細を変更するには、**設定**をクリックします。(詳しくは、P.175の「リアルプレビューの設定を変更する」を参照してください。)

注意:

- **用紙より大きいデザインを2ページに分割印刷する** チェックボックスを選択しないで印刷すると、分割印刷はされません。刺しゅうの実寸より小さい紙を指定している場合は、はみ出た部分は印刷されません。
- 縫い方と枠の位置の情報は、刺しゅうデータが印刷された後に、別の紙に印刷されません。

4. OK をクリックします。

メモ:

- 印刷設定を変更するには、**プロパティ**をクリックします。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

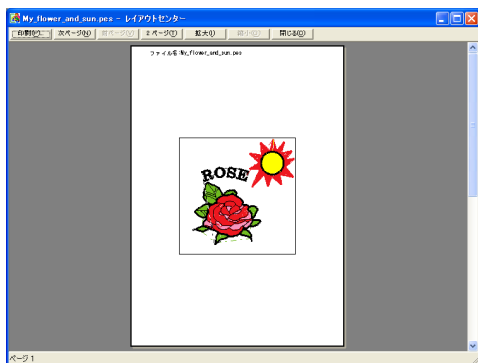
P.175の「縫製イメージをプレビューする」

■ 印刷イメージを確認する

印刷前に印刷イメージを確認できます。

1. メニューバーの**ファイル**→**印刷プレビュー**をクリックします。

→ **印刷の設定**ダイアログボックスで**原寸印刷**が選択されていると、レイアウトセンターの画面は次のように表示されます。



📖 **メモ:**

- ページを拡大・縮小するには、**拡大**または**縮小**をクリックします。画像を拡大するには、**拡大**をクリックするか、拡大したい部分をクリックすると、イメージが拡大されます。画像を縮小するには、**縮小**をクリックします。
- **次ページ**をクリックすると、次ページが表示されます。（デザインページが**刺しゅう枠のサイズ**に設定されている場合に、**印刷の設定**ダイアログボックスで**縮小**が選択されていると、このボタンは使用できません。）
- **前ページ**をクリックすると、前のページが表示されます。（デザインページが**刺しゅう枠のサイズ**に設定されている場合に、**印刷の設定**ダイアログボックスで**縮小**が選択されていると、このボタンは使用できません。）
- **2 ページ**ボタンをクリックすると、2 ページが同時に表示されます。（**2 ページ**ボタンが**1 ページ**ボタンに替わります。）
- **1 ページ**ボタンをクリックすると1ページで表示されます。
- **印刷**をクリックすると、**印刷**ダイアログボックスを開き、印刷できます。
- 画像を詳しく見る場合は、一度に1 ページだけ表示すると拡大ができます。
刺しゅうデータ内の個々の刺しゅうデータの縫い情報を確認するにはメニューバーの**オプション**→**デザインプロパティ**を選択します。

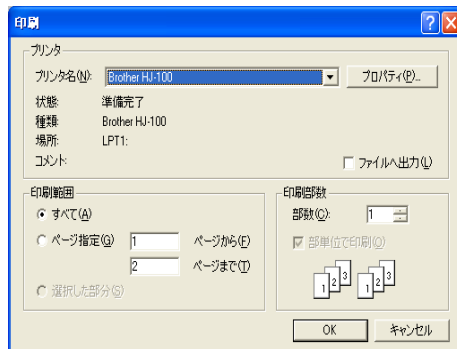
📖 P.183 の「印刷の設定を変更する」、次の「印刷する」、および P.177 の「刺しゅうデータ情報を確認する」

■ 印刷する

作業中のデザインページと情報を印刷します。

1. メニューバーの**ファイル**→**印刷**をクリックします。

→ 次のような**印刷**ダイアログボックスが表示されます。



2. 必要に応じて、設定を選択します。

3. **OK** をクリックして、印刷します。

📖 **メモ:**

- 印刷設定を変更するには、**プロパティ**をクリックします。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

4. プリンタの指示に従って、印刷を終了します。

→ **印刷サイズ**の設定によって、刺しゅうデータ全体または枠パーツデータが、1 ページで、または2 ページに分割されて印刷されます。

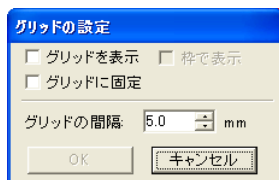
ソフトウェア設定を変更する

グリッドの設定を変更する

グリッドの表示 / 非表示を切り替えたり、グリッドの表示のしかたや間隔を指定できます。

1. メニューバーの**表示**→**グリッド**をクリックします。

→ **グリッドの設定**ダイアログボックスが表示されます。



2. **グリッドを表示**チェックボックスをチェックして、グリッドを表示します。グリッドを非表示するには、**グリッドを表示**チェックボックスのチェックを外します。
3. 同じ大きさの刺しゅうデータを作成したり、等間隔に刺しゅうデータを並べたいときは、**グリッドに固定**チェックボックスをチェックします。

メモ：

カーソルは**グリッドの間隔**で設定された数値で移動します。
固定機能はグリッドの表示 / 非表示に関わらず有効です。

4. グリッドの間隔を設定します。**グリッドの間隔**に数値（設定範囲は 0.1 ~ 25.4 mm）を入力するか、スピンボタンで値を変更します。
5. 表示のしかたを選択します。**枠で表示**チェックボックスをチェックすると、縦線と横線で表示されます。**枠で表示**チェックボックスのチェックを外すと、グリッドの交点のみが表示されます。

注意：

グリッドを表示チェックボックスがチェックされており、**枠で表示**チェックボックスのチェックが外れている場合は、グリッドの交点のみが表示されます。

6. **OK**をクリックし、変更を確定してダイアログボックスを閉じます。


メモ：

グリッドへの変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

長さの単位を変更する

アプリケーションで使う長さの単位を、mm またはインチから選択できます。

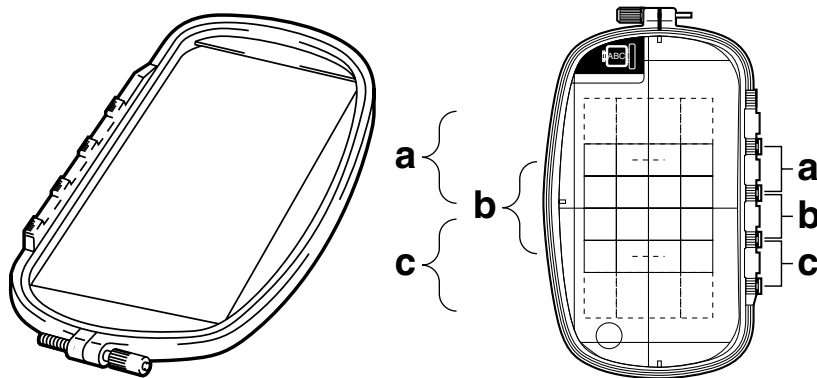
1. メニューバーの**オプション**→**単位の設定**をクリックして、単位（mm または**インチ**）を選択します。

 本ページの「グリッドの設定を変更する」および P.100 の「デザインページのサイズと色を設定する」

大型刺しゅうの作成

大型枠用のデータを作成する

ミシンに付属の大型枠（ミシンへの取り付け部が、3ヶ所あるもの、枠サイズ：130 × 300mm、100 × 172mm）に対応した刺しゅうデータを作成します。



大型枠の例：100 × 172mm サイズの刺しゅう枠

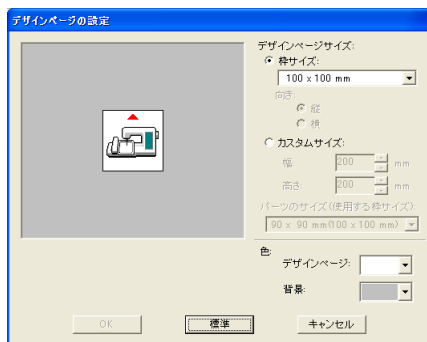
これらの枠を使用するときは、1つの刺しゅうデータのサイズが130 × 180mm（もしくは刺しゅうミシンの縫製サイズにより100 × 100mm）で、刺しゅう枠の取り付け位置（上図の a、b、c）を替えたときに位置が合うように、あらかじめ取り付け位置を考慮して刺しゅうデータが配置されている必要があります。

刺しゅうデータの作成の際、各刺しゅうデータはミシンの縫製範囲内に収まっていく必要があります。

■ デザインページのサイズを設定する

1. レイアウトセンターで、メニューバーの**オプション**→**デザインページの設定**をクリックします。

→ **デザインページの設定**ダイアログボックスが表示されます。



2. **デザインページサイズの枠サイズ**を選択し、セレクトで、100 × 172mm または 130 × 300mm を選択します。

📖 メモ：

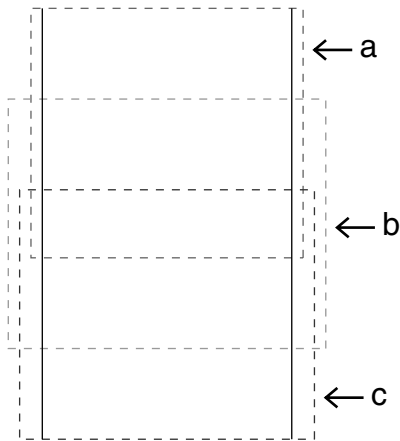
- 大型枠用設定は、数字の前に*の表示が付いています。
- ご使用のミシンで使用可能な刺しゅう枠を確認してから設定を行ってください。

💡 注意：

デザインセンターの**デザインページの設定**ダイアログボックスでは、大型刺しゅう枠は設定できません。

■ 刺しゅうデータを作成する

1. 画面上のデザインページは次のように示されます。

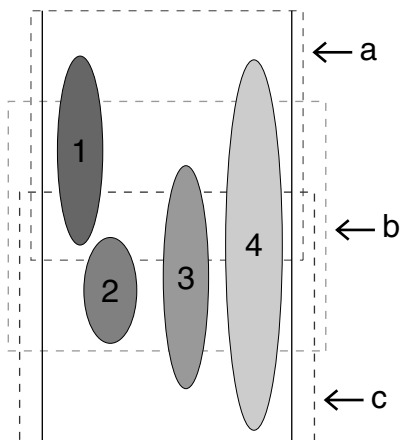


📖 メモ：

領域 a：上位の取り付け位置で刺しゅう枠を取り付けたときの縫製領域
 領域 b：中央の取り付け位置で刺しゅう枠を取り付けたときの縫製領域
 領域 c：下位の取り付け位置で刺しゅう枠を取り付けたときの縫製領域
 各領域は点線で区分されています。

2. 次の条件に適合するように刺しゅうデータを作成します。

- 1 つの刺しゅうデータの大きさが、100 × 100mm（または 130 × 180mm）以内であること



- それぞれの刺しゅうデータが、各領域（a、b、cのいずれか）に完全に含まれていること
- 1: 領域 a に完全に収まっているので問題ありません。
 - 2: 領域 b または c に完全に収まっているので問題ありません。
 - 3: 大きさは問題ありませんが、どの領域にも完全に収まっていないので、修正が必要です。（b または c に収まるように位置を修正する必要があります。）
 - 4: サイズが大きすぎるので修正が必要です。（a、b または c に収まるように位置とサイズを修正する必要があります）

💡 注意：

条件を満たしていない刺しゅうデータは、次のステップの縫い順の設定に進むときに警告が表示されます。

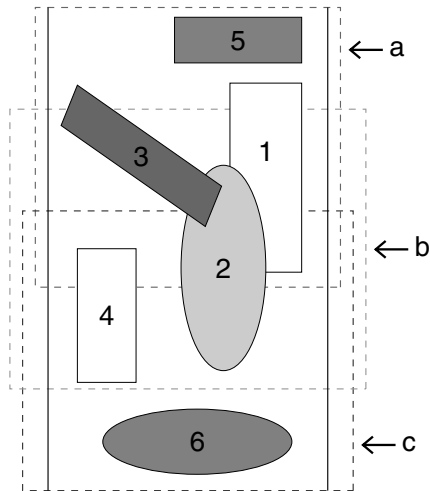
■ 枠を最適化する

枠の最適化機能をオンにしておくことで、刺しゅう枠を頻繁に付け替えてもよくなり、縫いズレ、縫い弛み等が起きにくくなります。

1. メニューバーの縫い方→枠の最適化をクリックします。

メモ：

- オンに設定すると、メニューにチェックマークが付きます。オフに設定すると、チェックマークが消えます。



- 枠の最適化をオンにすると、設定した縫い順を、刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数が最も少なくなるように縫い順/枠の位置順を最適化したデータを作成します。

このページの例では、縫い順は次のようになります。a（刺しゅうデータ 1）→ b（刺しゅうデータ 2）→ a（刺しゅうデータ 3、5）→ c（刺しゅうデータ 4、6）

枠の最適化をオフにすると、設定した縫い順通りに、各刺しゅうデータを縫います。

このページの例では、縫い順は次のようになります。a（刺しゅうデータ 1）→ b（刺しゅうデータ 2）→ a（刺しゅうデータ 3）→ c（刺しゅうデータ 4）→ a（刺しゅうデータ 5）→ c（刺しゅうデータ 6）

この場合、刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数は、刺しゅうデータによってはオンの場合より多くなることがあります。

注意：

刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数が多くなると、縫いズレ、縫い弛み等が起きやすくなりますので、枠の最適化をオンにして刺しゅうデータを作成することをお勧めします。ただし、枠の最適化を行うと設定した縫い順が変更されることがありますので、縫製する前に縫い順を確認してください。

■ 刺しゅうデータをチェックする

注意：

この機能を実行する前に、刺しゅうデータが選択されていないことを確認してください。刺しゅうデータが選択されていると、その刺しゅうデータの情報だけが表示されます。

1. メニューバーのオプション→デザインのプロパティをクリックします。

→ デザインのプロパティダイアログボックスが表示され、デザインページの表示が自動的にページ全体表示に切り替わります。



メモ：

- ダイアログボックスの最上行は、現在表示されている部分デザインシートの枠の位置番号と、部分デザインシートの総取り付け位置数を表示しています。
- このとき、デザインページの表示では、ダイアログボックスに表示されている枠の位置番号に対応する刺しゅうデータのみが表示され、また、対応する刺しゅう枠の取り付け位置の外形は赤い線で囲まれて表示されます。
- 前ボタンまたは次をクリックして、表示内容を現在表示されている取り付け位置から、前後の取り付け位置に対応するデザインに切り替えます。このとき、対応する刺しゅうデータと刺しゅう枠位置がデザインページに表示されます。

🚨 注意：

デザインページより大きい、またはデザインページからはみ出している刺しゅうデータがあるときは、このダイアログボックスの代わりに、「データのサイズか位置を変更してください。」というエラーメッセージが表示されます。エラーの表示後、エラーに該当する刺しゅうデータが選択状態になりますので、サイズまたはその位置を調整してください。

■ 刺しゅうデータを保存する


1. メニューバーの**ファイル**→**上書き保存**または**名前を付けて保存**をクリックして、刺しゅうデータを保存します。

→すべての刺しゅうデータが、1個のファイル（.pes ファイル）に保存されます。

📖 メモ：

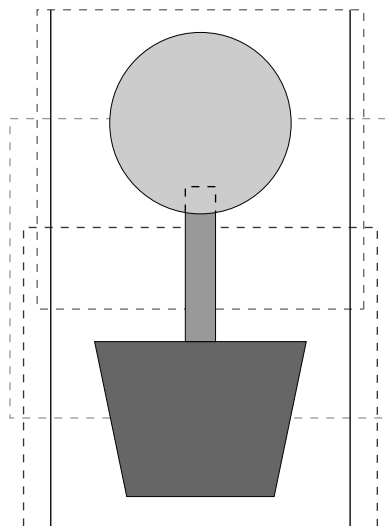
ファイルのサイズ、色替え回数が指定数より大きい場合、または、個々の刺しゅうデータの中にどの部分デザインシートにも入らないものがある場合は、「全てのデータをデザインページの枠内に入れてください。このまま保存されたデータはカードに書き込めません。それでも保存しますか？」という警告メッセージが表示されますので、変更するか、保存するか対応してください。

■ 刺しゅうデータをオリジナルカードへ書き込む

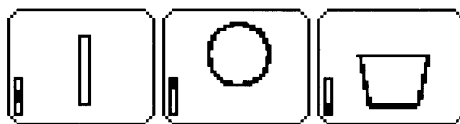
1. デザインページに刺しゅうデータが表示されているときは、メニューバーの**ファイル**→**カード書き込み**→**デザインページ**のデータか、ツールバーの  をクリックして、刺しゅうデータをオリジナルカードに書き込みます。

大型枠用刺しゅうデータは、1つの刺しゅう枠の取り付け位置に対応する刺しゅうデータを1つの刺しゅうデータとし、それを複数組み合わせるよう縫製するように構成されています。

書き込みは、1回の書き込み作業で、1つの大型枠用の刺しゅうデータのすべてを（複数の刺しゅうデータとして）書き込みます。



上の刺しゅうデータをオリジナルカードに書き込んだ場合、ミシン上で刺しゅうデータを確認すると、次のようになります。



- : 刺しゅう枠の上位の取り付け位置（位置 a）で縫う刺しゅうデータ
- : 刺しゅう枠の中央の取り付け位置（位置 b）で縫う刺しゅうデータ
- : 刺しゅう枠の下位の取り付け位置（位置 c）で縫う刺しゅうデータ

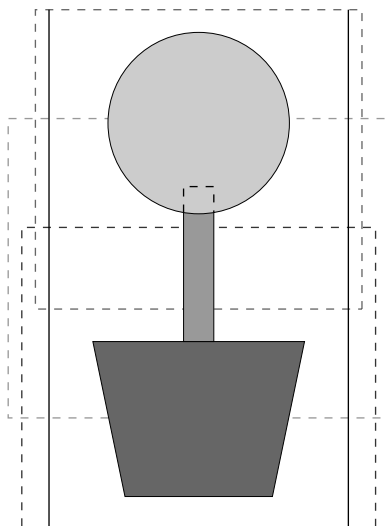
したがって、上記の例では、刺しゅうデータの枠位置の縫い順は b → a → c の順になります。

大型刺しゅう枠を使用する際の注意点：

- 実際の布地に縫製する前に、同じ布地で試し縫いを行ってください。また、針と糸も実際に使うものと同じものを使用してください。
- 必ず布地の裏に接着芯を貼り、刺しゅう枠にしっかりと張ってください。特に、薄い生地や伸縮地の場合は、接着芯を2枚重ねて使用してください。接着芯がないと、布が縮み、輪郭線のズレ、布じわが起き、きれいな仕上がりになりません。
- 大きな刺しゅうデータに接着芯を使用する場合の詳細は、P.191の「布に接着芯を貼り付ける」を参照してください。
- 輪郭線は、サテン縫いを設定してください。走り縫い設定よりも縫いずれを防ぐことができます。



- 刺しゅう枠を異なった枠位置で取り付ける必要のある刺しゅうデータでは、刺しゅうデータの各部（継ぎ目）を重ねてデザインすると、縫いずれを防ぐことができます。



■ 大型枠用の刺しゅうデータの印刷について

デザインページが大型枠用に選択されていると、1ページ目にデザインページの全体画像が、2ページ目以降に刺しゅうデータの各部分データの縫い情報（刺しゅう寸法、縫い順、針数、枠位置）が印刷されるため総ページ数は刺しゅうデータによって異なります。

- 130 × 300mmのデザインページが選択されている場合、130 × 180mmを1つの部分データとして複数枚に分けて印刷します。
- 100 × 172mmのデザインページが選択されている場合、100 × 100mmを1つの部分データとして複数枚に分けて印刷します。

デザインページの印刷は以下の通り行われます。

原寸印刷が選択されている場合

1ページ目にデザインページ全体を原寸大で印刷します。（ただし、130 × 300mmが選択されている場合は、デザインページ全体の縮小印刷になります。）その後、最初の枠取り付け位置から順に、各部分データの縫製イメージが印刷され、その刺しゅうデータの縫い情報が次のページに印刷されます。

縮小印刷が選択されている場合

1ページ目にデザインページ全体を原寸大で印刷します。（ただし、130 × 300mmが選択されている場合は、デザインページ全体の縮小印刷になります。）その後、最初の枠取り付け位置から順に、各部分データの縫製イメージが印刷され、同じページにその刺しゅうデータの縫い情報が印刷されます。

📖 メモ：

メニューバーの**ファイル**→**印刷プレビュー**の各部分データのプレビュー表示も、上記のようになります。

分割模様を刺しゅうする

分割模様の刺しゅうデータを縫製する（カスタムサイズ）

分割模様の刺しゅうデータの作成方法は、P.313 の「分割模様の刺しゅうデータを作成する」を参照してください。

■ 布に接着芯を貼り付ける

刺しゅうを縫製するときは、接着芯の使用してください。接着芯にはいろいろな種類がありますが、どの接着芯を使うかは、刺しゅうする布によって異なります。複数のパーツに分けて縫っていく分割模様の場合、布に接着芯を貼り付けるタイプのものを使用してください。たとえば、アイロンで接着できる接着芯や、接着剤が付いている接着芯、スプレー式の接着剤で接着する接着芯などがあります。

分割模様の場合には十分な強度の接着芯を刺しゅうの全面に貼り付けてください。接着芯が薄い場合は2枚重ねて貼り付ける必要がある場合があります。

💡 注意：

- 刺しゅうをきれいに仕上げるためには、説明に従って、布に接着芯を貼り付けてください。布に適した接着芯を使用しないと、布の縮みによってデザインが正しく配置されないことがあります。
- 接着芯の説明書を確認して、布に適したものを使用してください。

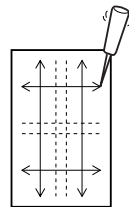
■ 刺しゅう位置の目印を付ける

使用する枠のサイズのテンプレートを使って、布に刺しゅう位置の目印を付けます。

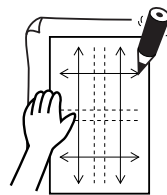
📖 メモ：

- テンプレートは、本製品に付属されていません。
- テンプレートのデータも、PDF ファイルで本アプリケーションソフトの **Template** フォルダに付属されています。プリンタで印刷してお使いください。
- テンプレートの PDF ファイルは、原寸サイズです。印刷の際は、Acrobat の印刷の設定の「ページの拡大/縮小」を「なし」に設定して、原寸（100%）で印刷してください。原寸で印刷されないと、テンプレートの役割を果たせず、縫いずれなどが発生する原因となります。

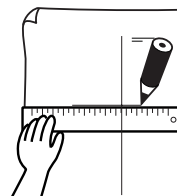
1. テンプレートの各ラインの両端に、穴を開けます。



2. 布の上にテンプレートを置き、それぞれの穴にチャコペンで印を付けます。

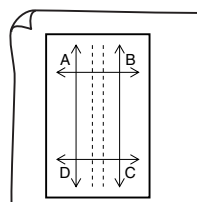


3. 布に付けた印を繋いで、基準線を描きます。

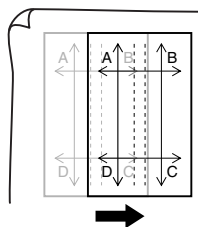


次に、テンプレートを配置し直ししながら、分割模様の各枠パーツ部分の位置の目印を、必要なパーツ部分付けます。

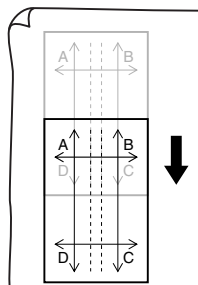
1. 布の上にテンプレートを置き、1つ目の枠パーツ位置の目印を付けます。ポイント A、B、C、D に印を付けます。



2. 1つ目の枠パーツ位置の右側の枠パーツ位置の目印を付ける場合は、テンプレートのポイントAとDを布のポイントBとCに合わせて、印を付けます。



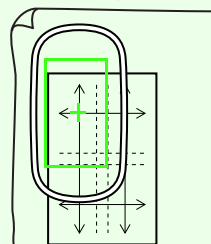
- 1つ目の枠パーツ位置の下側の枠パーツ位置の目印を付ける場合は、テンプレートのポイントAとBを布のポイントDとCに合わせて、印を付けます。



この手順を繰り返して、必要なパーツ分の目印を付けます。

注意：

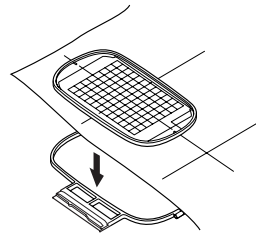
- 縦と横の線が交差するポイントが、枠パーツの中心となります。
- 布に対してどのように枠を取り付けるかを考え、布の上にテンプレートを置き、刺しゅう位置の基準線を描いてください。大きな枠 (160 × 260、180 × 300、200 × 300) のテンプレートは、下の図のように、刺しゅうの縫製領域全体が含まれていません。縫製領域が布からはみ出ないように注意してください。(布端にテンプレートの端を合わせて置くと、縫製領域が布からはみ出てしまいます。)



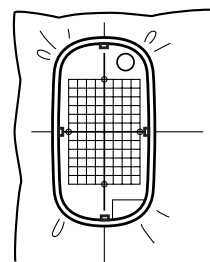
■ 布地に刺しゅう枠をセットする

刺しゅう枠に付属の刺しゅうシートを用意してください。刺しゅうシートの基準線と布の基準線を合わせ、布がずれないように注意しながら、布に刺しゅう枠をセットします。

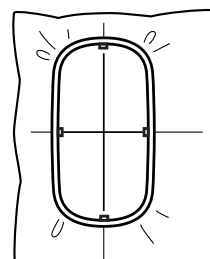
1. 内枠に刺しゅうシートをのせ、1番目に縫製する枠パターンの基準線と刺しゅうシートの基準線を合わせて、布の上に置きます。



2. 刺しゅうシートの基準線と枠パターンの基準線がずれていないか注意しながら、布と内側の輪を外枠にセットします。布を引っ張りながら、シワやたるみが入らないようにします。



3. 刺しゅう枠がセットできたら、刺しゅうシートを取り外します。



🔍 注意：

- 布の表面を上にして、内枠に乗せます。次に、内枠の高さと外枠の高さが同じなるまで、内枠をしっかりはめ込んでください。
- 刺しゅうシートを使用しないで、刺しゅう枠のマークを使って布の縦と横を合わせることもできます。ただし、一部のミシンの刺しゅう枠は、枠のマークの中心が多少ずれているので、刺しゅうシートを使用したほうが正しい位置に刺しゅう枠をセットできます。
- ヒント：内枠の布地側になる面に両面テープを貼り、布地と内枠を仮留めすると、位置ズレを気にせずに刺しゅう枠をセットすることができます。

■ 縫製する

刺しゅうデータを縫製する準備が整いました。

1. 分割模様の刺しゅうデータをミシンに転送すると、以下のように刺しゅうデータがミシンに表示されます。まず、1番目に縫製するの枠パーツ（Aa）を選択します。



📖 メモ：

Aa に縫製部分がない場合は、1番目に縫製する枠パーツのアルファベットが表示されているパーツを選択します。メニューバーの**オプション**→**デザインのプロパティ**を選択して、刺しゅうの縫い順を確認してください。

2. 刺しゅう枠をミシンにセットし、ミシンの縫う位置を移動させる機能を使用して、布の基準線の交点に針の位置を合わせます。
3. 選択した枠パーツを縫製します。
4. ミシンから刺しゅう枠を外し、枠から布を外します。

5. 次の枠パーツ部分に刺しゅう枠をセットします。（詳しくは、P.192の「布地に刺しゅう枠をセットする」を参照してください。）

📖 メモ：

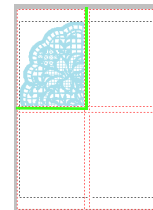
カスタムサイズのデザインページで作成した分割模様の刺しゅうデータは、保存またはオリジナルカードに書き込む前に、位置合わせの目安となる走り縫いが、枠パーツのつなぎ合わせ部分に自動的に加えられます。

この走り縫いは、糸色は**空白（未定義）**、縫い目の長さが7.0mm、縫い目の長さが0.3mmの止め縫いが設定されています。（位置合わせ線は、印刷プレビューで確認できます。赤色の線が位置合わせ線です。）

例：刺しゅうデータ Largelace.pes の場合

以下の手順で位置合わせをしながら縫製します。（Largelace.pes は Sample¥Design フォルダにあります。）：

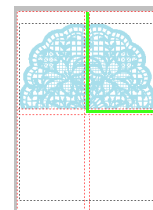
- 1) 1番目の枠パーツ（左上の部分）を縫製します。
→ 位置合わせ線は枠パーツの下側と右側に縫製されます。



- 2) 手順1で縫製した枠パーツの右側の位置合わせ線と、2番目の枠パーツ（右上の部分）の左端を合わせて、刺しゅう枠を取り付け、縫製します。

→ 刺しゅう部分が縫製される前に、左側の位置合わせ線が縫製されます。1番目の枠パーツの右側の位置合わせ線とぴったり重なっているか確認します。

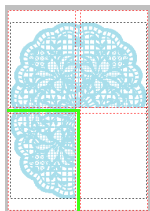
刺しゅう部分が縫製された後に、下側に位置合わせ線が縫製されます。



- 3) 手順1で縫製した枠パーツの下側の位置合わせ線と、3番目の枠パーツ（左下の部分）の上端を合わせて、刺しゅう枠を取り付け、縫製します。

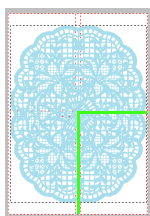
→ 刺しゅう部分が縫製される前に、上側の位置合わせ線が縫製されます。1番目の枠パーツの下側の位置合わせ線とぴったり重なっているか確認します。

刺しゅう部分が縫製された後に、左側に位置合わせ線が縫製されます。



- 4) 手順2で縫製した枠パーツの下側の位置合わせ線と、4番目の枠パーツ（右下の部分）の上端を、手順3で縫製した枠パーツの右側の位置合わせ線と、4番目の枠パーツ（右下の部分）の左端を合わせ、刺しゅう枠を取り付け、縫製します。

→ 刺しゅう部分が縫製される前に、位置合わせ線が縫製されます。2番目の枠パーツの下側の位置合わせ線、3番目の枠パーツの右側の位置合わせ線とぴったり重なっているか確認します。



6. 布に刺しゅう枠をセットして、残りの枠パーツをすべて縫製します。

刺しゅうデータの原画からの作成（デザインセンター）

デザインセンターの基本操作手順

デザインセンターは、他のアプリケーションで作成された画像を原画として刺しゅうデータを作成するときに使います。原画から輪郭線を抽出して刺しゅうデータの図案を作り、そこに縫い方や糸色を設定します。縫い方には、ステッチクリエイターで作成したパターンも設定できます。作成した刺しゅうデータは、レイアウトセンターのデザインページに取り込んで、他の刺しゅうデータと組み合わせることができます。

刺しゅうデータは、次の4つのステージで作成します。

■ 原画ステージ

原画ステージでは、ペイント[®]等のアプリケーションで作成された画像データや、スキャナ等で取り込んだ画像、クリップアートなど様々な画像を開くことができます。

圧縮されている画像ファイルは取り込めません。解凍してください。

使用できる画像データは、拡張子が .bmp、.tif、.jpg、.j2k、.pcx、.wmf、.png、.eps、.pcd、.fpx のいずれかのファイルです。その他のファイル形式の画像データは、お手持ちの変換ソフトウェアで上記のいずれかのファイル形式に変換して使用してください。

原画ステージでは、画像は本来の色で表示され、色を変更することはできません。

■ 輪郭線画ステージ

輪郭線画ステージに進むと、原画は白黒の輪郭線画に変換されます。輪郭線画ステージに進む前に、原画から黒い輪郭線に変換する色を1～5色選択します。選択されていない色は白に変換されます。このステージでは、5種類の太さのペンツールを使って、輪郭線画を修正することができます。

輪郭線画ステージで輪郭線画データを保存すると、ファイルの拡張子は .pel となります。

■ 輪郭データステージ

輪郭データステージに進むと、輪郭線画は自動的に輪郭データに変換されます。このステージでは、輪郭データのポイントを移動したり、削除したり、新しいポイントを挿入したりして、輪郭データを編集することができます。

輪郭データステージで輪郭データを保存すると、ファイルの拡張子は .pem となります。

■ 縫い方設定ステージ

縫い方設定ステージで、輪郭線と面に縫い方や糸色などの設定を行い、刺しゅうデータを完成します。

縫い方設定ステージでデータを保存すると、ファイルの拡張子は .pem となります。

輪郭線画ステージ、輪郭データステージ、縫い方設定ステージで作業を中断しても、ファイルを保存しておけば、後で作業を再開できます。

原画ステージ

ウィザードを使用する

どのように刺しゅうデータを作成するか選択します。ウィザード画面で、既存の原画から作成する、輪郭線画を描画する等、作成方法を選択すると、次の操作画面に進みます。

1. メニューバーのファイル→ウィザードをクリックします。

→ **どのように刺しゅうを作りますか**ダイアログボックスが表示されます。



カーソルを各ボタン上に置くと、各ボタンの動作名称を示すラベルが表示されます。

各ボタンの機能は、次の通りです。

① 原画から

原画から刺しゅうデータを作成する場合にクリックします。

クリックすると、**原画から**ダイアログボックスが表示され、どのデータを取り込むか尋ねられます。引き続きウィザード形式で次の操作を選びます。

詳しくは、本ページの「原画からボタンをクリックする場合」を参照してください。

② 新規作成（輪郭線画）

クリックすると、輪郭線画ステージで新規デザインページが開きます。

黒のペンと消しゴムツールを使って原画を描き、その原画から刺しゅうデータを作成する場合に選択します。

詳しくは、P.199の「輪郭線画ステージで新規デザインページを作成する」を参照してください。

③ 新規作成（輪郭データ）

クリックすると、輪郭データステージで新規デザインページが開きます。

輪郭データを初めから描画する場合や既存の .pem ファイルから輪郭データを取り込んでデータを作成する場合に選択します。

詳しくは、P.204の「輪郭データステージで新規デザインページを作成する」を参照してください。

④ PEM ファイルを開く

以前、輪郭データステージまたは縫い方設定ステージで保存した .pem ファイルを編集する場合に選択します。

クリックすると、**開く**ダイアログボックスが表示され、.pem ファイルを選択できます。

⑤ 最近使ったファイル

最近作業をしたファイルを開きます。

ファイルリストの編集したいファイル名をクリックし、**開く**をクリックします。

⑥ 起動時にこのウィザードを表示する

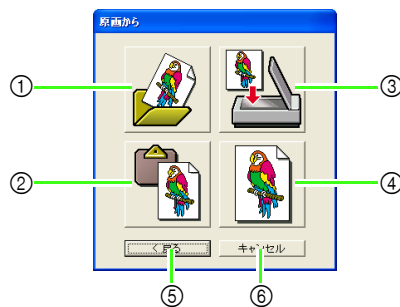
デザインセンターの起動時にウィザードを常に表示する/しないの設定をします。しない場合は、チェックボックスをクリックしてチェックを外します。

⑦ キャンセル

このダイアログボックスを閉じる場合にクリックします。

原画からボタンをクリックする場合

どのように刺しゅうを作りますかダイアログボックスで**原画から**ボタンをクリックすると、**原画から**ダイアログボックスが表示されます。



カーソルを各ボタン上に置くと、各ボタンの動作名称を示すラベルが表示されます。

各ボタンの機能は、次の通りです。

① 画像ファイルを開く

既存の画像ファイルを開き、デザインページに貼り付ける場合にクリックします。

② クリップボードから
クリップボードの画像をデザインページに貼り付ける場合にクリックします。この機能は、クリップボードに画像がコピーされている場合のみ使用できます。

③ TWAIN 機器から
パソコンに接続された TWAIN 機器（スキャナやデジタルカメラなど）から画像を取り込み、デザインページに貼り付ける場合にクリックします。


 詳しくは、次の「TWAIN 機器から画像データを取り込む」を参照してください。

④ 現在のイメージ
原画ステージで開かれている原画を使用する場合にクリックします。この機能は、原画ステージで原画を開いている場合にのみ使用できます。

⑤ 戻る
クリックすると、現在のダイアログボックスを閉じ、**どのように刺しゅうを作りますか**ダイアログボックスに戻ります。

⑥ キャンセル
クリックすると、このダイアログボックスを閉じます。

→ **戻る**または**キャンセル**以外のボタンをクリックした場合、画像の取り込みが開始され、取り込まれた原画（画像ファイル）が原画ステージのデザインページに貼り付けられます。そして、**輪郭線の選択**ダイアログボックスが表示され、輪郭線の色を選択します。

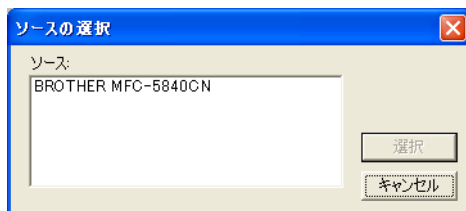
 各ステージについては、P.198 の「輪郭線画ステージ」、P.201 の「輪郭データステージ」、および P.211 の「縫い方設定ステージ」を参照してください。

TWAIN 機器から画像データを取り込む

TWAIN とは、スキャナ等を制御するソフトウェアのためのアプリケーションインターフェイス（API）の標準規格です。デザインセンターでは TWAIN 規格準拠の機器をサポートしているので、スキャナ等の機器を直接制御し、画像をそのまま取り込むことができます。

1. スキャナ等の TWAIN 機器が、パソコンに正しく接続されているかを確認します。
2. メニューバーの**ファイル**→**TWAIN 機器の選択**をクリックします。

→ 次のような**ソースの選択**ダイアログボックスが表示されます。



3. ソースリストから、使用する機器を選択してクリックします。

注意：

TWAIN 機器のドライバがインストールされていない場合、**ソース**リストには何も表示されません。この機能は、使用する TWAIN 機器のドライバソフトウェアをインストールしてから使用してください。

4. デバイスをクリックし反転表示して、**選択**をクリックします。

メモ：

操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

5. メニューバーの**ファイル**→**TWAIN 機器から入力**をクリックします。

→ **ソースの選択**ダイアログボックスで選択した機器のドライバインターフェイスが表示されます。

6. 画像の取り込みに必要な設定を指定し、画像を取り込みます。

注意：

ドライバインターフェイスの使い方については、インターフェイスのヘルプマニュアルをご覧になるか、インターフェイスのメーカーにお問い合わせください。

→ スキャナやその他の機器とドライバとの間の画像転送が完了すると、取り込んだ画像が原画ステージのデザインページに貼り付けられます。


メモ：


デザインページに作業中の画像があり、その画像が保存されていない場合は、画像を保存するかどうかを尋ねられます。

輪郭線画ステージ

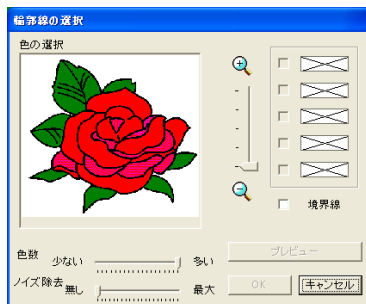
原画（画像ファイル）から輪郭線画（刺しゅうの輪郭線）にする色を選択し、輪郭線画ステージに進みます。輪郭線画ステージでは、ペンと消しゴムツールを使って輪郭線画を編集したり、新たに輪郭線画をフリーハンドで描いたりできます。また、ズーム用ツールを使って、画像をズームインまたはズームアウト表示できます。輪郭の抽出に適した画像の詳細については、本ページの「メモ」を参照してください。

画像の輪郭を抽出する

ツールバーボタン： 

1.  をクリックするか、メニューバーの **ステージ→輪郭線画ステージ** をクリックします。

→ **輪郭線の選択** ダイアログボックスが表示されます。



→ 輪郭データステージで作業している場合は、輪郭データステージでの輪郭データを削除するかどうかの確認メッセージが表示されてから輪郭線画ステージに戻ります。

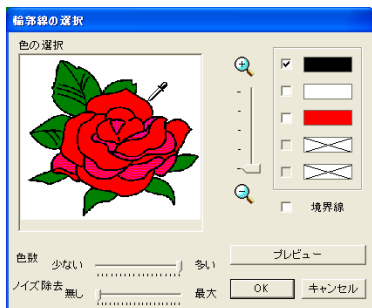
注意：


輪郭データステージまたは縫い方設定ステージから作業を開始した場合、この機能は無効になります。

メモ：

- **ズームスライダ** を上下に動かすと、原画の表示倍率を調整できます。拡大表示しているときは、スクロールして、隠れた部分を表示してください。
- 原画は、16色の画像を使用することをお勧めします。256色や True Color の画像は、ほとんどの場合、5色の色の部分を抽出するだけでは輪郭線を形成するだけの領域を選択できず、輪郭線画を作成できません。256色または True Color の画像を使用する場合は、色数スライダで色数を調整してください。
- 画像データの色数を減らしたり、画像ノイズ（歪み）を除去できます。スキャナやその他の機器から取り込んだ、輪郭が不鮮明な画像データからも簡単に色を選択できます。
 - 1) 画像表示領域に画像処理結果が表示されます。
 - 2) **色数** スライダを動かして、色数を設定します。スライダを右端の **多い** にすると、オリジナルの画像の色数になります。左端の **少ない** に設定するほど、色数を減らすことができます。
 - 3) **ノイズ除去** スライダを右端（**最大**）へ移動するほど、より大きなノイズが除去されます。

2. 輪郭線に変換したい線の色をクリックします。



→ カーソルを画像上に置くと、カーソルの形が  に変わります。

→ クリックした部分の色が右側のボックスに表示されます。チェックボックスに が表示されてその色が選択されたことを示します。

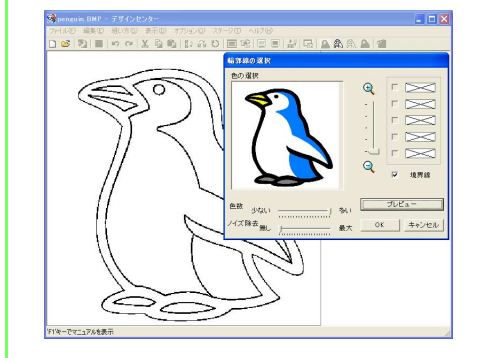
メモ：

- ステップ 2. を繰り返すと、5 色まで選択できます。6 色以上を選択すると、最後に選択した 5 色がリストに残ります。
- 色の選択を取り消すときは、チェックボックスをクリックしてチェックを外します。

色の境界を抽出するには、**境界線**チェックボックスをチェックします。

メモ：

- **境界線**を使用して色の境界を抽出すると、色は次の線画のように変換されます。



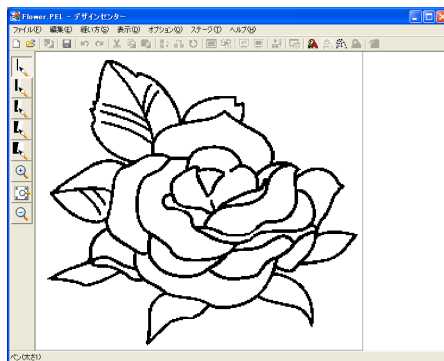
3. **プレビュー**をクリックして、輪郭線画のプレビューを確認します。

メモ：

必要に応じて、設定を変更してください。設定を変更したら、**プレビュー**をクリックして新たに適用した設定で輪郭線画をプレビューします。

4. **OK** をクリックします。


→ 選択したすべての色が黒の輪郭線（輪郭線画）に変換され、輪郭線画ステージのデザインページに表示されます。




メモ：

- 操作を中止して原画ステージに戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。
- きれいな輪郭線を作るには、必要最小限の色を選択することをお勧めします。
- 思い通りの輪郭線にならなかったときは、メニューバーの**ステージ**→**原画ステージ**を選択して原画ステージに戻り、色を選択し直して輪郭線画に再変換することもできます。

輪郭線画ステージで新規デザインページを作成する

ツールバーボタン： 

1.  をクリックするか、メニューバーの**ファイル**→**新規作成（輪郭線画）**をクリックします。

→ デザインページが保存済み、または作業中のデータがない場合は、直ちに輪郭線画ステージの空白の新規デザインページが表示されます。

→ 作業中のデザインページが保存されていない場合は、変更を保存するかどうかを尋ねられます。

メモ：

輪郭線画ステージでは、画像データは .pel ファイルとして保存されます。

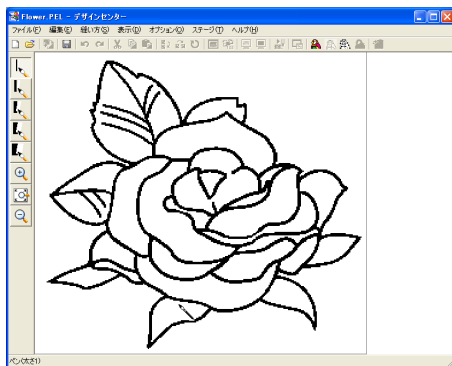


P.235 の「刺しゅうデータを保存する」および P.204 の「輪郭データステージで新規デザインページを作成する」

輪郭線の描画と消去のしかた

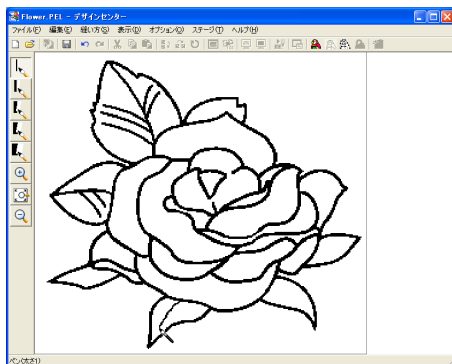
輪郭線を描く

1. ツールボックスで、希望する太さのペンをクリックします。



→ カーソルの形が  に変わります。

2. 点を追加するとき、1 回クリックします。線を描くときは、ドラッグします。

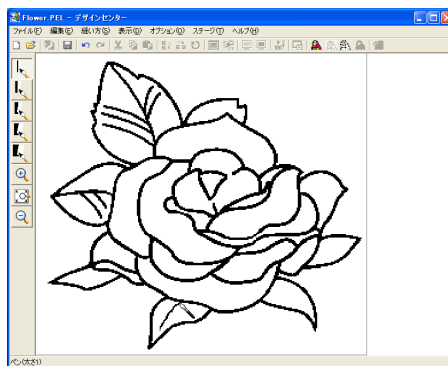


メモ：

(Shift) キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に線を引けます。

線を消去する

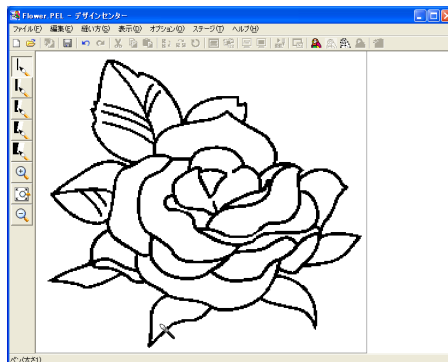
3. ツールボックスで、希望する太さのペンをクリックします。



4. 消去する線上にカーソルを置いて、マウスの右ボタンを押します。

→ カーソルの形が  に変わります。


5. カーソルをドラッグして線を消去します。




輪郭データステージ

輪郭線ができれば、輪郭データステージに進みます。輪郭線画ステージでは、輪郭線画は画像ビットマップ（単なる点の集合）にすぎません。この段階での編集は、黒点を描画または消去しているだけです。輪郭データステージに進む段階で、輪郭データに変換されます。さらに、輪郭データステージでは、ポイント編集ツールで輪郭データのポイントの移動、削除、挿入をしたり、直線描画ツールで線を加えたりできます。

輪郭線変換の設定を指定する

ツールバーボタン：

1.  をクリックするか、メニューバーの **ステージ→輪郭データステージ** をクリックします。

→ 輪郭線画ステージで作業していた場合は、**輪郭線変換の設定** ダイアログボックスが表示されます。



2. **解像度** を選択します。

輪郭データの細かさを設定します。基本的に、輪郭線画はポイントとポイントをむすぶ線の集まりとして輪郭データに変換されます。より細かなデータを作成するには多くのポイントが必要となり、また、データファイル容量もより大きくなります。

通常の画像データの場合は、「**通常**」を選択してください。ファイル容量をあまり大きくすることなく、適度な解像度になります。

「**粗い**」を選択してみて、輪郭線画のイメージを損なわず輪郭データに変換された場合は、ファイル容量をできるだけ小さくするために「**粗い**」を選択してください。

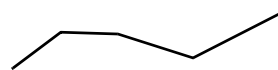
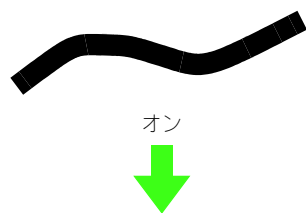
輪郭線画が非常に細かく、「通常」では満足できる結果が得られない場合にのみ「**細かい**」を選択してください。

3. 細線化処理を設定します。処理を行う場合は、**細線化処理** チェックボックスをチェックし、スライダで細線化処理の回数を設定します。

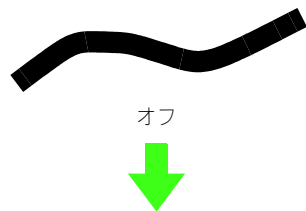
細線化処理 チェックボックスをチェックすると、輪郭線画の中心をたどり、輪郭データに変換されます。

メモ：

細線化処理の回数を**多い**にするほど、太い線は中心線が輪郭データになります。**少ない**にすると、太い線は**細線化処理** チェックボックスをチェックしないとと同じ処理がされます。



細線化処理 チェックボックスのチェックを外すと、輪郭線画の周囲をたどり、輪郭データが作成されます。



4. **サイズスライダ** で、変換後の輪郭データのサイズを設定します。

🔍 注意：

デザインページよりも大きなサイズに拡大することはできません。必要に応じて、**デザインページの設定**をクリックし、表示されたダイアログボックスでデザインページのサイズを変更してください。

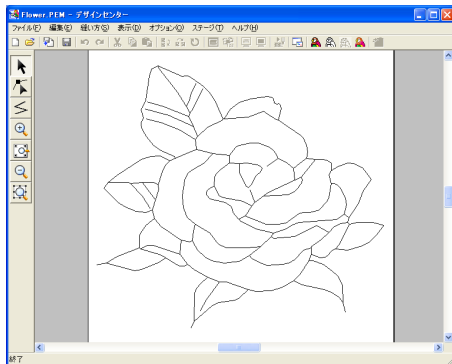
5. 原画の一部だけを選択して輪郭データにできます。その場合は、**範囲の指定**をクリックします。原画の選択したい範囲をカーソル（**+**）でドラッグします。

📖 メモ：

マウスの左ボタンを離すと、**輪郭線交換の設定**ダイアログボックスに戻ります。

6. **OK** をクリックします。

→ 輪郭データが輪郭データステージのデザインページに表示されます。



📖 メモ：

変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

🔍 注意：

輪郭線画ステージから輪郭データステージに進むとき、輪郭交換の設定でいろいろな設定を試してみても思い通りの輪郭データにならない場合は、輪郭線画ステージに戻り、輪郭線画の輪郭線を修正するか、または原画から修正を行ってください。

📖 P.199の「輪郭線画ステージで新規デザインページを作成する」、P.211の「縫い方設定ステージ」、P.237の「グリッドの設定を変更する」、およびP.203の「デザインページのサイズを設定する」

📖 メモ：

500×500ドット以内の画像を使用することをお勧めします。これより大きい画像や複雑な画像を使用すると、**OK** をクリックした後に「このデータは複雑すぎて変換できません」というメッセージが表示されることがあります。

下絵の表示のしかたを変更する

作業領域にある下絵の表示のしかたを、**表示 / 表示しない / 薄く表示**から選択できます。

1. メニューバーの**表示→下絵を表示**をクリックし、次に設定を選択します。

表示をクリックすると、下絵が表示されます。

薄く表示をクリックすると、下絵は薄く表示されます。

表示しないをクリックすると、下絵は表示されません。

📖 メモ：

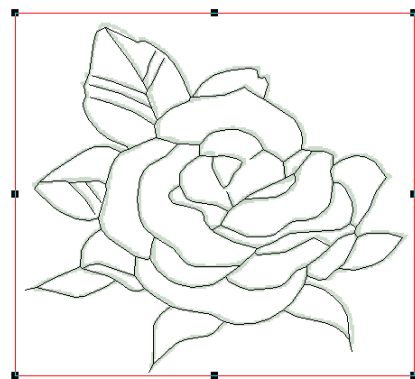
- 輪郭データステージのデザインページを新規作成した場合は、この機能は使用できません。
- ショートカットキーは **F6** です。押すごとに、**表示 / 薄く表示 / 表示しない**が切り替わります。

下絵の位置やサイズを調整する

下絵のサイズや位置を調整できます。

1. メニューバーの**表示→下絵の位置とサイズの変更**をクリックします。


→ 下絵の周囲に赤い線とハンドルが表示されます。







📖 メモ：

ステータスバーに、下絵のサイズ（幅と高さ）が表示されます。





下絵を移動する

1. カーソルを下絵の上に移動します。
→ カーソルの形が  に変わります。
2. 下絵をドラッグして、移動します。

下絵を拡大・縮小する

1. カーソルをハンドルの上に移動します。
→ 接しているハンドルによって、カーソルの形が、、、 または  に変わります。

📖 メモ：

-  は、幅を拡大・縮小します。
-  は、高さを拡大・縮小します。
-  と  は、幅と高さを同時に拡大・縮小します。（幅と高さの比率が保たれます。）
- **(Shift)** キーを押しながらハンドルをドラッグすると、下絵の中心から拡大・縮小されます。

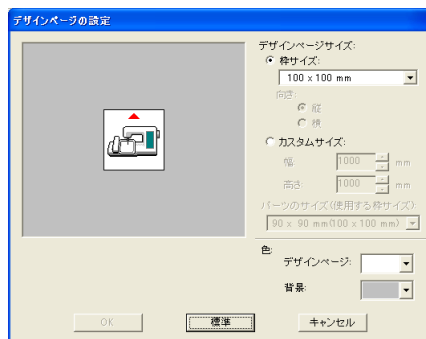
2. ハンドルをドラッグして、下絵のサイズを調整します。

デザインページのサイズを設定する

輪郭データステージでは、デザインページを、ご使用のミシンで使用する刺しゅう枠のサイズに設定できます。

1. メニューバーの**オプション**→**デザインページの設定**をクリックします。

→ **デザインページの設定** ダイアログボックスが表示されます。



2. デザインページのサイズを指定します。

デザインページサイズセクタでご使用のミシンの枠サイズを選択します。
必要に応じて、**向き（縦/横）**を選択します。
分割模様用のカスタムサイズを設定する場合は、**カスタムサイズ**を選択し、デザインページの**幅と高さ**を選択します。
（設定できる範囲は、100～1000mmです。）

📖 メモ：

- プレビュー領域で設定内容を確認できます。
- ミシンの絵が、ミシン上のデザインページ（枠）の方向を示します。

💡 注意：

枠サイズが選択されている場合、ご使用のミシンの最大刺しゅう縫製範囲を超えるサイズは選択しないでください。

3. OK をクリックします。

📖 メモ：

- 標準設定（100 × 100mm）に戻すには、**標準**をクリックします。
- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

💡 注意：

• 選択したサイズは設定が変更されるまで、新規デザインページに適用されます。

📖 メモ：

アプリケーションで使う長さの単位を、mm またはインチから選択できます。詳しくは、P.237 の「長さの単位を変更する」を参照してください。

輪郭データステージで 新規デザインページを作成する

輪郭データを描画する場合や既存の輪郭データ（.pem ファイル）を取り込んでデータを作成する場合に、輪郭データステージのデザインページを新規作成します。

1. メニューバーの**ファイル**→**新規作成(輪郭データ)**をクリックします。

→ デザインページが保存済み、または作業中のデータがない場合は、直ちに輪郭データステージの空白の新規デザインページが表示されます。

📖 メモ：

- デザインページのサイズは現在の設定となります。
- 既存の .pem ファイルを取り込むには、メニューバーの**ファイル**→**輪郭データ取り込み**を使用します。

→ 作業中のデザインページが保存されていない場合は、変更を保存するかどうかを尋ねられます。

📖 メモ：

輪郭データステージでは、輪郭データは .pem ファイルとして保存されます。

🔗 P.197 の「TWAIN 機器から画像データを取り込む」、P.235 の「刺しゅうデータを保存する」、および P.199 の「輪郭線画ステージで新規デザインページを作成する」


輪郭データを編集する

■ 輪郭データを選択する

1. ツールボックスの をクリックします。

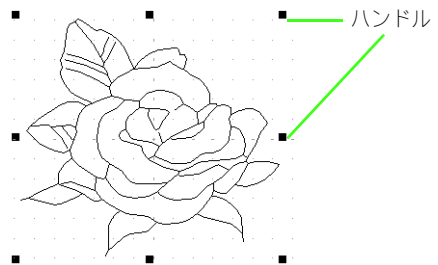
→ カーソルの形が  に変わります。

2. 選択したい輪郭データの輪郭線をクリックします。

→ カーソルを輪郭データ上に移動すると、形が  に変わります。

📖 メモ：

- 輪郭データが選択されると、ハンドルが表示され、輪郭線が赤くなります。



- 輪郭データは輪郭線以外の部分をクリックすると、選択できません。
- 輪郭データの選択を解除するには、別の輪郭データを選択するか、デザインページの空白部分（輪郭線以外の部分）をクリックします。


3. 複数の輪郭データを選択するときは、**Ctrl** キーを押しながら、輪郭データの輪郭線をクリックします。

📖 メモ：

選択したい輪郭データ全体を囲むようにカーソルをドラッグしても選択できます。カーソルをドラッグすると、点線の長方形が表示されます。マウスボタンを離すと、その長方形で完全に囲まれたすべての輪郭線が選択されます。

■ 輪郭データを移動する

1. 移動したい輪郭データを選択します。

→ カーソルを輪郭データ上に移動すると、形が  に変わります。

2. 輪郭データをドラッグします。

📖 メモ：

- **(Shift)** キーを押しながらドラッグすると、輪郭データを水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、選択した輪郭データを矢印キーの方向に0.5mmずつ移動できます。矢印キーを押し続けると、矢印キーの方向に輪郭データが移動し続けます。





■ 輪郭データを拡大・縮小する

<ドラッグで拡大・縮小する>





1. サイズを変更したい輪郭データを選択します。

2. 選択した輪郭データのハンドル上にカーソルを移動します。

→ 接しているハンドルによって、カーソルの

形が、、、 または  に変わります。

📖 メモ：

-  は、幅を拡大・縮小します。
-  は、高さを拡大・縮小します。
-  と  は、幅と高さを同時に拡大、縮小します。（幅と高さの比率が保たれます。）
- **(Shift)** キーを押しながらハンドルをドラッグすると、輪郭データの中心から拡大・縮小します。

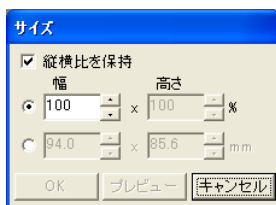
3. ハンドルをドラッグし、選択した輪郭データのサイズを調整します。

<サイズを指定して拡大・縮小する>

1. サイズを変更したい輪郭データを選択します。

2. メニューバーの**編集**→**数値設定**→**サイズ**をクリックします。

→ **サイズ**ダイアログボックスが表示されます。



3. 縦横比を固定して幅と高さを変更する場合は、**縦横比を保持**チェックボックスをチェックします。

4. 指定のしかたを選びます。比率 (%) またはサイズ (mm またはインチ) のどちらかのラジオボタンをクリックします。

5. 幅と高さの数値を入力するか、スピンボタンで値を変更します。

📖 メモ：

- **100%** を選択すると、サイズは変更されません。
- **縦横比を保持**チェックボックスを選択すると、幅と高さの比が固定され、一方の数値を変更するともう一方も自動的に変更されます。


6. **OK** をクリックします。

📖 メモ：

- **プレビュー**をクリックすると、変更後の輪郭データのサイズをデザインページ上で確認できます。
- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。


💡 注意：


- 入力可能な最大値は、輪郭データがデザインページのサイズを超えない数値です。
- 入力可能な最小値は、1.0mm です。

 P.237 の「長さの単位を変更する」

■ 輪郭データを上下または左右に反転する



1. 上下または左右に反転したい輪郭データを選択します。

2. 上下に反転する場合は、メニューバーの**編集**→**反転**→**上下**をクリックするか、ツールバーの  をクリックします。

左右に反転する場合は、メニューバーの**編集**→**反転**→**左右**をクリックするか、ツールバーの  をクリックします。

■ 輪郭データを回転する

<回転する>

1. 回転したい輪郭データを選択します。
2. メニューバーの**編集→回転**をクリックするか、ツールバーのをクリックします。
→ 選択した輪郭データの四隅のハンドルが、白い四角に変わります。
3. カーソルをハンドルの1つに移動します。
→ カーソルの形がに変わります。
4. ハンドルをドラッグすると、右または左に1度単位で回転します。

メモ：

(Shift) キーを押しながらドラッグすると、15度単位で回転します。

<角度を指定して回転する>


1. 回転したい輪郭データを選択します。
2. メニューバーの**編集→数値設定→回転**をクリックします。
→ **回転**ダイアログボックスが表示されます。



3. 回転角度の数値を入力するか、スピンプタンで値を変更します。

メモ：

- 赤い矢印をドラッグしても指定できます。カーソルを赤い矢印上に移動すると、形が

 に変わります。

- **0度**を選択すると、回転しません。

4. **OK** をクリックします。

メモ：

- **プレビュー** をクリックすると、変更後の輪郭データの角度をデザインページ上で確認できます。

- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。


注意：

入力可能な数値の範囲は、0～359度までで、1度単位で入力できます。

■ 輪郭データを削除する

1. 削除したい輪郭データを選択します。
2. **(Delete)** キーを押すか、メニューバーの**編集→削除**をクリックします。


■ 輪郭データを切り取る

1. 1つまたは複数の線画データを選択します。
2.  をクリックするか、メニューバーの**編集→切り取り**をクリックします。
→ 選択された輪郭データが作業領域から削除されます。


メモ：

データはクリップボードにコピーされるので、メニューバーの**編集→貼り付け**を使って、貼り付けることができます。


■ 輪郭データをコピーする

1. 1つまたは複数の線画データを選択します。
2.  をクリックするか、メニューバーの**編集→コピー**をクリックします。
→ 選択した輪郭データがクリップボードにコピーされます。

■ 切り取りまたはコピーした輪郭データを貼り付ける


1.  をクリックするか、メニューバーの**編集→貼り付け**をクリックします。
→ **切り取り**や**コピー**でクリップボードに保存された輪郭データが、作業領域に貼り付けられます。

■ 操作を元に戻す

1.  をクリックするか、メニューバーの **編集→元に戻す** をクリックします。

→ 直前の操作が取り消され、輪郭データは操作を行う前の状態に戻されます。（デザインセンターでは、最大 20 回まで元に戻すことができます。）



■ 元に戻した操作をやり直す

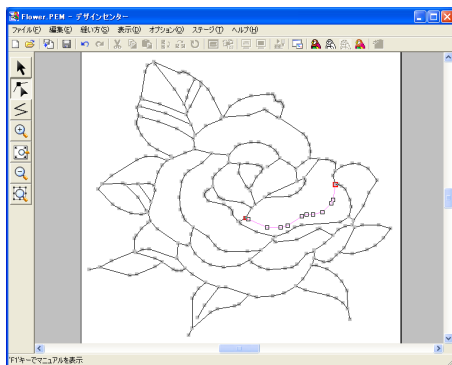
1.  をクリックするか、メニューバーの **編集→やり直し** をクリックします。

→ 直前の操作取り消しがキャンセルされ、輪郭データは取り消しを行う前の状態に戻されます。（デザインセンターでは、最大 20 回までやり直しをすることができます。）

輪郭データのポイントを編集する

■ ポイントを移動する

1. ツールボックスの  をクリックします。
→ カーソルの形が  に変わります。
2. 編集したい輪郭データをクリックします。
→ 線がピンクで表示され、線の既存ポイントが小さな四角で表示されます。



3. 移動するポイントをクリックします。
→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。

📖 メモ：

複数のポイントを選択するには、**Ctrl** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

💡 注意：

輪郭データの線上でクリックすると、新しいポイントが挿入されます。



4. ポイントを移動したい場所にドラッグします。

→ 選択されたすべてのポイントが同じ方向に移動します。



📖 メモ：

- **Shift** キーを押しながらドラッグすると、ポイントは水平方向または垂直方向に移動します。
- 矢印キーを押すと、選択したポイントを矢印キーの方向に 0.1mm ずつ移動できます。
- 矢印キーを押し続けると、矢印のキーの方向に選択したポイントが移動し続けます。

■ ポイントを挿入する

1. ツールボックスの  をクリックします。
→ カーソルの形が  に変わります。
2. 編集したい輪郭データをクリックします。
→ 線がピンクで表示され、線の既存ポイントが小さな四角で表示されます。
3. ポイントを挿入したい輪郭データの線上でクリックします。
→ 新しいポイントが追加され、小さい黒い四角で表示されます。新しいポイントはすぐに編集できます。

■ ポイントを削除する

1. ツールボックスの  をクリックします。
→ カーソルの形が  に変わります。
2. 編集したいポイントがある輪郭データをクリックします。
→ 線がピンクで表示され、線の既存ポイントが小さな四角で表示されます。
3. 削除したいポイントをクリックします。
→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。

メモ：

複数のポイントを選択するには、**Ctrl** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

4. **Delete** キーを押すか、メニューバーの**編集**→**削除**をクリックします。

メモ：


ポイントを右クリックして、表示されたメニューの**削除**をクリックしても、ポイントを削除できます。

注意：

赤い四角で表示されているポイントは削除できません。

■ ポイントで線を切断する

ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。



1. 切断したい線をクリックします。
→ 線がピンクで表示され、線の既存ポイントが小さな四角で表示されます。
2. 切断したいポイントをクリックします。
→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。

注意：

- ポイントは 1 つだけ選択してください。2 つ以上選択していると、この操作は実行できません。
- 線の終端にあるポイント（1 つの線のみにつながっているポイント）を選択してこの操作をしたときは、線は切断されません。


3. ポイントを右クリックして、表示されたメニューの**切断**をクリックするか、メニューバーの**編集**→**切断**を選択します。
→ 線が切断されます。

■ 2つのポイントを接続する

1. ツールボックスの  をクリックします。
→ カーソルの形が  に変わります。
2. 接続したい 2 つのポイントの片方のポイントがある輪郭データをクリックします。
→ 線がピンクで表示され、線の既存ポイントが小さな四角で表示されます。
3. 接続したいポイントをクリックします。
→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。

注意：

同一線上に隣接するポイントへは接続できません。

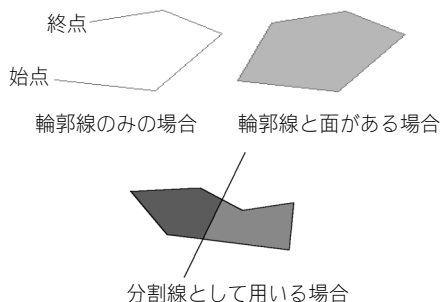
4. **Alt** キーを押しながら、選択したポイントから接続したいポイントまでドラッグします。
→ カーソルの形が  に変わり、2 つのポイントが重なると赤い四角が表示されます。
5. マウスボタンを放します。
→ 2 つのポイントが接続されます。


直線を描く


直線描画ツールにより、線を追加することができます。線は一本の直線または折線で描くことができます。または、複数本の直線をつなげて描くことができます。一本の直線の終点は次の直線の始点になります。

このツールで描いた線には、縫い方設定ステージで縫い方と糸色を設定できます。また、このツールで描いた線で囲まれた面にも、縫い方設定ステージで縫い方と糸色を設定できます。

すでにある面にこのツールで線を追加し、面を分割すると、分割されたそれぞれの面に個別の縫い方・糸色を設定できます。



1. ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. 始点を指定します。カーソルを始点に移動し、クリックします。

3. カーソルを次の点に移動し、再度クリックします。

→ 2つのポイントを結ぶ直線が引かれます。

メモ：

- マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。必要に応じ、グリッドを使って線を描きます。グリッドを設定すると、縦と横の線がそれぞれ表示されます。グリッドの詳細については、P.237の「グリッドの設定を変更する」を参照してください。
- **(Shift)** キーを押しながらカーソルを移動すると、水平方向または垂直方向に線を引けます。


4. 終点の1つ前の点まで、ステップ3.を繰り返します。

5. 終点を指定します。終点でダブルクリックします。

刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで見る

リファレンスウィンドウには、常にデザインページ全体、もしくはデータ全体が表示されます。デザインページをズームイン表示すると、現在表示されている部分が赤い枠（表示領域枠）で表示され、全体のどの部分を作業しているかを確認できます。


また、輪郭データステージと縫い方設定ステージでは、元の前画や別の画像データをリファレンスウィンドウで見ることができます。

リファレンスウィンドウの表示/非表示は、メニューバーの**表示**→**リファレンスウィンドウ**をクリックするか、 をクリックする、またはショートカットキー（**F11**）を押して切り替えます。

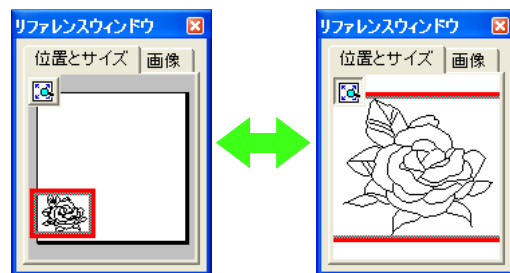
■ 表示方法を切り替える

リファレンスウィンドウは、デザインページ全体を表示するか、データ全体を表示領域サイズに合わせて表示するか、切り替えることができます。

1. **位置とサイズ**タブをクリックして、

 をクリックします。

→ リファレンスウィンドウの表示方法が切り替わります。




デザインページ全体を表示

データ全体を表示

■ 表示領域枠を移動する

表示領域枠を移動して、デザインページに表示する部分を、リファレンスウィンドウで指定できます。

1. カーソルを表示領域枠の上に移動します。

→ カーソルの形が  に変わります。

- 表示領域枠をドラッグして、デザインページで表示したい部分を囲む位置に移動します。

→ 表示領域枠で囲まれたデータ部分がデザインページに表示されます。

■ 表示領域枠を書き直す

枠を書き直してデザインページに表示する部分を、リファレンスウィンドウで指定できます。

- リファレンスウィンドウの表示したい部分をクリックまたはドラッグします。

→ クリックした位置を中心とした表示領域枠が書き直され、表示領域枠で囲まれたデータ部分がデザインページに表示されます。特定の部分を表示するには、目的の場所を囲むようにドラッグします。

■ 表示領域枠を拡大・縮小する

- カーソルを表示領域枠の角に移動します。

→ 接している角によって、カーソルの形が

↖ または ↗ に変わります。

メモ：

↖ と ↗ で、高さや幅を拡大・縮小します。

- 角をドラッグし、表示領域枠のサイズを調節します。

■ 原画を表示する

原画ステージで開いた原画を、リファレンスウィンドウに表示できます。

- 画像タブをクリックします。



注意：

原画ステージで画像を開いていない場合、原画は表示されません。

メモ：


リファレンスウィンドウが最初に表示される時は、**原画**が表示されます。**参照画像**が表示されているとき**原画**をクリックすると、**原画**が表示されます。

■ 別の参照画像を表示する

別の画像をリファレンスウィンドウに表示できます。

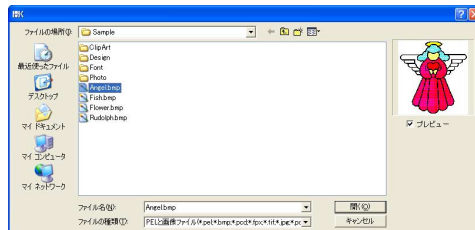
- 画像タブをクリックします。



- 参照画像をクリックして、 をクリックします。





- 参照したい画像ファイルを選択して、**開く**をクリックします。



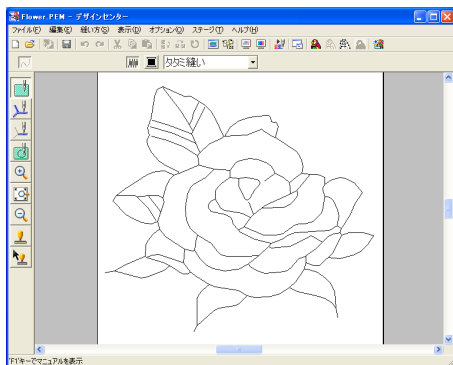
縫い方設定ステージ


輪郭データステージで輪郭を編集したら、縫い方設定ステージで縫い方を設定します。ズーム用ツールを使って、ズームインまたはズームアウト表示できます。

ツールバーボタン： 

1.  をクリックするか、メニューバーの **ステージ→縫い方設定ステージ** をクリックします。

→ データが縫い方設定ステージのデザインページに表示されます。



 P.199の「輪郭線画ステージで新規デザインページを作成する」および P.201の「輪郭データステージ」

表示色を指定する

縫い方設定ステージでは、デザインページの色を布の色に設定し、その背景を別の色に設定してコントラストをつけることができます。


1. メニューバーの**オプション→デザインページの設定** をクリックします。

→ **デザインページの設定** ダイアログボックスが表示されます。




2. **デザインページセクタ** でデザインページの色を選択します。

3. **背景セクタ** で背景の色を選択します。

 **メモ：**
プレビュー領域で設定された色を確認できます。

4. **OK** をクリックします。


 **メモ：**


- 標準設定に戻すには、**標準** をクリックします。
- 変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。

線と面に縫い方を設定する

■ 面縫い


＜面に縫い方を設定する＞

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わり、縫い方バーが次のように表示されます。



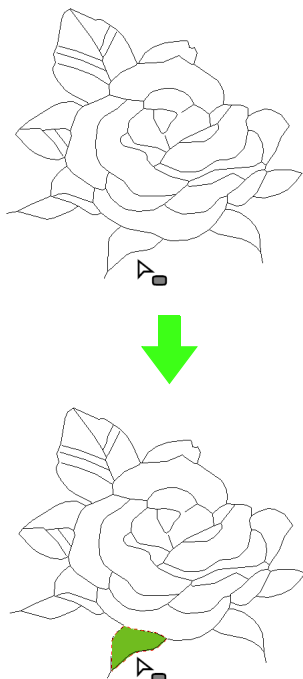
2. 必要に応じて、糸色と縫い方の種類を変更してください。

 **メモ：**

- 面に縫い方を設定した後も、糸色や縫い方の種類を変更できます。これらの設定を変更する方法については、P.216の「糸色」とP.217の「縫い方の種類」を参照してください。
- 糸密度などその他の縫い方の設定は、**縫い方の設定** ダイアログボックスで行います。（詳しくは、P.217の「縫い方の詳細設定をする」を参照してください。）縫い方の設定は変更しないかぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定はいつでも変更できます。

3. 糸色と縫い方の種類を設定したい面をクリックします。

→ 選択した面を囲む線が赤い破線で表示され、縫い方バーの糸色と縫い方の種類が面に設定されます。




注意：


縫い方を面に設定できないときは、輪郭データステージに戻り、輪郭線のポイントをポイント編集ツールで編集し、面を閉じて（線で完全に囲んで）ください。輪郭データの編集について、詳しくはP.207の「輪郭データのポイントを編集する」を参照してください。

メモ：

- 面の輪郭線は閉じているように見えても、その面に対して縫い方を設定できない場合は、その輪郭線は閉じていません。輪郭の閉じられていない部分を見つけるには、輪郭データステージの直線描画ツールで面をいくつかに分割し、縫い方設定ステージで縫い方を設定してみます。輪郭データステージに戻り、設定できない輪郭線を確認します。
- 輪郭線を閉じるには、ポイント編集ツールを使うと便利です。

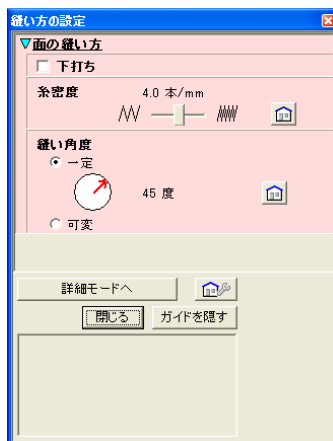
<面の縫い方を確認する>

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. 縫い方が設定されている面を右クリックします。

→ 選択された面の縫い方が**縫い方の設定**ダイアログボックスに表示されます。



メモ：


- メニューバーの**縫い方**→**縫い方の設定**を選択するか、次のツールバーボタンをクリックしても、縫い方の設定ダイアログボックスを表示できます。




- 縫い方の設定バーには、選択された面の色と縫い方が表示されます。ここで、糸色と縫い方の種類を変更できます。色と縫い方を変更する方法については、P.216の「糸色」とP.217の「縫い方の種類」を参照してください。

3. 必要に応じて、**縫い方の設定**ダイアログボックスの設定を変更します。

メモ：


各設定の右側の  をクリックすると、標準設定に戻すことができます。


 P.217の「縫い方の詳細設定をする」

4. 新しい縫い方を面に設定する場合は、設定したい面をクリックします。
5. **閉じる**をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

■ 線縫い

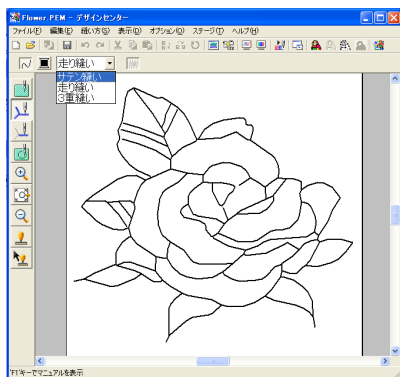
<縫い方を輪郭線全体に設定する>

1. ツールボックスの  をクリックします。

→カーソルの形が  に変わり、縫い方バーが次のように表示されます。



2. 必要に応じて、糸色と縫い方の種類を変更してください。

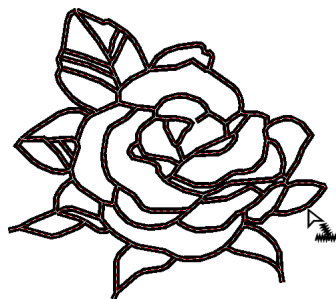
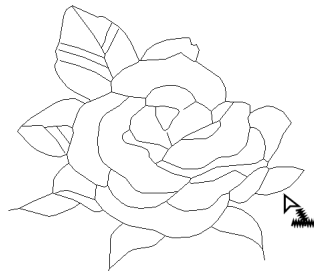


📖 メモ：


- 輪郭に縫い方を設定した後も、糸色や縫い方の種類を変更できます。これらの設定を変更する方法については、P.216の「糸色」とP.217の「縫い方の種類」を参照してください。
- 走りピッチなどその他の縫い方の設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。（詳しくは、P.217の「縫い方の詳細設定をする」を参照してください。）縫い方の設定は変更しないがぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定はいつでも変更できます。


3. 糸色と縫い方の種類を設定したい輪郭線をクリックします。

→ 輪郭線が赤い破線で表示され、縫い方バーの糸色と縫い方の種類が輪郭線全体に設定されます。



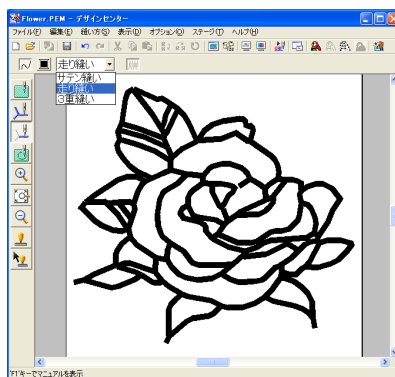
縫い方を輪郭線の一部に設定する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→カーソルの形が  に変わり、縫い方バーが次のように表示されます。



2. 必要に応じて、糸色と縫い方の種類を変更してください。

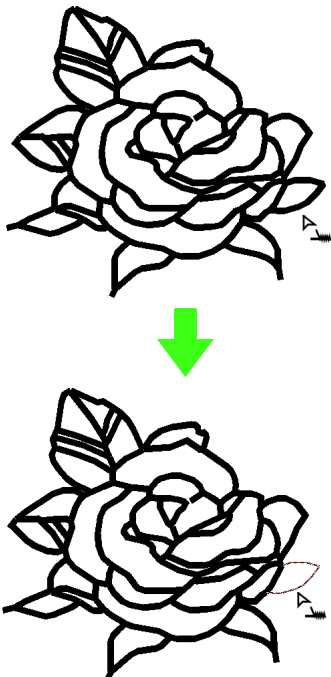


📖 メモ：

- 輪郭の部分に縫い方を設定した後も、縫い方の種類を変更できます。この設定の変更方法については、P.217の「縫い方の種類」を参照してください。
- 走りピッチなどその他の縫い方の設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。（詳しくは、P.217の「縫い方の詳細設定をする」を参照してください。）縫い方の設定は変更しないかぎり、現在指定されている内容が適用されます。縫い方の設定はいつでも変更できます。


3. 糸色、縫い方の種類を設定したい輪郭線の一部をクリックします。


→ 設定された輪郭線の一部が赤い破線で表示され、縫い方バーの糸色と縫い方の種類が輪郭線の一部に設定されます。




<輪郭線の縫い方を確認する>

1. ツールボックスの をクリックします。

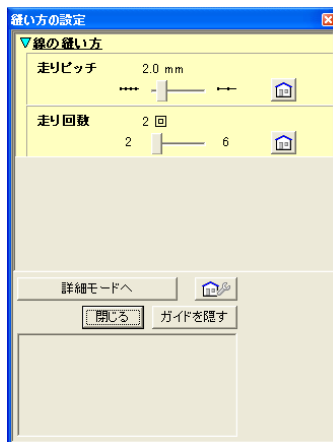
→ カーソルの形が  に変わります。

または、ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. 確認したい輪郭線の一部を右クリックします。

→ 右クリックした輪郭線の一部の縫い方が **縫い方の設定**ダイアログボックスに表示されます。



📖 メモ：


- **縫い方の設定**ダイアログボックスは、メニューバーの**縫い方**→**縫い方の設定**を選択するか、次のツールバーのボタンをクリックしても表示できます。




- 縫い方の設定バーには、選択された輪郭の色と縫い方が表示されます。ここでは、輪郭線全体の色と縫い方、輪郭線部分の縫い方を変更できます。色と縫い方を変更する方法については、P.216の「糸色」とP.217の「縫い方の種類」を参照してください。

3. 必要に応じて、**縫い方の設定**ダイアログボックスの設定を変更します。

📖 メモ：

各設定の右側の  をクリックすると、標準設定に戻すことができます。

 P.217の「縫い方の詳細設定をする」

4. 新しい縫い方を輪郭線または輪郭線の一部に設定する場合は、設定したい輪郭線をクリックします。

5. **閉じる**をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。



縫い方バーの使い方

縫い方設定ステージで使用できる縫い方バーによって、面と輪郭線の糸色と縫い方の種類を設定できます。

使用できる縫い方の種類は、ツールボックスで選択したツールによって異なります。



例 1： ツールバーの  が選択されている場合



例 2： ツールバーの  または  が選択されている場合




カーソルを縫い方バーのボタンまたはセレクト上に置くと、そのボタンやセレクトの機能を示すラベルが表示されます。

	面の設定 ボタン：面縫いのオン / オフを切り替えます。	P.215
	線の設定 ボタン：線縫いのオン / オフを切り替えます。	P.216
	面の色 ボタン、 線の色 ボタン：このボタンをクリックすると、線または面の糸色を設定できます。	P.216
	面の縫い方 セレクト、 線の縫い方 セレクト：このセレクトを使って、線または面の縫い方の種類を設定します。	P.217

■ 面の設定

面縫いのオン / オフを切り替えます。

メモ：

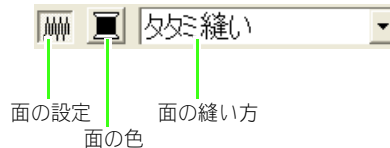
- **面の設定** ボタンはツールボックスの  が選択されている場合にのみ使用できます。
- 面縫いがオフのときは、面の縫製は行われません。(糸色または縫い方の設定はできません)

1. をクリックします。

オン / オフにより、表示が変わります。

オン：**面の色** ボタンと**面の縫い方** セレクトが表示されます。

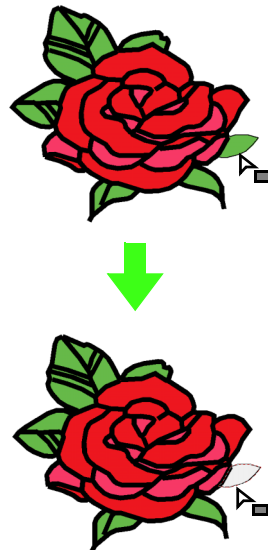
オフ：**面の色** ボタンと**面の縫い方** セレクトは表示されません。




2. 面をクリックして面に縫い方を設定します。

→ **面の設定** ボタンがオンになっている場合は、**面の色** ボタンに表示された糸色と**面の縫い方** セレクトに表示された縫い方の種類が面に設定されます。

→ **面の設定** ボタンがオフになっている場合は、面は白く表示され、縫わない設定になります。





 P.216の「糸色」およびP.217の「縫い方の種類」

■ 線の設定

線縫いのオン/オフを切り替えます。

メモ：

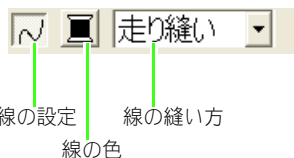
- **線の設定** ボタンはツールボックスの  または  が選択されている場合にのみ使用できます。
- 線縫いがオフのときは、線の縫製は行われません。（糸色または縫い方の設定はできません。）

1. をクリックします。

オン/オフにより、表示が変わります。

オン：**線の色** ボタンと**線の縫い方** セレクタが表示されます。

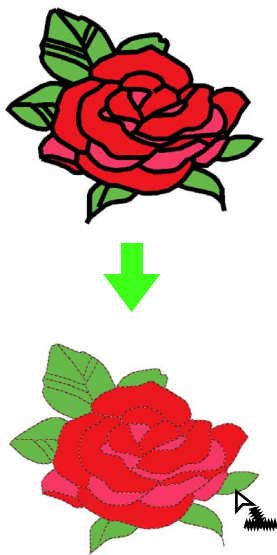
オフ：**線の色** ボタンと**線の縫い方** セレクタは表示されません。



2. 線をクリックして線に縫い方を適用します。


→ **線の設定** ボタンがオンになっている場合は、**線の色** ボタンに表示された糸色と**線の縫い方** セレクタに表示された縫い方の種類が線に設定されます。

→ **線の設定** ボタンがオフになっている場合は、線は点線に表示され、縫わない設定になります。



メモ：



輪郭線の色を変更するには、「糸色」を参照してください。

 P.216の「糸色」およびP.217の「縫い方の種類」

■ 糸色

線または面の糸色を設定します。

メモ：

面の設定 ボタン () または **線の設定** ボタン () がオンになっている場合に、**糸色** ボタンが縫い方バーに表示されます。

1. 糸色ボタンをクリックします。


→ 次のような**線の糸色**または**面の糸色**ダイアログボックスが表示されます。



メモ：

- **詳細の表示** チェックボックスが選択されていると、左側のダイアログボックスが表示されます。このチェックボックスが選択されていない場合は、右側のダイアログボックスが表示されます。
- 糸色リストは、**色**、**糸番号**、**糸色名**をクリックするとソートできます。クリックすることにより、昇順/降順を切り替えることができます。

2. 糸リストセレクタから、システム糸リストまたはユーザー糸リストを選択します。

 ユーザー糸リストの設定方法や、ミシンでの糸色の扱いについては、P.164の「ユーザー糸リストを作成・編集する」を参照してください。

- 糸色リストから、希望する色をクリックします。


→ 選択された糸色が**面の色**ボタンまたは**線の色**ボタンに表示されます。

メモ：

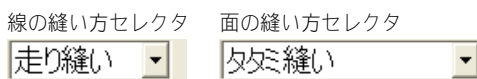
- 選択された色は、ダイアログボックスの下方に表示されます。
- 糸色一覧の下の4つのボタンには特別な機能があります。詳しくは、P.151の「特別色」を参照してください。

- 閉じる**をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

- 糸色を設定したい面または輪郭線をクリックします。



 P.215の「面の設定」、P.216の「線の設定」、およびP.151の「特別色」

縫い方の種類



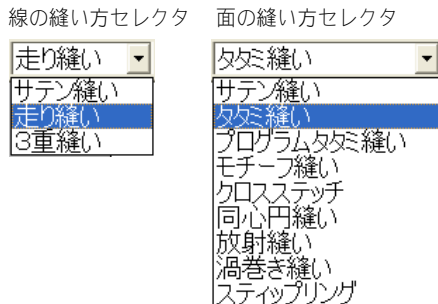
これらのセレクトアを使って、線または面の縫い方の種類を設定します。

メモ：

面の設定ボタン () または **線の設定**ボタン () がオンになっている場合、**縫い方**セレクトアが縫い方バーに表示されます。

- 縫い方の種類セレクトアをクリックします。


→ 使用できる縫い方の種類が表示されます。



- 希望する縫い方の種類をクリックします。


→ 選択された縫い方の種類がセレクトアに表示されます。

- 縫い方の種類を設定したい面または輪郭線をクリックします。

 P.215の「面の設定」およびP.216の「線の設定」

縫い方の詳細設定をする




線と面に対する様々な縫い方の設定は、**縫い方の設定**ダイアログボックスで行います。

ツールバーボタン：

- ツールバーの をクリックします。

→ **縫い方の設定**ダイアログボックスが表示されます。

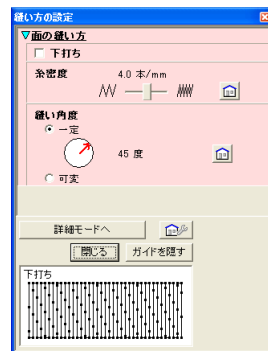
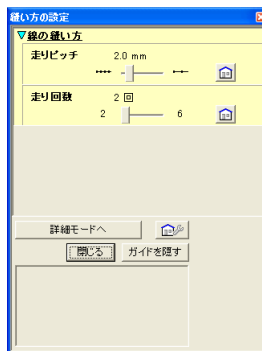
メモ：

ツールバーの が選択されていると、**縫い方の設定**ダイアログボックスに面の縫い方の設定が表示されます。ツールバーの または が選択されていると、**縫い方の設定**ダイアログボックスに線の縫い方の設定が表示されます。

簡易モード：

線の縫い方設定モード

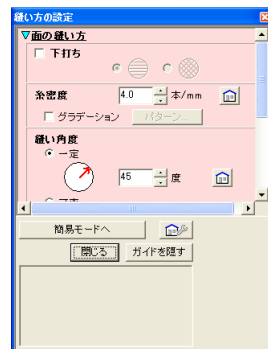
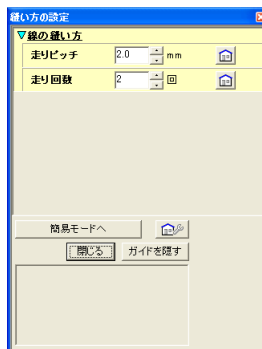
面の縫い方設定モード



詳細モード：

線の縫い方設定モード

面の縫い方設定モード



メモ：

- メニューバーの**縫い方**→**縫い方の設定**を選択しても、縫い方の設定ダイアログボックスを表示できません。
- ダイアログボックスに表示される縫い方の設定内容は、選択されている縫い方の種類によって異なります。


2. 基本的な縫い方の設定だけを表示するには、**簡易モード**へをクリックします。選択している縫い方で使用できるすべての縫い方と設定を表示するには、**詳細モード**へをクリックします。


メモ：

- 簡易モードで表示されない設定は、詳細モードの以前の設定値が保持されます。
- ガイドを隠す**をクリックすると、ガイド表示領域は表示されません。**ガイドを表示**をクリックすると、ガイド表示領域が表示されます。ガイド表示領域を表示しているときは、カーソルを設定項目上に移動すると縫い方のサンプルが表示されます。設定を変更するごとに、変更後の実際の変化をここで確認できます。

3. 必要に応じて、**線の縫い方**または**面の縫い方**の下に表示された各設定を変更します。

メモ：

- ダイアログボックスの大きさは、ダイアログボックスの端をドラッグすることで自由に変更できます。スクロールバーが表示されているときは、スクロールすることによりすべての設定を表示できます。
- 入力の方法は表示モードによって異なります。詳細モードで数値を入力する場合は、直接数値を入力するか、スピンプタンで値を変更します。簡易モードではスライダを移動して設定を変更します。設定の右側の  をクリックすると、標準設定に戻すことができます。

-  **縫い方の設定**の各設定については、P.219の「線の縫い方」とP.220の「面の縫い方」を参照してください。頻繁に使用する設定は保存できます。詳しくは、P.227の「よく使う縫い方を保存する」を参照してください。

注意：






縫い方の設定の各設定は、表示モードに関係なく、変更されるまで、現在設定されている内容が保持されます。

4. **線の縫い方**の設定が表示されているときに輪郭線をクリックすると、線の縫い方の設定がその輪郭線に適用されます。**面の縫い方**の設定が表示されているときに面をクリックすると、面の縫い方の設定がその面に適用されます。
5. **閉じる**をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

■ 線の縫い方

指定できる縫い方の設定は、選択した縫い方によって異なります。簡易モードでは、表示されない縫い方の設定があります。

サテン縫い

下打ち	下打ちのオン/オフを切り替えます。縫い縮みを防ぐために下打ちをします。 オン：下打ちを行います。 オフ：下打ちを行いません。 標準：オフ	
サテン幅	サテン幅を設定します。 範囲：1.0～10.0mm 標準：2.0mm	
糸密度	1mm当たりの糸数を設定します。 範囲：1.0～7.0本/mm 標準：4.0本/mm	
ハーフステッチ	ハーフステッチのオン/オフを切り替えます。 サテン縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、一定糸密度になるように自動的に調整されます。 標準：オフ	オン：  オフ： 
角のタイプ	角をどのように縫うか設定します。 標準： 	 

走り縫い

走りピッチ	線縫いの走りピッチを設定します。 範囲：1.0～10.0mm 標準：2.0mm
走り回数	輪郭として縫われる回数を設定します。 範囲：2, 4, 6回 標準：2回

3重縫い

走りピッチ	線縫いの走りピッチを設定します。 範囲：1.0～10.0mm 標準：2.0mm
-------	---

■ 面の縫い方






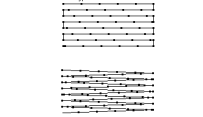








指定できる縫い方の設定は、選択した縫い方によって異なります。簡易モードでは、表示されない縫い方の設定があります。

サテン縫い



<p>下打ち</p>	<p>下打ちのオン/オフを切り替えます。縫う範囲が広いときは、縫い縮みを防ぐために下打ちをしてください。 オン：下打ちを行います。 オフ：下打ちを行いません。 標準：オフ [タイプ]下縫いの縫い方向の種類を設定します。 1 重縫い：指定された縫い方向に対して垂直に縫います。 2 重縫い：指定された縫い角度に対して 45 度および -45 度に縫います。</p>	<p>1 重縫い 2 重縫い</p> 
<p>糸密度</p>	<p>1mm 当たりの糸数を設定します。 範囲：1.0 ～ 7.0 本 /mm 標準：4.0 本 /mm</p>	
<p>グラデーション</p>	<p>糸密度のグラデーションのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 パターンをクリックして、グラデーションのパターンを設定します。 標準：オフ この設定について詳しくは、P.226 の「グラデーションを作成する」を参照してください。</p>	
<p>縫い角度</p>	<p>[タイプ]縫い方向の種類を設定します。 一定：一定の角度で縫います。下記で角度を設定します。 可変：面の形状に合わせて縫い方向を可変します。 [角度]縫い方向の角度を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 範囲：0 ～ 359 度 標準：45 度</p>	
<p>ハーフステッチ</p>	<p>ハーフステッチのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが可変に設定されている場合に設定できます。 サテン縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、一定糸密度になるように自動的に調整されます。 標準：オフ</p>	<p>オン：</p> <p>オフ：</p>
<p>内部走り経路</p>	<p>面内部の走り縫いの経路を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 指定できる設定： ・面の内部（図形内部の最短経路） ・輪郭線沿い（図形の輪郭線の内側の線上の最短経路） ・輪郭線上（図形の輪郭線上の最短経路） グラデーションがオフに設定されている場合にのみ、面の内部を設定できます。 標準：面の内部</p>	<p>面の内部 </p> <p>輪郭線沿い </p> <p>輪郭線上 </p>
<p>縮み補正</p>	<p>縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。 範囲：0.0 ～ 2.0mm 標準：0.0mm</p>	

刺しゅうデータの原画からの作成（デザインセンター）








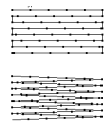



タタミ縫い


<p>下打ち</p>	<p>下打ちのオン/オフを切り替えます。縫う範囲が広いときは、縫い縮みを防ぐために下打ちをしてください。 オン：下打ちを行います。 オフ：下打ちを行いません。 標準：オフ [タイプ]下縫いの縫い方向の種類を設定します。 1 重縫い：指定された縫い方向に対して垂直に縫います。 2 重縫い：指定された縫い角度に対して 45 度および -45 度に縫います。</p>	<p>1 重縫い 2 重縫い</p> 
<p>糸密度</p>	<p>1mm 当たりの糸数を設定します。 範囲：1.0 ～ 7.0 本 /mm 標準：4.0 本 /mm</p>	
<p>グラデーション</p>	<p>糸密度のグラデーションのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 パターンをクリックして、グラデーションのパターンと密度を設定します。 標準：オフ この設定について詳しくは、P.226 の「グラデーションを作成する」を参照してください。</p>	
<p>縫い角度</p>	<p>[タイプ]縫い方向の種類を設定します。 一定 一定の角度で縫います。下記で角度を設定します。 可変：面の形状に合わせて縫い方向を可変します。 [角度]縫い方向の角度を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 範囲：0 ～ 359 度 標準：45 度</p>	
<p>折り返し</p>	<p>ステッチの折り返しパターンを指定します。 指定できる設定：,  標準：</p>	
<p>ハーフステッチ</p>	<p>ハーフステッチのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが可変に設定されている場合に設定できます。 タタミ縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、一定糸密度になるように自動的に調整されます。 標準：オフ</p>	<p>オン：</p> <p>オフ：</p>
<p>内部走り経路</p>	<p>面内部の走り縫いの経路を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 指定できる設定： ・面の内部（図形内部の最短経路） ・輪郭線沿い（図形の輪郭線の内側の線上の最短経路） ・輪郭線上（図形の輪郭線上の最短経路） グラデーションがオフに設定されている場合にのみ、面の内部を設定できます。 標準：面の内部</p>	<p>面の内部 </p> <p>輪郭線沿い </p> <p>輪郭線上 </p>
<p>縫いピッチ</p>	<p>縫いピッチを設定します。 範囲：1.0 ～ 10.0mm 標準：4.0mm</p>	<p>縫いピッチ </p>
<p>偏差</p>	<p>縫い目のずらし具合を設定します。 範囲：0 ～ 99% 標準：30%</p>	<p>30% </p> <p>0% </p>
<p>縮み補正</p>	<p>縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。 範囲：0.0 ～ 2.0mm 標準：0.0mm</p>	

プログラムタタミ縫い

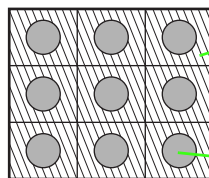
<p>下打ち</p>	<p>下打ちのオン/オフを切り替えます。縫う範囲が広いときは、縫い縮みを防ぐために下打ちをしてください。 オン：下打ちを行います。 オフ：下打ちを行いません。 標準：オフ [タイプ]下縫いの縫い方向の種類を設定します。 1 重縫い：指定された縫い方向に対して垂直に縫います。 2 重縫い：指定された縫い角度に対して 45 度および -45 度に縫います。</p>	<p>1 重縫い 2 重縫い</p> 
<p>糸密度</p>	<p>1mm 当たりの糸数を設定します。 範囲：1.0 ～ 7.0 本 /mm 標準：4.0 本 /mm</p>	
<p>グラデーション</p>	<p>糸密度のグラデーションのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 パターンをクリックして、グラデーションのパターンと密度を設定します。 標準：オフ この設定について詳しくは、P.226 の「グラデーションを作成する」を参照してください。</p>	
<p>縫い角度</p>	<p>[タイプ]縫い方向の種類を設定します。 一定一定の角度で縫います。下記で角度を設定します。 可変：面の形状に合わせて縫い方向を可変します。 [角度]縫い方向の角度を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 範囲：0 ～ 359 度 標準：45 度</p>	
<p>ハーフステッチ</p>	<p>ハーフステッチのオン/オフを切り替えます。 縫い角度のタイプが可変に設定されている場合に設定できます。 タタミ縫いの折り返しの片側の糸密度が高い場合に、一定糸密度になるように自動的に調整されます。 標準：オフ</p>	<p>オン：</p> <p>オフ：</p>
<p>内部走り経路</p>	<p>面内部の走り縫いの経路を設定します。 縫い角度のタイプが一定に設定されている場合に設定できます。 指定できる設定： ・面の内部（図形内部の最短経路） ・輪郭線沿い（図形の輪郭線の内側の線上の最短経路） ・輪郭線上（図形の輪郭線上の最短経路） グラデーションがオフに設定されている場合にのみ、面の内部を設定できます。 標準：面の内部</p>	<p>面の内部 </p> <p>輪郭線沿い </p> <p>輪郭線上 </p>
<p>縮み補正</p>	<p>縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。 範囲：0.0 ～ 2.0mm 標準：0.0mm</p>	

刺しゅうデータの原画からの作成（デザインセンター）

プログラム タタミ			プログラムタタミのパターンを選択します。  をクリックすると、 一覧 ダイアログボックスが表示されます。使用する .pas ファイルがあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示してから OK をクリックしてパターンを選択します。	
	幅（横の長さ）		プログラムタタミパターンの幅を設定します。 範囲：5.0～10.0mm 標準：7.5mm	
	高さ（縦の長さ）		プログラムタタミパターンの高さを設定します。 範囲：5.0～10.0mm 標準：7.5mm	
	縫い角度		プログラムタタミパターンの角度を回転できます。 範囲：0～359度 標準：0度 	
	オフセット	オフセット方向	パターン配列の 横 / 縦 のオフセット方向を設定します。 横  縦 	
		オフセット値	パターン配列のオフセット（ずらし）量を設定します。 範囲：0～99% 標準：0%	
	ベースの 縫い方 ベースの縫い方を指定します。（詳しくは、下図を参照してください。）	折り返し	ステッチの折り返しパターンの形を指定します。 ベースの縫い方 がオンに設定されている場合に設定できます。 指定できる設定：  標準： 	
		縫いピッチ	プログラムタタミ縫いのベースの縫い方に縫いピッチを設定します。 ベースの縫い方 がオンに設定されている場合に設定できます。 範囲：1.0～10.0mm 標準：4.0mm	縫いピッチ 
		偏差	プログラムタタミ縫いのベースの縫い方に、縫い目のずらし具合を設定します。 ベースの縫い方 がオンに設定されている場合に設定できます。 範囲：0～99% 標準：30%	30%  0% 

パターン 




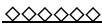
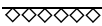
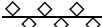







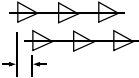
縫い沈め、または浮き上がり効果を設定した面



プログラムタタミ縫いのベースの縫い方（斜線で示したパターン以外の領域）で設定された縫い方で縫われます。

パターンファイルで設定された縫い方で縫われます。

モチーフ縫い

モチーフ	<p>モチーフ縫いにパターン1とパターン2のいずれを使うかを選択します。パターン1と2を選んだ場合は、各列で交互に縫製されるように設定されます。</p> <p>パターン1のみ：パターン1のみを使います。（標準）</p> <p>パターン2のみ：パターン2のみを使います。</p> <p>パターン1と2：パターン1と2を使います。</p>	
		<p>モチーフ縫いのパターンを選択します。</p> <p> をクリックすると、一覧ダイアログボックスが表示されます。使用する .pmf ファイルがあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示してから OK をクリックしてパターンを選択します。</p>
	幅 (横の長さ)	<p>モチーフパターンの幅（線に沿った方向）を設定します。</p> <p>範囲：2.0 ～ 100.0mm 標準：5.0mm</p>
	高さ (縦の長さ)	<p>モチーフパターンの高さ（線と垂直の方向）を設定します。</p> <p>範囲：2.0 ～ 100.0mm 標準：5.0mm</p>
	パターン1 パターン2 アレンジ1 (縦配列)	<p>モチーフパターンの縦の配列を設定します。 のようなパターンでは、右図のように線に沿って配列されます。</p> <p>標準： 反転： 交互：</p>
	アレンジ2 (横配列)	<p>モチーフパターンの横の配列を設定します。 のようなパターンでは、右図のように線に沿って配列されます。</p> <p>標準： 反転： 交互：</p>
	スペース横 (横の間隔)	<p>モチーフパターンの横の間隔を設定します。</p> <p>最小：パターンによって異なります 負の値も設定できます。</p> <p>最大：100.0mm 標準：0mm</p> <p>スペース横 </p>
	スペース縦 (縦の間隔)	<p>モチーフパターンの縦の間隔を設定します。</p> <p>最小：パターンによって異なります 負の値も設定できます。</p> <p>最小：100.0mm 標準：0mm</p> <p>スペース縦 </p>
	縫い角度	<p>モチーフ縫いの縫い角度を設定します。</p> <p>範囲：0 ～ 359 度 標準：0 度</p> <p></p>
	オフセット量	<p>パターン配列の各列のオフセット（ずらし）量を設定します。</p> <p>範囲：0.0 ～ 100.0mm 標準：0.0mm</p> <p></p>
走りピッチ	<p>縫いピッチを設定します。</p> <p>範囲：1.0 ～ 10.0mm 標準：10.0mm</p>	

クロスステッチ

サイズ	格子の縦横のサイズを設定します。 詳細モードでは、単位として mm またはカウントで設定します。どちらの単位で設定しても、もう一方の単位も連動して設定されます。 範囲：1.5 ～ 5.0mm または 5 ～ 17 カウント 標準：2.5mm または 10 カウント
縫い方	縫い回数を設定します。 範囲：2 重縫い、4 重縫い、6 重縫い 標準：2 重縫い

同心円縫い、放射縫い、渦巻き縫い

同心円縫いと放射縫いの中心点の移動について詳しくは、P.228 の「同心円縫いと放射縫いの中心点を移動する」を参照してください。

糸密度	1mm 当たりの糸数を設定します。 範囲：0.2 ～ 7.0 本 /mm 標準：2.0 本 /mm
走りピッチ	走りピッチを設定します。 範囲：1.0 ～ 10.0mm 標準：2.0mm

スティップリング

走りピッチ	縫いピッチを設定します。 範囲：1.0 ～ 10.0mm 標準：2.0mm
スペース	隣り合う線縫いの平均間隔を設定します。 範囲：2.0 ～ 50.0mm 標準：10.0mm

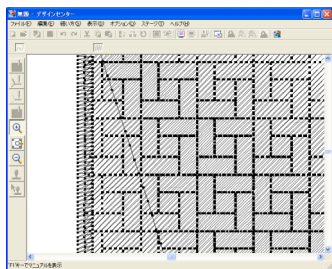
プログラムタタミ縫いとスタンプに関する注意

プログラムタタミ縫いを設定する場合、縫い方とパターン角度によっては、パターンの効果が十分に現れない場合があります。これは、パターンのデータと縫い角度が交わる所に針落ちデータを作成するためです。

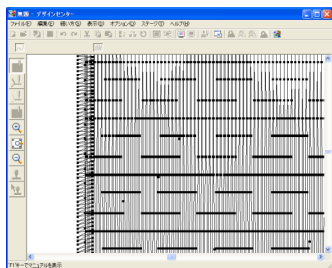
したがって、プログラムタタミ縫いやスタンプを設定する場合は、必ずプレビュー機能を使って縫い角度、パターン角度が正しいか確認してください。効果的な角度の値を得るため、別の縫い角度を試して比較してみてください。

プログラムタタミ縫いの例：

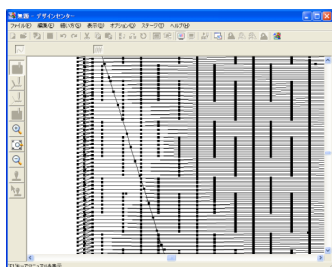
例 1
縫い角度：45度（標準）




例 2
縫い角度：90度



例 3
縫い角度：0度

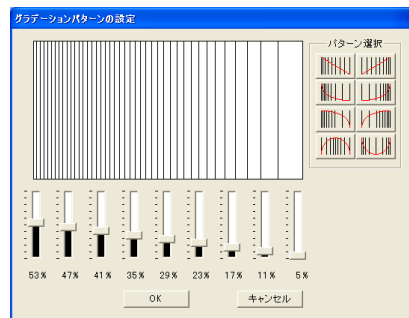


 P.233の「縫製イメージをプレビューする」およびP.257の「パターンの作成（ステッチリエイター）」


■グラデーションを作成する

サテン縫い、タタミ縫い、またはプログラムタタミ縫いでは、糸密度を様々な位置で調整し、グラデーションパターンを作成できます。


1. **縫い方の設定**ダイアログボックスの詳細モードで、**グラデーション**チェックボックスをチェックします。
2. **パターン**をクリックします。
→ **グラデーションパターンの設定**ダイアログボックスが表示されます。



3. グラデーションのパターンを選びます。**パターン選択**から希望するボタンをクリックします。
4. グラデーションの糸密度を調節します。スライダを動かします。

 **メモ：**
変更結果がプレビュー領域に表示されます。

5. **OK** をクリックします。

 **メモ：**
設定を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

よく使う縫い方を保存する

よく使う縫い方をまとめて保存し、縫い方を設定するとき呼び出すことができます。



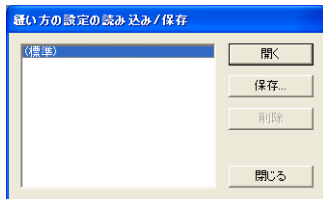
メモ：

簡易モードと詳細モードのどちらの設定でも保存できます。

よく使う縫い方を保存する

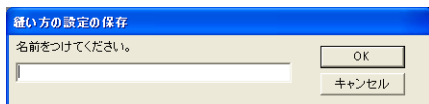
1. 必要に応じて、縫い方の設定ダイアログボックスの設定を変更し、 をクリックします。

→ 縫い方の設定の読み込み/保存ダイアログボックスが表示されます。



2. 保存をクリックします。

→ 縫い方の設定の保存ダイアログボックスが表示されます。

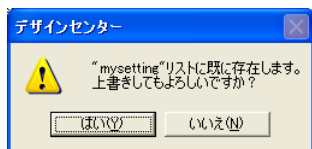


3. 縫い方の設定に名前をつけ、その名前を入力し、OK をクリックします。縫い方の設定の読み込み/保存ダイアログボックスリストにその設定名が登録されます。



メモ：

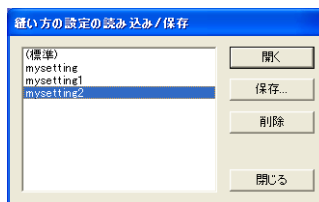
名前を付けて保存ダイアログボックスで入力した名前のファイルがすでに存在する場合は、次のメッセージが表示されます。



- 以前に登録した設定を上書きする場合は、OK をクリックします。
- 上書きしたくないときは、いいえをクリックします。別の名前を入力して保存してください。

リストから縫い方の設定を削除する

1. 縫い方の設定の読み込み/保存ダイアログボックスで、削除する設定名を選択します。



2. 削除をクリックすると、選択した縫い方の設定がリストから削除されます。

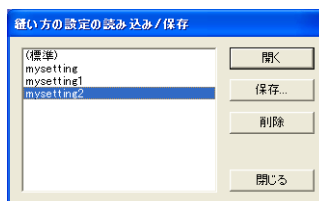


メモ：

(標準) は削除できません。

リストから縫い方の設定を呼び出す

1. 縫い方の設定の読み込み/保存ダイアログボックスで、呼び出したい設定名を選択します。



メモ：

複数の設定は選択できません。

2. 開くをクリックします。

→ 縫い方の設定の読み込み/保存ダイアログボックスが閉じられ、縫い方の設定ダイアログボックス内の設定が呼び出した設定に変わります。



メモ：


保存した設定を変更して、その変更を保存するには、縫い方の設定ダイアログボックスで をクリックし、次に保存を選択してから、設定名を変更しないで OK をクリックします。


📖 メモ：

保存した設定は、別のパソコンで使うこともできます。コピー元のパソコンの**刺しゅうPRO Ver.7** フォルダ（アプリケーションフォルダ）の**settings** フォルダから**sastu.txt**をコピーして、コピー先のパソコンの同じパスにある**settings** フォルダに貼り付けます。

■ 同心円縫いと放射縫いの中心点を移動する


同心円縫いまたは放射状縫いに設定された縫いの中心点を移動すると、装飾的な効果が高まります。

1. ツールボックスの  をクリックします。

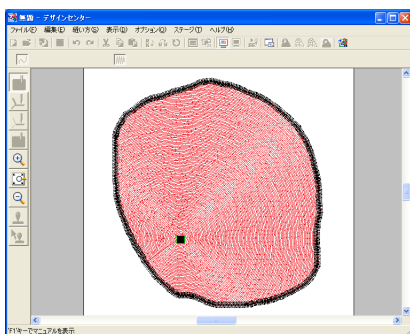
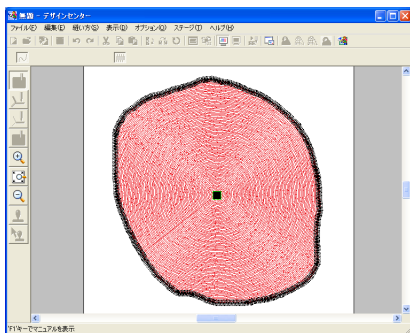
→ カーソルの形が  に変わります。

2. 希望する色と縫い方の種類（**同心円縫い**または**放射縫い**）を選択します。


3. 面をクリックします。

→ 中心点（）が表示されます。

4. 中心点をドラッグして、プレビュー画面で確認しながら模様を調整します。





📖 メモ：

中心点を再移動する場合は、 をクリックしてから、同心円縫いまたは放射縫いを設定した面をクリックします。中心点が表示され移動が可能になります。

■ ドーナツ縫いを設定する

ドーナツ縫いを設定することで、重なった面の二重ぬいを防ぐことができます。ドーナツ縫いは、1つの面が他の面と完全に囲む場合にのみ設定できます。

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. 別の面を完全に囲む面をクリックします。



→ 次のような**ドーナツ縫いの設定**ダイアログボックスが表示されます。



📖 メモ：

ドーナツ縫いを解除するには、白い内面をクリックします。内面は外面と同じ色で表示されると、二重に縫われます。



- OK をクリックして、ドーナツ縫いを設定します。

メモ：


ドーナツ縫いの適用を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

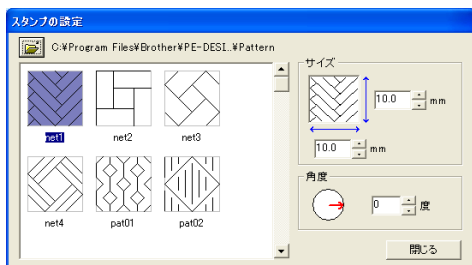
スタンプを設定・編集する

ステッチクリエイターで作成したスタンプは、デザインセンターの縫い方設定ステージで面に設定できます。プログラムタタミ / スタンプパターンは本アプリケーションに用意されていますが、ステッチクリエイターで、編集したり、新しく独自のパターンを作成したりできます。


■ スタンプを設定する

- ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わり、**スタンプの設定**ダイアログボックスが表示されます。




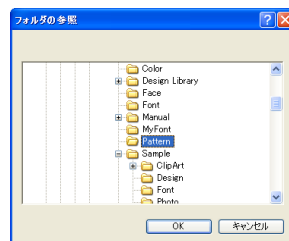
メモ：

ダイアログボックスの  の右側に、現在選択されているフォルダへのパスが表示されます。

- ダイアログボックスで、スタンプパターンを選択します。

メモ：


- プログラムタタミ / スタンプパターンの縫い沈め・浮き上がり効果が設定されている面は、それぞれ赤と青で表示されます。
- 別のフォルダを選択するには、 をクリックします。




表示された**フォルダの参照**ダイアログボックスで、フォルダを選択し、**OK** をクリック（またはフォルダをダブルクリック）します。**フォルダの参照**ダイアログボックスは閉じ、プレビュー領域に選択したフォルダのプログラムタタミ / スタンプパターンが表示されます。

- スタンプの幅と高さを変更する場合は、**スタンプの設定**ダイアログボックスの**サイズ**に数値（1.0 ~ 100mm）を入力するか、スピンドットで値を変更します。
- スタンプの角度を変更する場合は、**角度**の下の赤い矢印をドラッグして、角度を設定します。

メモ：

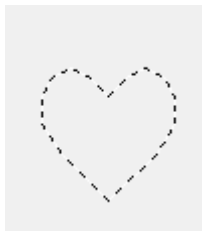
- スタンプツール選択中は、**スタンプの設定**ダイアログボックスは開いたままで作業ができます。スタンプのサイズと角度をいつでも調整できます。
- スタンプの設定**ダイアログボックスを閉じるときは、**閉じる**をクリックします。
- 閉じた後でダイアログボックスを再度開くには、 をクリックします。

- スタンプを設定したい面をクリックします。

→ カーソルをクリックした面上に移動すると、形が  に変わります。選択した面の輪郭線が、赤い破線で表示されます。

6. スタンプを設定したい位置をクリックします。

→ スタンプの形状が点線で表示されます。




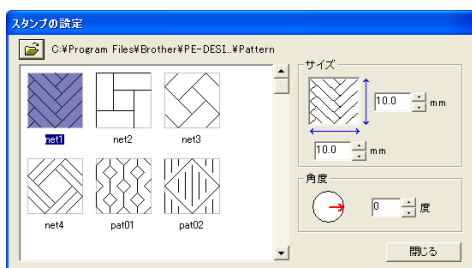
メモ：

- スタンプ全体が表示されます。スタンプの方が設定された面よりも大きい場合がありますが、面と重なっている部分のみが縫われます。
- スタンプはサテン縫い、タタミ縫い、またはプログラムタタミ縫いが設定された面のみに設定できます。
- 同じ面に複数のスタンプを設定するときは、必要な回数分面をクリックし続けます。
- 選択した面にカーソルが入らないと、スタンプを設定することはできません。
- **スタンプの設定**ダイアログボックスは、スタンプツールを選択中のみ表示されます。
- スタンプは設定された面内でのみ縫われます。
- デザインセンターでスタンプを設定した刺しゅうデータをレイアウトセンターに取り込む際、**取り込みサイズ**ダイアログボックスの**取り込み倍率**設定でデザインのサイズを変更したときは、プログラムタタミ/スタンプパターンのサイズが変更されることがあります。

■ スタンプを編集する

1. ツールボックスの をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わり、**スタンプの設定**ダイアログボックスが表示され、面に設定されているスタンプが点線で表示されます。



メモ：

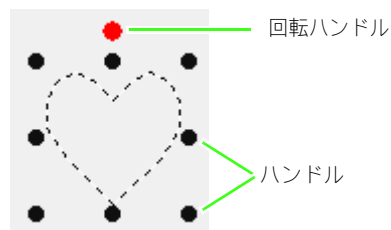
面が選択されている場合は、面の輪郭線が赤い破線で表示され、スタンプは点線で表示されません。

2. 編集するスタンプを設定した面をクリックします。

→ 選択した面を囲む線が赤い破線で表示されます。

3. 編集するスタンプをクリックします。

→ 丸いハンドルがスタンプの周囲に表示され、回転ハンドルがスタンプの上部に表示されます。



注意：

複数個のスタンプを一緒に選択することはできません。別のスタンプを選択すると、その前に選択していたスタンプの選択は解除されます。

4. スタンプの形状を変更する場合は、**スタンプの設定**ダイアログボックスで別のパターンを選択して、**設定**をクリックします。

スタンプのサイズと角度を変更する場合は、**スタンプの設定**ダイアログボックスで**サイズ**と**角度**を指定するか、ハンドルまたは回転ハンドルをドラッグして調整します。

スタンプを移動する場合は、ドラッグします。面内にパターン全体または一部を配置します。

スタンプを削除する場合は、メニューバーの**編集**→**削除**を選択するか、**Delete** キーを押します。


📖 メモ：


- スタンプの形状はスタンプツールを選択中
にのみ表示されます。
- スタンプは設定された面内でのみ縫われます。
- **スタンプの設定**ダイアログボックスを閉じ
るときは、**閉じる**をクリックします。

👉 P.207 の「輪郭データのポイントを編集する」

縫い順を確認・変更する

刺しゅうデータの縫い順を確認、変更します。（この機能は、縫い方設定ステージでのみ使用できます。）


ツールバーボタン：

1.  をクリックするか、メニューバーの **縫い方→縫い順** をクリックします。

→ 次のような **縫い順** ダイアログボックスが
開き、**色タブ**画面が表示されます。

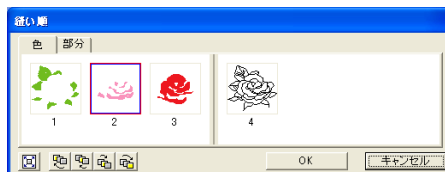
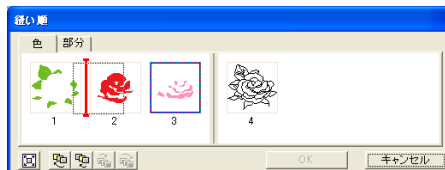


📖 メモ：

- 面縫いのコマと輪郭縫いのコマは太い縦の
線で分けられています。この縦線を飛び越え
て縫い順を変更することはできません。
- パターンは左から右に向かって順に縫われ
ます。必ず、すべての面が縫われてから輪郭
線が縫われます。
-  をクリックすると、それぞれのデータ
がコマいっぱいに表示されます。

2. 色の縫い順を変更するときは、移動する色
部分のコマをクリックし、コマを希望する
位置までドラッグします。

→ ドラッグしている間は、新しい縫い順の移
動先が縦の赤い太線で表示され、停止する
と、その位置に移動します。

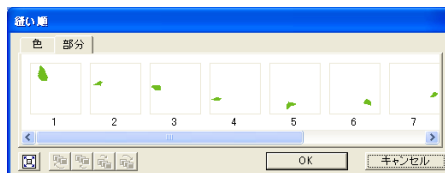


📖 メモ：

- 複数のコマを選択したいときは、**(Shift)** ま
たは **(Ctrl)** キーを押したまま、各コマを選
択します。
- コマを選択すると、デザインページのそのコ
マの面の輪郭線、またはそのコマの輪郭線が
赤い破線で表示されます。

3. 各色を構成する部分の縫い順を確認、変更
するときは、色タブで目的の色を選択し、
部分タブをクリックします。

→ 選択された色の部分の縫い順が表示され
ます。



4. 部分の縫い順を変更するときは、移動する
部分のコマをクリックし、コマを希望する
位置までドラッグします。

→ ドラッグしている間は、新しい縫い順の移
動先が縦の赤い太線で表示され、停止する
と、その位置に移動します。

📖 メモ：

- 複数のコマを選択したいときは、**Shift** または **Ctrl** キーを押したまま、各コマを選択します。
- コマを選択すると、デザインページのそのコマの面の輪郭線、またはそのコマの輪郭線が赤い破線で表示されます。

5. OK をクリックし、変更を確定してダイアログボックスを閉じます。


📖 メモ：

縫い順の変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

🔍 P.233 の「縫製イメージをプレビューする」

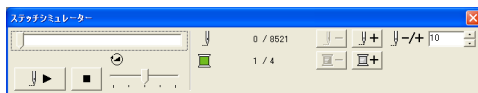
ステッチを確認する


ミシンでどのように縫われていくか、縫製の様子をステッチシミュレーターを使って確認できます。（この機能は、縫い方設定ステージでのみ使用できます。）

ツールバーボタン： 



1. をクリックするか、メニューバーの表示→ステッチシミュレーターをクリックします。


ステッチシミュレーターダイアログボックスが表示され、デザインページの刺しゅうデータの表示が消えます。




 をクリックして、シミュレーションを開始します。


📖 メモ：

- シミュレーション中は、このボタンは一時停止ボタン（）に切り替わります。
- シミュレーション中は、マーカー（）が縫製中の針位置を示します。
- ステッチを見やすく拡大表示するには、デザインページをズームインしてから**ステッチシミュレーター**ダイアログボックスを開きます。


 をクリックすると、前の色の縫い始めまで戻ります。


 をクリックすると、次の色の縫い始めまで進みます。

針数を指定してシミュレーションに戻すには、戻したい針数を入力または選択してから、

 をクリックします。

針数を指定してシミュレーションを進めるには、進めたい針数を入力または選択してから、


 をクリックします。

 をクリックすると、シミュレーションを停止し、開始前の状態に戻ります。



📖 メモ：

シミュレーション中は、スライダが進行状況を示します。また、スライダをドラッグすると、シミュレーション中の位置を変更できます。



 のスライダをドラッグすると、シミュレーションの表示スピードを調整できます。

📖 メモ：

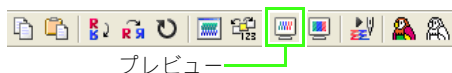
-  の数字は、描画中の針数 / 全体の針数を示しています。
-  の数字は、描画中の糸色の縫い順 / 全体の色数を示しています。

2. ダイアログボックスを閉じるときは、右上の をクリックします。

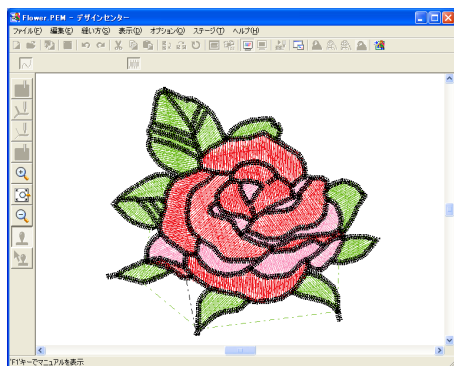
縫製イメージをプレビューする

刺しゅうデータを作成中や完成後に、そのデータの縫製イメージや仕上がリイメージをプレビューできます。実際にどのように縫製されているかを確認できます。（この機能は、縫い方設定ステージでのみ使用できます。）



1. プレビューを表示するには、メニューバーの**表示→プレビュー**をクリックします。または、次のツールバーボタンをクリックします。



→ 刺しゅうデータの縫製イメージが表示されます。



メモ：

ズームツールで画面の表示倍率を変更できません。ズームインを行う場合はツールボックスの  を、ズームアウトを行う場合は  をクリックしてから、刺しゅうデータの見たい部分をクリックします。

2. 通常表示に戻るには、**1.** を繰り返すか、**[Esc]** キーを押します。

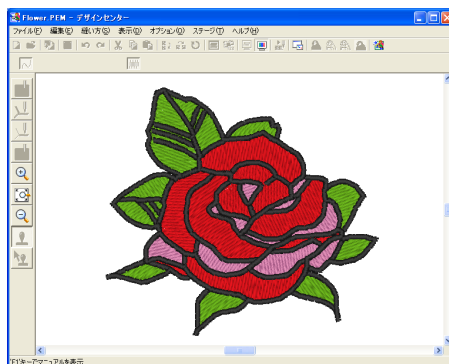
注意：

プレビュー画面では、刺しゅうデータの編集はできません。



3. リアルプレビューを表示するには、メニューバーの**表示→リアルプレビュー**をクリックします。または、次のツールバーボタンをクリックします。



→ 刺しゅうデータの仕上がリイメージが表示されます。



メモ：

ズームツールで画面の表示倍率を変更できません。ズームインを行う場合はツールボックスの  を、ズームアウトを行う場合は  をクリックしてから、刺しゅうデータの見たい部分をクリックします。

4. 通常表示に戻すには、**3.** を繰り返すか、**[Esc]** キーを押します。

注意：

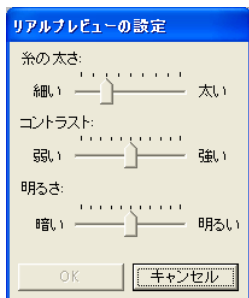
・リアルプレビュー画面では、刺しゅうデータの編集はできません

リアルプレビューの設定を変更する

刺しゅうデータをより鮮明に表示するために、リアルプレビューの設定を変更できます。（この機能は、縫い方設定ステージでのみ使用できます。）

1. メニューバーの**表示→リアルプレビューの設定**をクリックします。

→ 次のリアルプレビューの設定ダイアログボックスが表示されます。



2. 線の太さスライダで、線の太さを設定します。
3. コントラストスライダで、コントラストを設定します。
4. 明るさスライダで、明るさを設定します。
5. リアルプレビューが表示されているときは、設定をクリックし、新たな設定でリアルプレビューを表示させます。

リアルプレビューが表示されていないときは、OKをクリックして、次回以降の表示のためにその設定を保存します。

メモ：

変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、閉じるまたはキャンセルをクリックします。

P.233の「縫製イメージをプレビューする」

刺しゅうデータを リファレンスウィンドウで見る

リファレンスウィンドウには、デザインページ全体、もしくはデータ全体が表示されます。デザインページをズームイン表示すると、現在表示されている部分が赤い枠（表示領域枠）で表示され、全体のどの部分を作業しているかを確認できます。

また、輪郭データステージと縫い方設定ステージでは、元の原画や別の画像データをリファレンスウィンドウで見ることができます。

リファレンスウィンドウの表示/非表示は、メニューバーの表示→リファレンスウィンドウをクリックするか、 をクリックする、またはショートカットキー（F11）を押して切り替えます。

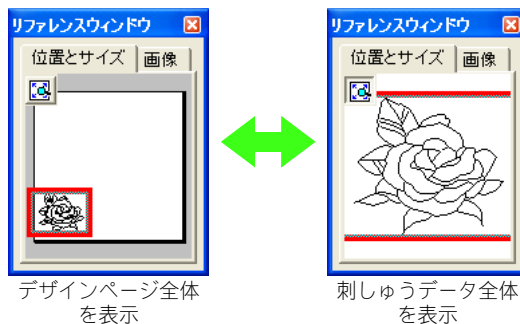
表示方法を切り替える

リファレンスウィンドウは、デザインページ全体を表示するか、データ全体を表示領域サイズに合わせて表示するか、切り替えることができます。

1. 位置とサイズタブをクリックして、

をクリックします。

→ リファレンスウィンドウの表示方法が切り替わります。



表示領域枠を移動する

表示領域枠を移動して、デザインページに表示する部分を、リファレンスウィンドウで指定できます。

1. カーソルを表示領域枠の上に移動します。

→ カーソルの形が に変わります。

2. 表示領域枠をドラッグして、デザインページで表示したい部分を囲む位置に移動します。

→ 表示領域枠で囲まれたデータ部分がデザインページに表示されます。

表示領域枠を書き直す

枠を書き直してデザインページに表示する部分を、リファレンスウィンドウで指定できます。

1. リファレンスウィンドウの表示したい部分をクリックまたはドラッグします。

→ クリックした位置を中心とした表示領域枠が書き直され、表示領域枠で囲まれたデータ部分がデザインページに表示されます。特定の部分を表示するには、目的の場所を囲むようにドラッグします。

■ 表示領域枠を拡大・縮小する

1. カーソルを表示領域枠の角に移動します。
→ 接している角によって、カーソルの形が
↖ または ↗ に変わります。

📖 メモ：

↖ と ↗ で、高さや幅を拡大・縮小します。

2. 角をドラッグし、表示領域枠のサイズを調節します。

■ 原画を表示する

原画ステージで開いた原画を、リファレンスウィンドウに表示できます。

1. 画像タブをクリックします。



💡 注意：

原画ステージで画像を開いていない場合、原画は表示されません。

📖 メモ：

リファレンスウィンドウが最初に表示される時は、**原画**が表示されます。**参照画像**が表示されているとき**原画**をクリックすると、**原画**が表示されます。

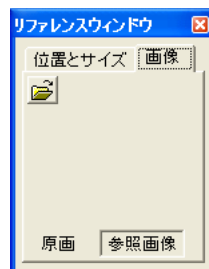
■ 別の参照画像を表示する

別の画像をリファレンスウィンドウに表示できません。

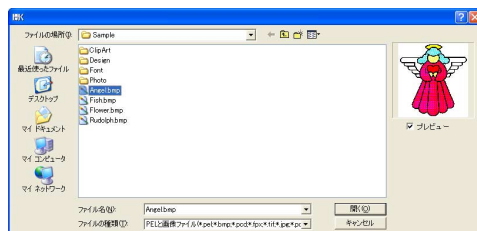
1. 画像タブをクリックします。



2. 参照画像をクリックして、📁 をクリックします。




3. 参照したい画像ファイルを選択して、開くをクリックします。



刺しゅうデータを保存する

■ 上書き保存する

刺しゅうデータや画像は1度保存すれば、次回からのデータの更新時は簡単に上書き保存できます。

ツールバーボタン： 

1. をクリックするか、メニューバーの **ファイル→上書き保存** をクリックします。

→ 作業中の刺しゅうデータや画像を以前に1度以上保存したことがある場合は、ファイルは直ちに上書き保存されます。

→ ファイル名が無題のときや、ディスク上にファイルが見つからないときは、**名前を付けて保存** ダイアログボックスが表示されます。

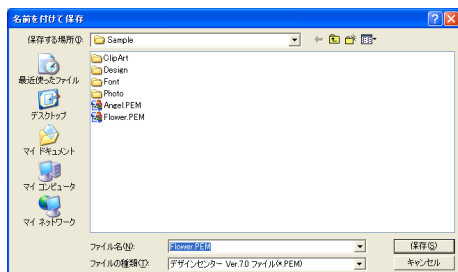
■ 新しい名前を付けて保存する

現在のファイルを別のファイル名で保存すると、元のファイルに変更を加えず、新規にデータを保存できます。

ファイルは、原画ステージではビットマップファイル (.bmp)、輪郭線画ステージでは .pel ファイル、輪郭データステージと縫い方設定ステージでは .pem ファイルで保存されます。

1. メニューバーの **ファイル→名前を付けて保存** をクリックします。

→ 次のような **名前を付けて保存** ダイアログボックスが表示されます。



2. ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。

メモ：

- 拡張子は自動的に付きます。
 - 原画ステージからの画像データはビットマップファイル (.bmp) としてのみ保存できます。
- 輪郭線画ステージでは、画像データは .pel ファイルとして保存されます。
- 輪郭データステージと縫い方設定ステージでは、輪郭データ、刺しゅうデータは .pem ファイルとして保存されます。

注意：

ファイルの種類で旧バージョンを選択すると、保存された .pem ファイルを旧バージョンのソフトウェアで開くことができます。ただし、情報の一部が失われることがありますのでご注意ください。

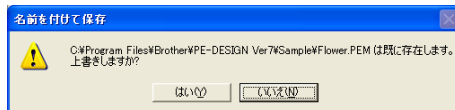
メモ：

デザインセンターバージョン1.xの縫い方設定ステージで保存した .pem ファイルを、バージョン7のデザインセンターで開く場合は、輪郭データステージに戻り、縫い方設定ステージに進んでください。刺しゅうデータがより高品質になります。

3. **保存** をクリックして、データを保存します。

メモ：

- 操作を中止してメッセージを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。
- **名前を付けて保存** ダイアログボックスで入力した名前のファイルがすでに存在する場合は、次のメッセージが表示されます。




- ファイルを上書きするときは、**はい** をクリックします。
- 上書きしたくないときは、**いいえ** をクリックします。別のファイル名を入力して保存します。


レイアウトセンターに刺しゅうデータを送る

デザインセンターからレイアウトセンターを開くことができます。デザインセンターの縫い方設定ステージで作成した刺しゅうデータは、レイアウトセンターの画面のデザインページに送ることができます。

注意：

輪郭および面の縫い方が設定されていない場合は、刺しゅうデータをレイアウトセンターに送ることはできません。

ツールバーボタン： 

1.  をクリックするか、メニューバーの **ステージ→レイアウトセンターへ送る** をクリックします。

→ レイアウトセンターを起動し **取り込みサイズ** ダイアログボックスが表示されます。



2. **取り込み倍率** で倍率を入力するか、スピンボタンで倍率を変更します。



注意：

- デザインページのサイズより大きなサイズとなる倍率を指定することはできません。
- 取り込み倍率は 24% 以下は設定できません。

3. **方向** で取り込む方向を選択します。
4. **取り込み** をクリックして、刺しゅうデータを取り込みます。



メモ：

操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。

→ 刺しゅうデータがレイアウトセンターの画面のデザインページに表示されます。

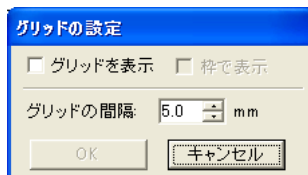
ソフトウェアの設定を変更する

■ グリッドの設定を変更する

グリッドの表示 / 非表示を切り替えます。グリッドの表示のしかたや間隔を指定できます。（この機能は、輪郭データステージでのみ使用できます。）

1. メニューバーの **表示→グリッドの設定** をクリックします。

→ **グリッドの設定** ダイアログボックスが表示されます。



2. **グリッドを表示** チェックボックスをチェックして、グリッドを表示します。グリッドを非表示にするには、**グリッドを表示** チェックボックスのチェックを外します。

3. グリッドの間隔を設定します。**グリッドの間隔** に数値を入力するか、スピンボタンで値を変更します。（設定できる範囲は、1.0～25.4mm です。）

4. 表示のしかたを選択します。**枠で表示** チェックボックスをチェックすると、縦線と横線が表示されます。**枠で表示** チェックボックスのチェックを外すと、グリッドの交点のみが表示されます。

5. **OK** をクリックし、変更を確定してダイアログボックスを閉じます。



メモ：

グリッドへの変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。


■ 長さの単位を変更する

アプリケーションで使う長さの単位を、mm またはインチから選択できます。

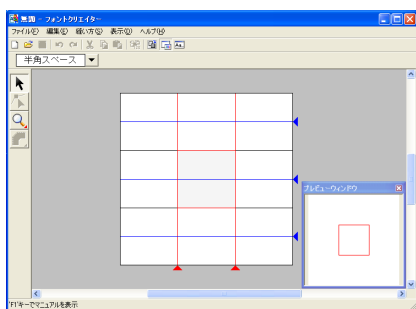
1. メニューバーの **オプション→単位の設定** をクリックして、単位（mm または **インチ**）を選択します。

オリジナルフォントの作成 (フォントクリエイター)

フォントクリエイターを起動する

1.  をクリックし、**すべてのプログラム→刺しゅうPRO Ver.7→フォントクリエイター**を選択します。

→ フォントクリエイターの画面が表示されます。




メモ:


ディスプレイ画面全体にフォントクリエイター画面を表示するには、タイトルバーの右端の最大化ボタンをクリックします。

ファイルを開く

新しいフォントを作成する

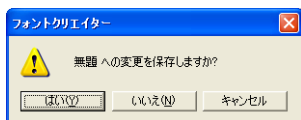
空白のデザインページを開いて、新しい書体をデザインできます。

ツールバーボタン: 

1.  をクリックするか、メニューバーの**ファイル→新規作成**をクリックします。


→ デザインページが保存済み、または作業中のデザインページがない場合は、直ちに空白の新規デザインページが表示されます。

→ 現在のデザインページが保存されていない場合は、変更を保存するかどうかを尋ねられます。




メモ:


- デザインページを保存する場合は、**はい**をクリックします。
- デザインページを保存しない場合は、**いいえ**をクリックします。
- 別の名前を付けて保存するなど、デザインページに戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。

 本ページの「フォントファイルを開く」、P.254の「上書き保存する」、およびP.254の「新しい名前を付けて保存する」

フォントファイルを開く

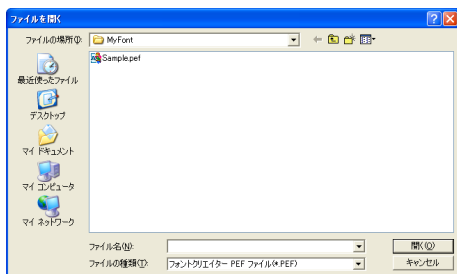
以前に作成したフォントファイルを開いて編集できます。

ツールバーボタン: 

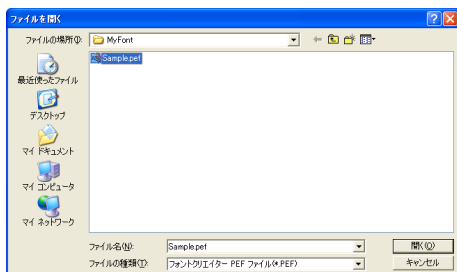
1.  をクリックするか、メニューバーの**ファイル→開く**をクリックします。

オリジナルフォントの作成 (フォントクリエイター)

→ 次のような**ファイルを開く**ダイアログボックスが表示されます。



2. ドライブ、フォルダを選択します。



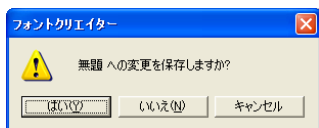
メモ:

操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

3. ファイルを選択して開くをクリックするか、アイコンをダブルクリックしてファイルを開きます。

→ デザインページが保存済み、または作業中のデザインページがない場合は、選択されたファイルがデザインページに表示されます。

→ 現在のデザインページが保存されていない場合は、変更を保存するかどうかを尋ねられます。



メモ:

- デザインページを保存する場合は、**はい**をクリックします。
- デザインページを保存しない場合は、**いいえ**をクリックします。
- 別の名前を付けて保存するなど、デザインページに戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。

👉 P.238の「新しいフォントを作成する」、P.254の「上書き保存する」、および P.254の「新しい名前を付けて保存する」

下絵を開く

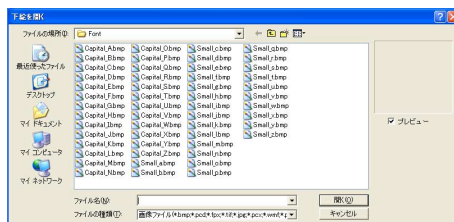
オリジナルフォントを作成するための下絵を準備します。

下絵として使用する既存の画像データをデザインページに開くことができます。使用できるファイルは、次の形式のファイルです。

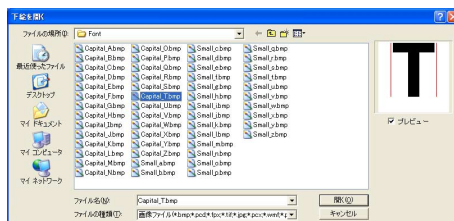
- Windows ビットマップ (*.bmp)
- Exif (*.tif, *.jpg)
- ZSoftPCX (*.pcx)
- Windows メタファイル (*.wmf)
- Portable Network Graphics (*.png)
- Encapsulated PostScript (*.eps)
- Kodac PhotoCD (*.pcd)
- FlashPix (*.fpx)
- JPEG2000 (*.j2k)

1. ツールバーの**ファイル**→**下絵を開く**をクリックします。

→ 次のような**下絵を開く**ダイアログボックスが表示されます。



2. ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。

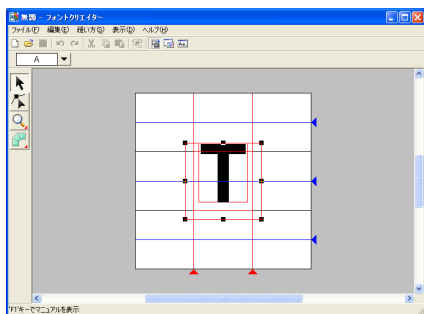


メモ:

プレビューチェックボックスがチェックされていると、選択したファイルの内容が**プレビュー**領域に表示されます。

3. 開くをクリックしてファイルを開きます。

→ デザインページに、画像が表示されます。



メモ:

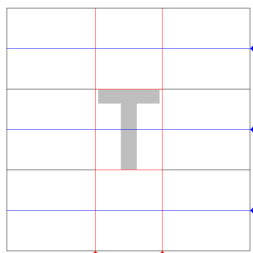
- ファイル名をダブルクリックしてもファイルが開きます。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意:

- 複数のページがある .pcd ファイルと .fpx ファイルは、最初のページのみを開くことができます。LZW で圧縮された Tiff ファイルは開くことができません。
- デザインページに開くことができる下絵は、1つです。別の下絵を開くと、それまで表示されていた下絵はデザインページから削除されます。

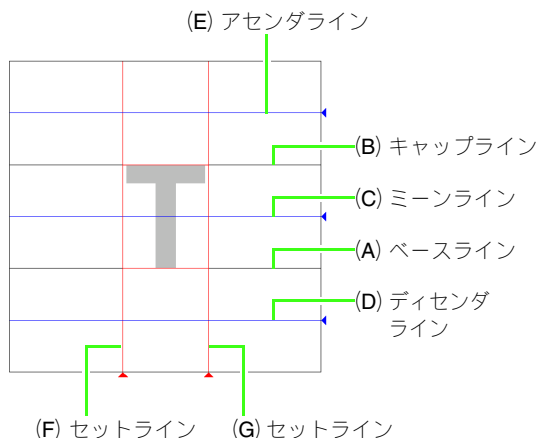
メモ:

- デザインページにある下絵の表示のしかたを、**表示 / 表示しない / 薄く表示**から選択できます。詳しくは、P.255 の「下絵の表示設定を変更する」を参照してください。
- **ベースライン**、**キャップライン**、および**セットライン**を、サンプルの画像上に赤い線で追加してあります。これらは、下絵を簡単に配置するためのガイドラインとしてご使用ください。



デザインページのガイドライン

デザインページには、フォントを作成するために基準となるガイドラインが表示されます。各ガイドラインの内容は、次のとおりです。



(A) ベースライン

文字の位置の基準になる線です。文字の標準的な高さは、**キャップライン**からこの線までになります。この線は移動できません。

(B) キャップライン

文字の標準的な高さは、この線から**ベースライン**までになります。この線は移動できません。

(C) ミーンライン

小文字の場合、文字の標準的な高さは、この線から**ベースライン**までになります。線の右端にある三角形のアイコンをドラッグすると、移動できます。

(D) ディセンダライン

この線は、「g」や「y」などのように、ベースラインより下の部分 (ディセンダ) がある文字の基準になります。線の右端にある三角形のアイコンをドラッグすると、移動できます。

(E) アセンダライン

この線は、アクセント記号などのように、キャップラインより上の部分 (アセンダ) がある文字の基準になります。線の右端にある三角形のアイコンをドラッグすると、移動できません。

(F/G) セットライン

この線の間隔が、文字の幅の基準になります。線の下にある三角形のアイコンをドラッグすると、調整できます。



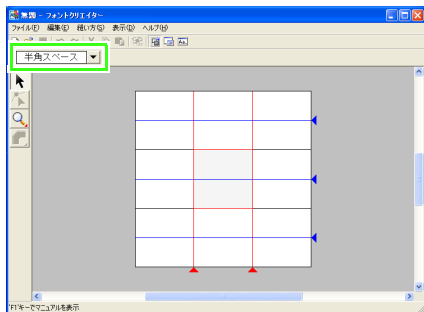
メモ：

- **ベースライン、キャップライン、セットライン**は、文字を作成するときの基準マスクになります。
- **アセンダライン、ミーンライン、ディセンダライン**は、すべての文字に共通して表示されます。これら線の高さを変更すると、別の文字を編集するときも同様に変更されます。
- **セットライン**は、文字ごとに別個に設定できます。

作成する文字を選択する

作成する文字を選択します。

1. 文字選択バーの**文字選択**ボタンをクリックします。



表示された**文字選択**ダイアログボックスで、作成する文字を選択します。

リストに表示されている文字は、作成する文字をクリックすることで選択できます。

リスト上に文字がない場合は、ダイアログボックス下部のエディットボックスに文字をキーボードで入力して**Enter**キーを押すと選択することができます。



注意：

編集中のフォントデータの一部がデザインページからはみ出ているときに別の文字を選択すると、メッセージが表示されます。フォントデータ全体をデザインページの枠内に入れてから、別の文字を選択してください。


メモ：


- フォントデータが作成されている文字がリストに表示されます。
- 文字を選択しないでデザインページに戻る場合は、**文字選択**ダイアログボックスの外側をクリックします。
- **文字選択**ダイアログボックスの左上の口は半角スペースです。選択すると、「**半角スペース**」が**文字選択バー**に表示されます。

フォントデータを作成する


マニュアルパンチングツールを使用して、オリジナルフォントのフォントデータを作成します。下絵を表示できるので、簡単に作成できます。


色および縫い方の設定は、レイアウトセンターで行います。


 P.239 の「下絵を開く」


1. ツールボックスの  をクリックします。


→ 5 つのボタン  が表示されます。

 : 直線のブロック型パンチングデータの作成に使用します。
(ショートカットキー: **(Z)**)

 : 曲線のブロック型パンチングデータの作成に使用します。
(ショートカットキー: **(X)**)


 : セミオトを使った直線ブロック型パンチングデータの作成に使用します。
(ショートカットキー: **(C)**)


 : 走り型パンチングデータの作成に使用します。
(ショートカットキー: **(V)**)

 : 送り型パンチングデータの作成に使用します。
(ショートカットキー: **(B)**)

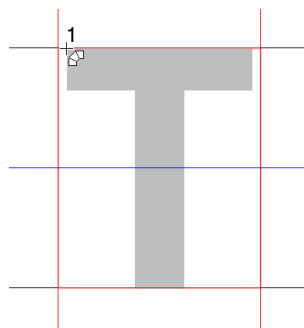
上記の 5 つのツールを使用して、フォントデータを作成します。

次の例では、直線のブロック型パンチングデータと走り型パンチングデータを使って「T」のデータを作成します。

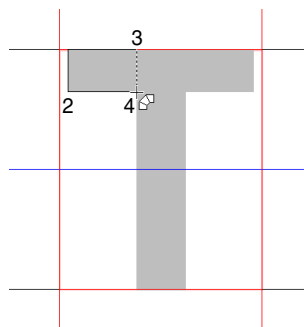
2.  をクリックし、直線のブロック型データの作成を開始します。

→ カーソルの形が  に変わります。

3. デザインページの始点 (ポイント 1) をクリックします。




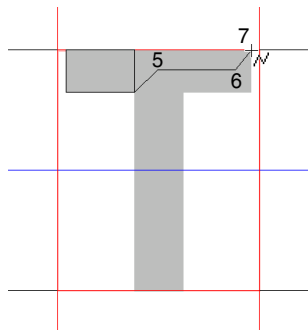
4. 下の図を参考に、ポイント 2 ~ 4 をクリックします。




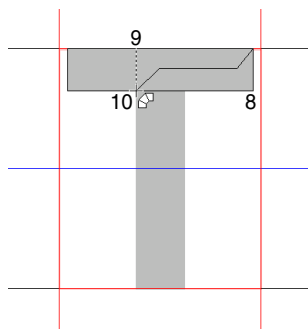
メモ:


マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。


5. ポイント4 (ブロック型データの最終ポイント) をクリックした後、 (走り型パンチング) をクリックし、ポイント5～7をクリックします。

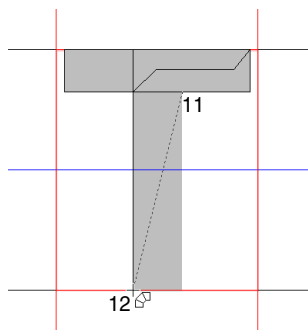


6.  (直線のブロック型) をクリックして、デザインページで下の図のようにポイント8～10をクリックします。

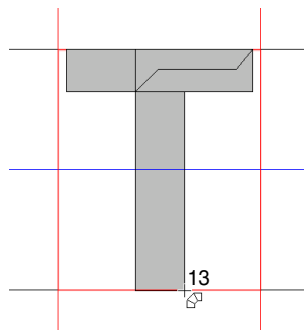


7.  をクリックします。

8.  をクリックし、デザインページでポイント11～12をクリックします。



9. ポイント13 (データの最終点) でダブルクリックしてデータを完成させます。



メモ:

- 入力中は、ショートカットキーで自由にパンチングの種類を変えることができます。
- セミオートを選択して描画する場合は、下絵となる画像が必要です。画像がない場合は、直線のブロック型パンチングデータと同じ動作になります。
- データの作成後に、直線を曲線に、また、その逆に変換できます。詳しくは、P.250 の「ポイントを編集する」を参照してください。

フォントデータを編集する

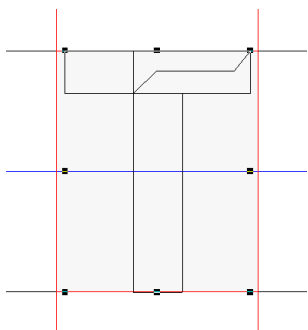
フォントデータを選択する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. 選択したいフォントデータをクリックします。

→ フォントデータの周りにハンドルが表示されます。



メモ：


フォントデータを選択解除するには、別のフォントデータを選択するか、デザインページの空白部分をクリックします。

3. 複数のフォントデータを選択するには、**(Ctrl)** キーを押しながらフォントデータをクリックします。

メモ：


- 選択したいフォントデータを囲むようにカーソルをドラッグしても選択できます。カーソルをドラッグすると、点線の長方形が表示されます。マウスボタンを離すと、その長方形内にあるフォントデータがすべて選択されます。
- 選択したくないフォントデータまで選択してしまったときは、フォントデータの無い部分をクリックしてすべての選択を解除し、選択し直します。

■ すべてのフォントデータを選択する

1. ツールボックスの  をクリックします。
2. メニューバーの **編集** → **すべて選択** をクリックします。

フォントデータを移動する

1. 選択したフォントデータ上にカーソルを移動します。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. フォントデータをドラッグして、移動します。

メモ：

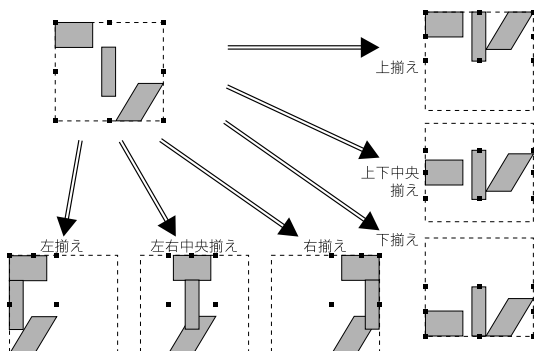
- **(Shift)** キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、矢印キーの方向に移動します。**グリッドに固定**が設定されている場合は 1 グリッドずつ、設定されていない場合は、グリッドの最小間隔より小さい間隔で移動します。
- 矢印キーを押し続けると、矢印キーの方向に移動し続けます。

■ フォントデータを整列する

選択されたフォントデータを指定する方法で揃えます。





1. 配列する複数のフォントデータを選択します。
2. メニューバーの **編集** → **整列** をクリックし、**左揃え**、**左右中央揃え**、**右揃え**、**上揃え**、**上下中央揃え**、**下揃え** のいずれかを選択します。

→ 選択されたフォントデータは、次のように整列します。







フォントデータを拡大・縮小する

1. 選択したフォントデータのハンドル上にカーソルを移動します。

→ 接しているハンドルによって、カーソルの形が、、、 または  に変わります。

メモ:

-  は、幅を拡大・縮小します。
-  は、高さを拡大・縮小します。
-  と  は、幅と高さを同時に拡大、縮小します。(幅と高さの比率が保たれます。)
- **(Shift)** キーを押しながらハンドルをドラッグすると、フォントデータの中心から拡大・縮小されます。


2. ハンドルをドラッグし、フォントデータのサイズを調整します。

フォントデータを削除する


1. 削除したいフォントデータを選択します。
2. **(Delete)** キーを押すか、メニューバーの**編集**→**削除**をクリックします。

フォントデータを切り取る

選択されたフォントデータをデザインページから削除して、クリップボードにコピーします。

ツールバーボタン: 


1. 1つまたは複数のフォントデータを選択します。

2.  をクリックするか、メニューバーの**編集**→**切り取り**をクリックします。

→ 選択されたフォントデータがデザインページから削除されます。


メモ:

データはクリップボードにコピーされるので、メニューバーの**編集**→**貼り付け**を使って、貼り付けることができます。


 本ページの「フォントデータをコピーする」、本ページの「フォントデータを貼り付ける」、および本ページの「フォントデータを削除する」

フォントデータをコピーする


選択したフォントデータをデザインページから削除しないで、クリップボードに保存します。

ツールバーボタン: 

1. 1つまたは複数のフォントデータを選択します。

2.  をクリックするか、メニューバーの**編集**→**コピー**をクリックします。

→ 選択したフォントデータがクリップボードにコピーされます。**編集**→**貼り付け**を使って、貼り付けることができます。


 本ページの「フォントデータを切り取る」、P.247の「フォントデータを複製する」、およびP.247の「フォントデータを貼り付ける」

フォントデータを複製する

選択したフォントデータのコピーをデザインページに追加します。


- 1つまたは複数のフォントデータを選択します。
- メニューバーの**編集→複製**をクリックします。


→ 選択したフォントデータのコピーをデザインページに追加します。

 本ページの「フォントデータをコピーする」および本ページの「フォントデータを貼り付ける」


フォントデータを貼り付ける

クリップボードにあるフォントデータをデザインページに貼り付けます。

ツールバーボタン：

1.  をクリックするか、メニューバーの**編集→貼り付け**をクリックします。

→ **切り取り**や**コピー**でクリップボードに保存されたフォントデータが、デザインページに貼り付けられます。

 P.246の「フォントデータを切り取る」、P.246の「フォントデータをコピーする」、およびP.247の「フォントデータを複製する」

フォントデータを上下に反転する


選択されたフォントデータを上下に反転します。

- 1つまたは複数のフォントデータを選択します。
- メニューバーの**編集→反転→上下**をクリックします。

→ 選択されたフォントデータが上下に反転されます。

メモ：

フォントデータを元の向きに戻すには、**編集→反転→上下**をもう一度クリックします。

 本ページの「フォントデータを左右に反転する」および本ページの「フォントデータを回転する」

フォントデータを左右に反転する


選択されたフォントデータを左右に反転します。

- 1つまたは複数のフォントデータを選択します。
- メニューバーの**編集→反転→左右**をクリックします。

→ 選択されたフォントデータが左右に反転されます。

メモ：

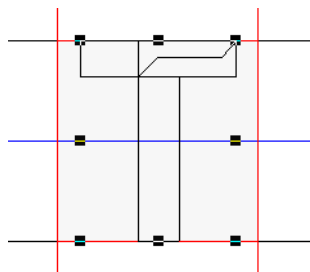
フォントデータを元の向きに戻すには、**編集→反転→左右**をもう一度クリックします。

 本ページの「フォントデータを上下に反転する」および本ページの「フォントデータを回転する」

フォントデータを回転する

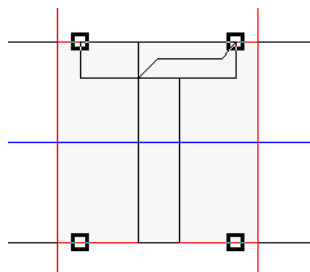
選択されたフォントデータを任意の角度で回転します。

- 1つまたは複数のフォントデータを選択します。




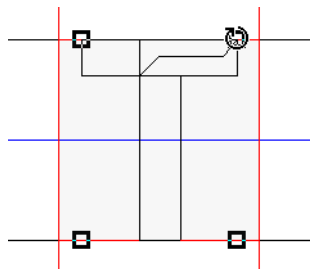
- メニューバーの**編集**→**回転**をクリックします。

→ 選択したフォントデータの四隅のハンドルが、白い四角に変わります。

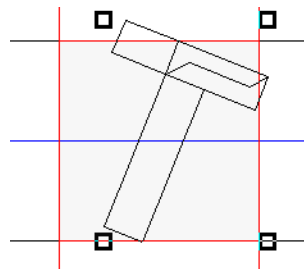


- カーソルをハンドルの1つに移動します。

→ カーソルの形が  に変わります。



4. ハンドルをドラッグして、希望の角度に回転します。




メモ：


- ドラッグすると角度が1度単位で回転します。
- **Shift** キーを押しながらドラッグすると、15度単位で回転します。

フォントデータのポイントを編集する

グリッドに固定が設定されている場合は、必ずグリッド線の交点にポイントが作成されます。水平線や垂直線はグリッド線と重なって引かれます。また、斜線はグリッドの交点を結んだ直線になります。

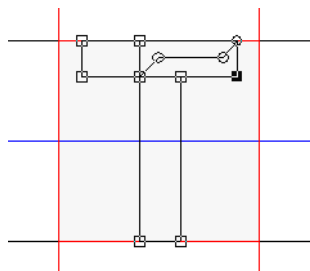
ポイントを移動する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. 編集したいフォントデータをクリックします。

→ フォントデータの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。



メモ：

ポイント編集時は、複数のフォントデータを選択することはできません。

3. 移動するポイントをクリックします。

→ 選択されたポイントは小さな黒い四角で表示されます。

メモ：

- 複数のポイントを選択するには、**(Ctrl)** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。
- **(Ctrl)** キーを押しながら **→** キーまたは **↓** キーを押すと、矢印キーを押すごとに、1つずつ選択されているポイントが終点の方向へ切り替わります。

注意：

フォントデータの線上でクリックすると、新しいポイントが挿入されます。


4. ポイントを移動したい場所にドラッグします。

→ 選択されたすべてのポイントが同じ方向に移動します。

メモ：

- **(Shift)** キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、矢印キーの方向に移動します。**グリッドに固定**が設定されている場合は1グリッドずつ、設定されていない場合は、グリッドの最小間隔より小さい間隔で移動します。
- 矢印キーを押し続けると、矢印キーの方向に移動し続けます。

ポイントを挿入する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. 編集したいフォントデータをクリックします。

→ フォントデータの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。

メモ：

ポイント編集時は、複数のフォントデータを選択することはできません。


3. ポイントを挿入したいフォントデータの線上でクリックします。


→ 新しいポイントが追加されます。追加されたポイントは選択された状態（小さな黒い四角）で表示され、すぐに編集できます。

📖 メモ:

直線のブロック型パンチングデータ、曲線のブロック型パンチングデータ、またはセミオートで作成されたブロック型パンチングデータにポイントが挿入された場合、自動的に縫い方向に沿った結合線にもポイントが挿入されます。また、このようなケースでは、縫い方向と平行な線にポイントを挿入することはできません。

ポイントを削除する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. 編集したいフォントデータをクリックします。

📖 メモ:

ポイント編集時は、複数のフォントデータを選択することはできません。

→ フォントデータの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。

3. 削除したいポイントをクリックします。

→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。

📖 メモ:

複数のポイントを選択するには、**Ctrl** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。


4. **Delete** キーを押すか、メニューバーの**編集**→**削除**をクリックします。


📖 メモ:

直線のブロック型パンチングデータ、曲線のブロック型パンチングデータ、またはセミオートで作成されたブロック型パンチングデータに挿入されたポイントが削除された場合、自動的に縫い方向に沿った結合線に挿入されたポイントと線も削除されます。

ポイントを編集する

ポイントに接している線は、直線または曲線のいずれかに変更できます。また、ポイント上の線をなめらかにしたり、まっすぐにしたりすることができます。

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. 編集したいフォントデータをクリックします。

📖 メモ:

ポイント編集時は、複数のフォントデータを選択することはできません。

→ フォントデータの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。

3. 変更したいポイントをクリックします。

→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。

📖 メモ:

複数のポイントを選択するには、**Ctrl** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

4. メニューバーの**編集**→**ポイント**をクリックします。

→ サブメニューが表示されます。

5. 設定を選択します。


- **直線化**をクリックすると、ポイントの角は直線になります。
- **曲線化**をクリックすると、ポイントの角は曲線になります。
- **スムーズ化**をクリックすると、2本の曲線ハンドルの長さを、個別に調整できるようになります。選択されたポイントの角は、曲線になります。
- **対称化**をクリックすると、2本の曲線ハンドルは、同じ長さになります。選択されたポイントの角は、曲線になります。
- **尖化**をクリックすると、2本の曲線ハンドルの長さや角度を、個別に調整できるようになります。ポイントを角にして尖らせることができます。


作成したフォントデータを確認する

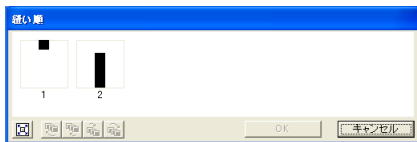
フォントデータの縫い順、プレビュー、文字一覧を確認できます。

縫い順を確認・変更する

フォントデータの縫い順を表示して変更できます。


ツールバーボタン： 

1.  をクリックするか、またはメニューバーの縫い方→縫い順をクリックします。
→ 次のような縫い順ダイアログボックスが表示されます。



メモ：

このダイアログボックスは横方向に大きくすることができます。

 をクリックすると、それぞれの部分がコマいっぱい拡大表示されます。

■ フォントデータの部分を選択する

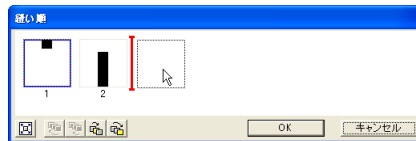
1. 縫い順ダイアログボックスで、部分のコマをクリックします。
→ 部分を選択すると、コマがピンク色になり、デザインページのその部分の輪郭線が赤い破線で表示されます。

メモ：


複数の部分を選択したいときは、**(Shift)** または **(Ctrl)** キーを押したまま、各コマをクリックします。また、複数のコマを囲むようにカーソルをドラッグしても、複数の部分を選択できます。


■ 縫い順を変更する


縫い順を変更するときは、移動する部分のコマをクリックし、希望する位置までドラッグします。ドラッグしている間は、新しい縫い順の移動先が縦の赤い太線で表示されます。




ダイアログボックスの下のボタンをクリックしても部分を移動できます。

 をクリックすると、縫い順を先頭に移動します。

 をクリックすると、縫い順を1つ前に移動します。


 をクリックすると、縫い順を1つ後に移動します。


 をクリックすると、縫い順を最後に移動します。

縫い順を変更するには、**OK** をクリックします。

フォントデータをプレビューする

プレビューウィンドウで、フォントデータをプレビューできます。

ツールバーボタン： 

1.  をクリックするか、メニューバーの **表示→プレビューウィンドウ** をクリックします。



→ プレビューウィンドウが表示されます。



■ プレビューウィンドウのサイズを変更する

1. カーソルをプレビューウィンドウの角に移動します。


→ 接している角によって、カーソルの形が


 または  に変わります。

2. 角をドラッグして、プレビューウィンドウのサイズを調整します。

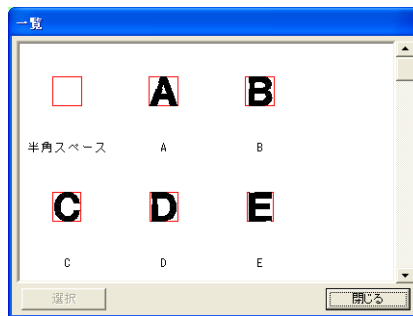
作成した文字一覧を確認する

現在編集しているフォントファイルに含まれている文字を一覧で表示できます。

ツールバーボタン： 


1.  をクリックするか、メニューバーの **表示→一覧** をクリックします。

→ **一覧** ダイアログボックスが表示されます。

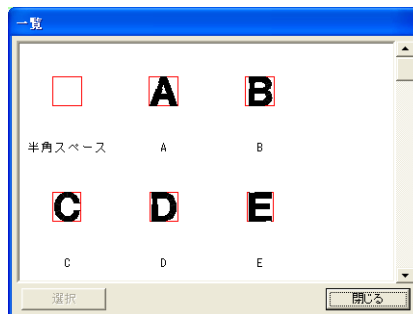


■ 文字を選択する

一覧 ダイアログボックスで文字を選択すると、デザインページにその文字を表示できます。

1.  をクリックするか、メニューバーの **表示→一覧** をクリックします。

→ **一覧** ダイアログボックスが表示されます。



2. 文字をクリックし、**選択** をクリックします。

→ **一覧** ダイアログボックスが閉じられ、選択したフォントデータがデザインページに表示されます。

メモ：

一覧 ダイアログボックスで文字をダブルクリックしても、デザインページに表示する文字を選択できます。

■ 一覧ダイアログボックスのサイズを変更する

1. カーソルを**一覧** ダイアログボックスの角に移動します。

→ 接している角によって、カーソルの形が


 または  に変わります。

2. 角をドラッグして、**一覧** ダイアログボックスのサイズを調整します。


表示方法を切り替える

フォントデータをズームイン、ズームアウトして詳細部分や見えない部分を表示します。

ズームインを行う

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ 4つのボタン  が表示されます。

2.  をクリックします。


→ カーソルの形が  に変わります。

3. 拡大したい部分をクリックします。


メモ：

特定の部分を拡大するには、目的の場所を囲むようにドラッグします。

ズームアウトを行う

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ 4つのボタン  が表示されます。


2.  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。


3. 縮小したい部分をクリックします。

特定のフォントデータだけをズームする

1. ズームしたい1つまたは複数のフォントデータを選択します。


2. ツールボックスの  をクリックします。

→ 4つのボタン  が表示されます。


3.  をクリックします。

→ 選択したフォントデータだけが、利用可能な画面スペースいっぱいに表示されます。

デザインページ全体を表示する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ 4つのボタン  が表示されます。


2.  をクリックします。


→ デザインページが縮小または拡大され、デザインページ全体が表示されます。

フォントファイルを保存する

上書き保存する

フォントファイルは 1 度保存すれば、次回からのデータの更新時は簡単に上書き保存できます。

ツールバーボタン：


1.  をクリックするか、メニューバーの **ファイル**→**上書き保存** をクリックします。

→ 作業中のフォントファイルを以前に1度以上保存したことがある場合は、ファイルは直ちに上書き保存されます。

→ ファイル名が無題のときや、ディスク上にファイルが見つからないときは、**名前を付けて保存** ダイアログボックスが表示されます。

注意：

編集中のフォントデータの一部がデザインページからはみ出ているときに保存すると、メッセージが表示されます。すべてのフォントデータをデザインページの枠内に入れてから、もう一度保存してください。

 本ページの「新しい名前を付けて保存する」

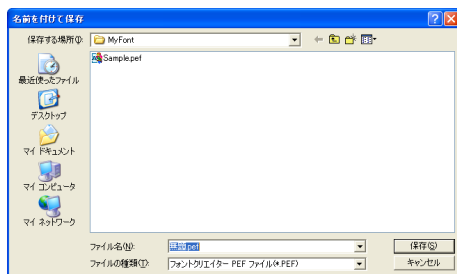
新しい名前を付けて保存する

既存ファイルを編集し、別のファイル名で保存すると、元ファイルは上書きされず、作業中のデータは別ファイルとして保存されます。

ファイルは、.pef ファイルで保存されます。

1. メニューバーの **ファイル**→**名前を付けて保存** をクリックします。

→ 次のような **名前を付けて保存** ダイアログボックスが表示されます。



2. ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。

注意：

- 作成したフォントファイルは、次の場所に保存してください。別のフォルダに保存すると、レイアウトセンターで使用できません。
(刺しゅうPROがインストールされているドライブ) ¥Program Files¥Brother¥刺しゅうPRO Ver.7¥MyFont
- フォントクリエイターで新しいフォントファイルを保存するときにレイアウトセンターを起動していると、そのフォントファイルはレイアウトセンターの書体セレクトには表示されません。このような場合には、いったんレイアウトセンターを終了して、再起動してください。

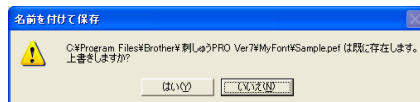
メモ：

拡張子は自動的に付きます。


3. 保存をクリックして、フォントファイルを保存します。

メモ：

- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。
- **名前を付けて保存** ダイアログボックスで入力した名前のファイルがすでに存在する場合は、次のメッセージが表示されます。



- ファイルを上書きするときは、**はい** をクリックします。
- 上書きしたくないときは、**いいえ** をクリックします。別のファイル名を入力して保存します。

 本ページの「上書き保存する」

注意：

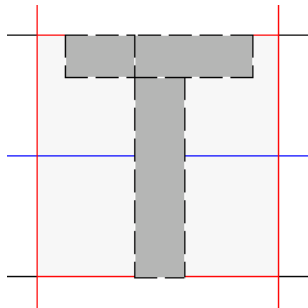
編集中のフォントデータの一部がデザインページからはみ出ているときに保存すると、メッセージが表示されます。フォントデータ全体をデザインページの枠内に入れてから、もう一度保存してください。

各設定を変更する

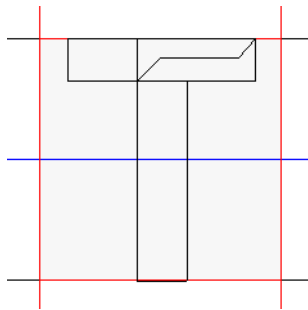
描画モードを変更する

フォントクリエイターには、2つの描画モードがあります。

- 塗りつぶし表示モード
縫いの部分が塗りつぶされて表示されます。このモードでは、フォントデータの重なりかたが、より見やすくなります。



- 線表示モード (塗りつぶし表示モードオフ)
縫いの部分が塗りつぶされません。このモードでは、より簡単にポイントを編集できます。



これらのモードを切り替えるには、次の操作を行います。

ツールバーボタン:

- をクリックするか、メニューバーの **表示→塗りつぶし表示モード** をクリックします。
→ 塗りつぶし表示モードと線表示モードが切り替わります。

メモ:

前のモードに戻るには、 をクリックするか、**表示→塗りつぶし表示モード** をクリックします。

下絵の表示設定を変更する

■ 下絵の濃さを変更する

デザインページにある下絵の表示のしかたを、**表示** / **表示しない** / **薄く表示** から選択できます。

- メニューバーの **表示→下絵を表示** をクリックし、次に設定を選択します。

下絵を表示する場合は、**表示 (100%)** をクリックします。

下絵を薄く表示する場合は、使用する濃さ (**75%**、**50%** または **25%**) をクリックします。

下絵を表示しない場合は、**表示しない** をクリックします。

メモ:

- デザインページに取り込まれている下絵の画像がない場合は、この機能は使えません。
- F6** キーを押すと、**表示 (100%)**、**75%**、**50%**、**25%** および **表示しない** を切り替えることができます。

P.239 の「下絵を開く」

■ 下絵を拡大・縮小する

- メニューバーの **表示→下絵のサイズと位置の変更** をクリックします。

→ 下絵の画像が選択されます。

- 下絵のハンドル上にカーソルを移動します。

→ 接しているハンドルによって、カーソルの形が、、、 または に変わります。

📖 メモ:

- は、幅を拡大・縮小します。
- は、高さを拡大・縮小します。
- と は、幅と高さを同時に拡大、縮小します。(幅と高さの比率が保たれます。)
- **(Shift)** キーを押しながらハンドルをドラッグすると、下絵の中心から拡大・縮小されます。

3. ハンドルをドラッグして、下絵のサイズを調整します。

📖 メモ:

デザインページに取り込まれている下絵の画像がない場合は、この機能は使えません。

■ 下絵を移動する

1. メニューバーの**表示→下絵のサイズと位置の変更**をクリックします。

→ 下絵の画像が選択されます。

2. 選択された下絵の上にカーソルを移動します。

→ カーソルの形が に変わります。

3. 下絵をドラッグして、移動します。

📖 メモ:

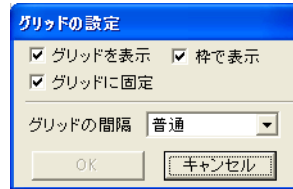
デザインページに取り込まれている下絵の画像がない場合は、この機能は使えません。

グリッドの設定を変更する

グリッドの表示 / 非表示を切り替えます。グリッドの表示のしかたや間隔を指定できます。

1. メニューバーの**表示→グリッドの設定**をクリックします。

→ **グリッドの設定**ダイアログボックスが表示されます。



2. グリッドを表示するには、**グリッドを表示**チェックボックスをチェックします。グリッドを非表示にするには、**グリッドを表示**チェックボックスのチェックを外します。

3. ポイントやハンドルをグリッド間隔で挿入や移動をしたいときは、**グリッドに固定**チェックボックスをチェックします。

📖 メモ:

固定機能はグリッドの表示/非表示に関わらず有効です。

4. **グリッドの間隔**セレクトで、グリッドの間隔を選択します。

広いをクリックすると、グリッド間隔をデザインページの 1/15 に変更します。

普通をクリックすると、グリッド間隔をデザインページの 1/30 に変更します。

狭いをクリックすると、グリッド間隔をデザインページの 1/90 に変更します。

5. **枠で表示**チェックボックスをチェックすると、グリッドが直線で表示されます。

💡 注意:

グリッドを表示チェックボックスがチェックされており、**枠で表示**チェックボックスのチェックが外れている場合は、グリッドの交点のみが表示されます。

6. **OK**をクリックし、変更を確定してダイアログボックスを閉じます。


📖 メモ:


変更を取り消してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

パターンの作成 (ステッチクリエイター)

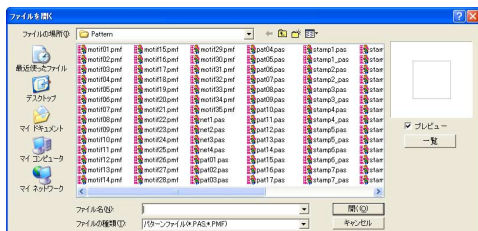
ファイルを開く

以前に保存したパターンファイルを開いて編集できます。

ツールバーボタン: 

1. ツールバーの  か、メニューバーの **ファイル**→**開く**をクリックします。

→ 次のような **ファイルを開く** ダイアログボックスが表示されます。



2. ドライブ、フォルダを選択します。

メモ:

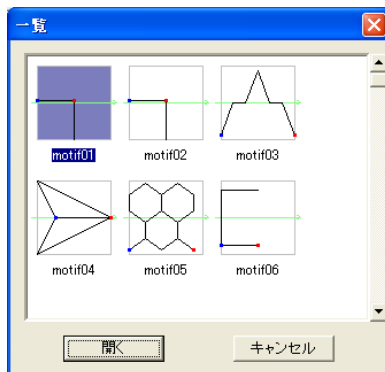
- **プレビュー**チェックボックスがチェックされていると、選択したファイルの内容がプレビュー領域に表示されます。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意:

プログラムタタミ/スタンプパターンを開くときは、.pas ファイルを含むフォルダを選択してください。モチーフパターンを開くときは、.pmf ファイルを含むフォルダを選択してください。

3. フォルダ内の .pas および .pmf ファイルの内容を見たいときは、**一覧**をクリックします。

→ 次のような **一覧** ダイアログボックスが表示されます。



メモ:

- **ファイルを開く**ダイアログボックスに戻るときは、**キャンセル**をクリックします。
- パターンの真ん中の緑の矢印は、そのパターンがモチーフパターン (.pmf ファイル) であることを示します。矢印がないパターンは、プログラムタタミ/スタンプパターン (.pas ファイル) です。
- プログラムタタミ/スタンプパターンは、面の設定がされている場合、赤 (縫い沈め効果) と青 (浮き上がり効果) で塗りつぶされます。

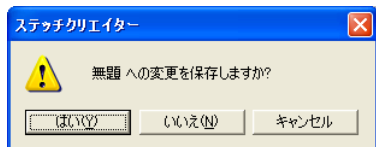
4. **開く**をクリックするか、アイコンをダブルクリックしてファイルを開きます。

→ デザインページが保存済み、または作業中のデータがない場合は、選択されたファイルがデザインページに表示されます。

メモ:


モードはファイルを開くと自動的にファイルの種類に合わせて切り替わります。.pas ファイルの場合は**プログラムタタミ/スタンプ**モードに、.pmf ファイルの場合は**モチーフ**モードになります。

→ 現在のデザインページが保存されていない場合は、変更を保存するかどうかを尋ねられます。



メモ:

- デザインページを保存する場合は、**はい**をクリックします。
- デザインページを保存しない場合は、**いいえ**をクリックします。
- 別の名前を付けて保存するなど、デザインページに戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。

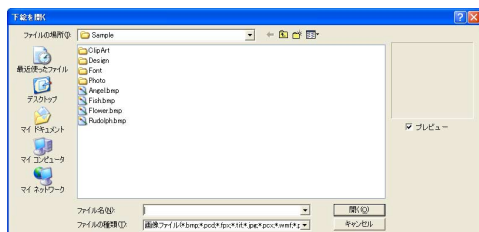
 P.259 の「新規パターンを作成する」、P.272 の「上書き保存する」、および P.272 の「新しい名前を付けて保存する」

下絵を開く

データ作成用の下絵として使用可能な画像を、デザインページ上に開きます。使用できる画像データは、拡張子が Windows ビットマップ (*.bmp)、Exif (*.tif, *.jpg)、ZsoftPCX (*.pcx)、Windows メタファイル (*.wmf)、Portable Network Graphics (*.png)、Encapsulated PostScript (*.eps)、Kodak PhotoCD (*.pcd)、FlashPix (*.fpx)、JPEG2000 (*.j2k) のいずれかです。

1. メニューバーの**ファイル**→**下絵を開く**をクリックします。

→ 次のような**下絵を開く**ダイアログボックスが表示されます。



2. ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。

メモ:

プレビューチェックボックスがチェックされていると、選択したファイルの内容がプレビュー領域に表示されます。

3. **開く**をクリックしてファイルを開きます。

→ デザインページに、画像が表示されます。

メモ:


- ファイル名をダブルクリックしてもファイルが開きます。
- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル**をクリックします。
- メニューバーの**表示**→**下絵**をクリックすると、画像の表示のしかたを、**表示 / 薄く表示 / 表示しない**から選べます。
 - 下絵を表示する場合は、**表示 (100%)**をクリックします。
 - 下絵を薄く表示する場合は、使用する濃さ (**75%**、**50%**または**25%**) をクリックします。
 - 下絵を表示しない場合は、**表示しない**をクリックします。


注意:

- 複数のページがある .pcd ファイルと .fpx ファイルは、最初のページのみを開くことができます。LZW で圧縮された Tiff ファイルは開くことができません。
- デザインページに開くことができる下絵は、1 つです。別の下絵を開くと、それまで表示されていた下絵はデザインページから削除されます。

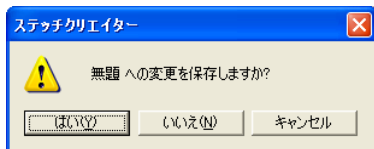
新規パターンを作成する

空白のデザインページを開いて、新しいパターンをデザインできます。

ツールバーボタン： 


1.  をクリックするか、メニューバーの **ファイル→新規作成** をクリックします。

- 現在のデザインページに保存済み、または作業中のデータがない場合は、直ちに空白の新規デザインページが表示されます。
- 現在のデザインページが保存されていない場合は、変更を保存するかどうかを尋ねられます。



📖 メモ：

- デザインページを保存する場合は、**はい** をクリックします。
- デザインページを保存しない場合は、**いいえ** をクリックします。
- 別の名前を付けて保存するなど、デザインページに戻る場合は、**キャンセル** をクリックします。

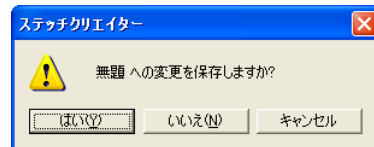
 P.257 の「ファイルを開く」、P.272 の「上書き保存する」、および P.272 の「新しい名前を付けて保存する」

作成するパターンを選択する

ステッチクリエイターを使用して、プログラムタタミ縫い / スタンプ用、モチーフ用のパターンを作成できます。作成方法とデザインページはそれぞれ異なります。メニューバーの **モード** をクリックし、サブメニューから作成したいパターンを選択します。

1. **プログラムタタミ/スタンプモード** にするときは、**モード→プログラムタタミ/スタンプ** を選択します。
モチーフモード にするときは、**モード→モチーフ** を選択します。

- デザインページが保存済み、または作業中のデータがない場合は、直ちに空白の新規デザインページが表示されます。
- 現在のデザインページが保存されていない場合は、変更を保存するかどうかを尋ねられます。



📖 メモ：

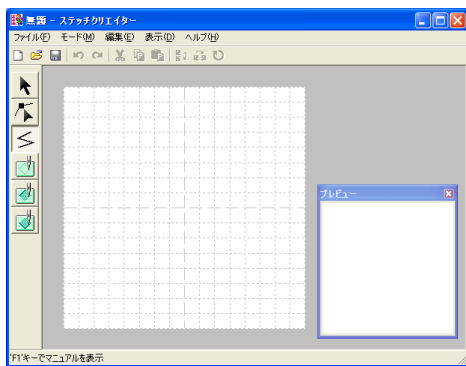
- デザインページを保存する場合は、**はい** をクリックします。
- デザインページを保存しない場合は、**いいえ** をクリックします。
- 別の名前を付けて保存するなど、デザインページに戻る場合は、**キャンセル** をクリックします。

■ プログラムタタミ / スタンプモード

プログラムタタミ / スタンプモードでは、パターンを1本または複数の線で描き、その後、線で囲まれた部分に面の設定を加えることで、縫い沈め / 浮き上がり効果を出すことができます。デザインセンターやレイアウトセンターで、プログラムタタミ縫いやスタンプのパターンとして使用できます。

ツールボックスの直線描画ツールで、プログラムタタミ / スタンプパターンの線を描き、線で囲まれた面に、面設定ツール (凹、凸、クリア) で縫い沈め / 浮き上がり効果を設定し、プログラムタタミ / スタンプパターンを編集します。

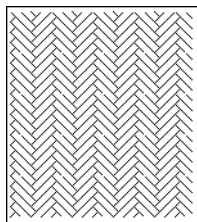
プログラムタタミ縫いの縫い方は通常のタタミ縫いとは異なり、パターン線上に針が落ちるような縫い目が見つられます。



📖 メモ:

プレビュー画面を表示するには、メニューバーの**表示**→**プレビュー**をクリックします。

パターン例



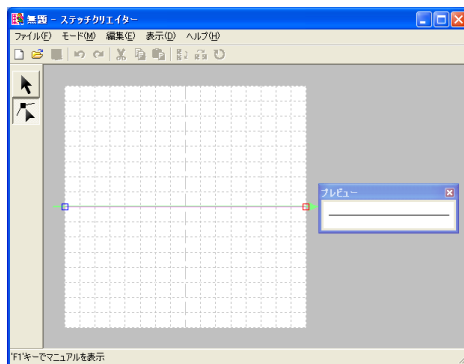
■ モチーフモード

モチーフモードでは1本の線の形を変えて、オリジナルのパターンを作成します。パターンは、レイアウトセンターでは線と面の縫い方に、デザインセンターでは面の縫い方に設定できます。

デザインページの右中央に緑の矢印 (→) が表示され、刺しゅうが行われる方向が示されています。

緑の矢印に沿ってピンクの線が一本表示されます。この線はモチーフ縫いのベースを示し、ポイント編集ツールでポイントを挿入したり、移動したりして編集し、パターンを作成します。

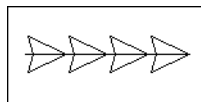
デザインページの左端の青い四角はその線の始点を、右端の赤い四角は終点を示しています。始点と終点は削除できません。両方とも同一の上下位置にしなければならないので、どちらか一方を移動すると、もう片方の点も同じ上下位置に動きます。



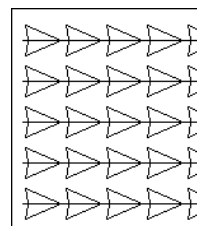
📖 メモ:

プレビュー画面を表示するには、メニューバーの**表示**→**プレビュー**をクリックします。

パターンの例
線縫い



面縫い



作成中にパターンの模様イメージを確認する

プレビュー画面で、どんな模様になるか、パターンをいくつか並べた模様イメージを確認できます。

1. プレビュー画面が表示されていない場合は、メニューバーの**表示→プレビュー**をクリックします。

選択されている**モード**設定のプレビュー画面が表示されます。メニューバーの**表示→プレビュー**の左にチェックマークが付きます。



プログラムタタミ/スタンプモード



モチーフモード

プレビュー画面の画像は、デザインページの変更に合わせて更新されます。

2. プレビュー画面を閉じるときは、閉じるボタンを押すか、メニューバーの**表示→プレビュー**のチェックを解除します。

📖 メモ：


- プレビュー画面は大きさを変更できます。
- プレビュー画面表示設定は、次に変更するまで保持されます。


プログラムタタミ / スタンプモードでパターンを作成する

直線描画ツールで、パターンの直線または折線を描くことができます。

グリッドが表示されている場合は、どこでクリックしても、必ず最も近くのグリッド線の交点（グリッドの垂直線と水平線の交差する点）にポイントが作成されます。水平線や垂直線はグリッド線と重なって引かれます。ポイントはどこに移動しても、最も近い交点に移動します。

描きたいパターンによって、グリッド間隔を選択します。また、**表示しない**を選択すると、交点にポイントが挿入されなくなります。グリッドの詳細については、P.273の「グリッドの設定を変更する」を参照してください。

1. ツールボックスの  をクリックします。

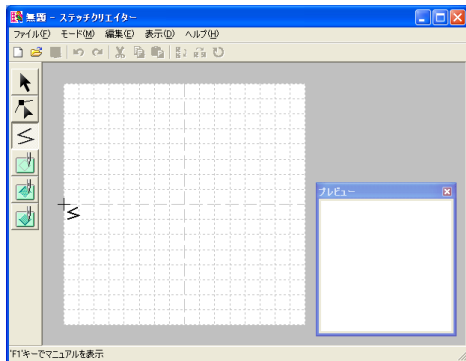
→ カーソルがデザインページに入ると、カーソルの形が  に変わります。



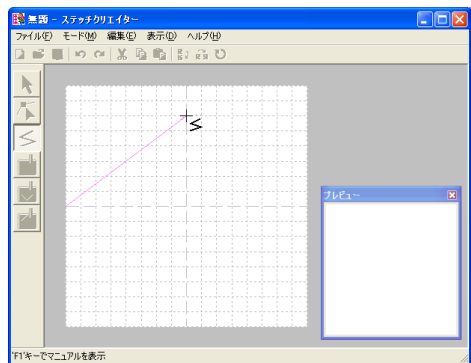
注意：

このツールはプログラムタタミ / スタンプモードでのみ使用できます。

2. カーソルを線の始点へ移動し、クリックします。



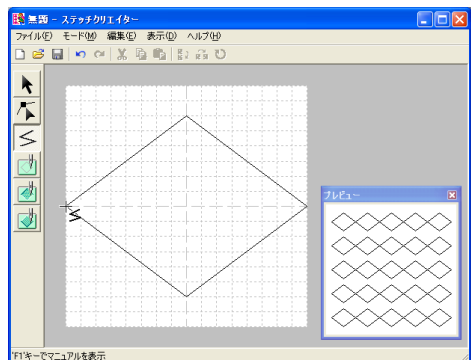
3. カーソルを次の点へ移動し、クリックします。



メモ：

マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。


4. カーソルの移動とクリックを繰り返し、終点でダブルクリックします。



5. 他の線を加えたい場合は、同じ手順を繰り返し、パターンを完成します。

プログラムタタミ/スタンプモードでパターンを編集する

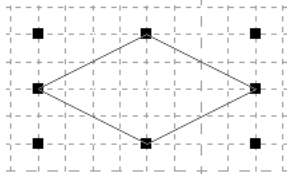
パターンを選択する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. 選択したいパターンをクリックします。

→ パターンの周りにハンドルが表示されます。




注意：

線上をクリックしないと選択できません。



メモ：

パターンの選択を解除するには、他のパターンを選択するか、パターンが無い部分をクリックするか、ツールボックスの  以外の別のボタンをクリックします。


3. 複数のパターンを選択するには、**(Ctrl)** キーを押しながらパターンをクリックします。




メモ：

- 選択したいパターン全体を囲むようにカーソルをドラッグしても選択できます。カーソルをドラッグすると、点線の長方形が表示されます。マウスボタンを離すと、その長方形で完全に囲まれたすべてのパターンが選択されます。
- 選択したくないパターンまで選択してしまったときは、パターンの無い部分をクリックしてすべての選択を解除し、選択し直します。

■ すべてのパターンを選択する

1. ツールボックスの  をクリックします。
2. メニューバーの **編集** → **すべて選択** をクリックします。

パターンを移動する





1. 選択したパターン上にカーソルを移動します。
- カーソルの形が  に変わります。
2. パターンをドラッグして、移動します。



メモ：





- **(Shift)** キーを押しながらドラッグすると、パターンは水平方向または垂直方向に移動します。
- 矢印キーを押すと、選択したパターンを矢印キーの方向に1グリッドずつ移動できます。グリッドが表示されていない場合、パターンはグリッドの最小間隔より小さい間隔で移動します。

パターンを拡大・縮小する

1. 選択したパターンのハンドル上にカーソルを移動します。
- 接しているハンドルによって、カーソルの形が、、、 または  に変わります。




メモ：

-  は、幅を拡大・縮小します。
-  は、高さを拡大・縮小します。
-  と  は、幅と高さを同時に拡大・縮小します。(幅と高さの比率は保たれます。)
- **(Shift)** キーを押しながらハンドルをドラッグすると、パターンの中心から拡大・縮小されます。


2. ハンドルをドラッグし、パターンのサイズを調整します。


パターンを削除する

1. 削除したいパターンを選択します。
2.  キーを押すか、メニューバーの**編集→削除**をクリックします。

パターンを切り取る

選択されたパターンを画面から削除して、クリップボードにコピーします。


ツールバーボタン: 

1. 1つまたは複数のパターンを選択します。
2.  をクリックするか、メニューバーの**編集→切り取り**をクリックします。

→ 選択されたパターンがデザインページから削除されます。


メモ:


データはクリップボードにコピーされるので、メニューバーの**編集→貼り付け**を使って、貼り付けることができます。

 本ページの「パターンをコピーする」、本ページの「パターンを貼り付ける」、および本ページの「パターンを削除する」


パターンをコピーする

選択したパターンをデザインページから削除しないで、クリップボードに保存します。

ツールバーボタン: 

1. 1つまたは複数のパターンを選択します。
2.  をクリックするか、メニューバーの**編集→コピー**をクリックします。

→ 選択したパターンがクリップボードにコピーされます。**編集→貼り付け**を使って、貼り付けることができます。


 本ページの「パターンを切り取る」、本ページの「パターンを複製する」、および本ページの「パターンを貼り付ける」

パターンを複製する

選択したパターンのコピーをデザインページに追加します。


1. 1つまたは複数のパターンを選択します。
2. メニューバーの**編集→複製**をクリックします。


→ 選択したパターンのコピーがデザインページに追加されます。

 本ページの「パターンをコピーする」および本ページの「パターンを貼り付ける」


パターンを貼り付ける

クリップボードにあるパターンをデザインページに貼り付けます。

ツールバーボタン: 


1.  をクリックするか、メニューバーの**編集→貼り付け**をクリックします。


→ **切り取り**や**コピー**でクリップボードに保存されたパターンが、デザインページに貼り付けられます。

 本ページの「パターンを切り取る」、本ページの「パターンをコピーする」、および本ページの「パターンを削除する」

パターンを上下に反転する

選択されたパターンを上下に反転します。


ツールバーボタン: 

1. 1つまたは複数のパターンを選択します。
2.  をクリックするか、メニューバーの**編集→反転→上下**をクリックします。

→ 選択されたパターンが上下に反転されません。


メモ:


パターンを元の向きに戻すには、**編集→反転→上下**をもう一度クリックします。

 P.265の「パターンを左右に反転する」およびP.265の「パターンを回転する」

パターンを左右に反転する

選択されたパターンを左右に反転します。

ツールバーボタン: 


- 1つまたは複数のパターンを選択します。
-  をクリックするか、メニューバーの

編集→反転→左右をクリックします。

→ 選択されたパターンが左右に反転されます。


メモ:

パターンを元の向きに戻すには、**編集→反転→左右**をもう一度クリックします。

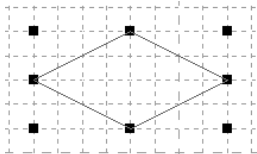
 P.264の「パターンを上下に反転する」および本ページの「パターンを回転する」


パターンを回転する

選択されたパターンを任意の角度で回転します。

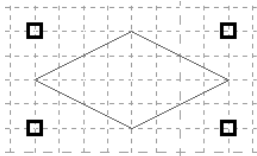
ツールバーボタン: 

- 1つまたは複数のパターンを選択します。




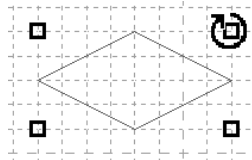
-  をクリックするか、メニューバーの **編集→回転** をクリックします。

→ 選択したパターンの四隅のハンドルが、白い四角に変わります。

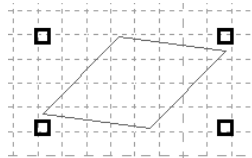


- カーソルをハンドルの1つに移動します。

→ カーソルの形が  に変わります。



- ハンドルをドラッグして、希望の角度に回転します。



メモ:


- ドラッグすると角度が1度ずつ変わります。
- **Shift** キーを押しながらドラッグすると、15度単位で回転します。


プログラムタタミ/スタンプモードで パターンを編集する（ポイントの編集）

グリッドが表示されている場合は、必ずグリッド線の交点にポイントが作成されます。水平線や垂直線はグリッド線と重なって引かれます。また、斜線はグリッドの交点を結んだ直線になります。

描きたいパターンによって、グリッド間隔を選択します。グリッドの詳細については、P.273の「グリッドの設定を変更する」を参照してください。

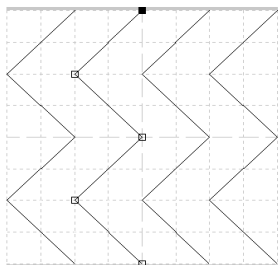
ポイントを移動する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. 編集したいパターンをクリックします。

→ パターンの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。



メモ：

一度に1本のパターンだけを選択できます。

3. 移動するポイントをクリックします。

→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。

メモ：

- 複数のポイントを選択するには、**(Ctrl)** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。
- **(Ctrl)** キーを押しながら**→**キーまたは**↓**キーを押すと、矢印キーを押すごとに、1つずつ選択されているポイントが終点の方向へ切り替わります。

注意：

パターンの線上でクリックすると、新しいポイントが挿入されます。


4. 移動したい場所にドラッグします。


→ 選択されたすべてのポイントが同じ方向に移動します。

メモ：

- **(Shift)** キーを押しながらドラッグすると、ポイントは水平方向または垂直方向に移動します。
- 矢印キーを押すと、選択したポイントを矢印キーの方向に1グリッドずつ移動できます。グリッドが表示されていない場合、ポイントはグリッドの最小間隔より小さい間隔で移動します。

ポイントを挿入する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. 編集したいパターンをクリックします。

→ パターンの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。


メモ：


一度に1本のパターンだけを選択できます。

3. ポイントを挿入したいパターンの線上でクリックします。

→ 新しいポイントが追加されます。追加されたポイントは選択された状態（小さい黒い四角）で表示され、すぐに編集できます。

ポイントを削除する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

2. 編集したいパターンをクリックします。

メモ：

一度に1本のパターンだけを選択できます。

→ パターンの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。

3. 削除したいポイントをクリックします。

→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。

メモ：

複数のポイントを選択するには、**Ctrl** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

4. ポイントを削除するには、**Delete** キーを押すか、メニューバーの **編集** → **削除** をクリックします。

メモ：

2つのポイントからなる線の場合は、1つを消すと線全体が削除されます。

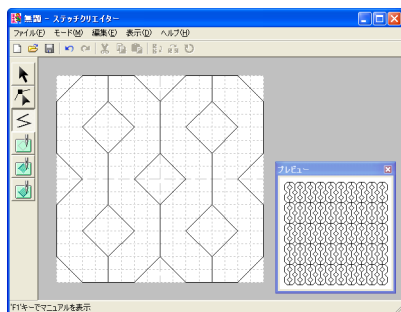
面の縫い方を設定する


プログラムタタミ/スタンプパターンは、線で囲まれた面部に縫い方を設定することにより、縫い沈め/浮き上がり効果を表現することができます。デザインセンターやレイアウトセンターのスタンプツールを使って、このパターンをスタンプを押すように配置したり、プログラムタタミ縫いのパターンとして使うこともできます。レイアウトセンターでは、円・円弧/長方形/図形/直線の各描画ツールや文字ツール、マニュアルパンチングツールを使って作成された刺しゅうデータに設定できます。

1. 既存のプログラムタタミ/スタンプパターンファイル (.pas ファイル) を開くか、タタミ/スタンプモードの直線描画ツールを使って新しいパターンを描きます。

注意：

面の縫い方の設定 (縫い沈め / 浮き上がり) を行うには、閉じた線で囲まれた面が必要です。デザインページの端 (外周) にも線を描くことができます。端に線を描いておくと、デザインページの端ギリギリまで面として使用できます。

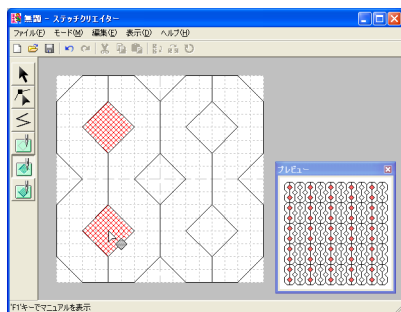


2. ツールボックスの  (面設定 (凹)) をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

3. 縫い沈め効果を設定する面をクリックします。


→ 面が赤色 (このツールの設定色) で表示されます。



メモ：

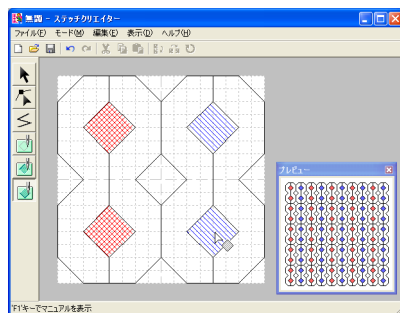
この面は、ピッチ 2.0 mm、偏差 30%、針落ち点が面の輪郭線の上に設定されたタタミ縫いで縫製されます。


4. ツールボックスの  (面設定 (凸)) をクリックします。


→ カーソルの形が  に変わります。

5. 浮き上がり効果を設定する面をクリックします。

→ 面が青色 (このツールの設定色) で表示されます。この面は針落ち点が作成されずに縫われます。



6. 面の設定 (縫い沈め/浮き上がり効果) を解除するには、ツールボックスの  (面設定 (クリア)) をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

7. 面の設定を解除する面をクリックします。

→ 面が白 (このツールの設定色) で表示され、その部分は、ベースの縫い方で設定された縫い方向で縫われます。

注意：


- 面の設定後にステッチ線を編集した場合は、編集後も面が線で囲まれていることを確認してください。囲われていないと、縫い沈め/浮き上がり効果は解除されます。
- 面設定されたプログラムタタミ/スタンプパターンは、Ver.6 より前のバージョンのソフトウェアでは使用できませんが、以前のバージョンで作成された.pasファイルに面の縫い方の設定を行うことはできます。


モチーフモードでモチーフパターンを作成する

モチーフモードでは、始点と終点の間にポイントを挿入し、そのポイントを移動するという操作を繰り返して、一筆書きのようなパターンを作成します。

グリッドが表示されている場合は、必ずグリッド線の交点にポイントが作成されます。水平線や垂直線はグリッド線と重なって引かれます。また、斜線はグリッドの交点を結んだ直線になります。

描きたいパターンによって、グリッド間隔を選択します。グリッドの詳細については、P.273の「グリッドの設定を変更する」を参照してください。

1. ツールボックスの  をクリックします。

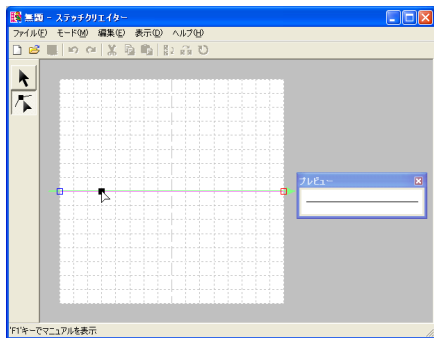
→ カーソルの形が  に変わります。

メモ:

モチーフモードを選択すると、自動的にポイント編集ツールが選択されます。

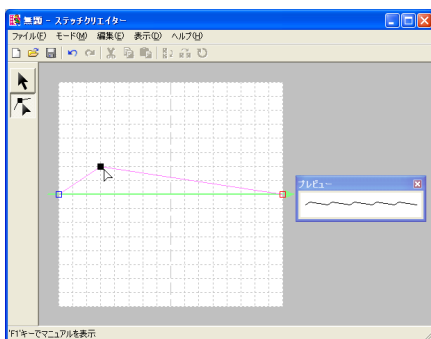
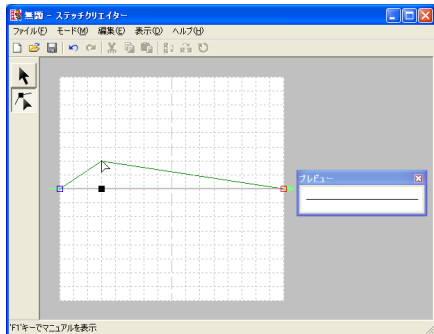
2. 始点 (青い四角) と終点 (赤い四角) の間のベース線をクリックします。

→ 新しいポイントが追加されます。追加されたポイントは選択された状態 (小さい黒い四角) で表示され、すぐに編集できます。



3. 移動したいポイントを新しい位置に移動します。

→ 新しいポイントと一緒に線が移動します。



メモ:

- **(Shift)** キーを押しながらドラッグすると、ポイントは水平方向または垂直方向に移動します。
- 矢印キーを押すと、選択したポイントを矢印キーの方向に1グリッドずつ移動できます。グリッドが表示されていない場合、ポイントはグリッドの最小間隔より小さい間隔で移動します。
- **(Delete)** キーを押すと、選択されたポイントが削除されます。

4. 手順 2. と 3. を繰り返して、モチーフパターンを完成させます。


メモ:


- 始点 (青い四角) または終点 (赤い四角) のどちらか一方を移動すると、もう片方の点も同じ上下位置に動きます。
- 始点と終点は、一定の距離以下に近づけることはできません。

モチーフモードでパターンを編集する

作成したパターンや既存のモチーフファイルを開いて、形や位置を変更できます。前記の手順と同じ方法で行いますが、同時に複数のポイントを選択して移動または削除できます。

複数のポイントを一度に移動・削除する

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ カーソルの形が  に変わります。

メモ:

モチーフモードを選択すると、自動的にポイント編集ツールが選択されます。

2. 始点 (青い四角) と終点 (赤い四角) の間の編集したいポイントをクリックします。

→ 選択されたポイントは黒い四角で表示されます。

メモ:

- 複数のポイントを選択するには、**(Ctrl)** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。
- **(Ctrl)** キーを押しながら **→** キーまたは **↓** キーを押すと、矢印キーを押すごとに、1つずつ選択されているポイントが終点の方向へ切り替わります。

注意:

パターンの線上でクリックすると、新しいポイントが挿入されます。

3. ドラッグすると移動します。

→ 選択されたすべてのポイントが同じ方向に移動します。


4. ポイントを削除するときは、**(Delete)** キーを押します。

→ 選択されたすべてのポイントが削除されます。

注意:





始点 (青い四角) と終点 (赤い四角) は削除できません。

パターンを拡大・縮小する





1. ツールボックスの  をクリックします。

→ モチーフパターンが選択されます。

2. ハンドル上にカーソルを移動します。

→ 接しているハンドルによって、カーソルの形が、、、 または  に変わります。


メモ:

-  は、幅を拡大・縮小します。
-  は、高さを拡大・縮小します。
-  と  は、幅と高さを同時に拡大、縮小します。(幅と高さの比率は保たれます。)
- **(Shift)** キーを押しながらハンドルをドラッグすると、パターンの中心から拡大・縮小されます。



3. ハンドルをドラッグし、パターンのサイズを調整します。



パターンを上下または左右に反転する

選択したパターンを上下または左右に反転します。

1. ツールボックスの  をクリックします。

→ モチーフパターンが選択され、ツールバー

の  および  が選択できるようになります。

2. パターンを上下に反転するときは、メニューバーの**編集→反転→上下**をクリックするか、ツールバーの  をクリックします。
- パターンを左右に反転するときは、**編集→反転→左右**をクリックするか、ツールバーの  をクリックします。




メモ：


パターンを元の向きに戻すには、同じメニューバーをもう一度選択するか、メニューバーの**編集→元に戻す**をクリックします。

パターンを保存する

上書き保存する


パターンを1度保存すれば、次回からデータの更新時は簡単に上書き保存できます。

ツールバーボタン: 

1.  をクリックするか、メニューバーの **ファイル**→**上書き保存** をクリックします。

→ 作業中のパターンを以前に1度以上保存したことがある場合は、ファイルは直ちに上書き保存されます。

→ ファイル名が無題のときや、ディスク上にファイルが見つからないときは、**名前を付けて保存** ダイアログボックスが表示されます。

 本ページの「新しい名前を付けて保存する」

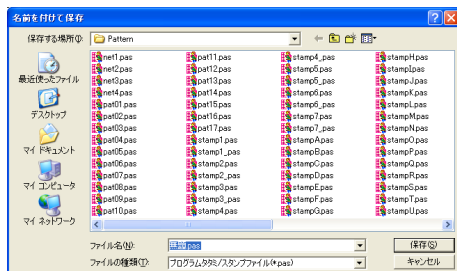
新しい名前を付けて保存する

現在のファイルを別のファイル名で保存すると、元のファイルに変更を加えず、新規にデータを保存できます。

プログラムタタミ/スタンプモードでは .pas ファイルで保存され、モチーフモードでは .pmf ファイルで保存されます。

1. メニューバーの **ファイル**→**名前を付けて保存** をクリックします。

→ 次のような **名前を付けて保存** ダイアログボックスが表示されます。



2. ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。

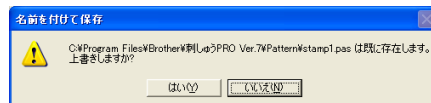
 **メモ:**

拡張子は自動的に付きます。


3. **保存** をクリックして、保存します。

 **メモ:**

- 操作を中止してダイアログボックスを閉じる場合は、**キャンセル** をクリックします。
- **名前を付けて保存** ダイアログボックスで入力した名前のファイルがすでに存在する場合は、次のメッセージが表示されます。



- ファイルを上書きするときは、**はい** をクリックします。
- 上書きしたくないときは、**いいえ** をクリックします。別のファイル名を入力して保存します。

 本ページの「上書き保存する」

 **注意:**

面設定されたプログラムタタミ/スタンプパターンは、**Ver.6** より前のバージョンのソフトウェアでは使用できませんが、以前のバージョンで作成された .pas ファイルに面の縫い方の設定を行うことはできます。

各設定を変更する

下絵の表示設定を変更する

デザインページにある下絵の表示のしかたを、**表示** / **表示しない** / **薄く表示**から選択できます。

1. メニューバーの**表示**→**下絵**をクリックし、次に設定を選択します。

表示する場合は、**表示 (100%)**をクリックします。

薄く表示する場合は、使用する濃さ (**75%**、**50%**または**25%**)をクリックします。

表示しない場合は、**表示しない**をクリックします。

📖 メモ:

- デザインページに取り込まれている下絵の画像がない場合は、この機能は使えません。
- **F6** キーを押すと、**表示 (100%)**、**75%**、**50%**、**25%** および**表示しない**を切り替えることができます。

🔍 P.258 の「下絵を開く」

グリッドの設定を変更する

グリッドの表示 / 非表示を切り替えます。グリッドの表示のしかたや間隔を指定できます。

1. メニューバーの**表示**→**グリッド**をクリックします。

→現在のグリッド設定を示すサブメニューが表示されます。

2. 作成または編集したいパターンに必要な設定をクリックします。

広いをクリックすると、グリッド間隔をデザインページの $1/8$ に変更します。

普通をクリックすると、グリッド間隔をデザインページの $1/16$ に変更します。

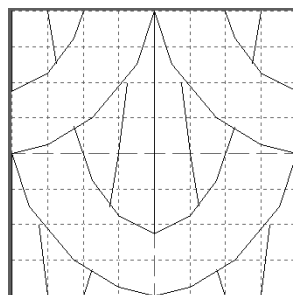
狭いをクリックすると、グリッド間隔をデザインページの $1/32$ に変更します。

グリッドを表示しない場合は、**表示しない**をクリックします。

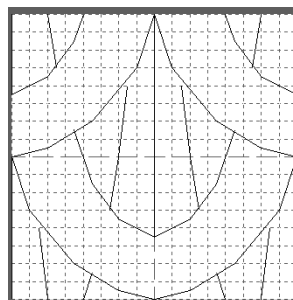
📖 メモ:

- 作業中も、グリッド設定を変更することができます。
- グリッド設定は次に変更するまで現在の設定が保持されます。

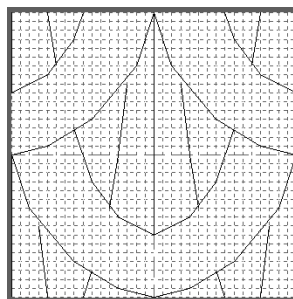
例1: 広いグリッド



例2: 普通グリッド



例3: 狭いグリッド



グリッドが表示されている場合は、必ずグリッド線の交点にポイントが作成されます。水平線や垂直線はグリッド線と重なって引かれます。また、斜線はグリッドの交点を結んだ直線になります。また、どこに移動しても、ポイントは最も近い交点に移動します。

描きたいパターンによって、グリッド設定を選択してください。細かなパターンを描くときは、より狭いグリッドを選択し、より単純なパターンを描くときはより広いグリッドを選択してください。**表示しない**を選択すると、グリッドへのポイント固定機能が解除されます。

刺しゅうファイルの管理 (デザインデータベース)

デザインデータベースを起動する

1. **スタート** をクリックし、**すべてのプログラム**→**刺しゅうPRO Ver.7**→**デザインデータベース**を選択します。

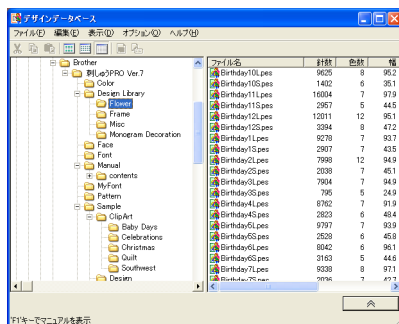
→ デザインデータベース画面が表示されま
す。

メモ:

ディスプレイ画面全体にデザインデータベ
ース画面を表示するには、タイトルバーの右端の
最大化ボタンをクリックします。

2. フォルダビュー内のフォルダをクリック
します。

→ フォルダ内のすべての刺しゅうファイルが
右側のコンテンツビューに表示されます。



メモ:

次の拡張子のファイルのみが表示されます。
.pes .phc .dst .exp .pcs .hus .vip
.shv .jef .sew .csd .xxx .pen

刺しゅうファイルを整理する

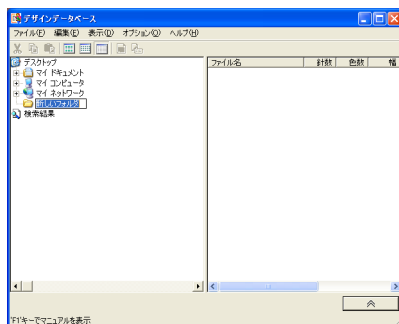
ファイルを別のフォルダに移動するなどして、刺しゅうファイルを整理できます。また、刺しゅうファイルの表示のしかたを、**サムネイル大**/**サムネイル小**/**詳細**から選択できます。

新規フォルダを作成する

刺しゅうファイルを整理するために、新規フォル
ダを作成します。

1. 左側のフォルダビューで、新規フォルダを
作成したいフォルダを選択します。
2. **ファイル**→**フォルダ作成**をクリックしま
す。

→ 選択したフォルダ内に、**新しいフォルダ**が
サブフォルダとして表示されます。



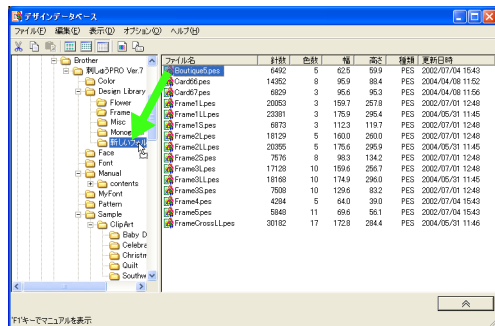
3. 新しいフォルダ名を入力し、**Enter** キーを
押します。

→ フォルダ名が入力された名前に変わります。

刺しゅうファイルを別のフォルダに移動・コピーする

デザインデータベースで、刺しゅうファイルのフォルダ間の移動ができます。

1. フォルダビューに、刺しゅうファイルを移動したいフォルダを表示します。
2. 移動したい刺しゅうファイルの入っているフォルダを選択します。
3. コンテンツビューに表示された移動する刺しゅうファイルを、フォルダビューの移動先のフォルダにドラッグします。



→ 移動先のフォルダが移動前のフォルダと同じドライブにある場合は、選択された刺しゅうファイルは、ドラッグした先のフォルダに移動します。

→ 移動先のフォルダが移動前のフォルダと異なるドライブにある場合は、選択された刺しゅうファイルは、ドラッグした先のフォルダにコピーされます。

メモ:

- 同じドライブにある別のフォルダにファイルをコピーするときは、**(Ctrl)** キーを押しながら、刺しゅうファイルをドラッグします。
- 異なったドライブにある別のフォルダにファイルを移動するときは、**(Shift)** キーを押しながら、刺しゅうファイルをドラッグします。
- ファイルの削除やコピーは、メニューバーの機能を使って行うこともできます。**編集→切り取り** (または**編集→コピー**) を選びます。その後、新規フォルダに追加するには、フォルダビューで新規フォルダを選択し、**編集→貼り付け**を選択します。

刺しゅうファイルの名前を変更する

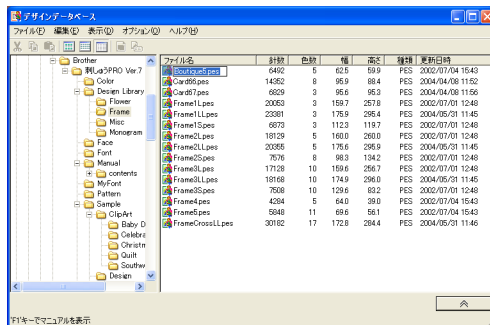
デザインデータベースで、刺しゅうファイルのファイル名を変更することができます。

注意:

刺しゅうファイルの名前の変更は、コンテンツビューの表示のしかたが**詳細**に設定 (メニューバーの**表示→詳細**を選択) されているときのみできます。(P.276 の「コンテンツビューの表示のしかたを変更する」を参照してください。)

1. フォルダビューで、名前を変更したい刺しゅうファイルのあるフォルダを選択します。
2. コンテンツビューで、名前を変更する刺しゅうファイルを選択します。もう一度ファイル名をクリックします。

→ ファイル名が反転表示に変わります。



3. 新しいファイル名を入力し、**(Enter)** キーを押します。

メモ:

ファイルの拡張子は、変更できません。変更しようすると、エラーメッセージが表示されます。

刺しゅうファイルを削除する

デザインデータベースで、刺しゅうファイルを削除することができます。

1. フォルダビューで、削除したい刺しゅうファイルのあるフォルダを選択します。
2. コンテンツビューで、削除したい刺しゅうファイルを選択します。

3. **Delete** キーを押します。

→ ファイルがゴミ箱に移動します。

📖 **メモ:**

- 刺しゅうファイルの削除は、メニューバーの**ファイル**→**削除**を使って行うこともできます。
- 刺しゅうファイルの削除は、削除するファイルを右クリックし、ポップアップメニューから**削除**を選択して行うこともできます。
- ゴミ箱に移動しないで直ちにファイルを削除する場合は、**(Shift)** キーを押しながら **Delete** キーを押します。


コンテンツビューの表示のしかたを変更する

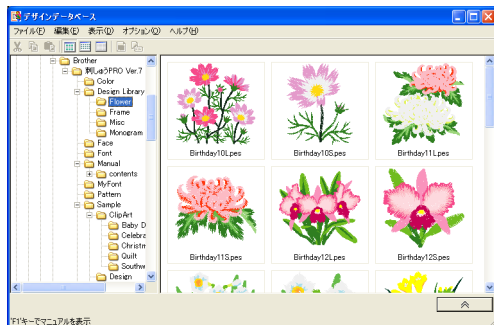
コンテンツビューの刺しゅうファイルの表示を、**サムネイル大**、**サムネイル小**、**詳細**から選ぶことができます。

1. メニューバーの**表示**をクリックして、**表示設定**を選択します。

刺しゅうファイルを大きいサムネイルで表示したいときは、**サムネイル大**をクリックします。


📖 **メモ:**

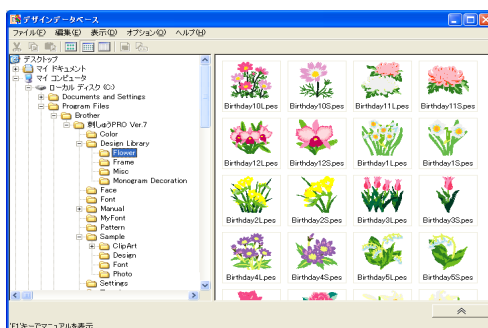
ツールバーの  をクリックしても、大きいサムネイルで表示できます。



刺しゅうファイルを小さいサムネイルで表示したいときは、**サムネイル小**をクリックします。


📖 **メモ:**

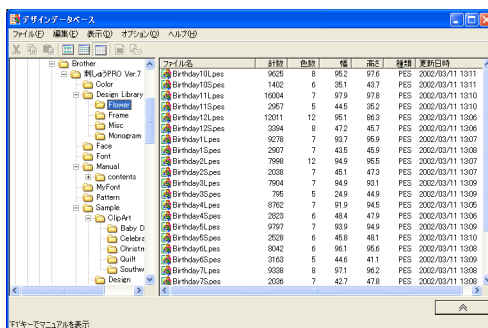
ツールバーの  をクリックしても、小さいサムネイルで表示できます。



刺しゅうファイルの縫い方情報別に表示したいときは、**詳細**をクリックします。

📖 **メモ:**

ツールバーの  をクリックしても、詳細表示で表示できます。



刺しゅうファイルを開く

レイアウトセンターで刺しゅうファイルを開く

選択した .pes ファイルを、レイアウトセンターで開きます。

1. フォルダビューで、レイアウトセンターで開きたい刺しゅうファイルのあるフォルダを選択します。
2. コンテンツビューで、開きたい .pes ファイルを選択します。



注意：

必ず .pes ファイルの入っているフォルダを選択してください。

3. メニューバーの**ファイル→レイアウトセンターで開く**をクリックします。

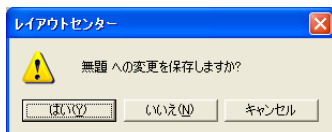


メモ：

ファイル名をダブルクリックするか、ファイルをレイアウトセンターのデザインページにドラッグしても、レイアウトセンターで刺しゅうファイルを開くことができます。

→ レイアウトセンターで作業中のデザインページが保存済み、または作業中のデータがない場合は、選択された刺しゅうファイルは、直ちにレイアウトセンターで開きます。

→ レイアウトセンターで作業中のデータが保存されていない場合は、変更を保存するかどうかを尋ねられます。



メモ：

- デザインページを保存する場合は、**はい**をクリックします。
- デザインページを保存しない場合は、**いいえ**をクリックします。
- 別の名前を付けて保存するなど、デザインページに戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。



P.180 の「上書き保存する」および P.180 の「新しい名前を付けて保存する」

レイアウトセンターで刺しゅうファイルを取り込む

選択した刺しゅうファイルを、レイアウトセンターで取り込むことができます。取り込むことができるファイルは次の形式です。

.pes .phc .dst .exp .pcs .hus .vip .shv .jef .sew .csd .xxx

1. フォルダビューで、レイアウトセンターで取り込みたい刺しゅうファイルのあるフォルダを選択します。
2. コンテンツビューで、取り込みたい刺しゅうファイルを選択します。
3. メニューバーの**ファイル→レイアウトセンターで取り込む**をクリックします。

→ 選択された刺しゅうファイルが、レイアウトセンターに取り込まれます。



メモ：

Ctrl キーを押しながら、1 つまたは複数のファイルをレイアウトセンターのデザインページにドラッグしても、刺しゅうファイルを取り込むことができます。




注意：


.pen ファイルはレイアウトセンターに取り込めません。

刺しゅうファイルを確認する

刺しゅうファイルをプレビューする

刺しゅうファイルをリアルプレビューできます。

ツールバーボタン: 

1. フォルダビューで、プレビューしたい刺しゅうファイルのあるフォルダを選択します。
2. コンテンツビューで、プレビューしたい刺しゅうファイルを選択します。
3.  をクリックするか、メニューバーの表示→プレビューをクリックします。

→ 次のようなプレビューダイアログボックスが表示されます。




メモ:


- ダイアログボックスを閉じるときは、閉じるをクリックします。
- .pen ファイルのプレビューを行うことはできません。

刺しゅうファイルの情報を確認する

ファイル名、サイズ、針数、糸色数、変更日などの縫い方情報は、**ファイルプロパティ**ダイアログボックスで確認できます。.pes ファイルでは、刺しゅうファイルに関する追加情報を見ることができます。

ツールバーボタン: 

1. コンテンツビューで、縫い方情報を確認したい刺しゅうファイルを選択します。

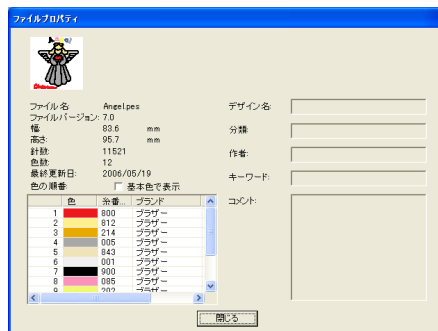
2. ツールバーの  をクリックするか、メニューバーの表示→ファイルプロパティをクリックします。

→ **ファイルプロパティ**ダイアログボックスが表示されます。

PES 以外のファイルおよび Ver.3.0 以前の PES ファイル



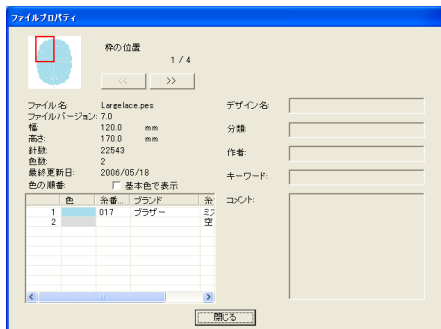
Ver.4.0 以降の PES ファイル



メモ:

- このダイアログボックスは大きさを変更できます。ダイアログボックスのサイズは、次に変更するまで現在の設定が保持されます。
- ダイアログボックスを閉じるときは、閉じるをクリックします。
- **糸色名表示**を基本色に切り替えるには、**基本色で表示**チェックボックスを選択します。

→ デザインページが**カスタムサイズ**（複数のパーツに分割されている大型サイズ）に設定されている場合は、次のような**ファイルプロパティ**ダイアログボックスが表示されます。



📖 メモ：

- 情報は枠の位置（枠パーツ）ごとに表示されます。赤い枠が、表示されている枠パーツの位置を示しています。
- <<< または >>> をクリックして、他の枠の位置に切り替えます。
- 枠の位置は、左から右と、上から下の順に表示されます。刺しゅうデータがないパーツは表示されません。
- ダイアログボックスを閉じるときは、**閉じる** をクリックします。

💡 注意：

<<< は、最初の枠の位置に対応するパーツが表示されているときはクリックできません。また、>>> も、最後の枠の位置に対応するパーツが表示されているときはクリックできません。

刺しゅうファイルを検索する

検索機能を使うと、1つまたは複数の検索条件を指定することで、フォルダ内の希望の刺しゅうファイル (.pes、.phc、.dst、.exp、.pcs、.hus、.vip、.shv、.jef、.sew、.csd、.xxx または .pen ファイル) を、すばやく検索することができます。

1. フォルダビューから検索したいフォルダを選択します。
2. メニューバーの**ファイル**→**検索**をクリックします。

→ **検索**ダイアログボックスが表示されます。



3. 検索条件を指定します。指定する検索条件のチェックボックスをチェックします。

ファイル名

特定のファイル名で検索できます。ボックスにファイル名を入力します。

📖 メモ:

ワイルドカード文字 (「?」で任意の1文字を、「*」で任意の長さの任意の文字列を表す) も使用できます。

対象フォーマット

特定のファイル形式で検索します。希望のファイル形式のチェックボックスをチェックします。

針数

針数を指定して検索します。ボックスに針数の上限と下限の数値を入力します。

色数

色数を指定して検索します。ボックスに糸色数の上限と下限の数値を入力します。

幅

刺しゅうの横の長さを指定して検索します。ボックスに横の大きさの上限と下限の数値を入力します。

高さ

刺しゅうの縦の長さを指定して検索します。ボックスに縦の大きさの上限と下限の数値を入力します。

変更日

特定の変更日を指定して検索します。ボックスに変更日の期間 (何日から何日まで) を入力します。

.pes ファイルの検索には、さらに次の条件を設定できます。

デザイン名

特定のデザイン名で検索します。ボックスにデザイン名を入力します。

分類

特定の分類で検索します。ボックスに刺しゅうのタイプや文字を入力します。

作者

特定の作者名で検索します。ボックスに検索したい文字を入力します。

キーワード

特定のキーワードで検索します。ボックスに検索したい文字を入力します。

コメント

特定のコメントで検索します。ボックスに検索したい文字を入力します。

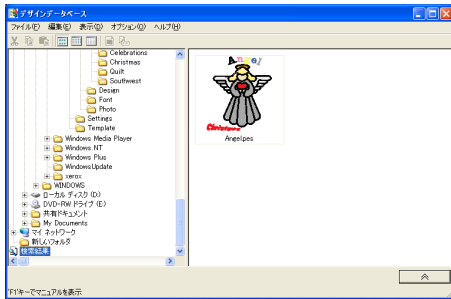
📖 メモ:

- サブフォルダ (選択したフォルダ内のフォルダ) も検索する場合は、**サブフォルダも検索** チェックボックスをチェックします。
- **ファイル名**の横にあるボックスに入力された文字は、1つの文字セットとして扱われます。ただし、**検索条件 (.pes ファイルのみ)** の場合は、スペースで区切られた単語を複数入力し、各単語とすべて一致するファイルを検索することができます。
- 範囲を指定する検索条件の場合は、上限と下限の両方の値を入力してください。

検索条件をリセットするには、**検索条件のクリア**をクリックします。

4. **検索**をクリックします。

→ 指定した検索条件に一致するファイルの一覧が表示されます。



📖 メモ：

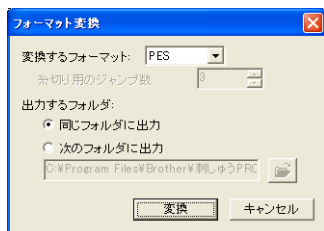
検索処理中に検索を中止する場合は、検索処理中に表示されるメッセージボックスの**検索キャンセル**をクリックします。

刺しゅうファイルを別の形式に変換する

刺しゅうファイルを、簡単に別のファイル形式 (.pes、.dst、.exp、.pcs、.hus、.vip、.shv、.jef、.sew、.csd または .xxx) に変換できます。

1. フォルダビューで、変換したい刺しゅうファイルのあるフォルダを選択します。
2. コンテンツビューで、変換したい刺しゅうファイルを選択します。
3. メニューバーの**ファイル→フォーマット変換**をクリックします。

→ **フォーマット変換**ダイアログボックスが表示されます。




4. **変換するフォーマットセクタ**からファイルの変換先形式を選択します。

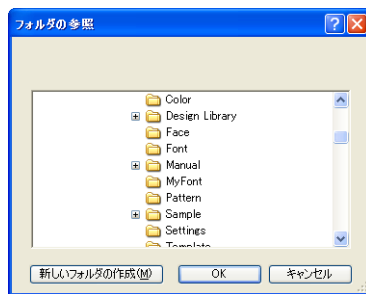
メモ:

DST 形式では、糸色の変更に必要な糸切りを指示するためにジャンプコードが使用されています。コードの数はご使用のミシンによって異なっているため、**糸切り用のジャンプ数**ボックスに値を入力するか、適切な値を選択してください。(この設定は .dst 形式を選択している場合のみ有効です。)

5. **出力するフォルダ**を選択します。元ファイルと同じフォルダに出力する場合は、**同じフォルダに出力**を選択します。別のフォルダに出力する場合は、**次のフォルダに出力**を選択し、フォルダを指定します。

メモ:

- **同じフォルダに出力**が選択されているときに、異なる形式のファイルを複数選択して変換した場合は、指定ファイルと同じ形式のファイルは変換されません。ただし元のフォルダとは別のフォルダに出力する場合は、指定ファイルと同じ形式のファイルはすべてコピー出力されます。
- 変換ファイルの出力先フォルダを変更するときは、 をクリックします。



表示された**フォルダの参照**ダイアログボックス内で、フォルダを選択し、**OK**をクリックするか、フォルダをダブルクリックしてフォルダを開きます。**フォルダの参照**ダイアログボックスは閉じます。

- 新規フォルダを作成する場合は、**新しいフォルダの作成**をクリックし、新規フォルダ名を入力します。

6. 変換をクリックします。

→ ファイルが変換され、新規ファイルが指定フォルダに出力されます。

メモ：

- ファイルを .pes ファイルに変換した場合は、ファイルがレイアウトセンターに取り込まれるときと同様に糸色が変わります。
- 存在しないフォルダへのパスが入力された場合は、メッセージが表示され、フォルダを作成するか尋ねられます。
- 同じ名前のファイルがすでに存在する場合は、メッセージが表示され、上書き保存してよいか尋ねられます。
- ファイル名は拡張子のみが選択されたファイル形式に変わり、出力されます。

注意：

.phc および .pen 形式へのファイル変換はできません。


刺しゅうファイルをオリジナルカードへ書き込む

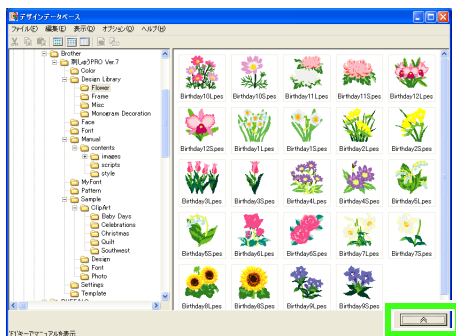
刺しゅうファイルを選択してオリジナルカードへ書き込むことができます。オリジナルカードをミシンに挿入すると、刺しゅうデータをミシンで縫うことができます。

1. オリジナルカードをカードライターに挿入します。
.phc ファイル以外のファイルを書き込むことができます。

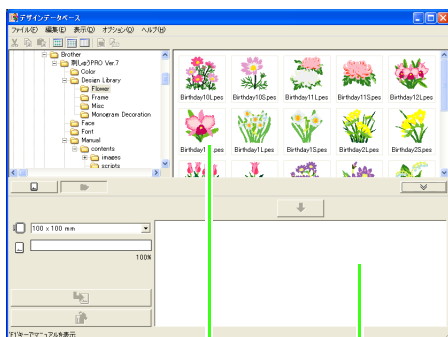
注意：

- オリジナルカードを正しく挿入すると、カチッという音がします。
- ミシンからオリジナルカードを抜き差しするときは、必ずミシンの電源を切ってから行ってください。カードライターからオリジナルカードを抜き差しするときは、パソコンの電源を切る必要はありません。

2.  をクリックします。




→ カード書き込みボックスが表示されます。



コンテンツビュー
(使用できる刺しゅうファイル)
書き込み候補リスト
(選択された刺しゅうファイル)

メモ：


カード書き込みボックスを非表示にするには、
 をクリックします。

3. 刺しゅう枠セクタから刺しゅう枠のサイズを選択します。




メモ：

ご使用のミシンの最大刺しゅう縫製範囲を越えるサイズを選択しないでください。枠サイズより大きいサイズで作成したカードは、ミシンで正しく動作しません。

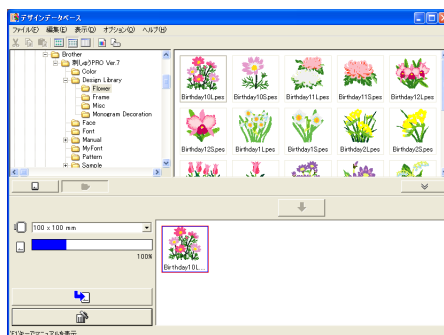
4.  をクリックしてから、書き込みたい刺しゅうファイルが保存されているフォルダを選択します。

→ 選択したフォルダ内のすべての刺しゅうファイルがコンテンツビューに表示されます。

5. コンテンツビューで、オリジナルカードに書き込みたい刺しゅうファイルを選択します。

6.  をクリックするか、刺しゅうファイルを右クリックして書き込み候補リストに追加をクリックします。

→ 選択したファイルが書き込み候補リストに追加されます。




📖 メモ:


コンテンツビューでファイルを選択して、書き込み候補リストにドラッグしても、書き込み候補リストにファイルを追加できます。

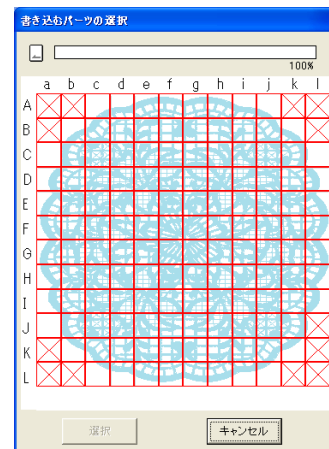
💡 注意:

- デザインページからはみ出た刺しゅうデータや、針数や色数がデザインページの制限を越えた刺しゅうデータがある場合は、刺しゅうファイルは書き込み候補リストに追加できません。
- 書き込み候補リストに表示された刺しゅうファイルのみをオリジナルカードに書き込むことができます。

📖 メモ:

- 書き込み候補リストから刺しゅうファイルを削除するときは、 をクリックするか、刺しゅうファイルを右クリックして**書き込み候補リストから削除**をクリックします。
- カスタムサイズのデザインページで作成した分割模様の刺しゅうデータは、枠パーツごとに分けて書き込むことができます。枠パーツデータの合計サイズがオリジナルカードの空き容量を超えている場合や、デザインページのサイズが 90 × 90cm 以上で 80 個以上に分割されている場合は、刺しゅうデータを分けて複数のオリジナルカードに書き込んでください。

1枚のカードに保存できないときは、 をクリックすると、**書き込むパーツの選択**ダイアログボックスが表示されます。書き込み可能容量がいっぱいになるまで枠パーツを選択することができます。



ダイアログボックス上部のカード容量インジケータで、書き込み候補リストに追加されている刺しゅうファイルの容量 (青色)、パーツファイルの容量 (空色)、カードの空き容量 (白色)を確認できます。

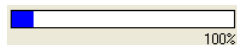
パーツを選択すると、選択したパーツファイルによって使用される容量は空色で表示され、選択するごとに加算されていきます。空き容量の上限を超えると、カード容量インジケータ全体が赤色になります。選択を解除する場合は、解除するパーツを再クリックします。

選択しているパーツファイルを書き込み候補リストに追加するには、**選択**をクリックします。(選択は、パーツが選択されており、選択したパーツを書き込むために十分な空き容量がカードにある場合のみ表示されます。)

7. 操作を繰り返し、オリジナルカードに書き込みたい刺しゅうファイルをすべて選択します。

メモ:

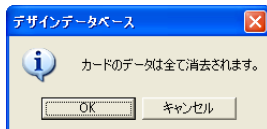
- この操作をしながら、カード容量インジケータで刺しゅうファイルの容量とオリジナルカードの空き容量を確認できます。書き込み候補リスト内のデータによって使用されているスペースは青色で表示されます。



- オリジナルカードの刺しゅうファイルを再度カードに書き込むときは、 をクリックしてから刺しゅうファイルを選択し、書き込み候補リストにファイルを追加します。

8. オリジナルカードに書き込む刺しゅうファイルを書き込み候補リストに追加できたら、 をクリックして、データの書き込みを始めます。

→ 次のメッセージが表示されます。



9. OK をクリックします。

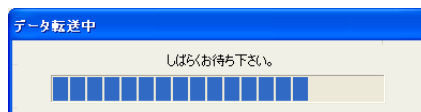
→ 書き込み候補リスト内の刺しゅうファイルがオリジナルカードに書き込まれます。

注意:

オリジナルカードにデータを書き込んでいる最中 (LED 表示が点滅中) は、オリジナルカードや USB コネクタを抜かないでください。

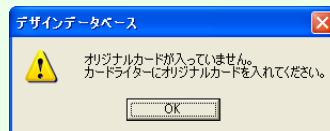
10. 刺しゅうファイルがオリジナルカードに書き込まれたかどうかを確認したいときは、 をクリックします。

→ オリジナルカードが挿入されているときは、次のようなメッセージが表示され、刺しゅうファイルが刺しゅうカードから読み込まれます。



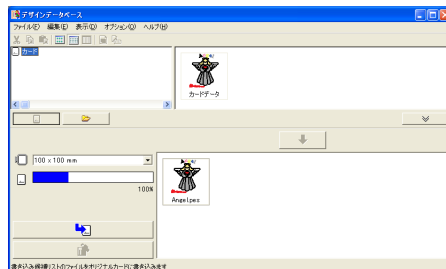
注意:

- オリジナルカードが挿入されていないときは、次のメッセージが表示されます。



- OK を押してダイアログボックスを閉じ、刺しゅうカードを挿入してから、 をクリックします。

→ がフォルダビューに表示され、オリジナルカードに書き込まれた刺しゅうファイルがコンテンツビューに表示されます。



メモ:

- オリジナルカードに書き込まれた刺しゅうファイルは、コンテンツビューに「**カードデータ**」として表示されます。
- コンテンツビューをフォルダ表示に戻すときは、 をクリックします。
 または をクリックすると表示を切り替えることができます。

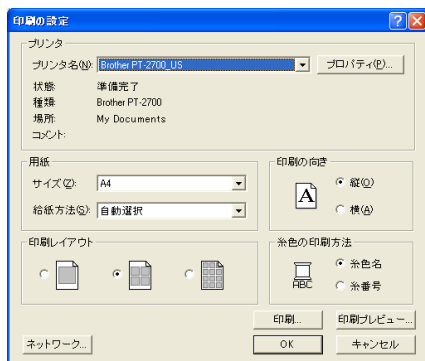
一覧 (刺しゅう見本) を出力する

印刷する

選択したフォルダの刺しゅうイメージを一覧 (刺しゅう見本) として印刷できます。

1. フォルダビューで、一覧を印刷したい刺しゅうファイルのあるフォルダを選択します。
2. メニューバーの**ファイル**→**印刷の設定**をクリックします。

→ 次のような**印刷の設定**ダイアログボックスが表示されます。



3. **印刷レイアウト**で、各ページに印刷したい刺しゅうの数 (1 個、4 個、12 個) を選択します。
4. **糸色の印刷方法**で、糸色を糸色名で表示するか、ブランド名と糸番号で表示するかを選択します。

メモ:

ブランド名と糸番号が長い場合は、文字が全部表示されないことがあります。

5. **印刷**をクリックします。

→ 選択した刺しゅうの一覧が印刷されます。

メモ:

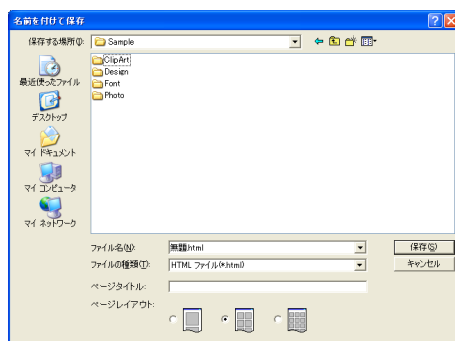
- コンテンツビューで刺しゅうファイルを1つ、または複数選択すると、選択された刺しゅうだけが印刷されます。
- 一覧印刷は、メニューバーの**ファイル**→**印刷**をクリックして直ちに実行することもできます。前回**印刷の設定**ダイアログボックスで選択された設定内容で印刷されます。

HTML ファイルを出力する

一覧は、HTML ファイルとして出力することもできます。

1. フォルダビューで、一覧のHTML出力したい刺しゅうファイルのあるフォルダを選択します。
2. メニューバーの**ファイル**→**HTML 出力**をクリックします。

→ 次のような**名前を付けて保存**ダイアログボックスが表示されます。



3. ドライブとフォルダを選択し、HTML ファイル名を入力します。
4. ファイル上部とタイトルバーにタイトルを表示する場合は、**ページタイトル**にタイトルを入力します。
5. **ページレイアウト**で、ページ上の刺しゅうのレイアウトを選択します。
6. **保存**をクリックします。

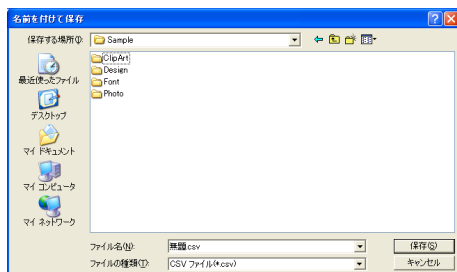
→ 選択したフォルダに、HTML ファイルが出力されます。HTML ファイルと同じ名前のフォルダが作られ、個々の刺しゅうイメージファイルが出力されます。

CSV ファイルを出力する

選択した刺しゅうファイルの縫い方情報（ファイル名、サイズ、針数、色数、ファイルのパス、ファイルプロパティ（.pes ファイルのみ）、糸色名、色番号）の CSV ファイルを出力することもできます。

1. フォルダビューから、CSV 出力したい刺しゅうファイルのあるフォルダを選択します。
2. **ファイル**→**CSV ファイル出力**をクリックします。

→ 次のような**名前を付けて保存**ダイアログボックスが表示されます。



3. ドライブとフォルダを選択し、CSV ファイル名を入力します。
4. **保存**をクリックします。

→ 刺しゅうファイルの縫い方情報の CSV ファイルが選択したフォルダに出力されます。

使ってみましょう（上級編）

写真を自動的に刺しゅうデータに変換する（フォトステッチ機能）

ここでは、ステッチウィザードで写真を使って美しい刺しゅうデータを作成するための基本的な操作を説明します。

また、ステッチウィザードをマニュアルで設定する方法についても説明します。

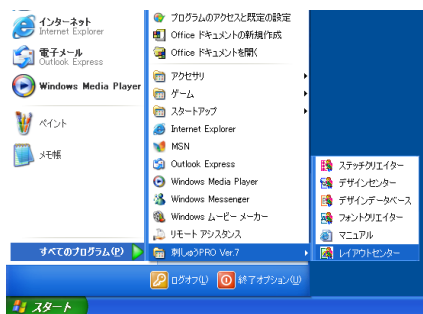
ステップ1	レイアウトセンターに写真データを取り込む
ステップ2	画像を刺しゅうデータに自動変換する
ステップ3	糸色の設定
ステップ4	刺しゅうデータをプレビューする
ステップ5	刺しゅうデータを保存する
ステップ6	オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

ステップ1 レイアウトセンターに写真データを取り込む

まず、刺しゅうデータに変換する画像（原画）を取り込みます。

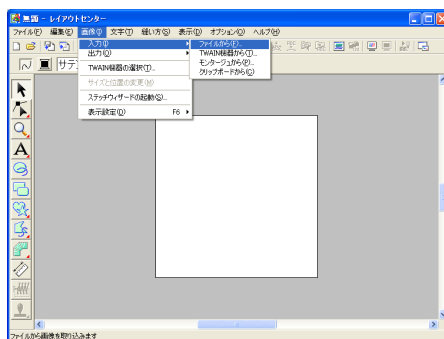
ここでは、アプリケーションに付属している少女の写真（girl-face.bmp）を使用します。

1 レイアウトセンターを起動します。



スタート をクリックし、**すべてのプログラム** → **刺しゅうPRO Ver.7** → **レイアウトセンター** を選択します。

2 画像を取り込みます。



メニューバーの**画像**→**入力**→**ファイル**からをクリックします。

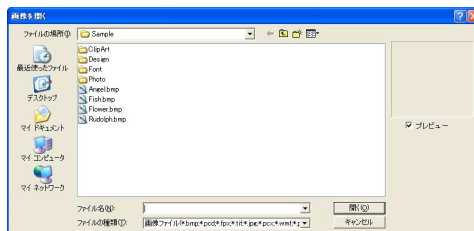
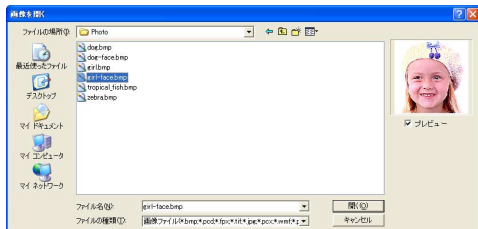
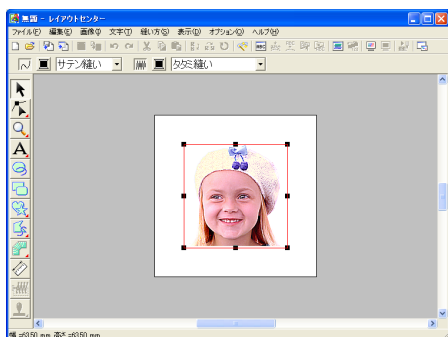


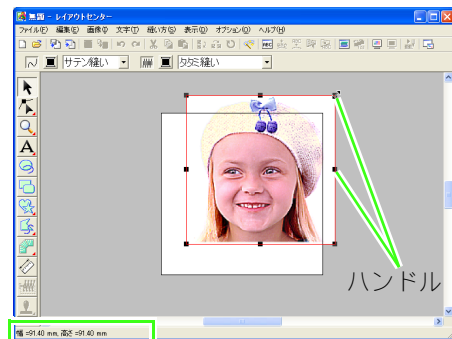
Photo フォルダをダブルクリックして開きます。



サンプルファイル **girl-face.bmp** を選択し、**開く** をクリックするか、ファイルのアイコンをダブルクリックします。



3 画像のサイズや位置を調整します

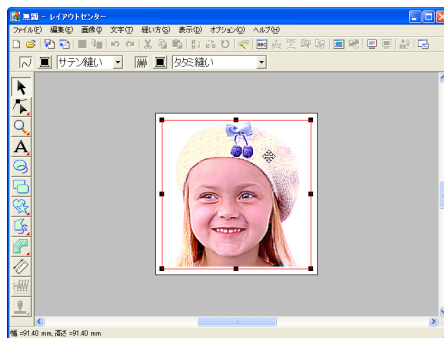


ステータスバーに、画像のサイズが表示されます。

ハンドルをドラッグして、原画のサイズを調整します。

メモ：

ハンドルが見えなくなった場合は、画像を右クリックして表示されたメニューから**画像のサイズと位置**をクリックします。

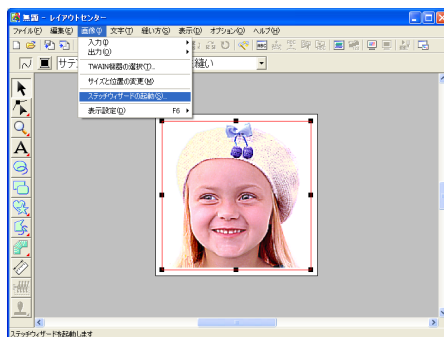


画像の上にカーソルを移動し、希望する位置までドラッグします。

ステップ2 画像を刺しゅうデータに自動変換する

次に、画像を自動的に刺しゅうデータに変換します。

1 変換方法を選択します。

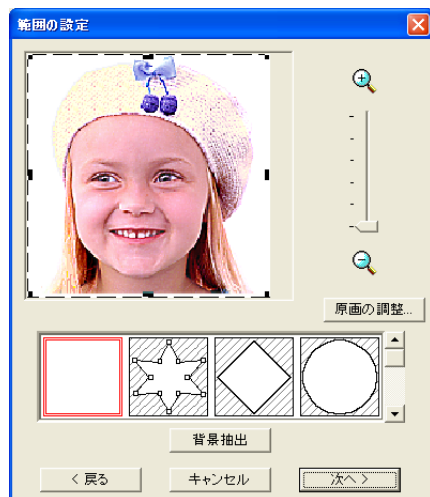


メニューバーの**画像→ステッチウィザードの起動**をクリックします。



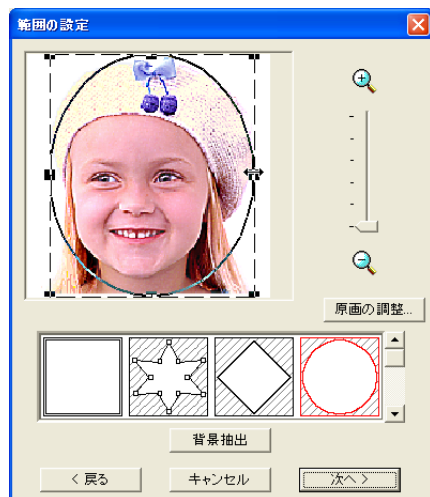
フォトステッチ 1 を選択し、**カラー** を選択してから、**次へ** をクリックします。

- 2 刺しゅうデータに変換する写真の領域（マスクの形状と位置）を選択します。

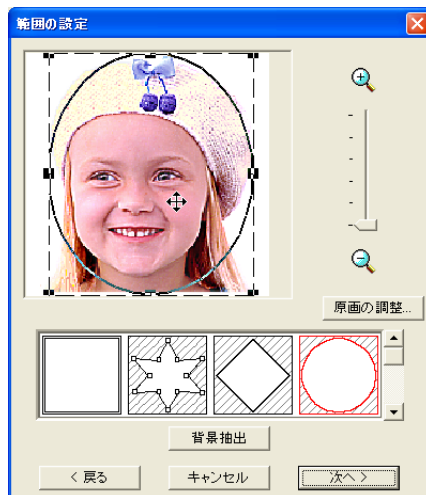


マスクの形状を選択します。

丸いマスクを選択した場合



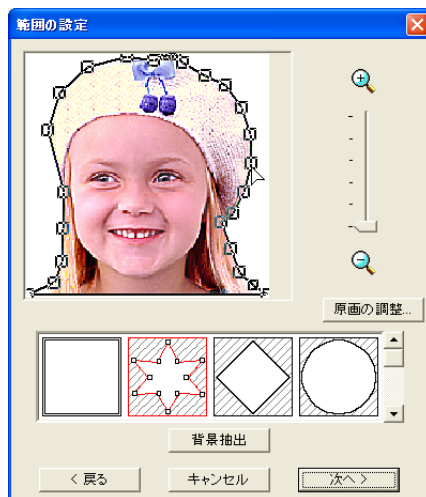
ハンドルをドラッグして、マスクのサイズを調整します。



マスクの内側にカーソルを移動し、マスクの位置を調整して、**次へ**をクリックします。

★を選択した場合

自由にマスクの形状を作成する場合は、★をクリックします。

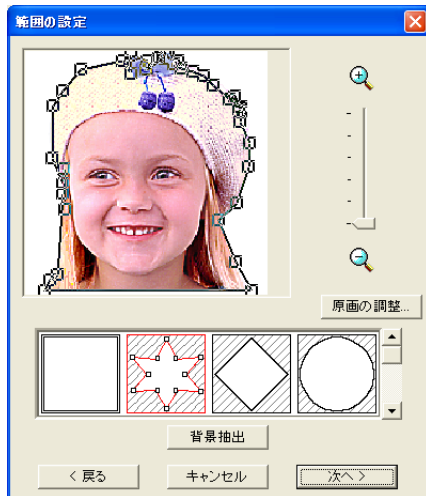


ポイントを移動、挿入、削除して、マスクの形状を調整します。

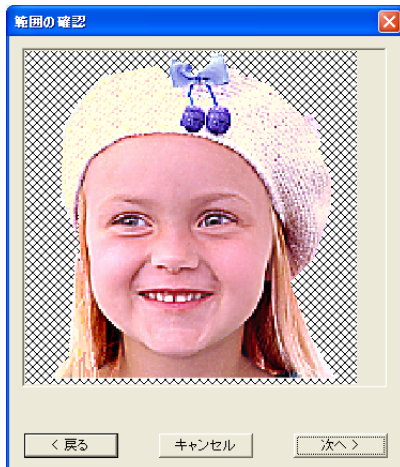
ポイントを挿入するには、マスクの輪郭線をクリックします。ポイントを削除するには、ポイントを選択して、**Delete** キーを押します。編集が終わったら、**次へ**をクリックします。

メモ：

この例 (girl-face.bmp) のように、背景が1色の場合は**背景抽出**をクリックすると、自動的に画像の輪郭が検出されます。



→ 画像が解析され、**範囲の確認**ダイアログボックスが表示されます。



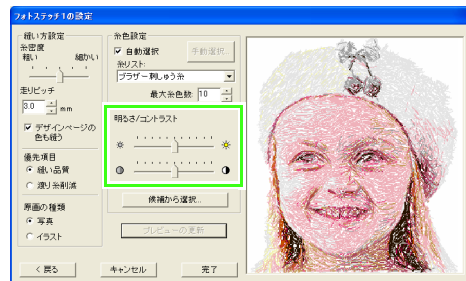
変換する領域のプレビューを確認して、**次へ**をクリックします。

メモ：

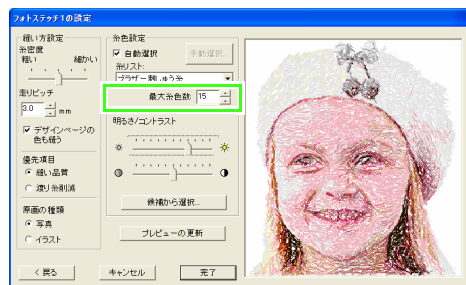
刺しゅうデータが作成されない部分は、Xマークで埋められます。

ステップ3 糸色の設定

プレビューを確認しながら、色と明るさを調整します。



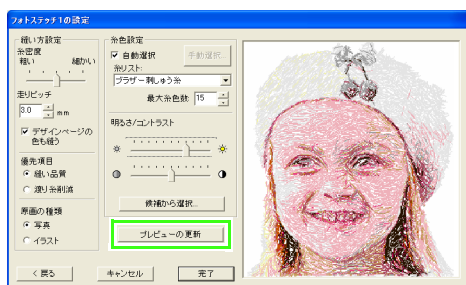
明るさ/コントラストスライダを使って、明るさとコントラストを調整します。



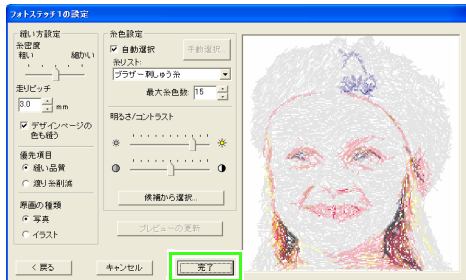
最大糸色数で使用する色数の値を設定します。

メモ：

このダイアログボックスでの設定については、P.87の「縫い方設定」を参照してください。

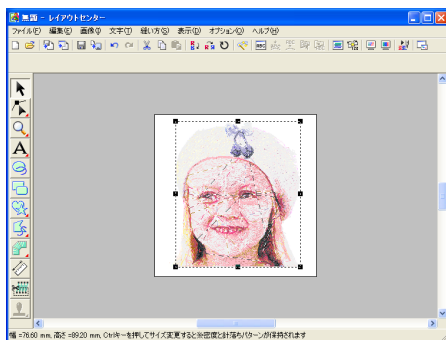


プレビューの更新をクリックします。



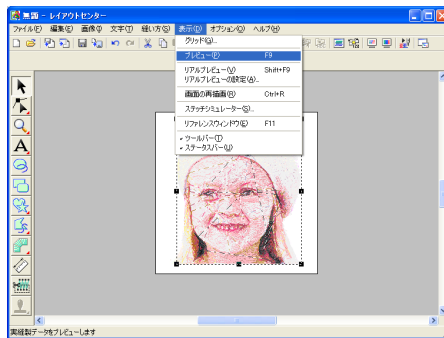
プレビューを確認して、**完了**をクリックします。

→ 変換された刺しゅうデータが、デザインページに表示されます。

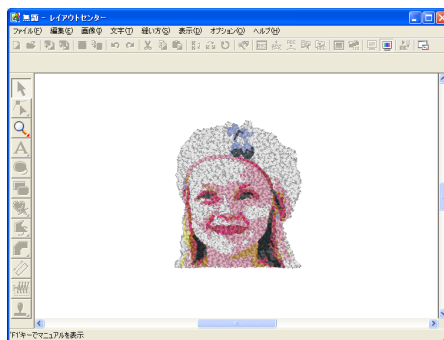


ステップ4 刺しゅうデータをプレビューする

完成した刺しゅうデータをプレビューします。



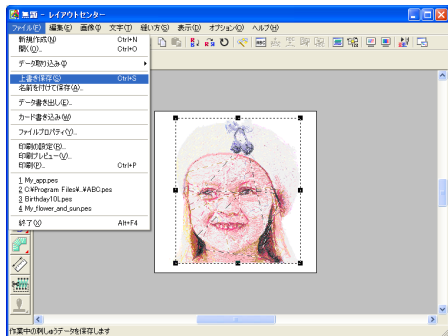
メニューバーの**表示**→**リアルプレビュー**をクリックします。



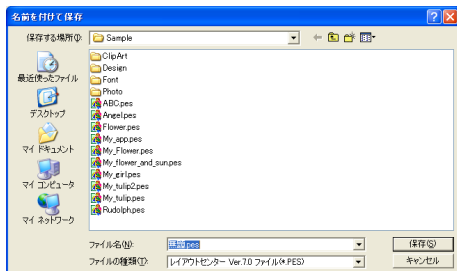
通常表示に戻すには、**表示**→**リアルプレビュー**をクリックするか、**Esc**キーを押します。

ステップ5 刺しゅうデータを保存する

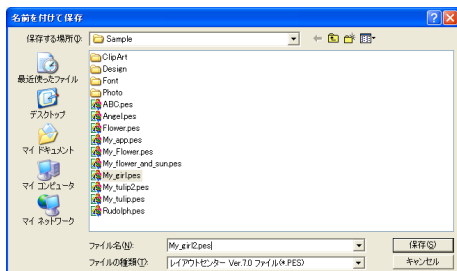
刺しゅうデータが完成したら、後で呼び出せるように保存できます。



ファイル→上書き保存をクリックします。



ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。



保存をクリックします。

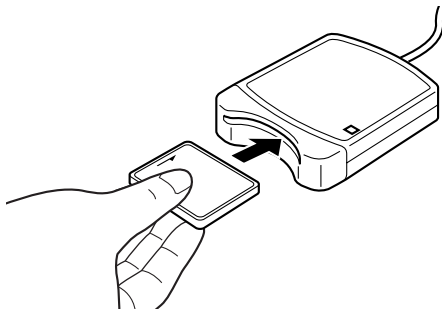
ステップ6 オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

刺しゅうデータをミシンへ転送して、はじめて実際に縫うことができます。ミシンへ転送するには、お使いのミシンで使用できるメディアを使います。ここでは、オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込んでみましょう。

メモ：

他に、ミシンで使用できるメディアとして、フロッピーディスク、コンパクトフラッシュカード、USBメモリなどのメディアが使えます。使用できるメディアは、ミシンの取扱説明書を参照してください。

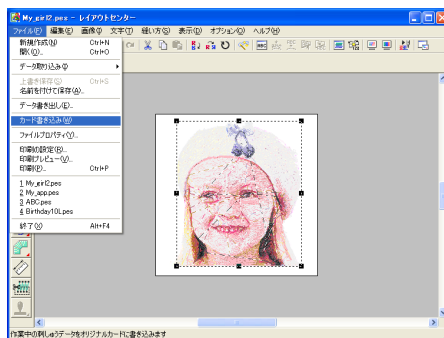
- 1 オリジナルカードをカードライターに挿入します。



注意：

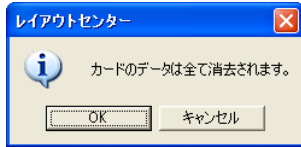
オリジナルカードを正しく挿入すると、カチッという音がします。

- 2 刺しゅうデータを転送します。



ファイル→カード書き込みをクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。

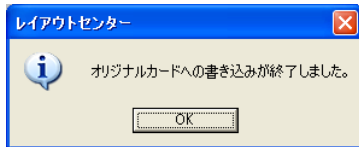


OK をクリックします。

注意：

データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他の記録媒体などに保存し（P.98の「刺しゅうカードから刺しゅうデータを取り込む」参照）、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。

→ 次のメッセージが表示されます。

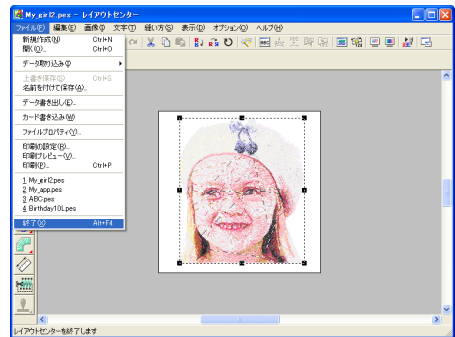


OK をクリックします。

注意：

- カードライターが正しく接続されていないため、ランプが点灯していない場合は、「カードライターが接続されていません。カードライターを正しく接続して下さい。」というエラーメッセージが表示されます。
- オリジナルカードが挿入されていない場合は「オリジナルカードが入っていません。カードライターにオリジナルカードを入れてください。」というエラーメッセージが表示されます。

3 レイアウトセンターを終了します。



メニューバーの**ファイル**→**終了**をクリックします。

オリジナルフォントをマニュアルで作成する （フォントクリエイター）

フォントクリエイターで作成、編集したオリジナルフォントをレイアウトセンターで使用することができます。これらのオリジナルフォントを使用すると、オリジナルの刺しゅうデータを作成できます。この手順は、次のような操作の流れになっています。

ステップ1	下絵を準備する
ステップ2	下絵を開く
ステップ3	フォントデータを作成する
ステップ4	他の文字のデータを作成する
ステップ5	作成したフォントを使用して刺しゅうデータを作成する

ステップ1 下絵を準備する

内蔵フォントにない書体の文字やオリジナルフォントを、マニュアルパンチングツールを使って作成するときを使う下絵を準備します。スキャナなどを使用して、下絵を画像ファイルとして用意します。

次の形式のファイルを取り込むことができます。

- Windows ビットマップ (*.bmp)、
- Exif (*.tif, *.jpg)、
- ZSoftPCX (*.pcx)、
- Windows メタファイル (*.wmf)、
- Portable Network Graphics (*.png)、
- Encapsulated PostScript (*.eps)、
- Kodak PhotoCD (*.pcd)、
- FlashPix (*.fpx)、
- JPEG2000 (*.j2k)

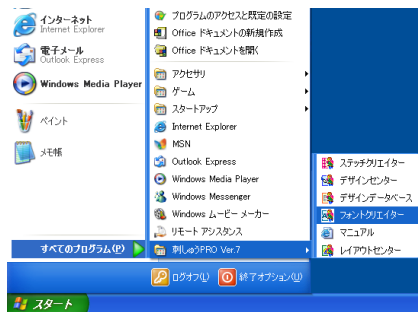
メモ：

下絵を使わずに、マニュアルパンチングツールを使う場合は、**ステップ3**に進んでください。

ステップ2 下絵を開く

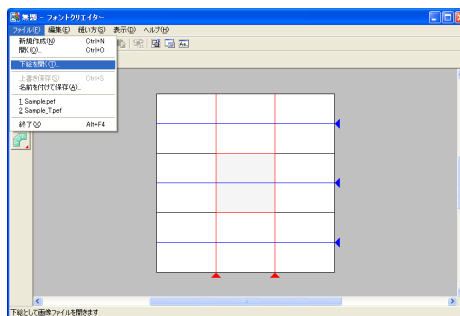
データ作成用の下絵として、画像を開いて背景に表示します。ここでは、アプリケーションに付属している下絵を使って、文字「T」のフォントデータを作成します。

① フォントクリエイターを起動します。

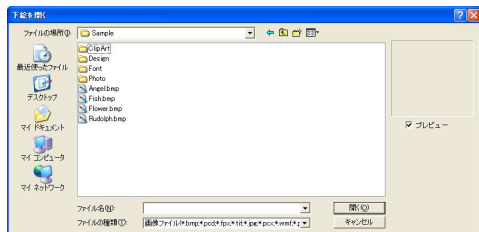


スタート をクリックし、**すべてのプログラム** → **刺しゅうPRO Ver.7** → **フォントクリエイター** を選択します。

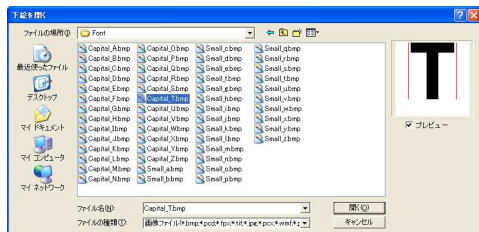
② 画像を開いて、背景に表示します。



メニューバーの**ファイル** → **下絵を開く** をクリックします。



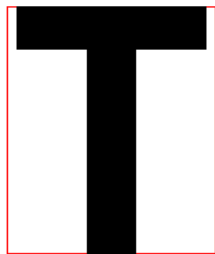
Font フォルダをダブルクリックして開きます。



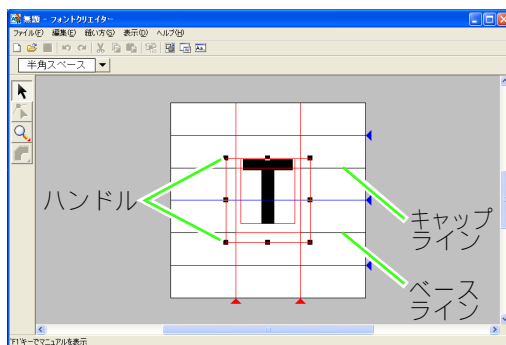
サンプルファイル **Capital_T.bmp** を選択し、**開く** をクリックするか、ファイルのアイコンをダブルクリックします。

メモ：

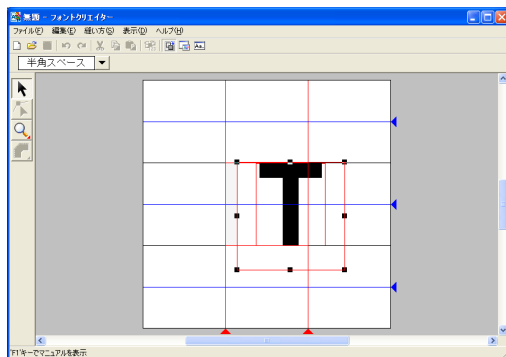
ベースライン、**キャップライン**、および**セットライン**を、サンプルの画像上に赤い線で追加してあります。これらは、下絵を簡単に配置するためのガイドラインとしてご使用ください。



3 画像のサイズや位置を調整します。



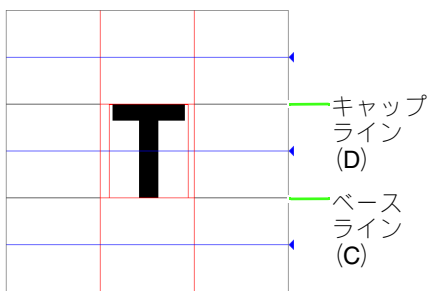
ハンドルをドラッグして、選択した画像のサイズを調整します。



文字の高さを、**ベースライン**から**キャップライン**までの高さに合せます。

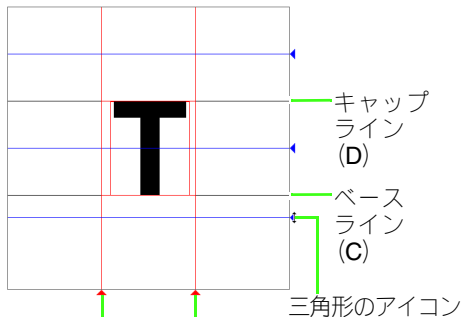
メモ：

- フォントクリエイターで作成した文字をレイアウトセンターに取り込むと、文字の幅と高さは次の範囲になります。
 - 文字の幅：**セットライン** (A) から**セットライン** (B)
 - 文字の高さ：**ベースライン** (C) から**キャップライン** (D)



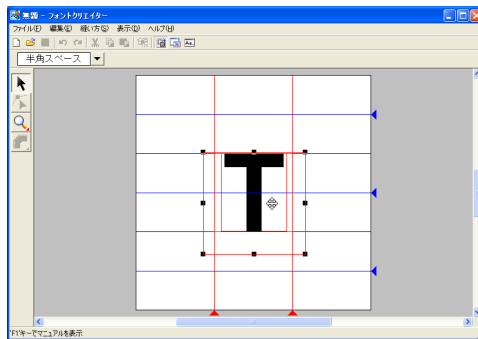
(A) セットライン (B) セットライン

- ベースライン**と**キャップライン**以外のラインは、右端または下端の▲（三角形のアイコン）をドラッグすると、位置を変更できます。




(A) セットライン (B) セットライン

- キャップライン** (D) と**ベースライン** (C) は、文字の高さの目安になります。このラインは固定されています。
- セットライン** (A と B) で示される文字の幅は、文字ごとに別個に設定できます。



選択した画像の上にカーソルを移動し、画像をドラッグして配置します。

メモ：

画像を移動するときは、カーソルの形が に変わります。

ステップ3 フォントデータを作成する

ここでは、下絵を使って、フォントデータを作成します。

① 作成する文字を選択します。

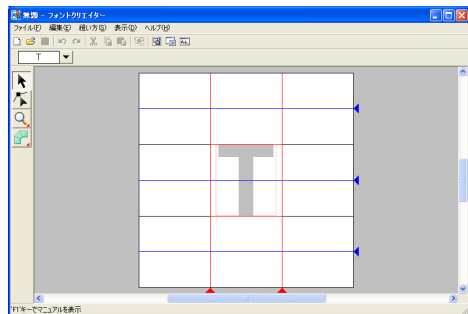


文字選択 ボタンをクリックし、作成する文字 (T) を選択します。

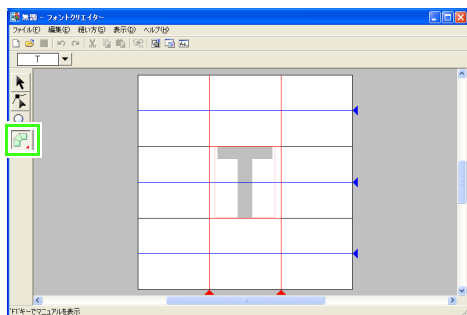
リストに表示されている文字は、作成する文字をクリックすることで選択できます。リストにない文字は、作成する文字をエディットボックスに入力します。ここでは、エディットボックスにキーボードで「T」を入力し、**Enter** キーを押してください。


メモ：

デザインページにある下絵の表示のしかたを、**表示/表示しない/薄く表示**から選択できます。ここでは、**表示**→**下絵の表示設定**をクリックして、**25%**を選択します。




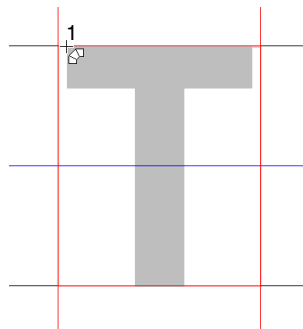
2 マニュアルパンチングツールを使用して、フォントデータを作成します。



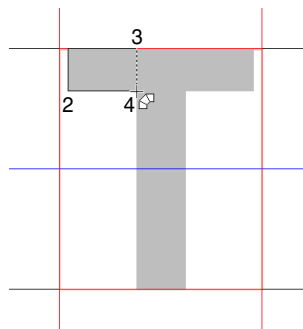
 (マニュアルパンチングツール) をクリックします。



 (直線のブロック型) をクリックするか、キーボードの **Z** キーを押します。



デザインページのポイント 1 (始点) をクリックします。



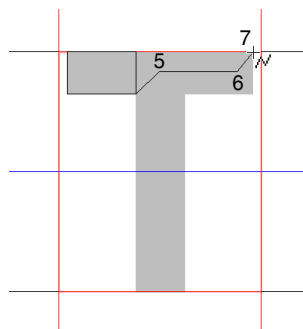
デザインページで、ポイント 2 ~ 4 をクリックします。



(マニユアルパンチングツール) をクリックします。




(走り型データボタン) をクリックするか、キーボードの **V** キーを押します。




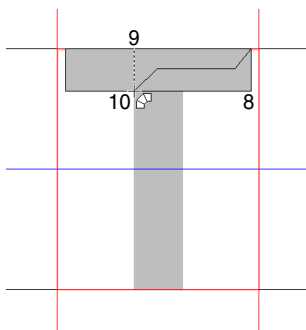
デザインページで、ポイント 5 ~ 7 を設定します。

使ってみましょう（上級編）

 (マニュアルパンチングツール) をクリックします。




 (直線のブロック型) をクリックするか、キーボードの **Z** キーを押します。




デザインページで、ポイント 8 ~ 10 を設定します。


 (マニュアルパンチングツール) をクリックします。




 (走り型データボタン) をクリックするか、キーボードの **V** キーを押します。

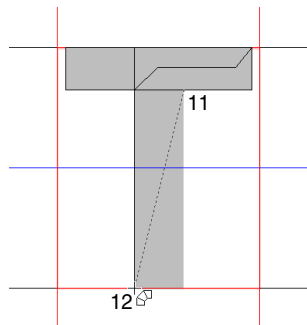
メモ：

この時点で  (走り型データボタン) をクリックすると、縫製が重なることを防止できます。

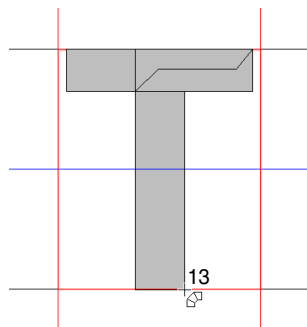
 (マニュアルパンチングツール) をクリックします。



 (直線のブロック型) をクリックするか、キーボードの **Z** キーを押します。




デザインページで、ポイント 11 ~ 12 を設定します。

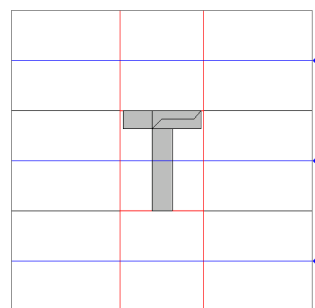


ポイント 13 (データの最終点) でダブルクリックしてデータを完成させます。

メモ：

マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。

 をクリックします。



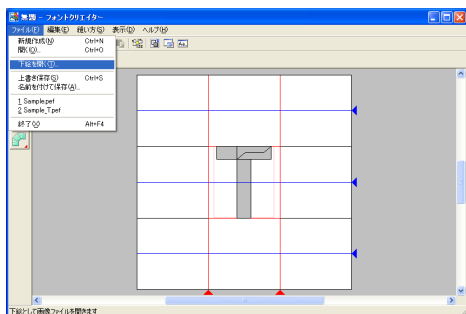
セットライン セットライン

セットラインをドラッグして、文字の幅を設定します。

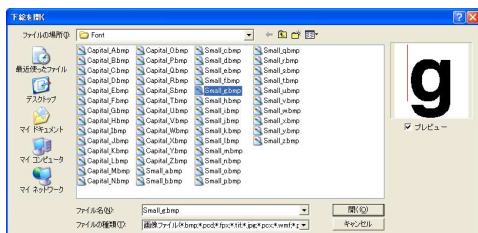
ステップ4 他の文字のデータを作成する

次は、他の文字のデータを作成します。ここでは、文字「g」のデータを作成します。

1 画像を取り込んで、背景に表示します。



ツールバーの**ファイル**→**下絵を開く**をクリックします。



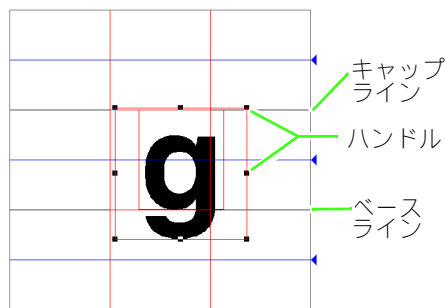
サンプルファイル **Small_g.bmp** を選択し、**開く**をクリックするか、ファイルのアイコンをダブルクリックしてファイルを開きます。

2 作成する文字を選択します。



文字の選択ボタンをクリックし、作成する文字を選択します。ここでは、「g」を選択します。エディットボックスにキーボードで「g」を入力し、**(Enter)** キーを押してください。

3 下絵のサイズや位置と文字の高さを調整します。

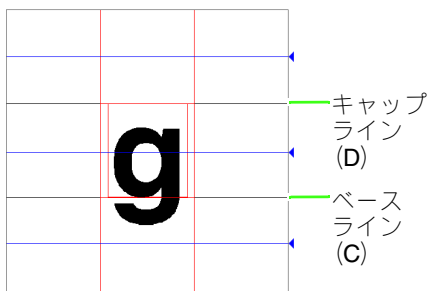


ハンドルをドラッグして、選択した画像のサイズを調整します。

文字の高さを、**ベースライン**から**キャップライン**までの高さに合わせます。

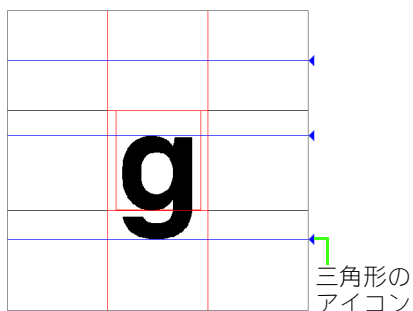
📖 メモ：

- フォントクリエイターで作成した文字をレイアウトセンターに取り込むと、文字の幅と高さは次の範囲になります。
 - 文字の幅：**セットライン** (A) から**セットライン** (B)
 - 文字の高さ：**ベースライン** (C) から**キャップライン** (D)

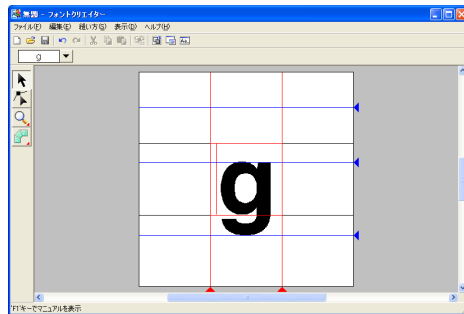


(A) セットライン (B) セットライン

- **ベースライン**と**キャップライン**以外は、右端または下端の▲（三角形のアイコン）をドラッグすると、線の位置を変更できます。




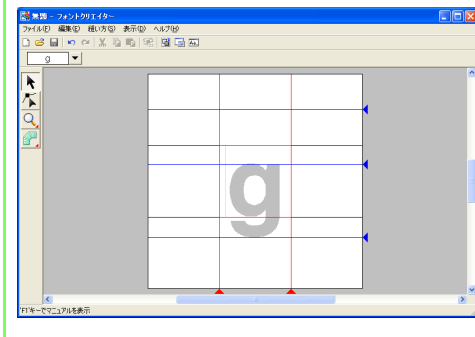
- **キャップライン** (D) と**ベースライン** (C) は、文字の高さの目安になります。これらは固定されています。
- **セットライン** (A と B) で示される文字の幅は、文字ごとに別個に設定できます。



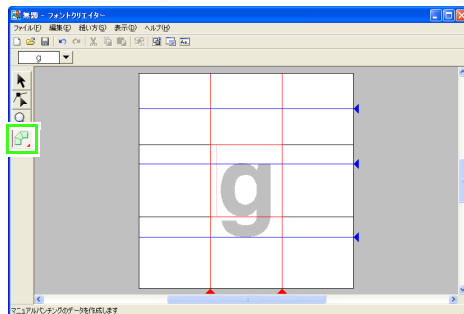
選択した画像の上にカーソルを移動し、画像をドラッグして配置します。


📖 メモ：

- 画像を移動するときは、カーソルの形が に変わります。
- デザインページにある下絵の表示のしかたを、**表示** / **表示しない** / **薄く表示** から選択できます。ここでは、**表示** → **下絵を表示** をクリックして、**25%** を選択します。




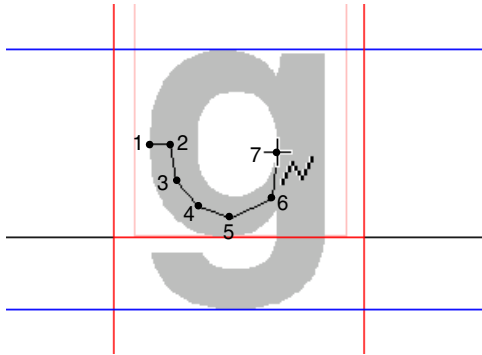
4 フォントのデータを作成します。




 (マニュアルパンチングツール) をクリックします。




 (走り型データボタン) をクリックします。

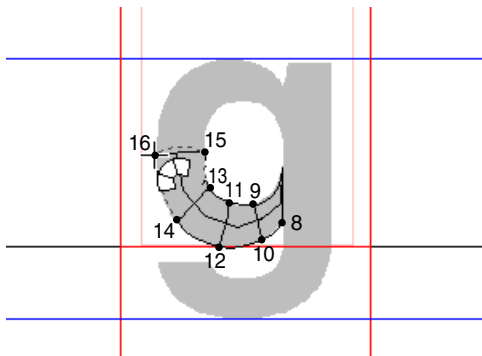


番号と矢印を参照して、デザインページにポイントを設定します。

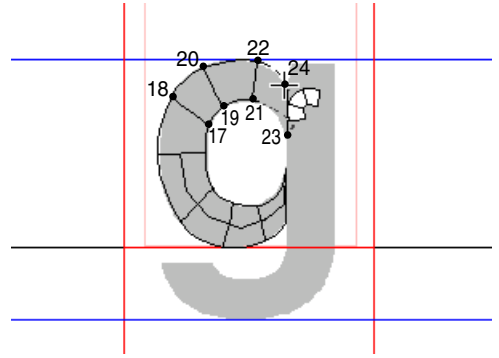
 (マニュアルパンチングツール) をクリックします。




 (曲線のブロック型) をクリックするか、キーボードの **(X)** キーを押します。




上図のように曲線を描きます。

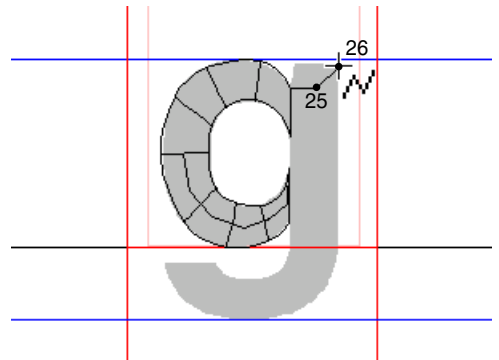


上図のように、続けて曲線を描きます。


 (マニュアルパンチングツール) をクリックします。




 (走り型データボタン) をクリックするか、キーボードの **(V)** キーを押します。

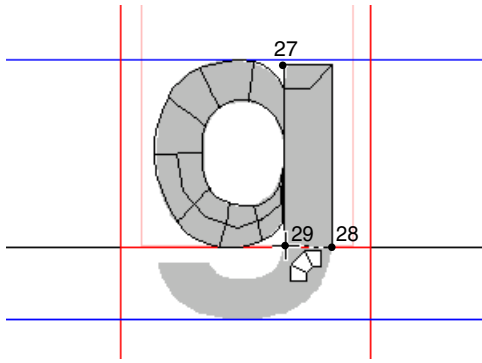


上図のように直線を描きます。


 (マニュアルパンチングツール) をクリックします。




 (直線のブロック型) をクリックするか、キーボードの **(Z)** キーを押します。

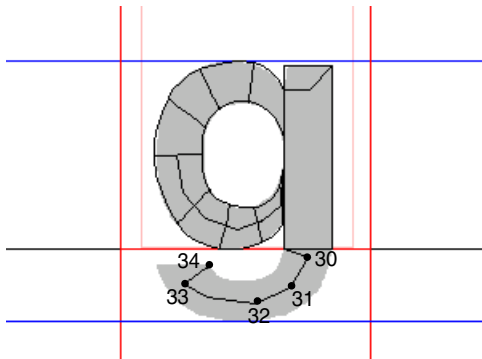


上図のように曲線を描きます。


 (マニュアルパンチングツール) をクリックします。




 (走り型データボタン) をクリックするか、キーボードの **V** キーを押します。

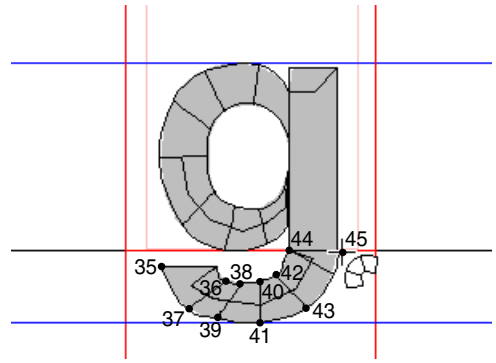


上図のように曲線を描きます。

 (マニュアルパンチングツール) をクリックします。



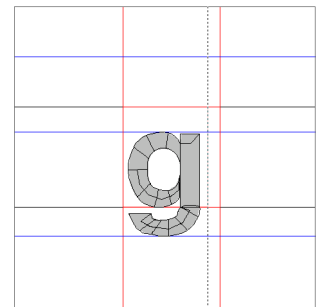
 (曲線のブロック型) をクリックするか、キーボードの **X** キーを押します。



上図のように、デザインページをクリックして「g」を描きます。終点でダブルクリックします。

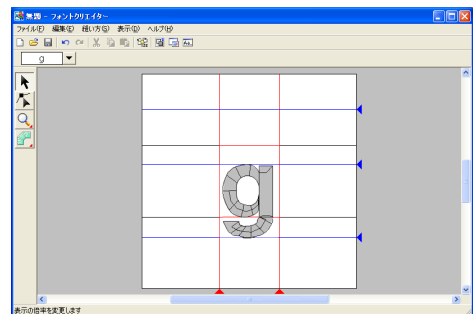
メモ：

ブロックの中心に沿って走り型パンチングツールで線を描くと、よりきれいな仕上がりになります。

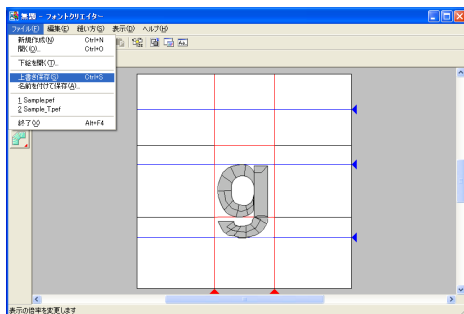


セットライン セットライン

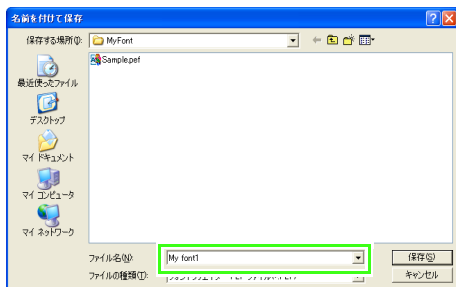
セットラインをドラッグして、文字の幅を調整します。



5 フォントデータを保存します。



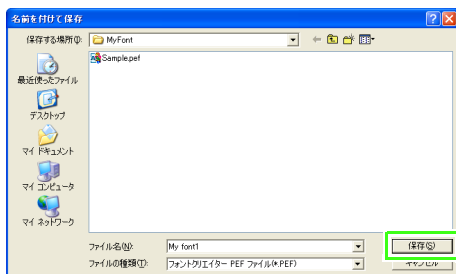
ファイル→上書き保存をクリックします。



ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。ここでは、「My font1」という名前を入力します。

注意：

- 作成したフォントファイルは、次の場所に保存してください。別のフォルダに保存すると、レイアウトセンターで使用できません。
(刺しゅう PRO がインストールされているドライブ) ¥Program Files¥Brother¥刺しゅう PRO Ver.7¥MyFont
- フォントクリエイターで新しいフォントファイルを保存したときにレイアウトセンターを起動していると、そのフォントファイルはレイアウトセンターの書体セレクトには表示されません。このような場合には、いったんレイアウトセンターを終了して再起動してください。

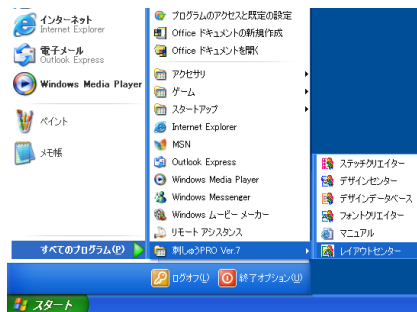


保存をクリックします。

ステップ5 作成したフォントを使用して刺しゅうデータを作成する

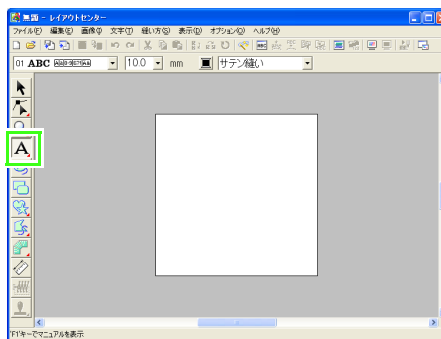
作成したフォントデータを読み出して、レイアウトセンターで使用できます。

1 レイアウトセンターを起動します。

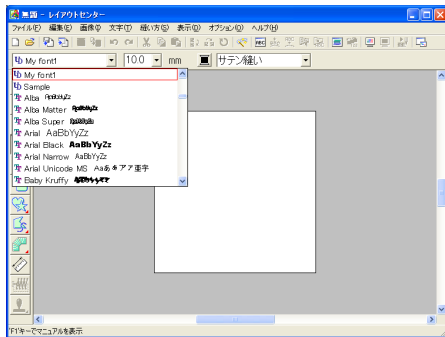


スタートをクリックし、すべてのプログラム→刺しゅうPRO Ver.7→レイアウトセンターを選択します。

2 作成したフォントを使用して、文字を入力します。

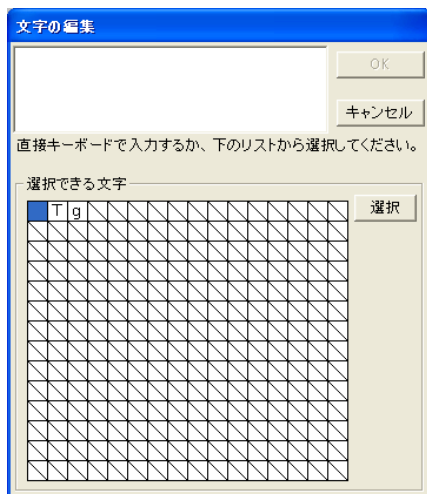


A をクリックし、次に A をクリックします。



フォントセレクタをクリックし、「My font1」を選択します。

デザインページをクリックします。

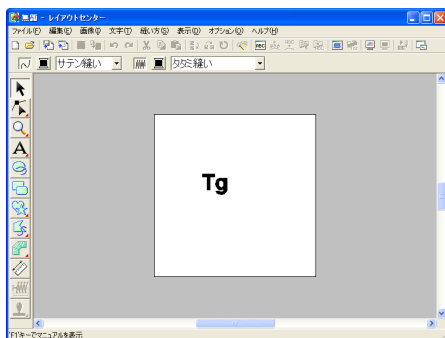


文字を入力し、**OK** をクリックします。

→ デザインページに文字が表示されます。

メモ：

選択できる文字から文字をクリックして**選択**をクリックするか、文字をダブルクリックして入力します。



メモ：

オリジナルフォントは内蔵フォントと同様に
入力した文字を編集することができます。

パターンの作成（ステッチクリエイター）

ステッチクリエイターでプログラムタタミ縫いとモチーフ縫いのパターンの作成、編集を行い、それらをレイアウトセンターやデザインセンターで使うことができます。これらのパターンを使用すると、より装飾的な刺しゅうデータを作成できます。

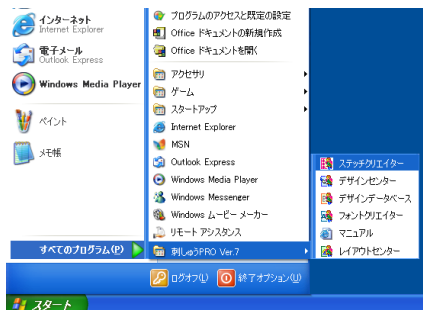
この手順は、次のような操作の流れになっています。

ステップ1	プログラムタタミのパターンファイルを開く
ステップ2	[例1] 線を描いてパターンを編集する
	[例2] 縫い沈め/浮き上がり効果を設定する（プログラムタタミ/スタンプモード）
	[例3] 線を編集してパターンを作成する（モチーフモード）
ステップ3	編集したパターンを保存する

ステップ1 プログラムタタミのパターンファイルを開く

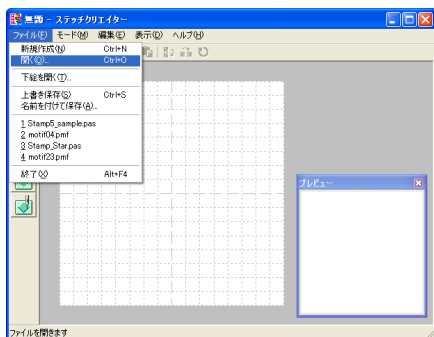
まず、編集するプログラムタタミのパターンを開きます。ここでは、パターン wave1.pas を使用します。

1 ステッチクリエイターを起動します。

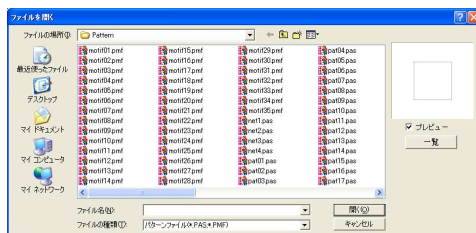


スタート をクリックし、すべてのプログラム → 刺しゅうPRO Ver.7 → ステッチクリエイター を選択します。

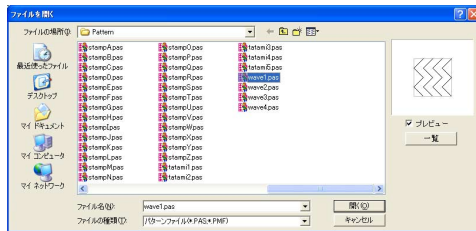
2 プログラムタタミのパターンを開きます。



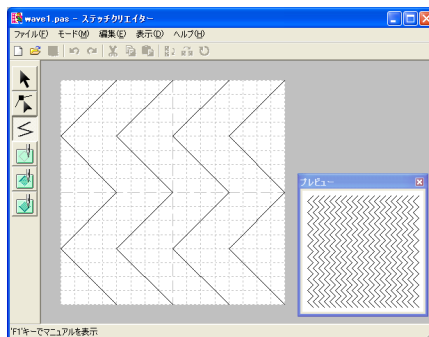
ファイル → 開く をクリックします。



Pattern フォルダのパターンファイル wave1.pas を選択します。



開く をクリックするか、ファイルのアイコンをダブルクリックします。



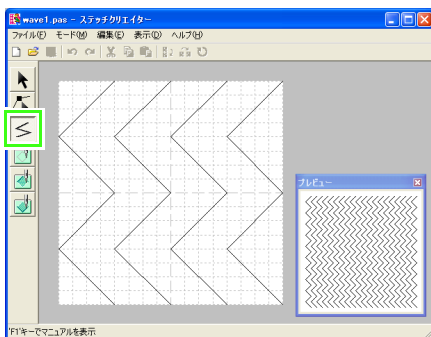
ステップ2 [例 1] 線を描いて パターンを編集する


ツールボックスの直線描画ツールを使用して、表示された模様の中に線を引いてみましょう。


📖 メモ：

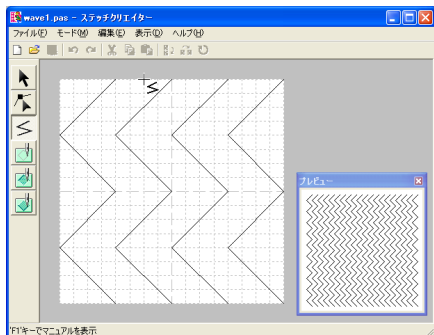
ここでは、グリッド設定は**普通**で作業します。グリッド設定は、どれぐらいの細かさで描きたいかによって選択します。より細かいパターンの場合は**狭い**を選択し、より単純なパターンの場合は**広い**を選択します。グリッドの設定については、P.273の「グリッドの設定を変更する」を参照してください。

1 直線を描きます。



 をクリックします。

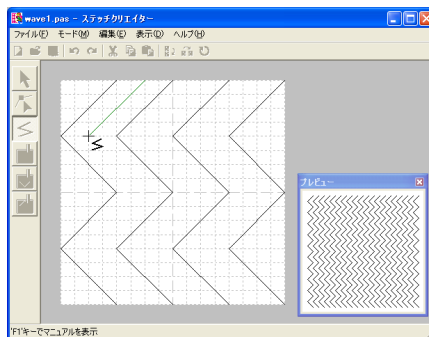
→ カーソルの形が  に変わります。



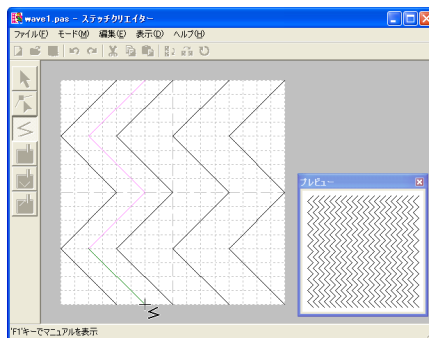
左から1本目の波線の始点（線の最上部）から右方向に2つ目のグリッドをクリックします。

📖 メモ：

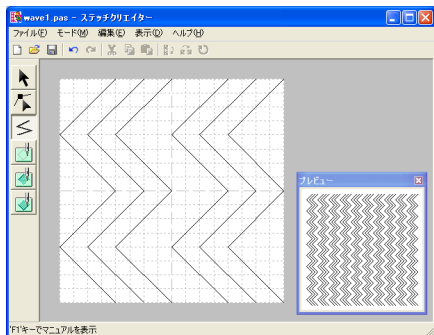
グリッドが表示されている場合は、必ずグリッド線の交点にポイントが作成されます。水平線や垂直線はグリッド線と重なって引かれます。また、斜線はグリッドの交点を結んだ直線になります。



左から1本目の波線と並行にカーソルを移動し、角でクリックします。



前述の操作を繰り返し、波線の終点（線の最下部）に到達したらダブルクリックします。

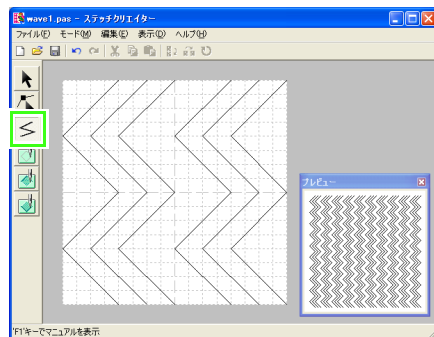



前述の操作を繰り返し、右側から1本目と2番目の波線の間には波線を追加します。

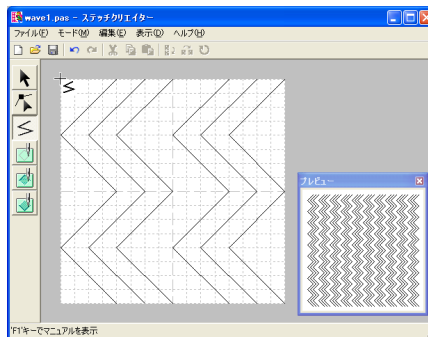
ステップ2 [例2] 縫い沈め/浮き上がり効果を設定する (プログラムタタミ/スタンプモード)

縫い沈め / 浮き上がり効果のあるパターンを作成します。プログラムタタミ / スタンプパターンの面部に、凹、凸の設定を加えることで、刺しゅうデータに縫い沈め / 浮き上がり効果を与えます。この設定には、線で囲まれた面が必要です。ここでは、線によって囲まれた面がないため、線を閉じ面部を作ります。

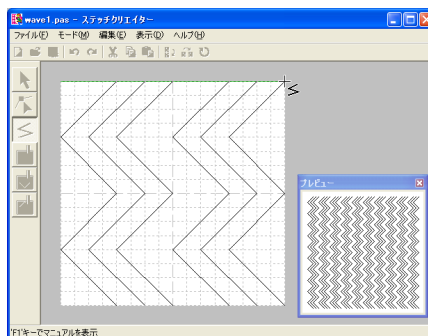
① デザインページの周りに線を描きます。



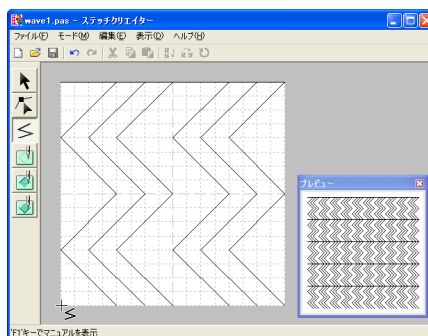
 をクリックします。



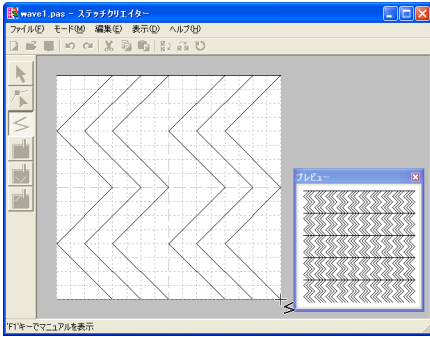
デザインページの左上隅をクリックします。



デザインページの上端に沿ってカーソルを移動し、右上隅でダブルクリックして、デザインページの上端に沿って線を描きます。

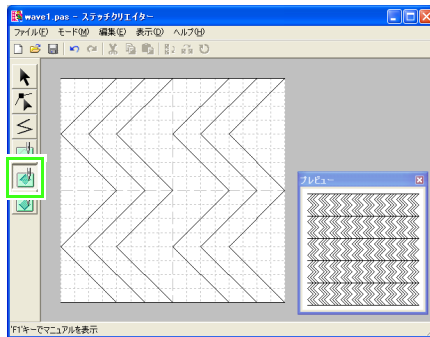



デザインページの左下隅をクリックします。

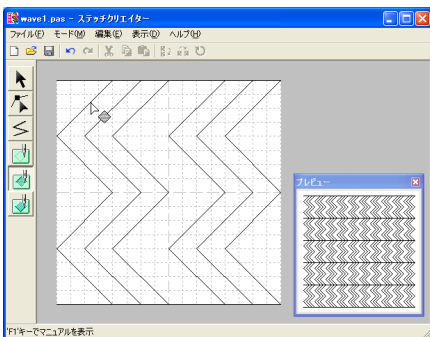


デザインページの下端に沿ってカーソルを移動し、右下隅でダブルクリックして、デザインページの下端に沿って線を描きます。

2 縫い沈め / 浮き上がり効果を設定します。

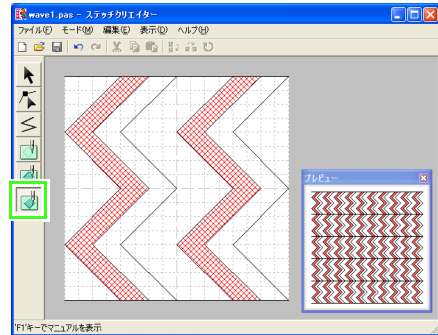
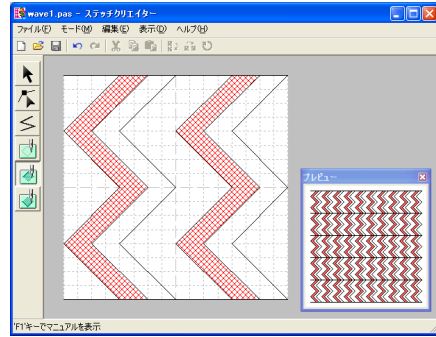



 **面設定 (凹)** をクリックします。

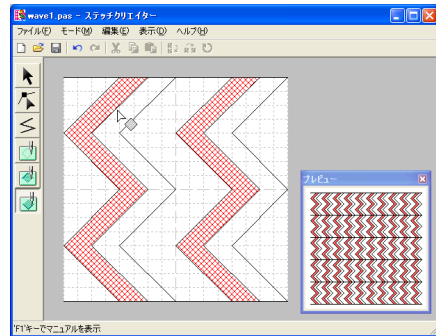


左から 1 つ目と 4 つ目の波線の面をクリックします。

→ 設定された面は赤色で表示され、縫い沈め効果を出すために短いステッチで縫われます。

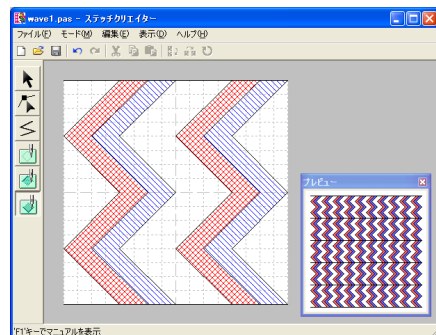


 **面設定 (凸)** をクリックします。



左から 2 つ目と 5 つ目の波線の面をクリックします。

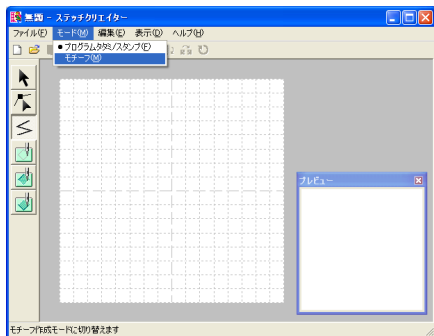
→ 設定された面は青色で表示され、浮き上がり効果を出すためにサテン縫い（針落ちしない面縫い）で縫われます。



ステップ2 [例3] 線を編集してパターンを作成する（モチーフモード）

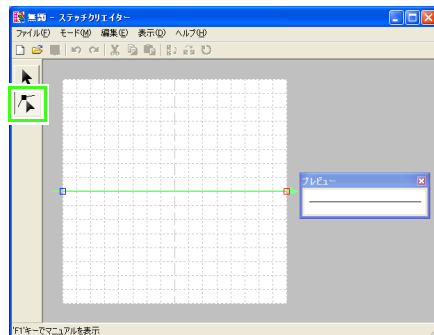
モチーフモードでは、1本の線の形を変えて、オリジナルのパターンを作成します。作成したパターンは、レイアウトセンターでは線と面の縫い方に、デザインセンターでは面の縫い方に設定できます。


1 モチーフモードに切り替えます。

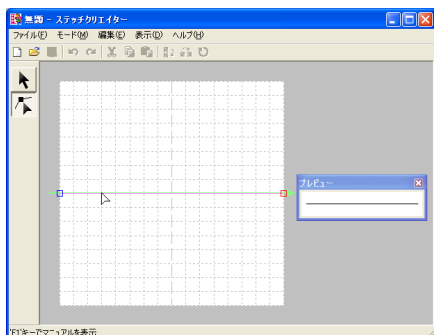


モード→モチーフをクリックします。

2 パターンを作成します。

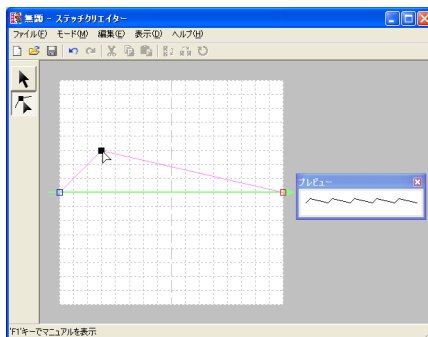
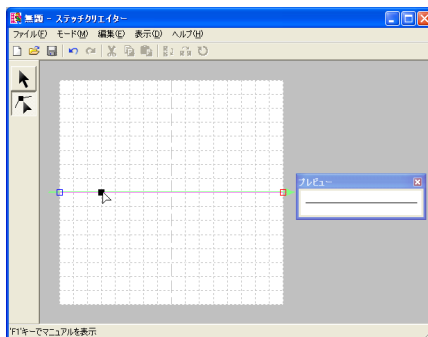


 をクリックします。



始点（青い四角）と終点（赤い四角）の間の編集したいポイントをクリックします。

→ ポイントが黒い四角で表示されます。



ポイントを新しい位置に移動します。ポイントを移動すると、一緒にピンク色の線が移動します。

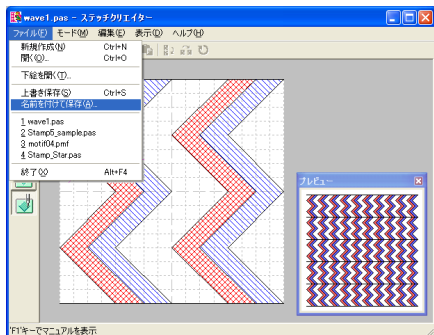
メモ：

- **(Shift)** キーを押しながらドラッグすると、ポイントは水平方向または垂直方向に移動します。
- 矢印キーを押すと、選択したポイントを矢印キーの方向に1グリッドずつ移動できます。グリッドが表示されていない場合、パターンはグリッドの最小間隔より小さい間隔で矢印キーの方向に移動します。
- **(Delete)** キーを押すと、選択されたポイントが削除されます。

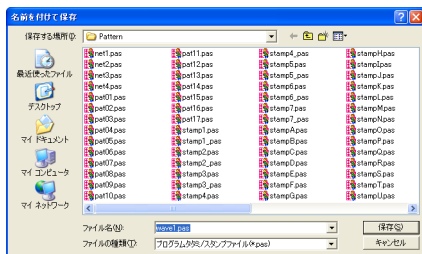
ステップ3 編集したパターンを保存する

編集したプログラムタタミ/スタンプパターンは、.pas ファイルとして保存されます。レイアウトセンターやデザインセンターで、面に設定するプログラムタタミ縫いとして使用可能になります。（モチーフモードでは、.pmf ファイルとして保存されます。）この例では、ファイルは .pas ファイルとして保存されます。

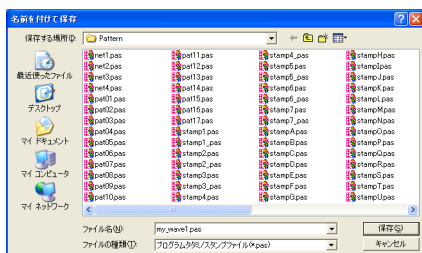
1 作成したパターンを保存します。



ファイル→名前を付けて保存をクリックします。

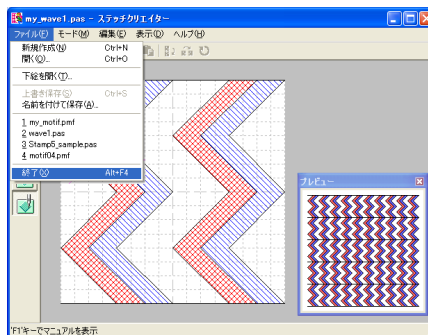


ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。



保存をクリックします。

2 ステッチクリエイターを終了します。



メニューバーのファイル→終了をクリックします。

分割模様の刺しゅうデータを作成する

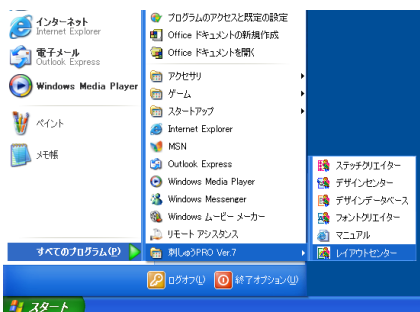
レイアウトセンターでは、刺しゅう枠より大きいサイズの刺しゅうデータを作成できます。この手順は、次のような操作の流れになっています。

ステップ1	レイアウトセンターでデザインページのサイズを設定する
ステップ2	刺しゅうデータを作成する
ステップ3	縫い順を確認する
ステップ4	刺しゅうデータを保存する
ステップ5	オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

ステップ1 レイアウトセンターでデザインページのサイズを設定する

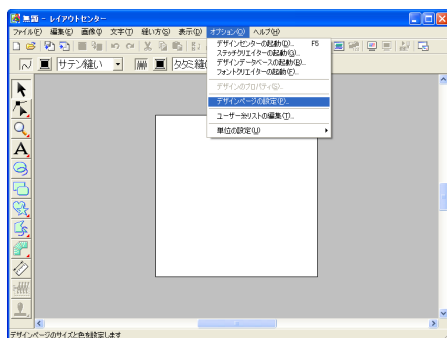
まず、デザインページのサイズを、刺しゅうデータのサイズに合わせて設定します。

1 レイアウトセンターを起動します。

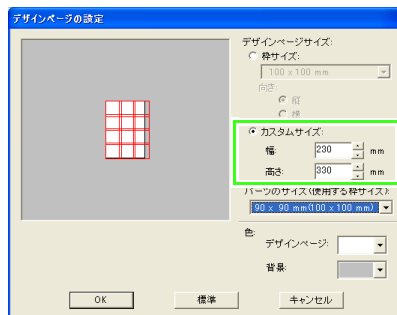


スタート をクリックし、**すべてのプログラム** → **刺しゅうPRO Ver.7** → **レイアウトセンター** を選択します。

2 デザインページのサイズを設定します。

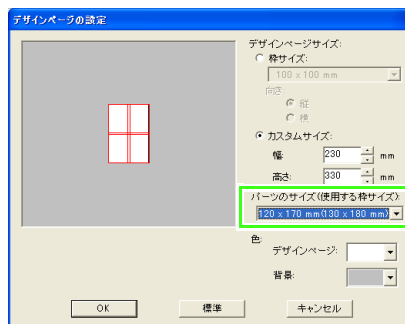


メニューバーの**オプション** → **デザインページの設定** をクリックします。



カスタムサイズを設定するには、**カスタムサイズ** を選択し、デザインページの**幅**と**高さ**を選択します。

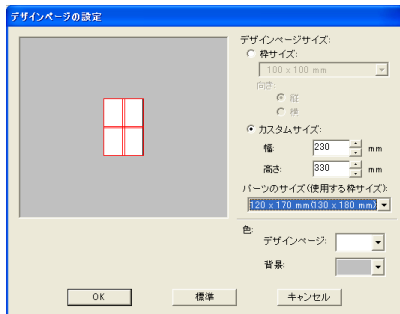
幅と**高さ**に設定できる範囲は、100mm～1000mmです。この設定によって、デザインページの幅と高さを設定します。ここでは、幅を230mm、高さを330mmに設定します。



パーツのサイズ(使用する枠サイズ) セレクタをクリックし、枠パーツ(使用する刺しゅう枠)のサイズを選択します。ここでは、**120×170mm**を選択します。

メモ：

- パーツのサイズ（使用する枠サイズ）の設定では、パーツの幅と高さは実際の枠サイズより10mm小さくなっています。これは、パーツをきれいにつなぎ合わせるために、パーツ間に重なる部分を作るためです。10mmはこの重なる部分の大きさです。
- **パーツのサイズ（使用する枠サイズ）**では、縫製時に使用する枠サイズを選択します。

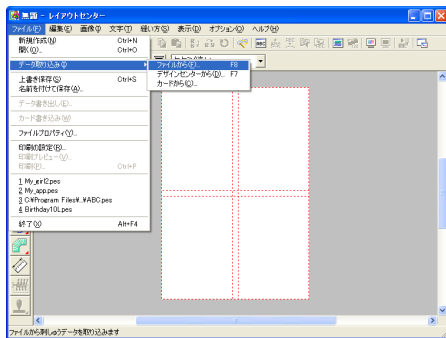


OK をクリックします。

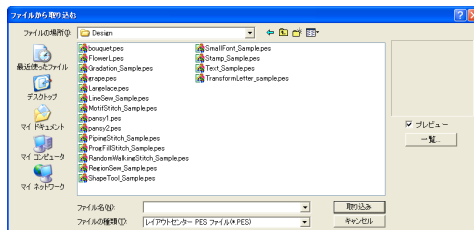
ステップ2 刺しゅうデータを作成する

ここでは、アプリケーションに付属しているレース模様の刺しゅうデータを使って説明します。

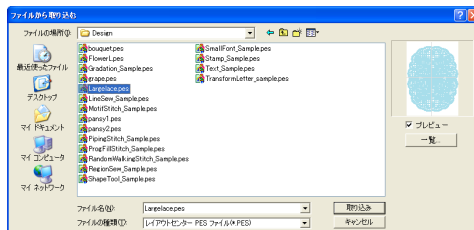
① 刺しゅうデータを取り込みます。



メニューバーの**ファイル**→**データ取り込み**をクリックし、**ファイルから**をクリックします。



Sample#Design フォルダの刺しゅうデータファイル **Largelace.pes** を選択します。



取り込みをクリックして、刺しゅうデータファイルを取り込みます。

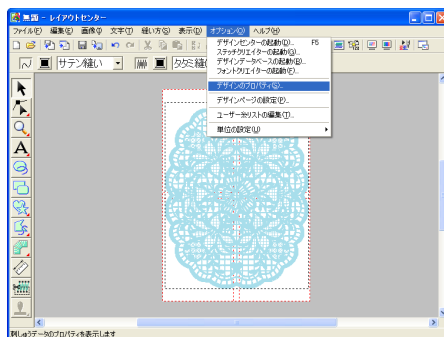
ステップ3 縫い順を確認する

刺しゅうデータを縫う前に、枠パーツがどのように縫われていくか縫い順を確認し、布のどの部分に刺しゅう枠をセットするかを決めます。枠パーツは、左から右、上から下の順で縫われます。

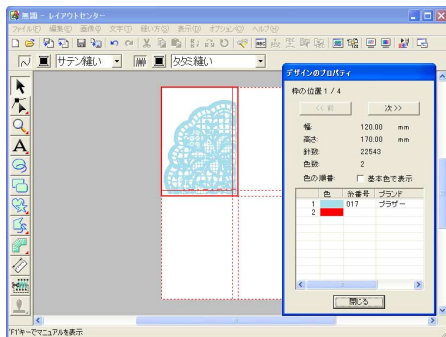
① 刺しゅうデータを確認します。

メモ：

刺しゅうデータが選択されていると、縫い順を確認できません。縫い順を確認するときは、刺しゅうデータの選択を解除してください。



メニューバーの**オプション**→**デザインのプロパティ**をクリックします。



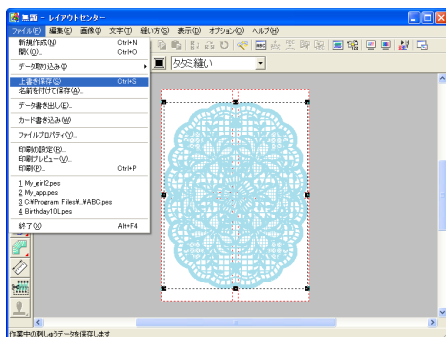
他の枠パーツの情報を表示するには、**次と前**をクリックします。次または前の縫い順の枠パーツの情報に切り替わります。確認したら、**閉じる**をクリックします。

注意：

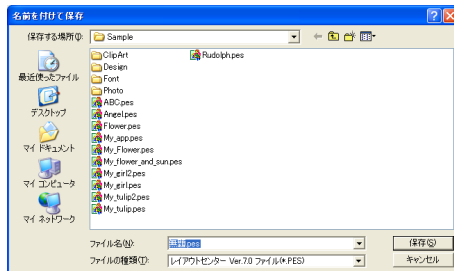
カスタムサイズのデザインページで作成した刺しゅうデータは、保存またはオリジナルカードに書き込む前に、自動的に走り縫いが追加されます。縫製時に、この走り縫いの線を目安にして、枠パーツの位置合わせをすることができます。この縫い目は、**空白（未定義）**色として表示され、編集することはできません。（詳しくは、P.193の「縫製する」を参照してください。）

ステップ4 刺しゅうデータを保存する

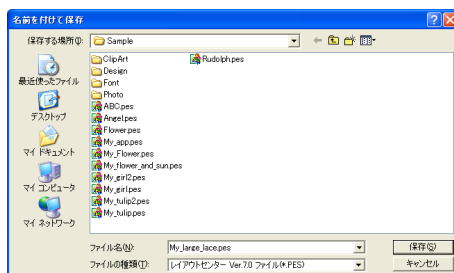
刺しゅうデータが完成したら、後で呼び出せるように保存できます。



ファイル→**上書き保存**をクリックします。



ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。



保存をクリックします。

注意：

デザインページからはみ出た刺しゅうデータや、針数や色数がデザインページの制限を越えた刺しゅうデータがある場合は、保存するかどうかを尋ねられます。データがデザインページからはみ出していたり、針数や色数が制限をこえている場合、ミシンで刺しゅうすることができないデータは作成されません。

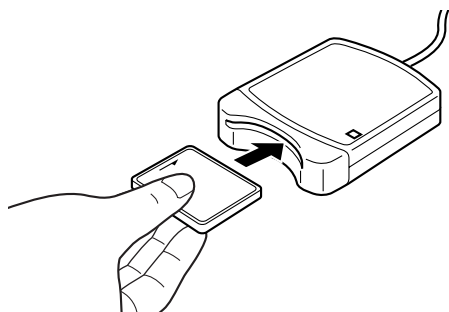
ステップ5 オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込む

刺しゅうデータをミシンへ転送して、はじめて実際に縫うことができます。ミシンへ転送するには、お使いのミシンで使用できるメディアを使います。ここでは、オリジナルカードへ刺しゅうデータを書き込んでみましょう。

メモ：

他に、ミシンで使用できるメディアとして、フロッピーディスク、コンパクトフラッシュカード、USBメモリなどのメディアが使えます。使用できるメディアは、ミシンの取扱説明書を参照してください。

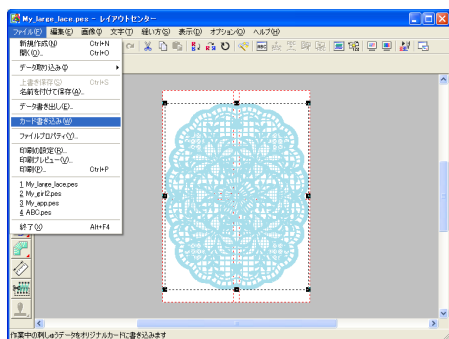
1 オリジナルカードをカードライターに挿入します。



注意：

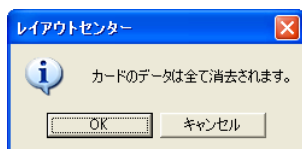
オリジナルカードを正しく挿入すると、カチッという音がします。

2 刺しゅうデータを転送します。



ファイル→カード書き込みをクリックします。

→ 次のメッセージが表示されます。



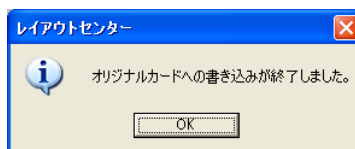
OK をクリックします。



注意：

データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他の記録媒体などに保存し（P.98の「刺しゅうカードから刺しゅうデータを取り込む」参照）、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。

→ 次のメッセージが表示されます。



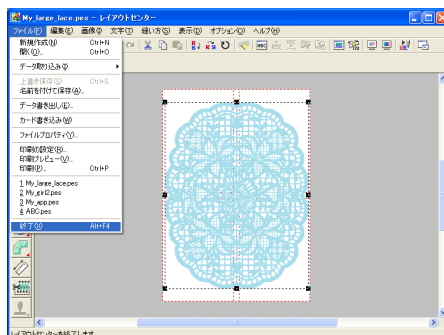
OK をクリックします。



注意：

- カードライターが正しく接続されていないため、ランプが点灯していない場合は、「カードライターが接続されていません。カードライターを正しく接続して下さい。」というエラーメッセージが表示されます。
- オリジナルカードが挿入されていない場合は「オリジナルカードが入っていません。カードライターにオリジナルカードを入れてください。」というエラーメッセージが表示されます。





3 レイアウトセンターを終了します。



メニューバーの**ファイル→終了**をクリックします。

縫い方の種類

各縫い方の設定は、初期設定では標準値が設定されていますが、設定を変更して独自のステッチを作成できます。

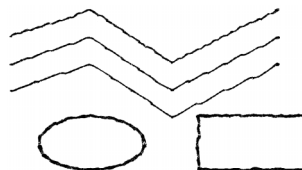
-  詳しくは、P.154 の「線の縫い方」を参照してください。(レイアウトセンター)
-  詳しくは、P.219 の「線の縫い方」を参照してください。(デザインセンター)
-  詳しくは、P.156 の「面の縫い方」を参照してください。(レイアウトセンター)
-  詳しくは、P.220 の「面の縫い方」を参照してください。(デザインセンター)

■ 線の縫い方の種類

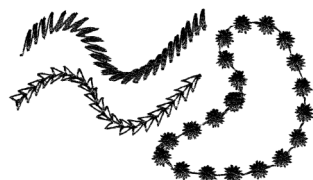
サテン縫い



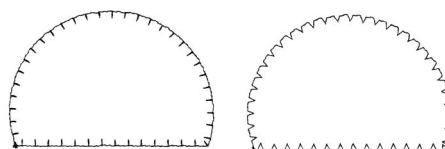
走り縫い・3重縫い



モチーフ縫い

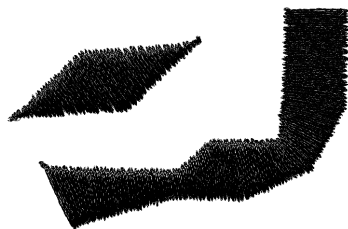


EV ステッチ

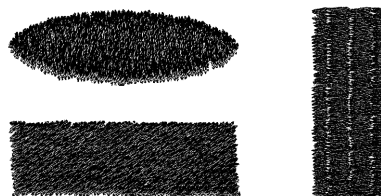


■ 面の縫い方の種類

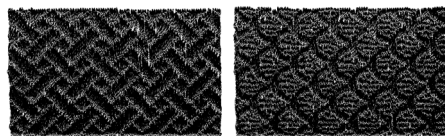
サテン縫い



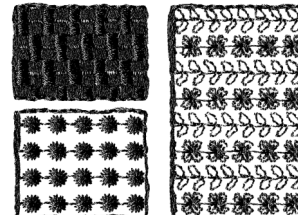
タタミ縫い



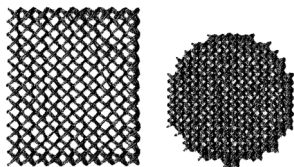
プログラムタタミ縫い



モチーフ縫い



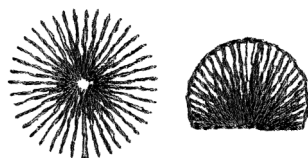
クロスステッチ



同心円縫い



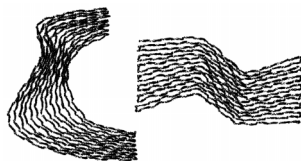
放射縫い



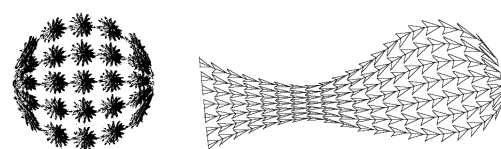
渦巻き縫い



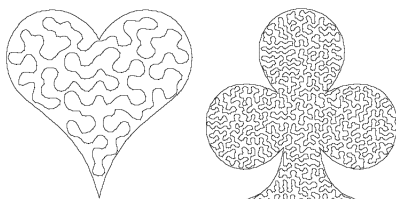
パイピング縫い



パイピング縫い (モチーフ設定)



スティップリング



📖 メモ:

プログラムタタミ縫いとモチーフ縫いは、選択する縫い方によって模様が変わります。

- 👉 詳しくは、P.159の「プログラムタタミ縫い」を参照してください。(レイアウトセンター)
- 👉 詳しくは、P.222の「プログラムタタミ縫い」を参照してください。(デザインセンター)
- 👉 詳しくは、「線の縫い方」のP.155の「モチーフ縫い」を参照してください。(レイアウトセンター)
- 👉 詳しくは、「面の縫い方」のP.161の「モチーフ縫い」を参照してください。(レイアウトセンター)
- 👉 詳しくは、「面の縫い方」のP.224の「モチーフ縫い」を参照してください。(デザインセンター)

刺しゅうデータの拡大・縮小について

取り込んだ刺しゅうデータ（ステッチデータ）をレイアウトセンターで拡大・縮小する方法として、データをそのまま拡大・縮小する方法や、データを STB 機能（Stitch to block 機能）（P.116 参照）でマニュアルパンチングデータに変換してから拡大・縮小する方法があります。

通常、そのまま拡大・縮小すると、縫製される針数は変わらず、縫い目が粗くまたは細くなるので、データのサイズを大きく変えると、刺しゅうの品質が変わってしまいます。ただし、**Ctrl** キーを押しながら拡大・縮小すると、糸密度や針落ちパターンが自動的に新しいサイズに合わせて変更されるので、元の刺しゅう品質を維持することができます。

STB 機能（Stitch to Block 機能）により変換されたマニュアルパンチングデータは、拡大・縮小しても、元の刺しゅう品質を維持することができます。また、縫い方や形状を編集することもできます。データを少しだけ拡大・縮小する場合は、STB 機能を操作する必要はありません。

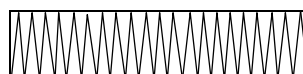
この「刺しゅう PRO」では、オリジナルの刺しゅうデータが作成できるように、様々な縫い方（糸密度、縫いピッチ等）がサポートされています。しかし、最終的な仕上がりは、ご使用のミシンの性能や実際の縫製条件（布、糸など）によって異なる場合がありますので、実際にご使用になるミシン、縫う条件で、必ず試し縫いを行ってください。試し縫いには、最終的に使用するものと同じ布、針、ミシン刺しゅう糸を使用してください。

縫い方向

縫い縮みを抑えるためには、縫う方向を、長い辺に直角になるように設定します。



縫い縮みが生じやすい



縫い縮みが生じにくい

縫い順


レイアウトセンターやデザインセンターで複数の刺しゅうデータを組み合わせた刺しゅうデータを作成した場合は、縫い順を確認し、必要に応じてデータを修正してください。

レイアウトセンターでは、データを描画した順序が標準の縫い順となります。

デザインセンターでは、縫い方を設定した順序が標準の縫い順となります。

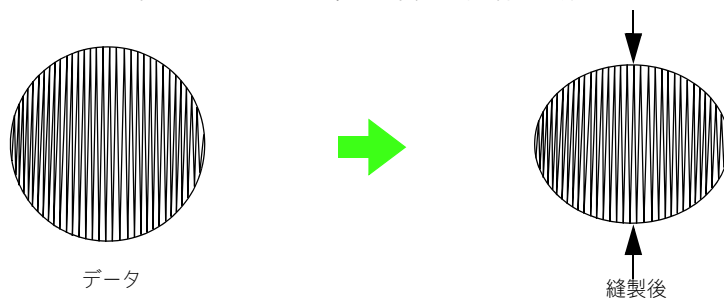
広い範囲を縫うときは

- 広い範囲を縫うときは、**下打ちをオン**に設定します。

 詳しくは、P.154 の「下打ち」を参照してください。

- **縫い方向**の設定を変更すると、縫い縮みを防ぐことができます。
- 刺しゅうするときは、必ず布地の裏に刺しゅう用接着芯を使用してください。特に薄地や伸びる布地の場合、芯を使用しないで刺しゅうをすると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。また、縫い縮みや模様のずれの原因にもなります。

- 広い範囲にサテン縫いをするときは、布や糸の種類によっては、縫い縮みが生じることがあります。このようなときは、タタミ縫いを選択して、布地の裏側に接着芯を貼ります。



注意：

広い範囲でサテン縫いを使うと、ミシンによっては、針の位置が10mm位ずれてしまうことがあります。これを防ぐには、上記の方法を試してみてください。


デザインセンターに原画を取り込む際のヒント


デザインセンターに原画を取り込むときは、次の方法を試してみてください。

■ 画像をスキャナで読み込む

- 輪郭がはっきりしないときは、トレーシングペーパーで輪郭をなぞり、スキャンしてください。
- 画像の色数を少なくすると、より良いスキャン結果を得ることができます。

ステッチデータの一部を切り取る (ステッチ分割ツールを使用する)

レイアウトセンターのツールボックスのをクリックしてから、ステッチデータを選択し、切り取りたい部分を囲む多角形の枠をつくり、ダブルクリックすると、その枠の部分を切り取ることができます。

 詳しくは、P.117の「ステッチデータの一部を切り取る」を参照してください。

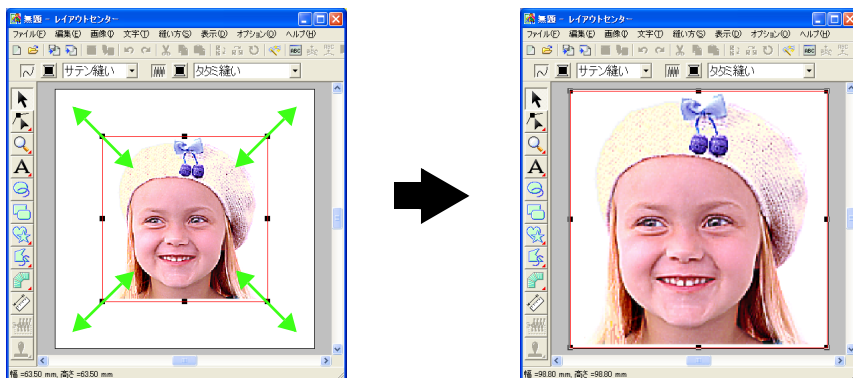
美しい写真刺しゅうを作成する

■ フォトステッチの場合

- 被写体が大きく写されている写真を選択します。(1枚の写真に多くの物が写っている写真など、複雑な写真は適していません。)
- コントラストを高くします。
- 幅と高さが 300 ~ 500 ドットの画像が適しています。
- 人物写真の場合、以下のようにサイズを調整すると良い結果が得られます。

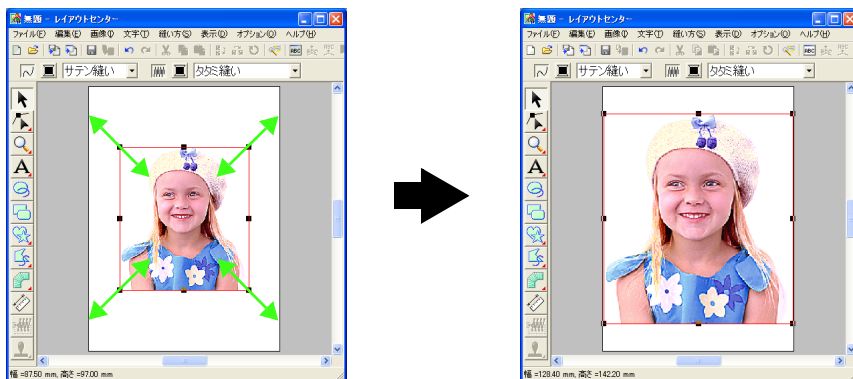
顔のアップ画像の場合

デザインページサイズを 100 × 100mm (またはそれ以上) に設定し、画像をデザインページサイズいっぱい拡大 (または縮小) します。




バストアップ画像の場合


デザインページサイズを 130 × 180mm (またはそれ以上) にし、画像をデザインページサイズいっぱい拡大 (または縮小) します。

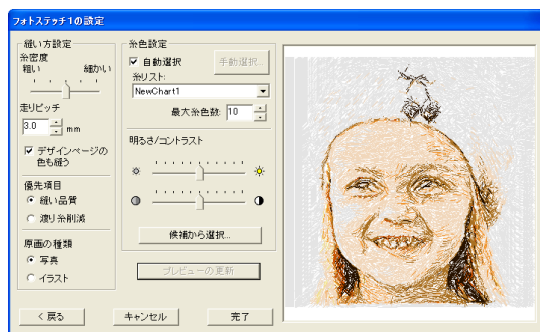
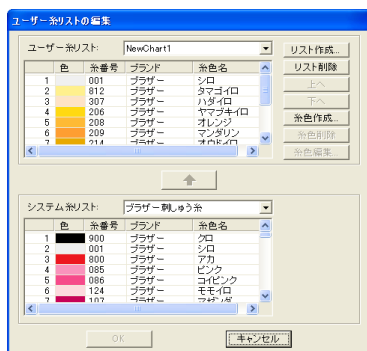


- 元の写真が暗い場合は、**フォステッチの設定**ダイアログボックスで**明るさ**を高い値に設定することをお勧めします。
- 作成された刺しゅうデータに強調したくない色が含まれている場合（たとえば、顔に灰色が入っているなど）**縫い順 / 糸色**ダイアログボックスで、その色が他の色より先に縫われるように順序を変更すると、良い結果を得られる場合があります。

 詳しくは、P.116の「ステッチデータの糸色を変更する」を参照してください。

- セピア色のユーザー糸リストを**ユーザー糸リストの編集**ダイアログボックスで作成し、次に**フォステッチの設定**ダイアログボックスの**色の設定**で、作成したセピア色のユーザー糸リストを選択すると、セピア色の写真刺しゅうを作成できます。

 詳しくは、P.164の「ユーザー糸リストを作成・編集する」を参照してください。



刺しゅうに適した書体

■ ミニサイズ文字を縫う場合

ミニサイズ文字が含まれた刺しゅうデータを縫製するときは、次の推奨事項に従ってください。

- 糸調子を、通常の刺しゅうデータの場合より弱く設定します。
- 通常の刺しゅうデータの場合より、遅い速度で縫製します。
(糸調子と縫い速度の調整については、ミシンの取扱説明書を参照してください。)
- 文字の間の渡り糸を切らないようにしてください。
(ミシンの糸切りの設定については、ミシンの取扱説明書を参照してください。)


■ TrueType フォントを刺しゅうデータに変換する場合

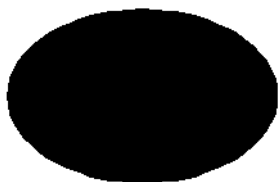
TrueType フォントを刺しゅうデータに変換するときは、ゴシック体のようにすべての線ができるだけ太いものを選択してください。

抜き文字を作成する (図形データに変換した文字を使用する)

刺しゅうデータの面上に抜き文字を入れたい場合は、TrueType フォントの文字データを**図形データに変換**で図形データに変換します。

1. 描画ツールを使用して図形を描きます。


 詳しくは、P.119 の「図形を描く」を参照してください。



2. TrueType フォントの文字を選択します。



3. 文字を右クリックし、表示されたメニューから**図形データに変換**を選択します。


 詳しくは、P.138 の「文字データを図形データに変換する」を参照してください。





4. 図形の内に文字を配置します。



5. 文字の輪郭線を選択し、Ctrl キーを押しながら背景の図形データを選択して、**ドーナツ縫いの設定**を選択します。

 詳しくは、P.168 の「面縫いの二重縫いを防止する (ドーナツ縫い)」を参照してください。



6. 文字の内側にある輪郭線を選択して、**面の設定**ボタンをクリックします。
(この例の背景色は黒であるため、**面の色**ボタン  で選択された色は黒です。)



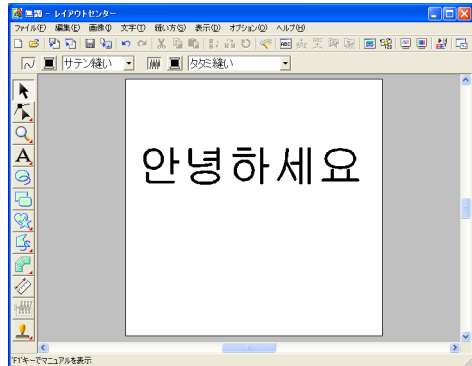
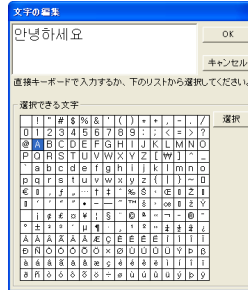
→ 抜き文字が完成します。

アルファベット以外の文字（中国語、韓国語など）を刺しゅうデータに変換する

TrueType フォントを使用すると、中国語、韓国語などの文字から刺しゅうデータを作成できます。




















この例では、韓国語の True Type フォントから刺しゅうデータを作成します。




1. 文字入力ツールを選択し、韓国語の TrueType フォント（この例では「Gulim」）を選択します。
2. デザインページで、文字データを入力したい位置をクリックします。**文字の編集**ダイアログボックスが表示されます。
3. パソコンの文字コード表を表示します。（スタート→すべてのプログラム→アクセサリ→システムツール→文字コード表）
4. **文字コード表のフォントで Gulim を選択し、詳細表示**チェックボックスを選択します。次に、**文字セットリスト**から **Windows: 韓国語**を選択して、使いたい文字（この例では、「안녕하세요」）を選択し、**選択**をクリックします。
5. 使用する文字をすべて選択できたら、**コピー**をクリックして、文字をコピーします。
6. レイアウトセンターの**文字の編集**ダイアログボックスに文字を貼り付けて、**OK**をクリックします。



レイアウトセンター

ツールボックスボタン一覧

ツールボックス	用途	参照ページ
	選択ツール アプリケーションを起動すると、選択ツールが選択されています。 カーソルの形状： 	P.102
	ポイント編集ツール カーソルの形状：  または 	P.107 P.111
	ズームツール カーソルの形状：  または 	P.171
	文字、ミニサイズ文字、モノグラム入カツール カーソルの形状： 	P.127
	円・円弧描画ツール カーソルの形状： 	P.119
	長方形描画ツール カーソルの形状： 	P.121
	図形描画ツール カーソルの形状： 	P.122
	線描画ツール カーソルの形状：  または 	P.123
	マニュアルパンチングツール カーソルの形状：  または 	P.125
	ものさしツール カーソルの形状： 	P.172
	ステッチデータ分割ツール カーソルの形状： 	P.117

ツールボックス	用途	参照ページ
	スタンプツール カーソルの形状：  または 	P.145

メニュー一覧

メモ：

メニュー上の機能のほとんどは、ツールバーのボタン、ショートカットキーやキーの組み合わせ、または右マウスボタンをクリックして表示されるメニューリストにより操作することができます。

■ ファイルメニュー

ファイルメニューで、開く、保存、印刷などのファイルの入力／出力を処理します。






メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
新規作成		新規デザインページを作成します。	Ctrl + N	P.95
開く		以前に保存した刺しゅうデータ (.pes ファイル) を開きます。	Ctrl + O	P.95
データ取り込み	ファイルから 	刺しゅうカードから読み込んだファイル (.pec)、タジマ (.dst)、メルコ (.exp)、パフ (.pcs)、ハスクバーナ (.hus, .vip, .shv)、ジャノメ (.jef, .sew)、シンガー (.csd, .xxx) の各形式で作成されたファイル、および、ブラザー刺しゅうミシンで作成されたファイル (.phc) を取り込み、それを作業中のデザインページに加えます。	F8	P.96
	デザインセンターから 	デザインセンターからステッチデータを取り込みます。	F7	P.99
	カードから —	刺しゅうカードから刺しゅうデータを取り込みます。	—	P.98
上書き保存		作業中のデザインページをハードディスクなどに上書き保存し、ファイルを更新します。	Ctrl + S	P.180
名前を付けて保存	—	作業中のデザインページをハードディスクなどに新しいファイル名で保存します。	—	P.180
データ書き出し	—	デザインページに表示されているデータを、別のファイル形式 (.dst, .exp, .pcs, .hus, .vip, .shv, .jef, .sew, .csd, .xxx) に変換して出力します。	—	P.180
カード書き込み		作業中のデザインページをオリジナルカードに書き込みます。	F4	P.181
ファイルプロパティ	—	編集中の .pes ファイルにコメントを入力します。	—	P.182
印刷の設定	—	印刷設定を変更します。	—	P.183

メニュー / ツール

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
印刷プレビュー	—	印刷前に、印刷のイメージを確認できます。	—	P.184
印刷	—	作業中のデザインページと情報を印刷します。	Ctrl + P	P.184
終了	—	アプリケーションを終了します。	Alt + F4	P.15

■ 編集メニュー

編集メニューで、切り取りや貼り付けなど、選択された刺しゅうデータの編集操作を行います。



メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ	
元に戻す		直前の操作を元の状態に戻します。	Ctrl + Z		
やり直し		最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	Ctrl + A		
グループ化	—	選択された複数の刺しゅうデータをグループ化して1つの刺しゅうデータにします。	Ctrl + G	P.106	
グループ化解除	—	刺しゅうデータのグループ化を解除します。	Shift+ G		
切り取り		選択された刺しゅうデータを画面から削除し、クリップボードにコピーします。	Ctrl + X		
コピー		選択された刺しゅうデータを画面から削除しないで、クリップボードにコピーします。	Ctrl + C		
複製	—	選択された刺しゅうデータを複製します。	Ctrl + D		
貼り付け		クリップボードにコピーされている内容をデザインページに貼り付けます。	Ctrl + V		
削除	—	選択された刺しゅうデータまたはポイントをデザインページから削除します。	Delete	P.82 P.109	
ポイント	直線化	—	ポイントの両サイドにある曲線を直線にします。	—	P.109
	曲線化	—	ポイントの両サイドにある直線を曲線にします。	—	P.109
	スムーズ化	—	選択されたポイントの2本の曲線ハンドルをスムーズな位置にします。	—	P.110
	対称化	—	選択されたポイントの2本の曲線ハンドルを対称な位置にします。	—	P.110
	尖化	—	選択されたポイントの2本の曲線ハンドルをそれぞれ個別に操作できるようにします。	—	P.111
	削除	—	選択されたポイントを削除します。	—	P.109

メニュー / ツール

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
反転	上下		選択された刺しゅうデータを上下に反転します。	Ctrl + H	P.105
	左右		選択された刺しゅうデータを左右に反転します。	Ctrl + J	
回転			選択された刺しゅうデータを任意の角度で回転します。	Ctrl + Y	P.105
数値設定	サイズ	—	選択された刺しゅうデータを任意のサイズにします。	—	P.104
	回転	—	選択された刺しゅうデータを任意の角度で回転します。	—	P.106
中央へ移動		—	選択された刺しゅうデータをデザインページの中央へ移動します。	Ctrl + M	P.103
整列	左揃え	—	選択された複数の刺しゅうデータを左寄せで揃えます。	—	P.103
	左右中央揃え	—	選択された複数の刺しゅうデータを左右中央位置で揃えます。	—	
	右揃え	—	選択された複数の刺しゅうデータを右寄せで揃えます。	—	
	上揃え	—	選択された複数の刺しゅうデータを上端で揃えます。	—	
	上下中央揃え	—	選択された複数の刺しゅうデータを上下中央位置で揃えます。	—	
	下揃え	—	選択された複数の刺しゅうデータを下端で揃えます。	—	
すべて選択		—	すべての刺しゅうデータを選択します。	Ctrl + E	P.102

■ 画像メニュー

画像メニューで、画像データの入出力や、画像データから刺しゅうデータの作成を行います。

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
入力	ファイルから	—	画像ファイルを取り込み、それを作業中のデザインページに加えます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  注意： 使用できる画像データは、Windows ビットマップ (*.bmp)、Exif (*.tif, *.jpg)、ZSoftPCX (*.pcx)、Windows メタファイル (*.wmf)、Portable Network Graphics (*.png)、Encapsulated PostScript (*.eps)、Kodak PhotoCD (*.pcd)、FlashPix (*.fpx)、JPEG2000 (*.j2k) のいずれかです。複数のページがある .pcd ファイルと .fpx ファイルは、最初のページのみを開くことができます。LZW で圧縮された Tiff ファイルは開くことができません。 </div>	—	P.79
	TWAIN 機器から	—	TWAIN 規格対応のスキャナ等进行操作し、画像を取り込みます。	—	P.79
	モニター ジュから	—	髪型、目、鼻、口などのパーツを組み合わせて独自の似顔絵を作成し、その画像を取り込みます。	—	P.80
	クリップボードから	—	クリップボードにコピーされている画像データを取り込みます。	—	P.81
出力	ファイルへ	—	デザインページの画像データを、Windows ビットマップ (*.bmp) または JPEG (*.jpg) ファイルで保存します。	—	P.101
	クリップボードへ	—	デザインページの画像データを、クリップボードにコピーします。	—	P.101
TWAIN 機器の選択		—	パソコンにインストールされている TWAIN 機器から使用するデバイスを選択します。	—	P.79
サイズと位置の変更		—	取り込んだ画像データのサイズや位置を調整します。	—	P.82
ステッチウィザードの起動			ステッチウィザードに沿って、原画 (画像データ) から刺しゅうデータを作成します。	—	P.83
表示設定	表示 (100%)	—	下絵となる画像データを表示します。(濃さ: 100%)	F6	P.82
	75%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ: 75%)	F6	
	50%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ: 50%)	F6	
	25%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ: 25%)	F6	
	表示しない	—	下絵となる画像データを非表示にします。	F6	

■ 文字メニュー

文字メニューで、曲線に文字を配列するなど、文字データについての操作を行います。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
文字の編集	—	入力済みの文字データを編集します。	Ctrl + L	P.143
書式設定		文字の書式を設定します。	Ctrl + K	P.133
文字の配列		図形データ（曲線、直線データなど）に沿って文字データを配列します。	Ctrl + T	P.135
文字配列の解除		図形データから文字データを切り離します。	Ctrl + Q	P.137
文字の変形		文字データを変形します。	F2	P.137
変形の解除		変形した文字データを元の形に戻します。	F3	P.137
TrueType フォントの設定	—	刺しゅうデータに変換される TrueType フォントの属性（スタイル等）を設定します。	—	P.137
図形データに変換	—	True Type フォントから変換された文字データを図形データに変換します。	—	P.138

■ 縫い方メニュー

縫い方メニューで、線や面の縫い方や縫い順を設定します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
縫い方の設定		刺しゅうデータの線と面の縫い方を設定します。	Ctrl + W	P.152
縫い順 / 糸色		刺しゅうデータの縫い順と糸色を確認、変更します。	F10	P.116
ドーナツ縫いの設定	—	1 つの刺しゅうデータが他の刺しゅうデータを完全に包含しているとき、同じ場所を二重に縫わないように、一対の刺しゅうデータにドーナツ縫いの設定を行います。	—	P.168
ドーナツ縫いの解除	—	ドーナツ縫いの設定を解除します。	—	P.169
STB 機能	—	ステッチデータをブロック（マニュアルパンチングデータ）に変換して、縫い方の設定や、拡大・縮小したときの縫製品質の維持ができるようにします。	—	P.116
ステッチデータに変換	—	図形データ、文字データ、パンチングデータをステッチデータに変換します。	—	P.114
アップリケウィザード	—	アップリケの縫い順に沿って各設定をしながら、アップリケデータを作成します。	—	P.169
縫製範囲の設定	—	縫製範囲を設定します。	—	P.172
枠の最適化	—	デザインページに大型枠（100 × 172mm、130 × 300mm）が選択されている場合、そのデータの縫い順を最適化するかどうか設定します。	—	P.187
縫い始終点の最適化	—	刺しゅうデータの縫い始終点の位置を最適化します。	—	P.113

■ 表示メニュー

表示メニューで、画面の表示内容を変更します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
グリッド	—	グリッドの表示方法を設定します。	—	P.185
プレビュー		画面表示の通常表示 / 縫製イメージを切り替えます。	F9	P.175
リアルプレビュー		<p>刺しゅうデータの縫製後の仕上がりのイメージをリアルに表示します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>注意： モニターが 256 色以下に設定されていると、リアルプレビューで鮮明な刺しゅうデータのプレビューを表示することはできません。モニターは、16 ビット High Color (65536 色) 以上に設定してください。</p> </div>	Shift + F9	
リアルプレビューの設定	—	リアルプレビュー機能の設定を行います。	—	P.175
画面の再描画	—	画面を更新します。	Ctrl + R	—
ステッチシミュレーター		ミシンでどのように縫われていくか、縫製の様子を画面上で確認できます。	—	P.176
リファレンスウィンドウ		リファレンスウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。	F11	P.178
ツールバー	—	ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	P.16
ステータスバー	—	ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	

■ オプションメニュー

オプションメニューで、他アプリケーションを起動したり、デザインページのサイズや単位等の設定ができます。

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
デザインセンターの起動		—	デザインセンターを起動し、前面に表示します。	F5	P.17 P.36
ステッチクリエイターの起動		—	ステッチクリエイターを起動し、前面に表示します。	—	P.19 P.307
デザインデータベースの起動		—	デザインデータベースを起動し、前面に表示します。	—	P.20 P.274
フォントクリエイターの起動		—	フォントクリエイターを起動し、前面に表示します。	—	P.18 P.238
デザインのプロパティ		—	作成している刺しゅうデータの情報を表示します。	—	P.177
デザインページの設定		—	デザインページのサイズ、色、背景色を変更します。	—	P.100
ユーザー系リストの編集		—	ユーザー系リストの作成、編集を行います。	—	P.164
単位の 設定	mm	—	長さの単位をミリメートルに変更します。	—	P.185
	インチ	—	長さの単位をインチに変更します。	—	

■ ヘルプメニュー

ヘルプメニューで、ヘルプシステムが起動します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
マニュアル	—	このアプリケーションのマニュアル (HTML 形式) を表示します。	F1	P.1
ソフトウェアの更新を確認	—	Web 上に更新されたバージョンがあるかどうかを確認します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">  注意： この機能は、インターネットに接続できる環境が整っていないと使用できません。 </div>	—	P.11
刺しゅうPRO WEB ページ	—	刺しゅうPRO のサポート情報のページを開きます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">  注意： この機能は、インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続できる環境が整っていないと使用できません。 </div>	—	P.10
オンライン登録	—	当社ホームページの「オンライン登録」のページを開きます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0ffe0;">  注意： この機能は、インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続できる環境が整っていないと使用できません。 </div>	—	P.10
バージョン情報	—	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	—	









デザインセンター

ツールボックスボタン一覧

■ 輪郭線画ステージ

輪郭線画ステージでは、ツールボックスは、原画から作成した輪郭線画を修正したり、直接、輪郭線画を描いたりするときに使用します。

ツールボックスのボタンを選択すると、ポインタのモードと形が変わります。ステータスバーの左側に、各ツールの説明が表示されます。

ツールボックス	用途	参照ページ
	<p>ペン、消しゴムツール 最初の5つのボタンは、太さの違うペンと消しゴムとして使用します。 デザインページ上で移動またはドラッグしたときのカーソルの形状：</p> <p> ペン</p> <p> 消しゴム（マウスの右ボタンを押しているとき）</p> <p>アプリケーション起動時や輪郭線画ステージへの移行時は、2番目のペントoolが選択されています。</p>	<p>P.38 P.200</p>
	<p>ズームインツール カーソルの形状：</p>	<p>P.38</p>
	<p>デザインページズーム デザインページを画面に合わせて最大化します。</p>	<p>P.39</p>
	<p>ズームアウトツール カーソルの形状：</p>	<p>P.38</p>

■ 輪郭データステージ

輪郭データステージでは、ツールボックスは、自動で作成された輪郭データを編集したり、新たに輪郭データを描画するときに使用します。

ツールボックスのボタンを選択すると、ポインタのモードと形が変わります。ステータスバーの左側に、各ツールの説明が表示されます。

ツールボックス	用途	参照ページ
	選択ツール アプリケーション起動時やステージ 3（輪郭データステージ）への移行時は、選択ツールが選択されています。 カーソルの形状： 	P.204
	ポイント編集ツール カーソルの形状： 	P.207
	直線描画ツール カーソルの形状： 	P.209
	ズームインツール カーソルの形状： 	
	デザインページズーム デザインページを画面に合わせて最大化します。	
	ズームアウトツール カーソルの形状： 	
	選択データズーム 選択した輪郭データを画面領域いっぱい拡大します。	

■ 縫い方設定ステージ

縫い方設定ステージでは、輪郭データステージからの輪郭データに線や面の縫い方を設定します。この作業は、ツールボックスと縫い方バーを使います。

ツールボックスのボタンを選択すると、ポインタのモードと形が変わります。ステータスバーの左側に、各ツールの説明が表示されます。

ツールボックス	用途	参照ページ
	面の設定ツール アプリケーション起動時や縫い方設定ステージへの移行時は、面の設定ツールが選択されています。 カーソルの形状： 	P.211
	輪郭線の設定ツール (全体) カーソルの形状： 	P.213
	輪郭線の設定ツール (部分) カーソルの形状： 	P.213
	ドーナツ縫いツール カーソルの形状： 	P.228
	ズームインツール カーソルの形状： 	
	デザインページズーム デザインページを画面に合わせて最大化します。	
	ズームアウトツール カーソルの形状： 	
	スタンプ設定ツール カーソルの形状： 	P.229
	スタンプ編集ツール カーソルの形状： 	P.230





メニュー一覽

📖 メモ：

メニュー上の機能のほとんどは、ツールバーのボタン、ショートカットキーやキーの組み合わせ、または右マウスボタンをクリックして表示されるメニューリストにより操作することができます。

■ ファイルメニュー

ファイルメニューで、開く、保存などのファイルの入力 / 出力を処理します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
新規作成 (輪郭線画)		新規デザインページを作成し、輪郭線画ステージに移動します。	Ctrl + N	P.199
新規作成 (輪郭データ)	—	新規デザインページを作成し、輪郭データステージに移動します。	—	P.204
ウィザード	—	作成するデータの種類に応じてどのようにデータを作成していくのか、順を追って説明します。	F3	P.196
開く		<p>以前に保存したファイル (*.pem、*.pel) や画像ファイル (Windows ビットマップ (*.bmp)、Exif (*.tif、*.jpg)、ZSoftPCX (*.pcx)、Windows メタファイル (*.wmf)、Portable Network Graphics (*.png)、Encapsulated PostScript (*.eps)、Kodak PhotoCD (*.pcd)、FlashPix (*.fpx)、JPEG2000 (*.j2k)) を開きます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>🔔 注意： 複数のページがある .pcd ファイルと .fpx ファイルは、最初のページのみを開くことができます。LZW で圧縮された Tiff ファイルは開くことができません。</p> </div>	Ctrl + O	
TWAIN 機器の選択	—	パソコンにインストールされている TWAIN 機器から使用するデバイスを選択します。	—	P.197
TWAIN 機器から入力	—	TWAIN 規格対応のスキャナ等を実行し、画像を取り込みます。	—	
クリップボードから	—	原画ステージの新規デザインページを開き、クリップボードにコピーされている画像データを貼り付けます。	—	
クリップボードに出力	—	原画ステージの原画を、クリップボードにコピーします。	—	
輪郭データ取り込み		作業中のデザインページに .pem ファイルを追加します。(輪郭データステージでのみ使用可能)	F8	
上書き保存		作業中のデザインページをハードディスクなどに上書き保存し、ファイルを更新します。	Ctrl + S	P.235

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
名前を付けて保存	—	作業中のパターンファイルをハードディスクなどに新しいファイル名で保存します。保存できるファイル形式は、原画ステージでは Windows ビットマップ (*.bmp)、輪郭線画ステージでは .pel ファイル、輪郭データステージ縫い方設定ステージでは.pemファイルです。	—	P.236
終了	—	アプリケーションを終了します。	Alt + F4	P.15



■ 編集メニュー

編集メニューで、切り取りや貼り付けなど、選択された輪郭データや刺しゅうデータの編集操作を行います。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ	
元に戻す		直前の操作を元の状態に戻します。	Ctrl + Z	P.207	
やり直し		最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	Ctrl + A	P.207	
切り取り		選択されたデータを画面から削除し、クリップボードにコピーします。	Ctrl + X	P.206	
コピー		選択された輪郭データを画面から削除しないで、クリップボードにコピーします。	Ctrl + C	P.206	
複製	—	選択された輪郭データを複製します。	Ctrl + D		
貼り付け		クリップボードにコピーされている内容をデザインページに貼り付けます。	Ctrl + V	P.206	
削除	—	選択された輪郭データまたはポイントをデザインページから削除します。	Delete	P.206	
切断	—	選択された輪郭データを選択されたポイントで切断します。	—	P.208	
反転	上下 	選択された輪郭データを上下に反転します。	Ctrl + H	P.205	
	左右 	選択された輪郭データを左右に反転します。	Ctrl + J		
回転		選択された輪郭データを任意の角度で回転します。	Ctrl + Y	P.206	
数値設定	サイズ	—	選択された輪郭データを任意のサイズにします。	—	P.205
	回転	—	選択された輪郭データを任意の角度で回転します。	—	P.206
すべて選択	—	すべての刺しゅうデータを選択します。	Ctrl + E		





■ 縫い方メニュー

縫い方メニューで、線や面の縫い方や縫い順を設定します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
縫い方の設定		輪郭線と面の縫い方を設定します。	Ctrl + W	P.217
縫い順		作成した刺しゅうデータの各糸色の縫い順の確認、変更をしたり、さらに各糸色を構成する各部分の縫い順の確認、変更をします。	F10	P.231

■ 表示メニュー

表示メニューで、画面の表示内容を変更します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
グリッド	—	グリッドの表示 / 非表示を切り替えたり、グリッド線の表示のしかたを設定します。	—	P.237
下絵の位置とサイズの変更	—	下絵となる画像のサイズや位置を調整します。	—	P.202
下絵の表示	表示	—	下絵となる画像を表示します。	F6
	薄く表示	—	下絵となる画像を薄く表示します。	F6
	表示しない	—	下絵となる画像を非表示にします。	F6
プレビュー		画面表示の通常表示 / 縫製イメージを切り替えます。	F9	P.233
リアルプレビュー		刺しゅうデータの縫製後の仕上がりがイメージをリアルに表示します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意： モニターが 256 色以下に設定されていると、リアルプレビューで鮮やかな刺しゅうデータのプレビューを表示することはできません。モニターは、16 ビット High Color (65536 色) 以上に設定してください。</p> </div>	Shift + F9	
リアルプレビューの設定	—	リアルプレビュー機能の設定を行います。	—	
画面の再描画	—	画面を更新します。	Ctrl + R	
ステッチシミュレーター		ミシンでどのように縫われていくか、縫製の様子を画面上で確認できます。	—	P.232
リファレンスウィンドウ		リファレンスウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。	F11	P.209

メニュー / ツール

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
ツールバー	—	ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	P.17
ステータスバー	—	ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	




■ オプションメニュー

オプションメニューで、他アプリケーションを起動したり、デザインページのサイズや単位等の設定ができます。



メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
レイアウトセンターの起動	—	レイアウトセンターを起動し、前面に表示します。	F5	P.95
ステッチクリエイターの起動	—	ステッチクリエイターを起動し、前面に表示します。	—	P.257
デザインページの設定	—	デザインページのサイズ、色、背景色を変更します。	—	P.203
単位の 設定	mm	—	—	P.237
	インチ	—	—	

■ ステージメニュー

ステージメニューで、あるステージから次または前のステージに移動できます。


メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
原画ステージ		原画ステージへ移動します。 注意： この機能は、画像データが原画ステージにある場合にのみ使用できます。たとえば、原画が開かれていたり、原画がクリップボードから貼り付けられた場合などです。輪郭線画ステージから新規輪郭データファイルで作業を開始した場合は、この機能は無効になります。	—	
輪郭線画ステージ		輪郭線画ステージへ移動します。 注意： 輪郭データステージから新規輪郭データファイルで作業を開始した場合は、この機能は無効になります。	—	P.198
輪郭データステージ		輪郭データステージへ移動します。	—	P.201

メニュー / ツール

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
縫い方設定ステージ		縫い方設定ステージへ移動します。	—	P.211
レイアウトセンターへ送る		刺しゅうデータをレイアウトセンターに送ります。	—	P.236














■ ヘルプメニュー

ヘルプメニューで、ヘルプシステムが起動します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
マニュアル	—	このアプリケーションのマニュアル (HTML 形式) を表示します。	F1	P.1
刺しゅうPRO WEB ページ	—	刺しゅうPRO のサポート情報のページを開きます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> 注意： この機能は、インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続できる環境が整っていないと使用できません。</p> </div>	—	P.10
バージョン情報	—	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	—	

フォントクリエイター

ツールボックスボタン一覧

ツールボックス	用途	参照ページ
	選択ツール アプリケーションを起動すると、選択ツールが選択されています。 カーソルの形状： 	P.245
	ポイント構築ツール カーソルの形状： 	P.249
	ズームツール カーソルの形状：  または 	P.253
	マニュアルパンチングツール カーソルの形状：  、  、  、  、または 	P.243

メニュー一覧





メモ：

メニュー上の機能のほとんどは、ツールバーのボタン、ショートカットキーやキーの組み合わせ、または右マウスボタンをクリックして表示されるメニューリストにより操作することができます。

■ ファイルメニュー

ファイルメニューで、開く、保存などのファイルの入力／出力を処理します。






メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
新規作成		新規のフォントファイルを作成します。	Ctrl + N	P.238
開く		以前に保存したフォントファイルを開きます。	Ctrl + O	P.238

メニュー / ツール

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
下絵を開く	—	<p>データ作成用の下絵として使用可能な画像データを、デザインページ上に開きます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> 注意： 使用できる画像データは、Windows ビットマップ (*.bmp)、Exif (*.tif, *.jpg)、ZSoftPCX (*.pcx)、Windows メタファイル (*.wmf)、Portable Network Graphics (*.png)、Encapsulated PostScript (*.eps)、Kodak PhotoCD (*.pcd)、FlashPix (*.fpx)、JPEG2000 (*.j2k) のいずれかです。複数のページがある .pcd ファイルと .fpx ファイルは、最初のページのみを開くことができます。LZW で圧縮された Tiff ファイルは開くことができません。</p> </div>	—	P.239
上書き保存		作業中のフォントデータをハードディスクなどに上書き保存し、ファイルを更新します。	Ctrl + S	P.254
名前を付けて保存	—	作業中のフォントデータをハードディスクなどに新しいファイル名で保存します。	—	P.254
終了	—	アプリケーションを終了します。	Alt + F4	P.15

■ 編集メニュー

編集メニューで、切り取りや貼り付けなど、選択されたデータに編集操作を行います。


メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
元に戻す		直前の操作を元の状態に戻します。	Ctrl + Z	
やり直し		最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	Ctrl + A	
切り取り		選択されたフォントデータを画面から削除し、クリップボードにコピーします。	Ctrl + X	P.246
コピー		選択されたフォントデータを画面から削除しないで、クリップボードにコピーします。	Ctrl + C	P.246
複製	—	選択されたフォントデータを複製します。	Ctrl + D	P.247
貼り付け		クリップボードにコピーされている内容をデザインページに貼り付けます。	Ctrl + V	P.247
削除	—	選択されたフォントデータまたはポイントをデザインページから削除します。	Delete	P.246

メニュー / ツール

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
ポイント	直線化	—	ポイントの両サイドにある曲線を直線にします。	—	P.250
	曲線化	—	ポイントの両サイドにある直線を曲線にします。	—	
	スムーズ化	—	選択されたポイントの2本の曲線ハンドルをスムーズな位置にします。	—	
	対称化	—	選択されたポイントの2本の曲線ハンドルを対称な位置にします。	—	
	尖化	—	選択されたポイントの2本の曲線ハンドルをそれぞれ個別に操作できるようにします。	—	
	削除	—	選択されたポイントを削除します。	—	P.250
反転	上下	—	選択されたフォントデータを上下に反転します。	Ctrl + H	P.247
	左右	—	選択されたフォントデータを左右に反転します。	Ctrl + J	P.247
回転		—	選択されたフォントデータを任意の角度で回転します。	Ctrl + Y	P.248
整列	左揃え	—	選択された複数のフォントデータを左寄せで揃えます。	—	P.245
	左右中央揃え	—	選択された複数のフォントデータを左右中央位置で揃えます。	—	
	右揃え	—	選択された複数のフォントデータを右寄せで揃えます。	—	
	上揃え	—	選択された複数のフォントデータを上端で揃えます。	—	
	上下中央揃え	—	選択された複数のフォントデータを上下中央位置で揃えます。	—	
	下揃え	—	選択された複数のフォントデータを下端で揃えます。	—	
すべて選択		—	すべてのフォントデータを選択します。	Ctrl + E	P.245

■ 縫い方メニュー

縫い方メニューで、線や面の縫い方や縫い順を設定します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
縫い順		フォントデータの縫い順を確認、変更します。	F10	P.251


■ 表示メニュー

表示メニューで、画面の表示内容を変更します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ	
グリッド	—	グリッドの表示 / 非表示を切り替えたり、グリッド線の表示のしかたを設定します。	—	P.256	
塗りつぶし表示モード		塗りつぶし表示モードと線表示モードとを切り替えます。	F9	P.255	
プレビューウィンドウ		プレビューウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。	F11	P.252	
一覧		作業中のフォントファイルに含まれている文字を一覧で確認できます。	—	P.252	
下絵のサイズと位置の変更	—	取り込んだ下絵のサイズや位置を調整します。	—	P.255	
下絵の表示設定	表示 (100%)	—	下絵となる画像データを表示します。(濃さ : 100%)	F6	P.255
	75%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ : 75%)	F6	
	50%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ : 50%)	F6	
	25%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ : 25%)	F6	
	表示しない	—	下絵となる画像データを非表示にします。	F6	
ツールバー	—	ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	P.18	
ステータスバー	—	ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	P.18	

■ ヘルプメニュー

ヘルプメニューで、ヘルプシステムが起動します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
マニュアル	—	このアプリケーションのマニュアル (HTML 形式) を表示します。	F1	
刺しゅうPRO WEB ページ	—	刺しゅうPRO のサポート情報のページを開きます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> 注意： この機能は、インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続できる環境が整っていないと使用できません。</p> </div>	—	P.10
バージョン情報	—	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	—	

ステッチクリエイター

ツールボックスボタン一覧

ツールボックス	用途	参照ページ
	選択ツール カーソルの形状： 	P.263 P.270
	ポイント編集ツール カーソルの形状： 	P.266 P.269
	直線描画ツール アプリケーションを起動すると、描画モードが選択されています。 カーソルの形状： 	P.262
	面設定 (クリア) ツール カーソルの形状： 	P.268
	面設定 (凹) ツール カーソルの形状： 	
	面設定 (凸) ツール カーソルの形状： 	



メニュー一覧

メモ：

メニュー上の機能のほとんどは、ツールバーのボタン、ショートカットキーやキーの組み合わせ、または右マウスボタンをクリックして表示されるメニューリストにより操作することができます。

■ ファイルメニュー

ファイル メニューで、開く、保存などのファイルの入力／出力を処理します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
新規作成		新規のパターンファイルを作成します。	Ctrl + N	P.259
開く		以前に保存したパターンファイルを開きます。	Ctrl + O	P.257

メニュー / ツール

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
下絵を開く	—	<p>データ作成用の下絵として使用可能な画像データを、デザインページ上に開きます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p> 注意： 使用できる画像データは、Windows ビットマップ (*.bmp)、Exif (*.tif, *.jpg)、ZSoftPCX (*.pcx)、Windows メタファイル (*.wmf)、Portable Network Graphics (*.png)、Encapsulated PostScript (*.eps)、Kodak PhotoCD (*.pcd)、FlashPix (*.fpx)、JPEG2000 (*.j2k) のいずれかです。複数のページがある .pcd ファイルと .fpx ファイルは、最初のページのみを開くことができます。LZW で圧縮された Tiff ファイルは開くことができません。</p> </div>	—	P.258
上書き保存		作業中のパターンファイルをハードディスクなどに上書き保存し、ファイルを更新します。	Ctrl + S	P.272
名前を付けて保存	—	作業中のパターンファイルをハードディスクなどに新しいファイル名で保存します。	—	P.272
終了	—	アプリケーションを終了します。	Alt + F4	

■ モードメニュー

ステッチクリエイターを使用して、プログラムタタミ、モチーフ、スタンプ用のパターンを作成できます。方法とデザインページはそれぞれ異なります。作成するパターンに応じたモードを**モード**メニューで選択してください。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
プログラムタタミ / スタンプ	—	プログラムタタミ、スタンプ用のパターン作成モードにします。	—	P.259
モチーフ	—	モチーフ用のパターン作成モードにします。	—	

■ 編集メニュー

編集メニューで、切り取りや貼り付けなど、選択されたパターンに編集操作を行います。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ	
元に戻す		直前の操作を元の状態に戻します。	Ctrl + Z		
やり直し		最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	Ctrl + A		
切り取り		選択されたパターンを画面から削除し、クリップボードにコピーします。	Ctrl + X	P.264	
コピー		選択されたパターンを画面から削除しないで、クリップボードにコピーします。	Ctrl + C	P.264	
複製	—	選択されたパターンを複製します。	Ctrl + D	P.264	
貼り付け		クリップボードにコピーされているパターンをデザインページに貼り付けます。	Ctrl + V	P.264	
削除	—	選択されたパターンまたはポイントをデザインページから削除します。	Delete	P.264	
反転	上下		選択されたパターンを上下に反転します。	Ctrl + H	P.265
	左右		選択されたパターンを左右に反転します。	Ctrl + J	P.264
回転		選択されたパターンを任意の角度で回転します。	Ctrl + Y	P.265	
すべて選択	—	すべてのパターンを選択します。	Ctrl + E	P.263	

■ 表示メニュー

表示メニューで、画面の表示内容を変更します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ	
グリッド	広い	—	グリッド間隔をデザインページの 1/8 に変更します。	—	P.273
	普通	—	グリッド間隔をデザインページの 1/16 に変更します。	—	
	狭い	—	グリッド間隔をデザインページの 1/32 に変更します。	—	
	表示しない	—	グリッドを非表示にします。	—	
下絵	表示 (100%)	—	下絵となる画像データを表示します。(濃さ: 100%)	F6	P.273
	75%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ: 75%)	F6	
	50%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ: 50%)	F6	
	25%	—	下絵となる画像データを薄く表示します。(濃さ: 25%)	F6	
	表示しない	—	下絵となる画像データを非表示にします。	F6	
プレビュー	—	プレビューウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。	—	P.261	
ツールバー	—	ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	P.19	
ステータスバー	—	ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—		

■ ヘルプメニュー

ヘルプメニューで、ヘルプシステムが起動します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
マニュアル	—	このアプリケーションのマニュアル (HTML 形式) を表示します。	F1	P.1
刺しゅうPRO WEB ページ	—	刺しゅうPRO のサポート情報のページを開きます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>注意： この機能は、インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続できる環境が整っていないと使用できません。</p> </div>	—	P.10
バージョン情報	—	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	—	

デザインデータベース

メニュー一覧





メモ：

メニュー上の機能のほとんどは、ツールバーのボタン、ショートカットキーやキーの組み合わせ、または右マウスボタンをクリックして表示されるメニューリストにより操作することができます。

■ ファイルメニュー




ファイルメニューで、開く、取り込む、変換するなどのファイル処理と一覧作成を行います。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
レイアウトセンターで開く	—	レイアウトセンターで刺しゅうファイルを開きます。  注意： 開くことができるファイル形式は、.pes ファイルのみです。	—	P.277
レイアウトセンターで取り込む	—	レイアウトセンターに刺しゅうデータを取り込みます。  注意： 取り込むことができるファイル形式は、.pes、タジマ (.dst)、メルコ (.exp)、パフ (.pcs)、ハスクパーナ (.hus, .vip, .shv)、ジャンメ (.jef, .sew)、シンガー (.csd, .xxx)、ブラザー刺しゅうミシンで作成されたファイル (.phc) のいずれかです。	—	P.277
フォルダ作成	—	選択されたフォルダに新規フォルダを作成します。	—	P.274
フォーマット変換	—	刺しゅうファイルを、別のファイル形式に変換して出力します。	—	P.282
削除	—	選択された刺しゅうファイルを削除します。	Delete	P.275
検索	—	刺しゅうファイルを検索します。	Ctrl + F	P.280
印刷の設定	—	刺しゅうファイルの一覧の印刷設定を変更します。	—	P.287
印刷プレビュー	—	刺しゅうファイルの一覧の印刷前に、印刷イメージを確認できます。	—	
印刷	—	刺しゅうファイルの一覧を印刷します。	Ctrl + P	P.287
HTML 出力	—	刺しゅうファイルの一覧を HTML ファイルとして出力します。	—	P.287

メニュー / ツール

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
CSV 出力	—	刺しゅうファイルの縫い方情報の一覧を CSV ファイルとして出力します。	—	P.288
終了	—	アプリケーションを終了します。	Alt + F4	P.15

■ 編集メニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
切り取り		選択された刺しゅうファイルをフォルダから削除し、クリップボードにコピーします。	Ctrl + X	P.275
コピー		選択された刺しゅうファイルをフォルダから削除しないで、クリップボードにコピーします。	Ctrl + C	
貼り付け		クリップボードにコピーされている刺しゅうファイルを、選択されたフォルダに貼り付けます。	Ctrl + V	

■ 表示メニュー

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
サムネイル大		コンテンツビューの刺しゅうファイルを、大きいサムネイルで一覧表示します。	—	P.276
サムネイル小		コンテンツビューの刺しゅうファイルを、小さいサムネイルで一覧表示します。	—	
詳細		コンテンツビューの刺しゅうファイルを、縫い方情報別に一覧表示します。	—	
プレビュー		選択された刺しゅうファイルの縫製イメージを表示します。	—	P.278
ファイルプロパティ		選択された刺しゅうファイルの縫い方情報を表示します。	—	P.278
最新の情報に更新	—	コンテンツビューの刺しゅうファイルの表示を更新します。	Ctrl + R	
ツールバー	—	ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	P.20
ステータスバー	—	ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。	—	


■ オプションメニュー

オプションメニューで単位を変更します。

メニュー		ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
単位の 設定	mm	—	長さの単位をミリメートルに変更します。	—	P.185
	インチ	—	長さの単位をインチに変更します。	—	

■ ヘルプメニュー

ヘルプメニューで、ヘルプシステムが起動します。

メニュー	ツールバー	用途	ショートカットキー	参照ページ
マニュアル	—	このアプリケーションのマニュアル (HTML 形式) を表示します。	F1	P.1
刺しゅうPRO WEB ページ	—	刺しゅうPRO のサポート情報のページを開きます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p> 注意： この機能は、インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続できる環境が整っていないと使用できません。</p> </div>	—	P.10
バージョン情報	—	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	—	

困ったときは

問題が発生したときは、お問い合わせの前に、ブラザーソリューションセンターのFAQ（よくある質問）ページをご覧ください。

ブラザーソリューションセンター：刺しゅうPRO Ver.7 ホームページ

http://solutions.brother.co.jp/public/model_top/digitizing_software/hf_pro7jp.html

索引

数字

3重縫い	
縫い方の設定	154

C

CSV ファイル出力	288
------------	-----

E

E/V ステッチ	317
縫い方の設定	156
E ステッチ	156

H

HTML ファイル出力	287
-------------	-----

S

STB 機能	116
--------	-----

T

TrueType フォントの設定	137
TrueType 文字属性	137
TWAIN 機器から	80
TWAIN 機器から入力	197
TWAIN 機器の選択	80, 197

V

V ステッチ	156
--------	-----

あ

明るさ/コントラスト	87, 91, 93
アプリケ	151, 169
アプリケウィザード	169
アプリケの位置	151
アプリケピース	151
アレンジ1	155, 161, 224
アレンジ2	155, 161, 224

い

一覧	
CSV ファイル	288
HTML ファイル	287
印刷する	287
糸色	
新しい糸色を登録する	166
アプリケ	151
アプリケの位置	151
アプリケピース	151
空白 (未定義)	151
順序	167
ステッチデータ	116
編集する	166
ユーザー糸リスト	164
糸色をリストから削除する	166

糸色をリストに追加する	165
リストを削除する	165
リストを作成する	164
リストを編集する	165
糸色設定	87, 90, 91, 93
糸色ボタン	150, 216
移動する	
画像	22, 26, 31, 82, 203, 290
刺しゅうデータを中央へ移動する	103
始点/終点	111
中心点	112
針落ち点	115
糸セット	91
糸密度	87, 89, 154, 156, 157, 159, 162, 219, 220, 221, 222, 225
糸リスト	87, 91, 94
色の変更	90, 91, 93
印刷する	
一覧	287
印刷の設定	287
印刷の設定	183
大型枠用の刺しゅうデータ	190
刺しゅうデータ	184
プレビュー	184

う

浮き上がり効果	309
渦巻き縫い	318
縫い方の設定	162, 225

え

円弧の種類	121
-------	-----

お

大型枠	186
刺しゅうデータ	187
印刷する	190
保存する	189
デザインページサイズ	186
データ情報	188
枠を変更する	187
オートパンチ機能	84
オプション	
ステッチクリエイターの起動	341, 333
単位の設定	185, 237
mm	333, 341, 354
インチ	333, 341, 354
デザインセンターの起動	333
デザインのプロパティ	177, 188, 333
デザインページの設定	100, 186, 203, 333, 341
ユーザー糸リストの編集	164, 333
レイアウトセンターの起動	341
オプションメニュー	
デザインセンター	341
デザインデータベース	354
レイアウトセンター	333
オフセット	160, 223
オフセット方向	160, 223
オフセット量	161, 224
折り返し	158, 160, 221, 223

オリジナルカードに書き込む24, 28, 34, 45, 62, 294, 315

か

解除
ドーナツ縫い169
文字の変形137
文字配列137
回転133
パターン265
描く
楕円50, 54
直線57
閉じた線57
似顔絵80
パターン262
輪郭線200
拡大・縮小
画像22, 26, 31, 82, 203, 290
刺しゅうデータ51
拡大表示38
角度220, 221, 222, 223, 224
確認する
ステッチ176, 232
縫い順173
面の縫い方の設定212
輪郭線の縫い方214
画像
TWAIN 機器の選択80, 329
移動する82, 203
拡大・縮小82, 203
サイズと位置の変更22, 26, 31, 82, 202, 290, 329
刺しゅうデータに変換21, 30, 31, 83, 290
出力
クリップボードへ101, 329
ファイルへ101, 329
出力する101
ステッチウィザードの起動290, 31, 83, 329
入力
TWAIN 機器から80, 329
クリップボードから81, 329
ファイルから79, 329
モニターから80, 329
表示設定82, 202
保存する101
画像の調整86
原画の調整85
画像メニュー329
角の丸みセレクト122
簡易モード152, 217

き

幾何学的属性148
円121
円弧121
円弧と弦121
四角形122
楕円119
閉じた線124
開いた線124
基準線からのオフセット133
起動
ステッチクリエイター14
デザインセンター13
デザインデータベース15, 274
フォントクリエイター14

レイアウトセンター13, 21, 25, 30, 36, 49, 64, 69, 75, 289, 296, 305, 307, 313

機能4
行間133
切り取る
パターン264

く

空白 (未定義)151
組み合わせる
データの色174
グラデーション156, 157, 159, 164, 220, 221, 222, 226
グリッド185, 237, 273
クロスステッチ318
縫い方の設定162, 225
クロスステッチ機能93
クロスステッチのサイズ93
クロスステッチの縫い方93

け

消しゴムツール200
原画ステージ195
原画の種類87, 89
検索67, 280

こ

候補から選択87
コピーする
画像101
パターン264

さ

サイズ162, 225
最大糸色数87, 94
最大化ボタン13, 238, 274
最適化
始点 / 終点111, 113
枠を変更する187
削除する
糸色166
糸リスト165
パターン264
針落ち点115
作成
新しい糸リスト164
一覧
CSV ファイル288
HTML ファイル287
新規フォルダ274
サテン縫い317
縫い方の設定154, 156, 219, 220
サテン幅154, 219

し

刺しゅう位置の印を付ける191
刺しゅう属性148
刺しゅうデータ
一覧を出力する
CSV ファイル288
HTML ファイル287
印刷する184
一覧287

大型枠	187, 188
書き出す	180
画像から	21, 30, 31, 290
グループ化	106
グループ化する	106
形式を変換する	282
原画から	83
検索	67, 280
コメントを書く	182
情報	177, 278
整理する	274
中央へ移動する	103
データを書き出す	180
取り込む	277
配列	103
表示する	276
開く	66, 277
プレビューする	175, 233, 278
保存	236
保存する	180
下打ち	156, 157, 159, 220, 221, 222
始点 / 終点	
移動する	111
最適化	111, 113
選択する	115
自動選択	87
出力	
一覧	
CSV ファイル	288
HTML ファイル	287
手動選択	87
詳細モード	152, 217
使用する色	91
書体セレクト	129

す

スタンプ	229, 268
編集	230
スタンプ属性	145
ステッピング	
縫い方の設定	162, 225
ステージ	
原画ステージ	341
縫い方設定ステージ	342
輪郭線画ステージ	198, 341
輪郭データステージ	201, 341
ステージメニュー	341
ステッチシミュレーター	176, 232
ステッチ	
間隔	156
ストローク幅	156
走りピッチ	156
ステッチクリエイター	14
ステッチデータ	
高さ	155, 160, 161
幅	155, 160, 161
プログラムタタミ縫い	160
ブロックへ	116
ぼかし縫い	163
モチーフ縫い	155
ストローク回数	156
ストロークの向き	156

せ

接着芯	191
選択する	
刺しゅうデータ	

縫い順	102
始点 / 終点	115
すべての刺しゅうデータ	102
すべてのパターン	263
パターン	173
縫製範囲	172
線縫い	
縫い方の設定	213
線の色ボタン	149, 216
線の設定ボタン	149
線の縫い方	154, 219
線の縫い方セレクト	149, 216

そ

挿入	
針落ち点	115
揃え方	133

た

タタミ縫い	317
縫い方の設定	157, 221
縦位置	136
単位	185, 237

ち

縮み補正	157, 158, 159, 220, 221, 222
中央へ移動	103
中心点	112

つ

ツールボックスボタン	
ステッチクリエイター	348
縫い方設定ステージ	337
フォントクリエイター	343
輪郭線画ステージ	335
輪郭データステージ	336
レイアウトセンター	325

て

デザインセンター	13, 195
デザインページサイズ	100, 203
大型枠	186
デザインページの色も縫う	87
データ情報	177, 278
大型枠	188
コメントを書く	182
テンプレート	191

と

同心円縫い	318
中心点	112
縫い方の設定	162, 225
特別色	151
閉じた線	57
ドーナツ縫い	169, 228
配列	104
取り込む	
.pem ファイル	196
TWAIN 画像	80, 197
画像	79
クリップボードの画像	81, 197

原画	196
刺しゅうカードから	98, 286
刺しゅうデータ	97, 277
下絵	258
デザインセンターから	99

な

内部走り経路	157, 158, 159, 220, 221, 222
--------	------------------------------

に

似顔絵	80
-----	----

ぬ

縫い角度	43, 56, 157, 158, 159, 160, 161, 224
スタンプ	163
プログラムタタミ縫い	163, 226
縫い方	87, 89, 91, 93, 162, 225
STB機能	116, 331
アプリケウィザード	169, 331
ステッチデータに変換	114, 331
ドーナツ縫いの解除	169, 331
ドーナツ縫いの設定	169, 331
縫い方の設定	331, 340
縫い始終点の最適化	111, 113, 331
縫い順	231, 340
縫い順 / 糸色	116, 173, 331
縫製範囲の設定	172, 331
枠の最適化	187, 331
縫い方設定ステージ	195
ツールボックスボタン	337
縫い方の種類セレクト	151, 217
縫い方の設定	152, 167, 217
3重縫い	154
E/Vステッチ	156
渦巻き縫い	162, 225
クロスステッチ	162, 225
サテン縫い	154, 156, 219, 220
詳細設定	152, 167, 217
スティップリング	162, 225
線縫い	213
タタミ縫い	157, 221
同心円縫い	162, 225
パイピング縫い	162
走り縫い	154, 219
プログラムタタミ縫い	159, 222
放射縫い	162, 225
面縫い	211
モチーフ縫い	155, 161, 224
縫い方バー	215
縫い方メニュー	
デザインセンター	340
フロントクリエイター	346
レイアウトセンター	331
縫い間隔	91, 93
縫い沈め効果	309
縫い順	173, 231
編集する	174
縫いピッチ	158, 160, 221, 223
縫い方向	220, 221, 222, 223
縫い密度	91, 93

は

パイピング縫い	318
縫い方の設定	162

配列	
刺しゅうデータ	103
ドーナツ縫い	104
文字データ	103
走り回数	154, 219
走り縫い	317
縫い方の設定	154, 219
走りピッチ	87, 89, 154, 155, 156, 161, 162, 219, 224, 225
パターン	
糸色	174
色を組み合わせる	174
回転	265
描く	262
切り取る	264
コピーする	264
削除する	264
作成	269
選択する	173
高さ	223, 224
幅	223, 224
貼り付ける	264
反転する	264, 271
複製する	264
プレビューする	261
プログラムタタミ縫い	56, 223
編集する	263, 270
保存する	272
モチーフ縫い	161, 224
パターンを貼り付ける	264
パターンを複製する	264
ハーフステッチ	154, 157, 158, 159, 219, 220, 221, 222
針落ち点	
移動する	115
削除する	115
挿入	115
反対側	136
反転する	
パターン	264, 271

ひ

表示	
画面の再描画	332, 340
グリッド	185, 332, 340, 346, 351
グリッドの設定	237, 273
最新の情報に更新	353
サムネイル小	276, 353
サムネイル大	276, 353
下絵	273
詳細	276, 353
ステータスバー	332, 341, 346, 351, 353
ステッチシミュレーター	176, 232, 332, 340
ツールバー	332, 341, 346, 351, 353
ファイルプロパティ	278, 353
プレビュー	175, 233, 261, 278, 332, 340, 351, 353
リアルプレビュー	23, 27, 33, 175, 233, 293, 332, 340
リアルプレビューの設定	175, 233, 332, 340
リファレンスウィンドウ	332, 340
表示する	
画像	82, 202
刺しゅうデータ	276
下絵	273
表示メニュー	
ステッチクリエイター	351
デザインセンター	340
デザインデータベース	353

フォントクリエイター	346
レイアウトセンター	332
開く	
.pem ファイル	196
.pes ファイル	95
TWAIN 画像	80, 197
新しいデザインページ	95
新しいパターン	259
新しい輪郭線画	199
新しい輪郭データ画像	204
画像	79
クリップボードの画像	81, 197
原画	196
刺しゅうデータ	66, 97, 277
下絵	258
新規作成 (輪郭線画)	196
新規作成 (輪郭データ)	196
パターン	257
レイアウトセンターファイル	95

ふ

ファイル	
CSV 出力	353
CSV ファイル出力	288
HTML 出力	352
HTML ファイル出力	287
TWAIN 機器から入力	197
TWAIN 機器から入力	338
TWAIN 機器の選択	197, 338
印刷	184, 327, 352
印刷の設定	183, 287, 326, 352
印刷プレビュー	184, 327, 352
ウィザード	196, 338
上書き保存	180, 189, 236, 272, 326, 338, 349
カード書き込み	
デザインページのデータ	181, 189
クリップボードから	338
クリップボードに出力	338
形式変換	282
削除	352
下絵を開く	258, 349
終了	327, 339, 349, 353
新規作成	95, 259, 326, 348
新規作成 (輪郭線画)	199, 338
新規作成 (輪郭データ)	204, 338
データ書き出し	180, 326
データ取り込み	
カードから	98, 286, 326
デザインセンターから	99, 326
ファイルから	97, 326
名前を付けて保存	180, 189, 236, 272, 326, 339, 349
開く	95, 257, 326, 338, 348
ファイルプロパティ	326
フォーマット変換	352
フォルダの新規作成	274
プロパティ	182
輪郭データ取り込み	338
レイアウトセンターで取り込む	352
レイアウトセンターで開く	66, 277, 352
ファイルメニュー	
ステッチクリエイター	348
デザインセンター	338
デザインデータベース	352
フォントクリエイター	343
レイアウトセンター	326
フォトステッチ 1 (カラー) 機能	85
フォトステッチ 1 (モノクロ) 機能	88
フォトステッチ 2 (カラー) 機能	90

フォトステッチ 2 (モノクロ) 機能	92, 94
フォトステッチ機能	31, 290
フォルダ	274
フォントクリエイター	14
プレビュー画面	261
プレビューする	175, 233, 278
パターン	261
プレビューの更新	87, 90, 91, 93
プログラムタタミ / スタンプモード	260
プログラムタタミ縫い	
データ	223
縫い方の設定	159, 222
パターン	56, 160
分割模様	
縫製する	193

へ

ベースの縫い方	160, 223
ヘルプ	
オンライン登録	334
刺しゅう PRO WEB	334, 342, 351, 354
バージョン情報	334, 342, 351, 354
マニュアル	342, 354
ヘルプメニュー	
ステッチクリエイター	351
デザインセンター	342
デザインデータベース	354
フォントクリエイター	347
レイアウトセンター	334
変換	
刺しゅうデータの形式	282
変形	
解除	137
文字データ	137
変形の度合い	137
変更する	
糸色の順序	167
ステッチデータの色	116
偏差	158, 160, 162, 221, 223
編集	
回転	105, 206, 265, 328, 339, 345, 350
曲線化	109
切り取り	264, 327, 339, 350, 353
グループ化	106, 327
グループ化解除	106, 327
グループ化された刺しゅうデータ	106
検索	67, 280
コピー	264, 327, 339, 350, 353
削除	109, 264, 327, 339, 350
数値設定	
回転	106, 206, 328, 339
サイズ	104, 205, 328, 339
スタンプ	230
すべて選択	102, 328, 339, 345, 350
整列	
上揃え	328, 345
左右中央揃え	328, 345
下揃え	328, 345
上下中央揃え	328, 345
左揃え	328, 345
右揃え	328, 345
線	38
中央へ移動	103, 328
直線化	109
データの色	174
縫い順	174
配列	
上揃え	103

左右中央揃え	103
下揃え	103
上下中央揃え	103
左揃え	103
右揃え	103
貼り付け	264, 327, 339, 350, 353
反転	
左右	328, 339, 345, 350
左右反転	105, 205, 265, 271
上下	328, 345, 350
上下反転	105, 205, 264, 271, 339
複製	264, 327, 339, 350
元に戻す	327, 339, 350
やり直し	327, 339, 350
糸色	166
糸リスト	165
パターン	263, 270
ポイント	107, 266
編集メニュー	
ステッチクリエイター	350
デザインセンター	339
デザインデータベース	353
フォントクリエイター	344
レイアウトセンター	327
ペンツール	200

ほ

ポイント	
編集する	107, 266
放射縫い	318
中心点	112
縫い方の設定	162, 225
ぼかし縫い	163
保存する	
オリジナルカードに	24, 28, 34, 45, 62, 181, 189, 294, 315
画像	101
刺しゅうデータ	180, 236
大型枠	189
パターン	272
別の形式	180

ま

ヘルプ	
マニュアル	334, 351
マニュアルパンチング	125, 163

む

向き	136
----	-----

め

面の色ボタン	150, 215
面の設定ボタン	149, 215
面の縫い方	156, 220
面の縫い方セレクト	150, 215
面の縫い方の設定	212

も

文字	
TrueType フォントの設定	137, 330
書式設定	133, 144, 330
図形データに変換	138, 330
配列設定	135, 330

変形解除	137
変形の解除	330
文字の変形	137, 330
文字の編集	131, 330
文字配列の解除	137, 330
文字間 (個別)	133
文字間 (全体)	133
文字サイズセレクト	131
文字属性	129, 133, 144, 148
文字データ	
図形データに変換	138
配列	103
配列解除	137
変形	137
変形の解除	137
文字メニュー	330
モチーフ縫い	317
縫い方の設定	155, 161, 224
パターン	155, 161, 224
モチーフモード	260
モード	
プログラムタタミ / スタンプ	259, 349
モチーフ	259, 349
モードメニュー	349
モノグラム	141
モノグラムサイズセレクト	142
モノグラム属性	142
モノグラムの書体セレクト	142

ゆ

ユーザーリスト	164
優先項目	87, 89

よ

横位置	136
横書き / 縦書き	133

り

リアルプレビュー	23, 27, 33, 175, 233, 293
設定	175, 233
両端の処理セレクト	57, 124
輪郭線	
テキストから変換	138
輪郭線画ステージ	195
ツールボックスボタン	335
輪郭線の縫い方	214
輪郭データステージ	195
ツールボックスボタン	336

れ

レイアウトセンター	13, 21, 25, 30, 36, 49, 64, 69, 75, 289, 296, 305, 307, 313
-----------	---

わ

枠を取り付ける	192
枠を変更する	187

プラザー工業株式会社

名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

取扱店